

## 目次

凡例	831
10-1 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッター」	835
10-2 日付紹介 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッター」解説	876
10-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」(最後テープ切れで本編中断)	881
11-1 ウエペケレ「ウラユシウンクル」続き	942
11-2 ウエペケレ「シリマオッテ」	955
11-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」、ウエペケレ「シリマオッテ」まとめて解説	979
11-4 ウエペケレ「ユベッホントムンクル」	982
11-5 ウエペケレ「ユベッホントムンクル」解説	1005
11-6 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」	1009
11-7 12号テープへ続くこと説明	1024
12-1 ユカラ11号から続いていること説明、題名紹介	1025
12-2 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」続き	1026
12-3 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」ポイヤウンペ イソイタク	1072
12-4 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」途中切れ	1143
13-1 ユカラ11号、12号と続いていること説明	1153
13-2 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」	1154
13-4 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」	1196
13-5 ユカラ「アペサクスクブ ワッカサクスクブ」謡い途中でテープ切れ終了	1259
14-2 カムイユカラ「オキクルミ ヘペレ(ノオ)」	1273
14-3 カムイユカラ「オキクルミ ヘペレ(ノオ)」解説	1288
14-4 カムイユカラ「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ(エーイノオー)」	1290
14-5 カムイユカラ「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ(エーイノオー)」解説	1311
14-6 カムイユカラ「オキクルミ シリカブ(トウスナパス)」	1312
14-7 ウエペケレ「オタサムンクル」	1325
14-8 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウエ/トウキ オルン オクイマ メノコ」	1345
14-9 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウエ/トウキ オルン オクイマ メノコ」解説	1361
14-10 テープ内容再紹介	1364
15-1 テープ内容紹介	1365
15-2 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ(ヘムノエ)」	1366
15-3 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ(ヘムノエ)」解説	1384
15-4 カムイユカラ「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマツ(パウチョーチョパフムフムフム)	

チロンヌブ アイヌ コチャランケ」	1385
15-5 カムイユカラ「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマツ (パウチョーチョパフムフムフム) チロンヌブ アイヌ コチャランケ」解説	1390
15-6 カムイユカラ「アワキナベンザイ (アエバウ)」	1391
15-7 カムイユカラ「アワキナベンザイ (アエバウ)」解説	1405
15-8 カムイユカラ「サロルン ニッネブ (サントイキヤンキリヤン)」	1407
15-9 カムイユカラ「サロルン ニッネブ (サントイキヤンキリヤン)」解説	1414
15-10 カムイユカラ「フリ ニッネブ チャクチャクカムイ (フムフムトリヤテ)」	1415
15-11 カムイユカラ「フリ ニッネブ チャクチャクカムイ (フムフムトリヤテ)」解説	1423
15-12 カムイユカラ「ハンチキキ」	1425
15-13 カムイユカラ「イウオロ コロ カムイ (ペットウーペットウ)」	1433
15-14 カムイユカラ「イウオロ コロ カムイ (ペットウーペットウ)」解説	1448
15-15 ウエペケレ「ボン ウェン シサム ウエペケレ」	1449
15-16 ウエペケレ「ボン ウェン シサム ウエペケレ」解説	1474
16-1 テープ内容紹介	1476
16-2 カムイユカラ「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ (トゥカナカナナー)」	1477
16-3 カムイユカラ「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ (トゥカナカナナー)」解説	1482
16-4 カムイユカラ「カンナカムイ カッコクカムイ (ノウワオオオ)」	1485
16-5 カムイユカラ「カンナカムイ カッコクカムイ (ノウワオオオ)」解説	1497
16-6 ルパイェユカラ「アトウイソカタ クッタラ モシリ」	1499
16-7 ルパイェユカラについて解説	1520
16-8 ルパイェユカラ「ウェンクル フチ イレス」	1522
16-9 ルパイェユカラ「ウェンクル フチ イレス」 物語中登場人物の解説	1541
16-10 ウエペケレ「アアチャハ イレス」	1543
16-11 ウエペケレ「アアチャハ イレス」解説	1572

## 凡 例

- ・各話のタイトルは、原資料（オープンリール）の箱に萱野茂氏が記したものをそのまま使用した。ただし、和訳は各担当者による。  
また、原資料にタイトルがない話については、担当者が適宜つけた。
- ・アイヌ語カナ表記は話者の発音をそのまま記したが、ローマ字表記においては単語の切れ目などがわかるように分析した表記をとっている。そのため、両者の間にずれが生じる場合もある。  
例) **sekor** 「〜と」の **e** が弱化している場合は、「シコロ／**sekor**」とそれぞれ表記。
- ・アイヌ語ローマ字表記は、中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』（草風館）の表記方法に準拠した。
- ・アイヌ語カナ表記は、インターネット上のアイヌ語変換プログラム（「アイヌ語ローマ字カナ変換 HTML Application」<http://www.geocities.jp/aynuitak/WEBhenkan/chiyu.htm>）を使用したため、上記のプログラムによる表記に従っている。詳細は「事業の概要」23-24 ページ参照。
- ・アイヌ語のなかに日本語が混じる場合、ローマ字表記ではローマ字の大文字、カナ表記ではひらがなで記した。
- ・言いさし（言いかけ）は、… もしくは …… で示した。
- ・音が変化する部分は、変化する部分の直後にアンダーバーで表した。  
（例：オッタ→**or\_ ta** / アンマ→**an w\_a**）
- ・聞き起こし・解釈に疑問が残る部分は、直後に(?) を付した。
- ・不明点は、**XXX** であらわした。
- ・何らかの理由で、単語の一部のみが発音されている場合などは（ ）でその内容を補った。  
例) ソンだけしか聞こえないが、ソンコ **sonko** 「伝言」の意味だと考えられる場合  
ソン (コ) **son(ko)**

- ・英雄叙事詩において、韻律の都合による挿入音が聞こえる場合、カナ表記ではそれも反映している。ローマ字表記においては [ ] で記した。これは文法上・解釈上は意味のない音である。
- ・和語解説中においてアイヌ語が混じる場合、ローマ字で表記し、意味は、読んだときにわかる程度におぎなった。その場合は、直後に亀甲カッコ [ ] の中に意味を入れている。
- ・語釈などについては各担当者の判断にゆだね、全体として統一はしていない。同じ語であっても、語の区切り・和訳などに違いがあるのはそのためである。
- ・なお、テキストのうち、1-1、7-1、13-3、14-1、18-1、20-1、22-5、23-2、23-7 については、個人情報を含む内容のため、非公開とした。

## 参考文献略称

- 『アイヌの叙事詩』: 鍋沢元蔵 (筆録)、門別町郷土史研究会 (編)、1969『アイヌの叙事詩』門別町郷土史研究会
- 『音声資料』: 田村すず子(編著)、1984~1999『アイヌ語音声資料』早稲田大学語学教育研究所
- 『萱野辞典』: 萱野茂、2002 (1996)『萱野茂のアイヌ語辞典 [増補版]』三省堂
- 『クトゥネシリカ』: 鍋沢元蔵 (筆録)、門別町郷土史研究会 (編)、1965『アイヌ叙事詩 クト<sup>o</sup>ネシリカ』門別町郷土史研究会
- 『久保寺辞典稿』: 久保寺逸彦 (編)、1992『アイヌ語・日本語辞典稿』北海道教育委員会
- 『沙流方言辞典』: 田村すず子、1996『アイヌ語沙流方言辞典』草風館
- 『静内語彙集』: 奥田統己 (編)、1999『アイヌ語静内方言文脈つき語彙集』札幌学院大学
- 『神謡・聖伝の研究』: 久保寺逸彦、1977『アイヌ叙事詩 神謡・聖伝の研究』岩波書店
- 『神話集成』: 萱野茂、1998『萱野茂のアイヌ神話集成』(全 10 卷) ビクターエンタテインメント
- 『千歳方言辞典』: 中川裕、1995『アイヌ語千歳方言辞典』草風館
- 『知里動物篇』: 知里真志保、1976『知里真志保著作集別巻 I 分類アイヌ語辞典 動物篇・植物篇』平凡社
- 『知里人間篇』: 知里真志保、1975『知里真志保著作集別巻 II 分類アイヌ語辞典 人間篇』平凡社
- 『バチェラー辞典』: ジョン・バチェラー、1995 (1939)『アイヌ・英・和辞典』岩波書店
- 『ユーカラ集』: 金成まつ (筆録)、金田一京助 (訳注)、1959-75『アイヌ叙事詩ユーカラ集』(全 9 卷) 三省堂



## 10-1 ウエペケレ

「オタサムン カムイ ヘカッタラ」

オタサムのカムイの子ども達

語り：平賀さだも

オタサムン ヘカッタラ セコロ アイイエ コロ オカアン。

Otasam un hekattar sekor a=i=ye kor oka=an.

オタサムの子供達と私達は呼ばれていた。

アユピヒ トウラノ キ プ ネ ヒケ ウサム……

a=yupihi turano ki p ne hike usam...

兄と共にそう呼ばれており、

ウッシウ カ オカ カシパ カ ソモ キ ノ オカアン。

ussiw ka oka kaspaka somoki no oka=an.

使用人も大勢いるわけでもなく暮らしていた。

アコタヌ カ ウタリ モヨ プ アネ クス

a=kotanu ka utari moyo p a=ne kusu

村人も少ないので

ヘル アコツ チャシ パテク コラチ ネ ワ オカアン ペ ネ ア プ

heru a=kor\_ casi patek koraci ne wa oka=an pe ne a p

ただ私達の館だけがあるという状況で暮らしていたのだが、

シネアンタ アユピヒ エネ ハウエ アニ。

sineanta a=yupihi ene hawe an h\_i.

ある日、兄がこのように言った。

「ヘタ アアキ タネ エニタン パクノ エアン、

“heta a=aki tane e=nitan pakno e=an,

「さあ、弟よ。お前は足も速く、

エアプカシ エアシカイ パクノ エアン クス

**e=apkas easkay pakno e=an kusu**

歩くことができるようになったので

エテケ アアニ ワ イシカッ トウラシ シネウパアン クス ネ。

**e=teke a=ani wa Iskar\_ turasi sinewpa=an kusu ne.**

お前の手をひいて、石狩川を上って遊びに行くよ。

イシカラ ホントモ コン ニシパ アコシネウパ クス パイエアン クス ネ ナ。」

**Iskar hontomo kor\_ nispa a=kosinewpa kusu paye=an kusu ne na.”**

石狩の中流のニシパを尋ねて行くよ」

セコロ カネ ハウエアン コロ

**sekor kane hawean kor**

と言うと、

オラノ イシピネレ イサム ワ キ ヒネ オラ アテケ アニ カネ ヒネ

**orano i=sipinere i=sam wa ki hine ora a=teke ani kane hine**

それから私の身支度を側でさせ、私の手を引き、

オラノ トイコホケレアン パ ヒネ

**orano toykohokere=an pa hine**

私は足をばたばたさせながらも、

イシカッ トウラシ パイエアン ルウエ ネ アイネ

**Iskar\_ turasi paye=an ruwe ne ayne**

石狩川沿いに上流に向かっていったのだが

イネアプクスン アユピヒ ニタン マ フマサ カ アエラムシカリ

**ineapkusun a=yupihi nitan w\_a humas y\_a ka a=eramusikari**

なんとまあ、兄の足の速いことか、私が見たこともないくらいだった。

イルウエニンパ。

**i=ruweninpa.**

私も道を引きずられていった。



マカン ネ コロ シンキアン カシパ コロ イカイ

**makan ne kor sinki=an kasper kor i=kay**

あるときは疲れ果てた私を負ひ、

マカン ネ コロ イアプカシテ ワ

**makan ne kor i=apkaste wa**

またあるときは私を歩かせて

オラノ イトゥラ ワ パイエアン ヒネ イシカラ ホントモ タ パイエアン。

**orano i=tura wa paye=an hine Iskar hontomo ta paye=an.**

私を連れ、石狩の中流までやって来た。

インネ コタン アン

**inne kotan an**

にぎやかな村があり、

インネ アプクス コタン ピリカ ワ シラナ カ アエラミシカリ。

**ineapkus kotan pirka wa siran y\_a ka a=eramisikari.**

その村の素晴らしい様子は私が見たことがないほどだった。

インネ コタン アニネ

**inne kotan an h\_inne**

人の多い村があり、

コタン ソイ アクシネ パイエアン。

**kotan soy a=kus h\_inne paye=an.**

その村の外を歩いて行った。

コタン…… コタン ケシ ワノ コタン ソイ アクシネ

**kotan... kotan kes wano kotan soy a=kus h\_inne**

村の端から外を歩いて

パイェアン クニ ネ シラン ペ ネ クス

**paye=an kuni ne siran pe ne kusu**

行くように

コタン ケシ ワノ コタン ソイ アクシ ヒネ パイエアン ヒネ  
**kotan kes wano kotan soy a=kus hine paye=an hine**  
 村の下端から外を歩いて行ったところ

コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン。  
**kotan noski ta mosir pak cise an.**  
 村の真中に島のような大きな家があった。

チセ ソイ タ パイエアン ルウェ エネ アニ。  
**cise soy ta paye=an ruwe ene an h\_i.**  
 家の外に行った時の様子は次のようだった。

エアシリ カ イソンクル オカ ウシ ネ ノイネ  
**easir ka isonkur oka usi ne noyne**  
 非常に狩の上手い人が住んでいる場所であるようで、

チセ ソイ ワノ ニシパ ロク ル アエラムオカイ ペ ネ クス  
**cise soy wano nispa rok ru a=eramuokay pe ne kusu**  
 家の外からでもニシパがいるとわかるように、

チセ ソイ ワノ イランマカカ シラン。  
**cise soy wano irammakaka siran.**  
 家の外からしてきちんとした様子だった。

チェプ クマ タイ カム クマ タイ オラシナチツケ カネ シラン ルウェ ネ。  
**cep kuma tay kam kuma tay orasnacitke kane siran ruwe ne.**  
 魚の干し竿の列、肉の干し竿の列いっぱい魚や肉がぶら下がっていた。

ソイ タ アユピヒ アテケ アニ カネ ヒネ シリキッキク ルウェ ネ アクス  
**soy ta a=yupihi a=teke ani kane hine sirkikkik ruwe ne akusu**  
 外で兄が私の手を引きながら、あたりを叩くと

ピリカ ワ オケレ ポン メノコ アパ タララ ヒネ  
**pirka wa okere pon menoko apa tarara hine**  
 非常にきれいな女の子が戸を持ち上げ、

インカツ テク ヒネ オラウン

**inkar\_ tek hine oraun**

ちらっと見て、

ヘトポ ホシピ イネ ハカクノ ネ コロカ イタク ハウエ エネ アニ。

**hetopo hosipi h\_inine hakakno ne koroka itak hawe ene an h\_i.**

それから引き返し、小声だったが、このように話していた。

「カムイ ヘ オカ アイヌ ヘ オカ トウ ヘカッタラ

**“kamuy he oka aynu he oka tu hekattar**

「カムイだか人間だかの二人の子どもが

ウテカンパ カネ ヒネ ソイ タ オカ。」

**utekanpa kane hine soy ta oka.”**

互いに手をとって外にいます」

セコロ カネ ハウエアン ハウエ アサクシ

**sekor kane hawean hawe as akus**

と話す声がすると、

ポロクル イタク ハウエ エネ ハウエアシ。

**porokur itak hawe ene haweas.**

大人の話す声がこのようにした。

「ソモネイペカ オタサムン カムイ ヘカッタラ イコシネウパ ハウエ ネ ヤ。

**“somoneypeka Otasam un kamuy hekattar i=kosinewpa hawe ne ya.**

「もしかしてオタサムの子どもたちが私を訪ねてきたということだろうか。

オリパクノ ホクレ ピリカノ ソカラ ワ アフプテ オリパクノ アフプテ。」

**oripakno hokure pirkano sokar wa ahupte oripakno ahupte.”**

きちんと、さあ、ちゃんと席を作って、中に入れなさい。丁寧に迎え入れなさい。」

セコロ カネ アイエ ハウエ アサクス

**sekor kane a=ye hawe as akusu**

と言う声がすると、

オラノ ムンヌウェ ソカラ フミ アシ アイネ

**orano munnuwe sokar humi as ayne**

それから、掃除をし、席を用意している感じがして、

オラウン オリパクノ ソイネ ヒネ

**oraun oripakno soyne hine**

それから女の子は畏まりながら外に出てきて

「アフプ ワ シニ ヤン。」

**“ahup wa sini yan.”**

「入って休んでください」

セコロ カネ ハウエアン。

**sekor kane hawean.**

と言った。

アクス オラ アユピヒ アテケ アニ カネ ヒネ アフパン。

**akusu ora a=yupihi a=teke ani kane hine ahup=an.**

すると兄は私の手をひき、中に入った。

オハラキソ ペカ アクシネ アフパン。

**oharkiso peka a=kus h\_ine ahup=an.**

左座を通って中に入った。

アユピ アペエトク タ ア イケ キリサマ タ アアン ルウェ ネ アン アクシ

**a=yupi apeetok ta a h\_ike kirsama ta a=an ruwe ne an akus**

兄は横座に座ったので、私もその脇に座ると

チセ コン ニシパ イエランカラブ パ。

**cise kor\_nispa i=erankarap pa.**

家の主は私達に挨拶をした。

「フナク ワ アラキ ヘカッタラ

**“hunak wa arki hekattar**

「どこからか来た子どもたち、

カムイ ヘ ネ ヤ アイヌ ネ ルウエ ヘ ネ ヤ

**kamuy he ne ya aynu ne ruwe he ne ya**

カムイであるのか人間であるのか

アエランペウテク ヤッカ ウエペケンヌアン ハウエ ネ ナ。

**a=erampewtek yakka uepekennu=an hawe ne na.**

わからないけれども、お尋ねしますよ。

オリパカン コロカ ウウエペケンヌアン ハウエ ネ ナ。」

**oripak=an korka uwepekennu=an hawe ne na.”**

私は恐れ多いけれどもお聞きします」

セコロ カネ ハウエアナクス アユピヒ

**sekor kane hawean akusu a=yupihi**

と話す、兄は

「オタサム マ アラキアン。」

**“Otasam w\_a arki=an.”**

「オタサムから私たちは来ました」

セコロ カネ ハウエアナクス オラノ エアシリ カ オンカミ ア オンカミ ア。

**sekor kane hawean akusu orano easir ka onkami a onkami a.**

と話し、それから、その男性は拝礼を続けた。

「アスル アヌ プ

**“asuru a=nu p**

「噂に聞くもの、

オタサムン カムイ ヘカッタラ エチネ ハウエ ネ。

**Otasam un kamuy hekattar eci=ne hawe ne.**

オタサムのカムイの子どもたちがあなた達ということなのですね。

アポウタリ エキムネ パ ルウエ ネ。

**a=poutari ekimne pa ruwe ne.**

私の息子たちは山に行っています。

アポホ トupp アン ペ ネ。アマツネポ シネプ ネ ワ ト アン ルウエ ネ。

**a=poho tup an pe ne. a=matnepo sinep ne wa to an ruwe ne.**

息子は二人います。娘は一人で、あそこにいるのです。

ネ アポウタリ ケシト エキムネ パ。

**ne a=poutari kesto ekimne pa.**

その息子たちは毎日山に行っています。

タント カ スイ イット エキムネ パ ルウエ ネ アクシ

**tanto ka suy itto ekimne pa ruwe ne akus**

今日もまた日帰りで行っているのだ

オヌマン アン ヤクン イワクパ ナンコロ ルウエ ネ ナ。

**onuman an yakun iwakpa nankor ruwe ne na.**

夕方になったら帰ってくるでしょう。

アプンノ イコシニ ワ イコロパレ ヤン。」

**apunno i=kosini wa i=korpore yan.”**

ゆっくり私のところで休んでください」

セコロ カネ ハウエアン コロ オラノ スンケ アシペ ソネ アシペ イエ ワ

**sekor kane hawean kor orano sunke aspe sone aspe ye wa**

と言い、それからあることないこといい、

イヌレ パ コロ オカアン。

**i=nure pa kor oka=an.**

私達に聞かせながらいた。

ネア ポン メノコ イランマカカ ピリカ スケ キ ワ

**nea pon menoko irammakaka pirka suke ki wa**

その女の子はきちんと上手に料理をし、

カム ピリカ ヒ チェプ ピリカ ヒ ウオロトウイパ オラノ スウエ。

**kam pirka hi cep pirka hi uorotuyppa orano suwe.**

肉のよいもの、魚の良いものをまとめて切って煮た。

ポロ ス アニ スパ ワ イタ チキシマ イサム カネ ノ イコイブンパ。

**poro su ani supa wa ita ci=kisma isam kane no i=koypunpa.**

大きな鍋で煮て、掴む場所がないほどお盆にのせ、私達に差し出した。

イネアプクスン ケラアン マ フマサ カ エラミシカリ。

**ineapkusun keraan w\_a humas y\_a ka eramiskari.**

なんとまあ、おいしいことか、

アエ カ エラミシカリ。

**a=e ka eramiskari.**

私が食べたことがないほどだった。

タン テ パクノ キ、エネ オカ アエプ アエ カ エラミシカリ プ ネ ワ

**tan te pakno ki, ene oka aep a=e ka eramiskari p ne wa**

今まで、このような食べ物は食べたこともないので、

タネポ アエ プ ワ ポ ヘネ ケラアン

**tanepo a=e p wa po hene keraan**

初めて食べたのでいっそうおいしい

フミ ネ クニ アラム コロ アエ ルウエ ネ アイネ

**humi ne kuni a=ramu kor a=e ruwe ne ayne**

と思いながら食べていて、

オラン シロヌマン ルウエ ネ アクス タネ シロヌマン コロ

**oran sironuman ruwe ne akusu tane sironuman kor**

それから夕方になると、

アイヌ サプ ウム アシ ヒネ ウコカマフプテ。

**aynu sap h\_um as hine ukokamahupte.**

人が下りてくる音がし、肉を家の中に入れた。

プヤラ カリ ネア ポン メノコ イコカマフプテ コロ

**puyar kari nea pon menoko ikokamahupte kor**

窓からその女の子が肉を家の中に入れながら

アロロキシネ オカアニ イェ コトム アン。

**arorkisne oka=an h\_i ye kotom an.**

こっそりと私達がいることを伝えているようだった。

アクス ネロク…… ネ オッカイポ ウタラ ネ コトム アン

**akusu nerok... ne okkaypo utar ne kotom an**

そして、それは例の若者たちであるようで、

ソヨシピタツパ ヒネ

**soyosipitatpa hine**

外で身支度を解いて

オリパクノ アフプ パルウエ ネ アクス オリパクノ アフプ ヒネ

**oripakno ahup pa ruwe ne akusu oripakno ahup hine**

畏まりながら入ってくると、

オハラキソ ウン ウキリサメロク。

**oharkiso un ukirsamerok.**

左座に並んだ。

キヤンネ ヒケ オロンネ ア。

**kiyanne hike oronne a.**

年長の方が横座から座った。

ポニウネ ヒケ オウトウンネ ア カネ オハラキソ ウン

**poniwnne hike outunne a kane oharkiso un**

若い方が木尻座から座り、左座に

ウ…… サ…… ウキリサメロク ルウエ ネ アクス

**u... sa... ukirsamerok ruwe ne akusu**

並んで座ると、

チセ コン ニシパ エネ ハウエアニ。

**cise kor\_ nispa ene hawean h\_i.**

家のニシパはこのように言った。



「エアシリ アスル アヌ アスル タクプ カ アヌ コロ オカアン ペ タシ  
“easir asuru a=nu asur takup ka a=nu kor oka=an pe tasi  
「私達が噂にばかり聞いていたもの、

オタサム ウン カムイ ヘカッタラ セコロ ハワシ ヒ  
Otasam un kamuy hekattar sekor hawas hi  
オタサムのカムイの子どもたちの話を

アヌ コロ オカアン ペ ネ アクス  
a=nu kor oka=an pe ne akusu  
私たちは聞いていたけれど

カムイ ヘカッタラ イコシネウパ ルウエ ネ ナ。  
kamuy hekattar i=kosinewpa ruwe ne na.  
その子どもたちが私のところに訪ねてきてくれたのだよ。

アポウタリ オリパクノ オンカミ ヤン。」  
a=poutari oripakno onkami yan.”  
息子たちよ、きちんと拝礼しなさい」

セコロ カネ ハウエアナクス  
sekor kane hawean akusu  
と話すと、

エアラキンネ ウサム タ ウサム タ イエオリパク パ ヒネ  
earkinne usam ta usam ta i=eoripak pa hine  
息子たちはそばで畏まり

イネアプクスン イエオリパク パ ワ シリ キ ヤ カ アエラミシカリノ  
ineapkusun i=eoripak pa wa siri ki ya ka a=eramiskarino  
なんとまあそんなに畏まっている様子を見たことがないほど

イエオリパク パ ワ  
i=eoripak pa wa  
私達に畏まっている様子で

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク ルウェ ネ ヒネ オラウン  
**i=koonkami rok i=koonkami rok ruwe ne hine oraun**  
 拝礼をし、それから

イペ オカ アン コロ ネア オンネ クル エネ ハウエアニ。  
**ipe oka an kor nea onne kur ene hawean h\_i.**  
 食事の後になると、老人はこのように言った。

「カムイ ヘカッタラ イコシネウパ ルウェ ネ コロ  
**“kamuy hekattar i=kosinewpa ruwe ne kor**  
 「カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたら、

マカナク シノ アポウタリ サンニヨ ルウェ アン？  
**makanak sino a=poutari sanniyō ruwe an?**  
 どのようにしようと私の息子たちは考えていたのだい？

マクネ コロ カムイ ヘカッタラ エキロロアン クニ ラム ヤ？  
**makne kor kamuy hekattar ekiroroan kuni ramu ya?**  
 どうやって子どもたちを楽しませようと思っていたのだい？

ラム パ アポウタリ キ ヤ？」  
**ramu pa a=poutari ki ya?”**  
 息子たちは考えていたのだい？」

セコロ ハウエアアン アクス  
**sekor hawean akusu**  
 と言うと、

「マク シノ イラマンテ モシマ ネウン イキアン パ ワ エラマス パ ヤ  
**“mak sino iramante mosma neun iki=an pa wa eramasu pa ya**  
 「本当の狩りの代わりにしたら、喜ぶのか

ネウン ネ ヤ アエラムシカリ ヤッカ  
**neun ne ya a=eramusikari yakka**  
 どうだかわからないけれども

キキタネクス ウコユコケウエ ヘネ アン マ アヌカレ パ ヘネ キ チキ  
**kikitane kusu ukoyukokewe hene an w\_a a=nukare pa hene ki ciki**  
 どうせなら、みんなで鹿追いでもして見せたら

ソモ エラマシパ ハウエ ネ。」  
**somo eramaspa hawe ne.”**  
 喜ぶのではないでしょうか」

セコロ カネ キヤンネ ノ…… キヤンネ イポ ネ イケ ハウエアン クス  
**sekor kane kiyanne no... kiyanne ipo ne h\_ike hawean kusu**  
 と年長である様子の子の方が話すと

「ハウエネ チキ フンタ アマツネポ  
**“hawene ciki hnta a=matnepo**  
 「そういう話なら、さあ、娘よ、

アラパ ワ コタン エピッタ オッカイポ ウタン ニスク。  
**arpa wa kotan epitta okkaypo utar\_ nisuk.**  
 行って、村じゅうの若者に頼みなさい。

ニサッタ ネ アナクネ オタサムン カムイ ヘカッタラ アラキ ワ オカ ワ  
**nisatta ne anakne Otasam un kamuy hekattar arki wa oka wa**  
 明日はオタサムのカムイの子どもたちが来ていて

アヌカレ クス  
**a=nukare kusu**  
 見せるので

ウコユコケウエアン クス ネ ナ。  
**ukoyukokewe=an kusu ne na.**  
 皆で鹿追をするつもりだよ。

コタン エピッタ オッカイポ ウタラ ウニスク ワ  
**kotan epitta okkaypo utar unisuk wa**  
 村じゅうの若者たち、互いに声を掛け合って

ニサッタ ネ アポ ウタリ トウラノ カムイ ヘカッタッ トウラ ワ  
**nisatta ne a=po utari turano kamuy hekattar\_ tura wa**  
 明日は息子とカムイの子どもたちと共に一緒に

エキムネ ヤク ピリカ ナ。」  
**ekimne yak pirka na.”**  
 山に行ってくれ」

セコロ ネア チセ コロ クル ユタラ アクシ  
**sekor nea cise kor kur yutar akus**  
 と、その家の主は伝言をすると、

ネア メノコ ソイネ ヒネ  
**nea menoko soyne hine**  
 その女の子は外に出て、

オラノ コタン エピッタ アプカシ コトム アナクス  
**orano kotan epitta apkas kotom an akusu**  
 それから村じゅうを歩き回っているようだったが、

「『ピリカ ハウエ ネ ネ。』セコロ コタン エピッタ ハワシ ルウエ ネ」  
 “**pirka hawe ne ne.’ sekor kotan epitta hawas ruwe ne**”  
 「『いいですよ』と村じゅうで言ってくれました」

セコロ ハウエアン コロ エク ヒネ レウシオカアン。  
**sekor hawean kor ek hine rewsioka=an.**  
 と言いながらやって来て私達は一晩泊まった。

アユピヒ トウラ ウトウマムアン マ  
**a=yupihi tura utumam=an w\_a**  
 兄と共に抱き合って寝て

ネイ タ オカ イ ヤッカ ウトウマムアン マ パテク ホツケアン ペ ネ クス  
**ney ta oka h\_i yakka utumam=an w\_a patek hotke=an pe ne kusu**  
 どこにいても抱き合って横になっているので、

ウトウマム ワ アン マ ホツケアン ルウエ ネ アクス  
**utumam wa an w\_a hotke=an ruwe ne akusu**  
 抱き合って横になっていると

イシムネイケ ノクンネイワ ネア メノコポ ホプニ ワ  
**isimneyke nokunneywa nea menokopo hopuni wa**  
 翌日暗いうちから女の子は起きて、

オラノ スケコアリキキ アイネ スイ  
**orano sukekoarikiki ayne suy**  
 料理を頑張って、

ウサ ケラアン ペ アイコブンパ ルプネ ソナピ アイコブンパ オラノ  
**usa keraan pe a=i=kopunpa rupne sonapi a=i=kopunpa orano**  
 いろいろな美味しいものを私達に差し出し、山盛りのご飯を差し出し、それから

アエ ロク アエ ロク アイネ オラウン  
**a=e rok a=e rok ayne oraun**  
 食べに食べた。そうして

オラノ コタン オルン オックアイポ ウタラ ウニスク パ ワ アフパフパ カネ  
**orano kotan or un okkaypo utar unisuk pa wa ahupahup kane**  
 それから村の若者たちが誘い合ってどんどん入ってきて

オラノ チセコロ クル  
**orano cisekor kur**  
 それから家の主が

「カムイ ヘカッター シネウパ ワ オカ ワ アクス ハウエアナン ヒ ネ ナ。  
**“kamuy hekattar sinewpa wa oka wa akusu hawean=an hi ne na.**  
 「カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたので、こうやってお願いしたということなのだよ。」

ピリカノ アコタヌ ウン ウタラ オリパクノ イキ ワ イコレ ヤン。」  
**pirkano a=kotanu un utar oripakno iki wa i=kore yan.”**  
 村人たちよ、丁重にしてくださいね」

セコロ カネ ハウエアン ペ ネ クス

sekor kane hawean pe ne kusu

と話したので

アフプ ワ オカイ ペ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク コロ

ahup wa okay pe i=koonkami rok i=koonkami rok kor

入ってきた者たちは私達に拝礼した。

インネ ウタラ ウエカラパ ルウエ ネ ヒネ コロ オラ

inne utar uekarpa ruwe ne hine kor ora

たくさんの人が集まってきて

「ヘタク エキムネアン ロ。」

“hetak ekimne=an ro.”

「さあ、山に行きましょう」

セコロ ネ コロ オラノ スイ アユピヒ アテケ ウク テク ヒネ

sekor ne kor orano suy a=yupihi a=teke uk tek hine

となると、兄は私の手をさっと取り

オラノ インネ ウタッ トウラノ エキムネアン パ コロ

orano inne utar\_ turano ekimne=an pa kor

たくさんの人たちと山に行ったのだが、

アオカ ホシキノ パイエアン。

aoka hoskino paye=an.

私たちは先頭を行った。

オラノ アユピヒ アテケ エシカリ ワ ホユプ プ ネ クス

orano a=yupihi a=teke esikari wa hoyupu p ne kusu

兄が私の手を掴んで走るの

ニタナン パ プ ネ クス

nitan=an pa p ne kusu

私達が足早なので、

オッカイポ ウタラ カ イオカネイオカネ パ コロ パイエ アイネ  
**okkaypo utar ka iokaneiothane pa kor paye ayne**  
 若者たちはどんどん引き離されていき、

フナク タ パイエアナクス  
**hunak ta paye=an akusu**  
 どこかに行き着くと

ネア チセ コロ オッカイポ キヤンネ ヒケ エネ ハウエアニ。  
**nea cise kor okkaypo kiyanne hike ene hawean h\_i.**  
 その家の若者の年長の方はこのように言った。

「アコロ カムイ ヘカッター ウコユコケウエ セコロ アイエ プ アナクネ  
**“a=kor kamuy hekattar ukoyukokewe sekor a=ye p anakne**  
 「カムイの子どもたちよ、鹿追いというものは

ニ…… ニ トウイポク ワ オカアン コロ アシトマ プ ネ。  
**ni... ni tuypok wa oka=an kor a=sitoma p ne.**  
 木の陰にいと危ないのです。

ニ トウイカ ワ アシコパシテ ワ オカアン コロ [1]……  
**ni tuyka wa a=sikopaste wa oka=an kor...**  
 木の上にもたれていると

エアシリ ユク ユクトパ サン コロ  
**easir yuk yuktopa san kor**  
 シカの群れが下りてくると

ニ トウイポク ワ オカアン コロ アイヌ ヌカラ ソモ キ プ ネ クス  
**ni tuypok wa oka=an kor aynu nukar somo ki p ne kusu**  
 木の陰にいと（シカから）人間は見えないので、

ニ トウイポク タ ユク ウトモシマ コロ イヤイキプテ プ ネ ナ。  
**ni tuypok ta yuk utomosma kor iyaykipte p ne na.**  
 木の陰でシカにぶつかって危ないのです。

ニ トウイカ トイシペシテ (?) ワ ロシキ ワ イコレ ヤン。

**ni tuyka toysipeste(?) wa roski wa i=kore yan.**

木の上側にしっかりへばりついて(?)立っててください。

アウタリ オピッタ チキモクタ(?) ワ タネ ユク トパ サン ナンコロ ナ。」

**a=utari opitta cikimokuta(?) wa tane yuk topa san nankor na.”**

仲間がみんな追いこんで(?), 今シカの群れが下りてくるでしょう」

セコロ カネ ハウエアン ヒネ ペ ネ クス

**sekor kane hawean hine pe ne kusu**

と話すので

アユピヒ チクニ イコテ ノ ニ トウイカ ワ フルコトツ タ

**a=yupihi cikuni i=kote no ni tuyka wa hurkotor\_ ta**

兄は木に私を結び付け、木の上から斜面に(?)

ニ トウイカ ワ アユピヒ イコトウツカ ワ

**ni tuyka wa a=yupihi i=kotukka wa**

木の上に兄は私をくっつけて

イコツチャケ タ アシ ワ アン ルウエ ネ アクス

**i=kotcake ta as wa an ruwe ne akusu**

私の前に立っていたのだが

ソンノ ポカ イルカ ネ テク コロ

**sonno poka iruka ne tek kor**

本当に、しばらくすると、

オロワノ エアシリ カ シンリムナタラ アイネ

**orowano easir ka sinrimnatara ayne**

あたりがドンドンと鳴り響いて

インネ ユク トパ チサナサンケ。

**inne yuk topa cisanasanke.**

たくさんのシカの群れが下りてきた。



エアシリ カ インネ セコロ アイェ プ アナクネ インネ ユク トパ  
**easir ka inne sekor a=ye p anakne inne yuk topa**  
 本当にたくさんと言われるだけのシカの群れが

チサナサンケ シリ エネ アニ。  
**cisanasanke siri ene an h\_i.**  
 下りてくる様子は次のようだった。

イヌカラ パ プ ネ クス イトゥカリケ ワノ ユク シウサライエ ワ  
**i=nukar pa p ne kusu i=tukarike wano yuk siusaraye wa**  
 私を見たために、私の手前でシカは別れて

オラ シウサライエ ヤク アラム  
**ora siusaraye yak a=ramu**  
 行ったのだと私は思った(?)。

ニ アコトウク ワ オカアン チクニ アシ チクニ トウイポク ウン  
**ni a=kotuk wa oka=an cikuni as cikuni tuypok un**  
 私がくっついている木の下で

ウトモシマ ウミ シンリムナタラ コロ  
**utomosma h\_umi sinrimnatara kor**  
 互いにぶつかり合う音が響きながら、

ウトモシマ フミ アシ パ コロ オロワノ  
**utomosma humi as pa kor orowano**  
 響きあう音を立てながら

ラブ ロク ラブ ロク コロ  
**rap rok rap rok kor**  
 どんどん下りてきて、

オロワノ オックアイポ ウタラ ニマラ ヨコ ワ オカイ ペ ネ クス  
**orowano okkaypo utar nimar yoko wa okay pe ne kusu**  
 若者の半分はそれを狙っていたので

チョツチャ ロク チョツチャ ロク チョツチャ ロク  
**cotca rok cotca rok cotca rok**

どんだん射った。

エアシリ カ シレピッタ  
**easir ka sir epitta**

本当にあたり中に

ユク ライチェピ° チエシ…… アピラサ アペコロ アン ルウエ ネ。  
**yuk raycepi ciesi... a=pirasa apekor an ruwe ne.**

シカの死骸を広げたようになっていた。

コロ オラノ ネロク タネ ユク トパ オカ アン コロ  
**kor orano nerok tane yuk topa oka an kor**

それから、そのシカの群れの後で

オラノ イリ クス  
**orano iri kusu**

皮をはぐため、

コタン コロ オッカイポ° ウタラ イリ コロ オカ ロク アイネ  
**kotan kor okkaypo utar iri kor oka rok ayne**

村の若者たちが解体をし

マカナン ユク リ パ アクス オラノ ウコエマカロシキ ペコロ イキ パ。  
**makanan yuk ri pa akusu orano ukoemakaroski pekor iki pa.**

あるシカの解体をしていると、ひょっと立ちあがって棒立ちになった。

ネプ カ エウコイタク ペコロ イキ パ コロ  
**nep ka eukoitak pekor iki pa kor**

何か話し合うかのようにしていると

ヘタク カ……  
**hetak ka...**

ヘタク カ モイモイパ カ モイモイパ ヘネ キ カ ソモ キ パ ノ  
**hetak ka moymoypa ka moymoypa hene ki ka somo ki pa no**  
 動くこともなく

エマカロシキ ペコロ イキ パ ロク アイネ  
**emakaroski pekor iki pa rok ayne**  
 棒立ちになって立っているとそのうちに

ネア コタン コン ニシパ キヤンネ ポホ エク ヒネ  
**nea kotan kor\_nispa kiyanne poho ek hine**  
 その村長の年長の息子が来て

イトウカリ タ テク……アシ。オンカミ ア オンカミ ア コロ エネ イタキ。  
**i=tukari ta tek...as. onkami a onkami a kor ene itak h\_i.**  
 私達の前に来て拝礼しながらこのように言った。

「エネ アラム ヒ カ イサム シラン アヌカラ ワクス  
**“ene a=ramu hi ka isam siran a=nukar wakusu**  
 「このようなことがあるとは全く思っていなかった光景を私は見たので

カムイ エカッタラ アコウエペケンヌ クス エカン シリ ネ カトウ  
**kamuy h\_ekattar a=kowepekennu kusu ek=an siri ne katu**  
 カムイの子どもたちに尋ねにきました。

ピンネラウ ネ カネ アン ユク トウイエ アヤサクシ  
**pinneraw ne kane an yuk tuye a=yasa akus**  
 オスジカの胃袋を切り裂いたところ

オッシケヘ タ ポン ルプネ アイヌ テケウコパシテ ヒネ ア ワ アン。  
**ossikehe ta pon rupne aynu tekeukopaste hine a wa an.**  
 腹の中に小男が手を合わせて座っていました。

ルウエ ネ ワ エネ アラム ヒ カ イサム。  
**ruwe ne wa ene a=ramu hi ka isam.**  
 そんなことがあるとは思っていませんでした。

エネ アイェ ヒ カ イサム ルウエ ネ ワ エネ ネ クニ  
**ene a=ye hi ka isam ruwe ne wa ene ne kuni**

どうしたらよいのかわからず、どうしたらよいのか

カムイ ヘケッタラ アコウエペンヌ クス エカン。」  
**kamuy hekettar a=kowepennu kusu ek=an.”**

カムイの子どもたちに尋ねにきたのです」

セコロ カネ ハウエアン オリパカ オリパカ コロ エク ヒネ キ アクス  
**sekor kane hawean oripak a oripak a kor ek hine ki akusu**

と言った。慎みながら来て、そのように言うので、

アユピ° エネ ハウエアニ。  
**a=yupi ene hawean h\_i.**

兄はこのように言った。

「ハウエ ネ チキ ホクレ ホクレ。  
**“hawe ne ciki hokure hokure.**

「そういう話であるのなら、急いでください。

ホクレ ウサ ウェン ヌサ エウ…… エチエウトムタテレケ (?) ワ  
**hokure usa wen nusa ew... eci=eutomtaterke(?) wa**

急いで粗末な祭壇を、あちこちに行って(?)

ケネ ネ ヤ アユシニ ネ ヤ ウサ オカ  
**kene ne ya ayusni ne ya usa oka**

ハンノキやタラノキだったので

ウェン ヌサ イワン ヌサ エチカラ ワ  
**wen nusa iwan nusa eci=kar wa**

粗末な祭壇、六つの祭壇を造って

エチアヌ。ホクレ トウナシノ キ ヤン、 キ ヤン。」  
**eci=anu. hokure tunasno ki yan, ki yan.”**

置いてください。さあ、急いでください」

セコロ カネ ハウエアン。

**sekor kane hawean.**

と話した。

オラノ オッカイポ ウタラ インネ プ ネ コロ ウトムタテレケ (?) ヒネ

**orano okkaypo utar inne p ne kor utomtaterke(?) hine**

それから若者たちは大勢なのであちこち飛び回って(?)

ナニ ネ ヌサ イワン ヌサ アカッ テク シリ イキ ア クス

**nani ne nusa iwan nusa a=kar\_ tek siri iki a kusu**

すぐに、その祭壇、六つの祭壇が作られたようで

スイ ネア オッカイポ エキネ

**suy nea okkaypo ek h\_in**

また、その若者がやってきて

「アカラ オケレ。」

**“a=kar okere.”**

「作り終わりました」

セコロ ハウエアナクス

**sekor hawean akusu**

と言うと

「ハウエ ネ チキ ホマカノ ホマカノ オカ ヤン。ヌイナク ワ オカ ヤン。」

**“hawe ne ciki homakano homakano oka yan. nuynak wa oka yan.”**

「そういうことなら、後ろにいて下さい。隠れていてください」

セコロ カネ アユピヒ ハウエアン。

**sekor kane a=yupihi hawean.**

と兄が話した。

「エアニ アナクネ テ タ アン マ イテキ イカランケ エク ノ テ タ アン。」

**“eani anakne te ta an w\_a iteki i=karanke ek no te ta an.”**

「お前はここにいて、決して私の近くに来ることなく、ここにいなさい」

セコロ カネ ハウエアン コロ イホツパ テク ヒネ アラパ ヒネ オラノ  
**sekor kane hawean kor i=hoppa tek hine arpa hine orano**  
 と話すと、私を残し行ってしまつて

ネア ウェン ヌサ、ヌサ ウコウトウル クシ ハウエ エネ アニ。  
**nea wen nusa, nusa ukoutur kus hawe ene an h\_i.**  
 その粗末な祭壇、祭壇のあいだを通りながらこう言った。

イノンノイタク ハウエ  
**inonnoytak hawe**  
 兄が祈る声は

カッコク ハウ ネ オウセ トウルセ ハウエ エネ アニ。  
**kakkok haw ne ouse turse hawe ene an h\_i.**  
 カッコウの声に様にまっすぐ飛んで行った。

「エアシリ カ タン ポン ルプネ アイヌ エネ ワ  
**“easir ka tan pon rupne aynu e=ne wa**  
 「あなたはこの小男で、

コタン ウコパ モシリ ウコパ エキ シンネ カトゥ アナクネ  
**kotan ukopa mosir ukopa e=ki sinne katu anakne**  
 村を間違え、国を間違え、

オロ ウン エアラパ クニ エラム ウシケ  
**oro un e=arpa kuni e=ramu uske**  
 そこへあなたが行こうと思った場所に、

エエハイタ ワ エエク ルウエ ネ コロ  
**e=ehayta wa e=ek ruwe ne kor**  
 あなたは行きついていない様子なので

タパン ヌサ アナク オピッタ ウタン ネ アエコレ。  
**tapan nusa anak opitta utar\_ ne a=e=kore.**  
 この祭壇は全部仲間としてあなたにあげます。

オロ タ エセントネ ワ エトゥラ ワ エアラパ カトゥ

oro ta e=sentone wa e=tura wa e=arpa katu

あなたが船頭となって連れて行く場所は

ニソシッチウ イマカケ タ カムイ メノコ エアニ ネ ヤク エアシリ

nisositciw imakake ta kamuy menoko eani ne yak easir

雲の彼方の女神が、お前でこそはじめて

エアシリ アヤイコトムカ セコロ ヤイヌ コロ エテレ ワ アン ルウエ ネ。

easir a=yaykotomka sekor yaynu kor e=tere wa an ruwe ne.

自分に相応しいと思ってお前を待っているのです。

テエタ ワノ エテレ ワ アン ペ

teeta wano e=tere wa an pe

昔から待っているのだ

エアニ ネ ヤッカ カムイ エネ クシ

eani ne yakka kamuy e=ne kus

あなたもカムイなので、見て、

エヌカラ ワ エウン エアラパ クナク エラム ア プ、

e=nukar wa eun e=arpa kunak e=ramu a p,

そちらへいこうと思っていたのだが、

ナ オックアイポ エネ クス エコワイル ヒネ

na okkaypo e=ne kusu e=kowayru hine

まだ、若者なのでうっかりして

コタン ウコパ モシリ ウコパ エキ ヒネ

kotan ukopa mosir ukopa e=ki hine

村を間違え、国を間違えて

エネ テ タ エヨロツ ワ エエク シリ アニ アエエヤムカラ カ キ。

ene te ta e=yorot wa e=ek siri an h\_i a=e=eyamkar ka ki.

ここにまざって来たのを私は心配していました。

アイヌ アナクネ シケトコ タクネ クス ウサトイネノ コカトゥン カ キ ワ  
**aynu anakne siketoko takne kusu usatoyneno kokatun ka ki wa**  
 人間は見通しがきかないものなので、それぞれの風習があり(?)、

カムイ ネ ヤッカ コオリパク カ エアイカプ ペ ネ クス  
**kamuy ne yakka kooripak ka eaykap pe ne kusu**  
 カムイであってもきちんと敬うことができないので

キキタネクス タパン ヌサ タプ オカイ ペ タオカ カムイ オピッタ  
**kikitane kusu tapan nusa tap okay pe taoka kamuy opitta**  
 どうせなら、この祭壇やこういったもの、このカムイみんな

ウタン ネ エコロ ワ タン テ ワノ エキ ホプニ。  
**utar\_ ne e=kor wa tan te wano e=ki hopuni.**  
 同族として持って、今から飛び立っていきなさい。

エアラパ カトゥ ニソシッチウ エオアラパ ワ  
**e=arpa katu nisositciw e=oarpa wa**  
 あなたが雲の彼方に行って、

カムイ メノコ トウラノ エチウ ヤク  
**kamuy menoko turano eciw yak**  
 カムイの女性と結婚したら

ヤイマクナホラリレ ワ エチエヤイカムイネレ。  
**yaymaknahorarire wa eci=eyaykamuynerere.**  
 夫婦になってあなた達はそれで神格を高められます。

エアラパ ヤクン カムイ メノコ エアシリ カ エヤイコブンテク。  
**e=arpa yakun kamuy menoko easir ka eyaykopuntek.**  
 あなたが行ったらカムイの女性は本当に喜ぶます。

エテレ ワ アン ペ ネ クシ キ オアシ ルウエ ネ ナ。」  
**e=tere wa an pe ne kus ki oasi ruwe ne na.”**  
 あなたを待っているのです、喜ぶますよ。」



セコロ カネ ハウエアン テク ヒネ

**sekor kane hawean tek hine**

と話して、

オラウン ナニ パシ カネ ヒネ エク ヒネ イサム タ エク

**oraun nani pas kane hine ek hine i=sam ta ek**

すぐ走って私の側に来て

イトイコキシマ ヒネ オカアナクス

**i=toykokisma hine oka=an akusu**

私をしっかり掴んでいたところ、

イルカネ テク コン ネア ユク ピシカニケ

**irukane tek kor\_ nea yuk piskanike**

しばらくすると、例のシカのまわりに

ウエン トイラ ウエン ムニラ ウエホプニ ウエシカリ キ ヒネ

**wen toyra wen munira uehopuni uesikari ki hine**

ひどい土埃、ごみ屑が巻き上がり、ぐるぐると

ネロク ヌサ ウエホプンパ ネア ユク ネノ アン マ マウコホプニ

**nerok nusa uehopunpa nea yuk neno an w\_a mawkohopuni**

例の祭壇とともに巻き上がり、そのシカごと風とともに飛びあがった。

ウエシカンナッキ オロ タ キ フミ オロネアンペ トウリミムセ アイネ

**uesikannatki oro ta ki humi oroneanpe turimimse ayne**

そこでぐるぐる回りながら、音が響きわたらせて、そのうちに

ニ タイ エンカ エホプニ オロワノ アラパ フム コ トウリミムセ

**ni tay enka ehopuni orowano arpa hum ko turimimse**

林の上を飛んでいく音が響いた。

ケウロトツケ ニ タイ カイパ コロ アラパ フミ

**kewrototke ni tay kaypa kor arpa humi**

バリバリと木を折りながら行く音が

ネ ワ アン ペ アナク オロネアンペ トゥリミムセ。

**ne wa an pe anak oroneanpe turimimse.**

それらがひとつになって鳴り響いた。

ケウロトツケ コロ トオプ エチュッポクン アオシリムケレ コロ オラウン

**kewrototke kor toop ecuppokun a=osirmukere kor oraun**

バリバリと音を立てながら、ずっと西の方へ行き見えなくなると

「タ…… タネ ピリカ ナ。コタヌトウム……」

**“ta... tane pirka na. kotanutum...”**

「もう大丈夫だ。」

コタヌ ウン ウタラ アラキ ワ エチコロ ユク ウタラ リ ヤン。」

**kotanu un utar arki wa eci=kor yuk utar ri yan.”**

村の人も来てシカを解体してください」

セコロ カネ アユピヒ ハウエアン アクス

**sekor kane a=yupih hawean akusu**

と兄が言うと、

オロワノ ヌイナク ワ オカ ロク ウタラ アルシブシパレ ヒネ

**orowano nuynak wa oka rok utar arusipuspare hine**

それから隠れていた人たちもぞろぞろと出てきて

オラノ アラキ オラノ アユピ コオンカミ ロク コオンカミ ロク

**orano arki orano a=yupi koonkami rok koonkami rok**

やってきて、兄に拝礼し、

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

**i=koonkami rok i=koonkami rok.**

私に拝礼した。

ウオカラパ ウオカラパ

**uokarpa uokarpa**

かわるがわる

オピッタ アラキ ワ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

**opitta arki wa i=koonkami rok i=koonkami rok.**

私達に拝礼した。

「フナクタエパッカ カムイ ヘカッター アトゥラ ワ エキムネアン パ アワ

**“hunaktaepakka kamuy hekattar a=tura wa ekimne=an pa awa**

「ちょうどいいあんばいにカムイの子どもたちを連れて山に来ていたので、

エネ シリキ ヒ アン。ソモ アン ヤクン アコタヌフ

**ene siriki hi an. somo an yakun a=kotanuhu**

こういう結果になったが、そうでなければ私の村には

ネプ ピリカピ アエカラカラ クニ プ ソモ ネ アアン シリ エネ アニ アン。」

**nep pirkapi a=ekarkar kuni p somo ne aan siri ene an h\_i an.”**

何かとんでもないことが起こるといふ事だったわけだ」

セコロ ハウエオカ コロ

**sekor haweoka kor**

と話す時、

エアシリカ イコヤイライケ イイエ ロク イイエ ロク コロ

**easirka i=koyairayke i=ye rok i=ye rok kor**

私達に感謝を言い続けて

オラノ ウサ ウサ ユク シケ キ ヒネ

**orano usa usa yuk sike ki hine**

それから、シカを背負って

スイ アユピヒ アテケ アニ カネ ヒネ オラノ サパン ルウエ ネ ヒネ

**suy a=yupihi a=teke ani kane hine orano sap=an ruwe ne hine**

また、兄は私の手を引き、下りて

オラノ サパン ルウエ ネ。

**orano sap=an ruwe ne.**

行ったのだった。

ネ コタン オツ タ サパン ヒ ワ モイレ

**ne kotan or\_ ta sap=an hi wa moyre**

その村に下りたのは遅くなった。

ネ ロク オツカイポ ウタラ オナハ エコイソイタク ヤイフムセウシパ コロ

**ne rok okkaypo utar onaha ekoisoytak yayhumseuspa kor**

その若者たちは父親に事情を話して聞かせ、魔払いの声を上げると

「タプネ カネ ネ ワ エアシリカ カムイ ヘカッタラ

**“tapne kane ne wa easirka kamuy hekattar**

「このようにカムイの子どもたちが

フナクタエパク イコシネウパ クシケライポ

**hunaktaepak i=kosinewpa kuskeraypo**

ちょうど私のところに訪ねてきたおかげで

アエコタヌフモイレ アアン ペ エネ アラウエンカムイ

**a=ekotanuhumoyre aan pe ene arwenkamuy**

それで村が静かだったということだ。そんな魔物が

エネ ユク トパ オロ オマ ワ サン マ

**ene yuk topa oro oma wa san w\_a**

このようにシカの群れの中に入っていて出てきて

カムイ ヘカッタラ オカ クシケライポ

**kamuy hekattar oka kuskeraypo**

カムイの子どもたちがいたおかげで、

エアラ…… ア…… ニソシッチウ イマカケ ウン アシレパカシヌ ワ

**ear... a... nisositciw imakake un a=sirepakasnu wa**

雲の彼方への道を教えられて

パイェ ワ イサム ルウエ ネ。」

**paye wa isam ruwe ne.”**

行き、いなくなったのだ」

セコロ ハウエアナクス

**sekor hawean akusu**

と言うと、

オラノ ネア チセコン ニシパ ヌペ トウラ オンカミ ア オンカミ ア

**orano nea cisekor\_ nispa nupe tura onkami a onkami a**

その家の主は涙を流しながら拝礼した。

「ソネ…… エネ アン ペ アイクシ ネ ヤッカ

**“sone... ene an pe a=i=kus ne yakka**

「そのようなことがあっても、

カムイ ヘカッター シネウパ タクプ

**kamuy hekattar sinewpa takup**

カムイの子どもたちが訪ねてきてくれたことで

アプンノ キ ヒ イコロパレ

**apunno ki hi i=korporare**

無事だったのだ。

イコシニ タクプ キ ヤッカ アエヤイライケ プ……

**i=kosini takup ki yakka a=eyayrayke p...**

私のところに来てくれただけでも感謝しているのに

ペ ネ アクス エネ ハワシ ヒ アン」

**pe ne akusu ene hawas hi an”**

こんな話になるとは。」

セコロ ハウエアン コロ

**sekor hawean kor**

と言いながら、

エアシリ カ ヌペ トウラ イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク。

**easir ka nupe tura i=koonkami rok i=koonkami rok.**

涙を流しながら私たちに拝礼した。

コタン ウ…… コタン ウン ウタラ カ オピッタ ウエカラパ ワ  
**kotan u... kotan un utar ka opitta uekarpa wa**

村人全員が集まり、

イコオンカミ ロク イコオンカミ ロク  
**i=koonkami rok i=koonkami rok**

私達に拝礼した。

オラノ ケシト ケシト オロ タ ケシト  
**orano kesto kesto oro ta kesto**

それから、日々、そこで、毎日のように

「ナ ヘカッタラ カムイ ヘカッタラ カムイ イコシニ ワ  
**“na hekattar kamuy hekattar kamuy i=kosini wa**

「まだ、子どもたちよ、私のところで休んで

イコロパレ ヤン。シネ ト トウ ト ポカ イコシニ ワ イコロパレ ヤン。」  
**i=korporare yan. sine to tu to poka i=kosini wa i=korporare yan.”**

ください。一日、二日でも休んでください」

セコロ カネ ネア オンネクル ハウエアン ペ ネ クス  
**sekor kane nea onnekur hawean pe ne kusu**

と、その年寄りが言うもので、

オロ タ ネ ユク ネ チキ カムイ ネ チキ エアウナルラ パ ワ  
**oro ta ne yuk ne ciki kamuy ne ciki eawnarura pa wa**

そこに若者がシカでもクマでも獲ってきて

ア…… ア…… アエラマス コロ  
**a... a... a=eramasu kor**

それを楽しみにしながら、

オロ タ シノタン コロ オカアン アイネ オラウン  
**oro ta sinot=an kor oka=an ayne oraun**

そこで遊んでいたのだが、

「タネ アコツ チャシ オルン ホシツパアン クス ネ。」  
**“tane a=kor\_ casi or un hosippa=an kusu ne.”**  
 「もう、家に帰るつもりです」

セコロ アユピヒ ハウエアナクス  
**sekor a=yupihi hawean akusu**  
 と兄がいうので

エネ ネア チセ コロ コタン コン ニシパ ハウエアニ。  
**ene nea cise kor kotan kor\_ nispa hawean h\_i.**  
 このように家の主、村長のニシパは言った。

「ヘタク ヘタク アウタリヒ  
**“hetak hetak a=utarihi**  
 「さあ、村人たちよ。

エアシリ カムイ ヘカッタラ アン クシケライポ  
**easir kamuy hekattar an kuskeraypo**  
 カムイの子どもたちのおかげで

アエウタリモ アエウタリモ プ ネ ハウエ ネ ナ。  
**a=eutarimo a=eutarimo p ne hawe ne na.**  
 私達は平穏にいるのですよ。

コヤイカッピリカレ ワ  
**koyaykatpirkare wa**  
 身ぎれいにして、

ウエン クン ネノ ニシパ ネノ ヤイカッピラ…… カレ  
**wen kur\_ neno nispa neno yaykatpira... kare**  
 貧乏人なりに、ニシパなりに、身ぎれいに

コアシカイ パクノ キ ワ イコレ ヤン。」  
**koaskay pakno ki wa i=kore yan.”**  
 できるだけしなさい」

セコロ カネ ハウエアナクス ネア アユピヒ エネ ハウエアニ。

sekor kane hawean akusu nea a=yupihi ene hawean h\_i.

というと、兄はこのように言った。

「アウニ タ カ

“a=uni ta ka

「私の家にも

ポロンノ アン ペ イコン ネ イコロ アナクネ イヨイペ アナクネ

poronno an pe ikor\_ ne ikor anakne iyoype anakne

宝物でも食器でもたくさんあり、

イカシマ パクノ ポロノ アコロ ペ ネ ルウエ ネ。

ikasma pakno porono a=kor pe ne ruwe ne.

あまるほど持っています。

イコロ アナク イヨイペ アナク アコン ルスイ カ ソモ キ コロカ

ikor anak iyoype anak a=kor\_ rusuy ka somo ki korka

宝物も食器もほしいと思わないけれども、

アイヌ アコン ルスイ ルウエ ネ ナ。

aynu a=kor\_ rusuy ruwe ne na.

人がほしいのです。

ハウエ ネ チキ イコロ アッカリ ネプ アッカリ

hawe ne ciki ikor akkari nep akkari

そういうことなら、宝物より何より

アイヌ ポンノ アイコロパレ コロ ウエン ペ ヘ アン?」

aynu ponno a=i=korporare kor wen pe he an?”

人を少しでも連れて行ってはだめでしょうか」

セコロ カネ チセ コン ニシパ エウン ハウエアナクス

sekor kane cise kor\_ nispa eun hawean akusu

と家の主のニシパに向かって話すと



「ピリカ ハウエ ネ ネ。ピリカ ハウエ ネ。」

“pirka hawe ne ne. pirka hawe ne.”

「いいでしょう。いいでしょう」

「オラウン トオ チセ コロ イマツネポネ アオカ トウン アネ プ ネ クス

“oraun too cise kor imatnepone aoka tun a=ne p ne kusu

「それからあの娘さんは、私たちは二人なので、

ヘカチ パテク アネ クス スケ カ アエウコヤイランペウテク

hekaci patek a=ne kusu suke ka a=eukoyayranpewtek

男の子ばかりなので、料理の仕方も分からなかった。

マカナン コロ キ コロ オカイ ペ アネ アクス

makan an kor ki kor okay pe a=ne akusu

どうにかしていたのだったけれど

スケ ワ イイペレ クス ソモ アイトゥラレ ルスイ ルウエ ヘ アン？」

suke wa i=ipere kusu somo a=i=turare rusuy ruwe he an?”

料理をして食べさせてもらうために連れて行きたいけれど、どうでしょうか」

セコロ カネ ハウエアン。アユピヒ キ アクス

sekor kane hawean. a=yupihi ki akusu

と兄がそう言うと

「ピリカ ハウエ ネ。ピリカ ハウエ ネ。」

“pirka hawe ne. pirka hawe ne.”

「いいでしょう。いいでしょう。」

セコロ カネ ハウエアン コロ

sekor kane hawean kor

と話すと、

オラノ ネア ウタラ ポイセレ アイコロパレ ルウエ ネ ヤカイエ。

orano nea utar poyser a=i=korporare ruwe ne yak a=ye.

人々の何人かを連れて行ってもいいといった。

エヤイコプンテク パ コロ コロ ワ オカイ ペ ウサ ウサ セ カネ オカ ワ  
 eyaykopuntek pa kor kor wa okay pe usa usa se kane oka wa  
 彼らは喜びながら、持って行くものを背負いながら

イトウラ パ ネア ポン メノコ カ アイトウラレ ヒネ イトウラ ワ サン。  
 i=tura pa nea pon menoko ka a=i=turare hine i=tura wa san.  
 ついてきた。その女の子も連れられて一緒に下りた。

ネア オックアイポ ポニウネ ヒケカ アイトウラレ。  
 nea okkaypo poniwne hikeka a=i=turare.  
 その若者の年少の方も連れられて来た。

ポロ ヒケヘ オンネ ウタラ エプンキネ クス  
 poro hikehe onne utar epunkine kusu  
 大きい方は年寄を守るために

アアヌ ヤク チセ コロ クル イエ プ ネ クス  
 a=anu yak cise kor kur ye p ne kusu  
 残すと家の主が言うので

ポニウネ クル イトウラ  
 poniwne kur i=tura  
 年少の人を連れて行った。

マタパ トウラノ イトウラ パ ヒネ モヨ ノ ウタン ネ コロカ  
 matapa turano i=tura pa hine moyo no utar\_ ne korka  
 妹も連れて行き、少ない人数ではあったが

アイトウラレ ヒネ サパン ルウエ ネ。  
 a=i=turare hine sap=an ruwe ne.  
 私達と一緒に行ったのだった。

アコロ オタサム タ サパン ルウエ ネ  
 a=kor Otasam ta sap=an ruwe ne  
 私達のオタサムまで下り、

オラノ イトゥラ ウタラ コタン カラ ウカスイ

**orano i=tura utar kotan kar ukasuy**

それから一緒に行った人々で村づくりを助け合い、

ウタシパ ア ウタシパ ア アエウカスイ ワ チセカラパ

**utaspa a utaspa a a=eukasuy wa cisekarpa**

代わる代わる助け合って、家を作った。

エウモンポクトウシマク パ。

**eumonpokusmak pa.**

忙しく働いた。

コタン ノシキ タ アウニヒ アン クニ ネ イピシカニケ タ

**kotan noski ta a=unihi an kuni ne i=piskanike ta**

村の中心に私の家があり、その周りが

イランマカカ シラン ペ ネ クス

**iramamakaka siran pe ne kusu**

きれいに開けた場所なので

チセカラ パ エウモンカタウヌレプ アイネ ピリカ モヨノ コタン ネ コロカ

**cisekar pa eumonkataunurep ayne pirka moyono kotan ne korka**

家を作った。頑張って、きちんとした、小さな村ではあるが

ピリカ コタン ネ アン ルウエ ネ ヒネ

**pirka kotan ne an ruwe ne hine**

いい村となり、

オラ ネア ポニウネ オッカイポ アナクネ イソイケヘ タ ウニ アカラ ワ

**ora nea poniwne okkaypo anakne i=soykehe ta uni a=kar wa**

それから年少の若者は、私の家の近くに家を作り

エアシリ イリワク アユピヒ トウラノ イリワク コラチ

**easir irwak a=yupihi turano irwak koraci**

本当に兄も含めて兄弟のように

アオカ トウラノ イリワク コラチ ウラムアン ウタシパ キ コロ  
**aoka turano irwak koraci uramu=an utaspa ki kor**  
 私達は兄弟のように互いを思っていたのだが、

オロワノ ネ シリ エネ アニ。  
**orowano ne siri ene an h\_i.**  
 それから次のような様子だった。

オロヤチキ アユピヒ ウエインカラクン ネ アアン マ  
**oroyaciki a=yupihi ueinkarkur\_ ne aan w\_a**  
 気が付いてみると、兄は千里眼を使う人であり、

ネイ タ カ ネプ カ アエキマテク ペ ヘネ オカ クシ ネ コロ  
**ney ta ka nep ka a=ekimatek pe hene oka kus ne kor**  
 いつも何か私達を脅かすようなことがあれば

ルウェトク オロケ シックシパレ プ ネ プ ネ クス  
**ruwetok orke sikkuspare p ne p ne kusu**  
 先々まで見通すので

エウン イカ オパシ ワ イカ オピウキ ワ ネ ヤ  
**eun ika opas wa ika opiwki wa ne ya**  
 どこに人を助けに行き、救いに行くか、

エネ ネ ワ ピリカ クニ エイパカシヌ ネ ヤ キ プ ネ クス  
**ene ne wa pirka kuni eypakasnu ne ya ki p ne kusu**  
 どうしたらよいかを教えてやるので、

エアシリ カ イコロ ピリカ ヒ イヨイペ ピリカ ヒ  
**easir ka ikor pirka hi iyoype pirka hi**  
 宝物のいいものも、食器のいいものも

ネイ タ ネ ヤッカ イカ ウン アオクシパレ  
**ney ta ne yakka i=ka un a=okuspare**  
 いつも私のところに集まって、

ウサ オカイ ペ ピリカ ヒケ パテク

**usa okay pe pirka hike patek**

いろいろといいものばかりを

アイコヌムケ ワ アイコロパレ プ ネ クス

**a=i=konumke wa a=i=korpare p ne kusu**

私に選んでくれたので

アコロ ポロ チャシ キリテク カネ アカラ

**a=kor poro casi kirtek kane a=kar**

私の大きな館は一杯になって、

ネア イトゥラ オッカイポ カ ピリカ メノコ アエエトゥンカ

**nea i=tura okkaypo ka pirka menoko a=eetunka**

私と一緒に来た若者もきれいな女性を嫁にした。

タネ アナクネ アコロ ユピ カ シオッカヨ ネ プ ネ クス

**tane anakne a=kor yupi ka siokkayo ne p ne kusu**

もう兄も一人前の男になったので、

ピリカ メノコ ヤイエトゥンカラ ヒネ トウラノ オカアン

**pirka menoko yayetunkar hine turano oka=an**

きれいな女性を嫁にし、一緒に暮らしていた。

ピリカ メノコ ヤイエトゥンカラ でない ネア イトゥラ ポン メノコ アナク

**pirka menoko yayetunkar DENAI nea i=tura pon menoko anak**

きれいな女性を嫁にしたんじゃないなかった。一緒に来た女の子は

アコロ ユピ コロ ヒネ オラノ トウラノ オカアン。

**a=kor yupi kor hine orano turano oka=an.**

兄と結婚し一緒に暮らしていた。

アシヌマ カ タネ アナクネ シオッカヨ アネ クス

**asinuma ka tane anakne siokkayo a=ne kusu**

私ももう、一人前の男になったので、

ピリカ メノコ アユピヒ イエエトゥンカラ ヒネ

**pirka menoko a=yupih i=eetunkar hine**

きれいな女性と、兄が結婚させ

オラノ ウソイタ ウソイタ ルプネ チセ アカラ ワ オロ タ オカアン マ

**orano usoyta usoyta rupne cise a=kar wa oro ta oka=an w\_a**

それから、隣り合って大きな家を作って、そこで暮らしていた。

アアスルフ オタサムン ウタラ セコロ ハワシ コロ アアスル アシ

**a=asuruhu Otasam un utar sekor hawas kor a=asuru as**

私達の噂はオタサムの話として噂になった。

カムイ カムイ サシニ ウタラ セコロ カネ ハワシ コロ アアスル アシ ワ

**kamuy kamuy sasini utar sekor kane hawas kor a=asuru as wa**

カムイの子孫である者たちという話として噂になり、

ハンケ トウイマ アエラナク ペ

**hanke tuyma a=eranak pe**

近くの心配事も遠くの心配事も、

トゥ モト オロケ アコロ ユピ ピタ プ ネ クス

**tu moto orke a=kor yupi pita p ne kusu**

兄は原因を解き明かすので、

ヌカラ ペ ネ クス エネ ネ ワ ピリカ クニ エイパカシヌ

**nukar pe ne kusu ene ne wa pirka kuni eypakasnu**

兄には原因はが見えるので、どうしたらよくなるかを教えて

モシッ トウイカ タ アスル アシ コロ オカアン ペ

**mosir\_ tuyka ta asuru as kor oka=an pe**

国に噂が立っていたのだが、

オタサムン ヘカッター アネ アクス アイエ ナ。

**Otasam un hekattar a=ne akusu a=ye na.**

オタサムの子どもたちが私で、話すのですよ。

セコロ オタサムン カムイ ヘカッタラ イソイタク。

**sekor Otasam un kamuy hekattar isoytak.**

とオタサムのカムイの子どもたちが話した。

(萱野：あー、それはどうもありがとうございます)

**【注】**

[1] この行は、言いさしと考えた。これ以降の鹿追い見学の注意事項、鹿追いの描写に関しては、解釈上の疑問点が多く残っている。

## 10-2 日付紹介 ウエペケレ「オタサムン カムイ ヘカッタラ」

## 解説

語り手：平賀さだも  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、昭和44年2月、今日は17日です。平賀さだもさんに uepeker [散文説話] をやってもらいました。今の uepeker はこれ、えー、題は Otasam un kamuy hekattar [オタサムの神様の子どもたち] と、いわゆる、オタサムというのは今風に言えばあの、小樽だとも聞きますが

平賀：小樽

フチ：小樽だね。

萱野：その、小樽にいわゆる神童といいましょうか、神様の子どもと俗に言われながら、わたくしたち2人、兄弟で生活をしておりました。今語っておるのは2人兄弟の弟のほうが、そのいろいろな生活のことを話をしておるわけです。

えっと、わたくしたち兄弟、何不自由なくということは無いわけですね、今の場合は、父もいなければ母もおらずに2人だけが生活をしていった。

ある日のこと兄は「石狩のほうへ遊びに行きたいから行きましようよ。」というわけでその、わたくしを誘ったので2人で石狩のほうへ遊びに来た。そしてまあ、何十戸かの部落へ来て、そのの酋長の家へ2人で行ったと、そのあたりはまあ他の uepeker [散文説話] に、どれにも出てくるわけですが、非常にそのへんの描写は細かく出て、まあ2人の少年が尋ねて来て、その家へ来る。そして、外で立って戸口をこう叩く、いわゆる、いざないを問うわけですが、そういう場合でも非常にその細かく描写してあります。

そうすると家の中から女の人がそっとその簾を斜めに開けて、そしてそれをその「誰それさんらしき人が来ていますよ。」と家の中へ言うと「それは多分その、小樽の有名な、kamuy hekaci [神様の子ども] ではないだろうか、神様の子どもではないだろうか、すぐに招き、まあ招じ入れ



たらいいでしょう。」と、というようなことを中で声があった。

すると中では、どの **uepeker** [散文説話] にもやはり出るんですけれども、箒を使った音、それからこう新しい敷物 **toma** [ござ] といいますがその、ござを敷いておる音、そうしたことなんかがあって「さあさあ」と言われて中へ入る。そしてあの **aynu** [アイヌ] ふうに言うといわゆる横座のほうへ兄が座り、その横へわたくしも座ったというふうに始まるわけです。

そしてそこのお爺さんに「どちらからですか?」「小樽から来た」「ああそうでしたか、有名なあの、**kamuy hekaci** 神の子どもでしたか。」と言われながら話をし、まあ夕方になるとその2人の息子が肉なんかを背負って山から帰って来る。

そうすると、またその人たちも入って来て、まあ型のように挨拶をして、いろいろな話から夜になって、「せっかく遊びに来てくれたのに、何をして皆さん、まあ来たその、**kamuy hekaci** と言われるその子どもたちに見せたらいいの?」と、まあ相談が始まる。それならその、鹿を

平賀：**ukoyukokewe** [一緒に協力して鹿を追い出す] と言う。

萱野：うん、**ukoyuk'okewe** と言ってその鹿を、ぼい [追い] 下ろしてそれをまあ叩いて獲ったり撃って獲ったりというようなそういう、まあ1つの行事みたいな遊びがあるからそれをやろうではないかということに、そこのお爺さんと息子たちが相談して決まったと。

そしてそれからまあ、夜が明けてその山へ行く、そうするとその辺りなんかまあ、昔のその鹿の多いさまが非常によくでおるんですけれども、まあ、2隊になって、いわゆる勢子がこう右から左からと、追ってくる、一か所へ鹿がもう、わんさと集まって、それを撃ったり叩いたりしてまあ、獲ったと。そして皮剥ぎが始まったら、1頭の

(電話のベル)

萱野：ん、ん、ん…… どっこいしょ、どこまで言ったんだったけな一つと、

平賀：ん…… ねえ、

萱野：あー、山行って鹿をあれして、え一つと、

平賀：まずその腹切ってみたところ

萱野：うん、腹切ったところだな。

平賀：腹切るところだ。

萱野：うんそう。えー iri [皮剥ぎ] が始まって、iri と言うのは皮剥ぎが始まって、皮を剥いでいる1つの組の中で何かその皮剥ぎをしている腹を裂いている時に棒た……棒立ちになって、若い人たちがもう、何ちゅうかな身じろぎもしないというようなことであるのを……いる1組があったと。

そしたらそこ、そのうちの若い人がまあ来て私の兄にいうのには、何かその、鹿の腹を裂くと、雄鹿なのにその鹿の腹の中では、子どもだな？  
うんと、

平賀：子ども an pe [である者] (?) パッ……河童。

萱野：ん？

平賀：河童のこと pon [小さい]

萱野：あーなる (ほど。)

平賀：pon rupne aynu [小さい大人の男] って言うの。

萱野：あーpon rupne aynu ほー

平賀：小人の恐ろしい河童のこと

萱野：あーなるほど、河童のこと

平賀：うん。pon rupne aynu って言えば河童のこと。

萱野：あーなるほどね。その河童が入っていたと。してそれ「どうしたらいいんだらうか？」と言ってきた。それを聞いたらその兄は非常にその顔色を変えて驚いてそれで大急ぎでその、wen nusa [悪い祭壇] と言って aynu

はこのいろんな祭壇作る場合でも材料によって、いい神様にあげる祭壇と悪い神様にあげる祭壇があるんだが、その悪い神様にあげるところの材料使って **nusa** を作れと、祭壇を作れと。それもまあ、6つの種類を作るんだと。それをまあ、大急ぎで作るったらまあ若い人沢山おるので、大急ぎでそれを作った。

そしたら兄だけが行って、まあその、魔物である河童に言うのには、「お前はここへ迷って来たんだと。お前のお嫁になるのは、ずっとずっとあの、**nisositciw imakaketa** [雲を突き抜けたその向こう] と言ったかな？ いや、どこちゅったっけ？

平賀：うん、そう **nisositciw imakakete** と言うから、お日様の入る下っちゅうんだね。

萱野：あーなるほどね。その

平賀：地球の下っちゅうことかな？

萱野：その、いわゆる西の国にずっともう普通では人間も住めないような国へ行くと、行けと。そこではお前を待っている何々の悪い神様……、じゃなくて、まあその河童に言えばお前の連れ合いなる者も待っているから」と、うまく言い含めてさっと身をかかわすと、その兄がそこを離れて……離れると同時に今その腹を裂いた鹿とか、それからその **wen inaw** [悪いイナウ] という悪いイナウと共にその、風を巻いて

平賀：竜巻だ。

萱野：竜巻が起こるようにしてその飛んでいったと。それを見てまあ、村の人たちもほっと胸をなでおろして、まあ家へ帰った。そしたら兄たちはさっそく爺さんに報告をして、「今日はこうこうでした」と。したら、「いや、それはおかげさんで、この村に何か災いが起こるはずが、**kamuy hekaci** であるあんたたちが来てくれたおかげで、何でもない。本当に有難うございました。」と言ってたくさんのお礼の品物と、それから何人かの人を分けてもらって私たちは **Otasam** の私たちの村へ帰って何不自由なく生活をしておりました。

そして、私の兄は **ueinkar** [千里眼で見通す] と言ってその全てのことをこう見通す力があつた人なので、近隣近在の心配事は全部

平賀：千里眼だな。

萱野：うん、全部それを行って治してやったり、どう処置するかということをしてやるので、だんだんだんだん名声も高まり、何不自由なく私たちは生活をしておりましたと、Otasam の kamuy hekaci が言いました。

平賀：hekaci が語ったと。はい（笑）

萱野：えー、というわけでしたね。

平賀：そうよ。

萱野：この uepeker [散文説話] の場合なんかこれまあ私が喋るといづれの場合もそう丁寧に行かないんですけれども、実際はその歩く仕草、矢を撃つ仕草も 1 つ 1 つ実にその丁寧に、aynu 風に言うと。矢を撃つ構えから、あるいはあのよその家へ訪ねて行った、あるいは onkami [男性の挨拶] をする挨拶をする仕草ですね。

そうしたことなどが実に細かにその、出ておるまあ、ものなのです。まあこうしたのはいづれ、もうあの一項目ごとに、一項目というか、一言一言区切って、えーまあ活字にする時代があれば、これ非常に嬉しいわけですね。

## 10-3 ウエペケレ

### 「ウラユシウンクル」

#### ウラユシの人

(最後テープ切れで本編中断)

語り：平賀さだも

イシカラ ホントモ コロ ニシパ セコロ アイェ コロ アン ペ アネ ヒケ

**Iskar hontomo kor nispa sekor a=ye kor an pe a=ne hike**

石狩の中流のニシパと私は言われているものであり、

エアシリ カ プリピリカアン。イソナン。

**easir ka puripirka=an. ison=an.**

本当に行いも良く、狩もうまい。

ネプ ネ ヤッカ アエアイカピ° イサム。

**nep ne yakka a=eaykap h\_i isam.**

何にしても私が下手であることはない。

かやの さん コラチ ネプ ネ ヤッカ アエアイカピ° イサム。

**KAYANO SAN koraci nep ne yakka a=eaykap h\_i isam.**

萱野さんのように何に関してもできないということはない。

パルンクル アネ、シサム イタク カ アエアシカイ。

**parunkur a=ne, sisam itak ka a=easkay.**

雄弁で日本語も良くでき、

アイヌ イタク カ アエアシカイ。

**aynu itak ka a=easkay.**

アイヌ語も良くできる。

イソナン ペ ネ クス ふふふ  
**ison=an pe ne kusu HUHUUH**  
 狩も上手なので

エアラキンネ ふふ クカラク<sup>[1]</sup>、 かやの クカラク ネノ カネ  
**earkinne HUUH ku=karku, KAYANO ku=karku neno kane**  
 山に行くと、フッフ、私の甥、萱野さんのように

アサパ カ ピリカ プ ネ クス  
**a=sapa ka pirka p ne kusu**  
 私は頭も良いので

アコタヌ ウン ウタラ オピッタ イエオリパク パ。  
**a=kotanu un utar opitta i=eoripak pa.**  
 私の村の人たちはみんな私を敬っている。

イネアプ クスン アイエオリパク ワ シリ キ ヤ カ アエラミシカリ。  
**ineap kusun a=i=eoripak wa siri ki ya ka a=eramiskari.**  
 こんなにも敬われているのは他に私が見たこともないほどだった。

オラ ネプ イエトク タ アアヌ ペコロ チカシヌカラアン ペ ネ クス  
**ora nep i=etok ta a=anu pekor cikasnukar=an pe ne kusu**  
 それから、私の前に(獲物が)置いてあるかのように、恵まれていたので

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ペ ネ コロカ  
**nep a=kor\_ rusuy ka somo ki pe ne korka**  
 何を欲しいとも思わずにいたのだが、

トノコウイマムアン、シネパ アラスイ ネ ランケ キ コロ  
**tonokouymam=an, sinepa arsuy ne ranke ki kor**  
 和人のところへ交易に一年に一度ずつ行くといった感じで、

ポ ヘネ エアシリ トノ コタン タ アラパアン マ  
**po hene easir tonoko tan ta arpa=an w\_a**  
 何度も和人の村へ行っていて、

ランマ オロ タ アラパアン ランケ。

**ramma oro ta arpa=an ranke.**

いつもそこに行くのが習慣になっていた。

トノ オツ タ アラパアン コロ アナクネ

**tono or\_ ta arpa=an kor anakne**

和人のところへ行くと

ヤイカタ アポホ ヘネ アラム シンネ ノ カネ

**yaykata a=poho hene a=ramu sinne no kane**

自分の子どもを思うかのように

アコツ トノ イエオリパク ワ エアシリ カ イエオリパク。

**a=kor\_ tono i=eoripak wa easir ka i=eoripak.**

私のお得意様の和人は私を敬い、本当に大事にしてくれた。

ピリカ イコロ キ。 イエヤム ノ イレウシレ。

**pirka i=kor ki. i=eyam no i=rewsire.**

私を大切にし、気遣い泊らせた。

あしがる ウタラ カ ポロンノ オカイ ペ ネ クス アイエブンキネ。

**ASIGARU utar ka poronno okay pe ne kusu a=i=epunkine.**

足軽たちもたくさんいるので、私は守られていた。

アラパアン コロ ナニ イサム マ アケマ カ アフライエ。

**arpa=an kor nani i=sam w\_a a=kema ka a=huraye.**

行くとすぐに私の側から私は足を洗われ、

アテケ カ アフライエ。

**a=teke ka a=huraye.**

手も洗われた。

イランマカカ キ ワ トノ コロ ざしき オロ アイオマレ。

**iramamakaka ki wa tonokor ZASIKI or a=i=omare.**

きれいにして和人の座敷に私を入れた。

アシケヘ オラノ アピタツパ ワ

**a=sikehe orano a=pitatpa wa**

それから荷物を私は解き、

マカン アコツ トノ ラム イケ ヤイカタ ウニ タ アリ。

**makan a=kor\_ tono ramu h\_ike yaykata uni ta ari.**

ある時は、殿様が気に入った方を自分の家に置き

マカン ラム ヒケ フンタ コツパ ワ ソ…… アソイエンパレ。

**makan ramu hike hunta kotpa wa so... a=soyenpare.**

ある時は、気に入った人が札を付けて、外に出した。

ナ エケシンネ アソイエンパレ プ ネ シリキ

**na ekesinne a=soyenpare p ne siriki**

あちこち外に出した。

コロ オラノ アナクネ ウサ イミ キンカイ ネ チキ

**kor orano anakne usa imi kinkay ne ciki**

すると、それからは着物の荷やら、

ウサ アمام キンカイ ネ チキ サケ オンタロ ネ チキ

**usa amam kinkay ne ciki sake ontaro ne ciki**

穀物の荷やら、酒樽やら

ウサ アコン ルスイ ペ、ウサ チョイペプ オツ タ イコロ オツ タ

**usa a=kor\_ rusuy pe, usa coypep or\_ ta ikor or\_ ta**

欲しいものを、食器でも宝物でも

アエヤ…… アエヤイチプシケカヌカラ カネ ワ リヤナン (?) ランケ。

**aeya... a=eyaycipsikekanukar kane wa riyann=an(?) ranke.**

積んだ舟の積み荷を見ながら戻ってきた(?)。

シネパ アラスイ ネ ランケ アラパアン マ キ コロ アン ペ アネ イケ

**sinepa arsuy ne ranke arpa=an w\_a ki kor an pe a=ne h\_ike**

一年に一度そうやって行っていたのだが、



イヌアナウエ エネ アニ。  
**inu=an h\_awe ene an h\_i.**  
 このような話を聞いた。

「ウラユシ ウン クル パクノ ウエン ケウトウム コロ ペ  
**“Urayusi un kur pakno wen kewtum kor pe**  
 「ウラユシウンクルほど悪い心を持った者は

イサム ペ ネ ヒネ  
**isam pe ne hine**  
 おらず、

エアシリ カ キムケ クシ ペ コマウタサ ピシケ クシ ペ コマウタサ  
**easir ka kimke kus pe komawtasa piske kus pe komawtasa**  
 山を通るものの匂いを嗅ぎ、浜を通るものの匂いを嗅ぎ

ユク ロンヌ ペ コウイナ カムイ ロンヌ ペ コウイナ  
**yuk ronnu pe kouyna kamuy ronnu pe kouyna**  
 シカを獲ったものから奪い、クマを獲ったものから奪っている。

パク ウエイサンペコロ ペ ネ。」  
**pak weysampekor pe ne.”**  
 これほどまでに精神の悪い者なのだ」

セコロ カネ ハワシ アヌ コロ アナン ペ ネ。  
**sekor kane hawas a=nu kor an=an pe ne.**  
 という話を私は聞いていたのだった。

「マカナク キ プ エネ フナク エク ペ エネ ハウエアン コロ  
**“makanak ki p ene hunak ek pe ene hawean kor**  
 「いったいどんなものがどこから来て、そんな話になって(?)

ウラユシ タ アン ハウエ アニ アン？」  
**Urayusi ta an hawe an h\_i an?”**  
 ウラユシにいるという話なのだ？」

セコロ ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ。

sekor yaynu=an kor an=an pe ne.

と思いながらいた。

アオヤモクテ ハワシ ネ コロ アナン ペ ネ ア プ、

a=oyamokte hawas ne kor an=an pe ne a p,

疑問に思う噂であったのだが、

シネアンタ スイ ヤイエトコイキアン アイネ

sineanta suy yayetokoyki=an ayne

ある日、また準備をして

スイ ウイマムアン クニ アラム クス ヤイエトコイキアン。

suy uymam=an kuni a=ramu kusu yayetokoyki=an.

交易に行こうと思い、準備をした。

ウサ チホキ アカラ ア アカラ ア

usa cihoki a=kar a a=kar a

毛皮をたくさん作って

イランマカカ アトムテ ノ アカラ ペ ネ クス

iramamakaka a=tomte no a=kar pe ne kusu

丁寧にきれいに作ったので

エアシリ カ トノ ウタラ カ エウコヤイコプテク ノ

easir ka tono utar ka eukoyaykoputek no

本当に殿様達も喜んで

ア……… ウホブンパレ ノ

a... uhopunpare no

いっせいに立ち上がって

アウコエトウシマク チホキ パテク アカラ ペ ネ クス

a=ukoetusmak cihoki patek a=kar pe ne kusu

先を争うような毛皮ばかり作ったので、

スイ ピリカ チホキ アカラ ア アカラ ア アカラ ア ワ  
**suy pirka cihoki a=kar a a=kar a a=kar a wa**  
 いい毛皮を作って作って作って

アクサ エアシカイ パクノ アカラ ヒネ アエヤイエトコイキ。  
**a=kusa easkay pakno a=kar hine a=eyayetokoyki.**  
 舟で運べるだけ運べるほど作って用意した。

「ナ ヘンパク ト カ アナン コロ オラウン レプナン ナンコロ。」  
**“na henpak to ka an=an kor oraun repun=an nankor.”**  
 「あと何日かしたら出よう」

セコロ ヤイヌアン コロ アナン ア プ、  
**sekor yaynu=an kor an=an a p,**  
 と思っていたのだが、

シネアンタ エソイネ フマシフマシ、ハワシハワシ ヒネ  
**sineanta esoyne humashumas, hawashawas hine**  
 ある日、外から音がし、声がして、

アマチヒ ソイネ アクス アプンノ アフン ハウエ エネ アニ。  
**a=macihi soyne akusu apunno ahun hawe ene an h\_i.**  
 妻が外に出たところ、静かに入ってこのように言った。

「エアシリ カ ソイ タ  
**“easir ka soy ta**  
 「外に、

オッカイポ カ ウタラパケ エアシリ ヤヤン アイヌ オアラ ソモ ネ ノ  
**okkaypo ka utarpake easir yayan aynu oar somo ne no**  
 若者でも立派な人、普通の人間ではないように

アヌカラ フミ アン ペ ソイ タ エク ワ アン。」  
**a=nukar humi an pe soy ta ek wa an.”**  
 見える人が来ています」

セコロ ハウエアン マ アヌ ヒケ

**sekor hawean w\_a a=nu hike**

と言うのを私は聞いて

「ソモネイペカ ウラユシ ウン クル セコロ アイェ プ、

**“somoneypeka Urayusi un kur sekor a=ye p,**

「あろうことかウラユシウンクルというもの、

アスラシ ペ エ ネ アワ イコサン ハウエ ソモ ヘ アン？」

**asuras pe h\_e ne awa i=kosan hawe somo he an?”**

噂のものが私のところへやって来たという話ではないのか」

セコロ ヤイヌアン。

**sekor yaynu=an.**

と思った。

ヤイヌアン コロカ

**yaynu=an korka**

思ったのだが、

「ウナフンケ。

**“unahunke.**

「中に入れなさい。

ホクレ オロ…… オリパク ピリカノ オリパクノ ウナフンケ。」

**hokure or... oripak pirkano oripakno unahunke.”**

ちゃんと丁重に招待しなさい」

セコロ アマチヒ アイェ ルウエ ネ アクス

**sekor a=macihi a=ye ruwe ne akusu**

と妻に言うと

ソイネ ヒネ ウナフンケ ルウエ ネ ワ

**soyne hine unahunke ruwe ne wa**

外に出て招待して、

アイヌ アフン マ エカリ アヌカラ ヒケ

**aynu ahun w\_a ekari a=nukar hike**

人が入ってくるのを見たのだが

エアシリ カ オッカイポ カ ウタラパケ ソモ アナク アイヌ サニ ネ シリキ

**easir ka okkaypo ka utarpake somo anak aynu sani ne siriki**

本当に若者でも立派で人間の子孫でもないようだった。

カムイ シリ ネ アン クル ネ ヒネ

**kamuy siri ne an kur ne hine**

カムイのような人で

アフン トイ トウカリ エアパマカ ヒネ アフン ヒネ

**ahun toy tukari eapamaka hine ahun hine**

入口の手前で戸をあけて入ってきて

アペ エトク タ ア クニ アカラ ワ アン ペ ネ クス

**ape etok ta a kuni a=kar wa an pe ne kusu**

横座に若者が座るように私がしておいたところ、

アペ エトク タ ア ヒネ

**ape etok ta a hine**

若者は横座に座り、

アエランカラプ ウエランカプアン ルウエ ネ コロ オラウン

**a=erankarap uerankap=an ruwe ne kor oraun**

私たちは挨拶して、それから

「オッカイポ ニシパ、フナク ワ アプカシ クン ネ ルウエ アン？」

**“okkaypo nispa, hunak wa apkas kur\_ ne ruwe an?”**

「若いニシパ、どこから来た方なのですか」

セコロ ウエペケンヌアナクス

**sekor uepekennu=an akusu**

と尋ねたところ、

「ウラユシ ウン クル アネ ルウエ ネ。

“Urayusi un kur a=ne ruwe ne.

「私はウラユシウンクルです。

ウラユシ ワ…… ウラユシ ウン ウエンクル アネ ルウエ ネ。」

Urayusi wa... Urayusi un wenkur a=ne ruwe ne.”

ウラユシの貧乏人です」

セコロ カネ ハウエアン。

sekor kane hawean.

と言った。

イ オラウン…… オラノ アマチヒ スケ ピリカ スケ キ ワ コイプニ。

h\_i oraun... orano a=macihi suke pirka suke ki wa koypuni.

それから妻がきちんと料理をして差し出した。

エアラキンネ オリパク エアシカイ ノ カッコロ シリ アン。

earkinne oripak easkay no katkor siri an.

大変に行儀のよい様子だった。

ネ アスルアシ クン ネ カトゥ カ アエランペウテク。

ne asuruas kur\_ ne katu ka a=erampewtek.

あの噂の人物の様子であるとは思えなかった。

ネプ イイエ ヤツカ

nep i=ye yakka

何を話すにも、

ラムアン イタク オリパク イタク エイワンケ ハウエ アオクヌレ カ キ。

ramuan itak oripak itak eywanke hawe a=okunure ka ki.

賢い言葉、丁寧な言葉を使って話すのにも驚いた。

オッカイポ ピリカ ルウエ カ イヨクヌレアン。

okkaypo pirka ruwe ka iokunure=an.

若者の美しさにもびっくりした。

ソモ アナク アイヌ サニ ネ ノイネ アヌクラ…… アヌカラ フミ アン コロ  
**somo anak aynu sani ne noyne anukura... a=nukar humi an kor**  
 人間の子ではないかのような感じでありながら

オラノ ス…… スンケ アシ ペ ソネ アシ ペ アイェ コロ  
**orano su... sunke as pe sone as pe a=ye kor**  
 それから、ウソだか本当のことだかを私は言いながら

アエウエネウサラ コロ オカアン アイネ  
**a=euenewsar kor oka=an ayne**  
 語り合っていたところ、

アイタクトゥル テレテレ ヒネ エネ イタキ。  
**a=itakuturu teretere hine ene itak h\_i.**  
 若者は私の言葉が途切れるのを待ってこのように話した。

「ウエン カス イコイトウパ プ アネ ワクス  
**“wen kasu ikoytupa p a=ne wakusu**  
 「あまりにも暮らしに難儀しているものなので

ワクス ウラユシ タ イコヤ…… イココタンネ プ アネ コロカ  
**wakusu Urayusi ta ikoya... ikokotanne p a=ne korka**  
 ウラユシにある村に住んで居るものなのですが

イコイトウパ プ アネ ワクス  
**ikoytupa p a=ne wakusu**  
 暮らしに事欠いていて

ニシパ カムイ ウエン カス ウイマム コロ  
**nispa kamuy wen kasu uymam kor**  
 ニシパはずいぶん交易をして

エピリカ アスル アシ ワ アエイコイトウパ ワクス  
**epirka asuru as wa a=eykoytupa wakusu**  
 それで豊かな暮らしをしているという噂で羨ましいので

『ソモ イトゥラアン チキ ウェン ペ アン?』

‘somo itura=an ciki wen pe an?’

『私を連れて行ってはくれないか』

セコロ ヤイヌアン クス ウエペケンヌアン クス サナン。」

sekor yaynu=an kusu uepekennu=an kusu san=an.”

と思ったので、お伺いしに来たのです」

セコロ カネ ハウエアン。

sekor kane hawean.

と話した。

アヌカラ ヒケ オアラ ネプ カ ウェン プリ アコラ…… タライエカ

a=nukar hike oar nep ka wen puri a=kora... taraye ka

見たところ、何も悪いところが

ソモ キ ノ アン クン ネ。

somo ki no an kur\_ne.

ない人だ。

アレウシレ ワ アヌカラ ヒケ

a=rewsire wa a=nukar hike

泊めてみて、

エアシリ オリパク エアシカイ シリ アン ワ アヌカラ ワクス

easir oripak easkay siri an wa a=nukar wakusu

本当に礼儀正しい様子も見たので

「ヤクン イトゥラ ヤッカ ピリカ」

“yakun i=tura yakka pirka”

「それなら、私と一緒に行ってもいいですよ」

セコロ ハウエアナナクス チホキ アナク ポロンノ アカラ ワ

sekor hawean=an akusu cihoki anak poronno a=kar wa

と話す、毛皮もたくさん獲り、



アサッサツケ ワ ア…… アクサ ワ サナン パクノ アカラ ワ アン。

a=satsatke wa a... a=kusa wa san=an pakno a=kar wa an.

干して、舟で運んで行くのにちょうどいいほど作っておいてあった。

ヒネ オラ ハウエアナニ ネ クス

hine ora hawean=an h\_i ne kusu

そうして、私が言ったことだったので

「ナニ ニサッタ ネ アン ヤクン

“nani nisatta ne an yakun

「すぐ明日にでも

チプ オロ アオ ワ アコロ ワ サナン クス ネ ナ。」

cip or a=o wa a=kor wa san=an kusu ne na.”

舟に積んで、持っていこう」

セコロ ハウエアナニ コロ アエウコオンカミ。

sekor hawean=an kor a=eukoonkami.

と言って、互いに礼拝した。

ハウエ ネ ヤクン ウトゥラアン クニ アエウコオンカミ ヒネ

hawe ne yakun utura=an kuni a=eukoonkami hine

そういう話で一緒に行くべく、互いに礼拝し、

オラ アラパ ルウエ ネ ア プ、

ora arpa ruwe ne a p,

彼は帰って行ったのだが、

ソンノ カ イシムネ ヒケ

sonno ka isimne hike

翌日、

エアシリ イシカラ ウン チプ アナク ルプネ プ ネ クス

easir Iskar un cip anak rupne p ne kusu

石狩の舟は大きいので

ポロ チプ シクノ カネ

**poro cip sikno kane**

大きい舟いっぱい、

チホキ カ アナクネ シアリキキ プ カッ チホキ ネ プ ネ クス

**cihoki ka anakne siarikiki p kar\_ cihoki ne p ne kusu**

毛皮もがんばって作った毛皮なので

エアシリ ピリカ チホキ アコッ チホキ カ ピリカ クニ アラム ア コロカ

**easir pirka cihoki a=kor\_ cihoki ka pirka kuni a=ramu a korka**

(彼のは) 本当にいい毛皮、私の毛皮もいいものだと思っていたが、

ネプ ネ アン ワ シラナ カ アエラミシカリ ノ ピリカ チホキ

**nep ne an wa siran y\_a ka a=eramiskari no pirka cihoki**

(彼のは) 何と言ってよいかわからないほど、いい毛皮、

アトムテ チホキ

**a=tomte cihoki**

きれいな毛皮を

ライ トシカ チペクサ ヒネ サン。

**ray toska cipekusa hine san.**

山ほど舟に乗せて来た。

ヒネ オラノ イタカン ハウエ エネ アニ。

**hine orano itak=an hawe ene an h\_i.**

そこで私はこのように言った。

「テワノ サパン カトゥ イシカラ プトゥ タ サパン コロ

**“tewano sap=an katu Iskar putu ta sap=an kor**

「今から石狩の下流に行くと、

イシカラ プトゥ コン ニシパ

**Iskar putu kor\_ nispa**

石狩の河口のニシパは

アトウイ オロ ウン チプ コロ ペ ネ ワ アコチペトウン マ

atuy or un cip kor pe ne wa a=kocipetun w\_a

海用の舟を持っているので、私はそこで舟を借りて

オロワノ アトウイ オルン チプ アニ パイエアン ランケ プ ネ

orowano atuy or un cip ani paye=an ranke p ne

それから海へその舟でいつも行っているのだよ。

アラパアン ランケ アシヌマ アナク キ プ ネ クス

arpa=an ranke asinuma anak ki p ne kusu

そうやっていつも私は行っているの

ネノ イキアン エアシリキ プ ネ ナ。」

nenno iki=an easirki p ne na.”

そのようにするよ」

セコロ カネ ハウエアナナクス

sekor kane hawean=an akusu

と私が話すと、

「ピリカ。ピリカ。アコン ニシパ エネ イキ ヒ ネノ

“pirka. pirka. a=kor\_ nispa ene iki hi neno

「はい。わかりました。ニシパのしているように、

イエランポキウエン マ イトゥラ ワ イコレ。」

i=erampokiwen w\_a i=tura wa i=kore.”

私を哀れに思って連れて行ってください」

セコロ カネ ハウエアン ペ ネ クス

sekor kane hawean pe ne kusu

と話すので、

オラ ネノ ウサムチポッテアニネ

ora neno usamcipotte=an h\_inne

それから、そのように舟に乗って

チホキクサアニネ サパニネ イシカラ プトゥ タ サパン。  
**cihokikusa=an h\_ine sap=an h\_ine Iskar putu ta sap=an.**  
 毛皮を運んで下りて行き、石狩の河口まで下りた。

ヒネ チプ アヤプテ ヒネ オラウン  
**hine cip a=yapte hine oraun**  
 そうして、舟を上げ、それから

イシカラ プトゥ コン ニシパ オロ タ ヤパン ヒネ  
**Iskar putu kor\_ nispa oro ta yap=an hine**  
 石狩の河口のニシパのところへ上がり

アイアフプテ イネ アフパン ルウエ ネ。  
**a=i=ahupte h\_ine ahup=an ruwe ne.**  
 通されて入ったのだった。

オラノ イシカラ プトゥ コン ニシパ イエヤイレンカ。  
**orano Iskar putu kor\_ nispa i=eyayrenka.**  
 それから石狩の河口のニシパは私との再会を喜んだ。

ケシパ アン コロ エネ オロ タ サナン マ  
**kespa an kor ene oro ta san=an w\_a**  
 毎年、このようにここに下りて、

レウシアン マ オラ アコチペトゥン マ  
**rewsi=an w\_a ora a=kocipetun w\_a**  
 泊まって、舟を借り

コッ チプ アニ ウイマムアン コロ  
**kor\_ cip ani uymam=an kor**  
 ニシパの舟で交易に行ってくると

オロ タ スイ サケ ネ チキ ウサ オカイ ペ アヤオクタ ワ アコロパレ。  
**oro ta suy sake ne ciki usa okay pe a=yaokuta wa a=korpare.**  
 そこでまた酒でもいろいろ陸に上げて、ニシパに渡していた。

アコホツパ ランケ。

**a=kohoppa ranke.**

いつも置いてきていた。

ケシパ キ コロ アン ペ アネ クス

**kespa ki kor an pe a=ne kusu**

毎年そうしていたので、

エアシリ イノ(?) トクイエコロ ワ アン ペ ネ クス イエヤイコブンテク

**easir ino(?) tokuye kor wa an pe ne kusu i=eyaykopuntek**

本当に親友なので、すごく喜んで

「スイ ニシパ ウイマム オアシ シンネ ナ。

**“suy nispa uymam oasi sinne na.**

「またニシパが交易に行くのだな。

ホクレ アマチヒ オリパクノ ピリカノ スケ ワ イペヤラ。

**hokure a=macihi oripakno pirkano suke wa ipeyar.**

早く、うちの奥さん、丁寧にきちんと料理して食べさせなさい。

オツカイポ アエラミシカリ

**okkaypo a=eramiskari**

若者、見たことのない、

ネ オツカイポ ニシパ ネ ヤッカ ホクレ ピリカノ スケ ワ イペヤラ。

**ne okkaypo nispa ne yakka hokure pirkano suke wa ipeyar.**

その若者のニシパにも早くきちんと料理して食べさせなさい。

オリパクノ イキ」

**oripakno iki”**

丁重にそうしなさい。」

セコロ カネ マチヒ イエ コロ イエ プ ネ クス

**sekor kane macihi ye kor ye p ne kusu**

と奥さんに言ったので

エアシリ イエオリパク パ コロ ピリカレウシアン。

**easir i=eoripak pa kor pirkarewsi=an.**

本当に私達は大切にされながら、快適に泊った。

オロワ オロ タ スイ アトゥイ オルン チプ トupp アエトゥン ヒネ

**orowa oro ta suy atuy or un cip tup a=etun hine**

それからそこでまた海用の舟を二隻借り、

オロ ウン アシケへ アルラ ヒネ オラノ スイ ウサウンチポッテアン ヒネ

**oro un a=sikehe a=rura hine orano suy usauncipotte=an hine**

そこへ荷物を運んで、それからまたお互いに舟に乗って、

オラノ パイエアン ルウエ ネ アイネ

**orano paye=an ruwe ne ayne**

航海を続け、

レウシアン ランケ コロ パイエアン ルウエ ネ アイネ

**rewsi=an ranke kor paye=an ruwe ne ayne**

泊りながら行ったところ

トノ コタン タ パイエアン ルウエ ネ ヒネ

**tono kotan ta paye=an ruwe ne hine**

和人の村に着いて

エアラキンネ アコッ トノ コン マチヤ オッ タ ヤパン ワ

**earkinne a=kor\_ tono kor\_ maciya or\_ ta yap=an wa**

殿の治める街へ上がり

アシケへ アセ パ カネ ワ ヤパン。

**a=sikehe a=se pa kane wa yap=an.**

荷物を背負って上がった。

アセ パ パクノ アセ

**a=se pa pakno a=se**

背負えるだけのものを背負い

アセ ニウケシ ヒケ チプ オツ タ アホツパ パ ヒネ  
**a=se niwkeshike cip or\_ ta a=hoppa pa hine**  
 背負って行けないものは舟に残し

ウトウラアン マ パイエアン ルウエ ネ アクス  
**utura=an w\_a paye=an ruwe ne akusu**  
 連れ立っていくと

スイ アコツ トノ リクン プヤラ カリ  
**suy a=kor\_ tono rikun puyar kari**  
 また殿が高窓から、

タネ アラパアン クニ ラム プ ネ クス  
**tane arpa=an kuni ramu p ne kusu**  
 もう私がやってくるだろうと思っているので

インカラ ワ アン。アナアニネ オラノ  
**inkar wa an. an aan h\_ine orano**  
 見ていたのだったが、そこで

リクン プヤラ カリ ライホトウイパ。  
**rikun puyar kari rayhotuypa.**  
 高窓から大声で呼んだ。

「ホクレ アシンカル ウタラ アコロ オツテナ エク ナ。  
**“hokure asinkaru utar a=kor ottena ek na.**  
 「さあ、足軽達、私のオツテナが来たよ。

ホクレ シケヘ ヤプテ ヤン。ヤプテ ヤン。」  
**hokure sikehe yapte yan.yapte yan.”**  
 早く荷物を上げなさい。上げなさい」

セコロ カネ ハウエアン。  
**sekor kane hawean.**  
 と言った。

あしがる ウタラ カ エアラキンネ イエヤイコブンテク パ。

**ASIGARU utar ka earkinne i=eyaykopuntek pa.**

足軽達も本当に私達が来たことを喜んだ。

ケシパ アラパアン マ イアムキリ パ プ ネ クス

**kespa arpa=an w\_a i=amkir pa p ne kusu**

毎年、私は行って見知っているの、

イエヤイコブンテク パ コロ

**i=eyaykopuntek pa kor**

私達が来たことを喜びながら

オラ ネ チプ オツ タ アホツパ アシケウタリ カ

**ora ne cip or\_ ta a=hoppa a=sikeutari ka**

それから、その舟に残した荷物についても

あしがる ウタラ アコオロスツケ パ プ ネ クス

**ASIGARU utar a=koorsutke pa p ne kusu**

足軽達は頑張るよう言われて

タク ワ ルラ ロク ルラ ロク ルウエ ネ。

**tak wa rura rok rura rok ruwe ne.**

どんどん持って来て運んだ。

エアラキンネ アコツ トノ イエヤイコブンテク コロ チホキ カ

**earkinne a=kor\_ tono eyaykopuntek kor cihoki ka.**

本当に殿は喜び、毛皮も素晴らしく

ピリカ ア ヒ オッカシタ ピリカ チホキ パテク ネ ヒネ オラウン

**pirka a hi okkasita pirka cihoki patek ne hine oraun**

今まで以上に良い毛皮ばかりで、それから

「フナク ワ エク オッカイポ エトウラ ルウエ アン？」

**“hunak wa ek okkaypo e=tura ruwe an?”**

「どこからきた若者をあなたは連れて来たんだい？」



セコロ カネ イコウエペケンヌ ワクス  
**sekor kane i=kowepekennu wakusu**  
 と私に尋ねるので

モシマ クル アトゥラ セコロ ハウエアナン カ エヤイラムカラ ペ  
**mosma kur a=tura sekor hawean=an ka eyayramkar pe**  
 よそ者をつれてきたと言うわけにもいかないのだ

「アアキヒ アトゥラ ルウエ ネ。」  
**“a=akihi a=tura ruwe ne.”**  
 「弟を連れてきたのです」

セコロ ハウエアナン アクス イヨクヌレ ア イヨクヌレ ア。  
**sekor hawean=an akusu iokunure a iokunure a.**  
 と話すと、とてもびっくりしていた。

「ヘマンタ アイヌ サニ オアラ ソモ ネ シリ イキ  
**“hemanta aynu sani oar somo ne siri iki**  
 「まるで人間の子ではないようだ。

かみさま の こ ネ シリ イキ  
**KAMISAMA NO KO ne sir iki**  
 神様の子のようだ。

カムイ サシニ ネ シリ イキ ワ アヌカラ。  
**kamuy sasini ne siri iki wa a=nukar.**  
 カムイの子孫であるかのような様子に見える。

シクトウム ネ ヤッカ アヌカラ ヒケ  
**siktumu ne yakka a=nukar hike**  
 目つきを見ても

オアラ ヤヤン アイヌ ソモ ネ ワ アヌカラ ルウエ ネ。  
**oar yayan aynu somo ne wa a=nukar ruwe ne.**  
 普通の人間ではないように見える。

ピリカ アク エコン ルウエ エネ アニ アン。」

**pirka ak e=kor\_ ruwe ene an h\_i an.**

素晴らしい弟をあなたは持っていたのですね」

セコロ ハウエアン コロ ポ ヘネ エアラキンネ イエオリパク。

**sekor hawean kor po hene earkinne i=eoripak.**

と話す、より一層私を敬った。

タンペ タプ アナク ネノ オッカイポ カ エオリパク

**tanpe tap anak neno okkaypo ka eoripak**

そうして若者も敬って、

アコツ トノ キ ノ ピリカノ ハウエアン コロ オラノ

**a=kor\_ tono ki no pirkano hawean kor orano**

殿様と丁寧に話して、それから

アコツ チホキ ウタラ マカン ラム イケ フンタ コツパ ワ アソヨクタ。

**a=kor\_ cihoki utar makan ramu h\_ike hunta kotpa wa a=soyokuta.**

私の毛皮をあるものには札を付けて、外に出した。

マカン ラム イケ ヤイカタ ウニ タ アリ ルウエ ネ コロ

**makan ramu h\_ike yaykata uni ta ari ruwe ne kor**

あるものには自分で家に置くと

オラノ アコトリトリ ヘンパク ヘンパク ト キ コロ

**orano a=kotoritori hompok hompok to ki kor**

それから私はそこに逗留して、

オホンノ オカアン アイネ

**ohonno oka=an ayne**

長いこといて、

オラノ アコツ チホキ アタイエ アルラ ロク アルラ ロク シリ エネ アニ。

**orano a=kor\_ cihoki ataye a=rura rok a=rura rok siri ene an h\_i.**

それから私の毛皮の対価をどんどん運んだ様子は次のようだった。

エアシリ ウサ アミプ ネ チキ タラ ネ チキ サケ ネ チキ  
**easir usa amip ne ciki tara ne ciki sake ne ciki**  
 本当に着物も俵も酒も

ウサ オカイペ イコン ネ イコロ オツ タ イヨイペ オツ タ  
**usa okaype ikor\_ ne ikor or\_ ta iyoype or\_ ta**  
 なんでも宝物にしる食器にしる

アコン ルスイ ペ  
**a=kor\_ rusuy pe**  
 私の欲しいもの、

ピリカ ヒケ アイコヌムケカラ ワ アルラ。  
**pirka hike a=ikonumkekar wa a=rura.**  
 いいものを選んで運んだ。

エアシリ カ アコッ チプ オルン  
**easir ka a=kor\_ cip or un**  
 私の舟へ

あしがる ウタン ルラ ロク ルラ ロク ペ ネ クス  
**ASIGARU utar\_ rura rok rura rok pe ne kusu**  
 足軽達はどんどん運んでいたの

エアシリ アコッ チプ…… チプ クルカシ エプネ カネ ポロノ アイオ ヒネ  
**easir a=kor\_ cip... cip kurkasi epune kane porono a=io hine**  
 私の舟の上に山のようにたくさん積んで、

オラウン ネア トノ カ ピリカノ ハウエアン。  
**oraun nea tono ka pirkano hawean.**  
 それから、その殿様も丁重に話した。

「ホクレ スイ ケシパ アン コロ  
**“hokure suy kespa an kor**  
 「さあ、毎年、

アコロ オツテナ エネ ワ エエク クニプ パテク アエタノシンタロ ヘ タブ  
**a=kor ottena e=ne wa e=ek kunip patek a=etanosintaro he tap**  
 私のオツテナが来ることばかりを楽しみにしています。

アエヤイコブンテク コロ アエカンナラ コロ アナン ペ ネ ナ。  
**a=eyaykopuntek kor a=ekannara kor an=an pe ne na.**  
 喜んで待ち焦がれているのですよ。

ケシパ アン コロ アラキ ランケ ヤン。  
**kespa an kor arki ranke yan.**  
 毎年来てくださいね。

エアキヒ トウラ ワ アラキ ランケ ヤン。」  
**e=akihi tura wa arki ranke yan.”**  
 弟さんも連れてきてくださいね」

セコロ ハウエアン コロ オラウン ヤパン。  
**sekor hawean kor oraun yap=an.**  
 と殿様が言いながら、私たちは陸に向かった。

オラノ ネア オッカイポ エヤイコブンテク。  
**orano nea okkaypo eyaykopuntek.**  
 すると、その若者は喜んだ。

イネアプクスン エヤイコブンテク。  
**ineapkusun eyaykopuntek.**  
 それはもう喜んだ。

ヌペ トウラ エヤイコブンテク コロ ヤパン ヒネ  
**nupe tura eyaykopuntek kor yap=an hine**  
 涙ながらに喜びながら上陸し、

イット アプカシ ネ アクシ カ エアイカブ ウシケ ネ プ ネ クス  
**itto apkas ne a=kus ka eaykap uske ne p ne kusu**  
 (石狩河口の長者のところまでは) 歩いて一日では行けない場所なので、

オロワ スイ ピリカ ポン ナイ アニケ オロ タ チプ アヤプテ ヒネ  
**orowa suy pirka pon nay an h\_ike oro ta cip a=yapte hine**  
 小さな沢があるのだが、そこに舟を上げ、

オロ タ レウシエトコイキアン シリ エネ アニ。  
**oro ta rewsietokoyki=an siri ene an h\_i.**  
 そこに泊まる準備をする様子は次のようだった。

ネプ アテケ ケレ シリ カ イサムノ  
**nep a=teke kere siri ka isamno**  
 何も私の手に触れさせることもなく

スケ エトコイキ ネ チキ アペ エトコイキ ネ チキ  
**suke etokoyki ne ciki ape etokoyki ne ciki**  
 料理の準備も火の支度も

アカスイ クシ ネ コロ  
**a=kasuy kus ne kor**  
 私が手伝おうとすると

「アシヌマ シネン ネ アキ ヒケ アエアイカペ エキ プ ネ ワ  
**“asinuma sinen ne a=ki hike a=eaykap h\_i e=ki p ne wa**  
 「私一人ではすることができないことをあなたはしたので

アコン ニシパ ヤイシニレ ワ アン マ イコレ イコレ。  
**a=kor\_nispa yaysinire wa an w\_a i=kore i=kore.**  
 ニシパはどうか休んでいてください。

アシヌマ ネプキ アナ…… ネプキ アナク アコアリキキ プ ネ ナ。」  
**asinuma nepki ana... nepki anak a=koarikiki p ne na.”**  
 私が仕事を頑張ります」

セコロ ハウエアン コロ  
**sekor hawean kor**  
 と話すと、

オラノ チョポンナアッテ ワ スケ ヤ ワッカタ ネ ヤ ネンネン イキ ワ  
**orano coponnaatte wa suke ya wakkata ne ya nennen iki wa**  
 それから忙しく立ち振る舞い、料理も水汲みもいろいろして

エネ ネ ワ イペアン クニ ネ イキ ヒネ  
**ene ne wa ipe=an kuni ne iki hine**  
 そうして食事の支度をして、

イペアン パ コロ ピリカノ イエオリパク コロ  
**ipe=an pa kor pirkano i=eoripak kor**  
 私たちは食事をしながら、彼はよく私を敬いながら

パイェアン。レウシアン パ アイネ  
**paye=an.rewsi=an pa ayne**  
 行った。泊まって

オラ スイ イシムネ ヒケ パイェアン ヒネ  
**ora suy isimne hike paye=an hine**  
 それからまた翌日出発し

イシカラ プトゥ タ イシカラ プトゥ コン ニシパ オロ タ パイェアン ヒネ  
**Iskar putu ta Iskar putu kor\_ nispa oro ta paye=an hine**  
 石狩の河口、石狩の河口のニシパのところへ行って

スイ イシカラ プトゥ コン ニシパ オロ タ アコロパレ クニ プ  
**suy Iskar putu kor\_ nispa oro ta a=korporare kuni p**  
 また、石狩の河口のニシパのところにあげるべきもの

ウサ サケ ウサ タラ ウサ イミ ウサ イヨイペ ネ チキ アヤブテ。  
**usa sake usa tara usa imi usa iyoype ne ciki a=yapte.**  
 酒でも俵でも着物でも食器でも陸に上げた。

ネア オッカイポ カ エネ イキ アニ ネ クシ ネ ノ  
**nea okkaypo ka ene iki an h\_i ne kus ne no**  
 その若者もそのようにするつもりで

コロ ワ オカイペ オロワ ヤプテ ワ

**kor wa okaype orowa yapte wa**

持っていたものを陸に上げて

ネア イシカラ プトゥ コン ニシパ アエコヤヤッタサ。

**nea Iskar putu kor\_ nispa a=ekoyayattasa.**

その石狩の河口のニシパにお礼に渡した。

エアシリ カ エヤイコプンテク。

**easir ka eyaykopuntek.**

本当に喜んだ。

オンカミ ア オンカミ ア コロ イエヤイコプンテク パ コロ オラ スイ

**onkami a onkami a kor i=eyaykopuntek pa kor ora suy**

礼拝して礼拝して、喜んで、それからまた

アコロ イシカラ ウン チプ、ルプネ チプ ネ プ ネ クス

**a=kor Iskar un cip, rupne cip ne p ne kusu**

石狩の舟は大きい舟なので

オロ ウン アルラ ロク アルラ ロク ヒネ

**oro un a=rura rok a=rura rok hine**

エアシリ カ アヤイチプシケカヌカラ カネ ヒネ

**easir ka a=yaycipsikekanukar kane hine**

そこへ運んで運んで、本当に舟の荷物を見ながら

アエラリウ ワ オロワノ

**a=erariw wa orowano**

漕いで、それから

イシカツ トウラシ パイエアン アイネ アコタヌ タ パイエアン ルウエ ネ。

**Iskar\_ turasi paye=an ayne a=kotanu ta paye=an ruwe ne.**

石狩川に沿って上流に行き、私の村に行ったのだった。

アクス オロワノ ネノ アン マ ウラユシ ウン コッ チプ コロ ワ アラパ  
**akusu orowano neno an w\_a Urayusi un kor\_ cip kor wa arpa**  
 すると、それからそのままウラユシの舟を持って行って

チプ オロ オ プ コロ ワ アラパ ヒ ネ クナク アラム ア プ、  
**cip oro o p kor wa arpa hi ne kunak a=ramu a p,**  
 舟に乗せたものを持って行くものだと思っていたのに、

オラノ アコロ ペタル オッ タ コッ チプ オロ ワ  
**orano a=kor petaru or\_ ta kor\_ cip or wa**  
 私の舟着き場で、自分の舟から

コロ ウサ オカイペ ヤプテ ア ヤプテ ア ヤプテ ア。  
**kor usa okaype yapte a yapte a yapte a.**  
 持って来たものをどんどん陸に上げた。

オピッタ ヤプテ ヒネ  
**opitta yapte hine**  
 みんな陸に上げて

オロワノ アウニ ウン ルラ ア ルラ ア ヤイカタ ルラ ア ルラ ア ヒネ  
**orowano a=uni un rura a rura a yaykata rura a rura a hine**  
 それから私の家へどんどん運んだ。自分で運んで運んで

アコロ オマイソ シクノ カネ  
**a=kor omayso sikno kane**  
 私の座敷いっぱい

ネア オックアイポ コロ ワ オカイペ イキリカラカラ  
**nea okkaypo kor wa okaype ikirikarkar**  
 若者の持って来たものが列をなして

ヒネ オラウン スイ アコロ ワ オカイ ペ カ アルラ プ ネ クス  
**hine oraun suy a=kor wa okay pe ka a=rura p ne kusu**  
 それから、また私の持ってきたものも運んだので



ポ アナクネ アウニヒ カ ポロ。ニシパ アネ クス チセ カ ポロノ アカラ。  
**po anakne a=unihi ka poro. nispa a=ne kusu cise ka porono a=kar.**  
 私の家は大きく、私はニシパなので家も大きく作った。

ネプ ネ ヤッカ ポロノ アカラ ワ オカイ ペ ネ クス  
**nep ne yakka porono a=kar wa okay pe ne kusu**  
 何でも大きく作ってあるので

エウン ウサ イヨイペ ウサ タラ イキリ  
**eun usa iyoype usa tara ikiri**  
 そこへ食器でも俵の山

イミ キンカイ イキリ アルラ ロク アイネ  
**imi kinkay ikiri a=rura rok ayne**  
 着物の荷の山を運んで

ポロンノ アアフプテ。  
**poronno a=ahupte.**  
 たくさん入れた。

アアフプテ ルウエ ネ アクス  
**a=ahupte ruwe ne akusu**  
 入れると

オラスイ オロ タ イコレウシ。  
**orasuy oro ta i=korewsi.**  
 また、若者は私の家に泊まった。

シネアンチカラ キ ヒネ イタカン ウトゥル テレテレ。  
**sineancikar ki hine itak=an uturu teretere.**  
 一晩そうして、私の言葉が途切れるのを待っていた。

ウエネウサラン アイネ イタカン ウトゥル テレテレ ハウエ エネ アニ。  
**uenewsar=an ayne itak=an uturu teretere hawe ene an h\_i.**  
 語り合った挙句、私の言葉が途切れるのを待って話したのは次のようなことだった。

「アシヌマ アナクネ マカン クス

“asinuma anakne makan kusu

「私はどうして

アウヌフ トウラ エネ イキ ワ オカイ ペ アネ イ カ アエランペウテク ノ  
a=unuhu tura ene iki wa okay pe a=ne h\_i ka a=erampewtek no

母親と一緒に暮らしていたのかわからないけれども

アウヌフ トウラノ オカアン ペ ネ ヒケ

a=unuhu turano oka=an pe ne hike

母親と一緒に暮らしていたのですが、

アコタヌ ウン ウタラ エアシリ カ イコレウエンパ コロ オカ ロク アイネ  
a=kotanu un utar easir ka i=korewenpa kor oka rok ayne

村の人は私達に本当につらくあたっていた挙句、

アウヌフ ヘム タスム ヘム シイエイエ キ ヒネ イサム ルウェ ネ。

a=unuhu hem tasum hem siyeye ki hine isam ruwe ne.

私は母親は何の病気だか病だかにかかり、亡くなってしまったのです。

オカケ タ ナ ポナン ワ イホッパ ワ アウフヌポ キ プ ネ クス

okake ta na pon=an wa i=hoppa wa a=uhunupo ki p ne kusu

その後、まだ私は幼くして亡き母に残されたので

オカケ タ チサン コロ

okake ta cis=an kor

その後、私は泣きながら

コタン ケスン マ コタン パウン マ アプカシアプカシアン ワ

kotan kes un w\_a kotan pa un w\_a apkasapkas=an wa

村の下手へ、村の上手へ歩きまわって

ニナアン ペコロ ニシケアン ペコロ イキアン コロ アプカサン マ

nina=an pekor nisike=an pekor iki=an kor apkas=an w\_a

薪採りのようなこと、薪木背負いのようなことをしながら歩いて

クシケライ イエランポキウエン パ プ シネアンチカラ イレウシレ。

**kuskeray i=erampokiwen pa p sineancikar i=rewsire.**

おかげで私を気の毒に思った人が、一晩私を泊め

トゥ アンチカリ イレウシレ パ コロ オカ ロク アイネ

**tu ancikari i=rewsire pa kor oka rok ayne**

二晩泊めといった具合にしてくれていたのですが

ポロアニ ワノ コタヌ ウン オッカイポ ウタラ アトゥラ ワ

**poro=an h\_i wano kotanu un okkaypo utar a=tura wa**

私が大きくなってからは村の若者と一緒に

エキムネアン コロ

**ekimne=an kor**

山に行つてする

イラマンテ エネ アニ。

**iramante ene an h\_i.**

狩りは次のようでした。

イエプカシヌ パ プ ネ クス イラマンテ カ アエアシカイ。

**i=epkasnu pa p ne kusu iramante ka a=easkay.**

教わったので私は狩りもできるようになった。

タネ アコポロ ヒ ワノ アナクネ ネロク コタヌ ウン ウタラ

**tane a=koporo hi wano anakne nerok kotanu un utar**

もう私が大きくなってからは、その村人たち

トヤッカリ カ ネプ ネ ヤッカ アエアシカイ。

**toyakkari ka nep ne yakka a=easkay.**

誰よりも私は上手になっていた。

ネプ イエトク タ アアヌ ペコロ イキアン。

**nep i=etok ta a=anu pekor iki=an.**

何だか私の行く先々に獲物が置いてあるかのようなだった。

アル オカケ アロ…… アル エトコ チョイランケ コラチ  
**a=ru okake aro... a=ru etoko coyranke koraci**

私の行く道の後、道の前には獲物が下されているかのように、

イソナン シリ アン ペ ネ ヒネ  
**ison=an siri an pe ne hine**

狩が上手で

ペ ネ ヒネ ペ ネ プ ネ クス ネワアンペ  
**pe ne hine pe ne p ne kusu newaanpe**

あったので、それを

イエラマス クス コタン コロ クル マツネポホ  
**i=eramasu kusu kotan kor kur matnepoho**

私は気に入られて、村長がその娘

シネ マツネポ コロ ペ イコレ クナク イェ コロ  
**sine matnepo kor pe i=kore kunak ye kor**

一人娘をくれるということで

イコレ ヒネ アコロ ワ オカアン ペ ネ コロカ  
**i=kore hine a=kor wa oka=an pe ne korka**

嫁にして、結婚して暮らしていたのですが、

イピリカラム パ プ ネ カトゥ カ アエランペウテク コロ アナン。  
**i=pirkaramu pa p ne katu ka a=erampewtek kor an=an.**

私をこんなにも大事にしてくれるのかというほどの様子で暮らしていました。

オロワ ウン ネプ ポカ イキアナインネ ネプ ポカ アウオマレ ワ アコロ  
**orowa un nep poka iki=an ayne nep poka a=uomare wa a=kor**

それからいくらかでもそうして、いくらかでも集めて、ものを持っていました。

アホク カ キワ アコロ コロ  
**a=hok ka ki wa a=kor kor**

買いもし、持っていると、

「タアンペ エポニ タ エペレパ クス アタイェ アエコウク ナ。  
**“taanpe e=pon h\_i ta e=perpa kusu ataye a=e=kouk na.**  
 「これはお前が小さいときに壊したので、代償としてもっていくよ。」

タアンペ エウエンテ アクス アタイェ アエコウク ナ。」  
**taanpe e=wente akusu ataye a=e=kouk na.”**  
 これはお前がだめにしたから代償にもらうよ」

セコロ カネ コタン オルン ウタラ ハウエオカ コロ  
**sekor kane kotan or un utar haweoka kor**  
 と村人は話すと、

アコロ ワ オカイ ペ ピリカ ヒケ イコヌムケ パ ワ  
**a=kor wa okay pe pirka hike i=konumke pa wa**  
 私の持物のいいものを選んで

イコウイナ コロ オカアン ルウエ ネ ヒケ エネ ハワシ。  
**i=kouyna kor oka=an ruwe ne hike ene hawas h\_i.**  
 私から奪って行ったということなのです。

アシヌマ アプリウエン  
**asinuma a=puriwen**  
 私は、行いが悪いものだ

セコロ アン ペ イェ パ プ ネ ヤク アイェ ヒ アナク  
**sekor an pe ye pa p ne yak a=ye hi anak**  
 と言われているということは

アヌ コロ アナン ルウエ ネ ア プ、  
**a=nu kor an=an ruwe ne a p,**  
 聞いてはいたのですが、

エネ ニシパ カムイ ウイマム コロ エタカスレ チカシヌカラ ワ  
**ene nispa kamuy uymam kor etakasure cikasnukar wa**  
 このようにニシパが交易に行って特別に恵まれて

トノコチカシヌカリ アヌ コロ アナン ヒケ  
 tonokocikasnukar h\_i a=nu kor an=an hike  
 殿にも恵まれていることを聞いていたので

『ネウン ポカ イキアン チキ ソモ イエランポキウエン マ イトゥラ  
 ‘neun poka iki=an ciki somo i=erampokiwen w\_a i=tura  
 『何とかして私を憐れんでもして連れて行って

アトゥラ エアシカイ ペ アン。』  
 a=tura easkay pe an.’  
 もらえないだろうか』

セコロ ヤイヌアン クス アコヤイコラムコロ ハウエ ネ アクス  
 sekor yaynu=an kusu a=koyaykoramkor hawe ne akusu  
 と思って相談したところ、

イコラムサウヌ ワ エネ イトゥラ ワ タパン ペ ネノ エアシリ  
 i=koramusawnu wa ene i=tura wa tapan pe neno easir  
 私の願いを聞いてくれ、このように私を連れて行ってくれたおかげで

シノ ニシパ ネ イカラ オアシ ルウエ エネ アニ。  
 sino nispa ne i=kar oasi ruwe ene an h\_i.  
 本当のニシパに私はなれるようになったのです。

エアシリ カ カシカムイナワノ<sup>[2]</sup> アエコヤイライケ。  
 easir ka kasikamuynawano a=e=koyayrayke.  
 本当に守護神まであなたにそのことを感謝しています。

ニシパ カムイ アエコヤイライケ ルウエ ネ コロカ  
 nispa kamuy a=koyayrayke ruwe ne korka  
 ニシパに感謝してしるのだけれども

ネノ イピリカラム パ カトゥ カ アエランペウテク ペ オラウン  
 neno i=pirkaramu pa katu ka a=erampewtek pe oraun  
 このように私を大事にしてくれるなんて今までなかったので

ネイ パク アエコタンネ パ カ エトランネ クス  
**ney pak a=ekotanne pa ka etoranne kusu**  
 いつまでもあの村の一員でいるのも嫌なので

アウニヒ シンナ アカン ルウエ ネ。  
**a=unihi sinna a=kar\_ ruwe ne.**  
 私の家は別に作ります。

チプ オヤプシ……… チポヤプシ ペタル エンカ タ チセ アカラ ヒネ オロ タ  
**cip oyap us... cipoyapusi petaru enka ta cise a=kar hine oro ta**  
 船着場、水汲み場をあがったところに家を造り、そこに

ネ アマチヒ トウラノ アナン マ オロワ アナン マ イラマンテアン コロ  
**ne a=macihi turano an=an w\_a orowa an=an w\_a iramante=an kor**  
 例の私の妻と一緒に狩りをしながら

アナン ペ ネ コロカ ネノ アナン カ エトランネ クス  
**an=an pe ne korka neno an=an ka etoranne kusu**  
 いたのだけれども、このようにいるのも嫌なので

アコン ニシパ コタヌ ウン  
**a=kor\_ nispa kotanu un**  
 ニシパの村へ、

アコン ニシパ サマ ウン トウパン チキ ウエンペ ヘ アン？」  
**a=kor\_ nispa sama un tup=an ciki wenpe he an?"**  
 ニシパの側に引っ越してきたらまずいでしょうか」

セコロ カネ ハウエアン。エアラキンネ アエサンペアウオマ。  
**sekor kane hawean. earkinne a=esampeawoma.**  
 と話した。本当に私はかわいそうに思った。

イネアプクスン アケムヌ ワ ハワサ カ アエラミシカリ。  
**ineapkusun a=kemnu wa hawas y\_a ka a=eramiskari.**  
 なんと気の毒な話だかこれまで私が聞いたことがないほどだった。

ウェンイヨクヌレアン

wen'iyokunure=an

ひどく驚いた。

イネクス エアシリ オリパケアシカイ

inekusu easir oripakeaskay

なるほどそれで、本当に行儀正しく、

ウタラパ カトゥン エアシカイ シリ アン ペ オツカイポ ニシパ ネ ア プ、

utarpa katun easkay siri an pe okkaypo nispa ne a p,

立派な人物である様子の若いニシパだったのだが、

エネ ハウエ アニ。

ene hawe an h\_i.

このようなことだった。

アココパン カ エアイカプ。

a=kokopan ka eaykap.

私は断ることもできなかった。

「アシヌマ カ タネ ポヤイコチパチパ カ ソモ アキ。

“asinuma ka tane poyaykocipacipa ka somo a=ki.

「私ももう自分の子どもを望んではいなかった。

ウポコサカン ペ ネ クス キ ワ ポエイコイトウパアン ペ ネ クス

upokosak=an pe ne kusu ki wa poeykoytupa=an pe ne kusu

私達には子どもがいないので、子どもをほしいと思っていたので

ネ ノイネ ネ ヤクン イリワク コラチ ポ シリ ネ。

ne noyne ne yakun irwak koraci po siri ne.

そういうことなら、全くきょうだいのようなだ。

アエニシテ カ キ。

a=e=niste ka ki.

私はあなたを頼りにする。



ウエニシテアン クニ ピリカ ハウエ ネ セコロ ヤイヌアン クス  
**ueniste=an kuni pirka hawe ne sekor yaynu=an kusu**  
 互いを頼りにするのがいいと思うので

ピリカ ハウエ ネ」  
**pirka hawe ne”**  
 いいですよ」

セコロ ハウエアナン クス  
**sekor hawean=an kusu**  
 と言うと、

「ハウエ ネ ヤクン トウツコ レレコ ネ ヤクン アマチヒ アトゥラ  
**“hawe ne yakun tutko rerko ne yakun a=macihi a=tura**  
 「そういうことなら二三日で妻を連れて来ます。

アコロ ワ オカイ ペ  
**a=kor wa okay pe**  
 持物も

チプ オロ アオ ワ サナン クス ネ ナ。」  
**cip or a=o wa san=an kusu ne na.”**  
 舟に乗せてきます」

セコロ カネ ハウエアアン コロ シネ ポン タラ シネ ポイ サケ パテク  
**sekor kane hawean kor sine pon tara sine pon\_ sake patek**  
 と話しながら一つの小さい俵、一つの小さい酒だけを

チポロ コツ チポロ オマレ テク ヒケ  
**cip or kor\_ cip or omare tek hike**  
 自分の舟に積んで

エラリウ ヒネ アラパ ペ ネ ア プ、  
**erariw hine arpa pe ne a p,**  
 漕いでいったのだったが、

オロワノ シラン ヒケ カ サン ルウエ カ イサム アイネ

**orowano siran hike ka san ruwe ka isam ayne**

それからしばらくしても、やってくる様子もなく

イヌアナクス ネア オッカイポ ヘム タスム ヘム シイエイエ キ ヒネ

**inu=an akusu nea okkaypo hem tasum hem siyeye ki hine**

聞いたところによると、その若者は何か病気になり

イサム セコロ ハワシ。

**isam sekor hawas.**

亡くなったという話だった。

エアラキンネ イヌ ネ ワ アキ プ ネ コロカ

**earkinne inu ne wa a=ki p ne korka**

そう聞いていたのだが、

アライケ ハウエ ネ クニ アラム。

**a=rayke hawe ne kuni a=ramu.**

殺されたのではないかと私は思った。

エアシリ カ ウェンイルシカアン コロ

**easir ka wen'iruska=an kor**

本当に腹が立って

セツパ シネプ カロプ オロ アオマレテク ヒネ

**seppa sinep karop or a=omaretek hine**

刀のつばを小物入れに入れて

オラノ ラリウユッパアニネ アラパアン アイネ

**orano rariwyuppa=an h\_inine arpa=an ayne**

舟を漕いで行ったところ

ウラユシ タ アラパアン ルウエ ネ アクス ネア アコロ オッカイポ

**Urayusi ta arpa=an ruwe ne akusu nea a=kor okkaypo**

ウラユシに着くと、その若者の

コッ チプ アナク アシリコテ ヒネ アン ヒネ オラウン

**kor\_cip anak a=sirkote hine an hine oraun**

舟はつながれていて、それから

ネ エネ ハウエアニ ネ アクス

**ne ene hawean h\_i ne akusu**

そのように言っていたので、

ペタル カリ ヘメスアナクス

**petaru kari hemesu=an akusu**

舟着き場を通過して登っていくと

フッタプカ タ ポロ チセ

**huttapka ta poro cise**

崖の上に大きな家、

イランマカカ アリキキ プ カラ ペ アリキキ プ アヌシ ネ クス

**iramamakaka arikiki p kar pe arikiki p an usi ne kusu**

きちんとした、働き者が作った、働き者の住むところなので

チセ ソイ エネ ユプナタラ。

**cise soy h\_ene yupnatara.**

家の外もしっかりしている。

チセ ヘネ ユプナタラ。ピリカ チセ ポロ チセ アン。

**cise hene yupnatara. pirka cise poro cise an.**

家もしっかりしている。素晴らしい家、大きな家があった。

ネ…… オロ ウン アプンノ ネパウ カ ネプム カ イサム。

**ne... oro un apunno nep h\_aw ka nep h\_um ka isam.**

静かで、なんの声も音もしない。

シノ イオヤモクテアン ハワシ ネ プ ネ クス

**sino ioyamokte=an hawas ne p ne kusu**

本当に不審に思う話だったので

アプンノ オロ タ イプヤロポソレアン ヒネ インカラナクス  
**apunno oro ta ipuyaroposore=an hine inkar=an akusu**  
 静かに、窓越しに見ると

ソンノ ポカ ネア オッカイポ ライチェピヒ ネ ヒネ  
**sonno poka nea okkaypo raycepihi ne hine**  
 思った通り、あの若者の遺体が

ソ オツ タ アオスラ テク ヒネ  
**so or\_ ta a=osura tek hine**  
 床に捨てられていて

エアシリ カ インカン ネ ワ アキ プ ネ コロカ  
**easir ka inkar\_ ne wa a=ki p ne korka**  
 私はそれを見ただけであるけれども

イルシカ ケウトウム アヤイコレ。  
**iruska kewtum a=yaykore.**  
 怒りが沸いてきた。

「マクネ ワ エネ シリ アニ アン？」  
**“makne wa ene siri an h\_i an?”**  
 「どうしてこんなことに？」

セコロ ヤイヌアン コロ エアシリ カ ウェンイルシカアン コロ  
**sekor yaynu=an kor easir ka wen'iruska=an kor**  
 と思いながら、非常に腹立たしく思いながら

ナニ アラパアニネ コタン オロ アオシマ。  
**nani arpa=an h\_ine kotan or a=osma.**  
 すぐに行き、村に入った。

ネ コタン コロ クル ウニ ソイケ タ アラパアン。  
**ne kotan kor kur uni soyke ta arpa=an.**  
 その村長の家の前に行った。

シリキッキクアナクス

**sirkikkik=an akusu**

辺りを叩くと、

ネア ネ コタン コロ クル マツネポ ネ ワ アコロ ペ ネ

**nea ne kotan kor kur matnepo ne wa a=kor pe ne**

その村長の娘で、結婚していたものである

セコロ ハウエアン ヤク…… イキア メノコ ネ ノイネ アラム プ

**sekor hawean yak... ikia menoko ne noyne a=ramu p**

という、例の女性らしいと思われるものが

ミナ カネ ヒネ ソイネ イエカリ インカリネ オラウン シエタイエ。

**mina kane hine soyne i=ekari inkar h\_in\_ine oraun sietaye.**

笑いながら外に出て私の方に視線を向けて、引っ込んだ。

アナニ イエ ハウエ アシ アクス

**an=an h\_i ye hawe as akusu**

私がいることを話す声が聞こえると

「ウナアフンケ。」

“unahunke.”

「家に入れなさい」

セコロ カネ ネ コタン コロ クル

**sekor kane ne kotan kor kur**

とその村長は、

ハウエ エネ ハウエアシ ペ、ハウエアン クス

**hawe ene haweas pe, hawean kusu**

娘が話したので、そう言うと

ソイネ イネ イアフンケ クス イイエ。

**soyne h\_in\_ine i=ahunke kusu i=ye.**

外に出て私を入れるため声をかけた。

オリパカン ノ アプンノ アフナン ヒネ アナン。

oripak=an no apunno ahun=an hine an=an.

かしこまって静かに入っていた。

「フナク ワ エク ニシパ ネ シリ アン？」

“hunak wa ek nispa ne siri an?”

「どこから来たニシパですか？」

セコロ ハウエアン コロ ウエランカラプアン。

sekor hawean kor uerankarap=an.

と話しながら、私たちはあいさつをした。

「ウン…… イシカラ ホントモ コロ ウエンクル アネ。

“un... Iskar hontomo kor wenkur a=ne.

「私は石狩中流の貧乏人です。

ウエンクル アネ クス イココタンコロアン (?) マ アナン ペ アネ コロカ

wenkur a=ne kusu ikokotankor=an(?) w\_a an=an pe a=ne korka

貧乏人だけれど

シネウエアン ルスイ クス エカン シリ ネ。」

sinewe=an rusuy kusu ek=an siri ne.”

遊びに来たいと思ってきたのです」

セコロ ハウエアナン コロ アナン ルウエ ネ。

sekor hawean=an kor an=an ruwe ne.

と話したのだった。

タネ シロヌマン プイネ ラリウユッパアン マ アラパアン ヤッカ

tane sironuman puyne rariwyuppa=an w\_a arpa=an yakka

もう日が暮れ、一人で舟を漕いで行っても

シットウイマ ウカットウイマ アン ペ ネ クス

sittuyma ukattuyma an pe ne kusu

遠い。距離があるので

ペッ トウラシ ネ クス

**pet turasi ne kusu**

川をさかのぼるので

ネウン ラリウユッパアン ヤッカ アラパアン カトゥ カ モイレ プ ネ クス

**neun rariwyuppa=an yakka arpa=an katu ka moyre p ne kusu**

どうにか舟を漕いで行くのにも遅いので

ネア メノコ スケ ヒネ イコイブンパ。

**nea menoko suke hine i=koypunpa.**

その女性は料理をし、私に差し出した。

イコイプニ ルウエ ネ ヒネ イペアン ルウエ ネ コロカ

**i=koypuni ruwe ne hine ipe=an ruwe ne korka**

差し出され、私は食事をしたのだが、

ネン カ ハウエアナン カ ソモ キ。

**nen ka hawean=an ka somo ki.**

誰にも私は話さなかった。

コパク アイェ カ ソモ キ ノ アナン ルウエ ネ ア プ、

**kopak a=ye ka somo ki no an=an ruwe ne a p,**

そちらに話しかけることもせずに、私はいたのだが、

タネ シ…… シシリクンネ カネ コロ オロワノ ネア オッカイポ ウニ ワノ

**tane si... sisirkunne kane kor orowano nea okkaypo uni wano**

もう薄暗くなると、それからその若者の家から

セタ ミク アウ ウェンルイ エアシリ カ セタ ウタラ ウカタ テレケ。

**seta mik h\_aw wenruy easir ka seta utar ukata terke.**

犬の鳴く声が激しくした。本当に犬たちが互いに上に下に重なり

アラキ ハウエ ウェンルイ アイネ

**arki hawe wenruy ayne**

やってくる声が激しくして

ネア コタン コロ クル ウニ ソイケ パク アラキ コロ

nea kotan kor kur uni soyke pak arki kor

その村人の家の外までやってくると、

ハウエ チトウイテクテク ルウエ ネ ア プ、

hawe cituytektek ruwe ne a p,

声が急に途絶えたのだが、

ホントモ タ ミンタラ カ タ

hontomo ta mintar ka ta

その途中で土間の上に

アペ エトク タ アナン ペ ネ プ、

ape etok ta an=an pe ne p,

横座に私はいたのだが、

アアン マ アナン ペ ネ クス

a=an w\_a an=an pe ne kusu

座っていたので

インクサン ペ ネ クス インカラン ワ アナナクス

inkus=an pe ne kusu inkar=an wa an=an akusu

悪い予感がして見てみると

ミンタラ カ ウン ミンタラ カ タ アイヌ クルマム チシプスレ。

mintar ka un mintar ka ta aynu kurmam cisipasure.

土間の上に人間の影が現れた。

ネア オックアイポ ネ ヒネ ミンタラ カ アシ シリ エネ アニ。

nea okkaypo ne hine mintar ka as siri ene an h\_i.

それは例の若者で土間の上に立つ様子は次のようだった。

エアシリ カ シク ネ コロ ペ ポン ノチウ ネ チェウサムクルヌ カネ

easir ka sik ne kor pe pon nociw ne cewsamkurunu kane

本当に目は星のようにぎらついて辺りを睨み付け



シリキ ヒ タ アロロキシネ オトゥ パピロロ アコトゥリ ハウエ エネ アニ。

**siriki hi ta arorkisne otu papiror a=koturi hawe ene an h\_i.**

そのようなときにこっそり私が言ったのは次のようなことだった。

「エアシリ アシヌマ カ エコッチャケ タ イルシカユプ アキ ヤクン

**“easir asinuma ka e=kotcake ta iruskayupu a=ki yakun**

「私もあなたの気持ちを代弁するように、ものすごく腹が立ったので

エルオカケ アイオマレ クシ ネ ナ。

**e=ruokake a=iomare kus ne na.**

あなたの思い残したことは私がするよ。

イエコシ ワ イコレ。」

**i=ekosi wa i=kore.”**

私に任せなさい」

セコロ ハウエアナン ラ…… アクシ ナニ クリ パン テク ヒネ イサム。

**sekor hawean=an ra... akus nani kuri pan tek hine isam.**

私が話すとすぐに影が消えてなくなった。

ルウエ ネ ヒネ オラウン

**ruwe ne hine oraun**

そうして

ホッケアン ヒケカ エアシリ モコロ カ アエトランネ。

**hotke=an hikeka easir mokor ka a=etoranne.**

横になるにしても本当に眠るのもいやだった。

エ…… エネ ウェン プリ コロ パ ハウエ オカイ ペ

**e... ene wen puri kor pa hawe okay pe**

このように行いの悪いもの

セコロ ヤイヌアン ヒケ

**sekor yaynu=an hike**

と違って

イルシカ ケウトウム アコロ コロカ

**iruska kewtum a=kor korka**

腹立たしく思っていたのだが、

ウエンタラプ ポカ ネン カ

**wentarap poka nen ka**

夢でも何か

イエピリマ ソモ キ コロ マク ネ セコロ ヤイヌアン クス

**i=epirma somo ki kor mak ne sekor yaynu=an kusu**

知らせてくれはしないだろうかと思ったので

オラノ ヤイウエンタラプコカヌアン コロ

**orano yaywentarapkokanu=an kor**

それから自分の夢に耳を傾けながら

ホッケアン ア プ、モコラン マ アナン ヒネ ウエンタラプアナクス

**hotke=an a p, moker=an w\_a an=an hine wentarap=an akusu**

横になると、(いつのまにか)私は眠っていて、夢を見ると、

ネア オックアイポ ニシパ ネ イネ

**nea okkaypo nispa ne h\_ine**

その若者のニシパは

ソモ ヌペサク ルウエ ネ ノイネ アン。

**somo nupesak ruwe ne noyne an。**

涙なしにはいられない様子だった。

イオシノ アシワ アン アイネ イタカウエ エネ アニ。

**i=osno as wa an ayne itak \_hawe ene an h\_i.**

私の後ろに立っていてこのように言った。

「イタカン チキ アコン ニシパ エイヌ カトウ エネ アニ。

**“itak=an ciki a=kor\_ nispa e=inu katu ene an h\_i.**

「私が話すのでニシパよ聞いてください。

オヤチキ アシヌマ アナク

**oyaciki asinuma anak**

知らなかったのですが、私は

ヤヤン アイヌ サニ カ ソモ アネ ルウエ ネ アアン

**yayan aynu sani ka somo a=ne ruwe ne aan**

普通の人間の子ではなかったのです。

ラヤン…… アイライケ ワ ライアン。

**ray=an... a=i=rayke wa ray=an.**

殺されて死んだのです。

ヒ オラ エアシリ インカラン クス ア……

**hi ora easir inkar=an kusu a...**

こうなって初めて見ると

アウヌフ パク ケウトウム ピリカ メノコ イサム ペ ネ ヒネ

**a=unuhu pak kewtum pirka menoko isam pe ne hine**

私の母はまたとない精神のいい女性で

オリパク カムイ アプカシ タ

**oripak kamuy apkas h\_i ta**

天然痘のカムイが歩き回っているときに

アウニヒ カシ オレ…… オレウシ ヒ タ シチョロポク ウン ヌカラ ヒケ

**a=unihi kasi ore... orewsi hi ta sicorpok un nukar hike**

私の家の上に泊ったときに下を見て

ケウトウム ピリカ ルウエ シレトツコン ルウエ コホヨイセ。

**kewtum pirka ruwe siretokkor\_ ruwe kohoyoyse.**

母の精神の良さ、美人さに、嫁にしたくなった。

カムイ メノコ ネ ヤク タシ セコロ ヤイヌ ヒ ヤヤンカ……

**kamuy menoko ne yak tas sekor yaynu hi yayanka...**

カムイの女性だったらなあと思ったことが

シパセカムイ ヤイヌ ヒ トイカオシマ エアイカプ クス  
**sipasekamuy yaynu hi toykaosma eaykap kusu**  
 偉いカムイの思いが地上に落ちることもできなかったので

アン ペ アネ ルウエ ネ ヒネ  
**an pe a=ne ruwe ne hine**  
 生まれたのが私であり、

オリパク カムイ ポホ アネ アアン ルウエ ネ ヒネ  
**oripak kamuy poho a=ne aan ruwe ne hine**  
 私は偉いカムイの子どもであったということで、

タン アイライケ プ ネ クス  
**tan a=i=rayke p ne kusu**  
 このように殺されたので

アライラマチ カムイ アオナ オロ タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
**a=rayramaci kamuy a=ona oro ta arpa=an ruwe ne akusu**  
 死んだ私の魂はカムイの父のところへ行っったところ

エイエ ア イタク アヌ プ ネ クス  
**e=ye a itak a=nu p ne kusu**  
 あなたの言葉を私は聞いたので

アエコシ クナク アラム コロ アラパアン ルウエ ネ アクス  
**a=e=kosi kunak a=ramu kor arpa=an ruwe ne akusu**  
 あなたに任せようと思い、私は行っったところ、

アヌ ワ オロ タ アラパアン ルウエ ネ アクス  
**a=nu wa oro ta arpa=an ruwe ne akusu**  
 私はあなたの言葉を聞いてそこに私は行っったところ

アオナハ エネ ハウエアニ。  
**a=onaha ene hawean h\_i.**  
 父はこのように話しました。

イテキ アイヌ ニシパ ヤイカタ ヤイクルカタ イテキ テケ アニ  
**iteki aynu nispa yaykata yaykurkata iteki teke ani**  
 決して人間のニシパが一人で自らの手で

イパカシヌ ソモ キ ヤッカ ピリカ。  
**ipakasnu somo ki yakka pirka.**  
 罰しないほうがいい。

アシヌマ イパカン シリ イパカシヌアン シリ  
**asinuma ipak=an siri ipakasnu=an siri**  
 私が罰して懲らしめる様子を

アヌカレ パクシ ネ クシ キ ナ。  
**a=nukare pa kus ne kus ki na.**  
 見せるつもりだよ。

アイヌ ニシパ エウン ネノ ハウエアン セコロ カネ  
**aynu nispa eun neno hawean sekor kane**  
 人間のニシパにこのように言うようにと

カムイ アオナハ イイエ ワ アイヌレ ハウエ ネ ナ。」  
**kamuy a=onaha i=ye wa a=i=nure hawe ne na.”**  
 カムイの私の父は、私に言って聞かせたという話なのです」

セコロ カネ ハウエアン。オラウン  
**sekor kane hawean. oraun**  
 と言った。それから

「アウニヒ オ プ アナクネ エコロ ワ エサン  
**“a=unihi o p anakne e=kor wa e=san**  
 「私の家にあるものはあなたが持って行き、

オラ アウニヒ アナク エウフイカ ヤク ピリカ ナ。」  
**ora a=unihi anak e=uhuyka yak pirka na.”**  
 それから私の家はあなたが燃やしてください」

セコロ カネ アン…… ハウエアン ヤク アタカラ。

sekor kane an... hawean yak a=takar.

という夢を見た。

オラノ ポ ヘネ イルシカアナ イルシカアナ コロカ

orano po hene iruska=an a iruska=an a korka

それからいっそう腹が立って腹が立って仕方なかったけれども

エネ ハウエオカ イ アヌ ルスイ クス

ene haweoka h\_i a=nu rusuy kusu

彼らがどのように言うか、私は聞いたかったので

イシムネ クンネイワ ホプニアン。

isimne kunneywa hopuni=an.

翌日の朝起きた。

ホプニアニネ オラノ

hopuni=an h\_ine orano

起きて、それから

「マク ネ ワ オックアイポ イサム ルウエ アニ アナ？」

“mak ne wa okkaypo isam ruwe an h\_i an y\_a?”

「どうして若者はいなくなったのだ？」

セコロ ハウエアナン ヒケカ

sekor hawean=an hikeka

と話すと、

チセ コン ニシパ カ ヘタプ カ ネプ カ イェ ソモ キ。

cise kor\_nispa ka hetap ka nep ka ye somo ki.

家のニシパは何も言わなかった。

マッコサンパアン。

matkosanpa=an.

私はさっと立ち上がった。

サケ スウエ ス アニ クス

sake suwe su an h\_i kusu

酒を煮る鍋があったので

オロ ワッカ アエシクテ チョロポッケ アニウシウシ。

oro wakka a=esikte corpokke a=niusiusi.

それに水をいっぱい入れ、下に薪をつっこんだ。

ノシケ タッタツチェ ヒ クス オロ ウン

nosike tattatce hi kusu oro un

(鍋の) 真中がぐつぐつしたところへ

アコロ セツパ アオマレ テク ヒネ オラ

a=kor seppa a=omare tek hine ora

私の刀のつばをさっと入れて

ネア メノコ テケ アニンパ

nea menoko teke a=ninpa

その女の手を引っ張った。

「マクネ ヒネ

“makne hine

「どうして

オックアイポ ニシパ エネ ライチェピ アオスラ ワ アニアン?

okkaypo nispa ene raycepi a=osura wa an h\_i an?

若者のニシパはこのように遺体が捨てられているのだ?

マク ネ ルウエ アン? マク ネ ルウエ アン?」

mak ne ruwe an? mak ne ruwe an?”

どういうことだ? どういうことだ?」

セコロ ハウエアナン コロ アルエニンパ

sekor hawean=an kor a=ruweninpa

と話しながらひっぱった。

「エチイエ カ ヤッカ ソモ ヤッカ アエチウエンパカシヌ クス  
 “eci=ye ka yakka somo yakka a=eci=wenpakasnu kusu  
 「お前たちが言おうと言うまいと、お前たちを罰するために

エカン ルウエ ネ ワ  
 ek=an ruwe ne wa  
 私は来たのだ。

マク ネ ルウエ アニアン？」  
 mak ne ruwe an h\_i an?”  
 どういうことだったのだ？」

セコロ ハウエアナン アクス  
 sekor hawean=an akusu  
 と言うと

パラパラク コロ  
 paraparak kor  
 泣き叫びながら

「アオナハ エネ ハウエアニ。  
 “a=onaha ene hawean h\_i.  
 「私の父はこのように話したのです。

『ホクレ ホクレ イホシキ。』  
 ‘hokure hokure ihoski.’  
 「さあさあ、酔いなさい。」

ウイマム オロワ コロ ワ エク サケ  
 uymam orowa kor wa ek sake  
 交易から持って来た酒を

コタン オロ ウン ウタラ タク ヒネ クレ パ。  
 kotan or un utar tak hine kure pa.  
 村の人を呼んで飲ませたのです。



ヤイカタ カ ク プ ネ クス

yaykata ka ku p ne kusu

父は自分も飲んだので

イホシキ アクス オラノ ホクレ イホシキ ヒ タ

ihoski akusu orano hokure ihoski hi ta

酔っぱらって、それから酔ったときに

ライケ ネプ…… ネウン カ カラ ワ スルククレ ワ ライケ ライケ

rayke nep... neun ka kar wa surkukure wa rayke rayke

『殺せ。どうにかして(夫に)毒を飲ませて殺せ。殺せ』

セコロ カネ アウエノナハ ハウエアン マクス

sekor kane a=wenonaha hawean w\_akusu

と父は話して

スルク アクレ ワ タシ ネ ネク。」

surku a=kure wa tasi ne nek.”

毒を(夫に)私は飲ませたのです」

セコロ ハウエアン。オラ アトイコキツキク コロ オラノ

sekor hawean. ora a=toykokikkik kor orano

と女は話した。それから私は女をひどく叩き、

コタン オツ タ ピウキアン マ チセ ピシノ アフナン

kotan or\_ ta piwki=an w\_a cise pisno ahun=an

村で攻撃しに、家ごとに入った。

「マク ネ ワ エネ コタン オロ ウイルプ エネ ヘタブ

“mak ne wa ene kotan or uyrup ene hetap

「どうしてか、この村のものはこのように

オロヤチキ

oroyaciki

知らなかったとはいっても、

カムイ サシニ ネ アン カムイ サシニ ネ アン オッカイポ ニシパ  
**kamuy sasini ne an kamuy sasini ne an okkaypo nispa**  
 カムイの子孫である若者のニシパを

エチロンヌ ルウエ アナクネ エチオカトゥネ (?) クニ プ ソモ ネ ナ。  
**eci=ronnu ruwe anakne eci=okatune(?) kuni p somo ne na.**  
 殺したということは、お前たちの今後はただではすまないぞ(?)。

ヘタク ヘタク パイエ ワ  
**hetak hetak paye wa**  
 さあ、(若者の家に)行って

ピリカノ シンリトルン アラパ クニ イェ コロ  
**pirkano sinrit or un arpa kuni ye kor**  
 きちんと先祖のところへいくのだと言いながら

ピリカノ イワクテ ヤン。イワクテ ヤン。」  
**pirkano iwakte yan.iwakte yan.”**  
 ちゃんと若者を弔いなさい。弔いなさい」

セコロ ハウエアナン コロ チセ ピシノ ヘヨキサクノ アフナン マ  
**sekor hawean=an kor cise pisno heyokisakno ahun=an w\_a**  
 と話しながら家ごとに、遠慮なしに入って

シラウエコイキアン ペ ネ クス  
**sirawekoyki=an pe ne kusu**  
 大声でどなるので

コタノロ ウイルプ ウエカラパ ヒネ  
**kotan or uyrup uekarpa hine**  
 村の人は集まり、

オラノ ネア オッカイポ ウニ タ マラット アン。  
**orano nea okkaypo uni ta maratto an.**  
 それからその若者の家で送り儀礼が行われた。

オラノ パシロタアナ アナ。

**orano pasrota=an a =an a.**

それから私は叱りに叱った。

チサナ アナ ホッケアン コロ オラノ チサン コロ

**cis=an a =an a hotke=an kor orano cis=an kor**

泣いて泣いて横になりながらも泣きながら

アオシクル チサン コロ キ アイネ オラウン

**a=oskur cis=an kor ki ayne oraun**

若者がなくなったことを惜しんで泣いていたあげく、それから

ネア ヤイラムヌイナ イ アエラムシンネ コロ オラ

**nea yayramunuyna h\_i a=eramsinne kor ora**

その埋葬したことに安心して

ネア チセ オロ オ プ カ

**nea cise or o p ka**

その家にあるものも、

ホクレ カ ピリカ プ オカ カ ソモ キ ソンノ カ キ。

**hokure ka pirka p oka ka somo ki sonno ka ki.**

本当にいいものはなかった。

ピリカ プ オカ コロ アコウイナ ヤク イェ プ ネ クス ネノ

**pirka p oka kor a=kouyna yak ye p ne kusu neno**

いいものがあると奪われたと言っていたので、そのように

ピリカ カシパ プ オカ ルウエ カ イサム ペ ネ コロカ

**pirka kasper p oka ruwe ka isam pe ne korka**

良いものがある様子はなかったけれども

オロワ ポンノ ポンノ ヘンパク ペ、エネ ハウエ アニ

**orowa ponno ponno hompok pe, ene hawe an h\_i**

そこから少しずつつかつかを、そう言われていたので、

ソモ アコロ ワ サナン カ エヤイラムカラ クス

**somo a=kor wa san=an ka eyayramkar kusu**

私は持たずに行くのも気が引けるので

ポンノ ポンノ アウイナ ヒネ オラ アコロ ワ サナン。

**ponno ponno a=uyna hine ora a=kor wa san=an.**

少しずつ取って持って行った。

オラノ エアシリ カ アエヤイケウトウムウエンテ。

**orano easir ka a=eyaykewtumwente.**

そうして、ただただ私は悲しんだ。

オラノ ソモ モシマ ヤイヌアン。

**orano somo mosma yaynu=an.**

他のことを考えたりもしなかった。

アヤイケウトウムウエンテ コロ アナナクス

**a=yaykewtumwente kor an=an akusu**

私は悲しんでいると

スイ シネアンタ ウエンタラプアナクス

**suy sineanta wentarap=an akusu**

またある日夢を見て

スイ ネア オックアイポ ネ ヒネ イタク ハウ エネ アニ。

**suy nea okkaypo ne hine itak haw ene an h\_i.**

その若者が次のように話した。

「エアシリ イオシクル シリ アヌカラ コロ アナン。

**“easir i=oskur siri a=nukar kor an=an.**

「本当に私を惜しむ様子を私は見ました。

タネ アナク カムイ アネ。カムイ ネットパ アネ プ ネ クス

**tane anak kamuy a=ne. kamuy netopa a=ne p ne kusu**

今は私はカムイです。カムイの首領なので

アヌカラ コロ アナン。

**a=nukar kor an=an.**

見ていたのです。

オロワウン ポコン ルスイ ヤッカ ポサク ラマツ コロ ウタラ アナクネ  
**orowaun pokor\_ rusuy yakka posak ramat kor utar anakne**

子どもが欲しいけれど、子どもがいない魂を持つ人たちは

ネウン ポコン ルスイ ヤッカ ポコロ エアイカプ ペ ネ ルウエ ネ ワ  
**neun pokor\_ rusuy yakka pokor eaykap pe ne ruwe ne wa**

どんなに子どもが欲しくても子どもが持てないもので、

エチポコロ ラマツ エチサク ワクス

**eci=pokorramat eci=sak wakusu**

子どもを持つ魂をあなたは持っていないので、

エチウポコサク ルウエ ネ アアン コロカ

**eci=upokosak ruwe ne aan korka**

子どもがいなかったのですが、

アシヌマ アレンカイネ アオナハ カムイ レンカイネ

**asinuma a=renkayne a=onaha kamuy renkayne**

私の意志で、私の父であるカムイの意志で

エチウポコン ナンコロ。

**eci=upokor\_ nankor.**

あなた達に子どもができるでしょう。

ホシキ エコロ ペ オッカヨ ポ ネ ヤクン

**hoski e=kor pe okkayo po ne yakun**

先にできるのが男の子なら

アシヌマ イネノ カネ アン ヘカチ エコン ナンコロ。

**asinuma i=nenno kane an hekaci e=kor\_ nankor.**

私に似た男の子を持つことになるでしょう。

オロワ スイ マッカチ シネプ エチコン ナンコロ。

**orowa suy matkaci sinep eci=kor\_ nankor.**

それから女の子も一人できるでしょう。

ウネノ カネ オカ ピリカ ヘカッタラ エチコッ

**uneno kane oka pirka hekattar eci=kor\_.**

お互いに似ているすばらしい子どもをあなた達が持つでしょう。

タパン ペ ポカ アエコヤヤッタサ。

**tapan pe poka a=e=koyayattasa.**

そればかりでも私はあなたへのお礼といたします。

オロワ ウン イエランポキウエン マ

**orowa un i=erampokiwen w\_a**

私を気の毒に思っ

タン アコロ ワ オカ アチペクサ ア プ アナクネ

**tan a=kor wa oka a=cipekusa a p anakne**

この私の持っていた、舟で運んだものは

ネ アポホ…… イネノ カネ アン エポホ

**ne a=poho... i=nenno kane an e=poho**

私にそっくりなあなたの子を

アコロ ペ エエレス ワ イコレ ヤク ピリカ。

**a=kor pe e=eresu wa i=kore yak pirka.**

育てるのに私のものを使ってください。

タパン ペ ポカ アヤイ…… ラムキシマ。

**tapan pe poka a=yay... ramkisma.**

これだけで我慢してください。

アシヌマ アナク キ オロワ ウン

**asinuma anak ki orowa un**

私もそうして

ネ アコタヌ ウン カメアシ ルプ…… ウタリ エウン アナク  
**ne a=kotanu un kameasi rup... utari eun anak**  
 村の化け物の群れ、やつらのところには

アオナハ チョラウキ ヤクン エネ ハワシ エヌ ナンコロ。  
**a=onaha corawki yakun ene hawas e=nu nankor.**  
 父が襲ったら、このような話をあなたは聞くでしょう。

エアシリ アウエンパカシヌ パ  
**easir a=wenpakasnu pa**  
 ひどく懲らしめられ、

セタ キキリ アルケシテ…… アエケシケカン ナンコロ クス  
**seta kikir arukeste... a=ekeskekar\_ nankor kusu**  
 犬につく虫にいたるまで絶やされるだろうから

エネ ハワシ エヌ。  
**ene hawas h\_i e=nu.**  
 そのような話をあなたは聞くことになるのです。

エテケ アニ エイタサ ネノ エイキ ヤッカ ワカ  
**e=teke ani eytasa neno e=iki yakka waka**  
 あなたの自身の手で懲らしめても、かえって

ウエンサンペコロ パ プ ネ クス アエエヤムカラ クス  
**wensampekora pa p ne kusu a=e=eyamkar kusu**  
 悪い精神を持つものなので、あなたが心配なので

エアニ アナク モシマノ エアン ヤッカ ピリカ ルウエ ネ ナ。  
**eani anak mosmano e=an yakka pirka ruwe ne na.**  
 あなたは黙っていればいいのですよ。

オロワウン ネノ ランマ イモシマ ソモ エヤイヌ コロ  
**orowaun neno ramma i=mosma somo e=yaynu kor**  
 それからそのようにいつも私だけを思って

エチシ コロ パテク エアン

**e=cis kor patek e=an**

泣きながら暮らして

エエキムネ ヤッカ チセ オツ タ エアイ ヤッカ

**e=ekimne yakka cise or\_ ta e=an\_ yakka**

あなたが山に行っても家にいても

キ シリ アヌカラ コロ アナン。

**ki siri a=nukar kor an=an.**

そうしている（泣いている）様子を私は見えています。

エチシ コロ エチシ ヌペヘ アオイペピヒ オ ワ イペ カ アエアイカプ。

**e=cis kor e=cis nupehe a=oypepihi o wa ipe ka a=eaykap.**

あなたが泣くなら、泣いた涙が私の食器に入って食事をすることもできません。

カムイ アネ クス アエチャッケ ワ イペ カ エアイカプ ナ。

**kamuy a=ne kusu a=ecakke wa ipe ka eaykap na.**

私はカムイなので汚がって食事もできないのですよ。

ヤイラムキシマ ワ ネノ タプ ハウエアニ アナン…… アン ワ エヌ ナ。

**yayramukisma wa neno tap hawean h\_i an=an... an wa e=nu na.**

我慢してこのような話をあなたは聞いてくださいよ。

オラノ エチポコロ チキ タンペ ポカ アシヌマ ネ セコロ

**orano eci=pokor ciki tanpe poka asinuma ne sekor**

それからあなた達に子どもができたなら、それだけでも私だと

エチヤイヌ コロ エチエヤイラムキシマ ワ エチレス ヤクン

**eci=yaynu kor eci=eyayramukisma wa eci=resu yakun**

思って我慢して育てたら

ナ ウシムネ ウシムネ ポロ ペコロ イキ ワ

**na usimne usimne poro pekor iki wa**

日一日と大きくなるようにして



ナ エチイイエ パ ヒネ エアシリ カ ウタラパ ネ ワ アナン ルウエ ネ。

na eci=i=ye pa hine easir ka utarpa ne wa an=an ruwe ne.

あなた達が私に言うことによって(?)立派な人に私はなっているのです。<sup>[4]</sup>

【注】

- [1] ku=「私」は物語の中の叙述者ではなく、話者自身を表している。萱野氏と平賀氏は親戚関係にあるわけではないが、そういう場合でも親しい相手には ku=karku「私の甥」のように親族名称を使って表すのがふつう。
- [2] これと同じ表現は辞書等では確認できなかったが、『久保寺辞典稿』に「kironnawano 本心から, 満身こめて, 衷心より しみじみと」(P131)という語が掲載されており、これを参考に解釈した。
- [3] Disk11 トラック 1 に続く。

## 11-1 ウエペケレ

「ウラユシウンクル」 続き

ウラユシの人 (続き) [1]

語り：平賀さだも

オラノ エキムネアン ヤッカ チセ オツ タ アナン ヤッカ  
 orano ekimne=an yakka cise or\_ ta an=an yakka  
 それから山に行っても家にいても

チシ トウラノ アプカサン エネ ヘタプ ネ  
 cis turano apkas=an ene hetap ne  
 泣きながら歩いている

アエニシテ クニ カ ポ シリ ネ アラム クニ アエヤイコブンテク ペ  
 a=eniste kuni ka po siri ne a=ramu kuni a=eyaykopuntek pe  
 私が頼りにするべき子どものように思って喜んでしたのは

オッカイポ ニシパ ネ ア プ オラウン エネ ネ ヒ アン  
 okkaypo nispa ne a p oraun ene ne hi an  
 若者のニシパであったのに、そのようなこと

セコロ ヤイヌアン コロ アナクネ ネイ タ ヤイヌペサッカアン カ ソモ キ。  
 sekor yaynu=an kor anakne ney ta yaynupesakka=an ka somo ki.  
 を思っていると、いつも涙なしにいることもできなかった。

ネウン イテキ チシ ワ イコレ  
 neun iteki cis wa i=kore  
 どうにか決して泣かないでください

セコロ ハウエアン ヤッカ キ コロ アナン ルウエ ネ。  
 sekor hawean yakka ki kor an=an ruwe ne.  
 という話だったけれども、私はそのようにいた。

オロワノ アナクネ アコツ トノ エウン アラパアン カ ソモ キ。

orowano anakne a=kor\_ tono eun arpa=an ka somo ki.

それからは殿様のところにも行かずにいた。

「アアキヒ ネ。」

“a=akihi ne.”

「私の弟です」

セコロ カネ ハウエアナン コロ アトゥラ ワ アラパアン マ エネ ヘタブ

sekor kane hawean=an kor a=tura wa arpa=an w\_a ene hetap

と言って連れて行って、あんなにも

アエラムシ シリ アン アエオマルイェ シリ アナ プ、オラウン

a=eramus siri an a=eomaruye siri an a p, oraun

私は足繁く通い、大切にしていたのに、

「アアキヒ ライ ルウエ ネ。」

“a=akihi ray ruwe ne.”

「弟は亡くなったのです」

セコロ カネ ハウエアナン チキ ソネ カ ウン

sekor kane hawean=an ciki sone ka un

と話すことは、本当に

アプンノ アイラム プ ヘ ネ ヤ ネウン ネ ヤ セコロ ヤイヌアン

apunno a=i=ramu p he ne ya neun ne ya sekor yaynu=an

平静に思われるか、どうであろうかと私は思い、

アコヤヤプテ イクス オラ アラパアン カ ソモ キ。

a=koyayapte h\_ikusu ora arpa=an ka somo ki.

自重して行かないでいた。

オラノ アナク キ コロ アナナイネ ソンノ カ イルカ オカアン コロ

orano anak ki kor an=an ayne sonno ka iruka oka=an kor

そうしていたのだったが、暫くそうして暮らしていたところ

アマチヒ ホンコロ。

**a=macihi honkor.**

私の妻は妊娠した。

パキペカ アナク ポ ヤイコチパチパ カ ソモ アン ノ

**pakipeka anak po yaykocipacipa ka somo an no**

これまでは(?) 子どもを期待せずに

オカアン ペ ネ ア プ

**oka=an pe ne a p**

いたのだが、

ポコラン ソモ キ ヤッカ

**pokor=an somo ki yakka**

私達に子どもがいなくても

アコタヌ ウン ウタラ カ イオマルイ パ プ ネ クス

**a=kotanu un utar ka i=omaruypa p ne kusu**

村人も私達を大事に思っているので

シルン イオクパレ パ カ アナク ソモ キ クニ アラム コロ

**sirun i=okpare pa ka anak somo ki kuni a=ramu kor**

ひどく冷遇したりはしないと思って

アナン ペ ネ クス

**an=an pe ne kusu**

暮らしていたので

ポ ヤイコチパチパ カ ソモ アン ノ アナン ア プ

**po yaykocipacipa ka somo =an no an=an a p**

子どもを期待してはいなかったのだが、

エネ アマチヒ ホンコロ

**ene a=macihi honkor**

このように妻が妊娠した。

カムイ イイエ イタク ソンノ ネ シリ ネ クニ アラム コロ

**kamuy i=ye itak sonno ne siri ne kuni a=ramu kor**

カムイが私に言った話が本当になったのだと私は思いながら

オラノ アエヤム ノ オカアン ルウエ ネ アイネ

**orano a=eyam no oka=an ruwe ne ayne**

それから妻を大事にしながらいたのだが

ポコロ アクス ピリカ エアシリ カ ソンノ カ ネ クス

**pokor akusu pirka easir ka sonno ka ne kusu**

妻が出産すると、美しく、本当に

ネア オッカイポ ヘプス カネ アン ポン オッカヨ コロ キ ヒネ

**nea okkaypo hepusu kane an pon okkayo kor ki hine**

あの若者が顔をだしたかのような小さな男の子で

オロワノ チシ トウラノ アエヤイコプンテク。

**orowano cis turano a=eyaykopuntek.**

私は泣きながら喜んだ。

エアシリ ヌペ トウラ アコオンカミ ア アコオンカミ ア。

**easir nupe tura a=koonkami a a=koonkami a.**

そして涙ながらに拝礼を続けた。

オンカミアナ アナ アエヤイコプンテク コロ アレス コロ アナン。

**onkami=an a =an a a=eyaykopuntek kor a=resu kor an=an.**

拝みに拝んで、喜びながら育てて暮らしていた。

オラノ アエヤム ペ ネ クス ホクレ カ エキムネ ヘネ アン カ ソモ キ ノ

**orano a=eyam pe ne kusu hokure ka ekimne hene =an ka somo ki no**

それから私は心配なので、すぐに山に行きもしないで暮らして

アナン ルウエ ネ アイネ スイ ナ オウシ テク スイ ホンコロ。

**an=an ruwe ne ayne suy na ous tek suy honkor.**

いたのだが、また、すぐ後に妻は妊娠した。

ウカウン ウカウン ホンコロ ヒネ スイ マツカチ コロ。

**ukaun ukaun honkor hine suy matkaci kor.**

重ねて妊娠して、また女の子を産んだ。

ソンノ カ ネア カムイ オツカイポ イイエ ア イタク ネ クス エネ シリキ

**sonno ka nea kamuy okkaypo i=ye a itak ne kusu ene siriki**

本当にあのカムイの若者が言った話通りに、このようになったのだ

セコロ ヤイヌアン ポ ヘネ

**sekor yaynu=an po hene**

と私は思った。いっそう

アエコヤイライケ ネ ヤ カムイコヤイライケアン コロ オラ

**a=ekoyayrayke ne ya kamuykoyayrayke=an kor ora**

私は感謝もし、カムイに感謝しながらいると、

イヌアン ハウエ エネ アニ。

**inu=an hawe ene an h\_i.**

聞こえてきた話はこのようだった。

「ネア コタン ネア ウラユシ カムイ オヤン ヒネ

**“nea kotan nea Urayusi kamuy oyan hine**

「あの村、あのウラユシにカムイが上陸し、

エアシリ カ アヤイウエンヌカレ パ ワ

**easir ka a=yaywennukare pa wa**

本当に苦しめられ、

テム ロク アイヌ オピッタ アアレムコ ワ イサム。」

**tem rok aynu opitta aaremko wa isam.”**

うめく人間全員が人生の半ばで死んだ」

セコロ ハワシ ヒ アヌ ヤクン

**sekor hawas hi a=nu yakun**

という話を私は聞いたので、それなら、

タネ アナクネ パセ カムイ コロ イルシカ ネ クス

**tane anakne pase kamuy kor iruska ne kusu**

もう、偉いカムイの怒りで

カムイ パカシヌ アン ハウエ ネ クニ アラム ペ ネ クス

**kamuy pakasnu an hawe ne kuni a=ramu pe ne kusu**

カムイの罰があったという話なのだと思ったので

オラノ アナク コパク ウン アラパアネネ ヤイヌアネネ キ カ ソモ キ。

**orano anak kopak un arpa=an h\_ene yaynu=an h\_ene ki ka somo ki.**

それからはそちらの方に行こうとも思いもせずいた。

オラノ ネア アコロ テンネプ パテク

**orano nea a=kor tennep patek**

それから、その私の赤ちゃんばかりを

アエヌチシシケ フミ ネ ペコロ ヤイヌアン コロ

**a=enucisiske humi ne pekor yaynu=an kor**

私は見つめるように思いながら、

オラノ テクトウムネ アコロ ワ

**orano tektumne a=kor wa**

力を出して、

スイ アコロ イラマンテ アコアリキキ コロ アナン コロ

**suy a=kor iramante a=koarikiki kor an=an kor**

また狩りに精を出しながら暮らしていると

ネロク ヘカッタラ ナ ウシムネ ウシムネ ルプネ ペコロ

**nerok hekattar na usimne usimne rupne pekor**

その子どもたちは毎日毎日大きくなり

アアトウル…… ア…… アトウ アトウリリ パ ペコロ ヘトウクパ シリ オカ

**aaturu... a... atu a=turiri pa pekor hetukpa siri oka**

紐が延ばされるかのように成長していた。

アエヤイコプンテク コロ オラノ アレシパ コロ オカアン アイネ  
**a=eyaykopuntek kor orano a=respa kor oka=an ayne**  
 私は喜びながら育てていたところ

タネ アナクネ エアシリ イルカ トムタ  
**tane anakne easir iruka tomta**  
 もはや、本当にわずかの間に

ルプネ ヘカッタン ネ ワ ネ シリ エネ アニ。  
**rupne hekattar\_ ne wa ne siri ene an h\_i.**  
 子どもたちは大きくなり、こんなふうになった。

エアシリ カ ネア オッカヨポ カトゥン クニ ホロカ スイエ  
**easir ka nea okkaypo katun kuni horka suye**  
 本当に例の若者の姿の生き写しかのように、

ネア オッカヨ ヘカチ キ シリ  
**nea okkayo hekaci ki siri**  
 その男の子はなり、

ポ ヘネ アエヤイコプンテク コロ オラノ オカアン アイネ  
**po hene a=eyaykopuntek kor orano oka=an ayne**  
 いっそう私は喜びながらいたのだが、

タネ シオッカヨ ネ ラポッケ タ アナクネ タネ ケマパセアン  
**tane siokkayo ne rapokke ta anakne tane kemapase=an**  
 もう一人前の男になる間に私は年をとった。

タネ ポロ スクプアン マ アコロ ヘカッタン ネ クス  
**tane poro sukup=an w\_a a=kor hekattar\_ ne kusu**  
 もう私は老人になり、私の子どもたちが

ルプネ パクノ アナク タネ ケマパセ カ アン ペ ネ クス  
**rupne pakno anak tane kemapase ka =an pe ne kusu**  
 大きくなるほど、もう私も年をとったので



ネア アコロ…… アポホ エキムネ コロ

**nea a=kor... a=poho ekimne kor**

その息子は山に行くと

ネア オツカイポ エネ モイモイケ ヒ アアン ヒ コラチ キ プ ネ クス

**nea okkaypo ene moy moyke hi aan hi koraci ki p ne kusu**

例の若者が動いていたように、かつてそうであったようにするので

エアシリ カ アエピリカ。

**easir ka a=epirka.**

私達はそれで豊かになった。

アシヌマ アトゥペレテ (?) チモイモイケレ アリキキ プ ネ クス

**asinuma atuperete(?) cimoy moykere arikiki p ne kusu**

私は (?) (子供たちが) 一生懸命働くので

ネプ エトコ タ アアヌ カ ソモ キ ノ<sup>[2]</sup>

**nep etoko ta a=anu ka somo ki no**

何も先に置かなくても

ネプ エトコ タ アアヌ ペコロ

**nep etoko ta a=anu pekor**

何か先に置いてあったかのように

ケシト アン コロ ユク ヘネ カムイ ヘネ エアウナルラ コロ オカアン

**kesto an kor yuk hene kamuy hene eawnarura kor oka=an**

毎日、シカでもクマでも獲ってきて私たちは暮らしていた。

アエウコアスルアシ

**a=eukoasuruas**

噂になっていた。

オロワノ ネア カムイ オツカイポ コロ

**orowano nea kamuy okkaypo kor**

それから例のカムイの若者が持っていた

チヨイペプ ネ ヤ イコン ネ チキ ネプ ネ チキ

coy pep ne ya ikor\_ ne ciki nep ne ciki

食器や宝物などといったもので

ネア アポホ アエレス ワ コロ ペ ネ シンナ コロ ペ ネ

nea a=poho a=eresu wa kor pe ne sinna kor pe ne

この私の子どもを育てて、それぞれに持たせてやると

アイェ コロ アエパカシヌ コロ アレス ワ

a=ye kor a=epakasnu kor a=resu wa

私は言いながら、教えながら育て

エヤイコブンテク ワ ポ ヘネ テクトウムネ コロ ワ ネ コトム アン

eyaykopuntek wa po hene tektumne kor wa ne kotom an

子どもは喜んで、いっそうやる気がでるかのようだった。

アリキキ エアシリ カ アエピリカ

arikiki easir ka a=epirka

息子は頑張っていっそう私たちは豊かになった。

ネプ ア…… アテケ ケレ カ ソモ キ。

nep a... a=teke kere ka somo ki.

何も私の手を煩わせなかった。

ネア マッカチ カ ポロ ヒ ワノ ネプ アマチヒ テケ ケレ シリ カ イサムノ

nea matkaci ka poro hi wano nep a=macihi teke kere siri ka isamno

その女の子も大きくなってからは、私の妻の手を煩わせることなく

エアシリ カ アリキキ プ ネ クス エアシリ アエウコヤイブンテク コロ

easir ka arikiki p ne kusu easir a=eukoyaypuntek kor

よく働くので、私たちは互いに喜びながら

イピリカレシパ コロ オカアン

i=pirkarespa kor oka=an

大事にされながら暮らしていた。

オロワノ アナク アシヌマ アナク エキムネ カ ソモ アン。

**orowano anak asinuma anak ekimne ka somo =an.**

それからは私は山に行かなかった。

アポホ パテク エキムネ ヤツカ

**a=poho patek ekimne yakka**

息子だけが山に行っても

ヌウェコアン ペ カムイ ネ チキ ユク ネ チキ ネプ ネ クス

**nuwekoan pe kamuy ne ciki yuk ne ciki nep ne kusu**

獲物に恵まれるのでクマでもシカでもなんでも

アコタヌ ウン ウタラ カ マカン ネ コロ エイメツカラ。

**a=kotanu un utar ka makan ne kor eymekkar.**

村の人にしばしばおすそ分けしていた。

トゥプ カ レプ カ スマウエ コロ コロ アコタヌ ウン ウタラ カ

**tup ka rep ka sumawe kor kor a=kotanu un utar ka**

二頭、三頭と獲物を獲ると、村の人々

コタン エピッタ エイメツカラ コロ

**kotan epitta eymekkar kor**

全員におすそ分けし

ポ ヘネ アイオマルイェ アエイオマルイパ ワ

**po hene a=i=omaruye a=eihomaruyupa wa**

いっそう大切にし合い

エアシリ アコタヌ ウン ウタラ カ イエオリパク パ。

**easir a=kotanu un utar ka i=eoripak pa.**

村の人々は私を大事にした。

カムイ シリ ネ イエオリパク パ。

**kamuy siri ne i=eoripak pa.**

カムイのように私を大事にした。

アポホ エアシリ カトゥフ ワノ

**a=poho easir katuhu wano**

息子は姿から

ニシパ イポロ コン ルウエ アン ペ ネ クス

**nispa ipor kor\_ ruwe an pe ne kusu**

ニシパの顔つきをしているので

カムイ イポロ コン ルウエ アン ペ ネ クス アエオリパク

**kamuy ipor kor\_ ruwe an pe ne kusu a=eoripak**

カムイの顔つきをしているので敬われた。

ポ アコタヌ ウン オッカイポ ウタラ ポ エオリパク パ ワ

**po a=kotanu un okkaypo utar po eoripak pa wa**

いっそう村の若者たちも敬って、

ピリカエオリパク パ ルウエ ネ アイネ

**pirkaeoripak pa ruwe ne ayne**

とても大事にしている

オラノ ピリカ メノコ シノ ケウトウム アレンカ ノイネ アン メノコ

**orano pirka menoko sino kewtum a=renka noyne an menoko**

それから、美しい女性、本当に心も美しい女性を

アエトゥンカ ヒネ アコレ ワ

**a=etunka hine a=kore wa**

迎えさせて、結婚させて

オロワノ ポ ヘネ イピリカレシパ

**orowano po hene i=pirkarespa**

それからいっそう私は大事にされた。

ネア コシマツネ アコロ メノコ カ エアラキンネ ケウトウム ピリカ

**nea kosmatne a=kor menoko ka earkinne kewtumu pirka**

その嫁も非常にやさしく、

シノ イヌヌケ イピリカレシパ ペ ネ クス

sino i=nunuke i=pirkarespa pe ne kusu

私の面倒を良く見てくれた。私を大事にしてくれるので、

ネプ アエシリキラプ カ ネプ アコン ルスイ カ

nep a=esirkirap ka nep a=kor\_ rusuy ka

私は困ることも、何を欲しいとも思わず、

イミ オツ タ イペ オツ タ チョイペプ ネ チキ ネプ ネ チキ

imi or\_ ta ipe or\_ ta coy pep ne ciki nep ne ciki

着物でも食事でも食器でもなんでも

アコン ルスイ カ ソモ キ ノ

a=kor\_ rusuy ka somo ki no

私はほしいと思わず、

タネ アナクネ オンネアン シリ ネ ナ。

tane anakne onne=an siri ne na.

今はもう年をとったのだ。

アポホ ヤヤン アイヌ サニ エネ ルウエ カ ソモ ネ。

a=poho yayan aynu sani e=ne ruwe ka somo ne.

息子よ、お前は普通の人間の子ではないのだ。

エアシリ オリパク カムイ カムイ ミツポホ エネ ルウエ ネ ワ

easir oripak kamuy kamuy mitpoho e=ne ruwe ne wa

天然痘のカムイの孫がお前なのだ。

アエエオリパク エアシリ キ プ ネ ルウエ ネ ナ。

a=e=eoripak easir ki p ne ruwe ne na.

お前は畏れ多く思われるものなのだよ。

アイェ ワ アエヌレ ハウエ ネ ナ。

a=ye wa a=e=nure hawe ne na.

私はそう言ってお前に聞かせるのだよ。

セコロ カネ シノ ニシパ ハウエアシ セコロ

sekor kane sino nispa hawean sekor

と本当のニシパが話した。

**【注】**

[1] Disk10トラック3の続きにあたる。

[2] この一行は言い誤り。次の一行で言い直している。

## 11-2 ウエペケレ

## 「シリマオッテ」

## シリマオッテ

語り：平賀さだも

(萱野：何か……)

ウラユシウンクルって有名な人のおったとこだよ

Urayusiunkur って有名な人のおったとこだよ。

ウラユシの人って有名な人のいたところだよ。

昔からウラユシウンクルって言って、ものすごい、すごい者いたとこでな、

昔から Urayusiunkur って言って、ものすごい、すごい者いたとこでな、

昔からウラユシの人って言って、ものすごい、すごい人がいたところでな、

あのシリマオッテって言うウエン イレンカ コロ ペ いたんだ。それも、その

あの Sirmaotte って言う wen irenka kor pe いたんだ。それも、その

あのシリマオッテっていう、ひどい言いがかりをした者がいたんだ。

イシカラ エムコ タ イワン オツカイポ ウココタンコロ ワ

Iskar emko ta iwan okkaypo ukokotankor wa

石狩の中ほどに6人の若者が協力し合って治めているという

アスル アシ パ ワ クス エウイ スイ ネン カ ハウエアナン ルスイ クス

asur as pa wa kusu eun\_ suy nen ka hawean=an rusuy kusu

評判の村があるのでそこへまた何かと、なんくせをつけたくて

アラパアナク ウラユシ タ ヘノイエアン。

arpa=an y\_ak Urayusi ta henoye=an.

出かけたのだがウラユシにまず立ち寄ってみた。

ウラユシウンクル アスル アシ ハウエ アヌ プ ネ コロカ キ エキムネ ヒネ  
**Urayusiunkur asur as hawe a=nu p ne korka ki ekimne hine**

ウラユシウンクルもたいした男で評判も聞いていたんだが行ってみると獵に出ている

イサム オカケタ イマチ パテク アン。 ネン カ イコカトウン イ…… イネ  
**isam okaketa imaci patek an. nen ka i=kokatun i... ine**

留守だった。あとにはその嫁だけが残っていてその女の俺に対する態度、ふるまいや様子などに

アン キ シリ ヘネ ネン カ コカトウン イ…… イオラムサッカ ノ  
**an ki siri hene nen ka kokatun i... i=oramsakka no**

何か俺を侮蔑したようなところがあった

イキ ヤクネ ネワアンペ アオイタッコテ ワ  
**iki yakne newaanpe a=oitakkote wa**

ならばそれを理由にして、

アコチャランケ クニ アラム コロ アラパアン アクス  
**a=kocaranke kuni a=ramu kor arpa=an akusu**

いちゃもんをつけてやろうと思いつつ行ったのだが

ピリカ イエオリパク キ ワ イアフンケ クス イェ ヒネ  
**pirka i=eoripak ki wa i=ahunke kusu ye hine**

その女は俺に対し丁寧にかしこまり俺に対し家の中へ入るようにと言うので

アフナン ヒネ シニアン マ アナナクス オロ タ ネ ウラユシウンクル  
**ahun=an hine sini=an w\_a an=an akusu oro ta ne Urayusiunkur**

入って休んでいた。するとそこにそのウラユシウンクルが

アフン。 エインカラ ペ ポン ノチウ ネ チウサムクル ウヌウヌ  
**ahun. einkar pe pon nociw ne ciwsamkur unuunu**

入ってきた。その目は小さな星のようにキラキラ光りそこらじゅうを見わたしているようだ。

「タン シリマオツテ ウエンマオツテ フナクン スイ マカニレンカ  
**“tan Sirmaotte wenmaotte hunak un suy mak an irenka**

「このシリマオツテの悪党野郎、またどこかで変ないいがかり



スンケ イレンカ イッカ イレンカ エエアプカシ クシ エイキ スイ  
**sunke irenka ikka irenka e=eapkas kus e=iki suy**

うそで恐喝まがいのいいがかりをつけようと思って歩き回っているのだな。また

アカラクタリ エウン エアラパ ルスイ クス エエク シッ タシ  
**a=karkutari eun e=arpa rusuy kusu e=ek sir\_ tas**

ワシの甥っ子たちのところにでも行きたいと思って

ネ ナンコン ネク、エアラパ ワ ネン カ エハウエアン マ エサン  
**ne nankor\_ nek, e=arpa wa nen ka e=hawean w\_a e=san**

来たんだろう。お前が何か甥っ子たちに言ってから下って来た

ヤカナク ネ アエシルンライケ クニ エシクヌ クニ  
**yak anak ne a=e=sirunrayke kuni e=siknu kuni**

時にはワシがお前をメッタメタに殺してやるからお前はせいぜい生きて帰れるもんだと

エヤイコスンケ コロ アラパ」

**e=yaykosunke kor arpa”**

自分を欺きつつ行くんだな。」

セコロ ハウエアン コロ イコパシロ(タ) オアラ アエオワイセ。

**sekor hawean kor i=kopasro(ta) oar a=eowayse.**

そう言いながら俺を叱りつけたので、すっかり俺は震え上がってしまった。

オロ タ レウシアン ヘネ キ イランモッカアン シコロ ヤイヌアン  
**oro ta rewsian hene ki irammokka=an sekor yaynu=an**

そこに泊まってその人たちをからかってやろうかぐらいに思って

ア コロカ、アシトマ クス オロ ワ キラアン ヒネ オラノ

**a korka, a=sitoma kusu oro wa kira=an hine orano**

いたのだが、俺は怖くなり逃げ出してしまい

ペットウラシアン マ コント ネ ペニ ワ アラパアン。イシカラ エムコ タ  
**petturasi=an w\_a konto ne peni wa arpa=an. Iskar emko ta**

それから川をさかのぼりさらに川上に行った。石狩の中ほどの

アラパアン イワン ウタラパ オカ ウシケ タ アラパアン ヒネ  
 arpa=an iwan utarpa oka uske ta arpa=an hine  
 6人の首領がいるところへ行き

インカラシ ルウェ インネ コタン アン。ソノ カ コタン ノシキ タ  
 inkar=an ruwe inne kotan an. sonno ka kotan noski ta  
 見わたすとそれは大勢の人が住む村であった。村の真ん中には

ネプ ウエウシ オカ チセ ネ ルウェ カ イサム ノ ルプネ チセ タプ……  
 nep ueus oka cise ne ruwe ka isam no rupne cise tap…  
 まったく他には肩を並べる物がない大きな家

パテク イワン チセ ウサメロシキ ワ オカ ルウェ ネ ヒネ イヨッタ  
 patek iwan cise usameroski wa oka ruwe ne hine iyotta  
 ばかりが6棟も並び立っていてそのうち一番

コ…… ノシキケ タ アン チセ オツ タ シフムヌヤラアン ヒネ アフナン  
 ko... noskike ta an cise or\_ ta sihumnyar=an hine ahun=an  
 真ん中の家に俺は訪いの音を立てて入っていった。

アイヤンケ クス アイエ ヒネ アフナン アクス イネ パハ ヘネ  
 a=i=yanke kusu a=ye hine ahun=an akusu ine paha hene  
 俺を上げるように、という声がしたので入ってみると、そこには年を重ねて

ルプネ ワ アスル アシ ハウエ ネ クナク アラム ア プ、  
 rupne wa asur as hawe ne kunak a=ramu a p,  
 噂になっている人物なのだろうと思っていたのに、

オアラ オッカイポ ネ プ アイ カラ コロ アン ヒネ オラウン  
 oar okkaypo ne p ay kar kor an hine oraun  
 まったくの若者が矢を作りながらいた。そして

イヌカラ イエランカラプ アエランカラプ  
 i=nukar i=erankarap a=erankarap  
 そいつは俺を見て挨拶の言葉を言い、俺も挨拶の言葉を述べた。

「フナク ワ アプカシ ニシパ エネ ルウエ アン？」

“hunak wa apkas nispa e=ne ruwe an?”

「貴方はどちらから来られた方なのですか？」

シコロ イコウエペケンヌ ワクス

sekor i=kouepekennu wakusu

とたずねてくるので、

「トオプ イシカラ プトゥ ワ エク ペ アネ」

“toop Iskar putu wa ek pe a=ne”

「遠く石狩川の河口から来たものです。」

シコロ ハウエアンアナクス ヘツチェ ヒネ オラウン イヤイサム ネ カ ヘ

sekor hawean=an akusu hetce hine oraun iyaysamne ka he

と言うと「ほう」と言い驚いた様子だったがその後は何という反応もなく

「エネ ニシパ カムイ アヌカラ カ エラミシカリ ニシパ ネ アワ

“ene nispa kamuy a=nukar ka eramiskari nispa ne awa

「このように神のような方、私が見たこともない立派な方が

エク シリ アニ アン」

ek siri an h\_i an”

来られたのですね。」

シコロ カネ ハウエアン ヒ クス

sekor kane hawean hi kusu

と言うので、

「テエタ カネ シンリッ オツ タ アノルシペ クス エク ペ

“teeta kane sinrit or\_ ta an oruspe kusu ek pe

昔の先祖から伝わる話があるため私は来たのです。

アネ ルウエ ネ。エカシ ケウイタク イワン ケウイタク スツ ケウイタク

a=ne ruwe ne. ekas kewitak iwan kewitak sut kewitak

祖父の言い伝え6つの言い伝え、祖母の言い伝え

イワン ケウイタク アン ペ ネ ワクス

**iwan kewitak an pe ne wakusu**

6つの言い伝えがあるので

『イキア ソモ エイエ ノ エアニ カ エオンネ ナ。』

‘**ikia somo e=ye no eani ka e=onne na.**’

『お前が言いださないでお前まで死ぬようなことがあってはならんぞ』

シコロ シンリッ チホッパ イタク アン ペ ネ アイ、アイエ

**sekor sinrit cihoppa itak an pe ne a h\_i, a=ye**

という先祖からの遺言があるので、私が言い

ソモ キ ノ オンネアン カ エヤイラムカラ ワクス アイェ クス エカン』

**somo ki no onne=an ka eyayramkar wakusu a=ye kusu ek=an”**

ださないで死んでしまうわけにもいかないのでそのことを言うために来たのです。」

シコロ カネ ハウエアン アクス ヘツチェ ヒネ オラ

**sekor kane hawean akusu hetce hine ora**

と言うと「ほう」と驚いた様子であったが

「オアッ タプネ アシヌマ アヌ エラムシカリ オルシペ ネ ルウェ ネ

“**oar\_ tapne asinuma a=nu eramiskari oruspe ne ruwe ne**

「まったくこれは私が聞いたこともないお話ですが

アアクタリ オカ。ノカン ヤッカ ラムシカルン ペ アナク シンリッ

**a=akutari oka. nokan yakka ramusikarun pe anak sinrit**

私には弟たちがいます。若くても憶えている者は先祖の

イエ イタク ヌ ワ エラムシカルン カ キ プ ネ クス

**ye itak nu wa eramusikarun ka ki p ne kusu**

言った言葉を聞き憶えているかもしれないので

アアクタリ アラパ ホトウイパカラ」

**a=akutari arpa hotuypakar”**

弟たちを行って呼んできなさい。」

シコロ マチヒ イェ ヒネ ネ イマツネ プ チソイエカッタ アクシ  
**sekor macihi ye hine ne imatne p cisoyekatta akus**

とそいつは嫁に言いその嫁は家からとび出して行くと、

ネプ ウエホシ オカ ルウェ カ アイヌ カ アナク シ チオハイシトマ プ  
**nep uehosi oka ruwe ka aynu ka anak si ciohaysitoma p**

何とも皆がけた違いの男たちでそれはそれは恐ろしくなってしまうような者

パテク ネ ヒネ ウオスオシ アフプ アルフックイカサンテ (?) コロ  
**patek ne hine uosuos ahup a=ruhukkuikasante(?) kor**

ばかり次々と入ってきて (?)

アペ エトク タ シンノシキ タ アイアレ プ ネ ヒネ オラ キ ヒネ オラウン  
**ape etok ta sinnoski ta a=i=are p ne hine ora ki hine oraun**

上座の真ん中に俺は座らされて、そしてそれから

「タップネ カネ アアクタリ ネ ワ タプネ ハウエアン ニシパ エク  
**“tapne kane a=akutari ne wa tapne hawean nispa ek**

「弟たちよ、このような話をする方が来られたのだが

ルウェ ネ ワ エチオカ エチオ…… エヌ…… エチノカン ヤッカ  
**ruwe ne wa ecioka ecio... e=nu... eci=nokan yakka**

お前たちは若いとしても

ソモ エチヌ オルシペ ネ ルウェ ヘ アン？」

**somo eci=nu oruspe ne ruwe he an?”**

このような話を聞いたことがないか？」

シコロ カネ ハウエアナクス エアラキンネ エラムコエシカラパ  
**sekor kane hawean akusu earkinne eramukoeshikarpa**

そのように兄の若者が言うと弟たちはたいそう驚いて

「アユピ カ タプ エランペウテク ペ フナク ワ アオカ アナク  
**“a=yupi ka tap erampewtek pe hunak wa aoka anak**

「兄さんもわからないものを我々の方が

ノカナニネ フナク ワ アエラマン オルシペ ネ ハウエ」  
**nokan=an h\_ine hunak wa a=eraman oruspe ne hawe”**  
 若いというのにどこから我々が知っているという話があるのでしょうか。」

シコロ カネ ハウエオカ コロ アルキロツケ アクス ネア  
**sekor kane haweoka kor arukirotk e akusu nea**  
 と口々に言いお互いの足をつつきあっている(?)。するとその

キヤンネ ヒケヘ エネ ハウエアニ。  
**kiyanne hikehe ene hawean h\_i.**  
 兄がこのように言った。

「アラパ。コタンパ タ イワン アイヌ イキリ エポソ ルプネマツ  
**“arpa. kotanpa ta iwan aynu ikir eposo rupnemat**  
 「村の上手に行って6世代を生きた老婆が

アコロ フチ アン ペ ネ アナ。タク ワ エク、ネ ヤク エアシリ  
**a=kor huci an pe ne an a. tak wa ek, ne yak easir**  
 我らのばあさんがいるから呼んで来い、そうすれば、あらためて

アコピシ ヤクン イワン アイヌ イキリ カ エポソ プ ネ クス  
**a=kopisi yakun iwan aynu ikir ka eposo p ne kusu**  
 ばあさんに尋ねてみるから6世代も貫いて生きているのだから

シンリッ オルシペ エラマン ナンコン ナ」  
**sinrit oruspe eraman nankor\_ na”**  
 先祖の話も知っているだろう。」

シコロ カネ ハウエア アン アクシ ネア メノコ ホパツテクテク チソエカッタ  
**sekor kane hawean akus nea menoko hopattek tek cisoekatta**  
 そう言われたのでその女(嫁)はさっと飛ぶように家をとび出して行った。

オアシアン(?) ホントム アン タ (?) ヘマンタ エク フムコンナ  
**oasian(?) hontomo an ta(?) hemanta ek humkonna**  
 道の真ん中を何かはこちらへやって来るきぬ擦れの音が

セルッセルシ クマ セル フム カ

**serusserus kuma seru hum ka**

バタバタと響き杖を突く音も

リムヌリムヌ コロ チェアウオッケ

**rinnurimnu kor ceawotke**

ズシッ、ズシッと響いてきて家に飛びこんできた。

ソンノ カ シノ オンネ プ ネ コロカ ミムタラ カ タ アウオシマ

**sonno ka sino onne p ne korka mimtar ka ta awosma**

本当に年老いているようだが土間にとびこんで来た。

エインカラペ ポン ノチウ ネ チェウサムクル ウヌ

**einkarpe pon nociw ne cewsamkur unu**

その目はまるで小さな星がキラキラと光りそこらを見まわしているようである。

「トアン ヘマンタ シリマオッテ ネ ヤク アイェ ウェニレンカ コロ

**“toan hemanta Sirmaotte ne yak a=ye wen irenka kor**

「そこにいるとんでもないやつは、シリマオッテというひどいいいがかり

スンケ イレンカ イッカ イレンカ コロ ペ イワン アイヌ イキリ

**sunke irenka ikka irenka kor pe iwan aynu ikir**

うそのいいがかり、盗人のいいがかりをつける者よ、ワシは人間6世代

エポソ ルプネ マッ アネ ヒネ アシヌマ カ アヌ エラミシカリ

**eposo rupne mat a=ne hine asinuma ka a=nu eramiskari**

貫いて生きてきたのであるからワシが聞いたことがない

オルシペ スンケ オルシペ ネ ナ」

**oruspe sunke oruspe ne na”**

話しというのはウソの話ということだ！」

シコロ カネ ハウエアン ハウエ アヌ テク オアラ アン ヤ……

**sekor kane hawean hawe a=nu tek oar an ya ...**

そのように言う声を聞くと俺はすぐに、

アン ワ アナン ア (クス) ピリカ チカラ アイエカラカラ クニ プ  
**an wa an=an a(kusu) pirka cika a=i=ekarkar kuni p**  
 このままいるといいようにされてしまう (?) と

ネ ハウエ ネ クナク アラム クス オロワ アキ ホピタ ネア ルプネマツ  
**ne hawe ne kunak a=ramu kusu orowa a=ki hopita nea rupnemat**  
 思ったのでそれから俺は走り出してその老婆の

テンポキ アクシ テク ヒネ ア ソヨテレケアン エトゥ カ タ  
**tempoki a=kus tek hine a soyoterke=an etu ka ta**  
 腕の下をさっとくぐり抜け外へとび出した。エトゥ (?) の上に掛けていた

アエシピンパ プ アウコシナ ワ アウク テク ヒネ ソヨテレケアン  
**a=esipinpa p a=ukosina wa a=uk tek hine soyoterke=an**  
 着物をひとまとめにしてさっとつかんで外へとび出し

トイコホケレアン アコッ チプ トウシチ……  
**toykohokere=an a=kor\_ cip tusci...**  
 思い切り走って俺の舟の

トウシ アトウイテクテクテ アッサユッパアニネ サナン  
**tusi a=tuytektekte assayuppa=an h\_inne san=an**  
 もやいづなをバサッと切って一生懸命漕いで川を下る

イオカケ タ テシコサンパ  
**i=okake ta teskosanpa**  
 後ろから声が響いた。

「オイヤ ニンクイヤロタ」  
**“oyya ninkuyyarota”**  
 「なんとも憎い野郎だ」

シコロ ハウエオカ コロ  
**sekor haweoka kor**  
 そう言いながら



「アエシクヌレ クシ カ ソモ ネ アクシ アエトイコライケ クニ  
 “a=e=siknure kus ka somo ne akus a=e=toykorayke kuni  
 「生かしちゃおかねえメッタメタに殺ってやろうと

アラム アクス エネ エイキ ア プ クス ウラユシウンクル  
 a=ramu akusu ene e=iki a p kusu Urayusiunkur  
 思ったのに逃げやがって、ウラユシウンクルの

アコロ ユピ<sup>o</sup> オロ タ エサン マ エシクヌ クニ ラム」  
 a=kor yupi oro ta e=san w\_a e=siknu kuni ramu”  
 兄のところまで下った時には命があるとは思うなよ。」

シコロ カネ ハウエオカ コロ ホシッパ ハウエ アヌ コロ サナン。  
 sekor kane haweoka kor hosippa hawe a=nu kor san=an.  
 そんなことを言いつつ奴らが戻って行く声を聞きながら下っていった。

ネンカネ ワ ウラユシウンクル イヌカラ クニ オトウライサンペ  
 nenkane wa Urayusiunkur i=nukar kuni oturaysanpe  
 ひょっとしてウラユシウンクルが俺が通過する時に見ていたら大変だと

アエコテ コロ サナン アイネ シエトクン インカラナクス  
 a=ekote kor san=an ayne sietok un inkar=an akusu  
 思いながら下って行ったのだが前方を見ると

ウライ キク コロ アン シリ イキ、エアラキンネ アエキマテク キ クス  
 uray kik kor an sir iki, earkinne a=ekimatek ki kusu  
 奴が築を叩きながらいるじゃないか。本当にびっくりしてしまい

レプケヘ ペカ チプ アクシテ クニ ネ サン(アン)。  
 repkehe peka cip a=kuste kuni ne san(=an).  
 なるだけ沖寄りに舟を通すようにして下っていった。

カイシコトウイェトウイェ マ ヒネ エキネ アコロ チプ エシカリ ヒネ  
 kaysikotuyetuye ma hine ek h\_ina a=kor cip esikari hine  
 奴は水を自分の方へグングンかく泳ぎでとうとうやって来て俺の舟を掴んで

ニンパ ワ イヤエカッタ チプ オロ ワ イヤエカッタ  
 ninpa wa i=yaekatta cip or wa i=yaekatta

引っ張っていき俺を陸に引きずり上げた、舟から引きずり上げ

イキル ランケ イトイコキッキク  
 i=kiru ranke i=toykokikkik

俺を転がしながらひどく殴りつづけ

「タン シリマオツテ ウェンマオツテ エネ アン ウェン プリ パテク  
 “tan Sirmaotte wenmaotte ene an wen puri patek

「このシリマオツテ、悪党野郎め、悪いことばかり

エコロ ワ エアシリ カ エエアスル アシ ペ ネ アクス スイ エネ  
 e=kor wa easir ka e=easuru as pe ne akusu suy ene

やって、お前がいちゃもんをつけているという噂があるもんだから、また

アカラクウタリ アアクタリ エコスンケ ワ エコイアシッテウク クス<sup>[1]</sup>  
 a=karkuutari a=akutari e=kosunke wa e=koiasitteuk kusu

ワシの甥っ子たち、ワシの弟たちに嘘については

イアシンペウク クス エアラパ ヒネ アクス エサン シリ アン。  
 iasinpeuk kusu e=arpa hine akusu e=san siri an.

賠償を得るためにやって来てそして川を下ってきたのだな。

テ ワノ カ ネノ エイキ アスル アシ ペ ネ ヤカナクネ  
 te wano ka neno e=iki asuru as pe ne yak anakne

これからもそのようなことををお前が言っているという噂が聞こえて来ようものならば

アエシルンライケ クシ サナン クス ネ ナ」  
 a=e=sirunrayke kus san=an kusu ne na”

ワシがお前をメッタメタにして殺しに下がっていくからな！」

シコロ ハウエアン コロ イキカ イキカ イキカ イキカ アイネ  
 sekor hawean kor i=kik a i=kik a i=kik a i=kik a ayne

と言いながら俺を殴りに殴って殴りに殴り続けたあげく

チボ…… アエチボ<sup>°</sup> プ オピッタ<sup>°</sup> ヘヤシ オスルパ<sup>°</sup> ヒネ

cipo... a=ecipo p opitta heyasi osurpa hine

舟道具は全て岸へ捨てられた。そうして

イチブコエアチウ ヒネ

i=cipkoeaciw hine

俺はというと舟に投げ込まれたので

オロワノ ヌワパン コロ チプ オッ タ アナン ワ サナン アイネ

orowano nuwap=an kor cip or\_ ta an=an wa san=an ayne

うめき声を上げながら舟で川を下って行ってやっとのことで俺の舟着き場の

アコロ ペタル カランケ サナン コロ オラ アテケ アニ

a=kor petaru karanke san=an kor ora a=teke ani

近くに下ってきたのでそこからは手で

アッサアッサポアナイネ アコロ ペタル オルン チプ アエノイエ ヒネ

assaassapo=an ayne a=kor petaru or un cip a=enoye hine

一生懸命水をかき、やっとのことで舟着き場に舟を結わえて

アヤンケ オロワノ ホックアン カネ イキアナイネ アウニ タ エカン。

a=yanke orowano hotku=an kane iki=an ayne a=uni ta ek=an.

陸に上げた。そこからは、かがみこむようにしながらやっとのことで家にたどり着いた。

オロワノ ヌワパン コロ アマチ イカオイキ コロ オカアン

orowano nuwap=an kor a=maci i=kaoyki kor oka=an

それからは苦しみで唸りながらいた。嫁が俺を看病しながらいたんだが

ルウェ ネ アイネ イルシカアン コロ アナン アイネ

ruwe ne ayne iruska=an kor an=an ayne

そうして腹の立つ思いで過ごした。そして

タネ イネ ヘンパク パカ イカオイキ ペ ネ クス オホンノ ネノ アン

tane ine henpak pa ka i=kaoyki pe ne kusu ohonno neno an

もう何年も嫁に面倒をみてもらっていたもんだから長い間そんな

ウェン プリ カ アコロ カ ソモ キ ア コロカ ヤイヌアニケ  
**wen puri ka a=kor ka somo ki a korka yaynu=an h\_ike**

悪いことはやっていないので、一丁またやってやるかと思ひ立ち

アコタヌ エンコロケ タ インネ コタン アン オロ タ オツカイポ ウムレク  
**a=kotanu enkorke ta inne kotan an oro ta okkaypo umurek**

俺の村の川上に沢山の人が住んでいる村があり、そこは若者の夫婦が

コタン コロ ワ コタンコロクル ネ ワ オカイ ペ ネ ヒケ エアシリ カ  
**kotan kor wa kotankorkur ne wa okay pe ne hike easir ka**

村を取り仕切っていて村長をしているということで、

マチヒ コロ シレトク アスル アシ、ネ オツカイポ コロ シレトク  
**macihi kor siretok asuru as, ne okkaypo kor siretok**

その嫁が美しいということも評判でその若者のカッコよさも

エアスルアシ アリキクパ ウムレク ウタラ キ ワ エアシリ  
**easuruas arikikpa umurek utar ki wa easir**

噂に立っていた。一生懸命若者夫婦がやっていた

ネワアンペ エアスルアシ ニシパ ネ アスル アシ ペ ネ コロカ  
**newaanpe easuruas nispa ne asuru as pe ne korka**

評判の立つたいそうな人物だという噂だが、

アコタヌ カランケ オカイ ペ ネ クル ン…… ヘンパラ ネ ヤッカ  
**a=kotanu karanke okay pe ne kur n... hembra ne yakka**

俺の村の近くにいる奴だし……いつだって

アコアラパ タシ キ ネク セコロ ヤイヌアン コロ アナン ペ ネ ア ヒ クス  
**a=koarpa tas ki nek sekor yaynu=an kor an=an pe ne a hi kusu**

行ってやろうと思っていたんだが

ネ ヒ パクノ ネ ワ オンネアン カ ルシカ クス オロワノ コント  
**ne hi pakno ne wa onne=an ka ruska kusu orowano konto**

そうしているうちに年取って死んでしまうのも腹がたつのでとうとう

アラパアン ネ コタン オルン アラパアン クス アラパアン アクシ  
 arpa=an ne kotan or un arpa=an kusu arpa=an akus  
 その村に行ってみた。その村に実際に行ってみると

イエカリ ピリカ メノコ フレ ニカパットウシ イカクシテ カネ アン ヒネ  
 i=ekari pirka menoko hure nikapattus ikakuste kane an hine  
 俺の方に向かってきれいな女が赤い厚司を着てそして

オラウン ムカラ エシタプカアニ カネ アン ヒネ サンタラ シトムシ カネ  
 oraun mukar esitapkaani kane an hine santar sitomusi kane  
 マサカリを肩に担いで、縄を腰に巻いて

ムカラ エシタプカアニ カネ ニナ クス オマナン ペ ネ ノイネ アン ヒネ  
 mukar esitapkaani kane nina kusu omanan pe ne noyne an hine  
 マサカリを肩にかついで薪集めをするために歩いている様子でそうして

イエカリ サン アイケ ピリカ イエオリパク キ ノルイマケネ(?) ヒネ オラ  
 i=ekari san ayke pirka i=eoripak ki no ruymakene(?) hine ora  
 俺の方に向かって下って来て俺に対し丁寧にかしこまって道をあげ

コロ ムカラ エシロツケ ヒネ カシ ノトマレ ヒネ オリパク  
 kor mukar esirotko hine kasi notomare hine oripak  
 担いでいたマサカリを地面に突き立てその上に顎をのせてかしこまる

キ ヒネ アン ヒ クス ネ コタンコロクル マチヒ ネ ルウェ ネ クニ  
 ki hine an hi kusu ne kotankorkur macihi ne ruwe ne kuni  
 様子なので村長の嫁なのだと

アラム クス ミピ アコイタサレ クナク アイエ。  
 a=ramu kusu mipi a=koitasare kunak a=ye.  
 思を着物を交換してくれと言った。

アミピ イカ ワ アミ アミピヒ アエオパンナアッテ カネ アミプ  
 a=mipi ika wa a=mi a=mipihi a=eopannaatte kane amip  
 俺が上に着ている着物、俺が羽織っている着物と

ネ メノコ エオパンナアッテ フレ アッ……ニカパットウシ アウタサレ クニ  
**ne menoko eopannaatte hure at... nikapattus a=utasare kuni**  
 羽織っている赤い厚司と交換しようと

アイェ アクス オリパク ア オリパク ア コロ ウセ アヌ ヒネ イコレ  
**a=ye akusu oripak a oripak a kor use anu hine i=kore**  
 言うと、ひどく恐縮した様子で着物を脱いで俺にさし出したので

アエヤイコブンテク  
**a=eyaykopuntek**  
 よししめたぞと思い

「メノコ オロ ワ イコイタサレ イオラムサッカ クシ キ ルウェ ネ」  
**“menoko oro wa i=koitasare i=oramsakka kus ki ruwe ne”**  
 「女の方から交換しろと言ってきたということは俺をばかにしているということだな。」

セコロ ハウエアナン コロ アラパエヤヨチャランケコテアン クニ  
**sekor hawean=an kor arpaeyayocarankekote=an kuni**  
 そう言っていちやもんをつけに行つてやろう(?)と思うと

アエミナ ルスイ コロ ネワアンペ アミ ヒネ オラ ネア メノコ ネア アミプ  
**a=emina rusuy kor newaanpe a=mi hine ora nea menoko nea amip**  
 笑いたい気持ちになりつつその女の着物を着、そしてその女は俺の着物を

ウク ヒネ オラウン アラパアン オロワノ アラパアン ア アン ア ヤッカ  
**uk hine oraun arpa=an orowano arpa=an a =an a yakka**  
 受け取りそこからまた進んで行きそうしてずっと歩いて行ったんだが

ネ コタン オツ タ シレパアン カ ソモ キ。オロワノ クンネ ヘネ  
**ne kotan or\_ ta sirepa=an ka somo ki. orowano kunne hene**  
 その村には一向に到着しないじゃないか。それから夜も

トカプ ヘネ アプカサナ アナ アナ ヤッカ シレパアン カ ソモ キ アイネ  
**tokap hene apkas=an a =an a =an a yakka sirepa=an ka somo ki ayne**  
 昼も歩き続けたんだがまったくたどり着かないので

ヤイフイマンパアン アク

yayhuymampa=an y\_ak

自分自身をよく見てみると、

ウシ…… チロンヌプ アネ カネ ヒネ アナン

us... cironnup a=ne kane hine an=an

何とこの俺がまるでキツネのようになっているじゃないか。

ヒネ オロワノ アコタヌ ウン ホシピアン ルスイ ヤッカ

hine orowano a=kotanu un hosipi=an rusuy yakka

それから俺の村に帰りたいたいと思っても

ホシピアン カ エアイカプ。オラノ アプカサナ アナ クンネ ヘネ

hosipi=an ka eaykap. orano apkas=an a =an a kunne hene

帰ることもできやしない。そうして歩いて歩いて夜も

トカプ ヘネ キ イノンノイタカン クシ ネ コロ チロンヌプ パウセ

tokap hene ki. inonnoytak=an kus ne kor cironnup pawse

昼も歩き続けて、神頼みをしようとしてはキツネの鳴き声を

アキ コロ アプカサナ アナ アイネ (フ) ナクタ アラパアン アクシ

a=ki kor apkas=an a =an a ayne (hu)nak ta arpa=an akus

上げながら歩いて歩いてそうして、どこやらへ歩いて行くと

アシ ルウェ ピリカ ペロ ネ カネ アン チクニ アシ ルウェ ピリカ チクニ

as ruwe pirka pero ne kane an cikuni as ruwe pirka cikuni

太くて立派なナラのような木が立っていて、太くて立派な木

アン ヒ クス チョロポッケ タ アラパアン ヒネ

an hi kusu corpokke ta arpa=an hine

なので根元に行って

シウコカラカリアン。ホッケアン コロ エネ ヤイヌアニ

siukokarkari=an. hotke=an kor ene yaynu=an h\_i

体を丸めて横になりながらこう考えた。

「セコロ アナン マ タン シリコロカムイ カムイカッケマツ エネ ワ

“sekor an=an w\_a tan sirkorkamuy kamuykatkemat e=ne wa

「俺がこんな状態になってしまったからには、あんたがこの立木の神、神なる淑女であって

セコロ アナン マ ラヤン マ トイコムニンアン ヤクン

sekor an=an w\_a ray=an w\_a toykomunin=an yakun

俺がこんな状態で死んでしまってひどい腐りようをしたら、

アフラハ アライフラハ アウエンフラハ エエウクシテ (?) ヤクン

a=huraha a=rayhuraha a=wenhuraha e=ewkuste(?) yakun

俺の腐臭、死臭、ひどい臭いがあんたにこびりつく (?)。そうなったら

カムイ オピッタ エエチャッケ ワ

kamuy opitta e=ecakke wa

神々全てがあんたをきたながら

エマウカシ オウカ…… オウキラレ (?) エマウ パオロカパ…… パラポキ<sup>2</sup>

e=mawkasi owka... owkirare(?) e=maw paorkapa... parpoki

あんたの風上に逃げ惑い、あんたの風下を

アウシトマレ キ クニ プ ネ ナ アイヌ カッ イコレ

a=usitomare ki kuni p ne na aynu kat i=kore

恐れ避けることになるだろうから、人間の姿に俺を戻して

ソモ キ ヤカナク ナカナク…… ヤカナクネ

somo ki yak anak nakanak... yak anakne

くれなければ、

ネノ アナン マ ライアン クシ ネ ナ」

nenno an=an w\_a ray=an kus ne na”

俺はこのまま死んでしまうからな。」

シコロ ヤイヌアン コロ ホッケアン ルウェ ネ アクス

sekor yaynu=an kor hotke=an ruwe ne akusu

そんなことを考えながら横になっていると夢の中に



ウエンタラパン アクス エアシリ カムイ ネ クス アン メノコ アン ヒネ  
**wentarap=an akusu easir kamuy ne kusu an menoko an hine**  
 神であるかのような女が現れて

オラウン イコパシロタ ア イコパシロタ  
**oraun i=kopasrota a i=kopasrota**  
 俺を叱って叱って

「エコパサ (?) ウサイネ カ タプ ナ ネン ネン エイキ シリ カ タプ  
**“e=kopasa(?) usayne ka tap na nen nen e=iki siri ka tap**  
 「XXXX、あれこれ何やかやとお前がやってきたことが

アオヤネネ ナ カムイ エエコイパク  
**a=oyanene na kamuy e=ekoypak**  
 世間の笑いものになるぞ。神々がお前をとがめて、

カムイ オロ ワ アエコイパク ペ ネ クス  
**kamuy or wa a=e=koypak pe ne kusu**  
 神々からとがめられたので

チロンヌプカムイ アニスク ヒネ アエコスンケ ワ  
**cironnupkamuy a=nisuk hine a=e=kosunke wa**  
 キツネの神に頼み、私がお前をだまして

エネ アエカン ルウェ アニネ ワ、テ ワノ アナクネ ネノ エアン マ  
**ene a=e=kar\_ ruwe an h\_i ne wa, te wano anakne neno e=an w\_a**  
 そのような姿に変えてやったのだが、これからお前がそんな状態のまま

エ ヤ…… ライ<sup>[3]</sup> ヤクン エライ ヤッカ ピリカ クニ カムイ オピッタ  
**e=ya... ray yakun e=ray yakka pirka kuni kamuy opitta**  
 死んでしまったとしたら、死んでもいいという思いから神々全員が

エコイパク ワ カムイ サンニヨ ネ ワ エネ アエカラ ヒネ ア プ  
**e=koypak wa kamuy sanniyō ne wa ene a=e=kar hine a p**  
 お前をとがめているので、神の考えで私がお前にそのようにしたのだが (?)

イクルケアシヌレ (?) イチヨロポッケ タ ポカ アン ヘム (?)

**i=kurkeasnure(?) i=corpokke ta poka an hem(?)**

私の上に (?) 私の下に (?)

エエク ヒネ エネ ハウエアン コロ エアン。

**e=ek hine ene hawean kor e=an.**

お前がやって来てそういうことを言う。

インカラン ヒケ ソンノ エイエ プ ソンノ ネ クス

**inkar=an hike sonno e=ye p sonno ne kusu**

見てみると (考えてみると) お前の言うことは本当であるので、

エライ ヤクン エライフララ エムニンフラハ

**e=ray yakun e=rayhurara e=muninhuraha**

お前が死んだらお前の死臭、お前の腐臭が

アエヘクシテ パテク ソモ ネ エフラハ アピシカニケ エオカリ ヤクン

**a=ehekuste patek somo ne e=huraha a=piskanike eokari yakun**

私の顔をそむけさせるだけではなく、お前の臭いが私の周囲を回って漂ったならば

アマウカシケ アオウキラレ アマウパラポキ アウシトマレ

**a=mawkasike a=owkirare a=mawparpoki a=usitomare**

私の風上に神々が逃げ惑い、私の風下を恐れ避けるであろう。

カムイ オピッタ エフイネ パセ カムイ アネ ヤッカ

**kamuy opitta ehuyne pase kamuy a=ne yakka**

全ての神々に対したとえ私が位の高い神であったとしても

カムイ エウタンネ カ アエアikap オアシ ルウェ アヌカラ

**kamuy ewtanne ka a=eaykap oasi ruwe a=nukar**

どの神にも仲間入りできなくなるという状況も見えるので、

エアラキンネ イルシカアン コロカ アイヌ ネ アエホシピレ クス ネ ナ。

**earkinne iruska=an korka aynu ne a=e=hosipire kusu ne na.**

まことに腹立たしいことだがお前を人間に戻してやろう。

テ ワノ ネノ アン イキ エイキ ヤカナクネ エアシリ カ アシリキンネ  
 te wano neno an iki e=iki yak anakne easir ka asirkinne  
 これより先お前がそのような悪い行いをするのであればあらためて新たに

アシヌマ アコイパク アナクネ アエシクヌレ ワ アエアヌ クニ プ  
 asinuma a=koypak anakne a=e=siknure wa a=e=anu kuni p  
 私から罰を下すので、その時は生きておれるとは思うなよ

ソモ ネ ナ。エラマン！」  
 somo ne na. eraman!”  
 覚えておけ！」

シコロ アイイエ アイコパシロタ アイコパシロタ ヤク  
 sekor a=i=ye a=i=kopasrota a=i=kopasrota yak  
 このように私に言い、叱りに叱りつける

アタカン ルウェ ネ アクス アイヌ ネ アナン ヒネ コロカ  
 a=takar\_ ruwe ne akusu aynu ne an=an hine korka  
 夢をみて、そうして人間に戻ったのだが

イカ ワ アミ ア プ アナク オアリスム ヒネ アイヌ ネ アナン ヒネ オラ  
 ika wa a=mi a p anak oarisam hine aynu ne an=an hine ora  
 着ていたものはまったくなくなって、人間の姿となり、そうして

インカラン アクス オヤチキ アコタヌ ピシカニケ ペカ アプカサナ  
 inkar=an akusu oyaciki a=kotanu piskanike peka apkas=an a  
 よく見まわしててみると、なんとまあ、俺は自分の村の周りを歩いて

アナ アナ アナ アナ アナ アナ アナ  
 =an a =an a =an a =an a =an a =an a =an a  
 歩いて歩いて歩いて、ずっと歩き続けて

クンネ ヘネ トカプ ヘネ キ プ ネ クス チロンヌプル パテク  
 kunne hene tokap hene ki p ne kusu cironnup ru patek  
 夜だろうが昼だろうが歩き続けていたのでキツネの足跡だけが

シッチテシテス コタン オカリ キ アプカサン オカケ キ ルウェ ネ アアン。  
 sitcitestesu kotan okari ki apkas=an okake ki ruwe ne aan.

ゴチャゴチャと村の周り、俺が歩いた後にのこっていた。

ヒネ オラ コタン カランケ アナ チクニ オロ タ エネ  
 hine ora kotan karanke an a cikuni oro ta ene

そして村の近くにある木のところに

ハウエアナン コロ ホッケアン ヒネ アン ルウェ アヌカラ ヒ オラ  
 hawean=an kor hotke=an hine an ruwe a=nukar hi ora

話しながら横になって休んだ跡があり、そこを見つけて

アナクネ アイェ…… ヤヤ PAPUAN。

anakne a=ye... yayapapu=an.

俺は詫びを入れた。

「テ ワノ アナクネ エヤヤ PAPU EIE コロ ハンケ オカ ウタラ  
 “te wano anakne e=yayapapu e=ye kor hanke oka utar

「これからはお前が謝罪の言葉を述べながら近くの人たちが

コロ ワ オカイ ペ エホシッパレ ソモ キ ヤカナクネ  
 kor wa okay pe e=hosippare somo ki yak anakne

持っていた物を返さなければ

アエウエンパカシヌ クス ネ ナ」

a=e=wenpakasnu kusu ne na”

きつく懲らしめてやるからな。」

シコロ カネ アイコパシロタ アイコパシロタ プ ネ クス  
 sekor kane a=i=kopasrota a=i=kopasrota p ne kusu

そのように俺はひどく叱られたので

オラ ホシッパアン…… ホシピアン アクス  
 ora hosippa=an... hosipi=an akusu

それからやっと家に帰ることができた。すると

「エネ オホンノ エカニサム マ アオヤモクテ コロ アナナワ」

“ene ohonno ek=an isam w\_a a=oyamokte kor an=an awa”

「こんなに長く帰ってこなかったのでおかしいなと思ってたんだよ。」

シコロ カネ アマチヒ ハウエアン コロ アニネ オラ コロカ

sekor kane a=macihi hawean kor an h\_ine ora korka

と俺の嫁が言っていたんだが

アコタヌ ウン ウタラ カマカマ コロ ワ オカ ロク ペ アコロパレ オラ

a=kotanu un utar kamakama kor wa oka rok pe a=korpare ora

俺の村の奴たちには適当に持っていたものを返して

モシマ アナク ネン カ アホシッパレ カ ルシカ プ ネ クス オラノ

mosma anak nen ka a=hosipare ka ruska p ne kusu orano

それ以外は誰かに返すというのも腹立たしいので

テ ワノ カ ヘム ネノ イキ アン ヘ キ ワ シコロ ヤイヌアン クス

te wano ka hem neno iki an he ki wa sekor yaynu=an kusu

これからもこのままにしとこうと思ったので

アホシッパレ カ ソモ キ ノ アナン アイネ タネ アコオンネ シリ

a=hosipare ka somo ki no an=an ayne tane a=koonne siri

返しもしないでいて、そうして今は年を取ってしまった

ネ クス アイエ。

ne kusu a=ye.

ので話したんだ。

シコロ シリマオツテ ハウエアン っていう、

sekor Sirmaotte hawean TTEIU,

とシリマオツテが語った

うんだから昔から Urayusi っていうとこえらい人のおったとこなんだ。

うんだから昔からウラユシっていうとこえらい人のおったとこなんだ。

(萱野：あー、なるほどね。)

ん……。

**【注】**

[1]iasitteuk kusu は iasinpeuk kusu の言い間違い。

[2]エマウ パオロカパ パラポキはエマウパラポキ e=mawparpoki の言い間違い。

[3]エヤライ は エライ e=ray の言い間違い。

## 11-3 ウエペケレ「ウラユシウンクル」、ウエペケレ「シリマオッテ」まとめて解説

語り手：平賀サダモ  
聞き手・解説：萱野茂

平賀：そっちさ曲げるってや **ponno ku=sini kusu XXX yan** [少し私は休むから **XXX** してちょうだい]

萱野：今のこの **uepeker** [散文説話] の場合はこの生活どれでもそうなんですけども、これ、1つ1つこう、1行1行区切っていくと非常に昔の生活が細かく出ているからね。

平賀：そうだね。

萱野：だからいいよね。

平賀：本当に。

萱野：だからこの最初の10号テープの **uepeker** [散文説話] が32分から続いたのが **Urayusiunkur** [ウラユシの人]。この **Urayusiunkur** というのは喋っている主人公は **Iskar hontomo** [石狩川中流] の人で、**Urayusiunkur** の動きをこう書いた、書いたというか、喋ったあれでしたね。

平賀：そう。仇を取る。

萱野：でこれも非常に筋書きが良くてその **Iskar hontomo** におったわたしのところへ隣村におったといわれる **Urayusiunkur** が訪ねてきてくれて、**uymam** [交易] といういわゆるその、シャモのところへ交易に行くその時、その交易に始終行っておるんで「一緒に付いて行ってくれ」と言われたんで一緒に付いて行って、たくさんそのいろいろな物をもらってまあ、取り替えて持ってきた。そしてその **Urayusiunkur** という人が自分の村へ帰ったら、毒を飲まされて、その殺されたと。

そこへその **Iskar hontomo** の人が行って、その原因を訊いたらまあ、妻の方、妻が毒を盛ったんだと。そういうことなんか分かったので、まあ皆かたき討ちに殺そうかとしたんだけど、夢枕に立ったその **Urayusiunkur** というこれ、ウラユシというところにいた人という意味です。 **uray** [やな] **us** [～がある] **un** [～にいる] **kur** [人]。そこで住む人。

その **Urayusiunkur** が夢枕に立って「わたくしはその人間の子どもではなかったんだと。 **payokakamuy** [流行病の神様] といって病気の神様が村の上を通った時に、わたくしの母のおる家の屋根の上に休んで下を見たら綺麗な女がおったので『こういう女、神であれば妻に娶ろうものを』というのを考えただけで、それでそのいわゆる懐妊したと。それによって産まれたのわたくしであったので特別その器量もよくなって、どんなことでも上手であった」ということなんか夢枕でわかったので、直接その自分では何もしなかったけれども、かたき討ちとかその **pakoyan** [伝染病が上陸する] まあ病気が来てその村全滅したというのが **uepeker** [散文説話] の 32、10号テープの 32、2分から、11号テープの 10分までの筋書き。

えー、それから 10分はこちらの方の **Sirmaotte** という、いわゆる昔、アイヌ語で言えば **sikesarkur** [乱暴者] だな？

平賀： **sikesarkur** これ……

萱野： **sikesar**、**sunke caranke** [嘘の抗議]

平賀：何ちゅうべ **sisam itak** [日本語] で **sunke caranke**

萱野：何というかその、

平賀：人をごまかして、物を奪い取る奴

萱野：そうそう、人をごまかすというその **sunke caranke** って嘘の言いがかりを付けて人から物を取る、のがまあ商売ではないんだらうけど、そんなようにしてた **Sirmaotte** というのがその神様から罰せられて、何ていうか、ある日のことまだ [また] 隣村へ嘘の言いがかりを付けに行こうとして、え……通って行ったら 1人の綺麗な女が道路のへりにこう休んでおった。



着ておる厚子が非常によく見えたので、わざとその、その村へ到着したらば、それを言いがかりにしようとして「あんたちよつといい着物だから私のこの上に着ている着物と取り替えてくれないか？」と、言うと、それが、うんその女がその着物を脱いでよこした。それを着て歩いていると、だんだんだんだんよく見るとそれが自分自身キツネになっていたと。

そしてキツネになっていたということはそのキツネから着物を借りたというような、これも童話というよりも昔の生活の中でこういうこともあったなんて非常におもしろいんだが、そんなようなこと、それから、そのキツネにはなったんだけども精神だけは人間なので、ある大きなナラの木の側へ行って寝て「ナラの木の神様や、もしあんたが私を元に返してくれなければ、ここでそのまま死んで腐って、その匂いがあんたの……、に巻きつくと、他の神様もあんたのところに来てくれないだろうし、どんな神様も近寄ってくれないぞ」とその脅かしたらその……、脅かしというか、まあそういうこと心の中で願いながらそのナラの木の側で寝たら夢枕にまだ〔また〕ナラの木の女神が出てきて、「この悪さをするアイヌめ！」というわけで、その叱られながらだけれども元の姿に戻ったというのがこの、10分から11号テープの10分から後ろのほうの *Sirmaotte* という *uepeker*〔散文説話〕の筋書きでありました。

平賀：へったくそでも、かまんして（我慢して）入れとくべし。

*mak a=ye hawe*〔しょうがない〕*uepeker*〔散文説話〕だよ。

萱野：はいよ。

## 11-4 ウエペケレ

「ユペツホントムンクル」

## 湧別の中流の人

語り：平賀さだも

ユペツ ホントモ ウン クル アネ イネ アナン イケ  
 Yupet hontomo un kur a=ne h\_ine an=an h\_ike  
 私は湧別中流の者であり、

エアラキンネ イソンクル アネ。  
 earkinne isonkur a=ne.  
 狩も上手いのだった。

アコロ…… アコタヌ ウン ウタラ アナク アコタヌ アナク  
 a=kor... a=kotanu un utar anak a=kotanu anak  
 私の村のものは、

ラッチ イレンカ アプン イレンカ パテク コロ クル アネ クス  
 ratci irenka apun irenka patek kor kur a=ne kusu  
 私は静かで穏やかな考えを持つものだったので

イエコカラ (?) ワ アコタヌ ウン ウタラ アナク  
 iekokar(?) wa a=kotanu un utar anak  
 村人は

ネプ カ ウエン プリ カ コロ パカ ソモ キ。  
 nep ka wen puri ka kor pa ka somo ki.  
 誰も悪事を働いたりしなかった。

オロワウン アシヌマ ネ ヤッカ  
 orowaun asinuma ne yakka  
 それから、私自身も

エアシリ エタカスレ カムイコマウコピリカアン ペ ネ クス  
**easir etakasure kamuykomawkopirka=an pe ne kusu**  
 幸運にも、カムイの運にも恵まれていたので

カムイ ヘネ ユク ヘネ アエアウナルラ。  
**kamuy hene yuk hene a=eawnarura.**  
 クマでもシカでもたくさん獲ってきた。

ウイマムアン コロ エタカスレ トノコマウコピリカアン マ  
**uymam=an kor etakasure tonokomawkopirka=an w\_a**  
 交易に行くと、幸運にも、和人の殿様にも恵まれており、

ネプ ネ ヤッカ アチペクサ。アヤナヤンケ。  
**nep ne yakka a=cipekusa. a=yanayanke.**  
 何でも舟で運び、陸にあげた。

アレポルトウ アヤナヤンケ セムコラチ ネ コロ アナン ペ アネ ルウエ ネ。  
**a=reporutu a=yanayanke semkoraci ne kor an=an pe a=ne ruwe ne.**  
 沖に押しやり陸に上げるかのように（海を行き来）しながらいたのだった。

トウイマ クチャコッチセ カ アコロ。  
**tuyma kucakotcise ka a=kor.**  
 遠くの狩小屋と

ハンケ クチャコッチセ カ アコロ ペ ネ イケ  
**hanke kucakotcise ka a=kor pe ne h\_ike**  
 近くの狩小屋を持っていたのだが、

シネアンタ エキムネアン コロ アコロ クチャコッチセ  
**sineanta ekimne=an kor a=kor kucakotcise**  
 ある日、山に行き、狩小屋、

アコッ トウイマ クチャコッチセ オルン アラパアン コロ  
**a=kor\_ tuyma kucakotcise or un arpa=an kor**  
 遠くの狩小屋へ行くと

オホンノ オロ タ…… オロ タ リヤ リ……アナン ワ  
**ohonno oro ta... oro ta riya ri... an=an wa**

長く、そこに一冬いて、

パイカラ エアシリ クチャサンケアン ランケ プ ネ…… ペ ネ イクス  
**paykar easir kucasanke=an ranke p ne... pe ne h\_ikusu**

春になるとやっと、猟期を終えて村に帰るという習慣になっていたの

スイ シネアンタ トウイマ クチャコッチセ オルン アラパアン ルスイ クス  
**suy sineanta tuyma kucakotchise or un arpa=an rusuy kusu**

またある日、遠くの狩小屋へ行きたくだったので、

アラパアン ヒネ オラノ ヤイエトコイキアン アイネ  
**arpa=an hine orano yayetokoyki=an ayne**

それから準備をして

アラパアン ヒネ トウイマ クチャチセ オツ タ シレパアニ  
**arpa=an hine tuyma kucacisee or\_ ta sirepa=an h\_i**

行って、遠くの狩小屋へ着き、

オラノ イナウロシキアン。

**orano inawroski=an.**

イナウを立てた。

ナ シリペケレ ヒ ネ シレパアン ペ ネ クス イナウロシキアン。  
**na sirpeker hi ne sirepa=an pe ne kusu inawroski=an.**

まだ明るいうちに着いたのでイナウを立てた。

ネン ネン イキアン アイネ アフナン ヒネ ランマ ネ ヤクン  
**nen nen iki=an ayne ahun=an hine ramma ne yakun**

そうしていたあげく、中に入って、いつもなら

ケシパ アン コロ クチャコラン クシ エカン コロ  
**kespa an kor kucakor=an kus ek=an kor**

毎年、狩小屋に泊りに来ると、

ス アタカ アオワッカク ナイ アトゥラシ カ キ。

su a=tak w\_a a=owakkaku nay a=turasi ka ki.

鍋を抱えて、水を飲んだりする沢を上ったりもした。

クンネイワ カ エキムネアン ソンノ エキムネアン クシ ネ エトク タ カ

kunneywa ka ekimne=an sonno ekimne=an kus ne etok ta ka

朝から山に行ったり、本格的に山に行く前に

イルカ イルカ カ エキムネアン ペ ネ ア コロカ

iruka iruka ka ekimne=an pe ne a korka

ちょっとした間でも山に行っていたものだったが

マカナク ネ フミ ネ ヤ エキムネアン ラマン カ イオアラポソ。

makanak ne humi ne ya ekimne=an raman ka i=oarposo.

どうしたことか、山に行こうという考えは私の頭から抜け落ちていた。

イナウロシキアン ヒネ オラウン

inawroski=an hine oraun

イナウを立て、それから

アフナン ヒネ シオカ ウン ロルンプヤラ カリ インカラン アクス

ahun=an hine sioka un rorunpuyar kari inkar=an akusu

中に入り、自分の後ろの神窓から目をやると

イナウ アロシキ ア イナウ オピッタ チセ コパクン ホラキネ アン。

inaw a=roski a inaw opitta cise kopakun horak h\_ine an.

立てておいたイナウが全て小屋の方に向かって倒れていた。

エアラキンネ アオヤモクテ。

earkinne a=oyamokte.

私は非常に不審に思った。

ヒ クス スイ ソイネアニネ イナウロシキアン。

hi kusu suy soyne=an h\_ine inawroski=an.

そうになっていたので、また外に出てイナウを立てた。

アロシキ イノンノイタカナ アナ コロ

**a=roski inonnoytak=an a =an a kor**

立てて、祈りながら、

スイ アロシキ ヒネ オラ スイ アフナン。

**suy a=roski hine ora suy ahun=an.**

また、立てて中に入った。

ヒネ アナン アクス スイ チセ コパク ウン オピッタ ホクシ イネ アン

**hine an=an akusu suy cise kopak un opitta hokus h\_ine an**

そうしていると、また家の方にイナウは全部倒れて

シノ アオヤモクテ シリキ イネ

**sino a=oyamokte siriki h\_ine**

本当におかしなことで、

テ パクノ アナン コロカ エネ シリキ カ ソモ カ(?) エネ ネ シリ

**te pakno an=an korka ene siriki ka somo ka(?) ene ne siri**

今まではこんなことはなかった様子に

シノ アヤイコウエペケレ コロ アナン。

**sino a=yaykouepeker kor an=an.**

私は心配に思いながらいた。

エキムネアン クナク アラム ア コロカ エキムネ カ アエトランネ。

**ekimne=an kunak a=ramu a korka ekimne ka a=etoranne.**

山に行こうと私は思うものの、なんだかそれも気が進まなかった。

オラノ イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。

**orano i=ka toykus pekor yaynu=an.**

それから、私は土に埋められているかのような気分だった。

ネウン ネ フミ ネ ヤ キ コロ アナナイネ タネ シロヌマン ヒケカ

**neun ne humi ne ya ki kor an=an ayne tane sironuman hikeka**

いったいどうしたことかそんな気分でも過している、もう晩になったのだが、

シロヌマン ヒケカ スケアン カ エトランネ。

**sironuman hikeka suke=an ka etoranne.**

晩になったのに料理をするのも気が進まなかった。

オラノ イコトイ…… イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。

**orano ikotoy... i=ka toykus pekor yaynu=an.**

それから、私は土に埋められているかのような気分だった。

シピネアン アナク キ ワ アナン コロカ

**sipine=an anak ki wa an=an korka**

身支度はしていたけれど

タシロ カ アシトムシ ネノ アナン コロカ

**tasiro ka a=sitomusi neno an=an korka**

山刀も身につけていたけれども、

オラウン モイモイケ カ アエトランネ。

**oraun moymoyke ka a=etoranne.**

動くのも億劫だった。

イカ トイクシ ペコロ ヤイヌアン。

**i=ka toykus pekor yaynu=an.**

土に埋められているかのような感じがしていた。

アペコオピ…… アペ テクサム ペカ ホクサン テク ヒ ネノ アナニネ

**apekoopi... ape teksam peka hokus=an tek hi neno an=an h\_ine**

火のそばにばったり倒れて、そのままできて

ト エピッタ ネノ アナン アイネ

**to epitta neno an=an ayne**

一日中そのようにしているうちに

シロヌマン ヒケカ ホプニアン ラマン カ アサクノ

**sironuman hikeka hopuni=an raman ka a=sakno**

夕方になっても起きようという考えも浮かばず

ネノ アナン ルウエ ネ コロ

**nenō an=an ruwe ne kor**

そうしていると、

オラウン イナウケアン。イナウロシキアン クス イナウケアン コロ

**oraun inawke=an.inawroski=an kusu inawke=an kor**

イナウを削った。イナウを立てるため、イナウを削ると

アコロ クチャチセ アパパケ タ

**a=kor kucacise apapake ta**

狩小屋の入口に、

ピリカ ポンポン オタニコロ イランマカカ アン ウシケ アン ペ ネ ワ

**pirka ponpon otanikor irammakaka an uske an pe ne wa**

きれいな小さな砂原、きれいな場所があり、

イナウキケ ネ ヤ ネプ ネ ヤ エタラカ ムントウム ペカ カ アオスルパ カ

**inawkike ne ya nep ne ya etarka muntum peka ka a=osurpa ka**

イナウの削りかけや何かをやみくもに草原に投げるのも

ニシカ コロ

**niska kor**

もったいないと思いながら

ネ オタニコロ アン ウシケ ウン

**ne otanikor an uske un**

その砂原のあるところへ

アオスルパ ランケ アオスルパ ランケ コロ アン。

**a=osurpa ranke a=osurpa ranke kor an.**

すてていた。

アナン ペ ネ ワ スイ ネ エトホ カ イナウケアン ヒケ

**an=an pe ne wa suy ne etoho ka inawke=an hike**

そうして、またその日もイナウを削り、



イナウキケヘ ピリカ イナウキケ カ

**inawkikehe pirka inawkike ka**

イナウの削りかけ、きれいな削りかけも

アエマクパ イナウキケ カ アウコライパ ヘネ

**a=emakpa inawkike ka a=ukoraypa hene**

必要ない削りかけもまとめて、

スイ ネア ポン オタニコロ ウン アオスルパ ヘム キ ヒネ

**suy nea pon otanikor un a=osurpa hem ki hine**

またその小さい砂原に投げて

オラ アナン ペ ナ ア プ エネ フマシ

**ora an=an pe na a p ene humas**

いたのだが、次のような感じだった。

エキムネ ラマン イオアラポソ

**ekimne raman i=oarposo**

山に行こうという考えも私の頭から抜けていた。

オラノ ネノ アナン。スケアン カ ソモ キ ノ

**orano neno an=an. suke=an ka somo ki no**

それからこのようにいた。料理をすることもなく

ネノ アナン アイネ シロヌマン テク アクス

**нено an=an ayne sironuman tek akusu**

いて、夕方になり

タネ シリ…… シリクンネ カネ アクス

**tane sir... sirkunne kane akusu**

暗くなると

ヘマンタ フナク ワ オキムネ サヌム コンナ トソサッキ

**hemanta hunak wa okimne san h\_um konna tosoatki**

何かがどこか山の方から下りてくる音がドサドサ

リミマツキ ウェン ニカイ フム シヨロツテ コロ キ アイネ

**rimimatki wen nikay hum siyorotte kor ki ayne**

ドンドンと木が折れる音を巻き上げながらやってきて

アコロ クチャチセ アットムサマ ヤイエウシ プ ネ フミ アシ ヒケカ

**a=kor kucacise attomsama yayeus p ne humi as hikeka**

私の狩小屋めがけてやってくる様子がしたのだが、

ヤイモイモイエ カ アヌクリ ワ アナン ネノ アナン ルウエ ネ アクス

**yaymoymoye ka a=nukuri wa an=an neno an=an ruwe ne akusu**

私は動くことも出来ずに、そのままいたところ

ヘマンタ エク ヒネ エアシリ カ

**hemanta ek hine easir ka**

何かがやってきて、本当に

アパ オツ タ ネプ アエカンパク ソモ キ ノ ヘマンタ エアウオシマ ルウエ

**apa or\_ ta nep a=ekampak somo ki no hemanta eawosma ruwe**

戸口に思いもかけずに何かが頭を突っ込んだのだった。

エアシラナ ウエイ ユク カトウ アコレ ヘマンタ シトウイカ ペカ

**easirana wen\_ yuk katu a=kore hemanta situyka peka**

なんと悪いクマの姿をした化け物を自分の上方に

インカラン コロ アナン ペ ネ。

**inkar=an kor an=an pe ne.**

私は見ながらいたのだった。

シトウイカ ペカ インカラン ル

**situyka peka inkar=an ru**

自分の上の方に私が見た様子は

ウエイ ユク カトウ アコレ

**wen\_ yuk katu a=kore**

悪いクマである姿を与えられた

ヘマンタ チェアウオツケ チェヤサニニ (?) カネ

hemanta ceawotke ceyasanini(?) kane

化け物が頭を家の中に突っ込み (?)、

キ アプ ハウコメシコサンパ コツ チソイエカッタ ヒネ

ki a p hawkomeskosanpa kor\_ cisoyekatta hine

すると、大声を上げて外に飛び出し、

スイ トオプ ホユプ フミ アシ ア プ

suy toop hoyupu humi as a p

遠くに走っていく音がしていたのだが

オロワノ スイ カンナ スイ アプンノ エク ヒネ

orowano suy kanno suy apunno ek hine

それから、また再び静かにやってきて

スイ プヤラ カリ ヘヘウパ フミ ネ ノイネ フマサ プ、

suy puyar kari hehewpa humi ne noyne humas a p,

また窓からのぞくような感じがして、

スイ シキツテクテク ヒネ スイ キラ フミ アシ。

suy sikittektek hine suy kira humi as.

くるっと向きを変えて、また、逃げた様子だった。

オラ スイ エク ワ アプンノ フムネ アパ カリ エク ワ イホタヌカラ

ora suy ek wa apunno humne apa kari ek wa i=hotanukar

それから、また来て、今度は静かに戸口から入ってきて戸から私の様子をうかがっていた。

オラ スイ ハウコメシコサンパ コロ チマケカッタ スイ キラ フミ アシ。

ora suy hawkomeskosanpa kor cimakekatta suy kira humi as.

それから、また大声を出しながら、後ろに飛びのき、すぐに逃げて行ったようだった。

プヤラ カリ イネヘンパクスイ アパ カリ イネヘンパク スイ

puyar kari inehenpaksuy apa kari inehenpak suy

窓から、戸口から、何度も

イホタヌカラ ヒ (?) フミ ネ コロカ

**i=hotanukar hi(?) humi ne korka**

私の様子を見ているようだったが、

ヤイモイモイケ カ アエトランネ プ ネ コロ

**yaymoymoyke ka a=etoranne p ne kor**

私は動くのも気が進まずに

ネノ アナン ルウエ ネ アイネ タネ

**nenno an=an ruwe ne ayne tane**

いたのだが、

オラノ アネピッタ ネノ ポンノ アラパ

**orano anepitta neno ponno arpa**

一晩中ちょっと来ては、

オラ スイ アプンノ イクイラ ワ エク コロ

**ora suy apunno i=kuyra wa ek kor**

こっそり私に近づいてくると

オラ スイ シキツテクテク ランケ コロ イネヘンパクスイ ヘネ イキ アイネ

**ora suy sikittetektek ranke kor inehenpaksuy hene iki ayne**

身をひるがえすということを何度もしていたあげく、

タネ シットウムペケレ カネ

**tane sittumupeker kane**

もう夜が明けるぐらいに

パクノ シラン。ニサツマウ カリ パクノ ネ コロ

**pakno siran. nisatmaw kari pakno ne kor**

なった。夜が明けてくるころになるまで、そうして

オロワ イホタヌカラ ワ

**orowa i=hotanukar wa**

私の様子を伺い、

オロ ハウコメシコサンパ コロ シキツテクテク ヒ ワノ スイ  
**oro hawkomeskosanpa kor sikittektek hi wano suy**  
 大声を出しながら身をひるがえしていた。そこから、また、

ウエン ニ カイ フム シヨロツテ ヒネ  
**wen ni kay hum siyorotte hine**  
 激しく木が折れる音を立てながら、

トオプ エコイポクン マ アラパ フム コ トウリミムセ。  
**toop ekoypokun w\_a arpa hum ko turimimse.**  
 ずっと西の方へ行く音が轟き

ケウロトツケ コロ アラパ フミ アシ コロ  
**kewrototke kor arpa humi as kor**  
 響き渡りながら行く様子がし、

オラ アカッカ コンナ チャクナタラ  
**ora a=katka konna caknatara**  
 私は気分がよくなった。

ヒネ ホプニアン コロカ オラウン  
**hine hopuni=an korka oraun**  
 そうして私は起きたのだが、

ウクランネ カ スケアン マ イペアン カ ソモ キ プ ネ クス  
**ukuranne ka suke=an w\_a ipe=an ka somo ki p ne kusu**  
 昨晚から料理も食事もせずだったので

イペルスイ カ アン カ ソモ<sup>[1]</sup>…… イペルスイアン ヒ クス  
**iperusuy ka an ka somo... iperusuy=an hi kusu**  
 食欲もなく……おなかがすいたので

クンネイワノ ホプニアン ヒネ ワッカタアン ヒネ オラ スケアン ヒネ  
**kunneywano hopuni=an hine wakkata=an hine ora suke=an hine**  
 朝から起きて水を汲んで、それから料理をし、

ス アアッテ ヒネ オラ ヤケ タ スイ ヤイホクシテアン テク  
**su a=atte hine ora yake ta suy yayhokuste=an tek**  
 鍋を掛け、炉端にひっくり返った。

ソモカ モコラン クナク アラム ア プ エアシリ カ  
**somoka mokor=an kunak a=ramu a p easir ka**  
 まさか眠れないと思っていたのだが、

モコラナアンネ (?) ウェンタラパン フミ エネ アニ。  
**mokor=an a an(?) h\_inine wentarap=an humi ene an h\_i.**  
 眠りにつき、夢に見たのはこのようなことだった。

カムイ ネ クス コラチ アン メノコ  
**kamuy ne kusu koraci an menoko**  
 カムイのような女性で

カネ コソソテ トウムオウレプニ プ アン ヒネ  
**kane kosonte tum'ourepuni p an hine**  
 金の小袖を重ね着したものが

イタク ハウエ エネ アニ。  
**itak hawe ene an h\_i.**  
 このように話した。

「タン アイヌ ニシパ イタカン チキ エイヌ カトゥ エネ アニ。  
**“tan aynu nispa itak=an ciki e=inu katu ene an h\_i.**  
 「人間のニシパよ。私が話すから、聞くのです。」

タアン エコロ クチャチセ ソイケ タ アン オタニコロ アウニヒ ネ ワ  
**taan e=kor kucacise soyke ta an otanikor a=unihi ne wa**  
 このあなたの狩小屋の外の砂原は私のすみかで、

オロ タ アン ペ アネ ルウエ ネ。  
**oro ta an pe a=ne ruwe ne.**  
 そこに私はいるのです。

キナスットノ アネ ヒネ アナン ペ ネ ヒネ

kinasuttono a=ne hine an=an pe ne hine

私は蛇の大將で

アナン ヒケ エイナウケ コロ イナウ アエイコイトウパ ヤッカ

an=an hike e=inawke kor inaw a=eykoytupa yakka

こうして暮らしていたのですが、あなたがイナウを削ると、イナウを欲しいと思っても

ウママ カムイ ウク エアシカイ ペ イナウ ソモ ネ クス

umama kamuy uk easkay pe inaw somo ne kusu

並みのカムイでは受け取れないのがイナウなので

ネウン カ イコレ カ ソモ キ プ ネ ヒケ カ

neun ka i=kore ka somo ki p ne hike ka

誰も私にしてくれないのだったが

エイナウケ コロ ピリカ イナウキケ カ

e=inawke kor pirka inawkike ka

あなたはイナウを削るとききれいな削りかけも

アウニヒ オルン エオスルパ コロ アエヤイライケ

a=unihi or un e=osurpa kor a=eyayrayke

私の家へ投げしてくれるので感謝していました。

アエヤイコプンテク コロ アナン ランケ ア プ

a=eyaykopuntek kor an=an ranke a p

いつも喜んでいたので、

インカラナクス エエキムネ ヤカナクネ エアシラナ モシリパ ワノ

inkar=an akusu e=ekimne yakanakne easirana mosirpa wano

目をやると、あなたが山に狩りに来たら、なんとまあ、国の上端から

イペハット<sup>[2]</sup> アコキ ワ アラポクナシリ アコオケウエ ワ

ipehatto a=koki wa arpoknasir a=kookewe wa

禁じられたものを食べて、地下に追放され、

エク アラウエンカムイ エアン ルウエ ヌカラ ヒネ

**ek arwenkamuy e=an ruwe nukar hine**

やって来た魔物が、あなたがいるのを見て

エトムンノ エク ワ エエ ポカ キ ワ

**e=tomunno ek wa e=e poka ki wa**

あなたの方に来て、せめてあなたを食べてから、

オラウン アラウエンモシリ アコキル クニ キ ルスイ クス

**oraun arwenmosir a=kokiru kuni ki rusuy kusu**

それから魔物の世界に追放されたいものだと思ったので

エトムンノ サン コロ アン シリ アヌカラ。

**e=tomunno san kor an siri a=nukar.**

あなたのそばに魔物が下りてきている様子を見ていました。

パクノ シトマ パ プ イサム ペ アカトウフ ネ ワ クス

**pakno sitoma pa p isam pe a=katuhu ne wa kusu**

これほど恐ろしいものはないというのが私の姿なので

アコロ コソンテ エカ アカムレ ヒネ アエアヌ。

**a=kor kosonte e=ka a=kamure hine a=e=anu.**

私の小袖をあなたの上にかぶせておいたのです。

エエキムネ ソモ キ クニ ネ キ ヒネ エアン クシケライポ

**e=ekimne somo ki kuni ne ki hine e=an kuskeraypo**

あなたが山に行けないようにして、そうしていたおかげで

シトマ プ ネ クス エヌカラ コロ

**sitoma p ne kusu e=nukar kor**

魔物は怖がっているの、あなたを見ると、

『マク タプ タシ アイヌ ネ ワ アヌカラ ワ エカン ア プ

**'mak tap tas aynu ne wa a=nukar wa ek=an a p**

『どうして、人間を見て来たのだったのに、



エネ アン ヘマンタ カトゥネコ アン ペ エネ アニ アン?』

**ene an hemanta katuneko an pe ene an h\_i an?**

このような化け物のひどい姿であるというのだ』

セコロ ラムアン コロ エサウオツ ランケ オラ スイ

**sekor ramuan kor e=sawot ranke ora suy**

と思いながら、あなたから何度も逃げ、それから

『ランマ ネノ アニ アン?』

**'ramma neno an h\_i an?'**

『いつもこんな姿なのか?』

セコロ ラムアン ワ ホシピ ワ エノンカラ ア プ

**sekor ramuan wa hosipi wa e=nonkar a p**

と思って戻って、あなたの様子を見に行くのだが、

ランマ ネノ エアン ペ ネ クス

**ramma neno e=an pe ne kusu**

例のようにあなたがいるので

アルキ クニ シトマ クス エネ キラ ランケ キラ ランケ アイネ

**a=ruki kuni sitoma kusu ene kira ranke kira ranke ayne**

飲み込むのも恐ろしい様子なので、あのように何度も逃げたりしていた結果

タネ アナク シリペケレ ペ ネ クス シリペケレ パクノ ネノ イキ ワ

**tane anak sirpeker pe ne kusu sirpeker pakno neno iki wa**

もう夜も明けたので、夜も明けるまでそうして

ラポッケ カムイ オピッタ コホサリ ヤクン スイ アウエンパカシヌ クニ

**rapokke kamuy opitta kohosari yakun suy a=wenpakasnu kuni**

そのうちにカムイがみなそのようすに気が付いたら、またひどく懲らしめられるのが

シトマ クス タネポ エアシリ アッチュッポクナシリ アオアラパレ クニ

**sitoma kusu tanepo easir atcuppoknasir a=oarpare kuni**

恐ろしいので、ようやく、西の果ての地獄へ行くように

アオイタッコテ ワ エク ペ ネ クス

**a=oytakkote wa ek pe ne kusu**

言い渡されて来ていたものだから、

カムイ オロワノ アウエンパカシヌ クシ エク ペ ネ クス アラパ ワ イサム。

**kamuy orowano a=wenpakasnu kus ek pe ne kusu arpa wa isam.**

カムイからひどく罰せられたために来ていたものなので、行ってしまった。

アコロ コソソテ エミ クシケライポ

**a=kor kosonte e=mi kuskeraypo**

私の小袖をあなたは着ていたおかげで、

ソモ アエコイキ ノ アラパ ルウエ ネ ナ。

**somo a=e=koyki no arpa ruwe ne na.**

あなたは殺されず、魔物は行ったということなのですよ。

ネプ ネ ヤッカ トノ オカイ ペ ネ クス

**nep ne yakka tonno okay pe ne kusu**

何にでも大将というものはいるもので、

キナスツ トノ アネ ワ アナン ヒケ

**kinasut tonno a=ne wa an=an hike**

蛇の大将が私であり

タパン ウシケ アオリワク ウシケ ネ ア プ エネ イナウ イコレ ランケ

**tapan uske a=oriwak uske ne a p ene inaw i=kore ranke**

この場所が私が住む場所であったのですが、イナウを私に度々くれ、

アエヤイライケ ワクス エカ オピウキ シン ネ。

**a=eyayrayke wakusu e=ka opiwki sir\_ ne.**

感謝しているので、あなたを助けたのです。

パクノ シトマ パ プ イサム ペ キナスツ ネ ワクス

**pakno sitoma pa p isam pe kinasut ne wakusu**

これほどまでも恐れられるのは蛇なので

エネ アコロ コソソテ アエミレ ワ アアヌ ワクス オラノ

ene a=kor kosonte a=e=mire wa a=anu wakusu orano

このように私の小袖をあなたに着せておいたので、それから

シトマ ワ エネ キラ ア キラ ア アイネ

sitoma wa ene kira a kira a ayne

魔物は恐がって、このように逃げて

タネ アナクネ エシトマ プ カ イサム シンネ。

tane anakne e=sitoma p ka isam sir\_ne.

今はもうあなたは恐れるものもないのです。

テワノ アナクネ テワノ イエランポキウエン マ イノミ ワ イコレ ヤカナク

tewano anakne tewano i=erampokiwen w\_a i=nomi wa i=kore yakanak

今からは私を憐れんで、私に祈ってでもくれれば、

エアシリ エセレマカ アウシ ヤクン

easir e=sermaka a=us yakun

あなたを守護して

エフイネ アン ペ エク ヤッカ

ehuyne an pe ek yakka

たとえ、何か来ても、

エシトマ プ アナク シネプ カ イサム ルウエ ネ。

e=sitoma p anak sinep ka isam ruwe ne.

あなたは恐れるものは一つもないのですよ。

ナ イコヤイライケ ヤクン イナウ シネプ ポカ イコアシ ワ イコレ。

na i=koyayrayke yakun inaw sinep poka i=koasi wa i=kore.

もっと私に感謝するなら、イナウ一本でも私に立てて下さい。」

セコロ カネ カネ コソソテ トウモウレプニ カムイ メノコ アン ヒネ

sekor kane kane kosonte tumourepuni kamuy menoko an hine

と金の小袖を重ね着したカムイの女性がいて

ハウェアン ヤク アタカラ。

**hawean yak a=takar.**

そのように話した夢を見た。

オロワノ オンカミアナ

**orowano onkami=an a**

それから私は拝礼をした。

ナニ シチャツテクテカン

**nani sicattektek=an**

すぐにぱっと目が覚めた。

ナ アコロ ス ポプ コロ アン ヒネ エウン シチャツテクテカン

**na a=kor su pop kor an hine eun sicattektek=an**

まだ鍋が煮立っていて、そこでぱっと目が覚めた。

オンカミアナ アナ。

**onkami=an a =an a.**

ずっと拝礼した。

エアシリ カムイコヤイライケアニ アイェ ア アイェ ア コロ

**easir kamuykoyayrayke=an h\_i a=ye a a=ye a kor**

それからカムイへの感謝を述べると

イナウケアン ナニ イカカタ イナウケアン ヒネ

**inawke=an nani ikakata inawke=an hine**

イナウを削った。即座にイナウを削り、

ア…… アノミ ヤク アイェ コロ イナウロシキアン ルウェ ネ ヒネ

**a... a=nomi yak a=ye kor inawroski=an ruwe ne hine**

祈りを口にしながらイナウを立て

オロワノ エキムネアン シリ エネ アニ。

**orowano ekimne=an siri ene an h\_i.**

それから私が山に行った時の様子は次のようだった。

ケシト アン コロ トウプ スマウネ レプ スマウネ ペ ネ クス  
**kesto an kor tup sumawne rep sumawne pe ne kusu**  
 毎日、獲物が二つも三つも獲れるので、

エアシリ カ ピリカ チホキ  
**easir ka pirka cihoki**  
 いい毛皮を

アサッサツケ コロ リヤ アナン。  
**a=satsatke kor riya an=an.**  
 どんどん干しながら冬を越した。

パイカラ パクノ キ プ ネ クス エアシリ カ ヌプリ クンネ  
**paykar pakno ki p ne kusu easir ka nupuri kunne**  
 春になるまでそうしたので、山のように

ピリカ チホキ パテク アウカオシマレ ワ  
**pirka cihoki patek a=ukaosmare wa**  
 いい毛皮ばかりためて

オロワノ パイカラ アン コロ サナン クニ ネ  
**orowano paykar an kor san=an kuni ne**  
 それから春になると、山を下りることを

スイ ネア キナスツ トノ アコヤイライケ アノミ シンネ ナ。  
**suy nea kinasut tonono a=koyayrayke a=nomi sinne na.**  
 また、その蛇の大将に感謝して祈っていた。

オラ サケコラン ヤクン  
**ora sakekor=an yakun**  
 それから酒を手に入れると

「サケ ネ ヤッカ チエノミカラ アエカラカラ クス ネ ナ。  
**“sake ne yakka cienomikar a=ekarkar kusu ne na.**  
 「酒でも祈りをささげますよ。」

チェプンキネ イエカラカラ ワ イコロパレ ヤン」  
**cepunkine i=ekarkar wa i=korporare yan**”  
 どうか守ってください」

セコロ イタカン コロ アコイナウロシキ。  
**sekor itak=an kor a=koinawroski.**  
 と話しながら、イナウを立てた。

スイ アシリキンネ キ ヒネ オラノ クチャサンケアン オロワノ  
**suy asirkinne ki hine orano kucasanke=an orowano**  
 また、新たにそうして、獵期を終えて村に帰り、それから、

イ…… オロワノ ネ ペコロ ポ ヘネ ウイマムアン ヤッカ  
**i... orowano ne pekor po hene uymam=an yakka**  
 そのようにいっそう交易に行っても

ウサ オカイ ペ ネプ ネ ヤッカ ウサ アコン ルスイ ペ  
**usa okay pe nep ne yakka usa a=kor\_ rusuy pe**  
 いろいろなもの、なんでもほしいものは

イコン ネ チキ イヨイペ ネ チキ  
**ikor\_ ne ciki iyoype ne ciki**  
 宝物でも食器でも

ウサ オカイペ ヌウエ アコアン  
**usa okaype nuwe a=koan**  
 いろいろ収穫があった。

エアシリ カ アエアスルアシ。ネ アノミ シリ ネプ カ  
**easir ka a=easuras. ne a=nomi siri nep ka**  
 本当に有名になった。その祈る様子を何も

アウタリ アナク アエコタンネ ウタラ アナク エランペウテク ヤッカ  
**a=utari anak a=ekotanne utar anak erampewtek yakka**  
 仲間は、村人は知らないことだが

サケコロアン コロ

**sakekor=an kor**

私は酒を手に入れると、

アロロキシネ イナウ ネ ヤッカ シラリ ネ ヤッカ シンナ アロシキ ワ  
**arorkisne inaw ne yakka sirari ne yakka sinna a=roski wa**

こっそりイナウでも酒粕でも別に立てて

アコイタツカラ キナスツ トノ アノミ ヒ アイェ コロ アコイロシキ。

**a=koytakkar kinasut tono a=nomi hi a=ye kor a=koiroski.**

話した。蛇の大將に祈るということを言いながら立てた。

オロワノ ポ アナクネ エキムネアン ヤッカ

**orowano po anakne ekimne=an yakka**

それからいっそう山に行っても

エキムン イラマンテ エピスン イラマンテ ペトイラマンテ アン ヤッカ

**ekimun iramante episun iramante petoiramante an yakka**

山の狩でも浜の狩でも川の狩でも

ネプ アエアイカプ ペ イサム ペ ネ クス

**nep a=eaykap pe isam pe ne kusu**

何も苦手なものはないので

エアシリ カ アエアスルアシ コロ アナン ペ ネ クス

**easir ka a=easur'as kor an=an pe ne kusu**

本当に有名になっていたので

タプネ アン ペ アコペプカ プ ネ アクス アイェ セコロ。

**tapne an pe a=kopepka p ne akusu a=ye sekor.**

このように私の体験を伝え、話したのだと。

タクネ ウエペケン ネ

**takne uepeker\_ ne**

短い昔話だった。

(萱野氏:いや、いいウエペケレだねー)

ふふふ

HUHUUH

ふふふ

**【注】**

[1] iperusuy ka an ka somo は言い間違い。次に言いなおしている。

[2] ipe 「食べる」 hatto 「禁止」。おそらく人間を食ったということ。



## 11-5 ウエペケレ「ユペツホントムンクル」解説

語り手：平賀さだも  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーっとこれは uepeker [散文説話] ですね。Yupet hontomo un kur a=nehine an=an pe ne ruwe ne [私は湧別川中流で暮らしている者です。] ちゅうとっから [というところから] 始まるわけだ。

平賀：そうだ、そうだ。

萱野：わたくしは湧別川の、川のちょうど中ごろに住んでおる1人の aynu [男] でございました。猟も非常に上手で、いつでも山へ行っては沢山の

平賀：Yupet hontomo ちゅうたら今コタンちゅうとこだべと思うよ。コタンちゅうとこあんだ、湧別ダンチャン(?)の手前にある。

萱野：あーなるほどね。今の、まあ鹿もたくさん獲れるし熊もたくさん獲れるし何不自由なく生活をしておった。

ある日のこと山へ熊狩りに行った。まあ kuca cise [狩り小屋] と言って猟小屋があるのでその猟小屋へ行って、いつも山行ったらアイヌの風習として inaw [イナウ] を作ってそこで inaw rosiki [イナウを立てる] と言って、それぞれ山の神様に inaw をあげて「熊を獲りに来ました。どうぞ宜しく。」というそのお願いやら、あの inaw を作るわけなんだが、またいつもと同じように inaw を作って外の祭壇へ立てて、そして家の中に入って黙ってこう見ておると、その inaw がいつのまにかその家の方に向かってバサッと倒れてる。

「どうしてだろうな？」と、「何かその悪いことのおきる前兆ではないだろうか？」と、そんなこと考えながらまだ(また)外へ出てそれをきちっと立て直して家の中へ入って、ちょっとうっかりしているとまだそれが倒れておる。

それとそのまあそういうこと(? 録音不良) あったんでなんかこううす気味悪いというような気持ちもして、おる、おりながらまあ、その日は夜になってまあ次の朝、朝早く起きたんだけど、いわゆるそう

いうマタギと言うかその狩人のそのクセとして、その人もそうなんだが、行って泊まる場所を決めても、ちょっとその辺というわけで弓矢を持って朝めし前でも山行って、すぐでも山へ行く。

その日に限って朝起きても全然、行く気もない。そんなことを、でもただその炉端にゴロンと寝たっきりでその日は一日を過ごしちまったと。まったくそのアイヌ語での表現 *i=ka tuye... i=ka toy kus a kus a pekor yaynu=an* [(私が) かつたるい : *i=ka toy kus pekor* (私の上を土でおおわれたような)・萱野辞典 p 46 と同意か] というふうな表現していますが、それはその、寝ている上に土を被され、被せられたような気持ちになってまったくそのまあ金縛りまではいってないんだけど、その動けないという状態なんです。

そんなことで夜になった。朝めしも食べたったのか食べなかったのか分からないぐらいにまあ夜になって、それでも相変わらずその体が重くてまったく動けないという感じ。炉端にゴロンと寝たっきり、そうして夜になったらまあ、いいかげん真っ暗くなってから山の方からものすごい風を巻き起こすように、何者かがすごい勢いで走って来た。足音聞いたらそれは大きな熊であるらしい。

その熊が、まあ真っ直線に走って来て私の泊まっておる狩り小屋の入口へこう、ひょいと顔を出した途端に何を見たかその熊はもう、ものすごい声をだして「フン！」とか「ホッ！」とかというような恐ろしい声を出しながら、まあバックして走って行ってしまった。それから暫くは音沙汰もない。

そしたらまだそれが、その熊今度はこっそり戻って来て足音忍ばせて窓から覗いた。そしたら、さっき戸から覗いた時と同じように、まだ何を見て驚いたのか、ものすごいびっくりした声を出して戻って行っちゃった。それがもう、そしたらまだ暫く音がない。それからまだ、何……暫くの間おいて戸の方からまだ、コソコソジワジワ来て覗いてはすごい驚きをして戻ってしまう。という繰り返しが夜いっぱい続いた。それでも、どういうふうなったのかもわたくし自身は全然、動きがとれないと。

そんなようなことでまあ夜が明けた。夜が明けて、まあ私はその、夜が明けたら急にその体が前と同じように、こうすっかり元の状態になった。まあ夜いっぱい眠らなかつたせいもあるけれども、まあ朝起きたんだから今度はすっかり体が元のじょうだい……状態になったので、それにまあ火を焚いて鍋を掛けて、まあ何を焚いたか鍋を掛けて、で、ゴロツとまあ炉端へ横になったらそのまま、まあウトウトと眠りに入ったら

夢枕に綺麗な女の人が立って言うのには「実はわたくしは、あなたのこの **kuca cise** [狩り小屋] という狩り小屋のすぐ側でいる蛇だ」と。蛇の神様なんだと。しかもその **kuca cise** のすぐ側でちょっとしたアイヌ語でさっき **uepeker** [散文説話] で **otanikor** [砂原] と言ったがその、土の出ている綺麗な場所があって、そこへまあアイヌであるわたくしがその **inaw** を作った時には必ずその **inaw** の作り屑とか **inaw** の残りなんかを何気なくそこへポンと置く癖というか、そんなゴミ投げとは違うけれども何となく綺麗なその砂原なのでそこへ置くようにして、いつもしておった、ものだったが、その夢枕に立った女の言うのには、

「わたくしはその小さな砂原に……、を住まいとしておる蛇だったと。それがあんたはいつも私に **inaw** をくれるので普通ではもらえないはずの **inaw** がそういうふうにもらえるので、いつも感謝しておったと。ところが今、猟に来るの黙って見ておったら、あんたがその、まあこの狩り小屋へ来るのを分かっておったその獰猛な熊が襲いかかって喰い殺してやると。それも神の国でも悪さをして神様全部が集まって罰して、そのアイヌの住んでおる村では住めなく、よその村へ追放される途中、その行きがかりに喰ってやるという考えてくる熊がおったので、それを助けてやらんきゃならんと。

あんたを助けてやろうと思って、まあ昨日の朝からいろんなその **inaw** がひっくり返るのを何か、でこう悪いことがあるぞと知らせておったり、それから、夕べ、昨日の朝から全……ずっとその私の衣をあなたに貸したんだと。貸したというより寝ている上へこう着せておいたと。それはまあ、あんた自身は分からないでしょうけれども蛇の姿に変えておいたんだと。熊はそれを見て一番嫌うので、その窓は……戸から見て、それを見ても、のけ反るように驚いて逃げた。『確かに人間がいて喰いに来たのにそれがそんなんなってる。変だ』と思って、まだ窓から来てみる。やっぱり同じ。戸へ……戸からもう1度廻っても同じという繰り返しを朝までして、とうとうまあ、お前を喰い殺すことも出来ないでまあ夜が明けて帰っちゃまったんだと。それでまあ、あなたを救ったのは実はわたくし蛇の女神であったと。けれどもいつも **inaw** をくれたので、それをまあ、せめてこういうことがお礼としてあんたを助けたのですからこのあとも **inaw** の余りでもいいからまあ **inaw** をください」と。

そういうふうに夢枕にその蛇の女神が人間の姿になって立ってくれた。それを聞いて、ぱっと目が覚めて、まだ掛けて眠ったところの鍋はまあ煮立っておるぐらいに短い時間ではあったけれども、そういう夢を見たのですぐに **inaw** を作って、あらためてその **otanikor** というまあ小さな

砂原ですね。まあこの uepeker〔散文説話〕を聞いた感じとしては、そうですね、十坪かそこらぐらいの砂原という感じに聞こえますが、その砂原のところへ inaw を立てて「本当に有難う御座いました」とお礼をしました。

それからなおさら私は運がいいように沢山の熊が獲れ鹿が獲れ何不自由なくわたくしは生活をしておりました。こんなことでまあ aynu になって一人前になってから恐ろしいば恐ろしい、そういう経験を私は持つておる aynu でしたと、1人の aynu が言いました。

これは uepeker〔散文説話〕です。

## 11-6 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イヨチ ウン マツ語るところからだよ

Iyoci un mat

イヨチ ウン クル

余市の男

Iyoci un kur

エプ アコロ ユピ

私の兄が

ep a=kor yupi

イレシパ シリ

私を育てた様子は

i=respa siri

エネイ オカ ヒ

このようでした。

ene[y] oka hi

チアラレス

大事に

ciararesu

チトムテレス

輝くように

citomteresu

イエイカラカラ ワ

私をそのように扱い

i=e[y]karkar wa

ウ ランマ カネ

いつものように

u ranma kane

オカヤニケ oka[y]=an h_ike	いたのですが
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう
セモロ ポロ ノ semor poro no	少し大きく
ウ アハナン キ コロ u a[ha]n=an ki kor	なったので
イレス ユピ i=resu yupi	育ての兄は
サランペ ウイペ saranpe uype	絹の端切れを
ウ ケム トウラノ u kem turano	針と共に
サプテ イコレ sapte i=kore	出して私に与えました。
「コニンカラ クス “koninkar kusu	「さて、
アコッ トウレシ a=kor_ turesi	我が妹よ
メノコ アナク menoko anak	女とは
ケメイキ プ ネイ ナ kemeyki p ne[y] na	裁縫をするものだから

エケメイキ キ ヤク  
e=kemeyki ki yak

お前は裁縫をすると

ピリカ ナンコロ ナン」  
pirka nankor na[n]”

よいぞ (=裁縫しなさい。)

セコロ イタク コロ  
sekor itak kor

そう言いながら

イコロパレ コロ  
i=korpare kor

私にそれらを与えると

アハンケヨンパン  
a=hankeyompa[n]

近くを縫い縮め

アトゥイマヨンパン  
a=tuymayompa[n]

遠くを縫い縮め

アコロパレ コロ  
a=korpare kor

(兄に縫ったものを) 渡すと

イレス ユピ  
i=resu yupi

育ての兄は

シイエトゥウイナン  
si[y]etuuyna[n]

(驚いて) 自分の鼻を押さえ

エ シパルイナ  
e siparuyna

自分の口を押さえ

「アコッ トウレシ  
“a=kor\_ turesi

「我が妹は

ウ アシカイ カシパン」  
u askay kaspā[n]”

非常に上手だな。」

セコロ イタク sekor itak	そう言うだろう
アラム コロ オラン a=ramu kor ora[n]	と私が思っていると
シセンピリ ウン アン コロ sisenpir un an kor	後ろを向きながら
エピタッタラケン epitattarke[n]	くすくす笑う
ウ キ コトム ノ u ki kotom no	そうしているように
アネサンニヨ an=esanniyo	そのように見受けられます。
オカ オヤク タ oka oyak ta	別の場所では
アラム ロク ペ a=ramu rok pe	私はそう（上手だと）思っていたのですが
ウッシウ ウタラ ussiw utar	召使いの者たちも
オソッタンプ ネ osottampu ne	（私が縫ったものを）お尻のつぎ当てに
カラ ワ オカ ワクス kar wa oka wakusu	しているので
イルシカアン クス iruska=an kusu	私が怒って



エプ アコロ ユピ ep a=kor yupi	我が兄に
アエコイヨンヌッパン a=ekoyonnuppa[n]	訴える
イシサウ コンナ isis h_aw konna	憤りの声が
ウ ヤクナタラ u yaknatara	鳴り響きます。
アナク キ コロカ anak ki korka	けれども
パシロタ カトウフ カ pasrota katuhu ka	(兄が召使いを) 罵る様子も
アネイランペウテク an=e[i]rampewtek	私にはわかりません。(見受けられません)
オトウ ケシ ト タン otu kes to ta[n]	毎日
ウ アナン カトウ u an=an katu	暮らしている様子を
アノモンモモ an=omommomo	つぶさに述べたのです。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう

セモロ ポロ ノ semor poro no	少し大きく
ウ アナン キ コロ u an=an ki kor	なったのですが
ネシ ナ クス nesi na kusu	そうして
アエヤイ…… アエカン ロク ペ aeyay... a=ekar_ rok pe	私がそれで（針で）作ったもの
アカラ ワ アン ペ a=kar wa an pe	私が作ったものの
トゥ ル ウトウル tu ru utur	ふたつの縫い跡の間を
トゥ ペケツ チュプキ tu peker_ cupki	ふたつの明るい光が
チオウシパカラ ciouspakar	きらめく
ウ パクノ ネイ コロ u pakno ne[y] kor	そのようにまでなると
イレス ユピ i=resu yupi	私の兄が
エネ イタキ ene itak h_i	こう言いました。
「アコッ トウレシ “a=kor_ turesi	「わが妹よ

イタカン チキ itak=an ciki	私が言うから
ウ ピリカ ヌ ヤン u pirka nu yan	よく聞きなさい。
シヌタップカ タ Sinutapka ta	シヌタップカで
アペ サク スクプ ape sak sukup	火もなく育ち
ワッカ サク スクプ wakka sak sukup	水もなく育った
カムイ オロ ハオイペ kamuy or [h]a=oype	神に食べさせられる <sup>11</sup>
カムイ ネ アン クル kamy ne an kur	神のような人が
エコロ クニ ヒ e=kor kuni hi	お前の夫となるということが
チホッパ イ イタク cihoppa [y] itak	言い残された言葉
ウ シンリッ イタク u sinrit itak	先祖の言葉
ウ ネ ワ シラン u ne wa siran	ということで
ルウエ タブ…… オカアナ ruwe tap... oka=an a	あるのだ。

ウ ニシパ プリ u nispa puri	立派な人の風習
ウ アイヌ プリ u aynu puri	人間の風習を
エコヤイケウトウム e=koyaykewtum	お前は自分の心に
エシロマレ e=siromare	刻みつけ
キ クニ タプ タプ ki kuni tap tap	そのようにして
オカアナ」 セコロ oka=an a" sekor	暮らすのだ。」と
オトゥ ケシト タン otu kesto ta[n]	毎日毎日
イカシパオツテ i=kaspaotte	私に言いつける
オカアン カトゥ oka=an katu	その様子を
アノモンモモ an=omommomo	私は述べたのです。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今はもう

シノツ ヌマツポ sinot numatpo	遊び紐を
アエリキライエ a=erikiraye	結ぶようになる
パクノ アナン コロ pakno an=an kor	くらいになり
シネ アン ト タ sine an to ta	ある日
ネコン ネ フミ nekon ne humi	どうしたこと
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	であろうか
イレス ユピ i=resu yupi	我が兄は
ウッシウ ウタリ ussiw utari	召使いの者たち
オピッタ トウラ opitta tura	皆と共に
エキムネ ワ イサム ekimne wa isam	山へ行ってしまい
シネンネ アナン sinenne an=an	私1人になりました。
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうして

ウ ニサプラムタン u nisapramta[n]	急に
シヌタプカ タ Sinutapka ta	シヌタプカの
カムイ ネ アン クル kamy ne an kur	神のような人を
アエポタラ ワ a=epotara wa	案じては
ウ ウエン ルイ ウエン ルイ u wen ruy wen ruy	胸騒ぎがする
タパン ペ クス tapan pe kusu	こんな状態なので
カムイ コソソテ kamuy kosonte	神の小袖を
アシリクルカサム a=sirkurkasam-	自分の身体にあわせて
エオハ ア ア……[2] eoha a a...	
エオピラサ eopirasa	広げて（身に着け）
トゥス チパヌブ tusu cipanup	トゥスの鉢巻
ヌプツ チパヌブ nupur_ cipanup	霊力のある鉢巻を

アエルリキクル a=erurikikur-	頭に高く
ウ プンパ カネ u punpa kane	巻いて
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
ウプソロ オマレ upsor omare	懐に入れ
ウ ウプソロ ウン タム u upsor un tam	懐刀は
アクッポケチウ a=kutpokeciw	帯に差して
ウ ソイ ワ サン マ u soy wa san w_a	外へ
ウ シキル u sikiru	向かって
ホプニ ネ イワン hopuni ne [i]wa[n]	立ち上がって
ウテレケ ネ イワン uterke ne [i]wa[n]	とび出し
アキ プ ネ コロカ a=ki p ne korka	そのようにしたのですが
コヨヤモクテ koyoyamokte	何かおかしいと

アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	思ったので
ウ シヌタップカ ウン u Sinutapka un	シヌタップカの
ウ タプ クルカシ u tap kurkasi	上空に
コヤイトゥナシカアン koyaytunaska=an	私は急いだのです。
エプ アキ ヒネ ep a=ki hine	そうして
シレパアン ルウェ sirepa=an ruwe	着いてみると
カムイ カッ チャシ kamuy kar_ casi	神が造った城
エアシラナ easirana	あらためて
ウ チャシ カムイ u casi kamuy	城の神
ウ ピリカ カトウ u pirka katu	その美しい様子を
アノモンモモ an=omommomo	詳しく述べましょう。
アナク キ コロカ anak ki korka	しかし



ネン エエク ヘ ワン nen e=ek he wa[n]	どこへ来るつもりで
エ エカヘ キ? [3] e=ek a he ki?	お前は来たのかと
ヤイヌアン クス yaynu=an kusu	思ったので
ヘヨキ サク ノ heyoki sak no	挨拶もなしに
アフナン ハワン ahun=an [h]awa[n]	入って行くと
ソモ スイ クスン somo suy kusun	まさか
インカラン クニ inkar=an kuni	(そんな様子を) 見ようとは
アラム ロク ワン a=ramu rok wa[n]	思わなかったのに
カムイ ネ アン クル kamy ne an kur	神のような人は
チトウイエ アムセツ cituye amset	仕切った寢床
ウ アムセツ カ ワン u amset ka wa[n]	寢床の上に
ホッケ コソソテ hotke kosonte	寝間着の小袖を

オスラ テク ヒネ osura tek hine	ぱっと脱ぎ捨て
イウ ヤイラム [i]u yayramu	油断
ウ サウレ カネ (?) u sawre kane(?)	していたところを (?)
チキマテッカ cikimatekka	(神のような人は) おどろか
アエカラカラ ヤクネ a=ekarkar yakne	された
コトム コロカイキ kotom korkayki	かのように
エアシラナ easirana	それこそ
チキマテッカ cikimatekka	(神なる人は) あわて
アエカラカラ コトム a=ekarkar kotom	させられたように
エアラカパラペン earkaparpe[n]	(神なる人は) ただ単衣だけ
ウ ヤイコノイパ u yaykonoypa	自分に巻き付けて
ウ ソイ ワ サン マン u soy wa san w_a[n]	外へ

ウ コヤイキラレ 出て行った  
u koyaykirare

ウ キ ア コトム ように  
u ki a kotom

アネサンニヨ 思われ  
an=esanniyo

ウル…… ウ クルカシ 上空に  
ur... u kurkasi

アネホプニ 私は飛び立ちました。  
an=ehopuni

【注】

- [1] 訳は「kamuy or ipe 神に食べさせられる」（『アイヌの叙事詩』 P462）とあるのを参考にした。
- [2] この行は言いさし。
- [3] 立派な館の前へ来ていささか臆したのだが、勇気をふりしぼるために、自分に向かって言っている言葉。

## 11-7 12号テープへ続くこと説明

解説：萱野茂

萱野：えーとこの yukar [英雄叙事詩] は、11号テープのお終いの方へ入っていますが、12号テープへ移ります。yukar をやっておられるのは、平賀さだもさんです。訳を付けておるのはわたくし萱野茂です。

## 12-1 ユカラ11号から続いていること説明、題名紹介

解説：萱野茂

萱野：11号テープから続いておる yukar [英雄叙事詩] です。yukar の題名は、ape sak sukup wakka sak sukup [火なく育つ、水なく育つ] というふうな題になっております。これは火の……火も無く水も無く我育ったという意味です。平賀さだもさんの yukar が続いています。

## 12-2 ユカラ

「アペサクスukup ワッカサクスukup」 続き

火なしに育った、水なしに育った（続き）

語り：平賀さだも

ウ サウレ カネイ (神のような人は) 油断して  
 u sawre kane[y]

チキマテッカ あわて  
 cikimatekka

アエカラカラ ア ヤイ させられた  
 a=ekarkar a ya[y]

コトム コロカイキ かのようですが  
 kotom korkayki

エアシラナ それこそ  
 easirana

ウ ペツ トウラシ 川に沿って  
 u pet turasi

イウ ヤイキラレ (何者かが) 逃げていき  
 [y]u yaykirare

ウコイキ ル カン 争いの跡も  
 ukoyki ru kan

コマクナタラ 広々と見渡せます。  
 komaknatara

マカン カッコロ ペ makan katkor pe	何やら
オロ ワ ケセ アンパ oro wa kese anpa	そこから後を追って
ホプニ ルウエ hopuni ruwe	飛び立った
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	らしく
ウルカラク…… urukarku...	
ウ ル クルカシ u ru kurkasi	その道の上を
アネホプニ an=ehopuni	私は飛んでいきました。
イルシカ ルイ ペン iruska ruy pe[n]	怒りの強い者、
ウエン メノコ wen menoko	悪い女というのが
アネ コロカイキ a=ne korkayki	私ですが
インカラン アワ inkar=an awa	見わたすと
ソモ スイ クス somo suy kusu	まさか

インカラン クニ inkar=an kuni	見るとは
アラム アワ a=ramu awa	思わなかったのに
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人の
ウフイ ポネヘ uhuy ponehe	燃えた骨
ポネ カン コトム pone kan kotom	骨の様子も
コマクナタラ komaknatara	よく見渡せ
シレ…… レタラ カンクリ sire... retar kankuri	白い姿が
コマクナタラ komaknatara	よく見えます。
エアシラナ easirana	あらためて
イルシカ ケウトウム iruska kewtum	怒りの心を
ウ ヤイコロパレ u yaykorporare	自分の中に持ち
インカラン ルウェ inkar=an ruwe	見わたすと



エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	このようでした。
イマカケ タ imakake ta	ずっと向こうに
オマン サマムニ oman samamni	長々と伸びた倒木
サマムニ クルカ samamni kurka	倒木の上に
ネ コタン ウン ペ ne kotan un pe	どこの村のものか
ネ モシリ ウン ペ ne mosir un pe	どこの国のものか
ポン アイヌ ポン クル pon aynu pon kur	若い男 若い人が
ムニ…… サマムニ クルカ muni... samamni kurka	倒木の上に
オオソルシ oosorusi	腰をかけ
タパン シノツチャ tapan sinotca	このような謡を
エラウンクチ eraunkuci-	喉の奥で
カムイノイエ ハウエ kamuynoye hawe	神のように絞り出す声は

エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	このようでした。
「ウ ヤイコタヌ “u yaykotanu	「自分の村を
エシナ アナク esina anak	隠すのも
アオヤネネ クシ a=oyanene kus	嫌なので
アコロ コタヌ a=kor kotanu	我が村の
ウ レコロ カトウ u rekor katu	名前は
レプイシリ ネイ ワ Repuysir ne[y] wa	レプンシリで
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルには
トウ イリワク コロ ワ tu irwak kor wa	2人の兄弟がいて
イヨッタ ポン ペ iyotta pon pe	一番下が
アネイ ルウエ ネ a=ne[y] ruwe ne	私なのだ。
アナッキ コロカン anakki korka[n]	しかし

イレス ユピ i=resu yupi	我が育ての兄は
エネ イタキ ene itak h_i	こう言った
『テエタ ワノ 'teeta wano	『昔から
ヤウンクル ニシパン yaunkur nispa[n]	本土のお方とは
エアシラナ easirana	本当に
シンリッウ ウタリ タン sinrit[u] utari ta[n]	先祖の代から
ウカオピウキ ukaopiwki	お互い助け合って
ウ ネイ ワ アン ペ u ne[y] wa an pe	いたものだから
ウコヘポキ ukohepoki	お互いに礼を尽くして
ウ ネイ ワ クスン u ne[y] wa kusun	いたものだから
ヤウンクン ニシパン yaunkur_ nispa[n]	本土のお方
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペの

ウ コツ トウレシ u kor_ turesi	妹が
レプイシリ エオツ Repuysir eot	レプンシリに嫁いで
オロ ワ オカイ ペ oro wa okay pe	そこから生まれた者が
アネイ ルウエイ ネン a=ne[y] ruwe[y] ne[n]	私たちなのだ
オロワ ユイ スイ orowa [y]un_ suy	そうして
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルの
ウ コツ トウレシ u kor_ turesi	妹は
シヌタブカ Sinutapka	シヌタブカに
エオツ タ コロカ eor_ ta korka	嫁いだのだが
トウミ オロ tumi oro	戦で
ア トウミ ホントモ [a] tumi hontomo	戦の最中に
チコホトウイパカラン cikohotuypakar[n]	呼びつけ

アエカラカラ キ ワ a=ekarkar ki wa	られて
アイヌ モシリ カ タ aynu mosir ka ta	人間の国土には
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ
シネンネ パテク sinenne patek	1人だけが
アホッパ コロカ a=hoppa korka	残されたが
ウ コロ ラメイ Tok u kor rame[y]tok	彼の勇気
ウ コロ シレイ Tok u kor sire[y]tok	その容姿が
カムイ アスン ネン kamuy asur_ ne[n]	神々の評判となって
チホプニレ' cihopunire'	噂が広まったのだ。』
アイリワキヒ a=irwakihi	我が兄弟
ウ ネ コロカイキ u ne korkayki	ではあるが
アエイカッチウ クスン a=eykatciw kusun	私はそれに腹を立て

アラヤ…… チクワッカ ポ arya... cikuwakka po	飲み水（冷水）を
ウ カムカ オシバ <sup>[1]</sup> u kamka ospa	肌にあびせられ
アネキサシケ an=ekisaske	ぞっとした
アネトゥルパッケン（？） an=eturpak_un(?)	（ような）ほどだった
ウ ネ パクノ タン u ne pakno ta[n]	これほどまでに
ラメトッコロ ペン rametokkor pe[n]	勇気のあるものの
トゥ アスル オロケ tu asur orke	2つの噂が
ホプニ ハウエン hopuni hawe[n]	立つ声が
オカ ナンコラ oka nankor_ ya	上がるであろうか
ヤイヌアン クス yaynu=an kusu	そう思ったので
タパン ハヨクペ tapan hayokpe	この甲冑は
ウ カムイ ニシ カ ワン u kamuy nis ka wa[n]	神の空から

カムイ オロ ワノ kamuy or wano	神より
レプイシリ コタン Repuysir kotan	沖なる国の村
コタン タプカシ kotan tapkasi	その村の上に
アオランケ クニ a=oranke kuni	下された
カムイ ハヨクペ kamuy hayokpe	神の甲冑の
ウ ピンネ ヒケン u pinne hike[n]	男のほう
ウ ネ ルウエ ネ u ne ruwe ne	である。
ウ シヌタプカン u Sinutapka[n]	シヌタプカ (には)
ウ マツネ カムイ u matne kamuy	女なる神 (のほうの甲冑) が
アオランケ ルウエン a=oranke ruwe[n]	下ろされた。
ウ ネ コロカイキ u ne korkayki	ではあるが
イレス ユピ i=resu yupi	我が育ての兄には

アエシナカラ ノ a=esinakar no	(以下のことを) 秘密にして
タナン ト ヨッ タ tanan to [y]or_ ta	今日この日に
ウ ヤナン キ ワ u yan=an ki wa	上陸して
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペを
アライケ ルウエ a=rayke ruwe	殺したのだ。
ネ ヒ ネ コロカン ne hi ne korka[n]	そうではあるが
ニタイ コッ トリ nitay kor_ tori	林の鳥よ、
ニタイ コッ チカブ nitay kor_ cikap	林を司る鳥よ、
エチヌ ルスイ ペ eci=nu rusuy pe	あなたたちが聞きたいこと
ネ ワ ネ ヤクン ne wa ne yakun	であるから
アチヌレ ハウエ <sup>[2]</sup> aci=nure hawe	聞かせたこと
ネ ヒ タパン ナ」 ne hi tapan na”	なのですよ。」



セコロ オカイ ペン sekor okay pe[n]	そのようなことを
ウ タイェ ヒケ u ta ye hike	言うので
イカッチウ ケウトウム ikatchiw kewtum	怒りの心を
アヤイコロパレ a=yaykorporare	私は持ったのです。
ウ オラプンノ u orapunno	そっと静かに
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人の
ウフイ ポネイヘ uhuy pone[y]he	焼けた骨
ポネイ クルカシ pone[y] kurkasi	骨の上に
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇
ヌプル アワンキ nupur awanki	霊力の強い扇を
アイスイパ カネ a_n=suyipa kane	私は何度も扇ぎ

トゥ ピヌ フッセ tu pinu husse	2つのかすかな息を
アネイシタイキ an=eisitayki	吹きかけました。
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	すると
ウフイ ポネヘ uhuy ponehe	燃えた骨に
ミミ トウク カネ mimi tuk kane	肉が生えてきて
ウ キ ロク アイネン u ki rok ayne[n]	そのうちに
タネイ ネ クス tane[y] ne kusu	今や
フシコ カトウフ husko katuhu	もとの形を
アライコカラカラ a[ra]=ikokarkar	とりもどしたのです。
アナッキ コロカン anakki korka[n]	けれども
アアンパ カネ a=anpa kane	私が抱えているところを
ウエン アイヌ サニン wen aynu sani[n]	悪人の子孫が

イヌカラ クニ  
i=nukar kuni 私を見つけたら

オトゥライサンペン  
oturaysampe[n] 大変だと

アニエコテ  
an=i=ekote 思っ

タップ オロ ワノ  
tap oro wano それから

ウ ピヌ フッセ  
u pinu husse 小さな吐息を

アネイシタイキ  
an=eisitayki 投げかけました。

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci すると

コサンペパケン  
kosanpepake[n] それで肝の先

コサンペケセ  
kosanpekese 肝の末が

コシトゥリリ  
kosituriri 伸び伸びとした、

ウ キ コトム ノ  
u ki kotom no そのように

アネサンニヨ  
an=esanniyo 思われて

ウ テエタ カトウ u teeta katu	もとの姿を
アコカラカラ ワ クシ a=kokarkar wa kus	とりもどしたので
アロロキシネシノ arorkisne[s]no	そおっと
キサラ プイ オロケン kisar puy orke[n]	耳の穴に
アパウイルケ a=pauyruke	口を寄せて
「ウ タブネ タブネ “u tapne tapne	「このように
レプイシリウンクル Repuysir'unkur	レプイシルンクルの
ポニウネ ヒケン poniwne hike[n]	年下のほうの
ウ コロ ハヨクペン u kor hayokpe[n]	持っている甲冑で
アエトウイパ シリ a=e=etuypa siri	貴方は切り裂かれた
ネ ヒ タパン ナン」 ne hi tapan na[n]”	のですよ。」
イタカン アワン itak=an awa[n]	と私が言うと

ソモ スイ クスン  
somo suy kusun

まさか

ウ シリキ クニ  
u sirki kuni

そうなるとは

アラム ロク ワン  
a=ramu rok wa[n]

思わなかったのに、

アキシマ フミ  
a=kisma humi

私は抱きしめるのが

ウ ユプケ ペコロン  
u yupke pekor[n]

強い (=強く抱きしめていた) と

ヤイヌアン クニ プ  
yaynu=an kuni p

思っていたのに、

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神のような人は

アテムニコロ オロ ワ  
a=temnikor or wa

私の腕の中から

ウ ピツポ トウルセン  
u pitpo turse[n]

小石が落ちる

エカンナユカラ  
ekannayukar

かのように

ウエン アイヌ サニ  
wen aynu sani

悪人の子孫

ウ クルカシケ  
u kurkasike

の上に

コヤイエアッチウ koyayeateiw	飛びかかっていきました。
アナッキ コロカン anakki korka[n]	けれども
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人は
ハヨクペ サク ペ hayokpe sak pe	甲冑がない者
ウ ネ プ ネ クス u ne p ne kusu	なので
ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	また再び
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルの
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇
アワンキ アラケ awanki arke	扇の片面の
テレケ イヌイ ノカン terke [i]nuy noka[n]	走る炎の模様
ホプニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様が
チエヌイエカラ cienuyekar	刻まれたものを

エパル キ コロ eparu ki kor	(レプイシルンクルが) 扇ぐと
ウ ウェン ヌイ トウミ u wen nuy tumi	ひどい炎の戦で
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人の
トウマム シリカ タ tumam sirka ta	体の上が
ウフイ シリ コンナ uhuy sir konna	燃える様子が
ウフイ フム コンナン uhuy hum konna[n]	燃えている音が
コトゥリミムセ koturimimse	響き渡りました。
ウ キ ロク アイネン u ki rok ayne[n]	そうして
ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	再びまた
ソモ スイ クスン somo suy kusun	まさか
ウ シリキ クニ u sirki kuni	そうなるとは
アラム ロク ワン a=ramu rok wa[n]	思っていなかったのに

ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	再び、
ウフイ ポネヘ uhuy ponehe	燃えた骨が
チラナランケ ciranaranke	落ちて行き
ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	すると
イルシカ ケウトウム iruska kewtum	怒りの心が
アヤイコロパレ a=yaykorporare	私に湧き上がった。
ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	そうして
ウエン アイヌ サニ wen aynu sani	悪人の子孫は
ヘトポ ホロカ hetopo horka	引き返し
アトウイ トモトウイエ atuy tomotuye	海を渡って
ホシピ ノイネ hosipi noyne	帰るらしい
ウ シリキ ヒ タ u sirki hi ta	そぶりをした時に



アオラウキ クニ a=orawki kuni	取り逃がしては
オトゥライサンペン oturaysampe[n]	大変だと
アニエコテ an=i=ekote	思っ
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人に
ウ ピリカ フッセ u pirka husse	すばらしい吐息を
ウ アエシタイキ u a=esitayki	吹きかけたのです。
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	すると
ウ フシコ カトウ u husko katu	もとの姿が
ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	いま一度
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
アラッチスイエ a=ratcisuye	おだやかに扇ぎ
アモイレスイエン a=moyresuye[n]	ゆっくり扇ぎ

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci

それとともに

カミ トウク ワ パイエ  
kami tuk wa paye

肉が生えて行きました。

ウ フシカ……  
u huska…

イルカ トムタ  
iruka tomta

ちょっとの間に

ウ フシコ カトウ  
u husko katu

昔の様子を

アコフカラカラ コロ  
a=ko[hu]karkar kor

取戻すと

ヘトポ スイ ホプニ ノイネ  
hetopo suy hopuni noyne

もう1度起き上がるような

ウ シリキ ヒ タン  
u sirki hi ta[n]

様子を見せた時に

イタカン ハウエ  
itak=an hawe

私が言った言葉は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようなものでした。

「カムイ ネ アン クル  
“kamuy ne an kur

「神であるような方よ

ポンノ イテレ ワン  
ponno i=tere wa[n]

少しの間待って

イコロパレ ヤン

i=korporare yan

下さい。

ハヨク サク クニ クル

hayok sak kuni kur

あなたは甲冑がないはずの者

ソモ タパン ナ

somo tapan na

ではないのです。

エコロ ハヨクペン

e=kor hayokpe[n]

あなたの甲冑を

アタク ワ エカン クス ネ ナ

a=tak wa ek=an kusu ne na

私が取って来ましょう。

イテレ ワ イコロパレ ヤン」

i=tere wa i=korporare yan”

私を待っていて下さい。」

イタカン カネ

itak=an kane

そう言って

ウ シヌタブカン

u Sinutapka[n]

シヌタブカに

コヤイトゥナシカ

koyaytunaska

急ぎました。

エアシラナン

easirana[n]

本当に

ウ ネプ ピトホ

u nep pitoho

どんな神が

イトウレン クス

i=turen kusu

私についているためか

キマテク カムイ kimatek kamuy	急いだ神の
カムイ マウエヘ kamuy mawehe	神の風
ウ マウ シリカシ u maw sirkasi	風の上に
アニエコシネ- an=i=ekosne-	軽々と
ウ プンパ カネ u punpa kane	持ち上げられて
シヌタブカ タ Sinutapka ta	シヌタブカの
カムイ カツ チャシ kamuy kar_ casi	神が造った城 (に入って)
ウ ラッチタラ u ratcitara	ゆっくりと
ウ サン カシケ u san kasike	棚の上の
コアパマカン koapamaka[n]	戸を開けました。
エプ アキ アワ ep a=ki awa	私がそうすると
イヨイキリ カ タ iyoykir ka ta	宝壇の上の

カムイ ハヨクペン  
kamuy hayokpe[n]

神なる甲冑

カネイ ハヨクペ  
kane[y] hayokpe

鉄の甲冑が

シクヌ ピト ネ  
siknu pito ne

生きている神となって

シクヌ カムイ ネ  
siknu kamuy ne

生きているカムイとなって

イヌカラ シリコ  
i=nukar sirko

私を見る様子は

コチャイナタラ  
kocaynatara

じろじろと

カムイ ランケ タム  
kamuy ranke tam

神が下したる刀を

ウ クツポケチウ  
u kutpokeciw

帯に差し

ウ シラン チキ  
u siran ciki

そうした様子なので

イタカン ハウエ  
itak=an hawe

私が言った言葉は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようなものでした。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

「さてさて

ハヨクペ カムイ hayokpe kamuy	甲冑の神よ、
チアヌンコパ cianunkopa	知らないふりを
ソモ ネ ナンコロ somo ne nankor	しないでください。
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神であるような人が
ウ コロ ハヨクペン u kor hayokpe[n]	持つ甲冑を
アタク クシ エカン a=tak kus ek=an	招きに来たのです。
チアンヌコイキ ciannukoyki	(神なる人が) ひどくいため
アエカラカラ ワ クス a=ekarkar wa kusu	つけられているので
ウ コロ ハヨクペ u kor hayokpe	彼の甲冑を
アタク クス エカン シリ a=tak kusu ek=an siri	招くために来た
ネ ヒ タパン ナ」 ne hi tapan na”	のです。」
イタカン アワ itak=an awa	そう話すと

ウ シク カ コンナ u sik ka konna	目が
コライナタラ koraynatara	静かになりました。
ウ ヤイレンカネ u yayrenkane	(私は) 喜んで
カネイ ハヨクペ kane[y] hayokpe	鉄の甲冑と
カムイ ランケ タム kamuy ranke tam	神より下されし刀と
カネイ ポン カサ kane[y] pon kasa	鉄の小さな笠を
コアルウェウン koaruweun	ひと揃い
カネイ ポン クツパキ <sup>[3]</sup> (?) kane[y] pon kutpaki(?)	鉄の小さな帯 (?) も
コアルウェウン koaruweun	ひと揃い
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇も
コアルウェウン koaruweun	ひと揃い
ピリカ シケ ネ pirka sike ne	立派な荷物として

アヤイコカラカラ a=yaykokarkar	まとめ
ヘトポ <sup>°</sup> ホロカ hetopo horka	逆戻りして
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人を
アホッパ <sup>°</sup> ウシケ a=hoppa uske	残してきたところに
コヤイトゥナシカ koyaytunaska	急ぎました。
イプ アキ アイネン ip a=ki ayne[n]	そうして
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人が
オマイ サمامニ oman_ samamni	横たわる倒木
サمامニ クルカ samamni kurka	倒木の上で
イルシカ ピト iruska pito	怒る人の
イルシカ リチ iruska rici	怒りの筋が
ウ ナン クルカ タ u nan kurka ta	顔の上に



ウ ホプニ カネ u hopuni kane	浮かび上がり
エ ウエイホプニ e weyhopuni	ひどく浮かび上がる
ウ シラン チキ u siran ciki	様子なので
カムイ ハヨクペ kamuy hayokpe	神なる甲冑を
アプニタラ a=punitara	私はささげ
アコトゥリリ ロク ワン a=koturiri rok wa[n]	さし伸べると
ウ ヤイレンカネ u yayrenkane	(神のような人は) 喜んで
ハヨクペ ウプソロ hayokpe upsor	甲冑の懐に
アンノ ホシキル anno [h]osikiru	入り込む
ウ カムイ ランケ タム u kamuy ranke tam	神が下したる刀を
ウ コクツポケイチウ u kokutpoke[y]ciw	帯に差し
カネイ ポン カサン kane[y] pon kasa[n]	鉄の小さな笠の

ウ ランルン…… ウ ラントウペピ u ranrun... u rantupepi	紐の緒を
ウ ヤイコユッパン u yaykoyuppa[n]	きつく締めて
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
ウプソロ エカッタ upsor ekatta	懐につっこみ
ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	それから
アトウイ トモトウイエ atuy tomotuye	海を渡り
ウ ヤイキラレ u yaykirare	逃げて行った
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプイシルンクルの
ポニウネ ヒケ poniwne hike	年下のほう
ウエン アイヌ サニ wen aynu sani	悪人の子孫を
ケセイ アンパ ワン kese[y] anpa wa[n]	追いかけて
アラパ ロク アイネ arpa rok ayne	行ったあげく

オシコンパ キ コロ  
osikonpa ki kor

追いつくと

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神のような人は

エネ イタキ  
ene itak h\_i

このように言いました。

「オロヤチキ  
“oroyaciki

「なんともまあ

カムイ ネ アン……  
kamuy ne an…

ア レプイシルンクル  
a Repuysirunkur

レプイシルンクルの

ポニウネ ヒケ  
poniwne hike

年下のほうよ、

タネポ ソンノ  
tanepo sonno

今はじめて、本当に

シノ ラメトク  
sino rametok

真の勇者

ソンノ ラメトク  
sonno rametok

本当の勇者（同士で）

ウ ラメトク  
u rametok

度胸を

ウワンテ クニ プ  
uwante kuni p

比べようとする者が

アネ タプ キ ナ ン a=ne tap ki na [n]	私たちであるのだ。
イテレ ワ イコレ」 i=tere wa i=kore”	ちょっと待て。」
セコロ オカイ sekor okay	そのように
ウ イェ ロク アワン u ye rok awa[n]	言うと
エアシラナ easirana	本当に
ウ アラパ シリ コ u arpa sir ko	(レプイシルンクルは) 進む様子が
コトウナシ ロク ペ kotunas rok pe	素早かったのに
イララ イポロ irara ipor	からかう気持ちが
ウ ヤイコロパレ u yaykorporare	顔に出て
シヨカ ウン マ siyoka un w_a	後を
ホサラパ アワ hosarpa awa	振り返りると
ウ ウエン カスノ u wen kasuno	あまりにも

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神のような人が

ハヨクノ ルウエ  
hayokno ruwe

がっちりと鎧を着ているのを

シケシタイキ  
sikesitayki

にらみつけ

シケラナクル  
sikeranakur-

視線を

ウ アッテ カネ  
u atte kane

落としました。

ウ シリキ アワ  
u sirki awa

すると

カムイ ラメトク  
kamuy rametok

神なる勇者は

カムイ ランケ タム  
kamuy ranke tam

神が下した刀を

エアシラナ  
easirana

本当に

エテンポッコンナ  
etempokkonna-

脇の下で

シカイエ カネ  
sikaye kane

ふりまわし

コクシシノポ  
kokusisnopo

それと共に

レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルは
ウ タメタイエ u tametaye	刀を抜くことも
オアンニウケセ oanniwkes[e]	まったく出来ず
トゥ ル エトコ tu ru etoko	(神なる人は) 2つの道の先
レ ル エトコ re ru etoko	3つの道の先に
ウ タム ララカレ u tam rarkare	刀をあびせました。
ウ アイカプ サム マ u aykap sam w_a	左手で
カネイ アワンキ kane[y] awanki	(神なる人が) 鉄の扇を
ピラサ ルウエ pirasa ruwe	広げた様子は
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	このようなものでした。
ウ アラケヘ ワ u arkehe wa	片面には
シノイエ ヌイ ノカン sinoye nuy noka[n]	よじれた炎の模様

ホプニ ヌイ ノカ  
hopuni nuy noka

立ち上がる炎の様子が

チエヌイエカラ  
cienuyekar

描かれていて、

ウ アラケヘ ワ  
u arkehe wa

片面には

ウ ウエン メニシ ノカ  
u wen menis noka

悪い雲の様

ルプシ ニシ ノカ  
rupus nis noka

凍った雲の様が

チエヌイエカラ  
cienuyekar

描かれている。

ウ シラン チキ  
u siran ciki

そうしていると

シノイエ ヌイ ノカン  
sinoye nuy noka[n]

よじれた炎の様

ホプニ ヌイ ノカ  
hopuni nuy noka

立ち上がる炎の様 (の面) で

エシリパル コロ  
esirparu kor

あおぐと

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci

それとともに

レプイシルンクル  
Repuysirunkur

レプイシルンクル

ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	もまた
ウ コロ アワンキ u kor awanki	そのもつ扇
エシリパル コロ esirparu kor	であおぐと
ウ パク ラメトク <sup>[4]</sup> u pak rametok	またとなき勇者が
ウフイ ヌイ ノカン uhuy nuy noka[n]	燃え上がる炎の模様
ウ テレケ ヌイ ノカ u terke nuy noka	はぜる炎の模様
シノイエ ヌイ ノカン sinoye nuy noka[n]	よじれた炎の模様
ホプニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	立ち上がる炎の模様（の面）で
エシリパル コロ esirparu kor	あおいで
アトウイ ソ カ タ atuy so ka ta	海面で
ウ ウエン ヌイ…… u wen nuy…	
ウ ウエン ヌイ トウミ u wen nuy tumi	悪い炎の戦が



ウコホプニ  
ukohopuni

繰り広げられました。

エアシラナ  
easirana

本当に

ウ パク ラメトク  
u pak rametok

またとなき勇者

ウ パク ラメトク  
u pak rametok

またとなき勇者

ウ ネ プ ネ クス  
u ne p ne kusu

であるので

カムイ ネ ヤッカ  
kamuy ne yakka

神であっても

アイヌ トゥレン ペ  
aynu turen pe

人間を守る者

イトゥレン カムイ  
ituren kamuy

憑神が

アイヌ トゥレン ペ  
aynu turen pe

人間を守る者が

アトウイ ソ クルカ  
atuy so kurka

海面上空を

コフメランケ  
kohumeranke

音を立てて下りて来ます。

エアシラナ  
easirana

それこそ

ウ アイヌ トゥミ u aynu tumi	人間の戦
オアラ ソモ ネ oar somo ne	では全くない
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神
ウ コロ ロルンペ u kor rorunpe	その戦争
アヌカラ ヤク a=nukar yak	を見たら
アニコネンパ (?) an=ikonenpa(?)	(この戦いと) よく似た
ウ セムコラチ u semkoraci	ような
エアシラナ easirana	本当に
ウ パク ラメトク u pak rametok	またとなき勇者
ウ ネイ コロカイキ u ne[y] korkayki	であっても
ネシナク クス <sup>5</sup> nesinak kusu	あんなにも
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプイシルンクルの

ポニウネ ヒケ poniwne hike	年下のほうは
パケサラ ハウエ pakesara hawe	傲慢な口を
オカ ロク コロカ oka rok korka	きいていたが
ア パン ペ レ コロ (?) a pan pe re kor(?)	XXX (?)
チホロカパシテ cihorkapaste	反対に走り
エカラカラ カネ ekarkar kane	出して
ウ ペウレ フムセ u pewre humse	若者の気合いの声を
エヤヨフムセ eyayohumse-	自分自身に上げ
ウ チウレ カネ u ciwre kane	鼓舞するように
ウ キ ラポキ u ki rapoki	している間に
イネフイ モシリ inehuy mosir	どこの国土
ウ ネイ ナンコラ u ne[y] nankor y_a	であろうか

モシリ タプカシ mosir tapkasi	国土の上に
コプシコサンパ kopuskosanpa	轟音が響き
マカン カッコロ ペ makan katkor pe	いったい何が
ウ エク フム コンナ u ek hum konna	やってくるのか
エアシラナ easirana	本当に
エアロマンネ earomanne	まっしぐらに (?)
トゥムンチ クルカ tumunci kurka	戦場の上に
コフンパシテレ (?) kohumpastere(?)	音が響きます。
ウ フム スイ トウム u hum suy tumu	その音の中を
アウワンパレ コロ a=uwanpare kor	さぐってみると
シノ ラメトク sino rametok	真の勇者
ソンノ ラメトク sonno rametok	誠の勇者

チエソネレ ciesonere	であるらしく
マカン カッコロ ペ makan katkor pe	何者かが
トゥムンチ エンカ tumunci enka	戦の上空に
コヤイパシテレ koyaypastere	自身を走らせて
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
マカン コッコロ <sup>[6]</sup> ペ makan kotkor pe	何者かが
イタク サンパロ itak sanparo	唇を
チエイサンケカラ cie[y]sankekar	突きだして
エネ イタキ ene itak h_i	このように言いました。
「ウ ソンノ ヘタブ “u sonno hetap	「なんともまあ
アウエナキヒ a=wen akihi	我が悪しき弟よ、
ウ ネン タ ウサ u nen ta usa	いったい誰が

ウイリワキヒ uirwakihi	兄弟であり
カムイ アスン ネ kamuy asur_ ne	神なる評判
アスル アシ クル asur as kur	評判の立つ人に
ルシカ ヘマンタ ruska hemanta	腹を立てる奴が
オカイ ペ ネイ ワ okay pe ne[y] wa	あるのか、
エネ ヘタブ ネ ene hetap ne	あれほどまでも
チエパカシヌ ciepakasnu	お前に教えて
アエエカラカラ ペ a=e=ekarkar pe	やったもの
ウ ネ ワ ヘタブ u ne wa hetap	なのに
エカッコロ シリ e=katkor siri	お前のすることといえば
ウサイネカタブ usaynekatap	なんともまあ
エコロ ウエン プリ e=kor wen puri	お前の悪い行い

ウ クルカシケ u kurkasike	その上で
アエオトウイェ ヤッカ a=e=otuye yakka	お前が切られても
アエオライケ ヤッカ a=e=orayke yakka[n]	お前が殺されても
エポソカネイ eposokane[y]	なるほどやはり
カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者
エイリワキヒ e=irwakihi	お前の兄弟
クコン ア…… ウ コン ラメトク ku=kor_ a... u kor_ rametok	の持つ勇氣に
エペットウラシ epetturasi	並び立つことは
エヤイニウケシテ eyayniwkeste	お前には難しい
エキ ナンコロ ナン e=ki nankor na[n]	だろう。
アナッキ ヤッカ anakki yakka	そうだとしても
アエカスイ クス a=e=kasuy kusu	私はお前を手伝いに

エカン シリ カ ek=an siri ka	来たのでは
ソモ タパン ナ somo tapan na	ないのだ。
オロワ イウイ スイ orowa [i]un_ suy	そこで
カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者
ア ウル アア…… カムイ ラメトク a uru aa... kamuy rametok	神なる勇者
カムイ アイリワキ kamuy a=irwaki	神なるわが兄弟よ
アシヌマ タプ タプ asinuma tap tap	私はこのとおり
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルの
キヤンネ ヒケ kiyanne hike	兄のほう
アネ イ ワ アナン a=ne [i] wa an=an	である
ヤウン モシッ タ yaun mosir_ ta	本土で
エアニ パテク eani patek	お前だけが



ウイリワク トノ uirwak tono	兄弟である者
エネ ワ シラン e=ne wa siran	なのだ
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということ
アウエン アク…… アキ a=wen ak... aki	悪しき弟に
アエパカシヌ コロ a=epakasnu kor	私は教えて
オカアナ コロカ oka=an a korka	いたのであるが
ウ コロ ウエン ケウトウム u kor wen kewtum	その悪しき心
ウ クルカシケ u kurkasike	その上に
チオトウイエカラ ciotuyekar	(弟が) 切られ
アエカラカラ ヤッカ a=ekarkar yakka	ても
トウム アン ケウトウム tumu an kewtum	怒りの気持ちを
イココロ クニ プ i=kokor kuni p	私に対しては

ソモ タパン ナ」 somo tapan na”	持たないでくれ。」
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	そういうことを
ウ タ イエ カネ u ta ye kane	言いながら
アナッキ コロカ anakki korka	いたのですが
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人は
ウ セムコッタヌ u semkottannu	何も答えず
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
ウ ウエン ヌイトウミ u wen nuytumi	炎の戦いを
ウ ウエイ シカイエ u wen_ sikaye	繰り広げています。
ウ シリキ アイネ u sirki ayne	そうして
イルカ トムタ iruka tomta	あっというまに
レプイシルンクル Repuysirunkur	レプンシルンクルの

ポニウネ ヒケ poniwne hike	年下のほうは
アトウイ ソ カ タ atuy so ka ta	海上で
アトウイ…… アトウイ ソ カ タ atuy... atuy so ka ta	海上で
ウフイ パシパシ uhuy paspasi	燃えたもののかす (となつて)
チラウオクタン cirawokuta[n]	バラバラと落ちました。
ウ パクノ ネイ コロ u pakno ne[y] kor	そうしていると
フウハア…… huuhaa...	

## 【注】

- [1] 発音は ospa に聞こえるが、ここは osma の意味か。
- [2] aci=は a=eci=と同義。「私がお前たちに」
- [3] このように聞こえるが不詳。装束の一部と考えられることから、kut「帯」と言おうとしたものか。
- [4] upak rametok「互いに(力が)匹敵する勇者」という解釈も可能か。以下、同様。
- [5] 『アイヌの叙事詩』に「nesinak kusun あんなにも」(P374)とあるのを参考にした。
- [6] 発音は kotkor に聞こえるが katkor の意味か。

## 12-3 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」ポイヤウンペ イソイタク

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

こんど ポイヤウンペ イソイタク 今度はポイヤウンペが語った  
**KONDO Poyyaunpe isoytak**

ウ パクノ ネ コロ それから  
**u pakno ne kor**

カムイ ネイ アン クル 神のような人は  
**kamuy ne[y] an kur**

エネ イタキ このように言った。  
**ene itak h\_i**

「アコッ トウレシ 「我が妹  
**“a=kor\_ turesi**

イヨチウンマッ イヨチ姫よ  
**Iyociunmat**

タパン ロルンペイ この戦  
**tapan rorunpe[y]**

タクピ ネ ワ だけでは  
**takupi ne wa**

エプ アコッ チャシ 私の城に  
**ep a=kor\_ casi**

アコヘトポ カ a=kohetopo ka	もどるのは
エトランネ クシ etoranne kus	いやなので
レプン…… レプンクル コタン repun... repunkur kotan	沖人の村
オアラ パナ ウン クル oar pana un kur	川下の人
エアニ アナ ean h_i an a	がそこにいる
タパン テワノ tapan tewano	これからは
エヤム マ ネ ヤク eyam w_a ne yak	心配ならば
シヌタプカ タ Sinutapka ta	シヌタプカに
ヤナン クニ パクノ yan=an kuni pakno	私が戻るまでは
エプ アコツ チャシ ep a=kor_ casi	私の城を
エエブンキネ e=epunkine	お前が守る
キ クス ネイ ナ」 ki kusu ne[y] na”	のだぞ。」

セコロ アイェ コロ sekor a=ye kor	そう言いながら
イヨチ ウン マッ Iyoci un mat	イヨチ姫を
タホシピレ ナン [t]a=hosipire na[n]	帰したのだ。
タップ オロワノ tap orowano	今後
イトゥレン カムイ i=turen kamuy	私の憑神は
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何の神が
イトゥレン クスン i=turen kusun	憑いているために
イトゥレン ンナア…… ituren nnaa...	
イトゥレン カムイ i=turen kamuy	憑神が
イネフイ モシリ inehuy mosir	どの国土
イネフイ コタン inehuy kotan	どの村に
イオルラ クニ i=orura kuni	私を運ぶの

ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	だろうか。
アエキサラストウ a=ekisarsutu-	私の耳元で
コマウクルル komawkururu	ピューピュー鳴る
アトウイ トモトウイエン atuy tomotuye[n]	海を渡り
アラパイアン フム コ arpa=[y]an hum ko	私が行く音が
コクルラッキ kokururatki	聞こえる。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしているうちに
イネイフナク タ ine[y]hunak ta	どこかに
アラパ アイ…… アン アワン arpa ay... =an awa[n]	行くと
ウ ネプ ハウエヘ u nep hawehe	その声が
アプイコトロ a=puykotor	私の耳の内に
チウニンパレ ciwninpare	聞こえてくる。

コヨヤモクテ koyoyamokte	不思議に思った
エプ アキ クス ep a=ki kusu	ので
コパッケサマ kopakkesama	その近くへ
アヤイトウイエレ a=yaytuyere	進んでいった。
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうすると
メノコ シノツチャキ ハウ menoko sinotcaki haw	女が歌う声が
ウ チシ トウラノ u cis turano	涙とともに
シノツチャ トウイカ sinotca tuyka	歌の上に
イオテレケレ i=oterkere	かぶさってきたが
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	このようなものだ。
「アコロ コタヌ “a=kor kotanu	「我が村の
ウ レヘ コロ カトウ u rehe kor katu	名はというと



ランケペシ ネイ ワ Rankepes ne[y] wa	ランケペシといい
エアシラナ easirana	それはもう
ウ ラッチ イレンカン u ratci irenka[n]	おだやかな掟を
エプ アコロ アイヌ ep a=kor aynu	私の父
ウタラ オロケヘ utar orkehe	たちは
ウ コロ ア コロカ u kor a korka	持っていたのですが
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルの
ウ コロ プリヒ u kor purihi	やりかたとは
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなものです。
タパン リクンペシ tapan Rikunpes	ここリクンペシに
ウ アラパ アイネ u arpa ayne	行ったならば
ペラ ネ アラパ pera ne arpa	川上に (?) 行き

ペラ エトコ pera etoko	川の源(?)に
カムイ ヌプリ kamuy nupuri	神の山が
チシレアヌ cisireanu	あるのです。
ヌプリ カ タン nupuri ka ta[n]	山の上には
ウ フリ ニツネ ヒ u huri nitne hi	怪鳥
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神が
オチセコロ ワ ocisekor wa	たくさんいる
シラン ルウェ ネイ siran ruwe ne[y]	様子です。
ウ ネイ ロク アワン u ne[y] rok awa[n]	そうして
リ…… ランケペスンクル ri... Rankepesunkur	ランケペスンクルが
シネ マツネポ sine matnepo	1人の娘を
ウ コロ カトウフ u kor katuhu	持っているのが

アシヌマ ネイ ワ  
asinuma ne[y] wa

私であって

オカアヤン アワ  
oka=a[ya]n awa

そうしていたのですが、

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

リクンペスンクルは

エネ イタキ  
ene itak h\_i

このように言いました。

『ランケペスンクル  
‘Rankepesunkur

『ランケペスンクルよ

エコロ マツネポ  
e=kor matnepo

お前の娘を

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

戦の神に

アコレ ヤク ピリカ』  
a=kore yak pirka’

さし出せ。』

セコロ オカイ ペ  
sekor okay pe

そう

ウ イエ ワ ネ コロ  
u ye wa ne kor

言いながら

エパコロ アイヌ  
ep a=kor aynu

私の父に

『エチコパン ヤクン  
‘eci=kopan yakun

『お前たちが拒むならば

エチコン ランケペシ eci=kor_ Rankepes	お前たちのランケペシを
ウ トイ ウェン カント u toy wen kanto	ひどい天へ
チコキルカラ cikokirukar	追放して
アエチエカラカラ クス a=eci=ekarkar kusu	やる
ネ ヒ タパン ナ』 ne hi tapan na'	つもりだぞ。』
セコロ イタク コロ sekor itak kor	そう言うと
エパコロ アイヌ ep a=kor aynu	私の父と
エパコッ トット ep a=kor_ tutto	私の母は
エネ イタキ ene itak h_i	このように言いました。
『アオカ アナクネ 'aoka anakne	『我らは
アイロンヌ ヤッカ a=i=ronnu yakka	殺されようが
ウ ピリカ コロカ u pirka korka	かまわないが

ヘル クワンノ heru kuwanno	ただただ
シネ ペ ネ ワ sine pe ne wa	たった一人の
アコロ マツネイポ a=kor matne[y]po	我が娘が
エネ ワ エアン コロ e=ne wa e=an kor	お前であり
イルカ ポカ iruka poka	少しの間でも
ネン カ アラパ ワ ne(u)n ka arpa wa	どこかへ行って
ウ ヤイキラレン u yaykirare[n]	逃げなさい。
ウ ヤイクンヌイナ』 u yaykunnuyna'	身をかくしなさい。』
イイエ ワ クス i=ye wa kusu	そう言うので
タパン ウシケ タ tapan uske ta	この場所に
ア…… キラアン キ ワン a... kira=an ki wa[n]	私は逃げてきて
ウ アナン コロカ u an=an korka	いたのだけれど

トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神
ネ ワ オカイ ペ ne wa okay pe	であるものが
ウ アナン カトウ u an=an katu	私がここにいるのを
オフヨロネ ohuyorone	どうでしょうか
エランペウテク ペン erampewtek pe[n]	分からないものでも
ソモ ネ クニ somo ne kuni	ないと
アラム パテク a=ramu patek	私が思うだけでは
ソモ タパン ナ somo tapan na	ないでしょう。
イレシパ シリ i=respa siri	私を大事に
ウ ピリカ クニ u pirka kuni	育ててくれた
エパコロ アイヌ ep a=kor aynu	我が父や
アコツ トット ネ ワ a=kor_ tutto ne wa	我が母が

イオカケ タ 私の（逃げた）あとに  
i=okake ta

アロンヌ ヘ キ 殺されるのではと  
a=ronnu he ki

ヤイヌアン マ クス 思うので  
yaynu=an w\_a kusu

イ チシアン ハウエ ネ ナ 泣いているのです。  
i cis=an hawe ne na

ニタイ コツ チカプ 林を司る鳥よ  
nitay kor\_ cikap

イヌ ワ イケムヌ ワン 聞いて気の毒に思っ  
inu wa ikemnu wa[n]

イコロパレ ヤン」 ください。」  
i=korporare yan”

セコロ オカイ ペ そうということが  
sekor okay pe

ウ チシ トウラノ 涙とともに  
u cis turano

シノツチャキ カン 歌として  
sinotcaki ka[n]

イオテレケレイ 聞こえてきた。  
i=oterkere[y]

ウ ハワシ タ そう聞こえた時  
u hawas h\_i ta

イヌ ネ ワ キ プ ネ コロカ inu ne wa ki p ne korka	耳にただけであるが
トゥルシ キンラ ネ turus kinra ne	狂おしい憤りが
アヤイコパシテ a=yaykopaste	私に走った。
ウサイネカタプ usaynekatap	何ということだろう
アイヌ ネ ワ オカイ ペ aynu ne wa okay pe	人間であるものを
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神に
アコロパレ クニ a=korporare kuni	さし出すために
オトゥミ オシマ otumi osma	戦に突入して
オウエンペ オシマ owenpe osma	悪いことに突入する
キ ワ アシ ハウエヘ ki wa as hawehe	という話が
オカ ヤ セコロ oka ya sekor	あるだろうかど
ヤイヌアン ヒケ yaynu=an hike	思うと



トゥルシ キンラ ネン turus kinra ne[n]	狂おしい憤りを
アヤイコカラカラ a=yaykokarkar	自分の中に持ち
アロリカシ ar h_orikasi	上空から
ウ ポン メノコ u pon menoko	若い娘を
アラウコタプ a=rawkotapu	小脇に
アウイナ ヒネ a=uyna hine	かかえて
アコロ ワ アラパヤン a=kor wa arpa=[y]an	私は連れて行き
イタカン ハウエ itak=an hawe	発した言葉は
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうであった。
「イテルレン…… イトゥレン カムイ “i=teruren... i=turen kamuy	「我が憑神よ
ネオロ コタヌ neor kotanu	どこの村だか
ウ レコロ カトウ u rekor katu	名は

ランケペシ ネ イ アン Rankepes ne h_i an	ランケペシである
ランケペシ コタン Rankepes kotan	ランケペシ村に
チオルラカラ ciorurakar	私を運んで
イエカラカラ ヤン」 i=ekarkar yan”	おくれ。」
イタカン アワ itak=an awa	そういうと
イネイフイ モシリ ine[y]huy mosir	どこの国土
イネイフイ コタン ine[y]huy kotan	どこの村だか
コタン タプカシ kotan tapkasi	その村に
カムイ マウ パシテ kamuy maw paste	神の風を走らせて、
エプ アキ クス ep a=ki kusu	私がそうしたので
アラパイアン フム コ arpa=[y]an hum ko	行ってみるとその音が
コクルラッキ kokururatki	断続的に聞こえてくる。

イルカ トム タ iruka tom ta	あっという間に
アイェ ロク クニ a=ye rok kuni	そう呼ばれている
ランケペシ コタン Rankepes kotan	ランケペシ村
アアラコトムカ aarkotomka	に違いない
ウ コタン エンカ u kotan enka	村の上空に
アオシンタオツテ a=osintaotte	シンタを掛けて
ネ ヒ オロ タ ne hi oro ta	そこで
ネア メノコ nea menoko	その女を
コタン コン ニシパ kotan kor_ nispa	村長の
ウニ ソイケ ウン uni soyke un	家の外に
アランケ ヒネ a=ranke hine	降ろして
ウニ ソイケ タ uni soyke ta	家の外に

アランケ プ ネ クシ a=ranke p ne kus	降ろしたので
エヤイコブンテク eyaykopuntek	喜び
アフプ ワ アラ (?) ahup wa ar(?)	入って行った。(?)
ウ キ ロク アワン u ki rok awa[n]	そうしたが
チセコロ カツケマツ cisekor katkemat	家の女主人は
ウ チシ トウラノ u cis turano	泣きながら
「ネプ エカラ クス “nep e=kar kusu	「何をしに
エエク シリ アン e=ek siri an	来たのですか。
シネンネ ポカ sinenne poka	1人だけでも
イルカ ポカ iruka poka	短い時間であっても
エシクヌ ヒ ポ e=siknu hi po	あなたが生きるように
アキ ルスイ クス a=ki rusuy kusu	したいので

アエキラレ アワ a=e=kirare awa	あなたを逃がしたのです。
マク エイキ クス mak e=iki kusu	どうして
エエク シリ アン」 e=ek siri an”	あなたは来たのですか。」
ウ ハワシ アワ u hawas awa	そう言うと
ウ ポン メノコ u pon menoko	娘は
「ネウン ネ フミ “neun ne humi	「どういうこと
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	でしょうか。
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何かの神様
ウ ネプ カムイエ u nep kamuye	何かのカムイが
イカオピウキ i=kaopiwki	私を助け
ウ キ ルスイ クス u ki rusuy kusu	たかったのでは
ソモ ヘタパン somo hetap an	ないでしょうか。

アイラウコタブ a=i=rawkotapu	私は抱かれて
アイルラ ワ エカン a=i=rura wa ek=an	運ばれてきたのです。
アナッキ コロカ anakki korka	けれども
イキ ワ イキ プ iki wa iki p	その（そうした）人を
アヌカラ ポカ a=nukar poka	私は見ることも
ソモ キ ルウエ somo ki ruwe	なかった
ネ ヒ タパン ナ」 ne hi tapan na”	のです。」
セコロ ハウエアン コロ sekor hawean kor	そう言いながら
ウ シラン ヒケ u siran hike	いたところに
ウ ラッチタラ <sup>[1]</sup> u ratcitara	ゆっくりと
ウ アパオロツペ u apaorotpe	入り口のごぎを
アモイレチャカ a=moyrecaka	私はゆっくりと開けて

アフナン ヒネ ahun=an hine	入っていき
ヘヨキ サク ノ heyoki sak no	挨拶もなしに
ヘカリ ソパン hekari sopa[n]	上座に
アホラリ カネイ a=horari kane[y]	鎮座するように
ウ アナン アワ u an=an awa	私がいると
ランケペスンクル Rankepesunkur	ランケペスンクルは
ウ テッカキポ u tekkakipo	手を
ウ ヤユイルケ u yayuyruke	かざして
イコヘヘウパン i=kohehewpa[n]	私の方を覗いた。
アナッキ コロカ anakki korka	けれども
イヌカラ クニ プ i=nukar kuni p	私を見ることも
ソモ ネ コトム somo ne kotom	できないようで

「ネウン ネ フミ “neun ne humi	『いかなる音か
ウ ニシパ カンマウ u nispa kanmaw	勇者の威風
ウタラパ カンマウ utarpa kanmaw	首領の威風が
イエリキクル i=erikikur-	私を上の方に
ウ…… ノ…… ウ ライパ コトム u... no...u raypa kotom	行かす (=たじろがせる) ように <sup>[2]</sup>
アエサンニヨ コロカ a=esanniyo korka	思ったが
カムイ アフン フミ kamuy ahun humi	神が入ってくる感じ
ネ ナンコロ コロカ ne nankor korka	であろうが
ウ タプネ タプネ u tapne tapne	このように
モトホ アン マ motoho an w_a	原因があるので
アコロ マツネポ a=kor matnepo	我が娘を
アキラレ カトウ a=kirare katu	逃がしたの



ウ ネイ ロク アワン u ne[y] rok awa[n]	であったが
マカン カッコロ ペ makan katkor pe	どういったことか
カムイ ヘタプ アン kamuy hetap an	神であるのか
アイヌ ヘタプ アン aynu hetap an	人間であるのか
アヌカラ フミ カ a=nukar humi ka	見ることも
オアラリサム oarar isam	まったく（でき）ない（人に）
オリパカン コロカ oripak=an korka	恐れながらも
イタカン ハウエ itak=an hawe	私は語るの
ネ ヒ タパン ナ ne hi tapan na	ですよ。
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルが
ウ ノミ カムイ u nomi kamuy	祈る神は
フリ ニツネ ヒ huri nitne hi	フリの悪神

トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神
ウ ネイ ワ シラン u ne[y] wa siran	です。
ウ キ ロク アワン u ki rok awa[n]	そうして
アコロ マツネポ a=kor matnepo	我が娘
タクピ アコロ ペン takupi a=kor pe[n]	唯一の娘を
アコレ クナク アイエ a=kore kunak a=ye	さしだすようにと言われ、
ソモ ネ ヤクン somo ne yakun	そうでなければ
ソモ エセアン ヤクン somo ese=an yakun	承知しなかったら
アコロ コタヌ a=kor kotanu	我が村が
アロンヌ フミ a=ronnu humi	殺される(破壊される)と
アイエ プ ネ クス a=ye p ne kusu	言われたので
アオカ イ アナクネ aoka [i] anakne	私たちは

ウタッ トウラノ utar_turano	村人と共に
ウ ライ クニヒ u ray kunihi	死ぬのだろうと
アラム カネ a=ramu kane	思いながら、
ラヤン クニヒ ray=an kunihi	死ぬのも
ウ ピリカ コロカ u pirka korka	よいが
ヘルクワンノ herukuwanno	ただただ
アコロ マツネポ a=kor matnepo	私の娘
シネンネ ポカ sinenne poka	たった一人でも
シクヌ イ アキ ルスイ siknu h_i a=ki rusuy	生かしたい。
ウ キ ワ クス u ki wa kusu	なので
アキラレ アワ a=kirare awa	私は逃がしたのだが
カムイ ヘタプ アン kamuy hetap an	神であるのか

マカン カッコロ ペ makan katkor pe	どういったものか
アコロ マツネポ a=kor matnepo	我が娘を
ルラ ワ イコレ」 rura wa i=kore”	運んでくださった。」
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	そのように
ウ ラッチタラ u ratcitara	ゆっくりと
ウ イェ コロカイキ u ye korkayki	言っていたのだが
アエミナ ルスイ a=emina rusuy	それを笑いたいと
トゥラ イッケウ tura ikkew	本心では思い
アシタシパレ ナ <sup>[3]</sup> a=sitaspare na	後に残したのだ。
リキイ スプヤ rikin_ supuya	立ち昇る煙
アヤイトウラレ a=yayturare	と共に私は
リクイスイ クルカ rikuysuy kurka	煙出し窓の上に

アネイコプニ an=eikopuni	飛び出した。
アイェ ロク クニ a=ye rok kuni	そう言うごとく
モシリ トウラシ mosir turasi	国土に沿って
リクンペシモシリ Rikunpesmosir	リクンペシの
モシリ トウラシ mosir turasi	国土に沿って
アラパイアン フム コ arpa=[y]an hum ko	進む響きが
コクルラッキ kokururatki	断続的に聞こえる。
ネ ヒ オロ タ ne hi oro ta	そこで
イタカン ハウエイ itak=an hawe[y]	話す言葉とは
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなものであった。
「ウ コニンカラ クス “u koninkar kusu	「さてさて
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	どんな神が

イトウレン ヤッカ i=turen yakka	私に憑いていても
ウ フリ トノ u huri tonno	怪鳥の親玉
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神が
エワク シロホ ewak siroho	住まう城へと
イオルラ ワ i=orura wa	我を運んで
イコロパレ ヤン」 i=korporare yan”	くれ。」
ウ フム サク ノ ポ u hum sak no po	音も無く
イタカン アワ itak=an awa	言うと
オフムサク レラ ohumsak rera	音もない風
オフムサク カムイ マウ ohumsak kamuy maw	音なき神の風
カムイ マウ カシ kamuy maw kasi	神の風の上を
アニエコシネ an=i=ekosne-	軽く

ウ パシテ カネ u paste kane	走らせるように
ウ プンパ カネ u punpa kane	持ち上げるように
アラパイアン フム コ arpa=[y]an hum ko	私が行く音が
コクルラッキ kokururatki	断続的に響く。
インカラン ルウェ inkar=an ruwe	見わたすと
ウ ソンノ ポカ u sonno poka	たしかに
タン ポロ ヌプリ tan poro nupuri	大きな山が
チシレアヌ cisireanu	そこにあり
ヌプリ カ タ nupuri ka ta	山の上には
タン ポロ チャシ tan poro casi	大きな
ウ トント チャシ u tonto casi	皮の城
ネ ヒ ヘ ネ ヤ ne hi he ne ya	であろうか

シララ ウ チャシヒ sirar u casihi	岩の城
ウ ネ ヘ ネ ヤ u ne he ne ya	であろうか
プタ ウン チャシ puta un casi	蓋つきの城で
アパ ウン クニ apa un kuni	戸の場所も
プヤラ ウン クニ puyar un kuni	窓の場所も
アネランペウテク an=erampewtek	分からない。
ウ シラン チキ u siran ciki	だから
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
ウ チャシ ソイ タ u casi soy ta	城の外に
アラパ アイ…… アン ヒネ arpa ay... =an hine	行き
オフム ピ サク ノ ohum pi sak no	音もなく
アラパ アイ…… アン ヒネ arpa ay... =an hine	行き



タパイ シノッチャ  
tapan\_ sinotca

この歌を

アエラウンクチ  
a=eraunkuci-

我が喉の奥を

カムイノイエ ハウエ  
kamuynoye hawe

神のごとくふるわせた声は

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

このようであった。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

「さてさて

ウ フリ ニツネ  
u huri nitne

怪鳥の悪神

シパセ カムイ  
sipase kamuy

真に位の高い神

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

戦の神よ、

カムイ ネ アキ プ  
kamuy ne a=ki p

私は神であるが（?）

アイヌ メノコ  
aynu menoko

人間の女

エコロ クス ネ メノコ  
e=kor kusu ne menoko

お前にさし出すはずの女は

エコレ トランネ クシ  
e=kore toranne kus

そうなるのが嫌で

ウ ヤイキラレ u yaykirare	自らを逃がした。
ウ アン ウシケヘ u an uskehe	そうしたところは
エエシクナク ワ ヘ e=esiknak wa he	お前には見えないのか
エフナラ カ ソモ キ e=hunara ka somo ki	お前は捜しもしないで
エヌ ネ ルウエ」 enu ne ruwe”	いるのか。」
イタカン カネ itak=an kane	そう私は言いながら
シノツチャ トウイカ sinotca tuyka	歌いながら
アイオテレケレ a=ioterkere	浴びせる。(=聞かせる)
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうすると
マカン カッコロ ペ makan katkor pe	どういうことか
チャシ オルン casi or un	城より
オトウ シウエンパ otu siwenpa	2つの罵詈雑言

オレ シウエンパ ore siwenpa	3つの罵詈雑言が
エシロタツパ esirotatpa	言い放たれたのだが
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなものだった。
「ウサイネ カ タブ “usayne ka tap	「これはどういうことか
ウ ネブ ウエン カムイ u nep wen kamuy	どんな悪い神が
ウ ネブ ピトホ u nep pitoho	どんな人が
アコン ラメトク a=kor_ rametok	私の勇気を
チコモイモイエ cikomoymoye	揺り動かす
イエカラカラ クシ i=ekarkar kus	ために
コハウコロ ハウエ kohawkor hawe	ものを言う声
ネ ヒ タブ オカ」 ne hi tap oka”	なのか。」
セコロ イタク コロ sekor itak kor	そう言いながら

オトゥ シウエンパ otu siwenpa	2つの罵詈雑言が
エシロタツパ esirotatpa	言い放たれた
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうして
イネフナク オロ inehunak oro	どこなのか
ウ ネア チャシ u nea casi	その城が
ポンノ シマカ ponno simaka	少し開かれて
インカラシ ルウエ inkar=an ruwe	私が見た様子は
アイエ ロク クニ a=ye rok kuni	いわゆる
フリ ニツネ ヒ huri nitne hi	怪鳥の悪神
ウ コツ トウレシ u kor_ turesi	の妹で
ウ ポン メノコ u pon menoko	若い娘に
アアラコトムカ プ aarkotomka p	違うないものが

ポンノ エトウキケ ponno etuk h_ike	少し顔を出したところ
オクストウ アコトウク ヒネ シヨニ oksutu a=kotuk hine siyoni	私は彼女の首にくっついて引っ込んだ。
「ネプ カ イサム ナ」 “nep ka isam na”	「誰もいないぞ。」
セコロ イタク コロ シヨニ ヒネ sekor itak kor siyoni hine	そういいながら中に引っ込んで
チャシ オロ casi or	城の中に
オシキル ヒケ osikiru hike	身を翻すと
ウ アムソ クルカ u amso kurka	床の上に
ウ オラプンノ u orapunno	まったく静かに
アコヤヨスラ a=koyayosura	身を投げ出した。(=床に下りた)
オフム ピ サク ノ ohum pi sak no	音も無しに
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうすると
フリ ニツネ ヒ huri nitne hi	怪鳥の悪神が

エアシラナ easirana	それこそ
ハヨク シリ コンナ hayok sir konna	甲冑を身につけるような
コキクナタラ kokiknatara	音が鳴り響く。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
ソイエンパ ノイネ soyenpa noyne	外へ出るような
イキ ヒラネ…… ハ…… iki hirane... ha...	気配がして
オロ トウナシ ノ oro tunas no	すばやく
アロリカシ ar h_orikasi	上から
セトゥン ノシキケ setur_ noskike	背の真ん中に
アラムコパシテブ a=ramkopastep	宝の刀を
ウ ピリカ オブ ネ u pirka op ne	立派な槍のように
アヤイコカラカラ a=yaykokarkar	して

アシリコオツケ a=sirkootke	私は強く突きかかり
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうして
オロワ orowa	それから
タップ オロワノ tap orowano	そして
モシリ ペシ カネイ mosir pes kane[i]	大地に沿うように
イイエキラ フム コ i=[i]ekira hum ko	逃げる音が
コトゥナシ カネ kotunas kane	素早く
コトゥリミムセ koturimimse	響き渡る。
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神
コツ チャシ オロ ワ kor_ casi oro wa	の城より
ウ ソイネ プ ネ クシ u soyne p ne kus	外に出たものなので
カムイ フミヒ kamuy humihi	神の音として

コトゥリミムセ koturimimse	響き渡る。
ケライ トゥムンチ ネ keray tumunci ne	さすがは悪神
カムイ マウ パシテ kamuy maw paste	神風を走らせる
アナッキ コロカ anakki korka	けれど
ウ ネイタ パクノ u neyta pakno	どこまでも
セトゥル カシケ seturu kasike	背中の上に
アオレウ カネ ワ a=orew kane wa	私が止まるように (しているのだ)
イエキラ ワ i=ekira wa	私と一緒に逃げて
ウ サン フム コンナ u san hum konna	下りる音が
コトゥナシ アイネ kotunas ayne	いそぐうちに
アイエ ロク クニ a=ye rok kuni	いわゆる
リクンペシ コタン Rikunpes kotan	リクンペシの村



アアラコトムカン aarkotomka[n]	に違いない
ウ シラン ルウェ u siran ruwe	様子は
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようであった。
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクル
イネ ロク ペ クシ ine rok pe kus	なんということか
ウタリ インネ utari inne	人が多く
コタヌ インネ kotanu inne	村がにぎわっている
チエイソネレ cie[y]sonere	と思しく
オトゥワイ ソシ ネ otuwā_ sos ne	十重二十重にもなっている
タパン ア…… コタン tapan a... kotan	この村は
ウソシカム ワ usoskamu wa	幾重にも重なって
ウワン ワ…… uwan wa...	

ウ ピシカン…… ア…… ウピシ ワ コタン そろって村の  
u piskan... a... upis wa kotan

コタン ケセヘ 村の末端は  
kotan kesehe

チルルコサプテ 潮に差し出る（ほど海近くまで広がり）  
cirurkosapte

コタン パケヘ 村の上手は  
kotan pakehe

チニタイコクル 木立に  
cinitaykokur-

ポイパ カネ 交じる（ほど山近くまで広がっている。）  
poypa kane

ウソシカム モシリ 幾重にも重なった国土  
usoskamu mosir

シコパヤラ のようだ。  
sikopayar

タン インネ コタン このにぎわった村が  
tan inne kotan

チシレアヌ ある。  
cisireanu

ウ キ ロク アワ そうして  
u ki rok awa

トウムンチ カムイ 戦の神が  
tumunci kamuy

ウ ルイ ホトウイエン u ruy hotuye[n]	激しく叫ぶ
ハウケイ ホトウイエ hawke[y] hotuye	おだやかな叫びを
ウカクシパレ ukakuspare	何度も繰り返す
エネ イタキ ene itak h_i	その言葉とはこのようだ。
「コニンカラ クス “koninkar kusu	「さてさて
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルを
コニンカラ クス koninkar kusu	見てみると
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ
ネ ワ ネ ノイネ ne wa ne noyne	であるようで
チキマテッカ cikimatekka	おどかさされたのは
ウエン アイヌ サニ wen aynu sani	悪い人間の子孫に
イエカラカンナ i=ekarkar_ na	である

カシ チトゥナシカ kasi citunaska	私を早く救い
イエカラカラ ワ i=ekarkar wa	出して
イコロパレ ヤン」 i=korpare yan”	おくれ。」
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	そのようなことを
ウ ハウケ ホトウイエ u hawke hotuye	おだやかな叫び
ウ ルイ ホトウイエ u ruy hotuye	激しい叫びで
ウカクシパレ ukakuspare	何度も繰り返し
ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	言うので
イセムラム セコロ isemram sekor	いつものことだが
タン インネ コタン tan inne kotan	この大きな村に
ハヨク キットウム カ hayok kit h_um ka	鎧のきしむ音が <sup>[4]</sup>
コキツナタラ kokitnatara	鳴り響き

コマイナタラ komaynatara	響く音が
コリムナタラ korimnatara	轟く
タン インネ コタン tan inne kotan	この大きな村は
タナンペ レコロ tananpe rekor	このために
キキリ サイ パシテ kikir say paste	虫の群れを走らせる
エカンナユカラ ekannayukar	かのようにだ
ネ ヒ オロ タ ne hi oro ta	そうして
ウ フリ ニツネ イ u huri nitne h_i	怪鳥の悪神と
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルの
トゥレシ ウタリ tures utari	妹たち
トゥ トウレシヌ ワ tu turesnu wa	(リクンペスンクルは) 2人の妹があり
シネ ポ コロ ワ <sup>5</sup> sine po kor wa	息子がひとりいて

ウタラパ クン utarpa kur_	人びとの統領である。
ア ウタラ セレマク ネ a utar sermak ne	人びとの後ろ盾と
コヤイカラ カネ koyaykar kane	なって
エアシラナ easirana	本当に
タン インネ イ オツ タ tan inne h_i or_ ta	人が多いところで
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになった。
ウ センラム セコロ u senram sekor	いつもながらに
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何かの神が
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているので
イトウレン カムイ i=turen kamuy	憑神が
タネイポ ソンノ tane[y]po sonno	今はじめて、本当に
トウムンチ クルカ tumunci kurka	戦の上に

コフメランケ kohumeranke	音を立てて下り
タパン カムイ マウ tapan kamuy maw	その神の風が
ウ ユプケ ヒケ u yupke hike	激しいので
ウ クイ…… シニシ カラペン u kuy... sinis karpe[n]	真の空の風が
コトゥリミムセ koturimimse	響き渡る。
ウ カントイ カラペ u kantoy karpe	地表にあたる風が
コフムマッキ kohumumatki	鳴り轟く。
ウ ニタイ カラペ u nitay karpe	林にあたる風も
コセペパッキ kosepepatki	共に鳴り響く。
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	そのようで
エアシラナ easirana	それこそ
チ…… シリコロ カムイ ci... sirkor kamuy	大木の神は

ケナシ カ ウシ ペ kenas ka us pe	木原に生えている者で
ウ カイ ニウケシ ペ u kay niwkes pe	折れがたき者 (=折れにくい木) は
ウ シンリッ カ タ u sinrit ka ta	根元から
ウ ヘピタツパ u hepitatpa	振り回され
ウ チャ エトコ u ca etoko	枝の先には
オトゥ マウシロ otu mawsiro	2つの口笛が
チエコテカラ ciekotekar	つき (鳴り響き)
ウ カイ ルスイ ペ u kay rusuy pe	折れたい者 (=折れやすい木) は
ウ スプトモロケ u suptomorke	幹の真ん中より
チコウエケツケ ciko[u]lekekke	折れ砕ける。
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	そのように
タパン カムイ マウ tapan kamuy maw	この神の風が



ウ ユプケ カシパ u yupke kaspā	強すぎる
ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	ので
ア ユプケ ルイエ ネ…… a yupke ruye ne…	激しい（炎となって）
エアシラナ easirana	本当に
ウ ユプケ ヌイ ネ u yupke nuy ne	はげしい炎となって
マカウナン キ コロ makanan ki kor	時として
カネイ アワンキ kane[y] awanki	鉄の扇を
ウ アイカプサム タ u aykapsam ta	左手で
アラッチスイエ a=ratcisuye	おだやかに揺らし
アラルナススイエ a=ra[ru]nasuye	低く揺らし
ウ アシカイサム タ u askaysam ta	右手で
アラムコパシテブ a=ramkopastep	宝の刀を

ラヨチ クンネ rayoci kunne	虹のように
ウ テレケ フム ネ u terke hum ne	跳ばず感じに
アヤイカラ カネ a=yaykar kane	しつつ
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ニカイ ルクム u nikay rukum	木の碎片を
カムイ マウ プンパ kamuy maw punpa	神の風が巻き上げると
チカプ サイ クンネ cikap say kunne	鳥の群れのように
ウ シニシコトロ u siniskotor	広い空へ
エウエイホブンパ eweyhopunpa	激しく飛び立って
ヘトポ ホロカ hetopo horka	逆戻りをして
ウ ヤプキン ニ ネ u yapkir_ ni ne	投げ木のように
モシリ ソ クルカ mosir so kurka	大地の上に

ロルンペ クルカ rorunpe kurka	戦の上に
オラフン コンナ orahun konna	完全に入って行くように
コシウシウパイェ kosiwsiwpaye	シューシュー鳴りながら飛んでくる。
ウ ウエムコクス u [u]emkokusu	そのために
ウ ニ エコツ ペ u ni ekot pe	木にあたって死ぬもの
ウ タム エコツ ペ u tam ekot pe	刀で切られて死ぬものは
ウシンナ カネ usinna kane	それぞれに
ウ ヌイ エコツ ペ u nuy ekot pe	炎で死ぬものは
ウシンネ カネ usinne kane	それぞれに
エアシラナ easirana	本当に
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我が戦
アシヌマ タブ asinuma tap	私こそが

アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	おこなう戦
ソモ ネ ナンコロ somo ne nankor	ではないだろう。
イトウレン ピト i=turen pito	我に憑く人
カムイ パセ クル kamuy pase kur	神で位が高い人が
ウ コン ロルンペ u kor_ rorunpe	おこなう戦
ウ ネ プ ネ クス u ne p ne kusu	であるので
アイヌ ロルンペ aynu rorunpe	人間の戦
オアラ ソモ ネ oar somo ne	では全くない。
トゥムンチカムイ tumuncikamuy	戦の神
ウタラ オロケヘ utar orkehe	たちが
ウ コン ロルンペ u kor_ rorunpe	おこなう戦を
アヌカラ ア ヤク a=nukar a yak	見たならば

アニコネンパ an=ikonempa	それにたとえられる。
ウ ヤイクルカタ u yaykurkata	自身で
アコロ ロルンペ a=kor rorunpe	行う戦
ウ ネイ コロカイキ u ne[y] korkayki	であるけれども
アエアヌラム a=eanuramu-	私の心は
ウ カリ カネ u kari kane	くらくらして
エアシラナ easirana	それこそ
アクシ ワ アニ a=kus wa an h_i	私が通ったところは
チサマソネ cisamasone	(倒れるものが) 野草を敷くごとく
チハンケトゥリ cihanketuri	近く伸び
チトゥイマトゥリ cituymaturi	遠く伸び
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には

ア…… アロカムキンノ a... arokamkinno	わざと
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	私がするので
ウタラ エンカシ utar enkasi	人びとの上で
ア レラマウ ネン a reramaw ne[n]	風のように
アマウノイエレ a=mawnoyere	ひらりと（身を）翻すと
チャパ サク アイヌ capa sak aynu	頭なき人が
オロ チラピ° oro cirapi	そこに倒れる。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
ウタラ ウ クルポキ utar [u] kurpoki	人びとの下で
ウ アムケチャラセ <sup>[6]</sup> u a=mukecarse	胸で水を切って滑るようにすると
チキリイ サク アイヌ cikir[i] sak aynu	脚なき人が
オロ チラピ° oro cirapi	そこに倒れる。（と）

イコオトウイマ i=kootuyma-	私に対して遠くから
コシッケルル kosikkeruru	目を剥いて怒り
「ウサイネカタプ “usaynekatap	「これはどうしたことが
ウェン アイヌ サニ wen aynu sani	貧しい人間の子孫め。
イロンヌ ヤクン i=ronnu yakun	私たちを殺すのなら
オロ トウナシノ oro tunasno	さっさと
イロンヌ キ コロ i=ronnu ki kor	私たちを殺せば（よいのに）
ネウン ネ クス neun ne kusu	どういうわけで
チキリイ サク アイヌ cikir[i] sak aynu	脚なき人に
アネイ ワ ネ コロ a=ne[y] wa ne kor	我々をしたのだ（そうしたら）
ネウン イキ キ ワ neun iki ki wa	何とかして
イペ ポカイキ ipe pokayki	食事だけでも

アエ エアシカイ クスン」 a=e easkay kusun”	食べられる（生き延びてしまう）ではないか」
セコロ オカイ ペン sekor okay pe[n]	そのようなことを
ウ タ イェ カネ u ta ye kane	言いながら
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
コイ…… タン インネ コタン koy... tan inne kotan	この大きな村の
コタン エンカシ kotan enkasi	村の上で
コタン パ ウン マ kotan pa un w_a	村の上手へ
コタン ケシ ウン マ kotan kes un w_a	村の下手へ
アコロ アワンキ a=kor awanki	私の扇
ヌプル アワンキ nupur awanki	霊力の扇で
シカイエ ヌイ ノカ sikaye nuy noka	振り回す炎の形
ウ テレケ ヌイ ノカ u terke nuy noka	跳ねる炎の形



ホプニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	飛び立つ炎の形を
アエシリパル コロ a=esirparu kor	扇ぐと
タン インネ コタン tan inne kotan	この大きな村の
コタン クルカシ kotan kurkasi	村の上に
ウヌイテレケレ unuyterkere	炎が跳ねまわり
ウエン ヌイ タプコプ wen nuy tapkop	激しい炎の小山が
エウエイシノイエ ewe[y]sinoye	巻き上がり
エアシラナン easirana[n]	それこそ
ウ ヌイ エコツ ペ u nuy ekot pe	炎で死んだ者が
ウシンナトイネ usinnatoyne	別々になって
エポソ クス eposo kusu	まさに
トゥラムコン ヌミ turamkor_ numi	臆病者の列は

ウ マツ テク アンパ プ u mat tek anpa p	妻の手を引く者
ウ ポ テク アンパ プ u po tek anpa p	子の手を引く者の
キラ ヌミキリ kira numikir	逃げる列が
ウシンナ カネ usinna kane	別々に
ラメトク ヌミ rametok numi	勇者の列は
エアン ネ ヌム ネ ear_ ne num ne	ただひとつの列となって
イコウヤイサナ i=ko[w]yaysana-	私のほうへ前に
ウ サプテ カネ u sapte kane	進み出ても
イイエコツ ポカ i=yekot poka	私を殺すことも
エウエニタラ ewenitara	できず
ウ キンラ ユブ u kinra yupu	狂気がきつく
ウ ウエンペ ユブ u wenpe yupu	邪気がきつく

エコンラム コンナ ekonram konna	意識が
ウ カリ カネ u kari kane	くらくらして
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルに
エアシラナ easirana	それこそ
ア…… アタンピウキレ a... a=tampiwkire	私は刀で斬りかかる (が)
ウエン マ ネ キ コロ wen w_a ne ki kor	悪くして
アタメオラウキ a=tameorawki	刀で取り逃がし
ウ フリ ニツネ イ u huri nitne h_i	怪鳥の悪神に
アタンピウキレ a=tampiwkire	私は刀で斬りかかる。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしてとうとう
コヤイシカルン koyaysikarun	正気に戻り
アキ ワ ネイ コロ a=ki wa ne[y] kor	そうするうちに

ウ フリ ニッネ u huri nitne	怪鳥の悪神
ウ ウェン レクチ u wen rekuci	よくない喉を
アエタムカコンナ a=etamkakonna-	刀を
シカイエ カネ sikaye kane	振り回し暴れ
アエモンカコンナ a=emonkakonna-	手を
シカイエ カネ sikaye kane	振り回し暴れ
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	それとともに
トゥ ワン オブ サキリ tu wan op sakir	二十本の槍が
イコリコシマ i=korikosma	私に向かって高く上がる。
ネ ワ ネ キ コロ ne wa ne ki kor	そうすると
オブ キ クン ペ ネイ (?) op ki kun pe ne[y](?)	槍を持つ者を (?)
アシコッチャネレ ワ a=sikotcanere wa	自分の身代わりにして

アオツケ シリ a=otke siri	私が突く様子
アタウキ シリ a=tawki siri	私が切りつける様子が
ウ オウカウイル u oukauyru	合い重なり
エプ アコン トウミ ep a=kor_ tumi	我が戦
ア…… アコン ロルンペ a... a=kor_ rorunpe	我が戦いが
ウ ユプケ カシパ u yupke kasper	激しすぎて
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	どこまでも
エアシラナ easirana	それこそ
ウエン アイヌ サニ wen aynu sani	つまらない人間の子孫
ウタロロケヘ utarorkehe	たちは
エアシラナ easirana	それこそ
エネ イタキ ene itak h_i	このように言った。

「リクンペスンクル “Rikunpesunkur	「リクンペスンクルの
ポウタリ poutari	子どもたちは
トゥ ポ コロ アアン tu po kor aan	2人いる
トゥ マツネポ コロ ワ tu matnepo kor wa	娘が2人いる
ウ シ…… u si…	
ウ シラン アアン」 u siran aan”	そのようである。」
ポウタリヒ poutarihi	子どもたちは
エネ イタキ ene itak h_i	このように言った
「カムイ ネ アン クル “kamuy ne an kur	「神のようなお方よ、
アオカ アナクネ aoka anakne	我われは
アイオカムキリ ペ a=i=okamkir pe	何も知りも <sup>[7]</sup>
ソモ タパン ナ somo tapan na	しないのですよ。

アウエイ オナハハ a=wen_ onaha[ha]	我われの悪い父親が
ウ ネイ ワノ スイ u ney wano suy	どこからかまた
ウ ノミ クス u nomi kusu	祈るために
オカ ロク クニ プ oka rok kuni p	いるものが
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦の神
ウ ネイ ロク アワ u ne[y] rok awa	であったのに
ウ エムコサマ u emkosama	そのために
ア ラル…… アウタロロケヘ a raru... a=utarorkehe	我われの仲間たちが
ア アンコチュプ a an=kocupu	滅ぼされる
エヌネ シリ enune siri	そのような様子
ネ ヒ ネ ヤッカ ne hi ne yakka	であっても
オカヤナクネ oka=[y]an y_akne	なんだろうと

ウ タメタイエ u tametaye	刀を抜くことも
アエトランネ ナ a=etoranne na	嫌なのです。
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神のような人よ、
イシクヌレ キ ワ i=siknure ki wa	我われを生かして
イコロパレ ヤン」 i=korporare yan“	ください。」
イタツカラ コロカ itakkar korka	と言ったが
アヌ フミ ポカ a=nu humi poka	私には聞く様子さえも
オアラ シイサム oar [s]isam	全く無い。
エポソカネ eposokane	なるほど
ウ ウエンペ パシテ u wenpe paste	悪者を走らせる
トウレンペ パシテ turenpe paste	憑神を走らせる
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	ということを私はするので



ウイ オイケシネ uy oykesne	しまいには
アエコンラムコンナ a=ekonramkonna-	私のところは
ウ カリ カネ u kari kane	くらくらして
ウ カリ カネ u kari kane	くらくらして
タン インネ ウタラ tan inne utar	多くの人びとを
アトウイパ カトウ a=tuypa katu	私が切った様子は
ウ ユプケ コロカ u yupke korka	激しかったが
イネイ ロク ペ クシ ine[y] rok pe kus	なんともまあ
ウ ペ ヌヌムケ u pe nunumke	水があふれる
シコパヤラ sikopayar	ようであった。
キラ ウタリ kira utari	逃げる人びとは
ウ インネ コロカ u inne korka	たくさんいるが

ウタラ ポロセレ utar porosere	人々の大部分は
イコヤイリキ i=koyayriki-	私に向かい
ウ プンパ カネ u punpa kane	持ち上げながら
イセンラム セコロ isenram sekor	いつものこと
アナッキ コロカ anakki korka	ではあるが
インカラン シリ inkar=an siri	見わたした様子は
ウ インネ ウタラ u inne utar	多くの人びと
ウタラ アラケヘ utar arkehe	人びとの半分は
ホラク ワ アラパ horak wa arpa	崩れ落ち行き
チサマソネ cisamasone	倒れ伏せる
コヨヤモクテ koyoyamokte	それをいぶかしく
エプ アキ クス ep a=ki kusu	思い

インカラン シリ inkar=an siri	見わたした様子は
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようであった。
ウ ランペスンクル u Ranpesunkur	ランペスンクルと
ウ ランペスンマッ u Ranpesunmat	ランペスンマッ
ウ コロ マツネポ u kor matnepo	その娘は
エレン ネ キ ワ eren ne ki wa	3人で
イカスイ シリ i=kasuy siri	私を助ける様子は
ウ ネイ ロコカ u ne[y] rokoka	このようであった
エアシラナ easirana	本当に
ウタラ アラケヘ utar arkehe	人びとの半分は
チサマソネ cisamasone	倒れ伏せ
チトウイマトウリ cituymaturi	遠くへ伸び

チハンケトゥリ cihanketuri	近くへ伸び
イキイアン アイネ iki=[y]an ayne	そうして
タネイ ネ クス tane[y] ne kusu	なるほど今は
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我が戦いは
トゥマシヌ プ パテク tumasnu p patek	丈夫な者ばかり
ウ ニシテ プ パテク u niste p patek	剛のものばかり
アトゥイパ カトゥ a=tuypa katu	切る様子に
アコラムシンネ a=koramusinne	安心して
エプ アキ コロカ ep a=ki korka	いたが
ウセ ウタリ use utari	普通の人びと
ウ ネ プ ネ クス u ne p ne kusu	であるから
アエアッタムネレ a=eattamnere	一刀のもとに斬ったのだ。

エアシラナ easirana	それこそ
アリクナスイェ プ a=riknasuye p	高く振る太刀は
ラヨチ クンネ rayoci kunne	虹のように
アラナスイェ プ a=ranasuye p	低く振る太刀は
ウ テレケ ヌイ ネ u terke nuy ne	跳ぶ火のように
アヤイコカラカラ a=yaykokarkar	自分でそのように
ウ キ ペ ネ クシ u ki pe ne kus	やったので
タネ アナクネ tane anakne	今は
タン インネ ウタラ tan inne utar	多かった人びとは
モヨノ ウタラ moyono utar	少数の人びと（になり）
アヤイトウラレ a=yayturare	私は身を投げ出し
エアシラナ easirana	本当に

トアンペ…… toanpe...	
トアン モイモイケ プ toan moy moyke p	あの動いている物を
クヌカラ カネ <sup>[s]</sup> ku=nukar kane	私は見ながら
エネ トウシマク キ ワ ene tusmak ki wa	このように先を競っては
トウミ コロ シリ tumi kor siri	戦を行う様子には
ケオクヌレ クシ k=eokunure kus	驚かされるので
クヌカン ランケ ku=nukar_ ranke	何度も見て
オロワノ orowano	それから
タパン ロルンペ tapan rorunpe	この戦いは
ウ ユプケ カシパ u yupke kaspā	激しすぎて
ウヌイア…… ウヌヤ…… unuia... unuya...	
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも

イトウレン ピト i=turen pito	私の憑き神は
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
タン オンネ ウタラ tan onne utar	この年とった人びと
ウタラ ウ クルカシ utar [u] kurkasi	人びとの上に
コフメランケ kohumeranke	音を立てて下り
コフメランケ kohumeranke	音を立てて下り
トゥマム シリコンナ tumam sirkonna	胴体が
ノユニタラ noyunitara	ワナワナと動く。
コラムラムリキ koramramriki-	鱗を高く
ウ ロシキ キ コロ u roski ki kor	立てながら
ラムラム ウトウル ramram utur	鱗の間に
ホプニ レラ hopuni rera	立ち上がる風

イケムカ マウ ネ [i]kemka maw ne	血に染まった風となって
イクルカシキ i=kurkasiki	私の上に
チオランケカラ ciorankekar	降り注ぐ。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
ウ ウェン ヌイタプコブ u wen nuytapkop	激しい火の魂が
チホプニレ cihopunire	立つ。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうして
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
タン インネ コタン tan inne kotan	この大きな村
トゥ ワイ ソシ クンネ tu wan_ sos kunne	二重の層のように
レ ワイ ソシ クンネ re wan_ sos kunne	三重の層のように
アラ ソシカム ar soksamu	幾重にも重なっていた



タン インネ コタン  
tan inne kotan

この大きな村は

ウフイ ニチチャ  
uhuy nicica

燃える杭が

チヘタラパレ  
cihetarpare

たくさん立っている (=すべて燃えた)

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor

ほどになり

タネ アナクネ  
tane anakne

今は

エアシラナ  
easirana

本当に

モヨ ウタラポ  
moyo utarpo

少ない人びとの

キラ ヌミヒ  
kira numihi

逃げる列が

イカ ウン カネ  
ika un kane

溢れるように

ウ タメトク ヌミ  
u tametok numi

刀の前の列は

イコヤイサナ  
i=koyaysana-

私のほうへ前に

ウ サプテ キ ワ  
u sapte ki wa

進み出て

ハハハ……

HAHAHA…

【注】

- [1] 発音はラッチアラと聞こえるが ratcitara の意味か。
- [2] nispa kanmaw / utarpa kanmaw の後には i=emaknakurraypa 「私を奥にたじろがせる」という表現が来ることが多い(『ユーカラ集 I』P418 など)。ここも同じ意味の表現か。
- [3] si- 「自分」 taspa 「～を交わす (tasa の複数形)」 re 「～させる」。したがって単数形は sitasare となるが、『クトゥネシリカ』に「tu ota piripiri / asitasare 数多の砂の渦巻を / あとに残しながら」(3204~3205 行目) とあるのを参考に訳した。
- [4] 「hayok kithumi / kitunhitara 鎧のきしむ音が / きっきつ鳴り」(『アイヌの叙事詩』P525) を参考にした。
- [5] ここでは息子がひとりいることになっているが、この後の展開ではどうやら息子はふたりいることになっている。妹の話は出てこないで、この前の行の tu turesnu wa 「ふたりの妹がいて」というのは言い間違えで、tu po kor wa 「ふたりの息子がいて」と言うつもりだったのかもしれない。
- [6] 『久保寺辞典稿』に「muk e-charse 胸で水を切つてすいすと泳ぐ。(mutke-charse)」(P161) とあるのを参考にした。
- [7] 「nep eiyokamkir ka / somoki kamuy hene 何も知りも / しない神でも」(『ユーカラ集 I』P389-390) を参考に訳した。
- [8] ここから数行は ku=で語っている。ということは物語の中の話ではなく、語り手の見ている光景を語っていると思われる。笑いながら語っていることでもそれがうかがえるが、猫でも喧嘩している様子を見て言っているのか？

## 12-4 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」途中切れ

火なしに育った、水なしに育った（途中切れ）

語り：平賀さだも

イキアン アイネイ  
iki=an ayne[y]

そうしたあげく

アコン ロルンペイ  
a=kor\_ rorunpe[y]

私の戦争で

モヨ ウタラポイ  
moyo utarpo[y]

(多くの仲間が殺されて) 少ない仲間に

ネ ヒ オロ タ  
ne hi oro ta

なったところで

エアシラナ  
easirana

それこそ

リクンペスンクル  
Rikunpesunkur

リクンペスンクルの

ウ ポ ウタリ  
u po utari

息子たちに

イトムマ カリ (?)  
i=tom \_wa kari(?)

私の体から (?)

アタムクルポキ  
a=tamkurpoki-

私が太刀を

オサウオサウ コロ osawosaw kor	抜き放つと
イタツカラ ハウエイ itakkar hawe[y]	(息子たちが) 話したことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだった。
「アオカ アナクネ “aoka anakne	「私たちは
ヘル トウナネ heru tun a=ne	たった二人 (なの) で
イエランポキウエン マ i=erampokiwen w_a	私たちに哀れに思って (ください)
アウエノナハ a=wenonaha	私たちの悪い父
ウ コロ ウエン ケウトウム u kor wen kewtum	の悪い心が
ウ アナクス u an a kusu	あったせいで
インネ アウタリ inne a=utari	多くの仲間が
チコウエンテカラ cikowentekar	いためつけられ
アコロ コタヌ a=kor kotanu	私たちの村は

チコウエンテカラ cikowentekar	荒らされた
アイイエカラカラ ヤッカ a=i=ekarkar yakka	けれども
トゥナネ ワ ポカ tun a=ne wa poka	私たち二人だけでも
イシクヌレ ワ i=siknure wa	生かして
イコロパレイ ヤン」 i=korpare[y] yan”	ください」
セコロカイ ペイ sekor okay pe[y]	と
エヤヨチャランケイ <sup>[1]</sup> eyayocaranke[y]-	弁舌を
ウ コツパ コロカ u kotpa korka	振るったけれども
トゥルシ キンラ ネイ turus kinra ne[y]	狂うばかりの怒りが
ア…… イコホプニ a... i=kohopuni	私には起きて
「ウェイ サンペ コロ パ プ “wen_ sampe kor pa p	「悪い心を持った奴
イトウイパ プ ウイペ i=tuy pa p uype	私を斬ろうとした奴の子供

イロンヌ プ ウイペ i=ronnu p uype	私を殺そうとした奴の子供が
ヘル トゥプ ネ ヤッカ heru tup ne yakka	たった二人だけであっても
ヤイ…… イネフイ モシリ yay... inehuy mosir	どこの国で
チェイニスッカラ ce[y]nisukkar	私を頼みに
アイエカラカラ クニ a=i=ekarkar kuni	するべく
コハウコロ ハウエ (?) kohawkor hawe(?)	口をきいて
オカ ヤ?」 セコロ oka ya?" sekor	いるのか?」と
ヤイヌアン ヒケ yaynu=an hike	思っ
トゥプ ネ…… tup ne...	
トゥン ネ オツカイポ tun ne okkaypo	二人の若者を
アエウコライエ a=eukoraye	一緒にして
アエアッタムネレ a=eattamnere	ただ一太刀で斬り

ムトツネレ (?) mutotnere(?)	一刀で斬ると (?)
アウサチャラパ a=usacarpa	(死体が) 散乱したのは
イセムラムセコロ isemramsekor	いつものとおりである。
イネイロクペクス ine[y]rokpekusu	なんとまあ
イルシカ ピト iruska pito	怒った神 <sup>[2]</sup> の
イノトウ オロケ inotu orke	魂 (すなわち)
トウ シユク カムイ tu siyuk kamuy	二つの装束した神
レ シユク カムイ re siyuk kamuy	三つの装束した神は
ウ シチュプネ ヒ <sup>[3]</sup> u sicupne hi	東には
ウ フムニウケシテ u humniwkeste	音をたてられず
ウ シチュッポク ネ ヒ u sicuppok ne hi	西に
コフムパイエレ kohumpayere	音を立てて行った。

ウ パクノ ネイ コロ u pakno ne[y] kor	それから
エアシラナ easirana	それこそ
アチャシトウシテッカ a=castustekka	私がじっと立ち尽くして
ヤイヌアン フミ yaynu=an humi	考えたことは
ロルンペ ネ クス rorunpe ne kusu	戦だから
トゥムンチ ネ クス tumunci ne kusu	戦いだから
アトウイパ コロカ a=tuypa korka	私は斬ってきたが
アエヤヤシスムコ a=eyayasis h_um ko	後悔する感じが、
イヌヌカシキ inunukaski	気の毒にも
エネイ ポ ヘ タブ ene[y] po he tap	あれほどまでにも
ウ ヤイキラレ u yaykirare	一目散に逃げる
シリ オカ ロク ペイ siri oka rok pe[y]	様子であったものを



アトウイパ カトウ a=tuypa katu	斬ったことを
ヤヤシシ ケウトウム yayasis kewtum	後悔する気持ちを
アヤイコロパレ a=yaykorpore	私は持った
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
アチャシトウシテッカ a=castustekka	私はじっと立ち尽くしていた。
ヘル クワンノ heru kuwanno	ただ
ランケペシウンクル Rankepes'unkur	ランケペスンクル
ウムレク ウタラ umurek utar	夫婦と
シネ マツネポ sine matnepo	一人の娘が
エレンネ キワ erenne ki wa	三人で
ウ シクヌ コトム u siknu kotom	生きている（助かった）ようだ
アネサンニヨ an=esanniyo	と思った。

ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	それから
アトウイ ソ クルカ atuy so kurka	海の上を
アネホプニ an=ehopuni	飛んで
アトウイ トモトウイエ atuy tomotuye	海を横切って
ウ アラパアン フミ u arpa=an humi	行く音は
アイキサラストウ <sup>[4]</sup> a=ekisarsutu-	耳元で
ウ マウクルル u mawkururu	風がうなる。
イネフナクン inehunak un	(やがて) どこかへ
アラパヤン フミ arpa=[y]an humi	着いたの
ウ ネ ナンコラ u ne nankor _ya	だろうか。
ウ キ ロク アワ u ki rok awa	そうすると
アトウイ ソ カ タ atuy so ka ta	海の上に

ポン イタオマチピ pon itaomacip[i]	小さい板つき舟
ウ ネイ ワ ネ ヤ u ne[y] wa ne ya	であるのかが
チシプスレイ cisipusure[y]	浮いていて
ウ ポン メノコ u pon menoko	若い女が
チポ シリ コンナ cipo sir konna	舟に乗る様子は
コメウナタラ komewnatara	立派である。
イタツカラ ハウエイ itakkar hawe[y]	(その女が) 話すことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだった。
「コニンカラ クス “koninkar kusu	「きてきて
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペよ、
イタカン チキ itak=an ciki	私が話すから
ウ ピリカ ヌ ヤン。 u pirka nu yan.	よく聞いてください。

エパコロ……

私の……

ep a=kor...

【注】

- [1] eyayocarankekotpa は e- 「～について」 yayocarankekote 「一人で一生懸命談判する」 (『沙流方言辞典』) の複数形。
- [2] 「怒った神」とは主人公に殺された 2 人 (の魂) のこと。以下の「装束した神」も同様。
- [3] u sicupne hi のように聞こえるが sicupkane hi 「東のほう」の意味か。yukar では死んだのちに東に飛ぶ魂は生き返ることができるが、西に飛ぶ魂は生き返ることができないという。
- [4] a=ekisarsutu はエの発音が弱化して「アイキサラストゥ」と発音されている。

## 13-1 ユカラ11号、12号と続いていること説明

解説：萱野茂

萱野：えーと、じゅう一……この、11号の、テープの53分から始まった yukar  
〔英雄叙事詩〕が12号終わって今13号へ入ります。

## 13-2 ユカラ

「アペサクスukup ワッカサクスukup」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

イトウレン ピト i=turen pito	私に憑いている神
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑神が
エアシラナ easirana	それこそ
アシリキンネ asirkinne	新たに
イネフイ モシリ inehuy mosir	どこの国か
イネフイ コタン inehuy kotan	どこの村かに
イヨウルラ クス i[y]=o[w]rura kusu	私を運ぶために
アトウイ トモトウイエ atuy tomotuye	海を横切って
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風の

ウ ユプケ ヒケ u yupke hike	激しいもの
タン マウエトコ tan maw etoko	その風の先に
アニイエコシネ an=i[y]=ekosne-	私が軽々と
ウ スイパ カネ u suypa kane	ゆすぶられながら
アラパアン フム コ arpa=an hum ko	行く音が
コクルラッキ kokururatki	切れ切れに聞こえる。
インカラン ヒケイ inkar=an hike[y]	見ると
ウ ヤイラム u yayramu	おそらく
ランケペスンマツ <sup>[1]</sup> Rankepesunmat	ランケペスンマツに
イトウラ コトム i=tura kotom	連れられたように
アネイサンニヨ an=e[y]sanniyo	思った。
パイェアン アイネ paye=an ayne	行くうちに

インカラン シリ inkar=an siri	見ると
ネウン ネ シリ neun ne siri	どうしたことが
アトウイ ソ カ タ atuy so ka ta	海の上に
ア リ ッ タ オマ プ [a] rir_ ta oma p	潮の中にいたの
ウ ネイ ワ ネイ ヤ u ne[y] wa ne[y] ya	だか
チシプスレイ cisipusure[y]	急にあらわれた
メノコ アイヌ menoko aynu	人間の女が
チポ シリ コンナ cipo sir konna	舟に乗って
コラママツキ koramamatki	まっすぐ進み
ウ クルカシケイ u kurkasike[y]	ながら
イタコ ハウエイ itako hawe[y]	言ったことは
エネ オカ ヒ ene oka hi	こうだった。



「コニンカラ クス “koninkar kusu	「さてさて
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペよ、
イタカン チキ itak=an ciki	私が話すから
ウ ピリカ ヌ ヤン。 u pirka nu yan.	よくお聞きなさい。
ア…… エパコロ ユピ a... ep a=kor yupi	私の兄（である）
アトウイ コロ カムイ atuy kor kamuy	海の神の
ウ レコロ カトウ u rekor katu	その名は
エネ オカ ヒ ene oka hi	こうなのです。
アトウイカンラリ <sup>[2]</sup> Atuykanrari	アトウイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリ（という）
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人
ウ ネ ルウエ ネ。 u ne ruwe ne.	なのです。

リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクルが
ウ ノミ カムイ u nomi kamuy	祈る神
ウ ネ ワ シラン u ne wa siran	であるの
ウ キ ア コロカ u ki a korka	ですが
エコン ロルンペ e=kor_ rorunpe	あなたの戦い
エコロ ウエンプリ e=kor wenpuri	あなたの悪行 (のために)
リクンペシ コタン Rikunpes kotan	リクンペシ村を
エロンヌ ワ オケレイ e=ronnu wa okere[y]	あなたは殺し終え
エフイカ ワ オケレイ <sup>[3]</sup> e=huyka wa okere[y]	焼き終えてしまいました。
ウ ネイワアンペ u ne[y]waanpe	それを
エパコン ロ…… ep a=kor_ ro…	
エパコロ ユピ ep a=kor yupi	私の兄

ウタロロケイヘ utarorke[y]he	たちは
ヤユタラケムヌ yayutarkemnu	自分の仲間たちを可哀想に
ウ キ ワ クス u ki wa kusu	思ったので
『ウ ケケ ヘイタク ‘u keke he[y]tak	『さあ、いざいざ
ウパク ラメトク upak rametok	(自分に) 匹敵する勇者 (ポイヤウンペ) よ、
タパン テ ワノ tapan te wano	今から
ウ ラメトク u rametok	度胸を
ウワンテ クニ プ uwante kuni p	比べよう
ネ ナンコン ナン』 ne nankor_ na[n]’	ではないか』 <sup>[4]</sup>
セコロカイ ペ sekor okay pe	ということを
イエウテッカラ i=eutekkar	言うために使者として
ウ エカン シリ u ek=an siri	私は来たの

ネ ヒ タパン ナ」 ne hi tapan na”	ですよ」
セコロカイ ペ sekor okay pe	ということを
ウ タ イェ ヒケ u ta ye hike	言い立てるが
ウ ウェン キンラ ネ u wen kinra ne	ひどい怒りが
イコホプニ i=kohopuni	私には起きて
「アトゥイカンラリ “Atuykanrari	「アトゥイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリ
カムイカンラリ <sup>[5]</sup> Kamuykanrari	カムイカンラリは
シパセ カムイ sipase kamuy	重い神
カムイ ラメイトク kamuy rame[y]tok	立派な勇者
ウ ネイ ワ オラ u ne[y] wa ora	であって、そして
アイヌ アネ ワ aynu a=ne wa	私は人間で (あるのに)

チシコメイウエ cisikome[y]we	挑発を
イエカラカラ ハウエイ i=ekarkar hawe[y]	されたということ
オカ ヤ？」 セコロ oka ya?" sekor	なのか？」と
ヤイヌアン ヒケ yaynu=an hike	私は思うと
トゥルシ キンラ ネ turus kinra ne	狂うほどの怒りが
イコホプニ i=kohopuni	起こった。
タパンペ クス tapanpe kusu	そこで
ネア メノコ nea menoko	その女に
ウ ユプケ タムクル u yupke tamkur	激しい太刀を
アコテレケレ コロ a=koterkere kor	振り飛ばすと
オアラリサム oararisam	(女の影も形も) まったくなくなった。
エアシラナ easirana	それこそ

ウ シリキ シリ u sirki siri	その有り様が
アトウイ ソ クルカ atuy so kurka	海の上が
コヤイカラ シリ koyaykar siri	変わる様子は
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだ。
タパン ルヤンペ tapan ruyanpe	嵐が
チリキプニ cirikipuni	巻き起こり
アトウイ ルヤンペイ atuy ruyanpe[y]	海の嵐で
ウ リリ シクマ u rir sikuma	波の峰や
ルウエ シクマ ruwe sikuma	太い(?) 峰、
サ…… サ ウイ シクマ sa... sa un_ sikuma	手前の峰や
マクイ シクマ mak un_ sikuma	奥の峰が
チシプシパレ cisipuspare	浮かび上がる

ウ セムコラチ                      かのごとく、  
u semkoraci

ウ ポクナ アトウイ                下の海は  
u pokna atuy

へ チカンナレ                      上になり  
[he] cikannare

ウ カンナ アトウイ                上の海は  
u kanna atuy

ア ポクナレ コトム                下になるかのようだ。  
[a] poknare kotom

ウ リン ルヤンペ                    波の嵐に  
u rir\_ ruyanpe

コヤイカラ シリ                    変わる様子  
koyaykar siri

オカ ワ ネイ クシ                    であるので  
oka wa ne[y] kus

エフイネ パクノ                    どれほど  
ehuyne pakno

ウ ユプケ タムクル                激しい太刀を  
u yupke tamkur

アエヤイコトウイマ                遠くまで  
a=eyaykotuyma-

シカイエ カネ                      閃かせ  
sikaye kane

アナッキコロカ anakkikorka	ても
アトウイ ネ クス atuy ne kusu	海だから
アトウイパ ポカ a=tuy pa poka	斬ることも
オアレアイカプ oar eaykap	まったくできない。
ワッカ ネ クス wakka ne kusu	水だから
アトウイパ ポカ a=tuy pa poka	斬ることも
オアレカイカプ oar ekaykap	まったくできない。
イヤイライパレ (?) i=yayraypare(?)	私に寄り添って (?)
イセムラムセコロ isemramsekor	例のとおり
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑神 (すなわち)
イルシカ カシパ プ iruska kaspap	怒りすぎているものが
アトウイ ソ クルカ atuy so kurka	海の上で



タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw

神風を

チラナランケ  
ciranaranke

吹き下ろし

ウ リリ シクマ  
u rir sikuma

波の峰に

カムイマウ アニ  
kamuymaw ani

神風を

クペウ ア……  
kupeu a…

ウ トモシマ コロ  
u tom osma kor

ぶつけると

カムイ ヌプリ  
kamuy nupuri

神の山

ルプネ ヌプリ  
rupne nupuri

大きな山が

チシプシパレ  
cisipuspare

急にあらわれた

ウ セムコラチ  
u semkoraci

かのように

アトウイ ソ カ タ  
atuy so ka ta

海の上に

ルプネ ヌプリ  
rupne nupuri

大きな山が

ウエシカイエ uesikaye	輝く
ウ セムコラチ u semkoraci	かのよう
ウ ネ ワ ネ コロ u ne wa ne kor	であって
エフイネ パクノ ehuyne pakno	どれほど
アラムコパシテイ プ a=ramkopaste[y] p	私の刀で
エアシラナ easirana	それこそ
アエテンボクコンナ a=etempokkonna-	私の手元が
シカイエ コロカ sikaye korka	輝いても
エイオカ クニ プ e[y]oka kuni p	そこにあるべきものは
ウ ネプ カ イサム u nep ka isam	何もない。
ウカットウイマノ ukkatuymano	しばらくして
インカラン シリ inkar=an siri	見ると

カネ コソンテ kane kosonte	黄金の小袖に
トゥ リリ シクマ tu rir sikuma	二つの波の峰
トゥ ワン シクマ tu wan sikuma	二十の峰が
アエヌイパカラ ペ a=enuypakar pe	刺繍されたもの（という）
カネ コソンテ kane kosonte	黄金の小袖を
ウ ヤイネナイネ u yaynenayne	（上から下まで）そろいで
エシピネ クル esipine kur	身にまとった人間が
ウ カンチ パク ペ u kanci pak pe	梶ほどのもの（=太刀）を
エアシラナ easirana	それこそ
イコパクサマ i=kopaksama	私のほうへ
エスイパ キ コロ esuypa ki kor	振りながら
タパンペ レコロ tapanpe rekor	これこそ世にいう

イメル タク ネ imeru tak ne	光の塊のように
イクルカシケ i=kurkasike	私の上に
チオランケカラ ciorankekar	下りてくる。
ウ リリ シクマ u rir sikuma	波の峰が
ウエシノイエ uesinoye	うずまき
ウエイホブンパ ue[y]hopunpa	一斉に湧き上がる。
アトウイパ ポカ a=tuypa poka	斬ることも
オアレアイカプ oar eaykap	まったくできず、
ウエン マ ネ クス wen w_a ne kusu	駄目だったから
カムイ アワンキ kamuy awanki	神の扇を
アサナサンケ a=sanasanke	私は出した。
ウ フシコトイ ワ u huskotoy wa	長いこと

ウ ネワアンペ u newaanpe	それを
アエウコトウイマ a=eukotuyma-	一生懸命
シアリキキ siarikiki	斬ろうとした
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
アトウイパ カトウ a=tuypa katu	斬れた様子は
アネランペウテイク an=erampewte[i]k	なく、
アコイキ カトウ a=koyki katu	捕まえた様子も
アネランペウテイク an=erampewte[i]k	ない。
ウ ネ ラポキ u ne rapoki	そうしている間に
イタオマチプ itaomacip	板つきの舟に
ウ オ メノコ u o menoko	乗った女が
ウ ミナ ハウ コ u mina haw ko	笑う声は

コトウスサツキ kotususatki	(笑いすぎて) 震えて
コテセサツキ kotesesatki	苦しむほどで
「ウ ポイヤウンペ “u Poyyaunpe	「ポイヤウンペよ、
エコン ラメトク e=kor_ rametok	お前の勇名は
カムイ カスノ kamuy kasuno	神以上に
カムイ オロ パクノ kamuy or pakno	神のところまで
エアスルアシ e=asuruas	噂が立つの
エキ ロク アワ e=ki rok awa	だったが
エパコロ ユピ ep a=kor yupi	私の兄の
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリ
アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリという

カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者と（お前とは）
ウパク ラメトク upak rametok	同等の勇者で
エチネ ア ヒネ eci=ne a hine	あって、
イナン クル シノ inan kur sino	どっちが、本当に
ホシキ アトウイパ hoski a=tuypa	先に斬られる
ウ キ クシ タプネ u ki kus tapne	ことに
ウ シリキ ナンコロ u sirki nankor	なるだろう。
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
エパコロ ユピ ep a=kor yupi	兄さんは
ルイノ シモイエ ruyno simoye	激しく働く。
オロワウイ スイ orowaun_suy	そうしたら
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ

ウ ピリカ…… カムイ ラメトク u pirka... kamuy rametok	神なる勇者よ
シカスレ ペ <sup>[6]</sup> (?) sikasure pe(?)	(誰かに) 助けてもらっても (?)
ルイノ モイモイケ ruyno moy moyke	お前は激しく働く
エエアイカプ シリ e=eaykap siri	ことができない
ネ ヒ ヘ タパン?」 ne hi he tapan?”	だろうね?」
セコロカイ ペイ sekor okay pe[y]	ということを
ウエコホピ (?) uekohopi(?)	私から離れながら (?)
イコオロスツケ i=koorsutke	私を挑発した
アナッキコロカ anakkikorka	けれど
アトゥイカンラリ Atuykanrari	アトゥイカンラリという
カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者は
アトゥイパ ポカ a=tuy pa poka	私がただ斬るだけ (もできない)



ウ ペ ネ クス u pe ne kusu	者なので
アトウイエ クスン a=tuye kusun	私が（アトウイカンラリを）斬り倒すためには
アトウイパ クニ プ ネ a=tuypa kuni p ne	（ただ）斬るべきでは
ソモ ネ ナンコロ somo ne nankor	ないだろう。
ウエン マ ネ クス wen w_a ne kusu	（ただ斬るだけでは）駄目なので
カネ アワンキ kane awanki	黄金の扇を
アサナサンケ a=sanasanke	私に取り出して
ウ ウエン ヌイ ノカ u wen nuy noka	激しい炎の面を
アシリパル コロ a=sirparu kor	向けて仰ぐと
アトウイ ソ カ タ atuy so ka ta	海の上に
ウ ウエン ヌイ パナ u wen nuy pana	激しい火の粉が
ウエホプニ uehopuni	舞い飛ぶ

アナッキコロカ anakkikorka	けれども
ウヌイネクスン u nuy ne kusun	炎だから
ワッカネクス wakka ne kusu	水だから
ウフイウシケヘ uhuy uskehe	燃えたところが
ウシワパイェナ us wa paye na	消えて行ってしまう。
アエコツポカイキ a=ekot pokayki	殺すことも
ウアエアイカプ(?) [7] u a=eaykap(?)	できない。
タヌシコトイワ tan h_uskotoy wa	長いこと
エアシラナ easirana	それこそ
アタムカコンナ a=tam ka konna	私の刀も
シカイェコロカ sikaye korka	閃かせるけれど
タメオククニプ tameok kuni p	刀が当たりそうには

オアラ ソモ ネ oar somo ne	まったくない。
ウエン マ ネ クス wen w_a ne kusu	埒があかないので
カムイ アワンキ kamuy awanki	神なる扇で
ヌプル アワンキ nupur awanki	巫力の強い扇の
ウ ルパ…… u rupa…	
ルプシ コンルフ rupus konruhu	凍った氷や
イロンネ コンル ironne konru	厚い氷が
チエヌイエイカラ cienuye[y]kar	描かれた
アエカラカラ ウシケイ a=ekarkar uske[y]	ところに向かって
チコイタツカラ cikoitakkar	私が話す
アエカラカラ ハウエ a=ekarkar hawe	ことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	このようだ。

「タパン ハヨクペ “tapan hayokpe	「この武具を
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	どんな神が
イエカシヌカラ i=ekasinukar	私に授けてくれたの
ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	であっても
タパン ロルンペ tapan rorunpe	この戦いは
ワッカ ネ クス wakka ne kusu	水なので
アウフイカ ヤッカ a=uhuyka yakka	私は燃やしても
アヤイニウケシテイ a=yayniwkeste[y]	(燃やすことが) できず、
アトゥイパ ポカ a=tuyipa poka	斬ることさえも
アニウケシ キ ナ。 a=niwkes ki na.	できないのですよ。
ネウン ポカ ネイ ワ neun poka ne[y] wa	どうにかして
アトゥイカンラリ Atuykanrari	アトゥイカンラリ

カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリを
シリコラリ ワ sirkorari wa	ぎゅうぎゅう押さえつけて
イコロパレ ヤン」 i=korpare yan”	ください」
イタカン キ コロ itak=an ki kor	(と) 言いながら
トゥ コンル ノカ tu konru noka	二つの氷の模様や
ウ ウェン メ ニシ ノカ u wen me nis noka	ひどく寒い雲の模様を向けて
アエシリパル コロ a=esirparu kor	私が仰ぐと
アトゥイ ネ ロキ atuy ne rok h_i	海だったところに
トゥ ウェン シクマ tu wen sikuma	二つのすさまじい峰が
チシプシパレ cisipuspare	急に現れた。
ウ キ ウシケ カ u ki uske ka	現れたところの上も
アシリコララパ a=sirkorarpa	ぎゅうぎゅう押さえつけられ

ルプシ ワ パイエ rupus wa paye	凍って行って
イロンネ コンル ironne konru	厚い氷が
チシトウルパレ cisiturpare	伸びて
ウ コンル カ タ u konru ka ta	氷の上に
カムイ ネ アン クル kamuy ne an kur	神なる人が (現れ)
ウカットウイマノ ukattuymano	遠くのほうから
「ウサイネ カ タプ “usayne ka tap	「これはこれは
ウ ポイヤウンペイ u Poyyaunpe[y]	ポイヤウンペよ、
エカツコロ シリ e=katkor siri	お前がしたことは
アオヤネネイ ナ。 a=oyanene[y] na.	気に食わないね。
ウ ネイ ワノ スイ u ney wano suy	どこからか
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何の神からか

チエカシヌカラ ciekasinukar	お前が（扇を）授けて
エエカラカラ ペ e=ekarkar pe	もらった
ウ ネ ロク クス u ne rok kusu	ために、
エフイネ パクノ ehuyne pakno	いくら
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリという
アネ ア コロカ a=ne a korka	私であっても
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
アトウイ ルプシ ヤクン atuy rupus yakun	海が凍ったら
シプス ポカ sipusu poka	私は浮かび上がることさえ
アヤイニウケシテ a=yayniwkeste	できなく
キ ワ ネ ヤクン ki wa ne yakun	なって

エアシラナ easirana	それこそ
カムイ オロ ワノ kamuy or wano	神のところから (授かった)
エタムラポキ e=tamrapoki	お前の刀を
アオシマ ヤクン a=osma yakun	私が受けたら
シエミナヤラ sieminayar	私は笑われる
アイイエカラカラ コロカ a=i=ekarkar korka	けれども
アシヌマ アナク asinuma anak	私は
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
エコロ アワンキ e=kor awanki	お前の扇で
ルプサン クニ rupus=an kuni	凍りなど
ソモ タパン ナ。 somo tapan na.	しないのだよ。
タパン ウヌカラ tapan unukar	(だから) こうして顔を合わせているのは



シノウヌカラ sinot unukar	戯れに会っている
ネ ルウエ タパン。 ne ruwe tapan.	のだよ。
ウ エイタサ u eytasa	あまりにも
タンパ…… イマカケ タ tanpa... imakake ta	この後は
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我々の戦争の
クシネ ナムネ kusne namne	ために
エコロ コタヌ e=kor kotanu	お前の村に
エコオアン e=kooan	(戦いが) 寄せてくる
ウ キ クニヒ u ki kunihi	ように (したいと)
エラム クス e=ramu kusu	思っているために
エカッコロ シリ e=katkor siri	お前はそうに振る舞って
エキ ヘ タパン？」 e=ki he tapan?"	いるのか？」

セコロカイ ペ sekor okay pe	ということ
ウ タ イェ コロカ u ta ye korka	言い立てたが
イセムラムセイコロ isemramse[y]kor	例のごとく
アコロ アワンキ a=kor awanki	私の扇を
タン…… tan...	
(電話がなったため一時中断)	
(萱野：はい、ピリカ)	(萱野：はい、いいよ)
(萱野：はい、pirka)	
タパン ウヌカラ tapan unukar	こうして顔を合わせているのは
シノトゥヌカラ sinot unukar	遊びの会見
シノトゥコイキ sinot ukoyki	遊びの戦い
ネ ヒ タパン ナ。 ne hi tapan na.	なのだよ。
タンペ イマカケ タ tanpe imakake ta	この後で

ウヌカラ ナ unukar na	(本当の戦いをするために) 会うよ。
ウ ソネ ウサ u sone usa	本当に
エコタノロケ e=kotan orke	お前の村のところに
ウ オマ クニ u oma kuni	(戦争が) 来ると
エラム クス e=ramu kusu	お前が思っているために
エカッコロ シリ e=katkor siri	お前が振る舞っている様子は
アオヤネネ ナ」 a=oyanene na”	気に食わないね」
セコロカイ ペ sekor okay pe	ということを
ウカットウイマノ ukattuymano	遠くの方から
ウ コンル カ タ u konru ka ta	氷の上で
カネ コソンテイ kane kosonte[y]	黄金の小袖の
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリが

イタク クッチャマ itak kutcama	話す声は
ウエイトウヌイセ ue[y]tunuyse	滔々としている
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	私はしたことは
ウエン メ ニシ ノカ wen me nis noka	ひどく寒い雲の模様
ウ コンル ノカ u konru noka	氷の模様を向けて
アエシリパラパル a=esirparparu	扇ぎ扇ぎ
ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	したので
アトウイ クルカ ネ (?) atuy kurka ne(?)	海の上が
ルプシ ワ パイエ rupus wa paye	凍って行って
ウ キ ロク アイネイ u ki rok ayne[y]	そうしたあげく

タネ ネ クスン tane ne kusun	今は
リリ…… エ…… トウ リリ シクマ rir... e... tu rir sikuma	二つの波の峰が
チホブンパレイ cihopunpare[y]	湧き上がることは
オアラ ソモ キ <sup>[8]</sup> oar somo ki	まったくなくなった。
ウ パクノ ネコロ u pakno nekor	そして
アタムラメチウ <sup>[9]</sup> a=tamrameciw	私の刀を鞘に収めると
アコロ ウコイキ a=kor ukoyki	戦いへの
アイラムア…… アコンラム コンナ aeram'a... a=ekonramu konna	思いが
エサッカオシマ esakkaosma	急に消え失せた。
ウ カンナ ルイノ u kanna ruyno	またしても
イネフイ モシリ inehuy mosir	どこの国か
イネフイ コタン inehuy kotan	どこの村かに

アイヨルラ フミ a=i[y]=orura humi	運ばれるの
ウ ネイ ナンコラ u ne[y] nankor y_a	だろうか。
インネ…… inne...	
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	どんな神が
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているために (なのか)
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑き神の
カムイマウエヘ kamuymawehe	神風の、
エアシラナ easirana	それこそ
ユプケ カムイマウ yupke kamuymaw	激しい神風の
ユプケ ヒケヘ yupke hikehe	激しいほうの
カムイマウ エトク kamuymaw etok	神風の先に
アイエコシネクル a=i=ekosnekur-	軽々と

ホブンパ カネ hopunpa kane	持ち上げられて
イネフナクン inehunak un	どこかへ
アラパヤン フミ arpa=[y]an humi	私が行く感じは
アエキサラストウ a=ekisarsutu-	耳元で
コマウクルル komawkururu	風が巻き上がる。
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
インカラン ルウエ inkar=an ruwe	(到着した場所を) 見ると
タネイポ ソンノ tane[y]po sonno	今こそ本当に
アエラミシカリ a=eramiskari	わからない
イキ コロカイキ iki korkayki	けれど
アイウタ…… ayuta..	
・ アトウイヤ コタン <sup>[10]</sup> Atuyya kotan	アトウイヤ村で

アアラコトムカ a=arkotomka	あるらしい。
エアシラナ easirana	それこそ
アシリキンネ asirkinne	新たに
タニンネ コタン tan inne kotan	にぎわった村で
アイェ ロク クニ a=ye rok kuni	(世に) 言われるように
アトウイヤ セコロ Atuyya sekor	アトウイヤと
アレイコ ウシケ a=re[y]ko uske	名づけられたところ
アアラコトムカ a=arkotomka	であるらしい。
アヌカリケ a=nukar h_ike	(そこを) 見て
イタカン ハウエ itak=an hawe	私が言ったことは
エネ オカ ヒ ene oka hi	こうだ。
「イトウレン ピト “i=turen pito	「私に憑いてる神よ、



チコフンモレ cikohummore	音を沈めて
イコロパレ ヤン。 i=korpare yan.	ください。
ウ ニシパ ロキ u nispa rok h_i	首領たちがいるところを
アヌカン ルスイ a=nukar_ rusuy	私は見たい (ので) 、
エヌネ キ ナ」 enune ki na”	そうしてください」
イタカン アワ itak=an awa	(と) 私が言うと
ウ アイヌ クスン u aynu kusu	(神なのに) 人間であるからこそ
ウイタクヌ uitaknu	言うことを聞いてくれる (ほど言うことを聞いて)
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑き神
カムイ オマレ kamuy omare	その神が入った
ウ ニシ カンニシ u nis kannis	雲が (?)
オパイェ カネ opaye kane	行ってしまうと

カソカケへ kasokakehe	そのすぐ後には
コチャッコサンパ kocakkosanpa	さっと晴れた。
イセムラムセイコロ isemramse[y]kor	例のごとく
オマウサク レイラ omawsak re[y]ra	音なしの風
オニッサクレラ onissakrera	雲なしの風を
アシトゥラレ a=siturare	私は伴って
アトゥイヤ コタン Atuyya kotan	アトゥイヤ村に
パイェアン (?) ルウエ ネ。 paye=an(?) ruwe ne.	行った。
イネロクペクス inerokpekusu	なんとまあ
ウタリ インネ プ utari inne p	仲間が多い者
チェソネイレ ciesone[y]re	と思しく
タニンネ コタン tan inne kotan	人数が多い村の

コタン ケセヘ kotan kesehe	村の下端は
チルルコサンケ cirurkosanke	海に差し出て
コタン パケヘ kotan pakehe	村の上端は
チニタイコクル cinitaykokur-	林のほうに
ウ ポイパ カネ u poypa kane	混ざっている (ほど村が大きい)
ウ シラン ヒケ u siran hike	様子だが
ウ オホラク ポン プ (?) u ohorak pon pu(?)	倒れた小さい倉が (?)
ウ コタン ノシキケ u kotan nosikike	村の中央には
モシリ パク チャシ mosir pak casi	島ほどの (大きさの) 山城
カムイ カツ チャシ kamuy kar_ casi	神造りの山城が
チシレアヌ cisireanu	建っている
ウ シラン チキ u siran ciki	様子だから

コパッケ サマ kopakke sama	その方を
アオイラムネイレ a=oiramne[y]re	目指して
アラパヤン ヒネ arpa=[y]an hine	行って
プヤロロッキ puyarorotki	窓にかかっているすだれの
セプカ…… sepka...	
ウ チンキ カシ u cinki kasi	裾の上を
アコッカエイラリ a=kokkae[y]rari	膝で押さえつけ
ウ ペンラム カ タ u penram ka ta	胸の上を
アモネラリ a=monerari	手で押さえつけ
セプカ ウトウルン sepka utur un	網目の間から
アシックシレ a=sikkusre	眺め
ウ チャシ ウプソロ u casi upsor	山城の中を

アシツクシパレ a=sikkuspare	覗いた。
タパニクス tapan h_ikusu	そうしたら
インネイ イクソ inne[y] ikuso	多くの酒の席の
イクソ パケ ikuso pake	酒席の上座の端や
イクソ ケセ ikuso kese	酒席の下座の端が
ホマリタラ homaritara	ぼんやりして見える (ほど大きい)
タパンペ レイコロ tapanpe re[y]kor	これこそ世に言う
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりが
オカ ルウエ ネ oka ruwe ne	いるのだ。
シントコ オシマク sintoko osmak	行器の後ろには
ウ チュプカウンクル <sup>[11]</sup> u Cupkaunkur	チュプカウンクルを

オランラニ ワ oranrani wa	座らせて
オカ ルウエ ネ。 oka ruwe ne.	いるのだ。
ウ ニシマクウンクル <sup>[12]</sup> u Nismak'unkur	ニシマクウンクル
ウ ニシポクンクル <sup>[13]</sup> u Nispokunkur	ニシポクンクル
オタヤウンクル <sup>[14]</sup> Otayaunkur	オタヤウンクル (という)
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとくの
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかり、
リクンナイウンクル <sup>[15]</sup> Rikunnay'unkur	リクンナイウンクル
リクントウンクル <sup>[16]</sup> Rikuntounkur	リクントウンクル
リクンペスンクル Rikunpesunkur	リクンペスンクル (という)
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかり
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり

## 【注】

- [1] ランケペスンマツ Rankepesunmat は「ランケペシの女」の意味の登場人物名。
- [2] 「アトゥイカンラリ・リリカンラリ」でひとつの固有名詞（神の名）。atuy-kan-rari / rir-kan-rari は「海の上を押さえつける／波の上を押さえつける」の意味か。
- [3] 音声は ehuyka と聞こえるが、e=uhuyka「お前が～を燃やす」か。
- [4] 64～66 行目の直訳は「度胸を比べるべきものが私たちであるだろうよ」。
- [5] カムイカンラリ Kamuykanrari は、アトゥイカンラリ・リリカンラリと同一の人物を指す名称。
- [6] 『久保寺辞典稿』(P242) に sikasure < sikasuyre「助けて貰ふ、手伝はせる、手伝ってもらふ」とある。
- [7] この付近で聞き手数人が「憎たらしいね」などと話しており、聞き取りがやや難。
- [8] 海全体が凍ってしまったために、アトゥイカンラリ・カムイカンラリは、自分で言っていたとおおり、海の上に出てくることができなくなってしまったのである。
- [9] タムラメチウ tamrameciw : 『神謡・聖伝の研究』に「tam ramechiu 刀を鞘に納めて」(P283) とある。
- [10] アトゥイヤ Atuyya は村の名前。
- [11] チュプカウンクル Cupkaunkur は「チュプカの人」という意味の登場人物名。チュプカ cupka は地名で「東」という意味。
- [12] ニシマクウンクル (ニシマクンクル) Nismakunkur は「ニシマクの人」という意味の登場人物名。ニシマクは地名で「空の奥」という意味。
- [13] ニシポクウンクル (ニシポクンクル) Nispokunkur は「ニシポクの人」という意味の登場人物名。ニシポクは地名で「空の下」という意味。
- [14] オタヤウンクル Otayaunkur は「オタヤの人」という意味の登場人物名。オタヤ otaya は地名で「砂の浜辺」の意味か。
- [15] リクンナイウンクル Rikunnay' unkur は「リクンナイの人」という意味の登場人物名。リクンナイ rikunnay は地名で「上の沢」という意味。
- [16] リクントウンクル Rikuntounkur は「リクントの人」という意味の登場人物名。リクント rikunto は地名で「上の湖」という意味。

## 13-4 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりが
アルキリカサモロ arukirkasamor-	互いに膝を
ウチウ カネイ uciw kane[y]	突き合わせる
ウ シラン チキ u siran ciki	様子で
「ウ ネプ イモシマ “u nep imosma	「何かほかに
アイェ ハウエイ カ a=ye hawe[y] ka	言う話は
オアリサム oarisam	まったくない。(だが)
ヤウン モシッ タ yaun mosir_ ta	本島の



ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ (という)
ウェナイヌ サニ wen aynu sani	悪人の子孫が
シカムイネイレ sikamuyne[y]re	高慢になり
シピトネイレ sipitone[y]re	傲慢になっている
ウ キ ハウエ タプ u ki hawe tap	のだ (と)
アコイヌ ヤクン a=koinu yakun	聞いて、
シネ オッカヨ sine okkayo	(ポイヤウンペは) 一人の男
ウ ネ ワ アン ペ u ne wa an pe	であるが
トゥ ピシカン コタン tu piskan kotan	二つの周りの村に
オトゥミヤンケ otumiyanke	戦争をもたらした (という)。
ソンネ ヘタプ ネ sonne hetap ne	本当であろうか。
リクンナイ モシリ Rikunnay mosir	リクンナイ国

リクンソ モシリ <sup>[1]</sup> Rikunso mosir	リクンソ国
ウ リクンペシ コタン u Rikunpes kotan	リクンペシ村という
ウタラ オマ ヒ utar oma hi	仲間がいたところは
ウタラ トウラノ utar turano	仲間ともども
コタン ネ マヌ プ kotan ne manu p	村というものが
タネイ アナクネ tane[y] anakne	今は
ウフイ ニチチャ uhuy nicica	焼けた棒杭が
チヘイタラパレ cihe[y]tarpare	たくさん立っている（だけで焼き尽くされた）。
オロワウイ スイ orowaun_suy	それからまた <sup>[2]</sup>
オロワウイ スイ orowaun_suy	それからまた
オロワウイ スイ orowaun_suy	それからまた
エアシラナ easirana	それこそ

カムイ クシナムネ kamuy kusnamne	神だからこそ
アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリ
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
ウ コロ ラメイトク u kor rame[y]tok	の勇猛さに
エペットウラシ プ epetturasi p	匹敵する者が
ネイ タ オカ ワ ney ta oka wa	どこにいたのか
ネイ タ オカ ワ ney ta oka wa	どこにいたのか
イヤイノマレ iyaynomare	驚くべきことに
アトウイ ソ クルカ atuy so kurka	海の上に
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペ
ウ コロ ロルンペ u kor rorunpe	の戦争が
オエク カトウフ (?) oek katuhu(?)	やってきた様子で (?)

アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリ
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリ
ウ リリカンラリ u Rirkanrari	リリカンラリ (という)
カムイ ウタラパ kamuy utarpa	神なる勇士
ウタラ (?) ウコイキ utar(?) ukoyki	たちが戦いを
ウ キ ア コロカ u ki a korka	したけれど
ヘマンタ オッタ (?) hemanta otta(?)	どうしたことか
アトウイカンラリ Atuykanrari	アトウイカンラリ
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリが
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ポイヤウンペ u Poyyaunpe	ポイヤウンペの
ウ タム ラポキ u tam rapoki	刀の下に

ウ オシマ クス u osma kusu	なっ (て斬られてしまっ) たので
エオツ コタヌ eot kotanu	(ポイヤウンペは) 訪れるべき村を
アコトウライヌ セコロ a=koturaynu sekor	見失ってしまったと
ウ ハワシ キ ナ。 u hawas ki na.	いう話だよ。
エオフヨロネ <sup>[3]</sup> eohuyorone	どうしただろうか
タパン アトウイヤ <sup>[4]</sup> tapan Atuyya	このアトウイヤ
アトウイヤ コタン Atuyya kotan	アトウイヤ村 (という)
アコロ コタヌ a=kor kotanu	我らの村の
トゥカリケ ワ tukarike wa	手前で
ホシピ <sup>o</sup> ヘ キ hosipi he ki	(ポイヤウンペは) 帰ったのか。
ウ エク ヤツカイキ u ek yakkayki	(ポイヤウンペが) 来ても
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり

ウ…… ウ ニシテプ パテク u... u nistep patek	強者ばかりの
アネイ ロキネ a=ne[y] rok h_ine	我々で (あるから)
シネ オッカヨ sine okkayo	一人の男
シネ ウタラパ sine utarpa	一人の勇者 (だけで) は
シネ…… sine...	
エフイネ パクノ ehuyne pakno	どんなに
シアスラシテ プ ネ siasuraste p ne	噂に名高い者で
イキ ヤッカイキ iki yakkayki	あっても
シルンノ マシキン sirunno maskin	まさか
ウ タム ラポキ u tam rapoki	(ポイヤウンペの) 刀の下に
アオシマ クニ プ a=osma kuni p	入らされ (て斬られ) るような者が
アネ ロケ キ?」 a=ne rok h_e ki?"	我々であるだろうか?」

セコロカイ ペン sekor okay pe[n]	ということ
ウキレオツケ ukireotke	足をつつきあい
ウモネオツケ umoneotke	手をつつきあい (ながら)
アイヨルシペ パテク a=ioruspe patek	私の話ばかり (して)
モシマ パナクネ mosma p anakne	他のことについて
エウエネウサラ ハウエ ewenewsar hawe	語り合うことは
シネプ カ イサム sinep ka isam	ひとつもない。
ウ キ ロカイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
アトウイヤウンクル <sup>[5]</sup> Atuyyaunkur	アトウイヤウンクルが
アネ イタク キ…… ane itak ki…	

エネ イタク キ  
ene itak ki

こう言った。

「アトウイヤウンマツ<sup>[6]</sup>  
“Atuyyaunmat

「アトウイヤウンマツ (という)

アコッ トウレシ  
a=kor\_ turesi

私の妹は

ウ テエタ ワノ  
u teeta wano

昔から

ウ ポンラム ワノ  
u ponram wano

幼いころから

ウ チトウスレ  
u citasure

巫術をして

キニントウスレ ヒネ  
kinintusure hine

つまらぬ巫術をして (いますが)

ヤイコカヌ  
yaykokanu

考えた末に

エネ イタキ ナ。  
ene itak h\_i na.

こう言うのですよ。

『タパン トノト  
'tapan tonoto

『この酒

アコッ トノト  
a=kor\_ tonoto

我々の酒の

トノト テクサム  
tonoto teksam

酒のそばでは



イラナッカ イサムノ iranakka isamno	煩わしいこともなく
ヌペツテク パクノ nupettek pakno	愉快的な
シラン ネ キ ヤ? siran ne ki ya?	様子でしょう？
ネウン ネ フミ neun ne humi	(なのに) どうしたこと
ウ ネ ナンコラ? u ne nankor y_a?	なのでしょうか。
ウ カムイ クル u kamuy kur	神の雲が
コヤイカラ フミ koyaykar humi	出てきている様子を
コヨヤモクテ koyoyamokte	私は不思議に
エパキ キ ナ』 ep a=ki ki na'	思うのですよ』 (というので)
トウス ワ イコロパレ ヤン。 tusu wa i=korpare yan.	巫術をしなさい。
アパ ケセヘ apa kesehe	戸の下端から (?)
クワン オロ ワ kuwan or wa	真っ直ぐに (?)

ウ ヤイコカヌ u yaykokanu	よく考えて
キ ワ イコレ」 ki wa i=kore”	(巫術で) 見通しなさい」
ウ ハワサワ u hawas awa	と (アトゥイヤウンクルが) 言うと
アトゥイヤウンマツ Atuyyaunmat	アトゥイヤウンマツは
ウ トウキ コロボク u tuki korpok	杯のもとに
エホラリ ワ ehorari wa	鎮座して
ウ リクイルケ u rikuyruke	手を高く上げ
ウ ラウイルケ u rauyruke	手を低く上げ
ク ワ オケレ ku wa okere	(酒を) 飲み干した。
ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	そうすると
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
トウスノ クニ プ tusuno kuni p	巫術が強いもの

チエイソネイレ cie[y]sone[y]re	であるらしく
トウス チャンノイエヘ ペ tusu cannoyehe pe	巫術の額つきを
エシルトウム タ esirutum ta	頭かぶりの中に
コヌイナ カネイ konuyna kane[y]	隠して
ムッケ トウレンペ mukke turenpe	姿を隠した憑き神は
カ PAP サイ クンネ kapap say kunne	コウモリの群のように
エピシカン コンナ episkan konna	周りに
コクルン カネイ kokurun kane[y]	影がさして
サラ トウレンペン sara turenpe[n]	姿が顕わな憑き神は
ノチウ キヤイ ネ nociw kiyay ne	星の光のように
エキムイ カシケ ekimuy kaske	頭頂の上で
コテウニンパイェ kotewninpaye	またたいている。

タパイ シノツチャ tapan_ sinotca	即興歌を
エウタリアネ…… eutariane...	
エカムイノイエレ ヒネ ekamuynoyere hine	美しくふるわせて
エラウンクチ eraunkuci-	喉奥から
カムイノイエレ kamuynoyere	美しくふるわせて
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	歌ったあげく
マカナン ネ コロ makanan ne kor	ある時には
ウ チシシ ネ アラパ u cisis ne arpa	泣き出して
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
イルシカ ネ ヤ カ iruska ne ya ka	怒ったり
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	したあげく
トウス オルシペ tusu oruspe	巫術の話を

ウ タ イェ ハウエ  
u ta ye hawe

言いたてることは

エネイ オカ ヒ  
ene[y] oka hi

こうだった。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu

「さてさて

アユプタリ  
a=yuputari

お兄さまがた、

イタカン チキ  
itak=an ciki

私が話しますから

ウオンネレ ヤン。  
uonnere yan.

よく聞いてください。

ヌ ワ イコレ ヤン。  
nu wa i=kore yan.

聞いてください。

ネウン ネ ルウエ  
neun ne ruwe

どうしたの

ウ ネ ナンコラ  
u ne nankor \_ya

でしょうか。

タパナトウイ ソ  
tapan atuy so

海面の

アトウイ ソ カ タ  
atuy so ka ta

海の上での

カムイ ロルンペ  
kamuy rorunpe

神の戦いは

ウ ユプケ アアン u yupke aan	激しかった
アナッキコロカ anakkikorka	けれど
シパセ カムイ sipase kamuy	本当に重い神は
ネウン ネ ルウエ neun ne ruwe	どうしたのか
アシリコラリ a=sirkorari	地面に叩きつけられ
オアラリサム oararisam	まったくいなくなっていました。
カムイカンラリ Kamuykanrari	カムイカンラリは
ア オアラリサム a oararisam	まったくいなくなっていました。
アトウイ ソ カ ワノ atuy so ka wano	海の上に
カネ ケソラプ kane kesorap	黄金の斑紋鳥 (クジャク)
カムイ ケソラプ kamuy kesorap	神の斑紋鳥 (クジャク) が
ウ シニシ コトロ u sinis kotor	天から

ウ ヤイクルレ u yaykurure	姿を見せて
タパン アトウイヤ tapan Atuyya	このアトウイヤ
アトウイヤ コタン Atuyya kotan	アトウイヤ村を
ウ ヌカン ル コ u nukar_ ru ko	見る目つきは
コチャイナタラ kocaynatara	鋭い
マカ…… キ ヤ カ アラム (?) maka... ki ya ka a=ramu(?)	のかと思います。 (?)
アトウイ ルツ トム クルカ atuy rur_ tom kurka	海の潮の中を
アシックシパレ a=sikkuspare	私が見通した
ウ キワ ネ コロ u ki wa ne kor	ところ、
ウ レプン カムイ u repun kamuy	沖の神の
ウムレク カムイ umurek kamuy	夫婦の神の
ウ アシペ コンナ u aspe konna	背びれは

コペチャペチャ kopecapeca	パチャパチャと動いています。
エアシラナ easirana	それこそ
エアシラナ easirana	それこそ
ウ アイ シリ コロ (?) u ay sir kor(?)	矢の
エシコパヤラ esikopayar	ように
ウ アラキ シリ コ u arki sir ko	来る様子は
ウ ラママツキ u ramamatki	まっすぐである
キ ヤク アラム ki yak a=ramu	と思います。
コトウスユプ kotusuyupu	力一杯の巫術を
エパキ アイネ ep a=ki ayne	かけて
インカラン ルウエ inkar=an ruwe	みますと
ソモ スイ クスン somo suy kusun	まさか



インカラ <span>ン</span> クニ inkar=an kuni	見るとは
アラム アワ a=ramu awa	思わなかったのに
ウ タンテポ <span>タ</span> u tantepo ta	たった今ここに
ヤウンクル ウララ yaunkur urar	本島人の霧が
エアシエナ…… easiena…	
エアシラナ easirana	それこそ
オシッチウタラ ositciwtara	下りている
ウ アン ルウエ <span>ネ</span> 。 u an ruwe ne.	のですよ。
アユプタリ a=yuputari	お兄さまがたが
エフイネ パクノ ehuyne pakno	どれほど
ウキレオツケ ukireotke	足をつつきあい
ウテケオツケ utekeotke	手をつつきあいを

エチイキ ヤツカ eci=iki yakka	しても
ルイノ モイモイケ ruyno moymoyke	激しい動き
ルイノ シチャリ ruyno sicari	激しい奮闘を
エチキ ソモ キ ヤクン eci=ki somo ki yakun	しないなら
タパナトウイヤ tapan Atuyya	このアトウイヤを
エアシラナ easirana	それこそ
シアフンチュッポク siahuncuppok	西に
アコトウライヌ a=koturaynu	見失って（滅亡して）しまう
ウ セムコラチ u semkoraci	かのように
インカラン キ ナ。 inkar=an ki na.	見えるのですよ。
エアシラナ easirana	それはそれは
キマテカン ナ」 kimatek=an na”	驚きましたよ」

セコロカイ ペ sekor okay pe	と
ウ チシ トウラノ u cis turano	(アトウイヤウンマッは) 泣きながら
ス…… トウス オルシペ su... tusu oruspe	巫術の話を
ウカエピタ ukaepita	次々にほぐす (ように語った)。
パクノ ネイ コロ pakno ne[y] kor	そうすると
「タネイ アナクネ “tane[y] anakne	「もはや
ウ アナン カトウ u an=an katu	私がいることを
アエラマナ ハウエ a=eraman a hawe	知られたの
ネ ワ ネ チキ ne wa ne ciki	であったら
ウ ネイ タ パクノ u ney ta pakno	いつまでも
ウタラパ コヤイヌイナ utarpa koyaynuyna	勇者たちから身を隠す
エキ ワ ヘ キ?」 e=ki wa he ki?”	のか?」

ヤイヌアン クス yaynu=an kusu	(と) 私は思ったので
ハラキソ サム harkiso sam	(一度、家から離れるために) 左側を
アウレクシパレ a=urekuspore	通って
ニサプ タ パクノ (?) nisap ta pakno(?)	突然に (?)
ウ ニシテ トヨロ u niste toy or	固い土のほうを
ウ ヘキル u hekiru	振り向いて
アン カ アオサン フミ =an ka a=osan humi	私が出て行く音が
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城の
アマン カ タ aman ka ta	梁の上で
キトウニタラ kitunitara	キッキッと音がして、
ウ アマン カ タ u aman ka ta	梁の上で
ウ テレケ フム コ u terke hum ko	跳ねる音が

コキクナタラ  
kokiknatara

カンカンと鳴る。

ニシパ オピッタ  
nispa opitta

首領たちが

クス フマシ ペ  
kusu humas pe

そのために音がするのを

コヨヤモクテ  
koyoyamokte

不審に思っている（様子が）

トゥキタララ  
tukitarara

高まっている

オカ コトムノ  
oka kotomno

ように

アネサンニヨ  
an=esanniyo

私は思った。

アロカムキンノ  
arokamkinno

わざと

アキ プ ネ クス  
a=ki p ne kusu

私がしたことは

チマカ アパ  
cimaka apa

開き戸を

ウ カ トウカリ  
u ka tukari

糸のすぐ手元から

アコエトウイェ  
a=koetuye

引きちぎり

アシルオカクル a=siruokakur	自分の後ろへ
エシタイキ ワ esitayki wa	投げ捨てて、
ハラキソ サム マ harkiso sam w_a	左座を
アウレクシパレ a=urekuspare	通った。
ウ ウッシウ ウタラ u ussiw utar	召し使いたちや
インネ ウタリ inne utari	大勢の人間たちの
ウタッ トウムフ utar_ tumuhu	人々の中を
アウレクシパレ a=urekuspare	通って
タパンペ レコロ tapanpe rekor	これこそ世に言う
アノオテレケ a=nooterke	私が強く踏みつけた
ケウ ライ チェプ エトウルセ kew ray cep eturse	死体は死んだ魚が転がり落ちる
エカンナユカラ ekannayukar	かのように

タメノテレケ tamenoterke	刀を強く振りとばすと
ア…… ウ チェプ テシテシケ a... u cep testeske	魚がバタバタする
エカンナユカラ ekannayukar	かのように
アペ エトク ネ イ ape etok ne h_i	火の前 (=上座) の
ア…… ウ タン リクナ ワ a... u tan rikna wa	ずっと高いところに
アチョアシロツケ コロ a=coasirotke kor	私がドシンと腰を下ろして
イタカン ハウエ itak=an hawe	話したことは
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだ。
「ウコイキ クニ クル カ “ukoyki kuni kur ka	「戦うべき相手でも
ウエコツ ネ (?) [7] クル カ uekot ne(?) kur ka	殺し合う相手でも
ウイエ…… ウエペク ネ ナ。 uie... uepe[k] ne na.	お互いに食べるものですよ。
イイクレ ワ i=ikure wa	私に吞ませて

イコロパレ ヤン」 i=korporare yan”	ください」
イタカン アワ itak=an awa	(と) 私が話すと
エアシラナ easirana	それこそ
シポロ トウキ siporo tuki	大きい杯を
アトウイヤウンマツ Atuyyaunmat	アトウイヤウンマツが
チコヌムケカラ cikonumkekar	私に選んで
イエカラカラ ワ i=ekarkar wa	くれて
イコイオマレ ナ。 i=koiomare na.	私に酌をしたのだよ。
アエホンケシ コンナ a=ehonkes konna	(そこで) 私は腹の底で
コユシタラ <sup>[8]</sup> koyusitara	腹を立てながら
アク コン ヌカラ (?) a=ku kor_ nukar(?)	吞んでみて (?)
アクコ…… アク オケレ akuko... a=ku okere	吞み終えた。



ウ パクノ ネ コロ u pakno ne kor	そうして
タン ポロ トウキ tan poro tuki	その大きな杯を
アパサムシペ apasamuspe	戸柱に
アコニスイェ a=konisuye	私は投げ捨てると
ウ トupp ネ レp ネ u tup ne rep ne	(杯は) 二つに三つになって (=バラバラに)
ウ コネネチ u koneneci	粉々になって
チウサチャリ ciusacari	散乱した。
アマッコサンパ a=matkosanpa	私はパッと立ち上がって
アラパアン ヒネ arpa=an hine	行って
サケ サンケ ペ sake sanke pe	酒宴の主人である
アトウイヤウンクル Atuyyaunkur	アトウイヤウンクルの
ポニウネ ヒケ poniwne hike	年下のほうに

アウレルトウ a=ureerutu	私は歩み寄った。
オカケヘ ワ okakehe wa	その後で
ウ サイシントコ ワ u saysintoko wa	前に出した行器の
アサム オロケヘ asam orkehe	底に
アテックシパレ a=tekkuspare	私は手を伸ばして
エシソウン マ esisoun w_a	右座から
エハラキソウン マ eharkisoun w_a	左座から
アエオンカミ コロ a=eonkami kor	祈りながら
オトウ パピロロ otu papiror	二言、口の中で
アコトゥリカラ a=koturikar	祈りの言葉を述べて
エネ オカ ヒ ene oka hi	こう言った。
「イキニ…… コニンカラ クス “ikini... koninkar kusu	「さてさて

トノト カムイ tonoto kamuy	酒の神よ、
アシヌマ タプ asinuma tap	私は
ポイヤウンペ セコロ Poyyaunpe sekor	ポイヤウンペと
アイェ ア クニ プ a=ye a kuni p	言われるもので
アネ タプ キ ナ。 a=ne tap ki na.	ありますよ。
ウタラ カ サク ペ utar ka sak pe	仲間がないもの
アパ カ サク ペ apa ka sak pe	親戚がないもので
アネ タプ キ ナ。 a=ne tap ki na.	あるのですよ。
トノト カムイ tonoto kamuy	酒の神よ、
チテクトウムコレ citektumkore	私に腕力を
チモントウムコレ cimontumkore	力を
イイエカラカラ ワ i=ekarkar wa	つけて

イコロパレ ヤン」 i=korporare yan”	ください」
セコロ オカイ ペ sekor okay pe	ということを
オトウ パピロロ otu papiror	二言、口の中で
アコトゥリカラ コロ a=koturikar kor	祈り言葉を述べて
アク ロカイネ a=ku rok ayne	(酒を) 飲んだあげく
ウ サイシントコ u saysintoko	前に出した行器を
アク ワ オケレ a=ku wa okere	飲み干して
ウ チュプカウンクル u Cupkaunkur	チュプカウンクルの
キタイ ノシキケ kitay noskike	頭のでっぺんに
アイコウニシ…… aykownis…	
アエコニスイェ a=ekonisuye	(飲み終えた杯を) 投げつけ
ウ クルカシケ u kurkasike	ながら

アイタコマレ  
a=itakomare

話したのは

「トノト プリ  
“tonoto puri

「酒の振る舞いを

アエコカラカラ シリ  
a=ekokarkar siri

私もすることに

ネ ヒ タパン ナ」  
ne hi tapan na.”

しましょう」

イタカン カネ  
itak=an kane

(と) 言って

アエコニスイェ  
a=ekonisuye

(杯を) 投げつけ

ウ クルカシケ  
u kurkasike

ながら

アコタメタイェ  
a=kotametaye

刀を振った。

ウ ホシキノポ  
u hoskinopo

真っ先に

アトウイヤウンクル  
Atuyyaunkur

アトウイヤウンクルの

ポニウネ ヒケ  
poniwne hike

年下のほうに

ウ ユプケ タムクル  
u yupke tamkur

激しい太刀を

アコテレケレ a=koterkere	振り飛ばした。
アキワ トウナシ ペ a=ki wa tunas pe	素早くしたのに
アタメエトコ a=tameetoko	(アトウイヤウンクルは) 私の刀の先から
エホプニカラ ehopunikar	飛びのいた。
タポロワノ tap orowano	それから
タパニクス tapan h_ikusu	そのために
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになり
エアシラナ easirana	それこそ
ウタラパ パテク utarpa patek	勇者ばかり
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりを
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
アヌムケ ワ a=numke wa	選んで

ウ ユプケ タムクル  
u yupke tamkur

私は激しい太刀を

アコテレケレ  
a=koterkere

振り飛ばした。(だが)

イネイロクペクス  
ine[y]rokpekusu

なんとまあ

キラ エニタン  
kira enitan

逃げ足が速い。

ル アシケ (?)  
ru a=sike(?)

私の前に (?)

アルオカケ (?)  
a=ruokake (?)

私の後に (?)

アタムクシパレ  
a=tamkuspape

私は太刀を振るう

アナッキコロカ  
anakkikorka

けれども (斬れずに)

エアシラナ  
easirana

それはそれは

アコンラムコンナ  
a=konramkonna

私の心は

オヤウナタラ  
oyaunatarara

苛立ってきて

「ウタラ カ サク ペ  
“utar ka sak pe

「仲間もいない者

アパ カ サク ペ apa ka sak pe	親戚もいない者が
アネイ ア ヒネ a=ne[y] a hine	私であって
ウ ネプ ワ アン ペ u nep wa an pe	それが
エモトコロ ワ emotokor wa	素性であるのに
トゥレイヌ…… トウ トイ レプンペ tureynu... tu toy repunpe	多くのひどい沖の奴
ウタロロケヘ utarorkehe	たちが
チェウラムテクク ceuramtekuk	ぐるになって
イエカラカラ ハウエ i=ekarkar hawe	私に敵対しているという話で
トゥ ピシカン コタン tu piskan kotan	二つの周りの村
レ ピシカン コタン re piskan kotan	三つの周りの村に
チエイオマレ cie[y]omare	(敵が) 及んで
オカ ヤッカイキ oka yakkayki	いるのなら



インネ ピトホ inne pitoho	多くの神か
ウ ネプ カムイエ u nep kamuye	何の神が
イトウレン ヤ カ i=turen ya ka	私に憑いているのか（わかりませんが）
チテクトウムコレ citektumkore	私に腕力をつけ
チモントウムコレ cimontumkore	力をつけて
イコパレ ヤン。 i=kopare yan.	ください。
ヘル シネン アネ heru sinen a=ne	ただ一人のもので私はある
キ ルウエ タパン」 ki ruwe tapan”	のですよ」
イタカン カネ itak=an kane	（と）言う
エアシラナ easirana	それこそ
アタムカ コンナ a=tamka konna	私の刀の上
シカイエ カネ sikaye kane	輝いて

ヘル タムクリ heru tamkuri	ただ刀影が
シカイエ カネ sikaye kane	輝いて
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城
ウ チャシ ウプソロ u casi upsor	山城の中は
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになった。
エアシラナ easirana	それこそ
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	私がしたことは
ルプネ アペケシ rupne apekes	大きな燃えさし
ノカン アペケシ nokan apekes	小さな燃えさしを
アウレエチャリ a=ureecari	足でまき散らし
アウレエプンパ a=ureepunpa	足で蹴り上げ

ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	したことなので、
ウ アムソ カ タ u amso ka ta	床の上に
ウ カパラ ヌイボ u kapar nuypo	薄い炎が
チテレケレ クル citerkere kur	跳んだ人
ウ ウシカ クニ u uska kuni	消そうとして
ウ ヌイ エトコ u nuy etoko	火の前に
エウセウシ クル euseus kur	赴いた人を
アヌイコタタ a=nuykotata	私は火とともに叩き
アヌイコトウイパ a=nuykotuypa	火とともに斬った。
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ネノ アン ペ u neno an pe	そのようなことで
アエヤイモンポク a=eyaymonpok-	私は手を

コトウシマク カネ kotusmak kane	忙しく動かすと
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
イレ…… ネプ ピトホ ire... nep pitoho	何の神かが
イトウレン クス i=turen kusu	私に憑いているので
イトウレン カムイ i=turen kamuy	私の憑神の
カムイマウエヘ kamuymawehe	神風が
チラナランケ ciranaranke	吹き下ろす
ネ ヒ コラチ ne hi koraci	かのように
アパ オロ ペカ apa or peka	戸から
プヤラ クシ puyar kus	窓を通過して
エアシラナ easirana	それこそ
ウ ユプケ スプネ u yupke supne	激しく渦巻いた

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw

神風が

チアウナライエ  
ciawnaraye

中へ入る

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci

かのように

ウ ソネ キナ  
u sone kina

床の敷き物が

カヤテク クンネ  
kayatek kunne

帆のように（風をはらみ）

ウエホプンパ  
uehopunpa

舞い上がる

ネ ヒ コラチ  
ne hi koraci

かのように

キナ カンラル  
kina kanraru

敷き物の端は

ウ ヌイコテレケ  
u nuykoterke

火とともに跳ぶ

ネ ワ ネ クス  
ne wa ne kusu

ので

タネ ネ クス  
tane ne kusu

今は

プヤラ オプシ ペ  
puyar opus pe

窓に穴をあける者

アパ オプシ ペ apa opus pe	戸に穴をあける者を
アパ…… アカネトウイパ apa... a=kanetuypa	私は片っ端から斬り
アカネチャリ a=kanecari	片っ端から散らした。
ウ キ ロカイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
タネ ネ クス tane ne kusu	今となっては
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城の
チセソ パケ ciseso pake	屋根の上端
チセソ ケセ ciseso kese	屋根の下端も
ウ ヌイコテレケ u nuykoterke	火とともに跳び
ウ ヌイコタプカラ u nuykotapkar	火とともに舞う。
イセムラムセコロ isemramsekor	例のごとく
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風は

ウ ユプケ カシパ u yupke kaspā	激しすぎる
ウ キ プ ネ クス u ki p ne kusu	ので
タン ポロ チャシ tan poro casi	この大きな山城が
ウフイ フム コンナ uhuy hum konna	燃える音が
コトウリミムセ koturimimse	響き渡る。
ウ チャシ カムイ u casi kamuy	家が
ウ ラプ ペコロ (?) u rap pekor(?)	(焼け) 落ちるものらしく (?)
アエウソイナクル (?) a=eusoynakur-(?)	みな戸外へ
ウ パシテ カネ u paste kane	駆け出すと、
チャシ オツ タ カ casi or_ ta ka	家の中でも
アトウイパ ルイ ペ a=tuyppa ruy pe	私は斬りまくったもの
アロンヌ ルイ ペ a=ronnu ruy pe	殺しまくったものと

アラム コロカ a=ramu korka	思ったが
ウ ネ プ ネ アワ u ne p ne awa	それでも
ウ ペヌヌムケ u penunumke	洪水がみなぎる
エシコパヤラ esikopayar	かのように
タニンネ コタン tan inne kotan	この人数の多い村は
イネロクペクス inerokpekusu	なんとまあ
ウ インネ ルウエ u inne ruwe	人数が多いことか。
アイヌ イ…… aynu i...	
ウタリ インネ プ utari inne p	仲間が多い者
アパハ インネ プ apaha inne p	親戚が多い者が
アトウイヤウンクル Atuyyaunkur	アトウイヤウンクルで
ウ ネイ ワ クス u ne[y] wa kusu	あるので



エアシラナ easirana	それこそ
キキリ サイ パシテ kikir say paste	虫の群を走らせる
エカンナユカラ ekannayukar	かのである。
ウ トゥイマ エク アイ u tuyma ek ay	(アトゥイヤの村人が放って) 遠くから来る矢は
カヤアン…… カサ キプカ タ kayaan... kasa kipka ta	笠の上に
コヌスパシ ネ konus upas ne	大粒の雪のように
イエモイレ コロ i=emoyre kor	私のほうにゆっくりと (飛んできて)
ウ ハンケ カネ u hanke kane	近く (から放たれ) て
ウ ハンケ カ…… u hanke ka...	
ウ ハンケ ア…… u hanke a...	
ウ ハンケ エカイ u hanke ek ay	近くから飛んで来る矢は
ウ ヌムシ カウカウ ネ u numus kawkaw ne	大粒のあられのように

カサ ケプ カシ kasa kep kasi	笠の縁の上へ
オラン フム コンナ oran hum konna	落ちる音が
コトクナタラ kotoknatara	トントんと鳴り続く。
エムシ コン ヌミ emus kor_ numi	刀を持つ列
ウ オプ コン ヌミ u op kor_ numi	槍を持つ列
ウ アイ コン ヌミ u ay kor_ numi	矢を持つ列が
コシンナ カネ kosinna kane	それぞれ別々に
イネイロクペクス ine[y]rokpekusu	なんとまあ
ウタリ インネ utari inne	仲間が多い
コヤイカン ルウエ koyaykar_ ruwe	様子であることか
アニコラヤプ an=ikorayap	感に打たれる。
アナッキコロカ anakkikorka	けれども

アロカムキンノ arokamkinno	わざと
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	私がしたことは
カムイマウ パシテ kamuymaw paste	神風を走らせて
タパンペ レコロ tapanpe rekor	これこそ世にいう
ウレンペパシテ…… urenpepaste…	
トウレンペ パシテ turenpe paste	憑き神を走らせた
アキ プ ネ クス a=ki p ne kusu	ものだから
エパカ…… アコッ トウムンチ epaka… a=kor_ tumunci	我々の戦い
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我々の戦争
ロルンペ クルカ rorunpe kurka	戦争の上に
エアシラナ easirana	それこそ
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風の

オラン フム コンナ oran hum konna	吹き下りる音が
コトゥリミムセ koturimimse	鳴り響く。
ウ カントイ カラペ u kantoy karpe	地表に当たる風が
コフムマツキ kohumumatki	響き渡り
ウ シニシ カラペ u sinis karpe	天に当たる風は
コトゥリミムセ koturimimse	鳴り轟き
ウ ニタイ カラペ u nitay karpe	林に当たる風は
コセペパツキ kosepepatki	鳴りはためく。
ウ シリコロカムイ u sirkorkamuy	大木で
ウ カイ ルスイ ペ u kay rusuy pe	折れそうなものは
ウ スプトム オロケ u suptom orke	根元から
チコエケツケ cikoekekke	折れ砕け

タパンペ レコロ tapanpe rekor	これこそ世にいう
ウ フシコ アナク u husko anak	以前（行った戦い）は
チテンネプネレ citennepnere	赤ん坊のように（たやすかったと思うほど）
アコツ トウムンチ a=kor_ tumunci	我々の戦いは
ウ ユプケ カシパ u yupke kaspā	激しすぎる。
ウ ニシテプ パテク u nistep patek	強者ばかりが
アトウイヤウンクル Atuyyaunkur	アトウイヤウンクル
ウ ニシマクウンクル u Nismak'unkur	ニシマクウンクル
クンネペトウンクル <sup>[9]</sup> Kunnepetunkur	クンネペトウンクル
ウ ニシポクウンクル u Nispok'unkur	ニシポクウンクル
ウタラ セレマク ネ utar sermak ne	たちの守りに
コヤイカラ カネ koyaykar kane	なって

(むせたことにより一時中断)

(フチ：そっち、あるか?)

ある。

したら、さっき言ったみたいに……

(録音が一時中断)

……家、イケマあってケサンペシトゥリ してあった (?)

…家、ikema あって k=esampesituri してあった (?)

……家にイケマがあって、気分が楽になった (?)

(録音が一時中断)

タップ オロワノ

それから

tap orowano

エアシラナ

それこそ

easirana

ウ フシコ アナ プ

昔あったこと

u husko an a p

フシコ ロルンペ

(すなわち) 以前の戦い

husko rorunpe

フシコ トウムンチ

昔の戦争は

husko tumunci

チテンネプレレ<sup>[10]</sup>

赤ん坊のように (たやすかったと思うほど)

citenneprere

イキアン アイネ

(今は激しい戦いを) するうちに

iki=an ayne

インカラン シリ inkar=an siri	見ると
ネウン ネ シリ neun ne siri	どうしたことか
タニンネ ウタラ tan inne utar	多くの人々
ウタラ アラケヘ utar arkehe	人々の半分が
チラピラピ cirapirapi	バタバタと倒れる。
コヨヤモクテ koyoyamokte	私は不審に
エパキ クス ep a=ki kusu	思ったので
インカラン シリ inkar=an siri	見ると
ヌペ…… ランケペスンマツ nupe... Rankepesunmat	ランケペスンマツが
オロヤチキ oroyaciki	図らずも
イヨシ エク アアン i=os ek aan	私の後から来ていて
イカスイ シリ i=kasuy siri	私を手伝ってくれたの

ウ ネイ ロコカ u ne[y] rokoka	であった。
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
エアシラナ easirana	それこそ
アセムコッタヌ a=semkottanu	私は知らぬふりをして
タニンネ ウタラ tan inne utar	多くの人々を
アトウイパ ルイ ペ a=tuypa ruy pe	私は斬りまくったもの
アロンヌ ルイ ペ a=ronnu ruy pe	殺しまくったもの
ウ ネ コロカイキ u ne korkayki	だけれど
ウ ネイ タ アン ペ u ney ta an pe	どこの者が
ウ エパ クニ プ u epa kuni p	到着したの
ウ ネ ナンコラ u ne nankor y_a	だろうか。
イセムラムセコロ (?) isemramsekor(?)	例のごとく (?)



オアラウエン ヒ ワ oarwen hi wa	非常にひどいことから (?)
アコロ ウエン キンラ a=kor wen kinra	激しい怒りが
イコホプニ i=kohopuni	湧き上がり
カムイ アワンキ kamuy awanki	私は神の扇を
アサナサンケ a=sanasanke	取り出して
エアシラナ easirana	それこそ
シノイエ ヌイ ノカ sinoye nuy noka	絡まった炎の模様
ホプニ ヌイ ノカ hopuni nuy noka	燃え上がる炎の模様
テレケ ヌイ ノカ terke nuy noka	跳ね上がる炎の模様を
アエシリパル コロ a=esirparu kor	向けて扇ぐと
エネ シリキ ヒ ene sirki hi	このような様子になった。
タニンネ コタン tan inne kotan	この大きな村が

ウ ヌイコテレケ u nuykoterke	炎に舞い
コタン ケセヘ kotan kesehe	村の下端も
コタン パケヘ kotan pakehe	村の上端も
ウ ヌイコテレケ u nuykoterke	炎に舞う。
ウ エムコクス u emkokusu	そのために
ラメトク クニ rametok kuni	勇者は
エアネ ヌム ネ eane num ne	(人数が少ない) 細い列になり
イコヤイサナ i=koyaysana-	私の前へ
ウ サプテ カネ u sapte kane	出てくる
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
ウ ポテカンパ プ u potekanpa p	子供と手をつなぐものは
ウ シンナ カネ u sinna kane	それぞれ別々に

ウ マツテカンパ プ u mattekanpa p	妻と手をつなぐものは
ウ シンナ トイネ u sinna toyne	また別々に
キラ ヌミキリ kira numikir	逃げる列は
アルキラレ arukirare	一目散に逃げて、
タパニンネ コタン tapan inne kotan	この大きな村は
ウ ヌイコテレケ u nuykoterke	炎に舞った。
タパン カムイマウ tapan kamuymaw	神風の
ウ ユプケ ヒケ u yupke hike	激しいものが
チラナランケ ciranaranke	吹き下って
アコン ロルンペ a=kor_ rorunpe	我々の戦争
ロルンペ クルカ rorunpe kurka	戦争の上で
チパトウパトウ cipatupatu	大騒ぎになっている。

ウエン トイラ wen toyra	(強風で) ひどい土ぼこり
ウエン ムニラ wen munira	ひどい草ぼこりが
ウエシノイエ uesinoye	渦巻いて
コプクプク kopukpuku	めちやくちゃにする。
シノイエ ヌイ ノカ sinoye nuy noka	絡まった炎の模様を
アエシリパレ…… a=esirpare…	
アエシリパル コロ a=esirparu kor	向けて扇ぐと
エポソ カネ eposo kane	言うまでもなく
チセ ネ オカイ ペ cise ne okay pe	家が
ウウエシノイパ uesinoypa	渦巻いて
ウフイパ シリヒ uhuypa sirihi	燃える様子は
ウエイホブンパ ue[y]hopunpa	燃え飛んで

ウエシノイパ uesinoypa	(炎が) 渦巻いている。
ウ エムコクス u emkokusu	そのために
エアシラナ easirana	それこそ
アイヌ ロルンペ aynu rorunpe	人間の戦争では
オアラ ソモ ネ oar somo ne	まったくない (かのようだ)。
カムイ ロルンペ kamuy rorunpe	神の戦い (のように)
アヌカラ ヤク a=nukar a yak	見ていたらなら
アニコネンパ an=ikonenpa	(こうだと) 思えるほど
エアシラナ easirana	それこそ
アコロ ロルンペ a=kor rorunpe	我々の戦争は
ウ ユプケ カシパ u yupke kaspā	激しすぎる
アナッキコロカ anakkikorka	けれど

イカッチウ ケウトウム  
ikatchiw kewtum

忌々しく思う気持ちを

アヤイコロパレ  
a=yaykorpore

私は抱いた。

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur

ニシポクンクル

クンネペッウンクル  
Kunnepet'unkur

クンネペトウンクル

ウ ニシマクウンクル  
u Nismak'unkur

ニシマクンクル

カニペトウンクル<sup>[11]</sup>  
Kanipetunkur

カニペトウンクル (という)

ウ ニシテ プ パテク  
u niste p patek

強者ばかり

オカ アルウエ  
oka a ruwe

いるのだ。

アコンラムコンナ  
a=konramkonna

私の心は

トゥルシタラ  
turustara

朦朧として

マカン ネ キ コロ  
makan ne ki kor

どうかすると

アエコンラムコンナ  
a=ekonramkonna

私の心は

コカリ カネ kokari kane	こんがらがって
ウ ネウン シノ u neun sino	いったい私はどうい
カッコロアン ヤ カ katkor=an ya ka	姿であるのか
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	どうかすると
アネイランペウテク an=e[y]rampewtek	わからなくなる。
コヤイシカルン koyaysikarun	(やがて) 意識を取り戻した
アキ ロク アイネ a=ki rok ayne	ところ
インカラン ルウエ inkar=an ruwe	見ると
エネイ オカ ヒ ene[y] oka hi	こうだった。
アトゥイヤウンクル Atuyyaunkur	アトゥイヤウンクルの
サパ ヌム タクプ sapa num takup	頭だけを
アアンパ カネ a=anpa kane	私は手に持ち

ウ ニシポクウンクル  
u Nispok'unkur

ニシポクウンクルの

サパ ヌムタクプ  
sapa num takup

頭だけを（片手に持ち）

ウトウレンテッコロ  
uturentekkor

（2つの頭を）両手で持っていた。

アエシリキク フム コ  
a=esirkik hum ko

私が（それらの頭を）ぶつける音が

コヤクナタラ  
koyaknatara

グシャッと響き

コリムナタラ  
korimnatara

ドシンと鳴る。

コヤイシカルン  
koyaysikarun

私は意識を

エパキ キ コロ  
ep a=ki ki kor

取り戻すと

ウ ホントモ タ  
u hontomo ta

たちまち

ロルンペ ユプ  
rorunpe yupu

戦いを引き締め

トウレンペ ユプ  
turenpe yupu

憑き神を引き締め

アキ ワ ネ コロ  
a=ki wa ne kor

そうすると



アコルン……

akorun...

アケウトウムコンナ

a=kewtumkonna

私の気持ちは

コカリ カネ

kokari kane

こんがらがって

トゥルシタラ

turustara

朦朧として

アコンラムコンナ

a=konramkonna

私の心は

コカリ カネ

kokari kane

こんがらがって

ウ キンネ……

u kinne...

ウ ネウン シノ

u neun sino

いったい私はどう

イキアン ヤ カ

iki=an ya ka

していたのかも

アエラミシカリ

a=eramiskari

わからないで

ウ キ ロク アイネ

u ki rok ayne

いるうちに

インカラン キ コロ

inkar=an ki kor

見ると

ウ ニシポク ウンクル  
u Nispok'unkur

ニシポクンクル

アトウイ……  
Atuy…

ウ ニシポク ウンクル  
u Nispok'unkur

ニシポクンクル

マカナク タ ネ? [12]  
makanak ta ne?

どうしたって? (?)

アトウ…… ウ ニシポクンクル  
atu... u Nispokunkur

ニシポクンクルと

フナク ネ タ ウン クル  
hunak ne ta un kur

どこかの人 (である)

ウ ニシテプ パテク  
u nistep patek

強者の

サパ ヌム タクプ  
sapa num takup

頭だけを

ウトウレンテッコロ  
uturentekkor

(その2つの頭を) 両手で

アアンパ カネ  
a=anpa kane

私は持つて

アエシリキク フム コ  
a=esirkik hum ko

私が激しく叩きつけた音が

コヤクナタラ  
koyaknatara

グシャッと響き

コリムナタラ korimnatara	ドシンと鳴る。
オトウ スイ コンナ otu suy konna	二度
オレ スイ コンナ ore suy konna	三度
ウ ネノ アン ペ u neno an pe	そうしていたが (?)
アエコンラムコンナ a=ekonramkonna	私の心は
トウ ウトウル サマ tu utur sama	間を置いて
コムツコタネ (?) [13] komutkot kane(?)	息もできないようになり (?)
ウ キ ロク アイネ u ki rok ayne	そうしたあげく
タネ アナクネ tane anakne	今は
エアシラナ easirana	それこそ
タニンネ ウタラ tan inne utar	多くの人々を
アロンヌ カトウ a=ronnu katu	私が殺した様子は

ウルイワネコロ u ruy wa ne kor	激しくて
モヨウタラポ moyo utarpo	(殺しそびれた) 少数の人々を
アマカルトウ a=makarutu	追いやると
タポロワノ tap orowano	それから
エアシラナ easirana	それこそ
ランマカネ ramma kane	いつものように
ウオプコンヌミ u op kor_ numi	槍を持った (人たちの) 列の
トゥワンオプサキリ tu wan op sakir	二十の槍が
イコリコシマ i=korikosma	私に向かって伸び上がると
アロカムキンノ arokamkinno	わざと
ウキ…… アキプネクス uki... a=ki p ne kusu	私がしたことは
ウオプコ…… ウオプモンポキ u opko... u op monpoki	槍の下に

アコヘンクル a=kohenkur-	私は身をかがめて
エシタイキ コロ esitayki kor	地面に伏すと
イエンカシ タ i=enkasi ta	私の上を（槍が素通りして同士討ちになるので）
ウ オプ コロ アパ u op kor apa	槍を持った仲間が
ウアシサウ コ uasis h_aw ko	ののしりあう声が
コカリ カネ kokari kane	聞こえてくる。
マカン ネ キ コロ makan ne ki kor	ある時には
トゥワン オプ サ…… tuwan op sa...	二十の槍

## 【注】

- [1] リクンソモシリ Rikunso mosir は地名で「リクンソ国」の意味。
- [2] 聞き手同士で何事か話しているため、この行の後、少し間が空く。また次行以下では、聞き手の会話の終了を待っている間の時間つなぎとして、同じ内容の行をくり返しているらしい。
- [3] エオフヨロネ eohuyorone : 『バチエラー辞典』(P346) に「Ohuiyoro-ne, オフイヨロネ, 如何デセウカ. (中略) How will it be ?」とあることを参考に訳した。
- [4] アトゥイヤ Atuyya は地名で「海の浜」という意味か。
- [5] アトゥイヤウンクル Atuyyaunkur は「アトゥイヤの人」という意味の登場人物名。
- [6] アトゥイヤウンマツ Atuyyaunmat は「アトゥイヤの女」という意味の登場人物名。
- [7] ウエコツ ネ uekot ne : ウエ クニ クル カ ue kuni kur ka 「一緒に食べるべき者も」

のようにも聞こえるが、前の行と対になることから、本テキストのようにした。

- [8] コユシタラ koyusitara は『久保寺辞典稿』(p145)に「くちやくちや鳴らして物を食ふ」とあるが、ここには合わない。『バチエラー辞典』(P581)に「ユサ、立腹シテ立去ル. v. i. To turn away in anger」とあることから、ko-yus(a)-itara と考えてみた。
- [9] クンネペトウンクルKunnepetunkur は「クンネペツの人」という意味の登場人物名。クンネペツ kunnepet は地名で「黒い川」という意味。
- [10] チテンネプレレ citenneprere のように聞こえるが、citennepnere か。
- [11] カニペトウンクルKanipetunkur は「カニペツの人」という意味の登場人物名。カニペツ kanipet は地名で「金の川」という意味。
- [12] この行は物語の一部ではなく、聞き手との会話か。韻文にはなっていない。
- [13] 音はコムッコタネと聞こえるが、「mutkot kane 息も出ない様に？」(『久保寺辞典稿』P162)を参考に komutkot kane とした。

### 13-5 ユカラ

「アペサクスクプ ワッカサクスクプ」(謡い途中でテープ切れ終了)

火なしに育った、水なしに育った

語り：平賀さだも

アロカムキンノ  
arokamkinno

わざと

アキ プ ネ クス  
a=ki p ne kusu

私がしたので

エアシラナ  
easirana

それこそ

マカナン ネ コロ  
makanan ne kor

ある時には

オハオカ ワ  
ohaoka wa

味方同士で

ウオプコララパ  
uopkorarpa-

互いに槍を受けて

ウアシシ ハウポ  
uasis hawpo

ののしりあう声が

コカリ カネ  
kokari kane

聞えて

ウ ネイ タ パクノ  
u ney ta pakno

いつまでも

イトウレン ピト  
i=turen pito

私についている神の

カムイ マウエヘ  
kamuy mawehe

神風が

アコン ロルンペ  
a=kor\_ rorunpe

我々の戦い

ロルンペ クルカ  
rorunpe kurka

戦いの上に

チオランケカラ  
ciorankekar

吹き下る。

タパン カムイマウ  
tapan kamuymaw

神風の

ウ ユプケ ヒケ  
u yupke hike

激しいものが

チオランケカラ  
ciorankekar

吹き下る。

ウ キ ロカイネ  
u ki rok ayne

そうするうちに

タネイ ネ クス  
tane[y] ne kusu

今となっては

モヨ ウタラポ  
moyo utarpo

数少ない人々が



アホロカルトウ  
a=horkarutu  
後ろへ押し戻されていく。

ウ パクノ ネ コロ  
u pakno ne kor  
そうして

リクンペシ……  
Rikunpes…

ランケペスンマツ  
Rankepesunmat  
ランペスンマツが

エネ イタキ  
ene itak h\_i  
言うことには

ウ チシ リミムセ  
u cis rimimse  
泣き叫び

リミムセ トウイカ  
rimimse tuyka  
叫びながら

イヨテレケレ  
ioterkere  
理屈を言って抗議して

エネ イタキ  
ene itak h\_i  
言うのはこうだ。

「コニンカラ クス  
“koninkar kusu  
「さてさて

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur  
神なる人よ、

タパナトウイヤ  
tapan Atuyya  
このアトウイヤ

アトウイヤ コタン Atuyya kotan	アトウイヤ村では
ウ アイヌ トウミ u aynu tumi	人間の戦争
パテク ネ ヤクン patek ne yakun	ばかりがあつて
タネ アナクネ tane anakne	今は
モヨ ウタラポ moyo utarpo	数少ない仲間が
アルツパ クス (?) a=rutpa kusu(?)	押しやられるので (?)
アヤイポシパレ a=yaypospare	私は通り抜けた
アナッキコロカ anakkikorka	けれど
ウ ネノ ウタラパ u neno utarpa	同じ境遇の勇者を
ウ ケムヌ クス u kemnu kusu	衰れに思うために
ウ ニシポクンクル u Nispokunkur	ニシポクンクルの
ウ ニシポク コタン u Nispok kotan	ニシポク村の

コタン チュッポキ  
kotan cuppoki

村の西に

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

戦いの神が

エワク ルウエ ネ。  
ewak ruwe ne.

住んでいるのです。

イケムヌ クス  
ikemnu kusu

(その神は) 哀れに思ったので

トゥムンチ カムイ  
tumunci kamuy

戦いの神 (である)

クルセニツネヒ<sup>[1]</sup>  
Kursenitnehi

クルセニツネヒが

イコチャウキ  
i=kocorawki

私たちに向かって攻撃しに

ウ アラキ ノイネ  
u arki noyne

来るように

イラムアン ナ。  
iramu=an na.

思われるのです。

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

神なる人よ、

ルイノ シモイエ  
ruyno simoye

激しい奮闘

ルイノ モイモイケ  
ruyno moy moyke

激しい働きを

アキ ヤク エアシリ a=ki yak easir	私たちがしたら初めて
ウエン カムイ トウミ wen kamuy tumi	悪神の戦争を
ウ ソネ カ ウン u sone ka un	本当に
アヤイポソレ a=yayposore	通り抜けられる
ウ キ ア クニ プ u ki a kuni p	ということ
ネ ヒ ヘ ネ ヤ ne hi he ne ya	でしょうか。
コトウスユプ kotusuyupu	巫術を強めることを
アロロキシネノ arorkisneno	こっそりと
アキ コロ アナン a=ki kor an=an	私はしているのです。
アシヌマ アナクネ asinuma anakne	私は
イトウイパ プ ウイペ i=tuyupa p uype	斬られたものの子孫
イロンヌ プ ウイペ i=ronnu p uype	殺されたものの子孫で

アネイ ワ ネイ コロ  
a=ne[y] wa ne[y] kor

ありますから

ラナン…… ア……  
ran=an... a...

ラヤン マ ネ ヤッカ  
ray=an w\_a ne yakka

私が死んでも

コタネウエン ペ  
kotanewen pe

村に差し障りがある者

モシレウエン ペ  
mosirewen pe

国に差し障りがある者では

ソモ タパン ナ。  
somo tapan na.

ないのですよ。

カムイ ネ アン クル  
kamuy ne an kur

(けれど) 神なる人

カムイ ラメトク  
kamuy rametok

立派な勇者よ、

エライ ワ ネ ヤク  
e=ray wa ne yak

あなたが死んだら

エコラ モシリ  
e=kor a mosir

あなたの国の

ラマツ サク クニ プ  
ramat sak kuni p

魂がなくなるの

ネ ヒ タパン ナ。  
ne hi tapan na.

ですよ。

ウ ピリカノボ u pirkanopo	よくよく
エヤイカシカムイ e=yaykaskamuy	あなた自身の守り神を
コオロスツケ コロ koorsutke kor	励まして
トゥミ サンペ カ (?) tumi sampe ka(?)	戦いの心も (?)
トゥミ ケウトウム カ tumi kewtum ka	戦いの精神も
コヤイクプユプ koyayyupyupu	発奮して
エキ ナンコン ナ。 e=ki nankor_ na.	くださいな。
ウ ピリカノボ u pirkanopo	よくよく
ネノ イタカン カ nenno itak=an ka	私がこう言うのも
エオリパク カシパ e=oripak kasper	おそれおおいことです
アナッキコロカ anakkikorka	けれども
トウスノ クニ tusuno kuni	巫術をよく

アネ プ ネ クス a=ne p ne kusu	私はするので
トゥ マウ セレマカ tu maw sermaka	二つの風の背後を (?)
アマウトウサラ…… a=mawtusar…	
アトウスクシパレ a=tusukuspare	巫術にかけた
ウ キ ペ ネ クス u ki pe ne kusu	ので
アヌカラ ペ アナク a=nukar pe anak	(それで千里眼で) 見たものを
アイエ ハウエ ネ a=ye hawe ne	言いましたが
トゥムアン ケウトウム tumuan kewtum	憤慨する気持ちを
イココロ クニ i=kokor kuni	私に対して持つては
ソモ ネ ナンコロ」 somo ne nankor”	いけません」
イタツカラ カネ itakkar kane	(と) 言いながら
ウ チシ リミムセ u cis rimimse	泣き叫び

リミムセ トウイカ rimimse tuyka	叫びながら
イヨテレケレ ioterkere	理屈を言って抗議する
ウ キ コロカイキ u ki korkayki	けれど
アエ…… エアシラナ ae... easirana	それこそ
ウ サウレ ピト u sawre pito	弱い神が
イトウレン ヘ キ i=turen he ki	私についているのかと
ヤイヌアン カネ yaynu=an kane	思うと
アヤイケウトウムカ a=yaykewtumka-	私自身の心が
エアシラナ easirana	それこそ
アヤイモントナムカ a=yaymontumka-	私自身の力が
ウコユプユプ ukoyupuyupu	引き締まる。
ウ ネプ ピトホ u nep pitoho	何の神が



イコチャウキ i=kocorawki	私に向かって攻撃に
ウキアプクシナム u ki a p kusnam	くるとしても
シルンノ マシキン sirunno maskin	まさか
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦いの神は
カムイ ラメトク kamuy rametok	神なる勇者
ウタラ モンポキ utar monpoki	たちの下に
アオシマ クニ プ a=osma kuni p	入る (ほど弱い) 者
ソモ ネ ナンコロ somo ne nankor	ではないだろう。
イル…… イトゥレン カムイ iru... i=turen kamuy	私の憑き神よ、
ウ ピリカノポ u pirkanopo	よくよく
チェプンキネレ ciepunkinere	私を守って
イエカラカラ ヤン。 i=ekarkar yan.	ください。

オロワウイ スイ orowaun_suy	それから
リクン カント タ rikun kanto ta	高天に
アエオイナカムイ <sup>[2]</sup> Aeoynakamuy	アエオイナカムイ (という)
カムイ アユピ° kamuy a=yupi	神なる兄が
ウ アン ルウエ ネ。 u an ruwe ne.	いるのだ。
トゥムアン トウミ tumuan tumi	(彼は) 憤慨する戦いのほうを
コホサリ カ kohosari ka	向いても
カシ チオパシ kasi ciopas	私を助けに
イイエカラカラ カ i=ekarkar ka	駆けつけも
ソモ キ ヤ カ somo ki ya ka	しないのか。
タパンペ オッ タ tapanpe or_ ta	そこで
トゥムンチ カムイ tumunci kamuy	戦いの神

ウタロロケヘ utarorkehe	たちが
イコチョラウキ i=kocorawki	私を攻めて
イキキワネヤクン iki ki wa ne yakun	きたら
シルンノ マシキン sirunno maskin	まさか
アエオイナカムイ Aeoynakamuy	アエオイナカムイ (という)
カムイ アユピ° kamuy a=yupi	神なる兄も
イイエモシマ ペ i=emosma pe	私を捨て置くことは
ソモネナンコロ somo ne nankor	ないだろう。
ウエン メノコ wen menoko	悪い女が
イタクネヤッカ itak ne yakka	話したことは
チオラムサッカ cioramsakka	私を見下して
イイエカラカラ セコロ i=ekarkar sekor	いると

ヤイヌアン コロカ  
yaynu=an korka

思ったけれど

タパン テ パクノ  
tapan te pakno

つい今まで

オトゥ スイ アン タ  
otu suy an ta

二度も

オレ スイ アン タ  
ore suy an ta

三度も

イテクサモロ……  
i=teksamor...

私のそば……

【注】

- [1] クルセニツネヒ Kursenitnehi は怪鳥の名前。他の英雄叙事詩ではクルイセ kuruyse などという名称でも出てくる。
- [2] アエオイナカムイ Aeoynakamuy は人間に文化を教える人文神の名称。

## 14-2 カムイユカラ

## 「オキクルミ ヘペレ (ノオ)」

## オキクルミと小熊

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ノオ

now o o<sup>[1]</sup>

V ウ オキクルミ

オキクルミ

V u Okikurmi

V アイヌ アオナハ

人間である私の父が

V aynu a=onaha

V オトウ サナシケ

2度の礼拝

V otu sanaske

V ウウエノイエ コロ

礼拝を繰り返し

V uenoye kor

V ウ クルカシケ

そうしながら

V u kurkaske

V イタク オマレ

言葉をかけて

V itak omare

エネ オカ ヒ

こう言った

ene oka hi

V アコロ ヘペレ ポ

「私の小熊よ

V a=kor heper po

V ピリカノ アラパ V pirkano arpa	無事に行くことを
V エキ ナンコン ナ V e=ki nankor_ na	してください。
エネ アン クニ ene an kuni	このようにするべきだ
V ヘカチ エネ クシ V hekaci e=ne kus	あなたはまだ子供なので
V ラムイサム ペ エネ クシ V ramuysam pe e=ne kus	何もわからないものなので
V イナウ エコロ ヤッカ V inaw e=kor yakka	イナウをお前が持っても
V エムセコロ ヤッカ V emus e=kor yakka	刀を持っても
V エエシノツ ワ V e=esinot wa	それで遊んで、
エエニキツキク e=enikikkik	木をバンバン叩いて
V エエニタウキ V e=enitawki	木に切りつけ
V エウエンテ クス V e=wente kusu	だめにするので
V ヘル クワンノ V heru kuwanno	ただ、ひたすらに、

チトウイエ クワ <sup>[2]</sup> cituye kuwa	伐った杖を
V エシテコロサム V e=sitekorsam	手に
V ウ ウンテ カネ V u unte kane	持って
V ホサリ ペントク V hosari pentok	振り返りも
V ヘキル ペントク V hekiru pentok	振り向きも
エエウンケシケ e=eunkeske	しないで
V タアナコロ ペッ V taan a=kor pet	この私たちの川を
シシリムカ Sisirmuka	沙流川を
V タアナコロ ペッ V taan a=kor pet	この私たちの沢
V ウ ペッ トウラシ V u pet turasi	づたいに
V エアラパ アイネ V e=arpa ayne	行ったら
V トウ ペッ ネ アン マ V tu pet ne an w_a	二つに分かれていて

V コイカ ワ クシ ペッ V koyka wa kus pet	東の方を通る川
V ウ レヘ タシ V u rehe tasi	名前こそ
V チュペリキン ペッ V cuperikin pet	日の上る川
V カムイ リキン ペッ V kamuy rikin pet	神の上る川
V ウ ネ ルウエ ネ V u ne ruwe ne	というのだ
V チュッポク ワ クシ ペッ V cuppok wa kus pet	西の方を通る川
レヘ タシ rehe tasi	名前は
V チュポラカン ペッ <sup>[3]</sup> V cup orakan pet	日の沈む川
カムイ ラカン ペッ kamuy rakan pet	神が沈む川
V ウ ネ ルウエ ネ V u ne ruwe ne	そういう川なのだ
V ペッ ウトウル ウシ ペ V pet utur us pe	川の間にあるもの
カムイ ヌプリ kamuy nupuri	神の山だ



V ウ チェカント オロ	天に向かって
V u cekanto or	
ウ ソイパ カネ	そびえている
u soypa kane	
V カムイ ヌプリ	神の山
V kamuy nupuri	
V ランケ ウェンクツ	下の方の崖
V u ranke wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖
noiwan wenkut	
V ウ リク…… リクン ウェンクツ	上の方の崖
V u riku... rikun wenkut	
ノイワン ウェンクツ	六つの崖に
noiwan wenkut	
チエオカリ	とり囲まれた
cieokari	
V カムイ ヌプリ	神の山
V kamuy nupuri	
V アン ルウエ ネ ワ	あって
V an ruwe ne wa	
V チュプカシケ エコロ アイヌ	その東にあなたの父で
V cupkaske e=kor aynu	
エコロ カムイ カムイ エオナハ	あなたの父である神
e=kor kamuy kamuy e=onaha	

V ウ レヘ タシ V u rehe tas	その名前は
シララ メキヨ <sup>[4]</sup> Sirar mekiyo	岩のメキヨ
V カムイ メキヨ V Kamuy mekiyo	神のメキヨ
ウ ネ ルウエ ネ u ne ruwe ne	というのです
V カムイ エウヌフ エコツ トット V kamuy e=unuhu e=kor_ totto	あなたの神の母、あなたの母親
レヘ タシ rehe tasi	その名前は
エチュ…… チュペシカンマツ <sup>[5]</sup> e cu... Cupesikanmat	太陽の巡る女
V カムイシカンマツ V Kamuysikanmat	神の巡る女
ウ ネ ルウエ ネ u ne ruwe ne	というのです
V ウ ネ ワ アンペ V u ne wa an pe	そうであることが
エエペヌプル クス e=epenupur kusu	親似ですぐれているので
V エアラケヘ ワ V e=arkehe wa	あなたの片方から

V ワッカ チャラセ <sup>[6]</sup>	水が流れ落ちて
V wakka carse	
V エアラケ ワ	あなたのもう片方に
V e=arke wa	
チュプ ノカ オマ <sup>[7]</sup>	太陽の姿が描かれ
cup noka oma	
V キルウエ ネ クス	そうあるので
V ki ruwe ne kusu	
V カムイ エオナハ	神であるあなたの父の
V kamuy e=onaha	
オロ タ エアラパ	ところへ行って
oro ta e=arpa	
ネア ヌプリ チュプカシケ	その山の東側の方に
nea nupuri cupkasike	
シ アフンポル <sup>[8]</sup>	大きな洞窟が
si ahunporu	
V アン ルウエ ネ クス	あるので
V an ruwe nekusu	
ウ ポル カリ	洞窟を通過して
u poru kari	
V エアフン キ ワ	入って行って
V e=ahun ki wa	
V カムイ エオナハ オロ タ	神であるあなたの父のところに
V kamuy e=onaha oro ta	

エアラパ ヤクン e=arpa yakun	行ったら
エシソウン マ esisoun w_a	右座の方に
V エハラキソウン V eharkisoun	左座の方に
エアパアッカリ e=apaakkari	戸口の前を行ったり来たり
V キワネ ヤクン V ki wa ne yakun	そうするなら
アエエアパマカ ワ a=e=eapamaka wa	戸があけられて
エアフン ヤクン e=ahun yakun	あなたが入ったら
V ウホシキノポ V u hoskinopo	まっ先に
エコロ マラット e=kor maratto	あなたが供物を持って
V ホシキノ アラパ V hoskino arpa	先に行って
アエエケウトウムウェン (?) [9] a=e=ekewtumwen(?)	お前は気持ち悪がられて
カムイ オピッタ kamuy opitta	神様みんなが

V ウエカリ ワ V uekari wa	集まって
ピリカ マラット pirka maratto	立派な宴会が
V ウ アン コロ シラン V u an kor siran	開かれているでしょう。
V キ ワ ネ ヤクン V ki wa ne yakun	そうしたら
イテキ エア ノ iteki e=a no	座らないで
V ウ ソンコ アツパ V u sonko atpa	伝言の始まりを
エピタ カネ e=pita kane	解いて
V ウ ソンコ サラケシ V u sonko sarkes	伝言の最後を
エアッテ カネ e=atte kane	掛けて
V エソンコイエ ヤクン V e=sonkoye yakun	伝言を伝えるなら
V アエコプンテク キ ナ V a=ekopuntek ki na	喜ばれるでしょう」
V セコロカイ ペ V sekor okay pe	ということを

オキクルミ Okikurmi	オキクルミ
V アイヌ アオナハ V aynu a=onaha	人間の父が
V (ここから散文) V	
オトウサナシケ ウエノイエ otusanaske uenoye	礼拝して
コロ イエ ルウエ ネ ヒクス kor ye ruwe ne hikusu	言っているので
エネ アイエ イ ネクス ene a=ye h_i nekusu	そう言われたので
ネノ ペツ トウラシ nenno pet turasi	その通りに川づたいに
チトウイエ クワ cituye kuwa	切られた杖を
シテコロサムウンテ カネ sitekorsam'unte kane	手に持って
アラパアン アイネ ソンノ ポカ arpa=an ayne sonno poka	私が行ったら、本当に
アコロ ペツポ アラパ アイネ a=kor petpo arpa ayne	私達の沢に行くと
トウ ペツ ネ アン マ tu pet ne an w_a	沢が二つに分かれていて

カムイ ヌプリ アン ルウエ ネ kamuy nupuri an ruwe ne	神の山があったのです
チュプカシケヘ cupkaskhehe	その東に
アコロ カムイ アオナ a=kor kamuy a=onaha	神である父は
コアパアシンケ <sup>[10]</sup> koapaasinke	戸を開けている (と)
アイイエ プ ネクス a=i=ye p nekusu	言われたものなので
アラパアナクス ソンノ ポカ arpa=an akusu sonno poka	私が行くと、本当に
シアフンポル アン ルウエ ネ siahunporu an ruwe ne	大きな洞窟があったのです
アコルカリ a=korukari	その道を通して
アフナナクス ahun=an akusu	入ったところ
ソンノ ポカ イエトコ ウン sonno poka i=etoko un	本当に私の前方に
ピリカ マラット アン ハウエ pirka maratto an hawe	立派な宴を開いている声を
アヌ コロ アフナニネ a=nu kor ahun=an h_inē	聞きながら私は入って

オロワノ エシソウン マ orowano esisoun w_a	それから右座の方へ
エハラキシウン アパアッカリアナ (プ) eharkisoun apaakkari=an a (p)	左座の方へ戸口の前をうろうろすると
アイエアパマカ a=i=eapamaka	戸が開けられて
アフナン エネ アイェ ネ プ ahun=an ene a=ye ne p	入って、言われたとおりに
ソモ アアン ノ somo a=an no	座りもせずに
ソンコ アッパ アピタ カネ sonko atpa a=pita kane	伝言の始まりを解き
ソンコ サラケシ アアッテ カネ sonko sarkes a=atte kane	伝言の終わりを掛けながら報告して
ソンコイエアナクス sonkoye=an akusu	伝言を伝えると
オロヤチキ イコンヌアン <sup>[11]</sup> マ oroyaciki ikonnu=an w_a	思うに私は化け物であって
イコンヌ ペウレプ <sup>[12]</sup> アネ アアン マ ikonnu pewrep a=ne aan w_a	化け物の若熊だったので
カムイ アオナハ kamuy a=onaha	神である私の父が
シアペパスイ エリケカッタ siapepasuy erikekatta	太い火箸をさっと振り上げ



カムイ アウヌフ kamuy a=unuhu	神である私の母が
シアペケシ エリケカッタ siapekes erikekatta	薪の燃えさしをさっと振り上げ
アイキク <sup>[13]</sup> コレアシロロ タ a=i=kik kor easir oro ta	殴られてはじめて、そこで
インカラナクス inkar=an akusu	見ると
ケナシ ウナラペ イケシケ ワ kenas unarpe i=keske wa	湿地の化け物婆が私を呪って
イコンヌアン ネ ikonnu=an ne	私は化け物になって
アアン ルウェ ネ ナ aan ruwe ne na	いたのですよ。
タネ オカ ペウレブ tane oka pewrep	今いる若熊たちよ
アイヌ オルン aynu or un	人間に
アエエカシヌカラ チキ a=e=ekasnukar ciki	授けられても
イテキイ イコンヌ ヤン <sup>[14]</sup> iteki ikonnu yan	決して人を呪わないようにしなさい。
セコロ カムイ ハウエアン sekor kamuy hawean	と、熊が言いました

セコン ネ ヤカイエ                      という話よ。  
 sekor\_ ne yak a=ye

パクノよ〜                      おしまい。  
 pakno よ〜

#### 【注】

- [1] 本編の類話が、『神話集成』カムイユカラ編Ⅱに、「アイコンヌ ペウレブ」として、同じ鍋沢ネプキさんの語りで収録されている。ただし、本編とは別の録音であり、ところどころ詩句が違っている。また、金田一京助(1924)『アイヌの神典』に「化熊を誑して送った話」として、訳のみで掲載されている。語り手は鍋沢コポアヌで、大正8年12月14日の筆録とされている。また鍋沢元蔵も同じ話を伝承しており（中川・遠藤 2015 『国立民族学博物館所蔵鍋沢元蔵ノートの研究』）、鍋沢一族に語り伝えられる話であった可能性もある。『アイヌの神典』でのサケへは「ノーウウ。ノーウウ」となっており、サケへからも同一の話であることが感じられる。ただし、細かい部分は各話で色々と異なる。
- [2] *cituye kuwa e=sitekorsam u unte kane* : 後でわかるが、この熊は「化け物」にされてしまった熊である。そのために、通常のイオマンテで持たされるようなイナウも与えられず、刀も持たされず、ただ木を切っただけの杖を持たされたということである。
- [3] *cup orakan pet* : 金田一『アイヌの神典』では、チュペシカンペツ・カムイシカンペツとなっていて、訳はつけられていない。『久保寺辞典稿』では「*chup-eshikan pet*, *kamui eshikan pet* 日廻り川, 神廻り河」とある。一方 *rakan* という語は「小魚が産卵するために一か所に集まる」（『萱野辞典』）ことを表し、*cep orakan pet* であれば「魚が群れる川」と訳せる。しかし、ここでははっきりと *cup orakan* と発音している。*esikan* というのも語義不明な言葉なので、おそらく *pet*「川」の名前だということで、*cup esikan* を *cep orakan* と混同して、*cup orakan* という名前になってしまったのだろう。したがって「魚が群れる川」と考えていた可能性もあるが、ここでは *cuperikinpet*「日の上る川」と対になっているのだから、「日の沈む川」と訳しておくことにする。なお、『神話集成』では、これを *cep orakan pet* と聞いて「魚が群れる川」と訳しているが、録音を聴く限りでは *cup orakan pet* と発音している。
- [4] *Sirar mekiyo Kamuy mekiyo* : *mekiyo* は意味不明。
- [5] *Cupesikanmat* : 前述の川の名前と違って、ここでは『アイヌの神典』と同じく、*cup esikan mat kamuy esikan mat* となっている。川ではないので、*rakan* という動詞は誘導されなかったのだろう。ここでは『アイヌの神典』にしたがって「太陽の巡る女」と訳しておくが、*erikin* と対になっていたはずであるから「太陽の沈む女」と訳すべきかも

しれない。

- [6] e=arkehe wa wakka carse : これは Sirar mekiyo 「岩のメキヨ」を父親に持つということで、岩としての性質を身にまとっているということである。
- [7] e=arke wa cup noka oma : これは Cupesikanmat 「太陽の巡る女」を母親に持つということで、太陽の性質を身にまとっているということである。
- [8] ahunporu : この言葉は「あの世への入り口」を指すことが多いが、この奥にいるのは熊の親である。ということは、これは熊の巣穴ということになるので、「洞窟」と訳すことにする。
- [9] a=i=ekewtumwen(?) : 笑いながら言っていて、はっきり聞き取れない。こう言っているかどうか不確定だが、笑うような内容のことを言っているのだとすれば、本当はオキクルミが言っただけで、お前は化け物だ」ということを、ここでちょっと面白がって挟んでみたということも、考えられる。
- [10] koapaasinke : ko- 「～に向かって」 apa 「戸口」 asinke 「～を出す」。熊の巣穴のことなので、「戸口を外に出す」という言い方をしている。
- [11] ikonnu は「呪いをかける」という意味なので、ikonnu=an をそのまま訳せば「私は呪いをかける」となるのだが、それでは、次ページの kenas unarpe i=keske wa 「湿地の化け物婆が私を呪って」とつながらない。したがって、ここでは ikonnu を「呪いがかけて化け物となった」という意味で解釈している。『神話集成』では、同じ表現を「その呪いにかかった私は」と訳し、その次のオラ ネ ora ne 「そして」という文に対して「アイヌに悪さをしたゆえに」という訳をつけている。これはやはり ikonnu=an を2行にわたって解釈していると見るべきところである。ちなみに『アイヌの聖典』では、実の父親が Sirara mekiyo Kamuy mekiyo、実の母親が Cupesikanmat Kamuysikanmat であるという出自によって、化け物とされていることになっている。
- [12] ikonnu pewrep : 『アイヌの神典』の「お化熊」の原文もおそらくこれだと思われる。ここでは呪われて化け物となったという解釈をしている。
- [13] a=i=kik : 他の伝承では、出自のせいで化け物になったことになっているので、それを解き明かしたオキクルミに感嘆するという展開になる。したがって、本編のように仔熊を叩くというような展開にはならない。
- [14] iteki ikonnu yan : 話の展開からは、むしろ「呪われないようにしなさい」なのだが、ikonnu 自体は「呪う」という意味なので、こう訳した。『アイヌの神典』などの類話を見る限り、この仔熊は誰かを呪っているわけではなく、ただの熊とは違う出自を持つものとして、恐るべき存在ということだったと思われるが、この話では kenas unarpe などを登場させたために、ikonnu の意味することが不明になっている部分がある。

## 14-3 カムイユカラ「オキクルミ ヘペレ (ノオ)」解説

語り手：鍋澤ねぶき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えっと、あの一、私は一匹の小熊でありました。オキクルミカムイの所で養われておった。

鍋澤：XXX humi hawas XXX

萱野：えー、ある日のこと、私の育ての親であるオキクルミカムイが言うことにはもうお前も一人前の、一人前の熊になったので神への国へお帰り願うと、けれども子供、まあ一人前というよりも、まだ、もう神の国へ帰してもいいぐらいの大きさになったけれども、まだ子供であるが故にイナウとかそうしたものを持たすわけにいかないと、だからほかの物を持たしてやるから神の国へお帰りなさいと、この川をずっと上って、**koyka wa kus pet**〔東側を通る川〕というのは上って行って、その、東側だな？  
**koyka wa...**

鍋澤：んだんだ

萱野：東側の方を流れている川を上っていくと一つの **poru**〔洞窟〕つちゅうのは、ま、洞窟があると、そこへ行くと、んー神様がたくさんお前を待っておるから、そこへいきなさいと言われたので神の国へ、まあ帰って行くと、言われるままに帰って行って、言われた道そのままにその川を上っていくと、たくさんの神様が集まって何か、まあ飲んでるか、相談しておる。そこへいったと、そして家へもう急に入らずに2~3回戸を通り越してから入るようにと言われたので、それを戸を、入口を通り越し、通り越しながら、まあ入った。そしたら、そうして自分の言われたことを父神、母神に言うと、んー、父親が **apekis**〔火の燃え尻〕取ったんだっか？

鍋澤：**apepasuy**〔火箸〕

萱野：apepasuy?

鍋澤：うんうん。

萱野：父親が火箸を取りあげて私を殴り、母親は……

鍋澤：apekes。火の……

萱野：火の燃え尻を取って私を殴りつけた。

よくよく見たら、よくよく自分自身の身体を見たら、私は普通の熊ではなくって、アイヌを呪おうとして変なその、まあ普通でない身体つき、すべての格好が変な熊であったと。

それでオキクルミカムイに、そういうふうに言われて神の国へ帰ってきたのであったことが良く分かったという、その小熊の話ですね。kamuyyukar〔神謡〕でした。

## 14-4 カムイユカラ

「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ(エーイ  
ノオー)」

## 人間界の木の名前と神の国の木の名前

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=エイノーオ  
einoo

V コタン コロ サポオ  
V kotan kor sapo

村を持つ姉

モシリ コロ サポオ  
mosir kor sapo

国土を持つ姉が

イレシパ キ ワ  
i=respa ki wa

私を育てて

V ランマ カネイ  
V ranma kane

いつもいつも

カッコロ カネイ  
katkor kane

ちゃんと育ててくれて

オカアン ヒケイ  
oka=an hike

暮している

V コタン コロ サポオ  
V kotan kor sapo

村を持つ姉

モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉は
ピリカ スケイ pirka suke	おいしい料理を
エヤイケスプカ eyaykesupka	作るために
エワキタラア ewakitara	あちこち動き回って
カパラペ イタンキ kaparpe itanki	上等なお椀や
カパラペ オッチケ kaparpe otcike	上等なお膳を
ウコエロシキ ukoeroski	そろえて
イコイプニイ i=koypuni	私に食べさせて
アシヌマ アナク asinuma anak	私は
カネ アムセツイ kane amset	立派な寢床で
チトウイエ アムセツイ cituye amset	切ってある寢床で
アムセツ カ タ amset ka ta	寢床の上で

トミカヌイエイ tomika-nuye	刀の鞘に彫刻したり
イコロカヌイエイ ikorka-nuye	宝物に彫刻したり
ネプキ ネ アキイ nepki ne a=ki	仕事にして
キ コン ネシン ki kor_ nesi	すっかりそうして
オカアン アワ oka=an awa	暮していたが
V ヘムトマニ ワノ V hemtomani wano	このごろ
シリキ シリイ sirki siri	おこったことは
エネ オカ ヒイ ene oka hi	このようなことである。
リクイスイ カリイ rikuysuy kari	煙出し穴から
チヌイエ カンピイ cinuye kampi	文字の書かれた紙が
チラナランケイ ciranaranke	降りてきた
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉



モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉の
テムニコロホオ temnikoroho	腕の中に
チオランケカラ ciorankekar	降りてきて
V コタン コロ サポオ V kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が
ヌカラ ヌカラ nukar a nukar a	見て、見て
ネア カンピイ nea kanpi	例の紙を
ヌカラ ヌカラ nukar a nukar a	何度も見て
イタサ パクノ itasa pakno	お返しに
カンピ <sup>o</sup> リキンカ kampi rikinka	紙を高い所に上げて
ノイネ カネン noyne kane	いるように
イラムアン ナン iramu=an na	思って

V イラムピシキレイ V irampiskire	心の中で数えた
アキ ヒケ a=ki hike	そうしたら
トゥノイワイ スイ tunoiwan_ suy	何回も何回も
ネ コトムノオ ne kotomno	そうしているように
アエサンニヨウ a=esanniyo	思って
V キ ワ ネ アクス V ki wa ne akusu	いたところ
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が
イコパクサマン i=kopaksama	私のほうを
ノンカン ランケ nonkar_ ranke	何度もうかがい
イタク ルスイ ペ itak rusuy pe	言いたいことあるもの
ソネ クス sone kusu	だから

トゥ イタク カイノン tu itak kaynon	二つの言葉のつばを
イコルキ ikoruki	(口に出せずに) 飲み込んだ
キ ロク アイネ ki rok ayne	あげる
イタク ハウエ itak hawe	言った
エネ オカ ヒイ ene oka hi	ことには
V アレス カムイ V a=resu kamuy	「私が育てた神
アレス ピトウ a=resu pito	私が育てた人よ
イタカン チキ itak=an ciki	私が言う言葉を
エイヌ カトゥウ e=inu katu	よく聞いて
エネ オカ ヒイ ene oka hi	ください
V ニソシツチュウ イ V nisositciw h_i	雲が大地に突き刺さるところの
イマカケ タア imakake ta	その向こうに

ポロ ニツネ カムイ poro nitne kamuy	大きな悪い神が
アン ルウエ ネウ an ruwe ne	暮している
ネア ニツネ カムイ nea nitne kamuy	その悪い神が
V アイヌ コタン V aynu kotan	アイヌの村や
シサム コタン sisam kotan	和人の村を
コタン クルカシイ kotan kurkasi	村の上に
オテク ラチチイ otek racici	その手をだらりと下げて
オケマ ラチチイ okema racici	その足もだらりと下げて
ケムラマシテイ kemramaste	飢饉を起こそうと
アン ルウエ ネウ an ruwe ne	している
ネア ニツネ カムイ nea nitne kamuy	その悪い神を
コイキ クニ クルウ koyki kuni kur	退治しようとする人を

モシリ エピッタ mosir epitta	国中で
アフナラ ヤッカ a=hunara yakka	探しても
ポロ ニツネ カムイ poro nitne kamuy	大きな悪い神と
エトゥナンカラ クル etunankar kur	立ち向かえる人は
シネン カ イサム sinen ka isam	誰もいない
V エアニ パテク V eani patek	あなただけしか
アエオトゥワシ a=e=otuwasi	頼れるものはいない
セコラン ペ クスウ sekor an pe kusu	そのようなことなので
カンピ ラン シリ kanpi ran siri	紙が降りてきたようだ
ネ ワ ネ ヤッカ ne wa ne yakka	ではあったが
ナ エポン キ ワ na e=pon ki wa	まだあなたは小さくて
アエアプテ クスウ a=e=apte kusu	危ないと思うので

アエエイカタイタク a=e=eykataitak	代わりにしゃべって断り続けた
ネ カンピヒ ne kanpihi	その紙を
アリキン カ ヤッカウ a=rikin ka yakka	上げても
タネ アナクネ tane anakne	今はもう
トゥノイワイ スイ tunoiwan_ suy	何回も何回も
カンピ ラン ヤクン kanpi ran yakun	紙が降りてきて
アエイタク エアイカプ パクノ a=eytak eaykap pakno	返事ができないほど
パクノ オカア コロカ pakno oka korka	それほど（手紙が来た）のだが
ポノッカヨ アナク pon okkayo anak	若い男は
フオ イキ ペイ huo iki pe	フオと気合を掛けて
ネ ルウエ ネ ナン ne ruwe ne na	するものですよ
エアラパ エアシリ e=arapa easir	あなたであってこそ

エキ ハウエ ネ ナウ e=ki hawe ne na	できるという話ですよ」
セコロ オカイ ペイ sekor okay pe	ということ
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉は
イエ ルウエ ネ ye ruwe ne	言った
V エアラパ シリ V e=arpa siri	「あなたが行く時は
エネ アン クニイ ene an kuni	このようにしなさい
V エキムネ レホッ V ekimne rehot	山 <sup>▲</sup> の方へ60
エピシネ レホッ episne rehot	浜 <sup>▲</sup> の方へ60
イナウ エアシイ inaw e=asi	イナウを立て
ネ ウトゥルフ ne uturuhu	その間を
イタッコホリピイ itakkohoripi	言葉とともに

エキ カネ ワ e=ki kane wa	舞をして
エヤイエイノンノイタク ワ エアラパ e=yayeynonnoytak wa e=arpa	祈りの言葉を言って、行く
シリ エネアン クニ siri ene an kuni	時はこうするのですよ
アイヌ オツ タウ aynu or_ ta	アイヌの所では
スス セコロ susu sekor	ヤナギと
アイエ チクニイ a=ye cikuni	言われている木が
カムイ オツ タ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は
カミ レタラ クルウ kami retar kur	肉の白い男
カミ レタラ マツ kami retar mat	肉の白い女
ネ ルウエ ネウ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	アイヌのところで



ケネ セコロ kene sekor	ハンノキと
アイェ チクニイ a=ye cikuni	言われている木が
カムイ オッ タ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は
カミ フレ クル kami hure kur	肉の赤い男
カミ フレ マツ kami hure mat	肉の赤い女
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オッ タ aynu or_ ta	アイヌの所で
ブンカウ セコロ punkaw sekor	ハシドイと
アイェ チクニイ a=ye cikuni	呼ばれている木が
カムイ オッ タ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は

コパカクセ クル kopakakse kur	そこで火がはねてバチバチなる男
コパカクセ マツ kopakakse mat	そこで火がはねてバチバチなる女
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オツ タウ aynu or_ ta	アイヌの所で
チクペニ セコロウ cikupeni sekor	エンジュと、
アイェ チクニイ a=ye cikuni	呼ばれている木が
カムイ オツ タ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は
エーコアイアネ……[1] ekoayane...	
フラ トウナシ クル hura tunas kur	臭いの早い男
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オツ タ aynu or_ ta	アイヌの所で

アユシニ セコロウ ayusini sekor	タラノキと
アイェ チクニイ a=ye cikuni	呼ばれている木が
カムイ オッ タウ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は
コアイランケ クル koayranke kur	そこへ矢の降りてくる男
コアイランケ マッ koayranke mat	そこへ矢の降りてくる女
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
アイヌ オッ タウ aynu or_ ta	アイヌの所で
ソコニ セコロウ sokoni sekor	ニワトコと
アイェ チクニイ a=ye cikuni	呼ばれている木が
カムイ オッ タウ kamuy or_ ta	神の国で
アレコ カトウウ a=reko katu	呼ばれている様子は

オシパラニ osiparani	尻に糞が広がっている木
ネ ルウエ ネ ne ruwe ne	と、言うのである
イワン チクニイ iwan cikuni	6種類の木を
イナウ ネ エカラ inaw ne e=kar	イナウに作り
エピシネ レホッ episne rehot	浜に方へ60
エキムネ レホッ ekimne rehot	海の方へ60
イナウ エアシイ inaw e=asi	イナウを立て
ネ ウトゥルフ ne uturuhu	その間に
イタッコホリピイ itakkohoripi	言葉とともに
エキ カネ ワウ e=ki kane wa	舞を舞いながら
エアラパ クニイ e=arpa kuni	行く
ネ ルウエ ネ ナウ ne ruwe ne na	のだ」

セコロカイ ペ sekor okay pe	ということ
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が
イエ ルウエ ネ ネノ ye ruwe ne neno	言うのである (ので) そのように
エピシネ レホッ episne rehot	浜の方に60
エキムネ レホッ ekimne rehot	山の方に60
イナウ アアシイ inaw a=asi	イナウを立て
ネ ウトゥルフ ne uturuhu	その間を
イタッコホリピイ itakkohoripi	言葉とともに舞を
アキ ルウエ ネウ a=ki ruwe ne	舞った
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が

イヨシマケヘイ i=osmakehe	私の背後で
エホリピ カネイ ehoripi kane	舞をした
V パクノ ネ コロ V pakno ne kor	すると
V コタン コロ サポオ V kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が
スツ ケトウシイ sut ketusi	祖母から伝わる鞆を
サナサンケイ sanasanke	出して
ケトウシ アサム ketusi asam	鞆の底に
テックシパレエ tekkuspare	手を入れて
カムイ ハヨクペイ kamuy hayokpe	神の鎧を
サナサンケエ sanasanke	中から出して
アシクルカサム a=sikurkasam	私の身体の上に

エオピラサ eopirasa	広げた (着せかけた)
V ウオッカネクツ V uokkanekut	金鎖のベルトを
エアラサイネノ earsayneno	一重に
アヤイコサイエイ a=yaykosaye	自分の身体に締めて
カムイランケタム kamuy-ranke-tam	神から授かった刀を
アクツポケチウ a=kutpokeciw	腰にさして
V カパラペ カサア V kaparpe kasa	薄手の笠 <sup>㊦</sup>
カサ ラントウペプ kasa rantupep	(鎧の兜の) 笠のあご紐を
アヤイコユプ a=yaykoyupu	私は締めた
V キナ トウイエ ホシ V kina tuye hos	草切る脚絆
ニペシ ポンパキイ nipes ponpaki	シナの脛当てを
アヤイポクシリイ a=yaypoksir	足に

カラカラ カネ karkar kane	つけて
パクノ ネ コロ pakno ne kor	それから
コタン コロ サポオ kotan kor sapo	村を持つ姉
モシリ コロ サポオ mosir kor sapo	国土を持つ姉が
シロカネ チョリイ sirokane cori	銀の草履を
サナサンケ sanasanke	出して
「タパン チョリ “tapan cori	「この草履を
エウシ ワ ネ ヤクン e=us wa ne yakun	履いたら
タン アトゥイ ソ カ tan atuy so ka	この海原も
ニシテ ソ ネ niste so ne	固い原のように
エカラ カネ ワ e=kar kane wa	して
ニソシツチュウ イ nisositciw h_i	雲が大地に突き刺さる



イマカケ ウン imakake un	その向こうに
エアラパ キ ワ e=arpa ki wa	あなたが行って
ポロ ニツネ カムイ poro nitne kamuy	大きい悪い神を
エコイキ ヤッカウ e=koyki yakka	やっつけても
パテク ソモ ネ patek somo ne	それだけでなく
V ポクナモシルンノ V poknamosir unno	死者の国まで
テイネ モシリ teyne mosir	湿地の国で
ヤチネ モシリ ウンノ yacine mosir unno	湿った泥の国まで
エアラパ ヤッカウ e=arpa yakka	あなたが行っても
タン…… シロカネ チョリイ tan... sirokane cori	銀の草履を
エウシ ワ ネ ヤクン e=usi wa ne yakun	履いていたら
コタン クンラリイ kotan kunrari	村の隅の蔭

モシリ クンラリイ  
mosir kunrari

国土の隅の蔭

(ここから散文語りになる)

ネプ エシトマ カ  
nep e=sitoma ka

何も恐れる

ソモ キ ナ  
somo ki na

こともなく

エアラパ ナ セコロ  
e=arpa na sekor

あなたは行くのだよ。と、

アニ パクノ クヌ よ  
an hi pakno ku=nu YO

そこまでしか聞いてないのよ

いたましい

もったいない

(萱野茂：あ～そうね)

ほんとによ～

【注】

[1] この行は言いよどみ。

[2] カサはサケ（酒）と同じようにアイヌ語になっていると考えた方がよい。

## 14-5 カムイユカラ「アイヌモシリ チクニレ カムイ モシリ チクニレ (エーイノオー)」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これはアイヌの所でいう木の名前は、**kamuy** [神] は何ということかと、  
ゆうようなことが入っているわけだな。今の場合な。

鍋澤：んだんだ。

萱野：うん。だから、

フチ：神様のつけた……

鍋澤：**inaw ne a=kar\_ cikuni** [イナウを作る木が] こんだけあるんだと。

萱野：うんうん、なるほどな。

鍋澤：**iwan cikuni** [六つの木、たくさんの木]

萱野：うん。だから、この場合はその今まで聞いたことのない、そういうその  
アイヌとそれから神様の木の呼び方の差が出てるわけだな。

鍋澤：うんうん、んだんだ。あれも **Poyyaunpe ne hawe** たか [ポイヤウンペ  
の話だか] **oro wa suy kotan kor sapo mosir kor sapo hunta kamuy ne  
hawe** たか [そこからまた村を領有する姉、国土を領有する姉、何の神様  
の話だか]、まあ……、**Poyyaunpe** こうでもどうすれっちゅうんだ (?)  
[ポイヤウンペがこうでもどうしろと言うんだ]。

## 14-6 カムイユカラ

「オキクルミ シリカプ (トウスナパヌ)」

オキクルミとかじきまぐろ

語り：鍋澤ねぶき

サケへ V=トウスナパヌ  
tusunapanu

V オキクルミ<sup>[1]</sup> オキクルミと  
V Okikurmi

V サマユンクル<sup>[2]</sup> サマユンクルが  
V Samayunkur

V ウトゥラ ヒネ 一緒に  
V utura hine

V レパ クス アラキ 沖にカジキマグロ漁のために来て  
V repa kusu arki

V エトコホ タ その先で  
V etokoho ta

V カンペ クルカ (私は) 波の上に  
V kanpe kurka

V チョシプス 浮かび上がった  
V c=osipusu

V アラキ ヒネ (ふたりが) 来て  
V arki hine

V ホシキノポ V hoskinopo	まず
V サマユンクル V Samayunkur	サマユンクルが
V イシリコオツケ V i=sirkootke	私に銚を
V キ プ ネ コロカ V ki p ne korka	刺したものだが
V アヌ フミ カ V a=nu humi ka	私は（サマユンクルの招待の言葉を）聞きも
V オアリサム ノ V oar isam no	全く せずに
V トウ アトウイ ペンルル V tu atuy penrur	二つの海の縁を
V チェキラ V c=ekira	引き連れて逃げて
V トウシ サラケシ タ V tus sarkes ta	綱の端に
V コムケ コムケ V komke komke	身体を曲げ曲げして
V キ プ ネ コロカ V ki p ne korka	いたけれど
V チヌ イ カ イサム ノ V ci=nu h_i ka isam no	（サマユンクルの言葉を）聞き入れもしないで

トゥ アトゥイ ペンルル tu atuy penrur	二つの海の縁を
V チェキラ V c=ekira	引き連れて逃げ回った
V キ ロク アイネ V ki rok ayne	あげく
V タネ アナクネ V tane anakne	今は
V サマユンクル V Samayunkur	サマユンクルが
V シンキ イポロ V sinki ipor	疲れた顔つきで
V エイポットウムマ V eypottumma	その顔つきからして
V シンナ カネ V sinna kane	以前と違って
V キ ロク アイネ V ki rok ayne	さんざん疲れたあげく
V チポ…… チプ ウプソツ タ V cipo... cip upsor_ ta	舟の懷に
V ヤイラメコモ V yayramekomo	倒れた。
オロワノ orowano	それから

V オキクルミ V Okikurmi	今度はオキクルミが
V イシリコオツケ V i=sirkootke	再び、私を銚で突いて
V キ プ ネ コロカ V ki p ne korka	そうしたけれど
アヌ フミ カ イサムノ スイ a=nu humi ka isamno suy	私は再び知らんぷりをして
トゥ アトゥイ ペンルル tu atuy penrur	二つの海の縁を
V チェキラ V c=ekira	連れて逃げ回って
V ネイ タ パクノ V ney ta pakno	どこまでも
V オキクルミ V Okikurmi	オキクルミが
V ペウレ フムセ V pewre humse	若い 掛け声を
V エヤイオフムセ V eyay'ohumse	自分に掛け声をかけて
V ウシヒタラ V ushitara	掛けながら
V トウシ サラケシ タ V tus sarkes ta	綱尻に

V コムケ コムケ	身体を曲げ曲げして
V komke komke	
V キ プ ネ コロカ	そうしたもののだけれど
V ki p ne korka	
V トウ アトウイ ペンルル	二つの海の縁を
V tu atuy penrur	
V チェキラ	私は逃げ回って
V c=ekira	
V キ ロク アイネ	あげる
V ki rok ayne	
V オキクルミ カ タネ	オキクルミも今はもう
V Okikurmi ka tane	
シンキ イポロ	疲れた顔つきで
sinki ipor	
V エイポットウム マ	その顔つきからして
V eypottom w_a	
V シンナ カネ	すっかり変わっていて
V sinna kane	
V テク トウイポキ	手の下側と
V tek toypoki	
V テク トウイカシ	手の上側に
V tek tuykasi	
V トウ ケム ポッピセ	二つの (たくさんの) 血豆が
V tu kem poppise	



V エラチツケ V eracitke	ぶら下がり
V キワネコロ V ki wa ne kor	そうしながら
V エネ イタキ V ene itak h_i	言う事には
V タン ウェン シリカブ V tan wen sirkap	「この悪いカジキマグロめ
V シルンウェイ シリカブ V sirun-wen_ sirkap	本当に悪いカジキマグロめ
V エヤイオッシウエン V eyayossiwen	気が進まずに
シンネ ヤクン sinne yakun	いるのなら
トウサトウイエ クス ネ ナ tus a=tuye kusu ne na	私は綱を切るのですよ
V タン テ ワノ V tan te wano	これから
V エアラパ アイネ V e=arpa ayne	お前が行ったら
V キテ アナクネ V kite anakne	銚先は
V ポネ ネ クス V pone ne kusu	骨でできているので

V キテ ノッ アナク	鋸の刃は
V kite not anak	
V カネ ネ クス	鉄でできているので
V kane ne kusu	
V エオッシケ ウン	お前の腹の中に
V e=ossike un	
V ポネ ケウレ フム	骨を削る音
V pone kewre hum	
V カネ キッキクム	鉄を打つ音
V kane kikkik h_um	
V ウオプク カネ	入り混じって
V uopuk kane	
V オパナクネ	槍（の柄）は
V op anakne	
V シウリ ネ クス	シウリの木でできているので
V siwri ne kusu	
V エアラケヘ ワ	お前の体の片側から
V e=arkehe wa	
V シウリ タイ ヘトウク	シウリの林が生い茂り
V siwri tay hetuku	
トウシ アナクネ	綱は
tus anakne	
V ハイ ネ クス	イラクサでできているので
V hay ne kusu	

V エアラケヘ ワ	お前の体の片側から
V e=arkehe wa	
V ハイ サレトウク	イラクサの原が生い茂り
V hay sar h_etuku	
V エアラパ ポカ	お前がやっに行くことも
V e=arpa poka	
V コヤイクシ アイネ	できなくて
V koyaykus ayne	
V エエカリ	お前に向かって
V e=ekari	
V エウン セセク レラ	熱い風が
V eun sesek rera	
V ポプケ レラ	暖かい風が
V popke rera	
V エク ワ ネ ヤクン	吹いて来たら
V ek wa ne yakun	
V エエサンペヘ	お前の肝は
V e=esanpehe	
V サツナタラ	からからになり
V satnatara	
V エアラパ ポカ	進むことも
V e=arpa poka	
V ニウケシ アイネ	できないでいるうち
V niwkes ayne	

V シシリムカ <sup>[3]</sup>	沙流川の
V Sisirmuka	
V サノプトッフ	河口近くに
V sanoputuhu	
V エオヤン ヤクン	岸に上がったら
V e=oyan yakun	
V ウサ ウエイ セタ	いろいろ悪い犬や
V usa wen_ seta	
V ウサ チロンヌプ	いろいろな狐や
V usa cironnup	
V ウサ ウエン チカプ	いろいろな鳥が
V usa wen cikap	
V ウエンノ ウエンノ	ぞんざいに、
V wenno wenno	
V エトクパトクパ	お前を突っついて突っついて
V e=tokpatokpa	
V エリシパリシパ	お前をむしってむしって
V e=risparispa	
V エカ ウノクイマ	お前にウンコやら
V e=ka un okuyma	
V エカ ウノソマ	おしっこやらをかけられて
V e=ka un osoma	
V ネ ワ アンペ	それで
V ne wa anpe	

V

V

(ここから散文語りになる)

エエヤイカムイネレ ナ

立派な神になるであろうよ

e=eyaykamuynera na

ホクレ アラパ セコロ ハウエアン コロ

さっさと行け」と言いながら

hokure arpa sekor hawean kor

オキクルミ

と、オキクルミが言って

Okikurmi

トウシ トウイエ ヒケ

綱を切ったけれど、

tus tuye hike

(ここから韻文語りに戻る)

アイヌ イタク

(たかが) 人間の言葉

aynu itak

V ネ ワ オカイペ

であるものを (と)

V ne wa okay pe

V ヤイヌアン クス

思ったので

V yaynu=an kusu

V ラウケミナ

含み笑いをして

V rawkemina

V アウウエスイエ

面白がって

V a=uesuye

V アラパアン アワ

ずうーっと行ったところ

V arpa=an awa

V ソンノ ポカ	本当に
V sonno poka	
V アラパアン アイネ	進んで行くうちに
V arpa=an ayne	
V アオッシケ ウン	腹の中で
V a=ossike un	
V ポネ ケウレ フム	骨を削る音がして
V pone kewre hum	
V カネ キッキク フム ウウオプク カネ	鉄を打つ音がして入り混じり
V kane kikkik hum uopuk kane	
アアラケヘ ワ	私の半分から
a=arkehe wa	
V ハイ サレトウク	イラクサが生い茂り
V hay sar h_etuku	
V アアラケヘ ワ	もう半分から
V a=arkehe	
V シウリ タイ ヘトウク	シウリの林が生えて
V siwri tay hetuku	
V アラパ ポカ	行くことも
V arpa poka	
V アエアイカプ アイネ	できなくて
V a=eaykap ayne	
V	
V	

(ここから散文語りになる)

ソンノ ポカ シシリムカ  
sonno oka Sisirmuka

本当にも、沙流川の

サノプトゥ タ ヤナン  
sanoputu ta yan=an

河口に上陸した

ル ネ アクス  
ru ne akusu

すると

ウサ ウェン チカブ  
usa wen cikap

いろいろ悪い鳥や

ウサ チロンヌブ  
usa cironnup

いろいろな狐や

ウサ ウエイ セタ  
usa wen\_ seta

いろいろ悪い犬が

アラキ ワ  
arki wa

来て

ウェンノ ウェンノ  
wenno wenno

ぞんざいに

イリシパリシパ  
i=risparispa

私をむしってむしって

イトクパトクパ  
i=tokpatokpa

私を突っついて突っついて

アイネ イカ ウノソマ  
ayne i=ka un osoma

あげく、私にウンコをかけ





## 14-7 ウエペケレ

## 「オタサムンクル」

## オタサムの人

語り：鍋澤ねふき

タ…… オタサム シコロ アイェ ウシケ タ オカアン ルウェ ネ シコロ

ta... Otasam sekor a=ye uske ta oka=an ruwe ne sekor

オタサムというところに私たちは暮らしているのだと

アユピヒ ハウエアン コロ

a=yupihi hawean kor

私の兄が言いながら

アユピヒ トウラノ オカアン ヘカチ アネ

a=yupihi turano oka=an hekaci a=ne

私は兄と一緒に暮らしている子供で

マク ネ ワ ネ ルウェ ネ ア シネ チセ ネノ オカアン ペ ネ ヒケ

mak ne wa ne ruwe ne y\_a sine cise neno oka=an pe ne hike

どのような訳であるのか、一軒だけで暮らしていて

クンネイワ アン コロ…… パタパラセ アエプ アン マ アエ

kunneywa an kor... pataparse aep an w\_a a=e

朝になると、湯気の立った食事があつて、それを食べ

オヌマン アン コロ スイ

onuman an kor suy

日が暮れるとまた

セセク アペ…… アエプ アン マ アエ コロ オカアン

seseq ape... aep an w\_a a=e kor oka=an

熱い食べ物があつて、それを食べながら暮らしていた

アユピ トウラノ キ プ ネ アイケ…… アクシ

**a=yupi turano ki p ne ayke... akus**

兄とともにそうして暮らしていたところ

アユピヒ タネ ポロ ヘカチ ネ ワ オカアン ペ ネ ア プ

**a=yupihi tane poro hekaci ne wa oka=an pe ne a p**

兄は今や大きな少年になって暮らしていたのであったが

エネ ハウエアニ

**ene hawean h\_i**

兄はこのように言った

「ウエン カス ミシムアン クス トオ イアラモイサム タ コタン……

**“wen kasu mismu=an kusu too iarmoysam ta kotan...**

「あまりにも寂しいので、ずっとあちらの対岸に

コタン アン クス エウン シネウパアン ロ」

**kotan an kusu eun sinewpa=an ro”**

村があるのでそこへ遊びに行こう」

セコロ ハウエアニ コロ イトウラ ヒネ パイエアン ルウェ ネ アクス

**sekor hawean kor i=tura hine paye=an ruwe ne akusu**

と言いながら私を連れて出かけて行くと

ソンノカ イ…… イアラモイサム タ インネ コタン アニネ オロ タ……

**sonnoka i... iarmoysam ta inne kotan an h\_ine oro ta...**

本当に、対岸に大きな村があつてそこに

オロ タ パイエアニネ

**oro ta paye=an h\_ine**

そこに出かけて行って

コタン ノシキ タ モシリ パク チセ アン イケ タ

**kotan noski ta mosir pak cise an h\_ike ta**

村の真ん中に島ほどもある大きな家があつて

ソイ タ ミムタラ カ タ ロカニネ オカアン アクス  
 soy ta mimtar ka ta rok=an h\_ine oka=an akusu  
 その外の庭の所に座っていると

ピリカ ポン メノコ ソイネ ヒネ イヌカラ アクス オラウン  
 pirka pon menoko soyne hine i=nukar akusu oraun  
 美しい若い娘が出てきて、私たちを見るとそれから

チセ オルイ イエ ハウエ アシ アクス オラ  
 cise or un\_ ye hawe as akusu ora  
 家に向かって声をかけると

オンネクル イタク ハウ エネ ハウエアシ  
 onnekur itak haw ene haweas  
 老人の音がこう聞こえた

「ネイ ワ アラキ ヘカッター  
 “ney wa arki hekattar  
 「どこから来た子供たちが

オカ ハウエ ネ…… ハウエ ネ ヤッカ  
 oka hawe ne...hawe ne yakka  
 いるというのであろうとも

エアフプテ イケ マク？」  
 e=ahupte h\_ike mak?”  
 入れてやったらどうだ？」

セコロ ハウエア  
 sekor hawean  
 と言った

オラ ソイネ ヒネ イアフンテ クス イエ ヒネ  
 ora soyne hine i=ahunte kusu ye hine  
 それから若い娘が出てきて私たちに入るように言って

オラ アフパン アクス

**ora ahup=an akusu**

それから私たちが入ってみると

チャチャ カムイ アン、ルプネマツ カムイ アン

**caca kamuy an, rupnemat kamuy an**

老翁がおり、老媪がおり

オラ ポン メノコ シネ プ アン

**ora pon menoko sine p an**

それから若い娘が1人いた

イネ オラ ネア チャチャ カムイ アユピ エランカラプ ヒネ

**h\_ine ora nea caca kamuy a=yupi erankarap hine**

それからその老翁が兄に会釈をして

オラ コウエペケンヌ

**ora kowepekennu**

それから訪ねた

「フナク ワ アラキ ヘカッタラ エチネ ルウエ アン？」

**“hunak wa arki hekattar eci=ne ruwe an?”**

「おまえたちはどこから来た子供たちなのだ？」

セコロ ハウエアン ア クス

**sekor hawean a kusu**

と言うので

「オタサム タ オカアン ア コロカ

**“Otasam ta oka=an a korka**

「オタサム村に暮らしているのですが

ミシムアン マ エネ アラキアニネ」

**mismu=an w\_a ene arki=an h\_i ne”**

退屈していたのでやってきたのです」

セコロ ハウエアン アクス

**sekor hawean akusu**

と言ったところ

カンナ ルイノ イコシピシピ

**kanna ruyno i=kosipisipi**

またこちらを振り向いて

「オタサム タ カムイ レシパ ヘカッタラ

**“Otasam ta kamuy respa hekattar**

「オタサム村に神が育てた子供たち

カムイ ヘカッタラ オカ ヤク アイエ ロク ペ アラキ ハウエ ネ」

**kamuy hekattar oka yak a=ye rok pe arki hawe ne”**

神のような子供たちがいると言う者がやってきたのだな」

セコロ ハウエアン コロ イルイルイパ

**sekor hawean kor i=ruyruypa**

と言いながら私たちを撫で

オラ ウトゥル ペカ

**ora utur peka**

それから下座を通って

ネア ルプネマツ カムイ エク ワ スイ イルイルイパ ア ヒネ

**nea rupnemat kamuy ek wa suy i=ruyruypa a hine**

その老嫗が来てまた私たちを撫でて

オカアン ルウエ ネ ア プ

**oka=an ruwe ne a p**

そうしていると

「トゥ ポ アコロ ルウエ ネ ア プ

**“tu po a=kor ruwe ne a p**

「私たちには子供が2人いるのだけれど

エキムネ パ ワ イサム マ タネ

ekimne pa wa isam w\_a tane

山に行っているもう

(録音者〔萱野〕発言)

タネポ…… タネ イワク パ ナンコロ」

tanepo... tane iwak pa nankor”

もう帰ってくるでしょう」

セコロ ハウエアン

sekor hawean

と言った

オカアン アクス オロタ ソンノカ イワク ウタラ サヌミ アシネ

oka=an akusu oro ta sonnoka iwak utar san h\_umi as h\_in

そうしていると、そこに本当に帰ってくる人々が下がってくる音がして

エ…… ロルン プヤラ カリ

e... rorun puyar kari

神窓から

ネア ポン メノコ イコカマフプテ。イエ アアニネ

nea pon menoko i=kokamahupte. ye aan h\_in

その若い娘がこちらに向かって肉を入れ、事情を話したようで

ネロク オッカイポ ウタラ ソイ タ シピタツパ ワ

nerok okkaypo utar soy ta sipitappa wa

その若者たちは外で上着を脱ぎ

アフピネ オラウン エネ ハウオカ イ

ahup h\_in oraun ene hawoka h\_i

入ってきてそれからこのように言った

オリパクノ アフピネ エネ ハウオカ イ

oripakno ahup h\_in ene hawoka h\_i

かしこまりながら入ってきてこう言った

「フナク ワ パヨカ ヘカッタラ オカ ルウエ アン マ

“hunak wa payoka hekattar oka ruwe an w\_a

「どこからやってきた子供たちなのか、

アオナハ ウエペケンヌ ア ルウエ？」

a=onaha uepekennu a ruwe?”

お父さん聞きましたか？」

セコロ ハウエアン アクス

sekor hawean akusu

と言うと

「ウエペケンヌアン マ タシ

“uepekennu=an w\_a tasi

「聞いたところ

オタサム タ カムイ ヘカッタラ

Otasam ta kamuy hekattar

オタサム村に神の子供たち

カムイ レシパ ヘカッタラ オカ ヤク アイェ ロク ペ アラキ ルウエ ネ」

kamuy respa hekattar oka yak a=ye rok pe arki ruwe ne”

神が育てた子供たちがいると言われていた者がやって来たのだ」

セコロ ハウエアン アクス スイ カンナ ネロク オツカイポ ウタラ カ

sekor hawean akusu suy kannan nerok okkaypo utar ka

といったところ、またその若者たちも

イ…… イエランカラパ パ…… イルイルイパ パ コロ

i... i=erankarap pa... i=ruyruypa pa kor

私たちに挨拶をしたり撫でたりして

オラウン フイペ オロ エムシ クシパレ ワ アイコプンパ ワ アエ

oraun huype or emus kuspore wa a=i=kopunpa wa a=e

それから肝臓を刺身にして私たちにくれたので食べてみた

イネアプ ケラアン マ フマサ カ アエラミシカリノ アエ ルウェ ネ イネ  
 ineap keraan w\_a humas y\_a ka a=eramiskarino a=e ruwe ne h\_inē  
 それまで食べた事もない美味に舌鼓を打ったのだった

オラノ イオマプ ロク イオマプ ロク コロ オカアナイネ  
 orano i=omap rok i=omap rok kor oka=an ayne  
 それから私たちはたいへんに可愛がられているうちに

エネ…… ネア チャチャ カムイ エネ ハウエアン……  
 ene... nea caca kamuy ene hawean...  
 その老翁がこう言った…

ネロク オツカイポ ウタリ  
 nerok okkaypo utari  
 その若者たち

オツカイポ ウタラ ホシキ エネ ハウエオカ イ  
 okkaypo utar hoski ene haweoka h\_i  
 若者たちがまずこう言った

「アコロ ヘカッターラ フンタ シノ マク イキアン マ  
 “a=kor hekattar hnta sino mak iki=an w\_a  
 「うちの子供たちはいったい何こそ本当に何をして

フンタ アエレパ マク イキアン マ  
 hnta a=erepa mak iki=an w\_a  
 何を食べさせどのようにすれば

エラムリテン マ パイエ クニ プ  
 eramuriten w\_a paye kuni p  
 心を和ませて帰るものでしょう

アコロ ヘカッターン ネ ルウェ アン？」  
 a=kor hekattar\_ ne ruwe an?”  
 うちの子供たちは」



セコロ ハウオカ

**sekor hawoka**

と言った

ハウエアナクス ネア チャチャ カムイ エネ ハウエアニ

**hawean akusu nea caca kamuy ene hawean h\_i**

言ったところその老翁はこう言った

「ニサッタ ネ アン ヤクン キム タ エチエキムネ ワ

**“nisatta ne an yakun kim ta eci=ekimne wa**

「明日になったなら、山に行って

エチウコ…… エチウコユコケウエ ヘネ キ ワ ヤク タシ

**eci=uko... eci=ukoyukokewe hene ki wa yak tasi**

シカの追い込み猟でもしたならばこそ

アコロ ヘカッタラ エキロロアン マ パイエ ネク」

**a=kor hekattar ekiroroan w\_a paye nek”**

うちの子供たちは喜んで帰るだろう」

セコロ ハウエアニ アクス

**sekor hawean akusu**

と言ったので

「オハイネ オハイネ ネノ タシ イキアン ヤクネ

**“ohayne ohayne neno tasi iki=an yakne**

「なるほどなるほど、きっとそのようにしたならば

アコロ ヘカッタラ エラマシパ

**a=kor hekattar eramaspa**

子供たちは楽しみ、

エエキロロアン マ パイエ ヒ タシ ネ ネク！」

**eekiroroan w\_a paye hi tasi ne nek!”**

喜んで行くに違いない！」

セコロ ハウェオカ ヒネ オラノ レウシ オカアン  
**sekor haweoka hine orano rewsu oka=an**

と言って、それから私たちはその晩を過ごした

イシムネ ヒケ ン…… イニスク パ ワ  
**isimne hike n... inisuk pa wa**

翌日になり、人を頼んで

コタヌ ウン オッカイポ ウタラ ニスク パ ヒネ インネアン  
**kotanu un okkaypo utar nisuk pa hine inne=an**

その村の若者たちに頼んで大勢連れ立って

インネ パ ヒネ エキムネ パ ヒネ  
**inne pa hine ekimne pa hine**

大勢で山狩りへ行って

アトゥラ ヒネ エキムネアン アクス ソンノカ  
**a=tura hine ekimne=an akusu sonnoka**

私たちもついて行き山狩りへ行くと、本当に

イネアプ イウオロ カ ピリカ ワ シラナ カ アエラミシカリ プ  
**ineap iwor ka pirka wa siran y\_a ka a=eramiskari p**

狩場の何と素晴らしいことか見たこともないほどで

オラノ ウコユコケウパ ワ インネ ユク トパ アラキ ワ  
**orano ukoyukokewpa wa inne yuk topa arki wa**

それからシカの追い込み猟をして、大勢のシカの群れが来て

オラノ アン…… チョッチャ ロク チョッチャ ロキネ ロンヌ パ ヒネ  
**orano an... cotca rok cotca rok h\_inne ronnu pa hine**

それを射って射って仕留めて

オラウン ン…… イケ アユピ トゥラノ アン ア プ  
**oraun n... h\_ike a=yupi turano an a p**

それから、私は兄と一緒にいたのだが

トオプ トウイマノ ロカニネ  
 toop tuymano rok=an h\_ine  
 ずっと離れて座っていて

イウオロインカラシ ルウエ ネ アクス  
 iworoinkar=an wa oka=an ruwe ne akusu  
 狩場に目をやっていると

イネロク ユク リ パ ルウエ ネ アクス  
 inerok yuk ri pa ruwe ne akusu  
 それらのシカを解体したところ

オ…… コント ウコエマカロシキ ペコロ イキ パ ワ  
 o... konto ukoemakaroski pekor iki pa wa  
 今度は立ちすくんだような様子で

ウトムカヤイルケ (?) ペコロ イキ パ アイネ  
 utomkayayruke(?) pekor iki pa ayne  
 互いに折り重なるようにして (走ってきて)

イサム タ アラキ ヒネ エネ ハウエオカ イ  
 i=sam ta arki hine ene haweoka h\_i  
 私たちの側に来てこう言った

「マカナク ネ ルウエ?  
 “makanak ne ruwe?  
 「どうしたことだ?

ポヘネ ポロ アペコロ アン アプカ アリ アクス オッシケ ワ  
 pohene poro apekor an apka a=ri akusu ossike wa  
 一際大きそうな雄ジカを解体したら腹の中から

ン…… イワン ポン ルプネ アイヌ イワン ペ ソイエンパ ルウエ ネ ワ  
 n... iwan pon rupne aynu iwan pe soyenpa ruwe ne wa  
 6人の小男が、6人が出てきたのだ

マク ネ クス エネ シリキ イ アン？」

**mak ne kusu ene siriki h\_i an?"**

「いったいなぜこんなことがあるのだ？」

セコロ ハウオカ アクス アユピヒ エネ ハウエアニ……

**sekor hawoka akusu a=yupihi ene hawean h\_i...**

と言うと私の兄は

ソモ ネプ イェ ノ アン アイネ エネ ハウエアニ

**somo nep ye no an ayne ene hawean h\_i**

何も言わずにいてやがてこう言った

「ハウエ ネ チキ ヘタク……

**"hawe ne ciki hetak...**

「ならば、さあ

エピシネ レホッ エキムネ レホッ イナウ エチアシ ワ

**episne rehot ekimne rehot inaw eci=asi wa**

浜へ向かって60本、山へ向かって60本木幣をあなたたちは立てて

オラウン エチイタクホリピ コロ エチハウオカ ハウエ エネ アニ

**oraun eci=itakkohoripi kor eci=hawoka hawe ene an h\_i.**

それから呪いの踏み舞をしながら唱える事はこうです

『トオプ ニソシッチウ イ イマカケ ウン

**'toop nisositciw h\_i imakake un**

『ずっと、地の果ての向こう側へ

エチパイェ クニ プ ネ ルウエ ネ ナ』

**eci=paye kuni p ne ruwe ne na'**

お前たちは行くのだ』

セコロ エチハウオカ コロ エチウホリピレ ヤク ピリカ」

**sekor eci=hawoka kor eci=uhoripire yak pirka"**

と貴方たちは唱えながら、呪いの踏み舞をして下さい」

セコロ アユピ<sup>°</sup> ハウエアン アクス

sekor a=yupi hawean akusu

と兄が言うと

オラノ ネノ インネ パ プ ネ クス

orano neno inne pa p ne kusu

それからそのように大勢いたので

イナウ トウイパ パ ワ エキムネ レホッ エピシネ レホッ

inaw tuypa pa wa ekimne rehot episne rehot

木幣を切って、山手へ60本、浜手へ60本

イナウ ロシキ パ ヒネ

inaw rosiki pa hine

木幣を立てて

オラ ウトゥル…… ネ ウホリピレパ ルウエ ネ アクス

ora uturu... ne uhoripirepa ruwe ne akusu

それからその間で、呪いの踏み舞をしたところ

ネア ネ…… ポン ルプネ アイヌ

nea ne... pon rupne aynu

その、小男たちは

ウエン トイラ ウエン ムニラ シオコツパ ヒネ

wen toyra wen munira siokotpa hine

ひどい土埃、ごみの煙を後に残して

トオ ヘレパシ レラコホプニ イネ パイエ ワ イサム

too herepasi rerakohopuni h\_inē paye wa isam

遙か沖合へ風を巻いて飛び去って行ってしまった

「タネ ピリカ シリ ネ」

“tane pirka siri ne”

「もう大丈夫」

セコロ アユピヒ ハウエアン

**sekor a=yupihi hawean**

と兄は言った

ヒネ オラウン イワカン パ ヒネ

**hine oraun iwak=an pa hine**

それから私たちは帰って

ネロク ユク…… ピリカ イケ セ パ ワ イワク パ アイネ

**nerok yuk... pirka h\_ike se pa wa iwak pa ayne**

そのシカの良いものを背負って帰ってからとうとう

ネア オンネ クル エウン イエ パ ルウエ ネ アクス

**nea onne kur eun ye pa ruwe ne akusu**

その老翁に話したところ

「アコロ ヘカッタラ アラキ イ イサム ア ヤクン エアラキンネ アン……

**“a=kor hekattar arki h\_i isam a yakun earkinne an…**

「この子供たちが来てくれなかったら大変に

アコタヌ オロケ ウウオマ クニ プ ソモ ネ アン ハウエ ネ。

**a=kotanu orke uoma kuni p somo ne an hawe ne.**

私たちの村は皆そろってはいられなかったのだ。

フナク タ エパク アコロ ヘカッタラ アラキ クス

**hunek ta epak a=kor hekattar arki kusu**

ちょうどいいところにこの子供たちが来てくれたので

エネ ネ ハウエ アニ アン」

**ene ne hawe an h\_i an”**

こうなったのだ」

セコロ ハウエアン コロ オロワノ スイ

**sekor hawean kor orowano suy**

と言いながら、それからまた

イノウ ロシキ パ ヒ カムイノミ パ ヒ イ…… ルウエ ネ ヒネ  
 inaw roski pa hi kamuynomi pa hi i... ruwe ne hine  
 木幣を立てて、神々に祈って

オラウン…… スイ トリ トリ オカアニネ オラウン  
 oraun... suy tori tori oka=an h\_ine oraun  
 それから、またそこに逗留して過ごしていてそれから

ネア アウニ ウン ホシッパアン クスネ ウシケ タ  
 nea a=uni un hosippa=an kusune uske ta  
 私たちの家へ帰ろうとする時に

「フンタ シノ アコロ ヘカッタラ  
 “hnta sino a=kor hekattar  
 「いったい何をうちの子供たちへの

アエコヤヤッタサ…… チキ ピリカ プ ネ ルウエ アン？」  
 a=e=koyayattasa... ciki pirka p ne ruwe an?”  
 御礼にしたら良いかな？」

セコロ ハウエアン ア クス アユピヒ エネ ハウエアニ  
 sekor hawean a kusu a=yupihi ene hawean h\_i  
 というので、兄はこう言った

「ネプ カ ア…… アコン ルスイ カ ソモ キ コロ  
 “nep ka a... a=kor\_ rusuy ka somo ki kor  
 「何も、私たちは欲しくはないけれど

パテク アコン ルスイ ペ アイヌ ネ ルウエ ネ ナ  
 patek a=kor\_ rusuy pe aynu ne ruwe ne na  
 ただ欲しいのは仲間なのです

フンタ ン…… アイヌ イコウサライエ ワ イコレ」  
 hunta n... aynu i=kousaraye wa i=kore”  
 どうぞ、人を分けて下さい」

セコロ ネア アユピヒ ネア チャチャ カムイ エウン ハウエアン ア プ  
**sekor nea a=yupih nea caca kamuy eun hawean a p**  
 と兄はその老翁に言ったのだが

「ピリカ ハウエ ネ ネ」  
**“pirka hawe ne ne”**  
 「良いとも！」

セコロ ハウエアン コロ オラウン、インネ ウタリ イトゥラ ヒネ  
**sekor hawean kor oraun, inne utari i=tura hine**  
 と言いながら、それから、大勢の人が私たちに付いて

ネア アウニ ソイケ タ パイエアニネ ル…… ネア  
**nea a=uni soyke ta paye=an h\_in ru... nea**  
 あの私たちの家の外まで行って、あの

ソイネ ワ イアフンテ クス イェ ア ポン メノコ カ イトゥラ  
**soyne wa i=ahunte kusu ye a pon menoko ka i=tura**  
 外に出てきて私たちが家に入るように言った若い娘も付いて来て

オラウン ピリカ オッカイポ ウムレク スイ イトゥラ  
**oraun pirka okkaypo umurek suy i=tura**  
 それから良い若夫婦もまた私たちについてきて

オラ エモシマ インネ ウタリ イトゥラ ヒネ オラノ  
**ora emosma inne utari i=tura hine orano**  
 それからそのほかにも大勢が付いて来てそれから

ナニ チセカラ パ エウモンカタオルン イネ  
**nani cisekar pa ewmonkataorun h\_in**  
 すぐに家づくりに協力しあって

ネア ウムレク ウタラ オロ タ アアヌ  
**nea umurek utar oro ta a=anu**  
 その夫婦たちはそこに住ませた



オラ ネア ネア ポン メノコ ネ ヒケ…… アユピヒ アコレ ヒネ オカアン  
 ora nea nea pon menoko ne hike... a=yupihi a=kore hine oka=an  
 それからその、その若い娘は、兄にめとらせて暮らした

オラノ オヤチキ アユピヒ ポンラム ワノ  
 orano oyaciki a=yupihi ponram wano  
 それから、やはり兄は物心つくころから

ポニ ワノ ウエインカラ ペ ネ アアン ヒネ  
 pon h\_i wano ueinkar pe ne aan hine  
 幼いころから巫力が強かったので

エネ シ…… エネ ネ クニ ヌカラ ワ イシレニ ネ アアニネ  
 ene si... ene ne kuni nukar wa i=siren h\_i ne aan h\_ine  
 こうなることを見抜いて、私を誘ったのだった

「クシケライ ネ イアラモイサマ ウン ウタラ シクヌ フミ ネ アアン」  
 “kuskeray ne iarmoysama un utar siknu humi ne aan”  
 「そのおかげで、あの対岸の人々も生きのびたのだったのだ」

セコロ ハウオカ コロ オラノ  
 sekor hawoka kor orano  
 と言いながら、それから

イネアプ エヤイライケ パ ワ ハワアサ カ アエラミシカリ ノ  
 ineap eyairayke pa wa hawas y\_a ka a=eramiskari no  
 どれほど感謝し称えるのか分からないほどであった

オラウン オラウン コント スイ  
 oraun oraun konto suy  
 それから、それから今度また

スイ ウムレク ウタラ スイ アラキ ヒネ イソイケ タ オカ  
 suy umurek utar suy arki hine i=soyke ta oka  
 また夫婦の者がまたやってきてうちの外に暮らした

ト…… レ チセ ネ オカアン

to... re cise ne oka=an

3軒の村になって暮らした

オラノ レ チセ ネ オカアン ペ ネ ア コロカ

orano re cise ne oka=an pe ne a korka

それから3軒の家になって暮らしていたのだが

ネ アユピヒ ウエインカラ ペ ネ クス

ne a=yupihi ueinkar pe ne kusu

兄は巫力が強いものだから

ネイ タ アン アエラナク ペ ネ ヤッカ ヌカラ コロ イェ ワ

ney ta an a=eranak pe ne yakka nukar kor ye wa

どこで困ったことがあっても見通してそれを語り

ソレクス トゥ アタイ シリ レ アタイ シリ アコレ

sorekusu tu atay siri re atay siri a=kore

それこそ2度3度と礼をされ

コロ インカラナクス

kor inkar=an akusu

(そう)しながら見ると

チウエンテコタン オツ タ オカアン ルウェ ネ アアン ヒネ

ciwentekotan or\_ ta oka=an ruwe ne aan hine

荒れ果てた村に暮らしていたのだったのに

オラノ アエプコカラパ プ アラキ コロ

orano aepkokarpa p arki kor

それから食べ物を求めて来る者が来れば

チセ カラ ワ オカ アイネ モヨノ アン コタン アネ ワ オラノ

cise kar wa oka ayne moyono an kotan a=ne wa orano

家を立てて暮らしているうち、小さな村だったが、それから

アユピヒ アナク シヌプルクン ネ ワ

a=yupihi anak sinupurkur\_ ne wa

兄は本当の巫者で

エ…… トオプ トウイマ エウ…… トウイマ コタン ハンケ コタン マ

e... toop tuyma eu... tuyma kotan hanke kotan w\_a

ずっと遠くの、遠くの村や近くの村から

イニン (?) ピシ クニ プ アラキ コロ

inin(?) pis kuni p arki kor

いろいろ尋ねる者がやって来ると

オラノ トウ アタイ シリ レ アタイ シリ アコレ ワ

orano tu atay siri re atay siri a=kore wa

それから2度3度と礼を渡され

ソレクス シノ ニシパ アネ ワ アスラシアン コロ オカアニネ

sorekusu sino nispa a=ne wa asurasi=an kor oka=an h\_ine

それこそ本当の長者となって噂がたちながら暮らしている

ア…… アシヌマ カ ピリカ ポン メノコ アイコレ プ ネ クス

a... asinuma ka pirka pon menoko a=i=kore p ne kusu

私も良い娘をもらったので

ア…… ソレクス ネプ アエ ルスイ カ

a... sorekusu nep a=e rusuy ka

それこそ何を食いたいとも

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ オカアン クス

nep a=kor\_ rusuy ka somo ki no oka=an kusu

何を欲しいとも思わず暮らしているので

エネ アユピヒ オヤチキ ウエインカラ ペ ネ アアン マ エネ アン

ene a=yupihi oyaciki ueinkar pe ne aan w\_a ene an

このように兄が巫力が強かったのでこのような

アシトマ プ カ アヌカラ ルウエ ネ ア コロカ

**a=sitoma p ka a=nukar ruwe ne a korka**

恐ろしいことも見たけれども

ニシパ ネ アン マ オカアン ルウエ ネ セコロ

**nispa ne an w\_a oka=an ruwe ne sekor**

私たちは長者になって暮らしているのだ、と

シネ オックイポ ハウエアン セコロ アン ウエペケレ

**sine okkaypo hawean sekor an uepeker**

1人の若者が語ったという昔話

(萱野：ああ)

クヌ プ ネ

**ku=nu p ne**

を私は聞きました

(萱野：はい)

フフッ (笑)。

## 14-8 ウエペケレ

「トノト カムイ イコシネウエ／トウキ オルン オクイマ  
メノコ」

### 酒の女神が私を訪ねてきた話

語り：鍋澤ねぶき

イシカラ プトゥ タ たか アン クル アネ ヒネ アナニケ  
Iskar putu ta TAKA an kur a=ne hine an=an h\_ike  
イシカリの河口だかに私は暮らしている者であるのだが、

エネ ハワシ。

ene hawas h\_i.

このような噂があった。

「フナク ワ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ  
“hunak wa kamuy ne kusu koraci an menoko

「何処からかカムイのような女性が

ポイ シケポ キ カネ ワ エク オラウン

pon\_ sikepo ki kane wa ek oraun

小さな荷を背負ってきて、それから

『シネ アンチカラ イレウシレ ワ イコレ ヤン。』

‘sine ancikar i=rewsire wa i=kore yan.’

『一晩私を泊めて下さい』

セコロ ハウエアン マ アレウシレ コロ オラウン エネ ハウエアニ。

sekor hawean w\_a a=rewsire kor oraun ene hawean h\_i.

といい、泊めてもらっていると、それからこのように言うのだった。

『トゥキ イコレ ヤン。』

**'tuki i=kore yan.'**

『盃をください』

セコロ ハウエアン マ トゥキ アコレ コロ シルイ タ コロ ワ アラパ ワ  
**sekor hawean w\_a tuki a=kore kor siruy ta kor wa arpa wa**

と言って、盃をもらうと、奥の方に持って行き、

エウン オクイマ ワ オラ

**eun okuyma wa ora**

そこへおしっこをして、それから

『ク ワ イコレ ヤン。』

**'ku wa i=kore yan.'**

『飲んでください』

セコロ ハウエアン マ アシトマ ワ ソモ アク コロ

**sekor hawean w\_a a=sitoma wa somo a=ku kor**

と言い、恐ろしいので飲まずにいると

ソモ ク…… ク クル コント コ…… コアシンペ ウク コロ エク。」

**somo ku... ku kur konto ko... koasinpe uk kor ek."**

飲まない人から償いの品を持って行く」

セコロ ハワシケ エネ ヤイヌアニ。

**sekor hawas h\_ike ene yaynu=an h\_i.**

という話なので、私はこのように思った。

「アイヌ ソモ ネ ハウエ ネ ナンコロ。

**"aynu somo ne hawe ne nankor.**

「人間ではないということなのだろう。

カムイ ネ クス コラチ アン ペ ネ ヤクン、

**kamuy ne kusu koraci an pe ne yakun,**

見るからにカムイのようであるなら、

カムイ タシ ネ ハウエ ネ ナンコロ ペ

**kamuy tas ne hawe ne nankor pe**

カムイなのだろうに、

マクネ ハウエ アン？」

**makne hawe an?"**

いったいどういうことなのだ？」

セコロ ヤイヌアン コロ アナナクス

**sekor yaynu=an kor an=an akusu**

と思っていると

シネ アン タ アマチヒ ヌプキ クタ クス ソイエネ アクス

**sine an ta a=macihi nupki kuta kusu soyene akusu**

ある時、妻が濁り水を捨てに外に出ると

「ソイ タ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ アン。」

**"soy ta kamuy ne kusu koraci an menoko an."**

「外に見るからにカムイである女性がいます」

セコロ ハウエアン。オラウン

**sekor hawean. oraun**

と話した。それから

「ホクレ アフンテ イケ ウン」

**"hokure ahunte h\_ike un."**

「さあ、入れたらどうか」

セコロ ハウエアナナクス

**sekor hawean=an akusu**

と私がいうと

オラノ ソイエネ ヒネ アフンテ ルウエ ネ アクス

**orano soyene hine ahunte ruwe ne akusu**

それから妻は外に出て、(その人を)中に入れると

ソノノ カ カムイ ネ クス コラチ アン メノコ

**sonno ka kamuy ne kusu koraci an menoko**

本当に見るからにカムイであるかのような女性が

ポン シケポ キ カネ アン ペ ネ ヒネ

**pon sikepo ki kane an pe ne hine**

小さな荷を背負っていて

アフニネ うーん

**ahun h\_in** うーん

入ってきて

「シネ アンチカラ ソモ アイレウシレ」

**“sine ancikar somo a=i=rewsire”**

「一晩泊めてもらえないでしょうか」

セコロ。

**sekor.**

と。

「レウシ ヤク ピリカ ハウエ ネ。」

**“rewsi yak pirka hawe ne.”**

「泊まりなさい」

セコロ イタカナクス オラウン

**sekor itak=an akusu oraun**

と私が話すと、それから

イネアプ エ…… エラムリテン ワ シリキ ヤ カ アエラミシカリ ヒネ オラ

**ineap e... eramuriten wa sirki ya ka a=eramiskari hine ora**

見たことがないくらい、とてもうれしそうな

うーん アン ルウエ ネ アクス エネ ハウエアニ。

うーん **an ruwe ne akusu ene hawean h\_i.**

様子で、言ったのはこのようなことだった。



「アコン ニシパ トウキ サンケ ワ イコレ。」

“a=kor\_ nispa tuki sanke wa i=kore.”

「ニシパ、盃を出してください」

セコロ ハウエアナクシ

sekor hawean akus

と言うので

トウキ アフライエ イネ アフラ…… アウ……

tuki a=huraye h\_inē ahura... au...

盃を洗って、

アマチ アフライエレ ヒネ サンケ ヒネ コレ アクシ、

a=maci a=hurayere hine sanke hine kore akus,

妻に私は洗わせて、妻が盃を出してあげたのだが、

エネ ネ ヤカイエ アイネノ ソウスツ タ コロ ワ アラパ イネ

ene ne yak a=ye a h\_i neno sowsut ta kor wa arpa h\_inē

樽でそう言われていたように隅に持って行き、

エウン オクイマ フミ アサクス オラウン

eun okuyma humi as akusu oraun

そこにおしっこをする音がすると、それから

「ク ワ イコレ ヤン。」

“ku wa i=kore yan.”

「飲んでください」

セコロ ハウエアニクス アヌカラ アクス サケ ネ シリ イキ。

sekor hawean h\_i kusu a=nukar akusu sake ne siri iki.

と言うので、見てみると、酒のようだった。

うん。アフララッカラ クシ サケ ネ フミ アシクス

うん。 a=hurarakkar kus sake ne humi as kusu

匂いがかぐと酒のようだったので

アク ルウェ ネ アクス

**a=ku ruwe ne akusu**

私が飲んだところ、

イネアプ エ…… エエラムリテン ワ シリキ ヤ カ アエラムシカリ。

**ineap e... eeramuriten wa sirki ya ka a=eramuskari.**

女はとても機嫌が良くなった。

イネアプ エラムシンネ ワ シリキ ヤ カ アエラムシカリ アクシ

**ineap eramusinne wa sirki ya ka a=eramuskari akus**

女はとてもほっとした様子になると、

オラウン エネ ハウエアニ。

**oraun ene hawean h\_i.**

このように話した。

「エカン オルシペ アコン ニシパ エアシパ カ ソモ キ ワ アン ナンコロ。

**“ek=an oruspe a=kor\_ nispa e=aspa ka somo ki wa an nankor.**

「私が来る話、ニシパが耳にしていないわけではないでしょう。

タップ…… カトウ エネ アニ。

**tap... katu ene an h\_i.**

このようなことなのです。

タップ イアラモイサム タ インネ コタン アニネ

**tap i=armoysam ta inne kotan an h\_ine**

この山向こうに人の多い村が

ルウェ ネ アクス

**ruwe ne akusu**

あるのですが、

ネ コタン オルン ウタラ

**ne kotan or un utar**

その村の人々、

トウマシヌ カネ オカ イエパ カネ オカイ ペ オピッタ  
**tumasnu kane oka iepa kane okay pe opitta**  
 丈夫で能力のある者はみな

ウイマム クス レプン。  
**uymam kusu repun.**  
 交易に沖に出たのです。

ウイマムレプンカ クス レプン パ ワ イサム ルウエ ネ アクス  
**uymamrepunka kusu repun pa wa isam ruwe ne akusu**  
 海を越えて交易に行くために、沖に出てしまうと、

オカケ タ ネア コタン パオ…… パオヤニネ  
**okake ta nea kotan pao... paoyan h\_ine**  
 その後、その村に伝染病が伝わってきて、

ネア コタン アアルシテッカ ルウエ ネ ヒネ  
**nea kotan a=arustekka ruwe ne hine**  
 その村は全滅してしまい、

ウシケ タ ネロク ウイマム ウタラ ヤプ。  
**usike ta nerok uymam utar yap.**  
 そこに、その交易に行った人々が上陸しました。

チプシクテノ カネ ウサ ウイマム トノト ウイマム タラ  
**cipsikteno kane usa uymam tonoto uymam tara**  
 舟いっぱい交易で得た酒や俵や

ネプ ネ ヤッカ アミプ ネ アッカ アエプ ネ アッカ  
**nep ne yakka amip ne y\_akka aep ne y\_akka**  
 何でも、着物でも食べ物でも、

チプシクテノ クシパ イネ  
**cipsikteno kuspa h\_ine**  
 舟いっぱい積み込んで

ヤプ ルウエ ネ ア コロカ ネア コタン スプヤ サク。

yap ruwe ne a korka nea kotan supuya sak.

上陸したのですが、その村は煙もありませんでした。

アアルシテッカ プ ネ クス

a=arustekka p ne kusu

全滅したので、

スプヤ サク ルウエ ネ ヒネ オラ ア…… ア コロカ

supuya sak ruwe ne hine ora a... a korka

煙もなかったのですが、

ネロク ウイマム マ ヤプ ウタラ カ オピッタ

nerok uymam w\_a yap utar ka opitta

その交易に行って上陸した人々もみな

ヤイラメコロンパ ヒネ イサム ルウエ ネ ヒネ

yayramekorompa hine isam ruwe ne hine

意識不明になって、亡くなってしまい

ネア コタン エアラキンネ スプヤ サク ルウエ ネ。

nea kotan earkinne supuya sak ruwe ne.

その村は本当に煙もなくなってしまったのです。

コロカ オラ ネア チプ アナク シクテノ カネ

korka ora nea cip anak sikteno kane

ですが、その舟いっぱい

イオ ワ ヤン マ アン ペ ネ ヒ…… ヒケ ン……

io wa yan w\_a an pe ne hi...hike n...

荷を積んで上陸して

トノト、サケ アナクネ メノコ ネ ワ…… ペ ネ ワ アン

tonoto, sake anakne menoko ne wa... pe ne wa an

酒というのは女性であって、

ネア チプ オロ オ プ

nea cip or o p

その舟に乗っていたものが、

トイコムニン ヤッカ…… ヒ ア…… アヌヌケ ワ クス

toykomunin yakka... hi a... a=nunuke wa kusu

腐ってしまうのも惜しいので、

ネア トノト カムイ アネ ワ

nea tonoto kamuy a=ne wa

そのお酒のカムイが私で、

エネ アラケヘ タ ヤイエイコラムヌカラ カ アン

ene arkehe ta yayeykoramunukar ka =an

半分は自分について人を試し、

アラケヘ タ ヤイエイパカシヌアン クス エネ

arkehe ta yayepakasnu=an kusu ene

半分は自分を人に教えるために、このように

オマナナナッカ ケウトウムウエン ウタラ パテク オカ ハウエ ネ。

omanan=an y\_akka kewtumuwen utar patek oka hawe ne.

歩き回っていたのですが、精神の悪いものばかりいたということなのです。

アイウシトマレ ワ エネ オマナナン ヒ

a=i=usitomare wa ene omanan=an hi

私は人々に怖がられて、このように歩き回っていたことを

アコン ニシパ ヌ タシ キ コロ アナ…… ネ クス

a=kor\_nispa nu tas ki kor an a... ne kusu

ニシパは聞いたので

シノ アコロ ニシパ シノ ケウトウム ピリカ クル エネ ルウエ ネ クス

sino a=kor nispa sino kewtumu pirka kur e=ne ruwe ne kusu

ニシパ、あなたは本当に精神の良い人なので

タップ ニサッタ ネ アン チキ エウタリヒ エニスク ワ

**tap nisatta ne an ciki e=utarihi e=nisuk wa**

明日になったら、あなたの仲間にあなたは頼んで

ネ アラモイサム タ エ…… ウン コタン オツ タ エチパイェ ヤクン

**ne armoysam ta e... un kotan or\_ ta eci=paye yakun**

その山向こうの村にあなた達が行ったら

インネ コタン ネ アッカ スプヤ サク ワ アン ワ アン。

**inne kotan ne y\_akka supuya sak wa an wa an.**

大きい村であるけれど、煙もない状態です。

チプシクテノ カネ イオ ワ ヤン マ アン ルウエ ネ クス

**cipsikteno kane io wa yan w\_a an ruwe ne kusu**

舟いっぱい積んで上陸しているので、

ネ ウシケ タ チポロペチヤプテ ワ オラウン

**ne usike ta cip or o p eci=yapte wa oraun**

そこに舟の中のものをあなた達は上げて、それから

コタン ノシキ タ アン チセ オツ タ

**kotan noski ta an cise or\_ ta**

村の真中にある家に、

エチアペアリ ワ エチスケ ワ エチイチャラパ。

**eci=apeari wa eci=suke wa eci=icarpa.**

あなた達は火を焚いて、料理して供養をなさい。

ヤイラメコモ パ プ オピッタ

**yayramekomo pa p opitta**

苦しんだ者たち、みな

シンリッ オルン ハル コロ ワ パイェ クニ プ

**sinrit or un haru kor wa paye kuni p**

先祖のところへ持って行く食料を

エチチャラパ シリ ネ ナ。セコロ エチハウエオカ コロ

**eci=carpa siri ne na. sekor eci=haweoka kor**

撒くのですとそうにあなた達は言いながら

サケ ネ アッカ エチチャラパ アエプ ネ アッカ エチチャラパ ヤクン

**sake ne y\_akka eci=carpa aep ne y\_akka eci=carpa yakun**

酒でも撒き、食べ物でも撒いたなら、

オラウン タン チプ オロ プ オピッタ

**oraun tan cip or o p opitta**

それから、この舟のものを全部

エ…… エ…… エ…… エチコタン ウン エチルラ ヤッカ

**e... e... e... eci=kotan un eci=rura yakka**

あなた達の村へ運んでも

ネウ カ アニ エチシトマ カ エチエマウコウエン カ ソモ キ ヤク オラウン

**new ka ani eci=sitoma ka eci=emawkowen ka somo ki yak oraun**

何にあなた達は恐れることも、運が悪くなることもなく、それから

ネア コタン エチヌイエオツケ ワ エチホツパ ヤク アナクネ

**nea kotan eci=nuyetke wa eci=hoppa yak anakne**

その村に火をつけておいたならば

アプンノ ウヤイエ…… ヤイエラメコンパ パナク オピッタ

**apunno uyaye... yayeramekompa p anak opitta**

無事に、苦しんだ者たちはみな

シンリッ オルン ハルコロ ワ パイエ ヤクン オラウン うーん

**sinrit or un harukor wa paye yakun oraun うーん**

先祖のところへ食料を持って行ったなら

ネプ カ エチエ カ エチク カ キ コロ オロ タ

**nep ka eci=e ka eci=ku ka ki kor oro ta**

何かあなた達は食べでも、飲みでもしたら、そこで

ピリカ ハル エチチャラパ オラウン

**pirka haru eci=carpa oraun**

いい食料を撒き、それから、

『ネ アラモイサムン ウタラ、エチオカヌラッパ シンネ ナ。』

‘ne armoysam un utar, eci=okanurappa sinne na.’

『その山向かいの人々よ、あなたたちを供養するのだよ』

セコロ エチハウ…… エチイチャラパ ヤク アナクネ

**sekor eci=haw... eci=icarpa yak anakne**

とあなた達が供養したなら、

サスイシリ パクノ ネプ レラハ ネプ タシコリ スルルケ ヤッカ

**sasuysir pakno nep reraha nep taskori sururke yakka**

いつまでも、病や寒気が流行しても

エチオカ アナク エチシトマ カ ソモ キ ノ エチオカイ ペ ネ ナ。」

**ecioka anak eci=sitoma ka somo ki no eci=okay pe ne na.”**

あなた達は恐れることなくいるのですよ。」

セコロ ネア メノコ ハウエアン。

**sekor nea menoko hawean.**

とその女性は話した。

オンカミアン ルウエ ネ ヒネ

**onkami=an ruwe ne hine**

私は拝礼して、

オラ ネア アマチヒ ピリカノ エホッケ イ カリネ ホッケレ。

**ora nea a=macihi pirkano ehotke h\_i kar h\_ine hotkere.**

それから私の妻はきれいに寝る場所を作って女性を寝させた。

ネア カムイ ネ クス コラチ アン メノコ ルウエ ネ ヒネ

**nea kamuy ne kusu koraci an menoko ruwe ne hine**

その見るからにカムイである女性なのだが



オラ イシムネ インカラン アクス

**ora isimne inkar=an akusu**

翌日見ると

ネア メネコ アリサム。オラ

**nea meneko arisam. ora**

その女性はすっかりいなくなっていた。それから

「サケ オ オンタロ ネア エホツケイ タ アン ルウエ ネ。」

**“sake o ontaro nea ehotkey ta an ruwe ne.”**

「酒樽がその寝床にあったのです。」

セコロ アマチ ハウエアン。

**sekor a=maci hawean.**

と妻は言った。

オラノ ホプニアン ヒネ ウ…… イオクヌレアン。

**orano hopuni=an hine u... iokunure=an.**

それから私は起きて、びっくりした。

オンカミアン コロ オラ

**onkami=an kor ora**

拝礼すると

アコタヌ ウン ウタラ アタク ヒネ

**a=kotanu un utar a=tak hine**

私の村の人を招いて、

ネア サケ カ<sup>[1]</sup> アエカムイノミ ネ ヤ キ ヒネ

**nea sake ka a=ekamuynomi ne ya ki hine**

例の酒でカムイノミもして

オラウン ネア アラモイサムン コタン オルン パイエアナクス

**oraun nea armoysam un kotan or un paye=an akusu**

それから、その山向こうへ、村へ私達は行くと

ソノノ ポカ インネ コタン ネ アン コロカ オピッタ スプヤ サク オラウン  
**sonno poka inne kotan ne an korka opitta supuya sak oraun**  
 本当に人の多い村としてあったのだが、全く煙がなく、それから、

ア ポロ チプ シクテノ カネ  
**a poro cip sikteno kane**  
 大きな舟いっぱい

サケ ネ チキ アマム タラ ネ チキ  
**sake ne ciki amam tara ne ciki**  
 酒でも米俵でも

アミプ ネ チキ タンパク ネ チキ ネプ ネ アッカ  
**amip ne ciki tanpaku ne ciki nep ne y\_akka**  
 着物でも煙草でもなんでも

チプ シクテノ オマ ワ ヒ……  
**cip sikteno oma wa hi…**  
 舟いっぱいに入れて、

アヤエオツケ ヒネ アン ルウエ ネ ヒ クス オラウン ネレ……  
**a=yaeotke hine an ruwe ne hi kusu oraun nere…**  
 (舟を) 岸に乗り上げさせてある。そこで

ア…… アヤプテ。ネロク ペ キ ヒネ  
**a… a=yapte. nerok pe ki hine**  
 それを私たちは陸に上げた。

オラ ネ コタン ノシキ タ アン チセ オツ タ アペアリアニネ  
**ora ne kotan noski ta an cise or\_ ta aperi=an h\_ine**  
 それからその村の真中にある家に火を焚いて

オロ タ アペアリアニネ オロ タ イチャラパアン。  
**oro ta aperi=an h\_ine oro ta icarpa=an.**  
 そこに火を焚いてそこで供養をした。

「ネ ヤイラメコモ ワ オカイ ペ オピッタ

“ne yayramekomo wa okay pe opitta

「苦しんだ者たちよ、みなが

シンリッ オルン ハル コロ クニ プ アチャラパ シリ ネ ナ。」

sinirt or un haru kor kuni p a=carpa siri ne na.”

先祖のところへ持っていく食料を私達は撒きますよ」

セコロ ハウエオカアン コロ イチャラパアン。

sekor haweoka=an kor icarpa=an.

と話しながら供養をした。

イクアン ネ ヤ イチャラパアン ネ ヤ キ ヒネ オラウン エネ アイェ ヒネ

iku=an ne ya icarpa=an ne ya ki hine oraun ene a=ye hine

お酒を飲んだり、供養をして、それから、このように言われて

カムイ ハウエアン マ アヌ ヒネ クス

kamuy hawean w\_a a=nu hine kusu

カムイが話したのを聞いていたので、

オラ ネア コタン アヌイエオツケ ルウエ ネ ヒネ

ora nea kotan a=nuyetke ruwe ne hine

それからその村に火をつけて

オラウン ネロク チプ オロ プ アナク

oraun nerok cip or o p anak o

それから、その舟に入っていたものは、

オピッタ アウニ ウン アコタン ウン アルラ。

pitta a=uni un a=kotan un a=rura.

みな私の家へ、私の村へ運んだ。

ネア アコタヌ タ カ オラウン イチャラパアン ネ ヤ イクアン ネ ヤ キ。

nea a=kotanu ta ka oraun icarpa=an ne ya iku=an ne ya ki.

私の村でも、それから供養をしたりお酒を飲んだりした。

オンカミアン ロク アン ロク ヤイエイノンノイタカン コロ キ ルウエ ネ。  
**onkami=an rok =an rok yayeynonnoytak=an kor ki ruwe ne.**  
 ずっと拝礼して、祈っていた。

アキ オラウン ソンノ カ ネウ カ ウェンタラプ エネ アン カ ソモ キ  
**a=ki oraun sonno ka new ka wentarap h\_ene an ka somo ki**  
 そうして、それから本当に何も夢を見ることもなく、

オラノ ネウン ネン オリパク アン ヤク アイェ ヤッカ  
**orano neun nen oripak an yak a=ye yakka**  
 どんな伝染病が流行ったと言っても

アコタヌ パテク イワンケノ オカアン クス  
**a=kotanu patek iwankeno oka=an kusu**  
 私の村だけは健やかに暮らしていたので

タップネ カネ エネ オヤチキ トノト カムイ アナク メノコ ネ ロコカ ワ  
**tapne kane ene oyaciki tonoto kamuy anak menoko ne rokoka wa**  
 このように、今わかったのだが、酒のカムイは、女であって

エネ ヤイエアスラニ クス エク ワ  
**ene yayeasurani kusu ek wa**  
 このように知らせるために来て

オラ アプンノ オカアン ルウエ ネ  
**ora apunno oka=an ruwe ne**  
 そうしてこうして私たちはおだやかに暮らしているのだ。

セコロ シネ ニシパ ハウエアン セ (コロ)  
**sekor sine nispa hawean se(kor)**  
 とあるニシパが話したと。

【注】

[1] sakekar と聞こえる sake ka と解釈した。

## 14-9 ウエペケレ「トノト カムイ イコシネウエ／トウキ オ ルン オクイマ メノコ」解説

語り手：鍋澤ねぶき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、私は一人のある村の、ある男でございました。噂に聞けば近くへ訪ねてくる女の人がおりまして、隣村、あるいはそのまだ隣の方へ、えー、来てその女の人言うのには、んー、まあ小さな荷物を背負って、こう村を訪ねて、そして今晚泊めてくださいと、泊めると **tuki** [杯] を一つ貸してくださいと言うので、その **tuki** [杯] を貸してあげますと、その **tuki** というのはアイヌのお祈りに使う杯ですね。大型の杯ですがお椀の大きいやつ、その杯を貸してあげると、こう、**sowsut** [部屋の隅] というふうな表現をしておりますが、こうちょっと隅っこの方へ行っ、あそこにオシッコをジャーっとオシッコをした音がする。

そして、それを持ってきて、これを飲んでくださいとそこの家主に言くと、「や、飲めません」と言くと、なんちゅうかそこで罰金を取るというのかな、そんなようなことであるものを取ってはまだ次々と歩いているのを聞いておったと。

鍋澤：(誰かが動いて物音をたてたので) **iteki e=haweaste**. [声を立てないで]

萱野：ある日のこと、まだ私の所へもやって来た。そして外で、こう、んー、声がするので家内が出てみると、噂に聞いたあの女らしい人が見えておりますという。そんなこと言わずに、まあ入れなさい。

入ってきて、見ると非常に、その上品な人で、小ぢやかな荷物を一つ背負っておる。まあ、今晚泊めてくださいと言うので、ま、泊めた。

そしたら、まー、泊まることになったら、噂に聞いた通りに杯を一つ貸してくださいと言うので、杯を一つ貸してあげると、こう影の方へ行っ、話に聞いたように、まあ、あー、ジャーっとそのオシッコをしたような音して持ってきた。**a=kor nispa** これ飲んでくださいと、家主さんよ、これ飲んでくださいというふうに言って、よくそれを取って臭いを嗅んでみたり、見たりすると、ま、お酒であったと、普通の日本酒であ

ったと、それで、まーそれを一気に、ま、飲み干した。

そうすると、その女の人の言うのには本当にありがとうございましたと、影へ持って行って、あれしたけど、実際それはオシッコではなくてお酒なんですと、私はいわゆる酒の神様だと、んー、私たちの住んでおる **armoysam** [山向こう] の村の人たちが **uymam** と言ってよそへ、まー交易に行ったわけですね。

鍋澤：うん。

萱野：そして、その、んー帰ってきたらその村は **pakooyan** [疱瘡が上陸する] といって、いわゆるその病気が流行して全滅しておった。

そこへ、まー、その交易に行った人たちも上がったら、その人たちもすぐに、ま、そこでの病気のもんで、えー感染して死んでしまったと。それで、その交易に行き帰ってきた、んー船にはいっぱいお酒から食べ物があっても、それを誰も来て食べてくれる人も、使ってくれる人もいないので、私は酒の神様であるけども、人間に身を変えて、こうやって村々を訪ねてきて、来たんですと、ところが誰も、その、まーオシッコだと思うので、それを飲んでくれなかったのに、あなただけは非常に良い精神の人なのでそれを飲んでくれましたと。

だから、あの、すぐに明日にでも行って、んー、その酒やなんかを持って、ま、死んだ人たちにも供養をし、そしてあんたたちはそれを持ってきて食べたりなんだりしてもなんも差し障りありませんからと言って、ま、その晩、その女の人は寝た。

夜が明けてみると、なるほど、寝た、あの寝た場所には、その人間であった人はいないで、酒樽が一つゴロンと転がっておった。それを、ま、皆で村の人たちを集めて飲ましたりしてから、その話のあった、んー、**pakooyan** した村、いわゆる病気のあった村へ行って、えー、その船からたくさん酒を下して、そして死んだ人達の供養もし、それを持ってきて、私たちの村へ持ってきて、それを飲んだり、使ったりしましたが、まあ、神様である、その酒の神様の女が言ったと同じ、言ったように何も差し障りなく、その後もどんな病気が流行っても私たちの村だけは、その病気にも罹らず、こうして皆で仲良く暮らしておりますと。で、酒というものは女神であるということをそこで私は知りました。と、一人の男が語りました。

ま、これなんかも、まあ **uepeker** [散文説話] としても、まあ内地に交易に行ったとか、そうしたこと、あるいは病気の流行り具合とかそん

なようなことがあり、その酒そのものにも魂があるというふうに考えておる。そのアイヌの生活、精神文化と言いましょか、そうした一端の伺える物語ですね。これは uepeker〔散文説話〕とって、えー、物語……

## 14-10 テープ内容再紹介

解説：萱野茂

萱野：えー、このテープはテープ番号 14 号で、えー昭和 44 年 2 月 18 日に、えー鍋澤、んー、ねぷきさんに、えーやってもらった uepeker [散文説話] その他です。次、テープ番号 15 号へ移ります。録音者、萱野茂です。



## 15-1 テープ内容紹介

解説：萱野茂

萱野：えーと、テープの番号が 15 号です。

鍋澤ヤオさん<sup>[1]</sup>に **kamuyyukar**〔神謡〕をやっていただきます。お願いします。

### 【注】

[1] 鍋澤ねぶきさんの戸籍上の名前は「ヤオコ」という。

## 15-2 カムイユカラ

「シペチャリ ミントウチ (ヘムノエ)」

## 静内川の河童神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=ヘムノイエ  
V=hemnoye

V モコロ クル ヘ アン  
V mokor kur he an

寝ている者か

V モナク クル ヘ アン  
V monak kur he an

起きている者か

V カムイ オルシペ  
V kamuy oruspe

神の話を

V アイェ ワ ネ ヤク  
V a=ye wa ne yak

語ったなら

V アイヌ オツ タ  
V aynu or\_ ta

人間の所で

V チャヌプネ アン クス  
V canupne an kusu

教訓となるから

V アイェ ハウエ ネ  
V a=ye hawe ne

私が言うのだ。

V エネ オカ ヒ  
V ene oka hi

こういうことだ。

V トカプチ セコロ V Tokapci sekor	十勝川と
V アイェ ペトツ タ V a=ye pet or_ ta	呼ばれる川に
V シノ ニシパ V sino nispa	まことの旦那の
V レヘ タシ V rehe tasi	名前は
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌ
V ネ ルウエ ネ V ne ruwe ne	であるのだ。
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌは
V シネ マツネボ V sine matnepo	一人の娘を
V コラブ V kor a p	持っていたのだが
ネア シネ マツネボ nea sine matnepo	その一人娘が
V アイヌ オツ タ V aynu or_ ta	人間のところに
V イナン カ サッカ V inan ka sakka	比ぶ者のない美貌

V アリテク サッカ V ar itek sakka	比ぶ者のない手練
V ピリカ メノコ V pirka menoko	美しい女性が
V アン ルウェ ネ V an ruwe ne	いるのだ。
V キ アクス V ki akusu	そうしたところ
V ミントウチ カムイ V mintuci kamuy	河童が
V カムイ オツ タ V kamuy or_ ta	神のところで
V ヤイコトムカ プ V yaykotomka p	ふさわしい人（結婚相手）を
V フナラ ヤッカ V hunara yakka	探しても
V オアラリサム V oarar isam	全くいない
V アイヌ オツ タ V aynu or_ ta	人間のところで
V ネア シリサマイヌ V nea sirsamaynu	そのシリサマイヌ
V コロ マツネポ V kor matnepo	の娘を

V ヤイコトムカ V yaykotomka	見初めた。
V タンペ クス V tanpe kusu	このために
V アイヌ ネ ヤイカラ ヒネ V aynu ne yaykar hine	人間に化けて
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌ
V オロ タ V oro ta	のところに
イヨルンクン ネ アン シリ iyorunkur_ ne an siri	住み着いた様は
V エネ オカ イ V ene oka h_i	このようであった。
V レプン チコイキプ V repun cikoykip	沖の獲物
V ヤウン チコイキプ V yaun cikoykip	陸の獲物
V エアウナルラ V eawnarura	を獲ってきて
V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌを
V エピリカクル V epirkakur	大切に大切に

V レシパ カネ V respa kane	養って
V ネア シリサマイヌ V nea sirsamaynu	そのシリサマイヌが
エラマス クス eramasu kusu	好もしく思っ
V ネア ミントウチカムイ V nea mintucikamuy	その河童
V ココウネ コロ ワ V kokowne kor wa	を婿にして
V オカ ルウエ ネ V oka ruwe ne	いるのだ。
V キワ ネ コロカ V ki wa ne korka	そうしたのだけれど、
V オアラ アナクネ V oar anakne	全くもって
V アラケウトウム V arkewtum	心の半分は
V アエアナサプクル V a=eanasapkurur	危なげな者
V ネ ルウエ ネ V ne ruwe ne	であるのだ。
V タンペ クス V tanpe kusu	そのために

V シリサマイヌ V sirsamaynu	シリサマイヌが
V ソパケ ウン カムイ オロ ワ V sopake un kamuy oro wa	家の守護神に
V アウエンタラプテ V a=wentarapte	夢を見せられ
キ ヒネ ネア ki hine nea	て、その
シリサマイヌ sirsamaynu	シリサマイヌ
V コロ ココウエ V kor kokowe	の婿を
V エニウチンネ ルウエ ネ V eniwcinne ruwe ne	追い出したのだ。
V エニウチンネ ヒネ V eniwcinne hine	追い出されて
V ソイネ キ コロ V soyne ki kor	(河童は) 外に出ると
V エネ イタキ V ene itak h_i	このように言ったこと
V 「イケスイアナクン オラノ V “ikesuy=an y_akun orano	「私が出て行ったならそれから
タン トウペツ tan tupet	この二つの川

テエタ レヘ アナク teeta rehe anak	昔の名は
ポロカリペツ porokaripet	大きい回る川
V ネア コロカ V nea korka	であるけれど、
V イケスイアナクン オラノ V ikesuy=an y_akun orano	私が出て行ったなら
アレコ カトウ a=reko katu	それからの名は
V トカプチ セコロ V Tokapci sekor	十勝川と
V アレコ ルウエ ネ V a=reko ruwe ne	呼ばれるのだ。
V エエパキタ V eepakita	その次に
ネア…… トカプチ チタ ハル nea ...Tokapci cita haru	その十勝川の畑の作物
V チコイキプ ハル V cikoykip haru	狩の獲物の
V ハル ラマチ V haru ramaci	食糧の魂を
V ネア ミントウチカムイ V nea mintucikamuy	その河童が



V コロ ワ イケスイ 持って、怒って出て行った  
 V kor wa ikesuy

V ルウエ ネ ヤクン なら  
 V ruwe ne yakun

V オロワノ それから  
 V orowano

エタカスレ 特に  
 etakasure

V タン トカプチ この十勝川に  
 V tan Tokapci

V ケムラモマ 飢饉の神が入る  
 V kemram oma

V キ ナンコン ナ」 だろうよ。」  
 V ki nankor\_ na”

V オロワウン それからまた  
 V orowaun

ネア セコロ イタク コロ ソイネ ルウエ ネ イネ  
 nea sekor itak kor soyne ruwe ne h\_ine  
 その と話しながら外に出て、

オラノ コタン ピシ ノ ネア ミントウチカムイ  
 orano kotan pis no nea mintucikamuy  
 それから村ごとにその河童の神が

ヤイエヤントエトウン ネ ヤッカ  
 yayeyantoetun ne yakka  
 自分の泊まる宿を借りようとしても

V アラ ケウトウム V ar kewtum	心の半分は
V アエアナサプクル V a=eanasapkur	手に負えない人
V ネ ワ ネンカ エハム カ ソモ キ V ne wa nenka eham ka somo ki	であって、誰も泊めようとしな
V キ ワ エカイネ V ki wa ek ayne	で来たあげく
V タン シピチャラ V tan Sipicar	この静内川を
V アラパ アイネ V arpa ayne	進んでいくと
V ナイ ネ アラパ ワ V nay ne arpa wa	沢になって行く
V アラパ アイネ V arpa ayne	さかのぼっていくうちに
V コッ ネ アラパ ワ V kot ne arpa wa	谷となって行く。
V コテトコホ V kot etokoho	谷の先
V エコタンコロ ペ V ekotankor pe	に住んでいる者の
V レヘ タシ V rehe tasi	名こそ

V トイコンチコロ 土の帽子かぶり  
**V Toykoncikor**

V ムンコンチコロ 草の帽子かぶり  
**V Munkoncikor**

V ネ ルウエ ネ ワ であるのであって  
**V ne ruwe ne wa**

V オハ ウェン カムイ 凶悪の神を  
**V oha wen kamuy**

V ウエハム マ 引き止めて  
**V ueham w\_a**

V タン シピチャラ この静内川が  
**V tan Sipicar**

(次の文は散文になる)

シピチャレムコ コヤントネ ワ 静内川の上流に寄寓して  
**Sipicar emko koyantone wa**

(再び韻文に戻る)

ミントウチカムイ 河童の神が  
**mintucikamuy**

V キ ルウエ ネ するのであった。  
**V ki ruwe ne**

V ヤクン すると、  
**V yakun**

(次から散文)

ウサ ハル ラマツコロ ワ

**usa haru ramatkor wa**

いろいろな食物の魂を持って

イケスイ ペ ネ クス

**ikesuy pe ne kusu**

出てきたものであるので、

(韻文に戻る)

V タン シピチャラ

**V tan Sipicar**

この静内川が

V エタカスレ

**V etakasure**

他より余計に

V アエポピリカ

**V aep opirka**

食糧が豊かになる

V キルウエネ

**V ki ruwe ne**

のだ。

V キワネヤッカ

**V ki wa neyakka**

そうだけれども、

V ミントウチカムイ

**V mintucikamuy**

河童の神が

V ヤクウクシリ

**V yaku uk siri**

役目を果たす様子は

V エネアンクニ

**V ene an kuni**

このようになる

V

(次から散文)

パピシ コラチ

papis koraci

毎年のように

サラッカムイ アン ナンコン ナ。

sarakkamuy an nankor\_ na.

水死体があるだろうよ。

(韻文に戻る)

アイヌ オツ タ

aynu or\_ ta

アイヌのところで

V アヌ ワ ネ ヤク

V a=nu wa ne yak

聞いたのなら

V ヤイトウパレアン ナ

V yaytupare=an na

気を付けるのだよ。

V チャヌプネアン ナ

V canupne=an na

教訓とせよ。

V エヌ ヘタプ キ

V e=nu hetap ki

お前が聞いたか

V モコロ クル ヘ アン

V mokor kur he an

寝ている者か

V モナックル ヘ アン

V monakkur he an

起きてる者か

ヘムノイ…… シコロ

hemnoy... sekor

と

V ウララ…… ウライ カ タ 梁の上で少し  
 V urar... uray ka ta

ポンノ ホツケ ワ 少し横になって、  
 ponno hotke wa

ポンノ モコロ クル 少し眠っていた者が  
 ponno mokor kur

コロ ウェンタラプ ネ 見た夢なのだ。  
 kor wentarap ne

シコロ アン という  
 sekor an

カムイユカラ クヌ プ ネ アワ  
 kamuyyukar ku=nu p ne awa  
 神謡を聞いたもんだ。

サタモ  
 satamo  
 さたも

(フチ：おれ、おらも、おれ聞いたの違うよ)

マク イェ ハウエ アン?  
 mak ye hawe an?  
 なんて言ったの？

うん、あーそうかそうかうん

(フチ：タアン アコロ ペツ ペシ サン ハウエ ネ アペコロ イェ した)  
 (フチ： taan a=kor pet pes san hawe ne apekor ye SITA)  
 (フチ：この私の川に沿って下の方へ行ったように言った)

あーそうか

シピチャッ タ ネ ヤカイエ ヒ ネノほんとうに シピチャッ タ

Sipicar\_ ta ne yak a=ye hi neno HONTOUNI Sipicar\_ ta

静内川っていうところはこのように本当に静内川に

(フチ：オラノ しげのばば イェ エアシカイ ワ それ)

(フチ：orano SIGENOBABA ye easkay wa SORE)

(フチ：おらの一 シゲのババがそれ言うのが上手で)

ソレクス エタカスレ アン ペ

sorekusu etakasure an pe

それこそ他より余計にあるものが

(フチ：何回も XXX)

サラッカムイ ネ ヤク アイェ プ

sarakkamuy ne yak a=ye p

水死体であるということを

(フチ：ハシナウコロカムイ ネ クニ アラム

(フチ：hasinawkorkamuy ne kuni a=ramu

(フチ：狩猟神だと私が思った

ハシナウ エテテ カネ ワ パッカイ メノコ

hasinaw etete kane wa pakkay menoko

杖つきの木幣を杖にして、子をおぶり

ホックホック コロ

hotkuhotku kor

かがみながら

エネ ハウエアニ ウエンタラブ

ene hawean h\_i wentarap

このように言ったことを夢に

アコロ セコロ ハウエアン コロ)

a=kor sekor hawean kor)

見たといいながら)

うん と

(フチ：イエしたってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：ye したってゆうことゆって聞いたのに)

(フチ：言ったっていうこと聞いたのに)

ヘンパラ ワノ

**hempara wano**

いつから

クヌ プ ネ アニ アン やっぱり

**ku=nu p ne an h\_i an YAPPARI**

私が聞いたものであったか、やっぱり

コント まー そういう ウパシクマ

**konto MA SOUYUU upaskuma**

それから、まーそうゆう昔話

だから シサム ウタラ カヌ ヘネ キワ

**DAKARA sisam utar ka nu hene ki wa**

だから、和人たちも聞きでもして

ちーっとその シピチャツ トウラシ

ちーっとその **Sipicar\_turasi**

ずーっとその、静内川沿いに

何里おきだか地蔵さん祀って

シラン ペネ ヒネヒワノ

**siran pe ne hi ne hi wano**

いる様子であって、その時から

その サラッカムイ なくなた。

その **sarakkamuy** なくなた

その水死者がでなくなつた。



(フチ：ネ サッシピチャラ シコロ

(フチ：ne sat Sipicar sekor

(フチ：その乾いた静内川と

アイェ ヒ アン。とっか シピチャン の奥の方には)

a=ye hi an. TOKKA Sipicar\_ の奥の方には)

言うところがある。どっか静内川の奥の方には)

うん

(フチ：シネ アウエヘ

(フチ：sine awehe

(フチ：ひとつの支流

オクツサク ワ サツ ワクス

okutsak wa sat wakusu

出口がなくて、干上がっているので

オサツ たか なんとけ)

osat たか なんとけ)

川尻が乾いた、たかなんたけ)

サッシピチャツ

satsipicar\_

乾いた静内川

(フチ：サツ シピチャラ シコライエ。オロ タ

(フチ：sat Sipicar sekor a=ye. oro ta

(フチ：乾いた静内川という。そこで

ウエンカムイ アン ヒ ネ ワクス

wenkamuy an hi ne wakusu

悪い神がいるところだから

オサツ ヒ ネ セコロ

osat hi ne sekor

その川尻が乾いているのだと

フチ ウタラ ハウエオカ ハウエ クヌ したものの。

**huci utar haweoka hawe ku=nu SITAMONO**

おばあさん達が言ったのを聞いたもの。

ヌマン イェ ハウエ シンナイノ アン。したからXXX) <sup>[1]</sup>

**numan ye hawe sinnayno an.** したからXXX)

昨日言ったことは違っていた。したからXXX)

ふーん

(フチ：エイエしたらきつと エイエ ヒケ ほんとだなーっと思っておらいた)

(フチ：e=ye したらきつと e=ye hike ほんとだなーっと思っておらいた)

(フチ：お前がそうやって言ったらきつと言うことは ほんとだなーっと思っておらいた)

カニ カ アコロ ウナラペポウタリ

**kani ka a=kor unarpepoutari**

私も私のおばさんたち

アコロ フチ ウタラ イェ ワ クヌ

**a=kor huci utar ye wa ku=nu**

おばあさん達が言って、私が聞いた。

ヒネノ クイエ ハウエ よ。(重なって聞こえない)

**hi neno ku=ye hawe YO.**

聞いた通りに言ったんだよ。

(フチ：シンネ クイエ ハウエ

(フチ：sinne ku=ye hawe.

(フチ：そのように私も言ったのよ。

イエ ワ クヌ ランケ いっちでも キ

**ye wa ku=nu ranke ITTIDEMO ki**

言うのをいつでも聞いていた。

カレ ウナラペ だの シゲばばだの

**Kare unarpe DANO SIGE BABA DANO**

カレおばさんだのシゲ婆だの

ウコウエカラパ コロ ウコキパ ハウエ クヌ プ ネ)

ukouekarpa kor ukokipa hawe ku=nu p ne.)

が互いに集まったら語りあっていたのを聞いたもんだ)

【注】

[1] 声が重なって聞き取りづらい。

## 15-3 カムイユカラ「シペチャリ ミントウチ (ヘムノエ)」解

## 説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、あの一、今鍋澤さんから採録したこの **kamuyyukar** [神謡] なんですけれども、前に、前に昨日か、一昨日かな。あの一平賀さだもさんからこれとやや同じようなのを録音してあります。

が、筋書きはやはり、こう年齢の差でしょうか、同じようですけどまとまりというか、そういう感じが、あの一、今の鍋澤さんの方が非常に良くまとまった **kamuyyukar**。

どうして静内川に、その水死人が多いか **sarakkamuy** というのは水死人のことを言うんですけれども、静内には河童の神様がおるんだと、十勝川には住んでおった河童が静内川に来たと、そのときに、その十勝川の、そのいわゆる魚の種を持ってきたので、し、し……十勝川はあまり魚上らないし、静内川は魚上るんだと。そんなようなことをおばあさんは言うておりました。

これは **kamuyyukar** [神謡] でしたね。

鍋澤：うん、うん。

## 15-4 カムイユカラ

「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマツ (パウチョーチ  
ョパフムフム) チロンヌプ アイヌ コチャランケ」

### キツネのチャランケ

語り：鍋澤ねぶき

サケへ V=パウチョ チョパ フムフム  
V=pawco copa humhum

タパン シコツ タ  
tapan Sikot ta

この千歳川で

V ウ ネプ アイヌフ  
V u nep aynuhu

いったいどのアイヌが

シコエクテ ワ  
sikoekte wa

来させて

ウ アタ クニ プ  
u at a kuni p

たくさんいるはずのものが

V ウ チェプ ネ ヒネ  
V u cep ne hine

サケであって (サケだというので)

シネ チェプ アエ ヒ  
sine cep a=e hi

一匹のサケを私が食べたことを

アイコパク クス  
a=i=kopak kusu

私が罰せられて

V アイヌ ウェニタク	アイヌの悪い言葉
V aynu wen itak ウ クンヌイタク u kunnuitak	呪いの（黒雲のような）言葉を
アイコスイェ ヤ a=i=kosuye ya	浴びせられるのか
V イシカラ プトゥ タ	石狩川の河口に
V Iskar putu ta	
イシカラ コロ カムイ Iskar kor kamuy	石狩川の神
チワシ コロ カムイ ciwas kor kamuy	河口を司る神が
ウ レヘ タシ u rehe tasi	名こそ
V ピリピンノイエクル	ピリピリノイエクル <sup>[1]</sup>
V pirpinnoyekur	
ピリピンノイェマツ pirpinnoyemat	ピリピリノイェマツ
ネ ルウエ ネ ワ ne ruwe ne wa	であるのであって
シコエクテ ワ sikoekte wa	来させて
エカ チェプ ek a cep	来たサケ
エク ア クニ プ チェプ ネ ワ	来たはずのものはサケであって

ek a kuni p cep ne wa

ソロンパン カ タ  
soronpan ka ta

算盤の上で

ウ カンピ° カ タ  
u kampi ka ta

紙の上で

ウピ°シ レホチ  
upis rehoci

合わせて 60

V アウピ°シパレ°ワ  
V a=upispare wa

揃えられて

タパン シコッ°タ  
tapan Sikot ta

この千歳川に

アフナ クニ°プ  
ahun a kuni p

入ったようなものが

ウ アタ クニ°プ  
u at a kuni p

たくさんいるべきものが

ウ チェプ°ネ ヒケ  
u cep ne hike

サケであって

ウ ネプ°アイヌフ  
u nep aynuhu

なんのアイヌが

シコッ°エクテ°ワ  
Sikot ekte wa

千歳川に来させて

ウ アタ クニ°プ  
u at a kuni p

たくさんいるはずのものが

ウ チェプ°ネ ヒネ

サケであって（サケだというので）

u cep ne hine

V シネ チェプ アエ ヒ

一匹のサケを私が食べたことで

V sine cep a=e hi

アイコパク クス

罰を受けさせられて

a=i=kopak kusu

V アイヌ ウェン イタク

アイヌの悪い言葉

V aynu wen itak

ウクンヌ イタク

呪いの（黒雲のような）言葉

ukunnu itak

V

（ここから散文）

アイコスイェ ヤ シコロ

を私が浴びせられるのかと

a=i=kosuye ya sekor

チロンヌプ カムイ ハウエアン コロ

cironnup kamuy hawean kor

キツネの神が言いながら

ペツ パルツ タ チャランケ コロ アン ヤク

pet parur\_ ta caranke kor an yak

川の縁で談判しながらいたという

ウェンタラプ カムイユカン ネ コロカ

wentarap kamuyyukar\_ ne korka

夢の神謡であるけれど

カムイ イルシカ ハウエ ネ クニ アラム ワ

kamuy iruska hawe ne kuni a=ramu wa

神が怒ったという話だと思われて



アイヌ ウタラ ウコラムコロ ワ

**aynu utar ukoramkor wa**

アイヌ達が互いに相談して

カムイ コヤシンケアン ルウエ ネ

**kamuy koyasinke=an ruwe ne**

神に謝罪をしたのだ。

シコロ アン カムイユカラ

**sekor an kamuyyukar**

という神謡を

クヌ だけよ。

**ku=nu DAKEYO.**

私が聞いた。それだけよ。

**【注】**

[1] ピリピリノイエクル *pirpirnoyekur* は川の神の名。pirpir「渦巻き」noye「～をねじる」kur「人」という意味か。発音は、ピリピノノイエクル *pirpinnoyekur* となっている。

[2] ピリピリノイエマツ *pirpirnoyemat* は川の女神の名。pirpir「渦巻き」noye「～をねじる」mat「女」という意味か。発音は、ピリピノノイエマツ *pirpinnoyemat* となっている。

15-5 カムイユカラ「ピリピリノイエクル ピリピリノイエマ  
ツ (パウチョーチョパフムフムフム) チロンヌプ アイヌ コ  
チャランケ」解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、なんたけ、その Iskar putu [石狩川の河口] のなんちゅう神様？

鍋澤：pirpir\_noyekur pirpir\_noyemat [ピリピンノイエクル ピリピンノイエマツ] あっこ道撒くべ、それ a=ye hine yak a=ye wa [それを言うそう  
だ]。

萱野：pirpir... [ピリピリ……]

鍋澤：...noyekur pirpir\_noyemat [……ノイエクル ピリピンノイエマツ] だ。

萱野：その pirpirnoyekur pirpirnoyemat [ピリピリエクル ピリピリノイエマツ] という神様が魚を持ってきておったのが、

鍋澤：うんうん、それ。

萱野：魚なのに、その、1匹の魚を食ったからとて、アイヌに悪口を言われて、私はこうやって川の縁に座ってアイヌさ caranke、談判つけているんだと一人の神様が言いましたというあれだな。  
それはキツネの神様ですね、cironnupkamuy。

鍋澤：そうだそうだ、えーcironnupkamuy [キツネの神]。

## 15-6 カムイユカラ

## 「アワキナベンザイ (アエパウ)」

## 青草の弁財船

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=アイ パウ  
V=ay paw

ネイ タ アン コタン V  
ney ta an kotan V

どこにある村

ネイ タ アン モシリ V  
ney ta an mosir V

どこにある国

ウ レヘ タシ V  
u rehe tas V

名こそ

アイヌ サク モシリ V  
aynu sak mosir V

人間のいない国

チカプ サク モシリ V  
cikap sak mosir V

鳥のいない国

ウ ネ ワ クス V  
u ne wa kusu V

であるので、

アイコエニウチンネ V  
a=i=koeniwcinne V

そこへ追われて

ヤイヌアン ヒケ V  
yaynu=an hike V

それを思うと

イルシカ パウセ V iruska pawse V	怒りの鳴き声の
アコサロトウイマ V a=kosarotuyma V	尾を長く
アヌヒタラ V anuhitara V	伸ばして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船
アヤイモムポックル V a=yaymompokkur V	私は自分の手を
ウ トウシマク カネ V u tusmak kane V	忙しく動かして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船を
アカン ルウエ ネ V a=kar_ ruwe ne V	私が作ったのだ。
ウ チパラケ ワ V u cip arke wa V	船の片側に
アワキナ シサム V awakina sisam V	青草の和人
ウピシ レホチ V upis rehoci V	全て 60 人
アカン ルウエ ネ V a=kar_ ruwe ne V	私が作ったのだ。

ウ チパラケ ワ V u cip arke wa V	船の片側に
アワキナ アイヌ V awakina aynu V	青草のアイヌ
ウピシ レホチ V upis rehoci V	全て 60 人
アカン ルウエ ネ V a=kar_ ruwe ne V	私が作ったのだ
シサム アナクネ V sisam anakne V	和人は
シサム ハヤシ V sisam hayasi V	和人の囃子の
エアロクツケシ V earokutkes V	互いの拍子を
ペカ カネ V peka kane V	継ぎながら
アイヌ アナクネ V aynu anakne V	アイヌは
アイヌ ハヤシ V aynu hayasi V	アイヌの囃子の
エアロクツケシ V earokutkes V	互いの拍子を
ペカ カネ V peka kane V	継ぎながら

アシヌマ アナク V asinuma anak V	私は
チプ シケ カ タ V cip sike ka ta V	船荷の上で
イルシカ パウセ V iruska pawse V	怒りの鳴き声を
アコサロ トウイマ V a=kosarotuyima V	尾を長く
アヌヒタラ V anuhitara V	伸ばして
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船が
ウ カンペ クルカ V u kanpe kurka V	水面の上
エチャラセ ワ V ecarse wa V	を駆けて
アトウイ トモトウイエ V atuy tomotuye V	海を横切って
パイェアン アワ V paye=an awa V	行ったところ
ウ ホシキノボ V u hoskinopo V	真っ先に
ウ パシクル アチャ V u paskur aca V	カラスのおじさん

パシクル オッカヨ V paskur okkayo V	カラスの男が
イケサンパ ワ V i=kesanpa wa V	追いかけてきて
「チロンヌプ カムイ V “cironnup kamuy V	「キツネの神よ
マケイキ シリ アン? V mak e=iki siri an? V	何をするのですか
アコロ ア モシリ V a=kor a mosir V	私たちの土地
アコロ コタヌ V a=kor kotanu V	私たちの郷を
エホツパ チキ V e=hoppa ciki V	貴方が離れたら
ウ ネウン ネ ワ V u neun ne wa V	どうやって
ラマツコロ クス V ramatkor kusu V	(土地が (?)) 魂を持てるというので
エイキ ヤ セコロ V e=iki ya sekor V	あなたはそんなことをするのか、と
アイヌ アナクネ V aynu anakne V	アイヌは
アタナン クス V atanan kusu V	至らないので

パカネ イタク V pakane itak V	馬鹿である言葉を
イエ ハウエ ネ ナ V ye hawe ne na V	言うのだぞ。
チロンヌプ カムイ V cironnup kamuy V	キツネの神は
ヤイラムトモイタク」 V yayramtomoytak” V	思い留まりなさい」
ハウエアン コロ hawean kor	(と) 言いながら
イケサンパ ヤッカ V i=kesanpa yakka V	追いかけても
ソモ アヌ ノ V somo a=nu no V	私は聞かないで
アラパアン オラノ V arpa=an orano V	行った。それから
カムイ オピッタ V kamuy opitta V	神々が
イケサンパ キ ワ V i=kesanpa ki wa V	追いかけて
トゥ ピリカ クニ プ V tu pirka kuni p V	数々の良いことを
イエパカシヌ V i=epakasnu V	私に教える



キワネ ヤッカ V ki wa ne yakka V	けれども
ソモ アヌ ノ V somo a=nu no V	私は聞かないで
ウ ネイ タ パクノ V u ney ta pakno V	いつまでも
イルシカ パウセ V iruska pawse V	怒りの鳴き声を (上げ)
アコサロ トウイマ コロ a=kosarotuyima kor	尾を長く伸ばしながら
アトウイ トモトウイエ V atuy tomotuye V	海を横切り
パイェアン アイネ V paye=an ayne V	行くうちに
ウ アイヌラックル V u Aynurakkur V	アイヌラックルが
イケサンパ ワ V i=kesanpa wa V	追いかけてきて
「チロンヌプ カムイ V “cironnup kamuy V	「キツネの神よ
ネウン エイキ シリ V neun e=iki siri V	何をして
オカ ヤ? セコロ V oka ya? sekor V	いるのですか、と

アコロ コタンポ V a=kor kotanpo V	私の村
アコロ モシリポ V a=kor mosirpo V	私の土地から
エホツパ チキ V e=hoppa ciki V	貴方が離れたなら
ウ ネウン ネ ワ V u neun ne wa V	どのようにして
ラマタコロ ヤ」 V ramat a=kor ya” V	私たちは魂を持つのか」
ハウエアン コロ hawean kor	(と) 言いながら
イケサンパ ヤッカ i=kesanpa yakka	追いかけても
ソモ アヌ ノ somo a=nu no	私は聞かないで
イルシカ パウセ アキ コロ iruska pawse a=ki kor	私は怒って鳴きながら
アラパアナ プ センネ ウン arpa=an a p senne un	なお行くと、よもや
ウ アイヌラックル V u Aynurakkur V	アイヌラックルが
エネ イタキ V ene itak h_i V	このように言った。

「ウエン チロンヌプ カムイ V “wen cironnup kamuy V	「悪いキツネの神よ、
ウン エイキ チキ V un e=iki ciki V	お前がそうするなら
イキア クナク V ikia kunak V	決して
ネイタ カ エアラパ ワ neyta ka e=arpa wa	どこかへお前が行って
エヤイウエンヌカッ チキ e=yaywennukar_ ciki	苦しんだなら
アコロ コタンポ V a=kor kotanpo V	私の村
エオイラムネレ V e=oyramnere V	について心にとめることになる
キナ」 シコロ イイエ コロ ki na” sekor i=ye kor	ぞ」と言いながら
イルシカ コロ iruska kor	怒りながら
ホシピ <sup>o</sup> ワ イサム hosipi wa isam	帰ってしまった。
オラノ orano	それから
ウ ネイ タ パクノ V u ney ta pakno V	いつまでも

アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船が
ウ カンペ クルカ V u kanpe kurka V	水面の上
エチャラセ ワ V ecarse wa V	を滑って
パイェアン アイネ V paye=an ayne V	いったあげく
タネ アナクネ V tane anakne V	今は
アワキナ ペンチャイ V awakina pencay V	青草の弁財船
キナ ネ クス V kina ne kusu V	草であるので、
スムムケ キ ワ V sumumke ki wa V	しおれてしまつて
アラトウイソ カ V aratuysō ka V	遠い沖の上で
コアラサツチェプ ネ V koarsatcep ne V	干し魚の背を割るように
アワキナ シサム V awakina sisam V	青草の和人
アワキナ アイヌ カ V awakina aynu ka V	青草のアイヌも

キナ ネ クス V kina ne kusu V	草であるので
ウ ムン ネ クス V u mun ne kusu V	雑草であるので、
スムムケ キ ワ V sumumke ki wa V	枯れていって
アラトウイソ カ V aratuysō ka V	遠い沖の上で
コアラサツチェプ ネ V koarsatcep ne V	干し魚の背を割るように
オカケヘ タ V okakehe ta V	そのあとに
アレクチ パテク V a=rekuci patek V	私の首だけ
トゥク カネ ワ V tuk kane wa V	突き出て
ヤイウエンヌカラ パウセ V yaywennukar pawse V	苦しい鳴き声を
アエカ…… aeka…	
アイエ カネ コロ V a=ye kane kor V	私が言いながら
ウ ソンノ ポカ V u sonno poka V	思ったとおり

ウ アイヌラックル V u Aynurakkur V	アイヌラックルが
ウ イェ プ コラチ V u ye p koraci V	言ったように
アコロ コタンポ V a=kor kotanpo V	私の村
アコロ モシリポ V a=kor mosirpo V	私の土地
エウンノ アナン マ eunno an=an w_a	に向かって
ヤイウエンヌカラ パウセ V yaywennukar pawse V	苦しみの鳴き声を
アキ カネ コロ V a=ki kane kor V	あげながら
エッセエッセアン コロ V etsetse=an kor V	息が詰まりそうになりながら
イキアン アワ V iki=an awa V	いたところ
アレクシコンナ V ar ekuskonna V	とつぜん
イネ ヘマンタ V ine hemanta V	何者かが
イラウコタプ V i=rawkotapu V	私を抱え込み

イイエキラ フミ V 連れて逃げた。  
i=ekira humi V

アエキサラストウ V 私の耳の根元が  
a=ekisarsutu V

ウ マウクルル V 風でピューピューと鳴った。  
u mawkurur V

ウ キ ロク アイネ V そうしているうちに  
u ki rok ayne V

イネ フナク タ V どこかで  
ine hunak ta V

(ここから散文)

アイオスラテキネ インカラナクス  
a=i=osuratek h\_ine inkar=an akusu  
パッと投げ出されて私が見ると

シシリムカ アコン ルウエサン  
Sisirmuka a=kor\_ ruwesan  
沙流川は私の浜辺

ルウエサン カ タ アイオスラ イネ アン。インカラアナクス  
ruwesan ka ta a=i=osura h\_ine an. inkar=an akusu  
浜辺の上に私は投げ出されていた。見たよ。

オウフイニカパトウシ カリ テク ヤクン  
ouhuynikapattus kari tek yakun  
裾の燃えた樹皮衣がさっと翻った。ならば

アイヌラックル イエキラ シリ ネ クニ アラム。クス ケライボ  
Aynurakkur i=ekira siri ne kuni a=ramu. kusu keraypo  
アイヌラックルが私を連れてきたのだろうと思った。そのおかげで

アコロ コタン タ アナン ルウエ ネ

a=kor kotan ta an=an ruwe ne

私の村に暮らしてるのだ

シコッ チロンヌプ カムイ ハウエアン。シコロ

sekor\_ cironnup kamuy hawean. sekor

とキツネの神が語った。とさ。



## 15-7 カムイユカラ「アワキナベンザイ（アエパウ）」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：私は一匹のキツネでありましたと。アワキナと、どんな草よアワキナって。

鍋澤：した、awakina っば、ま、青草。キツネはなんでも騙すことやるべ。するもんだから、hu... hu... hukina ani pencay kar hawe [生草で弁財船を作ること] だべし。ってゆうような意味でないのか。

萱野：うーん、青草で船を作って、それに、エーシャモもアイヌも大勢の乗組員を乗せて海へ繰り出した。

鍋澤：それも作って。

萱野：それも全部その草で作って海へ乗り出したと。そうしたら一羽のカラスが飛んできて「どこ行くの？ キツネさん。そんなことしてよそへ行くんでないよ」と。「やっぱりアイヌの国土はいいから行くんでない」と言われても、それを聞かずにどんどん漕ぎ出していったと。

その次来た神様なんだ？ paskur [カラス] の後から来た。

鍋澤：ちょ、kamuy opitta [神様みんな] てば、ま、mosir or\_ ta oka kamuy [国土にいる神様] みんなから kese a=anpa [追いかけれ] しても。

萱野：あー、なるほど、なるほど、いろいろな神様が次から次と来て、戻りなさいと言っても戻らない。

鍋澤：ただ、paskur okayo [カラスの男] と Aynurakkur [アイヌラックル] だけは k=eramuan korka [わかるけれど] あとの神様は kamuy opitta [神様みんな] っていうから。

萱野：あーなるほどね。いろいろな神様が戻っ……うーん、アイヌの国土へ戻りなさい、戻りなさいと言っても、私は戻らずにどんどん沖へ漕ぎ出して行った。そうすると私たちの乗っ……私の乗っておるその船は青草で作ってあるので、それが間もなくこう、sumumke という、それは、あの一、こう……し、しなびちゃって、

鍋澤：し、しなびて、しなびて。

萱野：しなびてしまって、舟が沈んだ。そうしたら、もうアップ、アップ、アップアップもう水に今にも溺れそうになったのに、なってもう今はもうこれまでかと思っておるところへ誰かが来てさっと救い上げてくれた。そのまま、まあ気が付かないで、まあ気を失ってしまって、ポンとどこかへ下ろされたので、良く見ると私の昔住んでおった、a=kor ruesan [私の浜辺] といったな？

鍋澤：うん、うん。

萱野：自分の住んでおった場所へ持ってこられた。良く見る、良く見るとでない、そうやってポンっと下されて、気を付けて見ると ou... ouhuynikapattus [燃える樹皮衣] だな。んー、裾の方がさっ、すすのほう……裾の方にさっと炎の見た、んー厚司を着た人が助けてくれたんだと。それは Okikurmikamuy であったでしょう。

それから私はまだアイヌの国土で生活しておる一匹のキツネでありますという kamuyyukar [神謡] だな。

鍋澤：うん、うん。

(録音中断)

鍋澤：(pas)kur kamuy [カラスの神] とていうものは、この aynumosir\_ ta isam eaykap. ok... oka yak easir pirka p ne [この国土にいなくなることはできない。いるからこそ良いのだ] ってゆう upaskuma [言い伝え] あるんだ。

萱野：cironnup [キツネ] と paskur [カラス] は aynumosir [人間の国土] にいた方がいいもんだって。並んでな。

## 15-8 カムイユカラ

「サロルン ニッネプ (サントイキヤンキリヤン)」

茅原の化けもの

語り：鍋澤ねぶき

サケへ V=サントイキリヤンキリヤン  
V=santaykiryankiryayan

V ペン ヌタプ タ 川上の野原に  
V pen nutap ta

パン ヌタプ タ 川下の野原に  
pan nutap ta

トゥ チェプ カ 二匹の魚も  
tu cep ka

レ チェプ カ 三匹の魚も  
re cep ka

チチウ ワ チロンヌ 私が突いて殺した。  
ci=ciw wa ci=ronnu

チェワ チョケレ 私が食べ終え  
c=e wa c=okere

V アイヌ ヘネ アイヌでも  
V aynu hene

カムイ ヘネ 神でも  
kamuy hene

ヤイパロイキ クス yayparoyki kusu	自分の口を養うために
アラキ コツ arki kor_	やって来ると
チチウ ワ チロンヌ ci=ciw wa ci=ronnu	私が突いて殺した。
チェ ワ チョケレ c=e wa c=okere	私が食べ終えた
V オカアサワ V oka=as awa	私がいたところ
V シネアント タ V sineanto ta	ある日に
V イネ ヘマンタ V ine hemanta	何者かが
イシサウコンナ isisawkonna	悪口を言う声が
ヤクナタラ yaknatara	近づいて
V アラキ ハウエ V arki hawe	来たのは
エネ オカ イ ene oka h_i	このようなこと
V 「サロルン ニツネヒ V ”sarorun nitnehi	「茅原の化けもの

エイキ ヒケ e=iki hike	お前は
ポオイ シクヌ ポ poon_ siknu po	少しばかり生きる
エキ ナンコン ナ <sup>[1]</sup> 」 e=ki nankor_ na”	だろうよ。」
V ハワシケ V hawas h_ike	と言って
インカラサクス inkar=as akusu	見てみると
V トヤラサルシ <sup>[2]</sup> V Toyarasarus	ひどいアラサルシ
ウェナラサルシ Wenarasarus	悪いアラサルシ
ネ ロコカ ne rokoka	だった。
V エネ アラキ ヒネ V ene arki hine	このように来て
オアッチニ oatcini	片足は
オマクシ omakusi	後ろに
オアッチニ oatcini	片足は

オサウシ osawsi	前の方に
アイシヌ…… アシヌマ カ ネノ aysinu… asinuma ka neno	私も同様に
アオアッチニ a=oatcini	私の片足は
アオマクシ a=omakusi	後ろの方に
アオアッチニ a=oatcini	私の片足は
アオサウシ a=osawsi	前の方に
V ウコテレケアノロワノ V ukoterke=an orowano	取っ組み合いをして、それから
トゥトイ シンリッ tu toy sinrit	ふたつの根っこを
アウコメウバ <sup>[3]</sup> a=ukomewpa	互いに掘り起こした。
キロカイネ ki rok ayne	そうしているうちに
V インカラン ルウエ エネ アン V inkar=an ruwe ene an	私が見たのはこうだ。
トヤラサルシ Toyarsarus	ひどいアラサルシ

ウエナラサルシ Wenarsarus	悪いアラサルシ
カネ サンペアッ kane sanpeat	金属の心臓
イワイ サンペアッ iwan_ sanpeat	六つの心臓
ヤヤイ サンペアッ yayan_ sanpeat	ただの心臓
イワイ サンペアッ iwan_ sanpeat	六つの心臓を
コン ロコカ kor_ rokoka	持つのだった。
アシヌマ カ asinuma ka	自分も
カネ サンペアッ kane sanpeat	金属の心臓
イワイ サンペアッ iwan_ sanpeat	六つの心臓
ヤヤイ サンペアッ yayan_ sanpeat	ただの心臓
イワイ サンペアッ iwan_ sanpeat	六つの心臓を
アコン ロコカ a=kor_ rokoka	持つのだった。

V アウコトウイパ  
V a=ukotuypa

私が互いに切った

アウコウエンテ  
a=ukowente

私が互いに荒らした

V キロカイネ  
V ki rok ayne

そうしているうちに

(ここから散文)

ウエコッアン ルウエ ネ セコロ  
uekot=an ruwe ne sekor  
互いに死んでしまったと

サロルン ニツネヒ ハウエアン  
sarorun nitne hi hawean  
茅原の化け物が言った。

シコン ネ アカイエ  
sekor\_ ne yak a=ye.  
というのだ。

(萱野：あーなるほどな)

アラサルシっていうのは クマのきかないもののこっでないのか。  
arsarus っていうのは クマのきかないもののこっでないのか。  
アラサルシっていうのは クマの乱暴なやつのものでないのか。

(萱野：うん)

と、思うな

(萱野：うん)

クマは尾っぱないべ



(萱野：うんうんない)

サルシチラマンテプっていうものは  
**sarusciramantep** っていうものは  
尾のある獲物 (クマ) っていうものは

(萱野：うん)

おっかないものだと

(萱野：あ〜そうかい)

うん

トヤラサルシ ウェナラサルシってば  
**Toyarasarus Wenarsarus** ってば  
ひどいアラサルシ、悪いアラサルシってば

(萱野：あ〜なるほどね)

【注】

- [1] *poon siknupo e=ki nankor na* 「お前は少しばかり生きるだろうよ」というのは、反語的な表現で、「お前が生き延びることはないぞ」という意味。
- [2] *arsarus* というのは、一種のクマの化け物。
- [3] *sinrit mewpa* というのは大木などの根を掘り起こすことだが、そのようにして相手を持ち上げて投げ飛ばしたということか。

## 15-9 カムイユカラ「サロルン ニッネプ (サントイキヤンキ リヤン)」解説

語り手：鍋澤ねぶき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、私は一羽の鶴でありました。えー、魚を捕って食べておったり、食べたりしておる。そこへ人間が来ると人間をもとって食う。そういう悪さをしておった一羽の鶴でした。

ある日のこと、ずっと向こうの方から物音、声がするので見ると、**arsarus** という、その獰猛な熊がやってきて、この悪い鶴め、お前を叩き殺してやるというわけで襲いかかってきた。

そうしたら、あー、鶴である私、一方の足は陸（おか）の方へ一方の足は水へ浸かるぐらいにしてかまえた。向こうから来る、その **arsarus** という化け熊もそれと同じようなかまえをして、えー、まあ、取っ組みあった。

そうすると、**arsarus** も普通の心臓の、**at** というのは心臓の糸、が六本、鉄で出来た心臓の緒が六本というふうに、もうすごく心臓も丈夫。けれども、その鶴もそのように、**arsarus** もそのような **kane** えー、**sampe an... at** [鉄の心臓の糸] 六本というふうに、鉄で出来た心臓の糸が六本、普通のが六本というふうに持っているので、双方四つに組んで大格闘をしてどっちも死んだと、一羽の鶴が自分で語りましたという。そういう意味だな？ **kamuyyukar** [神謡]。

鍋澤：ん、んだ、んだ、んだ。(笑)

## 15-10 カムイユカラ

「フリ ニッネプ チャクチャクカムイ (フムフムトリヤテ)」

怪鳥フリとミソサザイの神

語り：鍋澤ねぶき

サケヘ V=フムフム トリヤテ  
V=humhum toriyate

チコロ スンク  
ci=kor sunku

私のエゾマツの

ランケ テケ  
ranke teke

下の方の枝

V チャムコサイエ  
V c=amkosaye

を私の爪でつかみ

リクン テケヘ  
rikun tekehe

上の枝を

V チチョロコパシテ  
V ci=corkopaste

下に引っ張って(?)

イトクパ イペ  
itokpa ipe

つつき食い

イリシパ イペ  
irispa ipe

むしり食い

V チコン……  
V ci=kor…

キ コン ネシ ki kor_ nesi	ながら
オカアナワ oka=an awa	私がいたところ
V シネアンタ V sineanta	ある日に
ノト ヌカラ noto nukar	風を見た
V キ アクス V ki akusu	ところ
ピリカ ノト pirka noto	良い風
チシレアヌ cisireanu	がある。
V ピシタ サパシ V pista sap=as	私は浜へ下る
キ アクス ki akusu	と
V シ エタシペ V si etaspe	大きいトドが
モコロ ワ オカ mokor wa oka	眠っていた
シ エタシペ si etaspe	大きいトド

チャムコサイエ c=amkosaye	を爪でつかまえる
キ アクス ki akusu	と
シ エタシペ si etaspe	大きいトドが
アリキキ コロ arikiki kor	力を出すと
V エホシトム パクノ V ehostom pakno	膝あたりまで
アイラウエカッタ a=i=rawekatta	私は海の中へ引き込まれた
V アリキキアン コロ V arikiki=an kor	私が力を出すと
シ エタシペ si etaspe	大きいトドを
カンペ クルカ kanpe kurka	水の上へ
V チョプスカラ V c=opusukar	引き上げ
キ ロカイネ ki rok ayne	たあげく
シ エタシペ si etaspe	大きいトドを

チョアンライケ <b>c= oanrayke</b>	殺した。
V シ エタシペ <b>V si etaspe</b>	大きいトドを
チャムコサイエ <b>c= amkosaye</b>	爪でつかみ
V チコロ スンク <b>V ci= kor sunku</b>	私のエゾマツの
ランケ テケ <b>ranke teke</b>	下の枝を
V チャムコサイエ <b>V c= amkosaye</b>	爪でつかみ
リクン テケヘ <b>rikun tekehe</b>	上の枝を
V チチョロコパシテ <b>V ci= corkopaste</b>	下に引っ張っては
イトクパ イペ <b>itokpa ipe</b>	つつき食い
イリシパ イペ <b>irispa ipe</b>	むしり食い
チコオアンノチ <b>ci= kooannoci</b>	ひと口ずつ
カンナ カンナ <b>kanna kann</b>	繰り返し（食べて）

V オカアサワ V oka=as awa	いたところ
イネ ヘマンタ ine hemanta	何者かが
アラキ ハウエ arki hawe	来る音が
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	このようにだった。
タン ウェン フリ tan wen huri	この悪いフリ
シルン ウェン フリ sirun wen huri	とてもひどいフリ
V ネプネレ V nep un=ere	私に何か食わせて
ネプナンテ nep un=ante	何かよこして
V エイキ ヒケ V e=iki hike	くれたとて
ポオイ シクヌポ poon_ siknupo	生きていられると
V エキ キ ナ V e=ki ki na	思うなよ
ハワシケ hawas h_ike	そう言う声がして

V インカラサクス V inkar=as akusu	見ると
チャクチャク オッカヨ cakcak okkayo	ミソサザイの男
ネ ロコカ ne rokoka	であったのだ。
(フチ：待てよ)	
イトクパ イペ イリシパ イペ アキ コロ itokpa ipe irispa ipe a=ki kor	むしり食い、つつき食いを私がしつつ
あの時も カムイ オピッタ アラキ ワ ANOTOKIMO kamuy opitta arki wa	あの時も神が皆来て
タン ウェン フリ tan wen huri	この悪いフリ
シルン ウェン フリ sirun wen huri	とてもひどいフリ
V ネプネレ V nep un=ere	私に何か食わせろ
ネプナンテ nep un=ante	何かよこせ
V ハワシ コロ V hawas kor	と言うと
チャムコサイエ c=amkosaye	私は爪でひつつかみ



チョアンライケ c= oanrayke	殺した
V キ ロカイネ V ki rok ayne	したあげく
イヨシノ エク ペ iosno ek pe	あとから来た者が
スイ ネノ ハウエアニネ suy neno hawean h_ine	またこのように言って
インカラサクス inkar=as akusu	見ると
チャクチャク オッカヨ cakcak okkayo	ミソサザイの男
ネ ロコカ ne rokoka	であったのだ。
V イララ ケウトウム V irara kewtum	悪さをする気持ち
チコロ クフ ci=kor kuhu	
チコロ チ…… ci=kor ci...	
チヤイコロパレ ci=yaykorpore	がわいた。
V チャクチャク オッカヨ V cakcak okkayo	ミソサザイの男

(ここから散文)

チャムコサイエ クス ネ コロ

**c=amkosaye kusu ne kor**

を爪でつかまえようとする

チコンコヌトウル アコンコヌトウル

**ci=konkon utur a=konkon utur**

私の羽毛、私の綿毛

クシ クシ カネ オロワノ

**kus kus kane orowano**

を通り抜けて、それから

チャクチャク オッカヨ チハイタカラ ペ

**cakcak okkayo ci=haytakar pe**

ミソサザイ男を私はとり逃がして

ヤイクルカ タ ヤイトウマム カ

**yaykurka ta yaytumam ka**

自分で、自分の体も

アアメオケレ アイネ

**a=ameokere ayne**

爪でひっかき終えたあげく

アヘルモトチ アン ワ

**a=herumotoci an wa**

骨だけになって

トゥライ ウェンライアン

**turay wenray=an**

ひどい死に方、悪い死に方をした。

## 15-11 カムイユカラ「フリ ニッネプ チャクチャクカムイ (フムフムトリヤテ)」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えーと、あの一今のは、この huri [フリ] という大きい鳥のはなしなんですけれども、んー、アイヌでの、その空想上の鳥だと思われま

鍋澤：うん。

萱野：えー、私は一匹の、一羽の huri でありました。ある日のこと海辺へ行くと、大きな etaspe と言ったら？ これは、

鍋澤：TONTTO sekor si... sisam ye p [和人がトドと言うもの]。

萱野：トド、あーそうかい。大きなトドがいたので、そのトドを、トドを、んー、爪で抑えて引き上げようとした。

そうすると、そのトドが力を入れると自分、その huri が、んーと、真ん中まで、海の中へ引きずられ、引きずりこまれそうなる。また、ある時には自分が力を入れると、そのトドが胴、真ん中を、水面に引き上げる事ができる。そういう格闘をした後に、どうやら、その、んーそのトドを殺して、そして自分の巣を、巣に持ってきた。そして、そこで悠々として食っていた。

そうすると、そこへ他のいろいろな神様がやってきて一口食べさせて、少しごちそうして、そう言っても一口も食べさせずに、そう言ってくる神様をひと爪でこうかっちやいて [引っ搔いて] 殺しちゃう、そうやりながら食べておったある時にまた来たのは cakcak okkaypo [ミソサザイの男] といって、あの、よくこれ、あの一アイヌではその鳥を大切にしますね、あの茶色の

鍋澤：んー、んだんだ。

萱野：小さい鳥で、

鍋澤：pon pon cikap [小さい、小さい鳥]

萱野：そして、よくあの川の水面なんかちゃっちゃ、ちゃっちゃと行って飛ぶんですけれども、よく、この **cakcak** [ミソサザイ] のことなんか更科源蔵先生なんかよく書いてるんですけれども、えー、アイヌに熊のいる場所教えたりという、私の父もよく言っておったものですけれども **ipirma kamuy** [こっそり教える神] といって、よく、その危険を知らせてくれるということで大切にすらしいんですが、その **cakcak** という鳥が来た。そうしたら、こんな小さな、ま、スズメよりちょっと小さいぐらい、村スズメよりちょっと小さい。

鍋澤：んだ、そうだ、そうだ。

萱野：そのスズメよりも小さい鳥なので、そのまま見て見ないふりしておった。そばへ来るのでカッとかっちゃく [引っ掻く] と、その爪の間から逃げたり、**konkon uturu kus** というのは羽の間？

鍋澤：うん、そうそう。毛の、

萱野：毛の間だな？

鍋澤：うん。

萱野：毛の間から飛び去ってしまうという風にするので殺すことができない。何回もやってるうちに自分自身の爪で自分の体をかっやいで [引っ掻いて]、死んでしまったと。一羽の **huri** が自分で、えー言いました。これの **sakehe** は、えー、今言ったように、なんだ **sake...**

鍋澤：**humhumtoriyate** (笑)

萱野：**humhumtoriyate** ですね。それが **sakehe** で、あれしたわけですね。

鍋澤：(笑い声)

## 15-12 カムイユカラ

## 「ハンチキキ」

## スズメの酒盛り

語り：鍋澤ねぶき

サケへ V 1 =ハンチキキ

V1=hancikiki

V 2 =ソクソキ ヤ

V2=soksoki ya

V 3 =ハンチピヤク

V3= hancipiyak

V 1 シネ アマムプシ

ひとつの穀物の穂を

V1 sine amampus

V 1 チタタタタ

刻んだ。

V1 ci=tata tata

V 1 サケへ チカラ

それで酒を作った

V1 sakehe ci=kar

V 1 イワイ シントコ

六つの行器を

V1 iwan\_ sintoko

V 1 ロッ チョライエ

上座の方に寄せる

V1 ror\_ c=oraye

V 1 イワイ シントコ

六つの行器

V1 iwan\_ sintoko

V 1 ウトウツ チョライエ V1 utur_c=oraye	下座に寄せる
V 1 カムイ オピッタ V1 kamuy opitta	私は神々を
V 1 チェアフンケ V1 c=eahunke	招待した。
V 1 センネ シサク トノト V1 senne sisak tonoto	めずらしい酒
V 1 アウコマクテッカ V1 a=ukomaktekka	と一緒に互いに宴会を開いた
V 1 キ アクス V1 ki akusu	ところ
V 1 エヤミ オッカヨ V1 eyami okkayo	カケスの男が
V 1 タプカラ タプカラ V1 tapkar tapkar	踏み舞をし、
V 1 ソイ ワ サン マ V1 soy wa sam w_a	外に
オシライエ osiraye	行った
V 1 キ アクス V1 ki akusu	ところ
V 1 シネ ニセウ ヌム エクパ ヒネ V1 sine nisew num ekupa hine	ひとつのドングリを啜ってきて

V 1 シントコ オレカッタ V1 sintoko or ekatta	行器にの中に入れた
ウェン ミナ ハウ チェオシマレ wen mina haw c=eosmare	大笑いの声がまき起こった
V 1 タプ シリキ ヒ V1 tap sirki hi	その様子を
パシクル オッカヨ ヌカラ ヒネ paskur okkayo nukar hine	カラスの男が見て
タップカッ タプカラ tapkar_ tapkar	踏み舞をした。
ソイ ワ サン マ soy wa san w_a	外に出て
オシライェ ワ osiraye wa	行った
V 1 キ アクス V1 ki akusu	ところ
V 1 シネ シ タクタク V1 sine si taktak	ひとつの糞の塊
エクパ ワ コロ ワ アフン マ ekupa wa kor wa ahun w_a	啜えて持って来ていて
シントコ オレカッタ sintoko or ekatta	行器の中に入れた
ウェイ サカヨ wen_ sakayo	ひどい騒ぎに

チェオシマレ c=eosmare	突入した。
V 1 パシクル オッカヨ V1 paskur okkayo	カラスの男は
アラコキクキク <sup>[1]</sup> a=rakokikkik	羽とともに殴られ
アライケ ノイネ a=rayke noyne	殺されたらしい
シリキ イクス sirki h_ikusu	様子なので、
アスラニアン クス asurani=an kusu	緊急事態を知らせるために
あの	
エソクソキ オッカヨ esoksoki okkayo	アカゲラの男
オロ タ アラパアン アクス oro ta arpa=an akusu	のところに私は行ったところ、
V 2 エサケ コロ ワ V2 e=sake kor wa	お前が酒を造って
V 2 イタカ ヤクン V2 i=tak a yakun	私を招いたなら
V 2 サカヨ アン ヤッカ V2 sakayo an yakka	騒ぎになっても



V 2 アタンネタミ  
V2 a=tannetami

私の長い刀を

(ここから散文)

アトゥリトゥリ  
a=turituri

伸ばし

アタクネタミ  
a=taknetami

私の短い刀を

アエテテテテ  
a=etetetete

私は杖のようにしてつき

イカオパサナクン  
ikaopas=an y\_akun

かけつけて

サカヨラッチ コロカ  
sakayorateci korka

争い事もないけれど

イタク ソモ キ ワ  
i=tak somo ki wa

招きもしないので

ソ…… ソ…… ソモ イカオパサン ナ シコロ(?) 駆けつけるものか、と  
so... so... somo ikaopas=an na sekor

オラウン チピヤク オッカヨ  
oraun cipyak okkayo

それからオオジシギの男に

オロ タ スイ  
oro ta suy

そこでまた

アスラニアン アクス スイ  
asurani=an akusu suy

危急を知らせたところ、また

(ここから韻文)

V 3 エサケ コロ ワ  
V3 e=sake kor wa

お前が酒を持って

V 3 イタカ ヤクン  
V3 i=tak a yakun

私を招いたなら

V 3  
V3

(ここから散文)

サカヨ アナツカ  
sakayo an y\_akka

騒ぎがあっても

アタンネタミ  
a=tannetami

私の長い刀を

アトゥリトゥリ  
a=turituri

伸ばした。

アタクネタミ  
a=taknetami

短い刀は

アエテテテテ  
a=etetetete

杖のようにしてついた。

イカオパシ アナク  
ikaopas=an y\_ak

駆けつけては

サカヨラッチ コロカ  
sakayoratci korka

争い事も静まったけれど、

イタク カ ソモ キ ワ  
itak ka somo ki wa

誘いもしないので

ソモ イカオパシアン  
somo ikaopas=an

駆けつけないよ

シコロ ハウエアン。  
sekor hawean.

と言った。

エカナクス イエトコ タ  
ek=an akusu i=etoko ta

家に来ると私の前に

パシクル オッカヨ  
paskur okkayo

カラスの男

アライケ ワ  
a=rayke wa

は殺されて

うっふっふっふ

アラコキッキク ワ  
a=rakokikkik wa

羽とともに何度も叩き、

アライケ ワ イサム シコロ  
a=rayke wa isam sekor

殺されて死んだと

うん、これはきっと

アマメチカッポ  
amamecikappo

スズメが

エネ ハウエアン ハウエ だべ  
ene hawean hawe DABE

こう言った話だべ。

(萱野：うん)

うっふっふっふ

アエミナノ  
a=eminano

可笑しい

**【注】**

[1] a=rakokikkik と言っているが、a=rapkokikkik 「羽ぐるみ叩く」という意味と考えて訳した。後にももう一度同じ表現が出てくる。

## 15-13 カムイユカラ

「イウオロ コロ カムイ (ペットウーペットウ)」

狩場の神

語り：鍋澤ねぶき

サケへ V=ペッル ペッル  
V=petru petru

V マタパ サク クル 妹のないものが  
V matapa sak kur

V チネ プ ネ クス 私なので  
V ci=ne p ne kusu

V ペラッネ キナ 編まないガマ  
V peratne kina

チピラピラ を私は広げ  
ci=pirapira

V カシ タ ロカシ 上に座った  
V kasi ta rok=as

V ウ キ アクス…… ヒネ そうして  
V u ki akus... hine

ランマ カネ いつもいつも  
ramma kane

カッコロ カネ かわりなく  
katkor kane

V ウ オカアサワ V u oka=as awa	私は暮らしていたところ
V シネアン ト タ V sinean to ta	ある日に
V プヤロンネヒ V puyar onnehi	窓のところに
クルンクルン kurunkurun	影がさす
V インカラサクス V inkar=as akusu	私は見てみると
V エヌンノヤ V enunnoya	エヌンノヤ <sup>[1]</sup>
セコロ アイェ チカッポ sekor a=ye cikappo	と言われる小鳥
V プヤラ シク…… 違うわ V puyar sik... 違うわ	
V プヤラ オンネヒ V puyar onnehi	窓のところに
クルンクルン kurunkurun	影が
V インカラシ アクス V inkar=as akusu	私は見てみると
V えー ポロ トウキ V えー poro tuki	大きい杯の

カンパスイカン kanpasuykan	上の捧酒籠が
モムナタラ momnatara	ただようほどに酒が満ち
V キケウシパスイ V kikeuspasuy	削りかけの付いた捧酒籠が
V ウ トウキ カ タ V u tuki ka ta	杯の上で
テレケテレケ terketerke	跳ねながら
V ウ ソンコ アツパ V u sonko atpa	伝言のはじめ
ピタ カネ pita kane	を解くように
ソンコ サラケシ sonko sarkes	伝言の末尾を
アツテ カネ atte kane	をかけるように
V ソンコ イエ ハウエ V sonko ye hawe	伝言を言う様子は
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなこと
V インカラ クス V inkar kusu	見てみなさい

V イウオロ コロ カムイ V iwor kor kamuy	狩場を司る神よ、
V オキクルミ V Okikurmi	オキクルミ (という)
アイヌ ニシパ aynu nispa	アイヌの偉い方が
V イウテク ハウエ V i=utek hawe	私を使者にしたことは
エネ オカ ヒ ene oka hi	このようなこと
V ウ アイヌ コタン V u aynu kotan	アイヌの村が
ケムシ キ ワ kemus ki wa	飢饉になって
V エネネ ヒ カ V enene hi ka	どうすることも
イサム マ isam w_a	できなくて
ケシト アン コロ kesto an kor	毎日毎日
ムイ オマ プ ランケ muy oma p ranke	箕に入っているものを下し、
アエイカオピウキ ヤッカ a=eykaopiwki yakka	人々を助けても



タネ アナクネ tane anakne	今は
V エネネ ヒ カ V enene hi ka	どうすることも
イサム ルウエ ネ isam ruwe ne	ないのだ。
V イウオツ コロ カムイ V iwor_ kor kamuy	狩場を司る神よ
チェプ アツテ ワ cep atte wa	サケを増やして
イコロパレ ヤン i=korporare yan	下さい。
V ユク アツテ ワ V yuk atte wa	シカを増やして
イコロパレ ヤン i=korporare yan	下さい。
V ケライ ネ ヤクネ V keray ne yakne	そのおかげで
アイヌ ウタラ aynu utar	アイヌ達が
シクヌ ヤクン siknu yakun	生きたとしたらば
V イナウ アニ V inaw ani	イナウで

サケ アニ sake ani	酒で
V ヤヤッタサ クニ プ V yayattasa kuni p	お礼をするべきもの
アイェ クシ ネ ナ a=ye kus ne na	と私が言いますよ。
V イウオロ コロ カムイ V iwor kor kamuy	狩場を司る神よ
V ウ チェパッテ ワ V u cep atte wa	サケを増やして
ユカッテ ワ yuk atte wa	シカを増やして
イコロパレ ヤン i=korporare yan	下さい
V セコロ オカイ ペ V sekor okay pe	ということ
V キケウシパスイ V kikeuspasuy	削りかけの付いた捧酒籠が
ソンコ アツパ sonko atpa	伝言のはじめ
ピタ カネ pita kane	を解くように
ソンコ サラケシ sonko sarkes	伝言の終わり

アッテ カネ atte kane	をかけるように
V ソンコ イエ V sonko ye	伝言を
ハウエアニ クス hawean h_i kusu	言う様子なので
ネア トウキ nea tuki	その杯
アウイナ ヒネ a=uyna hine	を私がとって
V イワイ シントコ V iwan_ sintoko	六つの行器を
V ロロ アオライエ V ror a=oraye	上座の方に寄せ
イワイ シントコ オロ iwan_ sintoko or	六つの行器のところを
ウトウラオライエ utur a=oraye	下座の方に寄せ
オロ アオタ ワ oro a=ota wa	そのところから汲み入れた。
オラウン カムイ オピッタ oraun kamuy opitta	それから神々
V チェアフンケ V c=eahunke	を招待し、

V シサク トノト V sisak tonoto	盛大な宴会
V アウコマクテッカ V a=ukomaktekka	を開催した
V ネ クルカ タ V ne kurka ta	その席で
アイェ アクス a=ye akusu	言ったところ
V んー チェプ コロ カムイ V んー cep kor kamuy	サケを司る神が
エネ イタキ ene itak h_i	このように言った
V ウ アイヌ オツ タ V u aynu or_ ta	アイヌのところで
V チェプ アロンヌ コロ V cep a=ronnu kor	魚が殺されると
イサパキクニ カ サク ノ <sup>[2]</sup> isapakikni ka sak no	なづち棒も持たずにで
チシ コロ アラキ cis kor arki	泣きながら帰ってくる。
V イルシカアン クス V iruska=an kusu	私は怒ったために
チェプ アアツテ カ ソモ キ cep a=atte ka somo ki	サケを下さない

シコロ ハウエアシ オラ sekor haweas ora	と言った。
ユク コロ カムイ オロ タ yuk kor kamuy oro ta	シカを司る神に
アイェ アクス a=ye akusu	私が言ったところ (シカを司る神は)
V ウ アイヌ オツ タ V u aynu or_ ta	アイヌのところで
ユカロンヌ コロ yuk a=ronnu kor	シカが殺されると
イナウ カ サクノ inaw ka sakno	イナウもないで
アラキ キ ワ arki ki wa	戻って、
V チシ コロ アラキ V cis kor arki	泣きながら帰ってくる。
V イルシカアン クス V iruska=an kusu	私は怒ったために
(ここから散文)	
ユク アアツテ カ ソモ キ yuk a=atte ka somo ki	シカを下しはしない
シコロ ハウエアシ コロカ sekor haweas korka	と言ったけれど
チェプ コロ カムイ	サケを司る神の

cep kor kamuy

プウェヘ タ

puwehe ta

倉のところに

アラパアナクス

arpa=an akusu

私が行ったところ

サラニプ オロ

saranip or

袋のところに

チェプ ポネ オ ワ

cep pone o wa

サケの骨が入って

アニ クス

an h\_i kusu

いたので、

アシコン ネ

askor\_ ne

両手で

アウキネ

a=uk h\_ine

私は取って

ペチウオロ カ タ

peciwor ka ta

川の上に

アチャッチャリ アクス

a=catcari akusu

まき散らしたところ、

オロワノ

orowano

それから

ポクナ チェプ ルプ

pokna cep rup

下の魚群は

(ここから韻文)

スマ シル suma siru	石でこすり
カンナ チェプ ルプ kanna cep rup	上の魚群は
スクシ チレ sukus cire	日の光で焼ける
V セムコラチ V semkoraci	ように
チェプ アツ ルウエ ネ cep at ruwe ne	魚が増えたのだ。
V ユク コロ カムイ V yuk kor kamuy	シカを司る神の
プウエ タ アラパアナクス puwe ta arpa=an akusu	倉に行ったところ
ユク ポネ オ yuk pone o	シカの骨が入った
サラニプ アン ヒ クス saranip an hi kusu	袋があったので、
V ポネ アウキネ スイ V pone a=uk h_ine suy	骨を取って
イウオロ ソ クルカ iwor so kurka	狩場の上に
アチャッチャリ ナ a=catcari na	まき散らした。

V キ アクス V ki akusu	そうしたところ
V アプカ トパ V apka topa	雄ジカの群れは
シンナ カネ sinna kane	別々に
モマンペ トパ momampe topa	メスジカの群れは
シンナ カネ sinna kane	別々に
V オロワ ユク アッ ヒネ V orowa yuk at hine	それからシカが増えて
オロワノ アイヌ ウタラ orowano aynu utar	それからアイヌ達は
ユク コイキ ワ エク yuk koyki wa ek	シカを獲って来た。
チェプ コイキ ワ エ ワ cep koyki wa e wa	魚を獲って食べて
シクヌ ルウエ ネ siknu ruwe ne	生きのびることができた。
V スイ オキクルミ V suy Okikurmi	またオキクルミ
アイヌ ニシパ aynu nispa	アイヌの偉い方が



V スイ ポロ トウキ V suy poro tuki	また大きい杯の
カンパスイカン kanpasuykan	上の捧酒籠が
モムナタラ momnatara	流れるほど (酒がふちまでいっぱいになって)
V エク ルウエ ネ V ek ruwe ne	きたのだ。
V アウイナ ヒネ スイ V a=uyna hine suy	受け取って
シントコ オロ アオタ sintoko or a=ota	行器に空けた。
V カムイ オピッタ V kamuy opitta	神々みんなを
チェアフンケ c=eahunke	招き入れた
V シサク トノト V sisak tonoto	盛大な宴会
アウコマクテッカ a=ukomaktekka	を開いた。
(ここから散文)	
キ アクス オロタ ki akusu orota	ところ
エアシリ カムイ ウタラ easir kamuy utar	本当に神々が

オハイネ オハイネ  
ohayne ohayne

なるほどなるほど

ネノ ネ ワ タシ  
nenone wa tas

このようであるからこそ

アイヌ アイノミ ワ  
aynu a=i=nomi wa

人間に祀られて

アエヤイカムイネレ  
a=eyaykamuynerere

自ら神になる

ネク シコロ ハウエオカ  
nek sekor haweoka

のだと言った。

アイヌ ウタラ カ  
aynu utar ka

アイヌ達も

シクヌ ワ オロワノ  
siknu wa orowano

生きのびて、それから

アイノミ コロ  
a=i=nomi kor

私も祀られて

オカアン ルウエ ネ  
oka=an ruwe ne

暮らしているのだ

シコロ イウオロ コロ カムイ  
sekor iwor kor kamuy

と狩場を司る神が

ハウエアン シコロ  
hawean sekor

言ったという。

あはははは

**【注】**

- [1] エヌンノヤは『久保寺辞典稿』によると「四十雀」(P63)。
- [2] isapakikni はサケの頭を叩いて息を止めるための棒だが、一種のイナウであり、それで頭を叩かれたサケはそれを土産として神の国に帰ると考えられている。

## 15-14 カムイユカラ「イウオロ コロ カムイ (ペットウーペ ットウ)」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、今のはこれ kamuyyukar [神謡] だな。

鍋澤：うん、kamuyyukar。

萱野：えーと、シカやさ……シカとか魚とかがいないときに天の神様の神様の袋からシカの骨を散らかしたり、魚の骨を散らかしたら、それが生きて走り、生きて泳ぎ、それによってアイヌたちが生活をすることができた。

それからアイヌのところからたくさんの、んーイナウとかお酒とかがきて私たちは神様として祀られるようになったと、そういうことなんです。

鍋澤：うん、そうだ。

萱野：kamuyyukar [神謡]。

鍋澤：kamuyyukar [神謡]。

## 15-15 ウエペケレ

「ボン ウェン シサム ウエペケレ」

若い貧乏な和人のお話

語り：鍋澤ねぶき

パッコ アン。トゥン ネ シラン ヒケ

**pakko an. tun ne siran hike**

老婆がいた。二人でおり、

ポ コロ ワ オカイ ペ ネ……

**po kor wa okay pe ne...**

息子がいて。

ウン…… トウンネ ワ オカイ ペ ネ ヒケ

**un... tunne wa okay pe ne hike**

二人でいたのだが、

キ ヒネ ウェンクン ネ。エネ イキ パイ カ イサム ペ ネ ヒケ

**ki hine wenkur\_ ne. ene iki pa h\_i ka isam pe ne hike**

貧乏人であった。どうすることもできず、

ネ ポン ウエイ シサム ニナ コロ オラ

**ne pon wen\_ sisam nina kor ora**

その若い貧乏人の和人は薪を集め、それから

ム…… ムツ タサ コロ ネ ムル オイポソレ<sup>[1]</sup> パ ワ

**mu... mur\_ tasa kor ne mur oyposore pa wa**

糠と交換すると、その糠をざるで漉して、

ヌクキヒ カ アン コロ

**nukukihi ka an kor**

くだけた米があると

メシ カラ パ ワ

**mesi kar pa wa**

ご飯を作り、

カムイ オツ タ ヤンケ ランケ コロ オカイ ペ ネ ヒケ

**kamuy or\_ ta yanke ranke kor okay pe ne hike**

いつも神に供えていたのだが、

ネア ポン ウエイ シサム パッコ エネ ハウエアニ。

**nea pon wen\_ sisam pakko ene hawean h\_i.**

その若い貧乏人の和人の老婆はこのようにいった。

「ウエンカス エネ ウエン クル アネ クス

**“wenkasu ene wen kur a=ne kusu**

「あまりにも、このように私達は貧乏人なので

ネウ カ ア (?) トオ トウイマ ヒ タ

**new ka a(?) too tuyma hi ta**

どこかずっと遠いところに

カムイ たか アン ウシケ アン ペ ネ アカイエ クシ エウン エアラパ ワ

**kamuy TAKA an uske an pe ne y\_ak a=ye kus eun e=arpa wa**

カムイだかがいる場所であると言われている場所があるので、そこへお前は行って

エン…… ネウン ポカ ネ ワ…… ニシパ エネ クニ エネ

**en... neun poka ne wa... nispa e=ne kuni e=ne**

なんとかして長者にお前は成りなさい。

ナニ エネ ウエンクル アネ クニ ネ

**nani ene wenkur a=ne kuni ne**

すぐ、このように私達が貧乏人である原因を

エヌ ワ エエ ヤク…… エエク ヤク。」

**e=nu wa e=e yak... e=ek yak.”**

お前は聞いて来たら」

セコロ ネア ウエイ シサム パッコ ハウエアン ヒネ

**sekor nea wen\_ sisam pakko hawean hine**

とその貧乏人の和人の老婆が話し、

「うん。オハイネ。オハイネ。」

“UN. ohayne. ohayne.”

「うん。なるほど。なるほど」

セコロ ネア ポン…… ポン ウエイ シサム ラ (?) イヌ ヒネ オラウン

**sekor nea pon... pon wen\_ sisam ra(?) inu hine oraun**

とその若い貧乏人の和人が聞いて、それから

ポオン イチェン コロパ プ ネア ポイ シサム ウブソロ オマレ。

**poon icen korpa p nea pon\_ sisam upsor omare.**

ほんのわずかの持っていたお金を、その若い和人は懐へ入れた。

ネア ウェン…… ウェン ルプネマツ

**nea wen... wen rupnemat**

その貧乏人のおばあさんは、

マク クイェ チキ ピリカ<sup>[2]</sup>

**mak ku=ye ciki pirka?**

どう言ったらいいんだ？

キ ヒネ オラウン アラパ ルウエ ネ。

**ki hine oraun arpa ruwe ne.**

それから行ったのだった。

コロ ネア ウヌフ エネ ハウエアニ。

**kor nea unuhu ene hawean h\_i.**

すると、その母はこのように言った。

「ネイ タ カ パイエアナツカ

“ney ta ka paye=an y\_akka

「どこに行っても

ウエン クツ チセ オツ タ アナクネ ソモ レウシアン ペ ネ ナ。

wen kur\_ cise or\_ ta anakne somo rewsian pe ne na.

貧乏人の家には泊らないようにしなさい。

ネウン エオテクサク ヤッカ ニシパ チセ ネ ノイネ ラム プ オロ タ

neun e=oteksak yakka nispa cise ne noyne ramu p oro ta

どのようにお前は貧しくても、長者の家であるらしいと思うところに

エレウシ コロ エオマナン ペ ネ ナ。」

e=rewsi kor e=omanan pe ne na.”

泊まって行くのだよ」

セコロ ネア ウヌフ イェ コロ オラウン

sekor nea unuhu ye kor oraun

とその母親が言うと、それから

アラパ ルウエ ネ ヒネ オラノ アラパ ア アラパ ア アイネ

arpa ruwe ne hine orano arpa a arpa a ayne

ずっと行って

フナク タ ソンノ カ ニシパ チセ ネ ノイネ アン ペ オロ タ

hunak ta sonno ka nispa cise ne noyne an pe oro ta

どこかに、本当に長者の家であるらしいものところに

ヤイエヤントエトウン アクス

yayeyantoetun akusu

宿を借りたところ、

アヤ…… アレウシレ ヒネ レウシ ヒネ

aya... a=rewsire hine rewsihine

泊めてもらって、泊まって、

「フナク ウン アラパ アン (?) ポイ シサム エネ ルウエ アン？」

“hunak un arpa an(?) pon\_ sisam e=ne ruwe an?”

「あなたはどこへ行く若い和人の方ですか？」



セコロ アコウウエペケンヌ アクス

sekor a=kouwepekennu akusu

と尋ねられると

「タプネ カネ ウェンクル アネ ワ エネ イキアニ カ イサム ア プ

“tapne kane wenkur a=ne wa ene iki=an h\_i ka isam a p

「このように私は貧乏人で、どうすることもできず、

アウヌフ トオプ トウイマ イ タ

a=unuhu toop tuyma h\_i ta

私の母は、ずっと遠いところに、

カムイ イタク アヌ ウシケ アン ペ ネ アカイェ エネ エウン エアラパ ワ

kamuy itak a=nu uske an pe ne y\_ak a=ye ene eun e=arpa wa

カムイの言葉を聞けるという場所に行つて

ヤイエイニンピシ ワ イヌ セコロ イイエ ワ エカン ペ ネ。」

yayeininpis wa inu sekor i=ye wa ek=an pe ne.

どうしてか見てもらってみなさいと私に言い、やって来たのです」

セコロ ハウエアン アクス

sekor hawean akusu

と話す

「タネ エネ ハワシ ハウエ ネ チキ タ アン……

“tane ene hawas hawe ne ciki ta an…

「今このような話であるなら、

マ…… マチヤ ウン トノ アネ ヒネ アナン ルウエ ネ アクス

ma… maciya un tonon a=ne hine an=an ruwe ne akusu

私は町にいる和人で、

シネ マツネポ パテク アコロ ア プ

sine matnepo patek a=kor a p

一人娘がいるのだから

シイエイエ ヒネ ネウン どの くすり アクレ ヤッカ  
 siyeye hine neun DONO KUSURI a=kure yakka  
 病気で、どうしてもどの薬を飲ませて

ウエン ワ タネ ライ クニ ネノ アン ルウエ ネ クス  
 wen wa tane ray kuni neno an ruwe ne kusu  
 悪くなる一方で、もう死んでしまいそうなので、

シイエイエ モト エヌ ワ エエク ワ イコレ ソモ キ ルウエ アン？」  
 siyeye moto e=nu wa e=ek wa i=kore somo ki ruwe an?”  
 病気の原因をあなたは聞いてきてはくれませんか？」

セコロ ハワシ。  
 sekor hawas.  
 と話した。

イコパン カ エアイカプ ペ ネ クス  
 ikopan ka eaykap pe ne kusu  
 断ることもできないので、

「アヌ ワ エカン クス ネ。」  
 “a=nu wa ek=an kusu ne.”  
 「聞いてきますよ」

セコロ ハウエアン ヒネ オラ スイ オロ タ……  
 sekor hawean hine ora suy oro ta…  
 と話して、それから

オロ タ レウシ ヒネ オラ ピリカ レウシ キ ヒネ オラ  
 oro ta rewsu hine ora pirka rewsu ki hine ora  
 そこに泊まって、心地よく宿泊し、それから

アラパ ルウエ ネ アイネ スイ シリコクンネ ウシケ タ スイ  
 arpa ruwe ne ayne suy sirkokunne uske ta suy  
 行くと、また夜が更けたところに、また

ニシパ チセ ネ ノイネ アン ウシケヘ タ

**nispa cise ne noyne an uskehe ta**

長者の家であるようなところに

リ…… ヤイエヤントエトウン アクス

**ri... yayeyantoetun akusu**

宿を借りると

アレウシレ ヒネ レウシ ヒネ スイ

**a=rewsire hine rewsu hine suy**

泊めてもらい、また

「フナク ウン アラパ ポイ シサム エネ ルウエ アン」

**“hunak un arpa pon\_ sisam e=ne ruwe an?”**

「あなたはどこに行く若い和人の方ですか？」

セコロ アコウウエペケンヌ アクス

**sekor a=kouepekennu akusu**

と尋ねられると

タプネ カネ スイ

**tapne kane suy**

このようにまた

「ヤイエイニンピシアン。ウェン クル アネ ワ

**“yayeininpis=an. wen kur a=ne wa**

「原因を見てもらうのです。貧乏人なので

ネン ポカ イキアン チキ ソモ ニシパ アネ ヤ

**nen poka iki=an ciki somo nispa a=ne ya**

なんとかして長者になれないだろうか

セコロ ヤイヌアン マ

**sekor yaynu=an w\_a**

と書いて

ヤイエニンピシアン クス エカン ペ アネ。」

**yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.”**

どうして貧乏人なのか見てもらうためにきたのです」

セコロ ハウエアナクス

**sekor hawean akusu**

と話す

「ハウエ ネ チキ タプ ネウン ネ ルウエ ネ ヤ カ

**“hawe ne ciki tap neun ne ruwe ne ya ka**

「そういう話なら、このように、どうしてあのようになってしまったのだから、

ソイ タ まち の き アエトイタ ワ ピリカ ワ アナ プ

**soy ta MACI NO KI a=etoyta wa pirka wa an a p**

外に松の木を植えてきれいだったのに、

エクスコンナ チニネ ヒネ ルウエ ネ クス

**ekusukonna cinine hine ruwe ne kusu**

突然枯れてしまったので、

ネ モトホ エヌ ワ エエク ワ イコレ。」

**ne motoho e=nu wa e=ek wa i=kore.”**

その原因を聞いてきてください」

セコロ アイエ ヒネ

**sekor a=ye hine**

と言われて

スイ ネ ワ アン ペ カ エエセ ヒネ

**suy ne wa an pe ka eese hine**

また、そのことも承諾し、

オラ アラパ ルウエ ネ アクス ポロ ペツ アン ヒネ

**ora arpa ruwe ne akusu poro pet an hine**

また行くと、大きな川があり、

うーん ルイカ アン イネ ネ ルイカ カシ クサクス

**UN ruyka an h\_ine ne ruyka kasi kus akusu**

橋があって、その橋の上を通ると、

ルイカ カ タ ソレクス

**ruyka ka ta sorekusu**

橋の上にそれこそ

カムイ ネ クス コラチ アン チュプ コラチ アン トノ アシ ヒネ アン ヒネ

**kamuy ne kusu koraci an cup koraci an tono as hine an hine**

まさにカムイらしい太陽のような殿さまが立っていて

サマ タ アラパ アクス

**sama ta arpa akusu**

その傍に行くと

「フナク ウン アラパ

**“hunak un arpa**

「どこへ行く

ポン ウエイ シサム エネ シリ アン？」

**pon wen\_ sisam e=ne siri an?”**

若い貧乏和人なのか？」

セコロ ハウエアン ヒネ

**sekor hawean hine**

と話して

「タップネ カネ ヤイエイニンピシアン クス エカン ペ アネ。

**“tapne kane yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.**

「このように、自分のことを見てもらうために来たのです。

ウェン クル アネ ワ

**wen kur a=ne wa**

私は貧乏人なので

エネ ネ イ カ イサム マ ヤイエイニンピシアン クス エカン ペ アネ。」

ene ne h\_i ka isam w\_a yayeininpis=an kusu ek=an pe a=ne.

「どうすることも出来ず、どうしてか見てもらうためにきたのです」

セコロ ハウエアナクス

sekor hawean akusu

と話す、

「ハウエ ネ チキ フンタク (?)」

“hawe ne ciki hntak(?)

「そういう話なら、さあ

アシヌマ アナクネ ネプ カ にんけネネ アネ ルウエ カ ソモ ネ。

asinuma anakne nep ka NINKEN h\_ene a=ne ruwe ka somo ne.

私は人間ではない

カトウ エネ アニ。

katu ene an h\_i.

というのはこのようなことなのです。

チャタイ カムイ アネ ワ

catay kamuy a=ne wa

大蛇の神で

うみに せんねん かわに せんねん やまに せんねん アナン ワ

UMI NI SENNEN KAWA NI SENEN YAMA NI SENNEN an=an wa

海に千年、川に千年、山に千年いて

タネ やく すんて てん さ のぼる クニ プ アネ ワ アナン ペ オラ

tane YAKU SUNTE TEN SA NOBORU kuni p a=ne wa an=an pe ora

もう役目を終えて天に昇るものであるのだが、

ネウン イキアナッカ てん さ のぼれなくて

neun iki=an y\_akka TEN SA NOBORENAKUTE

どうしても天に昇れなくて

エネ アナニネ クス ネ モトホ ヌ ワ イコレ。」

**ene an=an h\_ine kusu ne motoho nu wa i=kore.”**

このようにいるので、この原因を聞いてきてください。」

セコロ イェ オラ

**sekor ye ora**

と、言って

「トオ タン ルイカ エトモトウイェ ワ アラパ トオ

**“too tan ruyka etomotuye wa arpa too**

「この橋をずっと渡って行って、

テ ワ アヌカラ マチヤ オッ タ エウエペンヌ ヤクン

**te wa a=nukar maciya or\_ ta e=uwepennu yakun**

ここから見える町で尋ねたら

ネ カムイ イタク アヌ ウシケ エエラムアン ペ ネ ナ。」

**ne kamuy itak a=nu uske e=eramuan pe ne na.”**

そのカムイの言葉が聞ける場所がわかるよ」

セコロ イェ ヒネ アラパ ルウエ ネ ヒネ

**sekor ye hine arpa ruwe ne hine**

とその人は言い、若い和人は行き、

ソンノ カ ウエペケンヌ アクス ネ ウシケヘ アエパカシヌ ヒネ

**sonno ka uepekennu akusu ne uskehe a=epakasnu hine**

尋ねたところ、場所を教えられ、

オロ タ アフニネ オンカミ コロ ヘポキ コロ アフニネ

**oro ta ahun h\_ine onkami kor hepoki kor ahun h\_ine**

そこに入り、拝みながら頭を下げ入り、

「マク イキ ポイ シサム エネ シリ アン？」

**“mak iki pon\_ sisam e=ne siri an?”**

「若い和人よどうしたんだ？」

セコロ アコウエペケンヌ

**sekor a=kowepekennu**

と尋ねられた。

「ウ…… タプネ カネ ヤイエニンピシアン クシ エカン。」

“u... tapne kane yayeininpis=an kus ek=an.”

「このように自分のことをみてもらいに来たのです」

セコロ ハウエアン ルウエ ネ コロカ オラウン

**sekor hawean ruwe ne korka oraun**

と話したのだが、それから

アエタノンタロ ア プ

**a=etanontaro a p**

頼まれたのものを

イヨシノ ヌ カ エアイカプ ペ ネ クス

**iosno nu ka eaykap pe ne kusu**

後から聞くこともできないので

ホシキ ノ ネア ポン クルマツ シイエイエ モトホ ヌ ルウエ ネ アクス

**hoski no nea pon kurmat siyeye motoho nu ruwe ne akusu**

先に例の和人の娘の病気の原因を聞いたところ、

エネ ハワシ。

**ene hawas h\_i.**

このような話だった。

「エ…… なし の き チセ ソイ タ エトイタ プ シノ ウエイ サンペ コロ

“e... NASI NO KI cise soy ta etoyta p sino wen\_ sampe kor

「家の外に植えた梨の木が本当に悪い心を持っている。」

カシ カムイ エウエン チクニ ネ アアニネ

**kasi kamuy ewen cikuni ne aan h\_ine**

その憑神によって悪くなっている木だったのだが、



シンリチヒ アラパ ヒネ ネア ポン クルマツ エホツケイ チョロポツケ タ  
**sinricihi arpa hine nea pon kurmat ehotkey corpokke ta**  
 その根元が伸びていき、その和人の娘の寝ている場所の下に

まるくなって ネア なし の き シンリチヒ アン。  
**MARUKUNATTE nea NASI NO KI sinricihi an.**  
 丸くなって、その梨の木の根元がある。

ボン クルマツ ライケ クナク ラム コロ アン ルウエ ネ クス  
**pon kurmat rayke kunak ramu kor an ruwe ne kusu**  
 (その木は)娘を殺そうと思っているので

ネア なし の き アトウイエ ワ  
**nea NASI NO KI a=tuye wa**  
 その梨の木を切り、

シンリチヒ カ アプス ワ ネウン アネ シンリチ ネ アッカ アプス ワ  
**sinricihi ka a=pusu wa neun ane sinrici ne y\_akka a=pusu wa**  
 根元も掘り起し、どんな細い根も掘り起し、

アウフイカ オラ どの くすり ポン クルマツ アクレ ヤッカ アナクネ  
**a=uhuyka ora DONO KUSURI pon kurmat a=kure yakka anakne**  
 燃やすと、どの薬を和人の娘に飲ませても

シクヌ ルウエ ネ。」  
**siknu ruwe ne.”**  
 生き返るのだ」

セコロ アン ペ ヌ イネ  
**sekor an pe nu h\_in**  
 ということ聞き、

オラウン ネア まち の き チニネ ウシケ ピシ アクス  
**oraun nea MACI NO KI cinine uske pisi akusu**  
 それから、例の松の木が枯れたことを尋ねると

「むかし ネ シノ ニシパ トノ アン コロカ オラ ポサク ヒネ  
 “MUKASI ne sino nispa tono an korka ora posak hine  
 「昔、本当のニシパがいたのだが、子がなくて

エ…… かね タメタロ アイネ かめ シクテ ノ カネ アン。  
 e... KANE tametaro ayne KAME sikte no kane an.  
 お金を貯め続け、甕いっぱいになっていた。

カムイ ノカ オ コンパン  
 kamuy noka o konpan  
 カムイの像が入った小判を

タメタロ ルウエ ネ コロカ  
 tametaro ruwe ne korka  
 貯めたのだが

ネ コホツパ プ カ イサム ノ……  
 nen kohoppa p ka isam no...  
 誰も残すものは

イサム ルウエ ネ ヒネ オラウン  
 isam ruwe ne hine oraun  
 いなかったのだが、

イケタロ ヒネ ホツパ ルウエ ネ ア プ、  
 iketaro hine hoppa ruwe ne a p,  
 埋めて残しておいたのだが、

ネ ウシケ カシ タ アエトイタ チクニ ネ ヒネ  
 ne uske kasi ta a=etoyta cikuni ne hine  
 その場所の上に植えられた木であって

かねのせいで  
 KANE NOSEITE  
 お金のせいで

ネ チクニ チニネ ヒネ ルウエ ネ クス

**ne cikuni cinine hine ruwe ne kusu**

その木は枯れてしまったので

ネア かめ アプス ヤクン アン ナンコロ クス

**nea KAME a=pusu yakun an nankor kusu**

その甕は掘り出したら

ネア カムイ ノカ オ コンパン ポロ セレケヘ ボン ウエイ シサム アコレ。

**nea kamuy noka o konpan poro serkehe pon wen\_ sisam a=kore.**

そのカムイの像の入った小判の大部分を若い貧乏和人がもらいなさい。

ソモ キ ヤク アナク ばち アン ルウエ ネ。」

**somo ki yak anak BACI an ruwe ne.”**

そうしなかったら罰があるのだ」

セコロ アン カンピ カ コ…… オロ アコレ ヒネ

**sekor an kampi ka ko... oro a=kore hine**

という（書いてある）紙ももらって

オロワウン ネア ルイカ カ タ アン

**orowaun nea ruyka ka ta an**

それから、その橋の上にいる

チュプ コラチ アン トノ の こと ヌ ワクス

**cup koraci an tonu NO KOTO nu wakusu**

太陽のような殿さまのことを聞いたので

「あたまの なかに きんの たま アン マクス

**“ATAMA NO NAKA NI KIN NO TAMA an w\_a kusu**

「頭の中に金の玉があって、それで

てん さ のぼれない ね クス

**TEN SA NOBORENAI NE kusu**

天に昇れないので

その きの たま アウク ヤクン  
**SONO KIN NO TAMA a=uk yakun**  
 その金の玉をとったら

てん さ のぼれる ルウエ ネ。」  
**TEN SA NOBORERU ruwe ne.”**  
 天に昇れるのだ」

セコロ スイ カムイ イタク アン ヒネ オラ  
**sekor suy kamuy itak an hine ora**  
 ヤイエイヌ クス ネ アクス  
 というカムイの話であって、それから

ヤイエイヌ クス ネ アクス  
**yayeinu kusu ne akusu**  
 自分について聞くつもりであったのだが、

レ イタク パテク アヌ プ ネ  
**re itak patek a=nu p ne**  
 三つの話まで聞くことができるということだった。

ネ ヤイカタ の こと は コント ユ…… ヌ カ エアイカプ コロカ オラウン  
**ne yaykata NO KOTO HA konto yu... nu ka eaykap korka oraun**  
 自分のことについては結局聞くことが出来なかったのだが、それから

ホシピ° ヒネ ネア ルイカ カ タ アン トノ オロ タ  
**hosipi hine nea ruyka ka ta an tonoro ta**  
 戻って、その橋の上にいる殿のところで

「タプネ カネ ハワシ ルウエ ネ。」  
**“ tapne kane hawas ruwe ne.”**  
 「こういう話でした」

セコロ ハウエアナクス  
**sekor hawean akusu**  
 と話すと

「ハウエ ネ チキ フンタク エムシ カ コロ ペ エネ クス  
 “hawe ne ciki hntak emus ka kor pe e=ne kusu  
 「そういう話なら、さあ、あなたは太刀を持っているので

フンタク イテキ エイシトマ ノ  
 hntak iteki e=isitoma no  
 決して恐れずに

イテキ イシトマ ノ アサパ エタウキ ヤクン  
 iteki isitoma no a=sapa e=tawki yakun  
 恐がらずに、私の頭をあなたが切ったら、

オロ ワ きん の たま トウルセ ナンコロ クス  
 oro wa KIN NO TAMA turse nankor kusu  
 そこから金の玉が落ちるだろうから

ネ きん の たま カ エウク ワ  
 ne KIN NO TAMA ka e=uk wa  
 その金の玉をあなたは受け取って

エエヤム マ マンプリ ネ エコロ ヤク ピリカ ハウエ ネ ナ。」  
 e=eyam w\_a manpuri ne e=kor yak pirka hawe ne na.”  
 大事にしてお守りとしてあなたが持っているといい」

セコロ ハウエアン  
 sekor hawean  
 と話し、

オラノ イシトマ コロカ ネ エムシ アニ ネア トノ サパ タウキ アクス  
 orano isitoma korka ne emus ani nea tono sapa tawki akusu  
 それから恐ろしかったが、その太刀で殿さまの頭を切ると

ソンノ カ オロ ワ きん の たま トウルセ ヒネ  
 sonno ka oro wa KIN NO TAMA turse hine  
 本当にそこから金の玉が落ちて、

ネア プ ネア ポイ ウエイ シサム ウク ヒネ ウプソロ オマレ ルウェ ネ  
**nea p nea pon\_ wen\_ sisam uk hine upsor omare ruwe ne**  
 それをその若い貧乏和人は受け取って、懐に入れたのだ。

コロ オラ ソンノ カ  
**kor ora sonno ka**  
 それから、本当に

ネア カムイ てん さ じいーつと ノポッタロ ルウェ ネ。  
**nea kamuy TEN SA ZIITTO nopottaro ruwe ne.**  
 そのカムイは天にずっと昇って行ったのだ。

ヒネ オラウン スイ エク ヒネ ネア まち の き チニネ ウシケへ  
**hine oraun suy ek hine nea MACI NO KI cinine uskehe**  
 それから、またその松の木の枯れているところの

モトホ イェ アクス  
**motoho ye akusu**  
 原因を言うと、

タン…… ネア まち の き アエトイタ ウシケ アオウリ アクス  
**tan... nea MACI NO KI a=etoyta uske a=ouri akusu**  
 その松の木が植えられているところを掘ると

ソンノ カ かめ シクテ ノ カネ  
**sonno ka KAME sikte no kane**  
 本当に甕いっぱい

カムイ ノカ オ コンパン アン ルウェ ネ ヒネ  
**kamuy noka o konpan an ruwe ne hine**  
 カムイの像の入った小判があったので、

オラウン ポロ セレケへ ポイ ウエイ シサム アコレ ヒネ  
**oraun poro serkehe pon\_ wen\_ sisam a=kore hine**  
 そして、その大部分を若い貧乏和人がもらって

オラ スイ ネア ポン クルマツ

**ora suy nea pon kurmat**

それから、また、和人の娘の

シイエイエ ウシケ モトホ ヌ ヒ イエ ルウエ ネ アクス

**siyeye uske motoho nu hi ye ruwe ne akusu**

病気の原因について聞いたことを言うと、

ナニ アシンカラ ウタラ ウエカラパ ワ

**nani asinkar utar uekarpa wa**

すぐに足軽達が集まって、

オラ ネア なし の き アトウイエ ヒネ

**ora nea NASI NO KI a=tuye hine**

その梨の木が切られて

オラノ シンリチ アオウリ ヒネ

**orano sinrici a=ouri hine**

それから根元が掘り出されて、

ソンノ カ トオ ポン クルマツ ホツケ ウシケ チョロポツケ タ

**sonno ka too pon kurmat hotke uske corpokke ta**

本当にずっと、その和人の娘の寝ている場所の下に

まるくなって アン ルウエ ネ アアン ヒネ

**MARUKUNATTE an ruwe ne aan hine**

丸くなっていたので、

ネ ワ アン ペ アプシパ アトウイパ ヒネ アウフイカ

**ne wa an pe a=puspa a=tuypha hine a=uhuyka**

それを掘り出して切って、焼いた。

オラウン ネア ポン クルマツ どの くすりピリカ くすり アクレ ヤク

**oraun nea pon kurmat DONO KUSURI pirka KUSURI a=kure yak**

それから、その和人の娘はどの薬、いい薬を飲ませても

オロワノ ヘセ シリ ピリカ アイネ

**orowano hese siri pirka ayne**

それからは呼吸が良くなって

ナニ ホプニ ワ モノ ア カ キ。

**nani hopuni wa mono a ka ki.**

すぐに起きて座れるようになった。

オラノ トノ ウタラ エヤイコプンテク ルウエ ネ ヒネ オラウン

**orano tonu utar eyaykopuntek ruwe ne hine oraun**

そこで、殿達は喜んで

タネ ポイ ウエイ シサム アラパ クス ネ セコロ ハワシ ルウエ ネ ア プ

**tane pon\_ wen\_ sisam arpa kusu ne sekor hawas ruwe ne a p**

もう、若い貧乏人の和人は行くつもりだということだったのだが、

ポン クルマツ

**pon kurmat**

その若い和人の女性は、

「エネ ハウエアン ヒ ネ ヤッカ イイエ コロ

**“ene hawean hi ne yakka i=ye kor**

「このようなことであつたのですが、(原因を)言われると

アン クシケライ シクヌアン ペ

**an kuskeray siknu=an pe**

そのおかげで私は生き返つたので

ネウン ポン ウエン シサム ネ ヤッカ

**neun pon wen sisam ne yakka**

どんな若い貧乏人の和人であっても

ネ ヤク エアシリ アコロ オアシリ ハウエ ネ。」

**ne yak easir a=kor oasis hawe ne.”**

その人と結婚するのです」



セコロ ポン クルマツ ハウエアン ルウエ ネ セコロ ネ コロ  
**sekor pon kurmat hawean ruwe ne sekor ne kor**  
 と和人の娘が言うのだということ

オロワノ コント ネア ポン ウエイ シサム  
**orowano konto nea pon wen\_ sisam**  
 それから、今度その若い貧乏和人は

ふろ オロ アオマレ ワ アフライエ。  
**HURO or a=omare wa a=huraye.**  
 風呂に入れられて洗われた。

ふふふ。  
**HUHUUHUU**  
 フフフ。

サランペ アミプ アムル…… アミレ アクス  
**saranpe amip amur... a=mire akusu**  
 上等な着物を着せられると、

ソレクス チュプ コラチ アン ポン トノ ネ ヒネ オラウン  
**sorekusu cup koraci an pon tonono ne hine oraun**  
 それこそ、太陽のような若い殿さまになり、それから、

「アン クシケライ シクヌ プ アコロ むすめ ネ クス ピリカ ハウエ ネ。」  
**“an kuskeray siknu p a=kor MUSUME ne kusu pirka hawe ne.”**  
 「彼がいたおかげで、生き返ったのが、私の娘なので、いい話だ。」

ネ セコロ ネア マチヤ ウン トノ カ ハウエアン コロ オラノ  
**ne sekor nea maciya un tonono ka hawean kor orano**  
 とその町の殿も言うと、それから

コント イワン レレコ イワイ アン ヒネ オラウン  
**konto iwan rerko iway an hine oraun**  
 今度六日間祝いがあり、

コント ネア ポン…… ポン ウエイ シサム ウヌフ カ

**konto nea pon... pon wen\_ sisam unuhu ka**

その若い貧乏和人がお母さんのことも

エシンパイ ペ ネ クス

**esinpay pe ne kusu**

心配なので

アラパ ルスイ ルウエ ネ アクス オラ かね かが アオ…… アオレ パ ワ

**arpa rusuy ruwe ne akusu ora KANE KAGO a=o... a=ore pa wa**

行きたがったところ、金の籠に乗せられて

パイェ ルウエ ネ アクス

**paye ruwe ne akusu**

行くと、

ネア ポン…… ウン…… シサム パッコ カ ヘムイムイェ ワ アン。

**nea pon... un... sisam pakko ka hemuymuye wa an.**

和人の老婆は布団をかぶって寝ていた。

「フンタネ エネ ハウエアナニネ オラ エネ

**“hntane ene hawean=an h\_in e ora ene**

「どういうわけだかあんなことを言ってしまうて、それから、このように

アポ エク ルウエ カ イサム マ

**a=po ek ruwe ka isam w\_a**

息子が戻ってくる様子もないので

ライアン クナク アラム コロ アナン ア ワ。」

**ray=an kunak a=ramu kor an=an a wa.”**

死ぬつもりでいたのだ」

セコロ ハウエアン コロ エク イネ

**sekor hawean kor ek h\_in e**

と話すと、若者が来て

タップネ カネ ネ ルウェ ネ ヤク イェ アクス

**tapne kane ne ruwe ne yak ye akusu**

このようなことであつたのだということを話したら

ネア ウェイ シサム パッコ カ ソレクス エヤイコブンテク コロ

**nea wen\_ sisam pakko ka sorekusu eyaykopuntek kor**

貧乏人の老婆も本当に喜ぶと、

konto ネワアンペ ピリカ アミプ

**konto newaanpe pirka amip**

今度、その男は母親にいい着物、

サランペ アミプ アムレ…… アミレ アクス

**saranpe amip amure... a=mire akusu**

上等の着物を着せると

ピリカ おばさん ネ ヒネ

**pirka OBASAN ne hine**

きれいなおばさんになって、

オロ タ スイ イワン レレコ イワイ アン ヒネ オラウン

**oro ta suy iwan rerko iway an hine oraun**

そこでも六日の祝いがあり、

ポイ シサム オッカヨ (?) シ (?) パクノ シネノ (?) ラム (?)

**pon\_ sisam okkayo(?) si(?) pakno sineno(?) ramu(?)**

若い和人は

ポン トノ ウムレク ホク ヒネ ウヌフ コホッパ

**pon tonu umurek hok hine unuhu kohoppa**

それから若い和人の夫婦をやとって、母親のために置いていった。

ひとり むすめ ネ ワ アン ペ ネ クス

**HITORI MUSUME ne wa an pe ne kusu**

一人娘なので

ウニ オヤッケ タ アン カ エアイカプ ペ ネ クス オラウン

**uni oyakke ta an ka eaykap pe ne kusu oraun**

家を別の所に建てることも出来ないの

ネア ポン クルマツ トウル…… トウラノ スイ かね かが アオレ ワ

**nea pon kurmat tur... turano suy KANE KAGO a=ore wa**

その和人の娘と一緒にすぐに金のカゴに乗せられて

ネ ポン クルマツ ウニ ウン パイエ ワ オロワノ

**ne pon kurmat uni un paye wa orowano**

その娘の家に行って

ソレクス モシツ トウイカ タ イサム ニシパ

**sorekusu mosir\_ tuyka ta isam nispa**

それこそ、世間にいないほどの長者

アスル アシ ペ ネ ワ オカ ルウエ ネ クス

**asur as pe ne wa oka ruwe ne kusu**

尊になるものになったので

コラチ モ (?) ウンニシトワ (?) ネウン (?)

**koraci MO(?) unnisitowa(?) neun(?)**

そのように

はちめ ウエン クン ネ ヤッカ

**HACIME wen kur\_ ne yakka**

初め貧乏人だったが、

エネ ニシパ ネ イ ネ クス アイエ セコロ アン

**ene nispa ne h\_i ne kusu a=ye sekora an**

このようなニシパになったということなので話したという

ははは

**HAHAHA**

ははは。

ボン ボン ウエペケレ

**pon pon uepeker**

小さな小さなお話。

ははは

**HAHAHA**

ははは。

**【注】**

- [1] 次のように解釈した。o-i-poso-re ～の尻 - もの - ～を通り抜ける - ～させる、～(の尻)にもものを通り抜けさせる
- [2] これは物語内の表現ではなくて、話者自身の言葉。

## 15-16 ウエペケレ「ポン ウェン シサム ウエペケレ」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えー、私は一人の **sisam** [和人] の **wenkur** [貧しい人]、**pon wen sisam** [若い貧乏和人] でありました。

えっと、母と一緒に暮らして、薪を取ってはそれを売りに行って、その代わりに米の糠をもらうと、その米を通すとその中からいくらか、その米粒が出る。それを特別に炊いて神様にあげるといような、生活をしておる **sisam** の若い者でありました。

あるときに母の言うのには、「お前があまりにも、こう、その貧乏なのは何か理由があるかもしれないから、ずっと遠いところにそうしたことを聞いて、教えてくれる神様がおるといことだからそこへ行ってきなさい」と言われたので、まあ出かけることにした。

で、まあ少しの、そのお金を懐にして出かけた。お母さんの言うのには「よそへ行って泊まるのにもあまり貧乏人の家に泊まってはいけませんよ」と。「できるだけ、その裕福そうな家へ泊まりなさい」と言われたので、そのように思いながら、まあ出かけ、第一日目の晩に泊まった家で「坊やさんどこへ行くの」と言われたので、「こういうわけであまりにも貧乏なので、それを聞きに行くんですよ」と言ったら、えー、「そんならこの村の、んーお姫様が病気で困っているからその理由を聞いてくださいね」と言われた。「はい」と言って、まあ行ったと。

その次に行ったのは、んー二晩目に泊まったところでは、あの一、「どうしたのか、んーこの家の前に生えていた松の木が枯れて、えー、その理由がわからないからそれも聞いてきてくださいね」と言われた。

それから三晩目泊まって出かけたら、一つの橋があつて、その橋の上に女いたわけかな？

鍋澤：男。

萱野：あ、男だな。キレイな男の人が居って、「どこ行くの」と言ったから、「こういうわけで、えー、その貧乏した理由を聞きに行くんだよ」って言っ

たら、「あーそうですか、まあ実は、これは私は人間に見えるんだけど、本体は蛇なんだ」と、海に千年、山に千年、川に千年かい？

鍋澤：うん。

萱野：「三千年暮らしてもう天国へ行けるはずなのに、それが行けない。その理由を聞いてきてくださいね」と言われた。

それで、えー、あそこへ見える町のものが、その、「そういうことを教えてくれるところだから」と言われたので、出かけて行って、すぐに、まあ聞き始まった。一人で三つしか聞けないので頼まれた順々に最初にその、んーお姫さんの病気の理由を聞いたら、それは家の前で植えてある梨の木の根っこが、あー来て、そのお姫さんの寝ている下で丸まきって、それが理由だと、それを掘り起こすと治りますと言われ、二つ目の松の木の方のは、そこの前に住んでおった人がたくさんお金を貯めて大きな瓶（かめ）に入れて埋めたと、そして死ぬ前にそこへ松の木を植えた、それで松の木枯れたんだから掘り起こしてみなさいと言われた。

三番目のは、その蛇、まあ蛇がした……下界での生活終えて帰るはずなのに、まあ、その頭の中で銀の玉が入っていると、それを取らないとだめですよと教えられたので、戻りながらそれを一つずつ言って、その病気の元も解決し、それから松の木の根の埋めてあったお金も半分もらい、そのいわゆる *catay* [蛇体] と蛇のあれも頭を切って、その玉を出してそれをお守りとしてもらい、まー、その梨の木の方の御嬢さんはお嫁にもらって、えー、家へ帰ってきたという *sisam uepeker* [和人の昔話] のあれですけど、非常にその、昔のその、なんか生活の一端が、いわゆるアイヌとシャモ [和人] との生活の違いっていうか、そんなような筋書きなんか伺うことのできる *uepeker* [昔話] です。

これは *sisam uepeker*. [和人の昔話]。 *pon wen sisam uepeker* [若い貧乏和人の昔話] というふうに、えー、ついております。

鍋澤：あーこんなふうに言われ…… *pon uepeker* [短い散文説話] だけでも、ほんとに。

## 16-1 テープ内容紹介

語り手：鍋澤ねぶき

萱野：はい。この **tukanakana** ちゅう、あの、んー**sakehe** [折り返し]、**kamuy...**

鍋澤：**tukanakana** だべか。**tukanakana**、**tu...** なんとけ？

萱野：蛍のあれ。

鍋澤：あー、そかそかそか。蛍の **kamuyyukar** [神謡] か。

萱野：うんうん。

鍋澤：あれは、あの一、

萱野：んーと、今日は何日だ。

鍋澤：**tukanakana...**

萱野：昭和 44 年 2 月 19 日です。鍋澤ねぶきさんにやってもらっています。



## 16-2 カムイユカラ

「ニンニンケッポ ホクフ ヌムケ (トゥカナカナー)」

蛍の夫さがし<sup>[1]</sup>

語り：鍋澤ねぶき

サケへ：V=トゥカナカナ

V=tukanakana

V チムツカネ

私のそのままの体

V ci=mutkane

アトウイ クルカ

海の上を

atuy kurka

エマクラコッ

ぴかぴか光りながら

emakrakot

V

(萱野茂：もう少し声を大きくして)

アトウイ トモトウイエ

海を横切り

atuy tomotuye

V チヤイコトムカ プ

私とお似合いの者を

V ci=yaykotomka p

チフナラ クス

私は探すために

ci=hunara kusu

V パイエアサワ

私は行くと

V paye=as awa

V ピリカ オツカイボ V <b>pirka okkaypo</b>	美しい青年に
チヌカラ コロカ ci= <b>nukar korka</b>	私は会ったけれど
ウトンナ シコ utonna <b>siko</b>	やぶにらみ
V チエコパンカラ V ci= <b>ekopankar</b>	私は嫌ったので
V オロワノ スイ V <b>orowano suy</b>	それから 再び
チムツカネ ci= <b>mutkane</b>	私のそのままの体
アトウイ クルカ atuy <b>kurka</b>	海の上を
エマクラコツ emakrakot	ぴかぴか光りながら
V パイエアサイネ スイ V <b>paye=as ayne suy</b>	私は行き しばらくしてまた
シネ オツカイボ sine <b>okkaypo</b>	一人の青年に
チヌカラ コロカ ci= <b>nukar korka</b>	私は会ったけれど
V コンカネ シコ V <b>konkane siko</b>	黄金色の目を

V チエコパンカラ V ci=ekopankar	私は嫌ったので
V オロワウイ スイ V orowaun_suy	それからまた
V パイエアサイネ V paye=as ayne	私は行き しばらくして
V ピリカ オックアイポ V pirka okkaypo	美しい青年に
チヌカラ コロカ ci=nukar korka	私は会ったけれど
シネ レク トウ コロ sine rek tu kor	一本のひげがあった
V チエコパンカラ V ci=ekopankar	私は嫌ったので
V オロワノ スイ V orowano suy	それから 再び
チムツカネ ci=mutkane	私のそのままの体
アトウイ クルカ atuy kurka	海の上を
エマクラコツ emakrakot	ぴかぴか光りながら
V パイエアサイネ V paye=as ayne	私は行き しばらくして

V ピリカ オッカイボ V <i>pirka okkaypo</i>	美しい青年
チヌカン ルウエ <i>ci=nukar_ ruwe</i>	私は会った
エネ オカ ヒ <i>ene oka hi</i>	その姿は
V シキヒ カ ポロ V <i>sikihi ka poro</i>	目も大きく
V エトゥフ カ タンネ V <i>etuhu ka tanne</i>	鼻も長い
V キワ ネ コロカ V <i>ki wa ne korka</i>	けれども
チヤイコトムカ <i>ci=yaykotomka</i>	私にお似合いの
V	
(ここから散文)	
シリカプ ネ ルウエ ネ <i>sirkap ne ruwe ne</i>	カジキマグロであるよ
セコロ <i>sekor</i>	と
ニンニンケッポ ハウエアン <i>ninninkeppo hawean</i>	ホテルが言った
セコン ネ ハウエ ウン <i>sekor_ ne hawe un</i>	という話ですよ

**【注】**

- [1] 聞き起こし・和訳においては、類話である『神話集成』3巻 36～41ページを参考とした。

## 16-3 カムイユカラ「ニンニンケツポ ホクフ ヌムケ（トウカ ナカナー）」解説

語り手：鍋澤ねぷき

萱野：これは **kamuyyukar** [神謡] ですね。

鍋澤：んだ、ほんとの **kamuyyukar** [神謡]。

萱野：うん、うん、私は一匹の蛍でありました。私自身のお婿さんを探しに海の上をゆっくりゆっくり飛んでいきました。

えー、最初に会ったキレイな男の人は、んー**utonnasiko** ちゅー名の、斜めに、いわゆる……、普通、今言おうっていうと、

鍋澤：あの一、しかめ [すがめ] っちゅんだな。あの、**samanpe** [カレイ] だと。

萱野：あー、なるほど。**utonnasiko** とゆうのはアイヌ語で「斜視」。ん、いや、アイヌ語で **utonna** というのは日本語でいうと「斜視」ですね。斜めに目がいつている斜視ですね。斜視の男なので、それは、んー、いやだ。

その次行ったのは **konkanesiko** というのはこれは、

鍋澤：サメ。

萱野：サメ？

鍋澤：うん。

萱野：んー、目の色が黄金色していて、それが嫌でやめていった。それからもう少し行くと、**sine rek ru kor** [sine rek tu kor の言い間違い]。

鍋澤：それタラ。

萱野：鱈？

鍋澤：うん、erekus。(笑い)

萱野：ん、はん、はん。あーなるほどね。

鍋澤：鱈、鱈。

萱野：それから少し行くと鱈が来た。それは sine rek ru kor [sine rek tu kor の言い間違い] といってあごの髭あるみたい見える。

鍋澤：うん。一本あるんだ。

萱野：うん、あーなるほどね。あごの方で一本髭あって、それは……も嫌で、もう少し向こうへ行くと、sikihi poro etuhu tanne。え一目が大きくて、鼻は長いと、

鍋澤：うん、うん。

萱野：けども、それが好きになったので私は、んー、あの、その sirkap [カジキマグロ]、これ sirkap だな？

鍋澤：うん、んだ、んだ。

萱野：sirkap の、そのお嫁になったと、一匹の蛍が語りました。というあれですわね。

鍋澤：(笑い)

萱野：それでこの蛍、んー蛍を貝殻に入れて、砂にうずめて [埋めて] 引っ張る。引っ張りながら e=hoku kiroro sanke sanke と言うと、いわゆるその夫の力を出せ、出せと言って、引っ張っても、それはちょっと引き抜くことができないと。で ninninkeppo [蛍] というその蛍の夫は sirkap [カジキマグロ] なので、そういうふうにもあるもんだという、その話もあるんだそうです。

鍋澤：(笑い)

萱野：これは、あの、kamuyyukar〔神謡〕です。



## 16-4 カムイユカラ

「カンナカムイ カッコクカムイ (ノウワオオオ)」

龍神とカッコウ

語り：鍋澤ねぶき

サケへ：V=ノオオアアウウ

V=nooaaauu

V アアンテ ホク

私の旦那様

V a=ante hoku

V アソカラ ホク

私の本当の夫

V a=sokar hoku

V トウラノ カイキ

夫と一緒に

V turano kayki

V オカアニケ

暮らしているが

V oka=an h\_ike

V レプン チコイキプ

沖の獲物を

V repun cikoykip

V ヤウン チコイキプ

陸の獲物を

V yaun cikoykip

V エアウナルラ

取って来て

V eawnarura

V イエピリカクル

私を立派に

V i=epirkakur

V ウ レシパ カネ V u respa kane	養ってくれて
V オカアン アワ V oka=an awa	暮らしていたが
V サク チカプ ラン アクス オロワノ V sak cikap ran akusu orowano	夏の鳥が下りてくる（季節になる）と
V カッコク カムイ V kakkok kamuy	カッコウ神が
V チセ ペンノキ V cise pennoki	家の東の軒へ
V チセ パンノキ V cise pannoki	家の西の軒へ
V エウシ エウシ コロ V eus eus kor	とまりとまりして
V ウ レカ レカ V u rek a rek a	鳴き続けた
V ネ ヒ エピッタ V ne hi epitta	その間中
V アアンテ ホク V a=ante hoku	私の旦那様
V アソカラ ホク V a=sokar hoku	私の本当の夫は
V ピリカ チェ クニ プ V pirka c=e kuni p	おいしい料理も

V ウェン チェ クニ プ V wen c=e kuni p	まずい料理も
V トウカリケ ノテチウ ワ ソモ イペ ノ V tukarike noteciw wa somo ipe no	その前でうつむいて食事をせず
V オソロ ウン クニ V osoro un kuni	お尻がどこにあるのか
V サパ ウン クニ V sapa un kuni	頭がどこにあるのか
V アエランペウテク ノ V a=erampewtek no	分からない (ような恰好) で
V  (次のところだけ節無し)	
ホッケ ワ パテク オカ アイネ hotke wa patek oka ayne	寝てばかりいて、
タネ アナクネ tane anakne	そして今は
V ヘル キリ カトウ V heru kir katu	ただ骨ばかりが
V オウカウイル V owkauyru	重なっている
V キ ワ ネ コロ V ki wa ne kor	そうしているうちに
V アアンテ ホク V a=ante hoku	私の旦那様

V アソカラ ホク V a=sokar hoku	私の夫は
V ホブンパ ヒネ V hopunpa hine	起き上がって
V エネ イタキ V ene itak h_i	こう言った。
V アアンテ マチ V a=ante maci	「私の妻
V アソカラ マチ V a=sokar maci	私の本当の妻よ、
V イタカン チキ V itak=an ciki	私の話すことを
V エピリカヌ ナ V e=pirkanu na	良く聞いておくれ。
V エネ オカ ヒ V ene oka hi	こういうことなのだ。
V ウ ソンノ タシ V u sonno tasi	本当のところ
V ウ ネプ アイヌフ V u nep aynuhu	私は人間で
V アネ ワ エコン ルウエ カ V a=ne wa e=kor_ ruwe ka	あって、お前を妻にしていたのでは
V ソモ タパン ナ V somo tapan na	ないのだ。

V リクン カント タ V rikun kanto ta	上天にいる
V ウ カンナカムイ V u kannakamuy	龍神は
V トウ イリワク ネ ワ V tu irwak ne wa	ふたりの兄弟で
V ポニウネ ヒケ V poniwne hike	その年下の方が
V アネ ルウエ ネ V a=ne ruwe ne	私なのだ。
V カムイ オツ タ アヤイコトムカ プ V kamuy or_ ta a=yaykotomka p	神の国で私に似合いの者を
V アフナラ ヤッカ V a=hunara yakka	探したが
V オアラリサム V oararisam	ひとりもない
V アイヌ メノコ V aynu menoko	人間の女性で
V エネ ヤッカイキ V e=ne yakkayki	お前はあるが
V シレトク オツ タ V siretok or_ ta	器量から
V ケウトウム オツ タ V kewtum or_ ta	精神から

V テケトク オツ タ V teketok or_ ta	手の先（針仕事）から
V チヤイコトムカ プ V ci=yaykotomka p	私自身にお似合いの者で
V エネ ワ クス V e=ne wa kusu	お前はあるので
V アイヌ ネ ヤイカラン マ V aynu ne yaykar=an w_a	私は人間に化けて
ラナン マ アエコン ルウェ ネ ran=an w_a a=e=kor_ ruwe ne	地上に下りてお前を妻にした。
V キ アワ タプ V ki awa tap	そうすると
V カムイ オピッタ V kamuy opitta	神々全員が
V イエア PAPU V i=eapapu	私を責めたてた
V ナニ ネノ アナナクン V nani neno an=an y_akun	このまま私が暮らすなら、
オナ トウラノ ona turano	父と一緒に
V ウヌ トウラノ V unu turano	母と一緒に
V イリワク トウラノ V irwak turano	兄弟と一緒に

V アッテイネモシリ V atteynemosir	湿った地下の国に
V チコオテレケ V cikooterke	お前たちを踏み落として
V アエチエカラカン ナ セコロ アン ペ V a=eci=ekarkar_ na sekor an pe	やるぞと
ウ カッコク カムイ u kakkok kamuy	カッコウ神の
V パワシヌ ヒケ V pawasnu hike	雄弁な者
V ウ レクノ ヒケ V u rekno hike	鳴き上手な者が
V チノサラマ V cinosarama	選ばれて
V アエカラカラ ワ ソンコ イェ ハウエ V a=ekarkar wa sonko ye hawe	知らせを告げる声
V ネ ヒ タパン ナ V ne hi tapan na	だったのだ
V キ ワ ネ クス V ki wa ne kusu	なので
V タネ アナクネ V tane anakne	今は
V カムイ オルン アラパアン ナ V kamuy or un arpa=an na	私は神のところへ行くのだ。

イテキ エチシ iteki e=cis	決して泣かないで
V エアウ ワ ネ ヤクン V e=an_ wa ne yakun	暮らしていれば
V ピリカ オツカイポ V pirka okkaypo	美しい青年が
V エク ワ ネ ヤクン V ek wa ne yakun	やってくる。そうしたら
V	
(ここから散文)	
アナン シリ ネノ an=an siri neon	私のいた時と同じように
レプン チコイキプ ヤウン チコイキプ repun cikoykip yaun cikoykip	沖の獲物と陸の獲物を
エアウナルラ eawnarura	取って来て、
アレンカイネ ネ クス キ ワ a=renkayne ne kusu ki wa	私の力によってそのようにして
エエシリキラプ ソモ キ ノ e=esirkirap somo ki no	お前は何不自由なく
エイペ コロ エアイ ヤッカ e=ipe kor e=an_ yakka	食べて暮らしているが
アエコハイタ クス a=e=kohayta kusu	私とお前が釣り合わなかったために <sup>[1]</sup>



イキアン ペ ネ クス  
iki=an pe ne kusu

したことなので

(以下、韻文に戻る)

オトゥ ポ レ ポ  
otu po re po

二人、三人

V エチウコサプテ ヤクン  
V eci=ukosapte yakun

お前たちが子供を作ったら

(以下、散文)

オラウン アエウク クス ネ ナ  
oraun a=e=uk kusu ne na

それから私はお前を迎えに行くぞ。

アプンノ アン セコロ  
apunno an sekor

達者で暮らせよ」と

ネア アアンテ ホク アソカラ ホク  
nea a=ante hoku a=sokar hoku

私の旦那様、私の夫は

ハウエアン コロ ソ オロ ペカ  
hawean kor so or peka

言いながら座に沿って (家の中を)

タップ カッ タプカラ ペコロ イキ アイネ  
tapkar\_ tapkar pekor iki ayne

踏舞を踊るかのようにして、そのうち

リクイ スイ カ ヤイペカレ  
rikun\_ suy ka yaypekare

天窓を通過して

アラパ フム コケウロトツケ  
arpa hum kokewrototke

音を立てて飛んで行った。

オロワノ イテキィ エチシ セコロ  
orowano iteki e=cis sekor

それから決して泣くなど

アイイエ プ ネ ア コロカ a=i=ye p ne a korka	言われていたが
オラノ オトウ チシ ウェンペ アヤイコテ コロ orano otu cis wenpe a=yaykote kor	私は激しく泣きながら
アナン ルウェ ネ アクス an=an ruwe ne akusu	私は暮らしていた。すると
ソンノ カ ピリカ オッカイ <sup>ポ</sup> エキネ sonno ka pirka okkaypo ek h_inē	本当に美しい青年がやってきて
オラノ ワッカ タ ペコロ ニナ ペコロ orano wakka ta pekor nina pekor	水汲みやら薪(まき)取りなどをして、
イキ アイネ ナニ アアンテ アクス iki ayne nani a=ante akusu	いるうちに、夫にすると
ソンノ ポカ レブン チコイキプ sonno poka repun cikoykip	本当に沖の獲物、
ヤウン チコイキプ エアウナルラ ワ yaun cikoykip eawnarura wa	陸の獲物を取ってきて、
ネプ アエシリキラプ ソモ キ ノ nep a=esirkirap somo ki no	何も困ることなく
アエ コロ アナン コロカ a=e kor an=an korka	食べることをしていたが
マカン マカン ヤイヌアン コロ makan makan yaynu=an kor	時折考えに沈むと
カムイ アホク アエヤイコシラム(スイ) <sup>パ</sup> コロ kamuy a=hoku a=eyaykosiram(suy)pa kor	神の夫のことが思いめぐらされ

オラノ オトウ チシ ウエン ペ アヤイコテ コロ 激しく泣きながら  
orano otu cis wen pe a=yaykote kor

オカアン アイネ  
oka=an ayne

暮らしていた。そのうちに

ピリカ ポンペ アヤイコサンケ オロワノ  
pirka ponpe a=yaykosanke orowano

かわいい赤ちゃんを私は産み、それから

エアシリ ソモ チサン ノ アナン アイネ  
easir somo cis=an no an=an ayne

初めて私は泣かないで暮らすようになり

タネ ピリカ ポンペ  
tane pirka ponpe

今はかわいい赤ちゃんを

ヘンパキウ カ アコロ ルウェ ネ アワ  
hempakiw ka a=kor ruwe ne awa

何人ももうけたが

ネウン ネ ウミ ネ ワ  
neun ne h\_umi ne wa

どういうわけだか

ヘム タスミ ヘム シイエイエ アキ ヤクン  
hem tasumi hem siyeye a=ki yakun

私は何か病気にかかった。ということは

カムイ アホク イウク クス ネ フミ  
kamuy a=hoku i=uk kusu ne humi

神の夫が迎えに来たの

ソモ ヘ アナ セコロ  
somo he an y\_a sekor

ではなかろうか。と

シネ メノコ ハウエアン セコロ ネ。  
sine menoko hawean sekor ne.

一人の女性が語ったと。

したって。メノコ ったって  
したって。menoko ったって

といっても女だといっても

昔だからカムイ ネ ハウエ だべし  
昔だから kamuy ne hawe だべし

昔のことなので神様だということでしょう。

(萱野茂：ああ、そうですか。)

**【注】**

[1] 人間は人間同士、神は神同士で夫婦になるものなので、人間と神とでは夫婦としてふさわしくなかったということ。

## 16-5 カムイユカラ「カンナカムイ カッコクカムイ（ノウワ オオオ）」解説

語り手：鍋澤ねぶき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：えっと、これは **kamuyyukar** [神謡] ですね。

**kannakamuy** というのは……、私は、あー、竜、竜神を、竜の神様を夫としておったものでありました。それは、まー途中からそれなのわかったものだったんですけれども、私はキレイな男を夫として何不自由なく生活をして何年か過ごしました。

ある時から夫は炉辺に寝たっきりで全然、その動こうともしない。そうすると一羽のカッコウ鳥が私たちの住んでおる家の西の屋根、東の屋根からも、本当にもう毎日毎日鳴いてばかりいる。アイヌ……アイヌ風に言うと **kakkok rek haw** [カッコウが鳴く声] というのは、鳴くということだけでなく、まー歌うというふうにも言うんですけれども、この場合はもう非常にそのカッコウ鳥の声が激しくするので、もう夜も眠れないぐらいに、その音、その声を聞いてやかましく思っておった。

ある日のこと、夫が座って言うのには、「私はいままで素性を明かしませんでしたでしたが、あー **kannakamuy** といって竜神の二人兄弟の弟の方が私でございましたと。それで、えー神様の国で私の好きな女を探しても全然見つからないので、あんたばかりが、アイヌの女ではあるけれども精神も良いので、お嫁にしたいと思って訪ねて来て、ここで一緒に暮らしておったんです、と。けれども、天の神様からぜひ帰ってこいということで、お使いに来たのがカッコウ鳥であったと、それでもうこのまま帰らずにおったら私は神であるのに、その一、私の父神も母神もともに、その神の座から引き降ろされそうになっていると。だから私は帰りますと。そのあとでキレイな男の人が来て、今度は普通の人間の男が来て、あんたの夫になるでしょうと。そして子供が何人か生まれたら、ま、神の国へ、私の元へ来てもらいますよ」と、そう言いながら私の夫は着替えをして、炉辺を **tapkar, tapkar** というのは上座へ下座へというふうにとちょっと動く所作をしたら、それが、**rikunsuy peka yaypekare** [天窓へ

向かって行く] というふうにでていましたが、空窓のところへ行って、大きな音をたてて天国へ帰ってしまったと。

それから何年かしておる内にキレイな男の人が来て、まだ一緒になって、子供何人か持って、まだ年寄というほどでない私が、これは病気をしてもう間もなく死ぬでしょうと。こういうことは神の夫の所へ持っていかれるというか、行くことになるんでしょう、と。一人の女が、その一、一人の女が、んー語りました。

これは **kamuyyukar** [神謡] でしたね。

鍋澤：んだ。

## 16-6 ルパイエユカラ

「アトウイソカタ クッタラ モシリ」<sup>[1]</sup>

## 海の上のイタドリの国

語り：鍋澤ねぶき

モコレ ネ ヤ タカレ ネ ヤ アエラムシツネ アイネ  
 mokor h\_e ne ya takar h\_e ne ya a=eramsitne ayne  
 眠っていたのか、夢を見ていたのか、朦朧としているうちに

アコヤイシカルン インカラナクス  
 a=koyaysikarun inkar=an akusu  
 私は正気にもどって見わたすと

アトウイ ソ カ タ クッタラ モム シラシコパヤラ ルウエ エネ オカ イ  
 atuy so ka ta kuttar mom sir a=sikopayar ruwe ene oka h\_i  
 私は海の上にイタドリが流れているかのように、こうなっていた。

アオッシケオプ ポロ ヤ シンタップ (?) ネ アシサムオマレ ワ  
 a=ossikeop poro ya sintap(?) ne a=sisam'omare wa  
 私のはらわたが大きい網を広げたかのように (?) 私のそばに広がって

クッタラ モム シリ アシコパヤラ コロ ホツケ (?) ルッチワヌミ<sup>[2]</sup>  
 kuttar mom sir a=sikopayar kor hotke(?) rutciw=an h\_umi  
 私はイタドリが流れているかのように寝て (?)、潮がしみるのが

アサンペケセ チシコツ カネ コロ  
 a=sampekesese ciskot kane kor  
 私の心臓の端が泣きたいほど苦しくて

クッタラ モム シラシコパヤラ アイネ イン…… ヤイヌアニケ  
 kuttar mom sir a=sikopayar ayne in... yaynu=an h\_ike  
 イタドリが流れているかのようにいるうちに、私が思ったことは

テエタ カネ ポンラモツ タ アトゥイヤウンクル イコイキ ロキ  
**teeta kane ponram or\_ta Atuyyaunkur i=koyki rok h\_i**  
 昔、幼いときに、アトゥイヤウンクルが私に攻撃してきたことが

イラムシッタ チカリレ<sup>[3]</sup> イルシカ ケウトウム アヤイコロパレ  
**i=ramsitta cikarire iruska kewtum a=yaykorpore**  
 私の心に思い浮かぶと、怒りの気持ちを私は抱いた。

クンネ コロカ ヤイモイモイエアン ヌクリ ワ  
**kunne korka yaymoymoye=an nukuri wa**  
 暗くなったが、自分の身体を動かすのも大儀で

クッタラ モム シラシコパヤラ コロ アナナワ  
**kuttar mom sir a=sikopayar kor an=an awa**  
 イタドリが流れているかのようになっていると

イネフイ コタン イネフイ モシリ プシコサンパ  
**inehuy kotan inehuy mosir puskosanpa**  
 どの村でか、どの国でか爆発するような音がして

カムイ エク フム トウリミムセ ケウロトツケ キ ロク アイネ  
**kamuy ek hum turimimse kewrototke ki rok ayne**  
 神がやって来る音が鳴り響き、鳴り轟いたあげく

イサム タ ニ…… ニ カイ パク ペ ホラウオチウエ  
**i=sam ta ni... ni kay pak pe horaociwe**  
 私のそばに木が折れるような音が落ちてきて

インカラン ルウエ エネ オカ ヒ  
**inkar=an ruwe ene oka hi**  
 私が見るところだった。

エ…… コンル ハヨクペ エトウマム コンナ テシナタラ  
**e... konru hayokpe etumam konna tesnatara**  
 氷の鎧を身体にきちんと着て



ハヨクペ タプカ ワ ラッキ コンル

**hayokpe tapka wa ratki konru**

鎧の肩のところから垂れ落ちる氷は

ハヨクペ ノシキ チコエトウイェ

**hayokpe noski cikoetuye**

鎧の中ほどまで同じ長さに垂れ下がり

ハヨク…… ハヨクペ ノシキ ワ ラッキ コンル

**hayok... hayokpe noski wa ratki konru**

鎧の中ほどから垂れ落ちる氷は

ハヨクペ チンキ チコエトウイェ コンル ハヨクペ

**hayokpe cinki cikoetuye konru hayokpe**

鎧の裾まで同じ長さに垂れ落ちる氷の鎧を

エトウマム コンナ テシナタラ イサム タ ホラウオチウエ ヒネ

**etumam konna tesnatara i=sam ta horaociwe hine**

身体にきちんと着て、私のそばにさっと下りて来て

オラノ タント トリ チャシトウシテッカ

**orano tanto tori castustekka**

そして一晩中立ちつくして

イ…… イシケライケ ワ オカ ロク アイネ

**i... i=sikerayke wa oka rok ayne**

私を睨んでいたあげく

シエトウウイナ シパルイナ コロ エネ イタキ

**sietuuyna siparuyna kor ene itak h\_i**

自分の鼻を押さえ、自分の口を押さえながら、こう言った。

「ソノノ ヘタプ ポロ クレネ カムイ オルンノ

**“sonno hetap poro kur ene kamuy or unno**

「本当に大きい人だからこそ、ああして神のところで

チェウラムテクク<sup>[4]</sup> アエカラカラ ハウエ ネ クナク タプ アラム アワ  
**cewramtekuk a=ekarkar hawe ne kunak tap a=ramu awa**  
 槍玉にあげられる（ほど強い人物である）のだと、そう思っていたのに

オアラ ヘカチ オアラ テンネプ ネ ロクオカイ ペ  
**oar hekaci oar tennep ne rok'okay pe**  
 完全に少年、まったく赤ん坊であったものが

エネポ エアシリ アカン ルウエ エネ アニ アン イラム ワ オケレ (?)」  
**enepo easir a=kar\_ ruwe ene an h\_i an iramu wa okere(?)**  
 これほどまでに噂されたとは驚かされてしまった」 (?)

セコロ オカイ ペ イェ コロ イラウコタブ ヒネ<sup>[5]</sup>  
**sekor okay pe ye kor i=rawkotapu hine**  
 ということを言いながら私を抱きかかえて

オラノ イエキラ ヒネ フナクン パイエアヌミ  
**orano i=ekira hine hunak un paye=an h\_umi**  
 それから私をさらうと、どこかへ私たちが（飛んで）行く音が

アエキサラストウマウクルル キ ロカイネ  
**a=ekisarsutumawkururu ki rok ayne**  
 私の耳元で風がビュービュー鳴ったあげく

アトウイ シンプイ アニネ カリ アフン  
**atuy simpuy an h\_ine kari ahun**  
 海に井戸があって、そこから入って

ネ…… ウン…… ネ アトウイ セ…… シンプイ セコロ イタカナツカ  
**ne... un... ne atuy se... simpuy sekor itak=an y\_akka**  
 その海の井戸と言っても

ウ…… エアシリ カムイ エワク シリ セプ チセ オンナイ  
**u... easir kamuy ewak siri sep cise onnay**  
 それこそ神が住む様子で、広い家の中の

ネノ シラヌシケ カムイ エワク シリ

**nenosiran uske kamuy ewak sir**

ような様子であるところで、神が住む様子（であるところに）

タ…… イ…… アフパニネ アクス ス……

**ta... i... ahup=an h\_ine akusu su...**

私たちが入ると

カムイ トウレシポ カムイ ネ クス カムイ イポロ アンノイエカラ

**kamuy turespo kamuy ne kusu kamuy iporo annoyekar**

神の妹が、神であるからこそ神々しい容貌の

カムイ トウレシ アナ クス ネア トウレシ テン…… テムニコロ

**kamuy tures an a kusu nea tures ten... temnikor**

神の妹がいたので、その妹の腕の中に

イコエヤプキリ コロ ア…… イタカウエネ アニ

**i=koeyapkir kor a... itak h\_aw ene an h\_i**

私を放り投げて（私を捕まえてきたやつが）言ったことはこうだった。

「アコツ トウレシ タアンペ エシクヌレ ニウケサクン

**“a=kor\_ turesi taanpe e=siknure niwkes y\_akun**

「わが妹よ、こいつをお前が生き返らせられなければ

アムツ エムシ ノタク カシケ コヤイタライエ エキ プ ネ ナ。

**a=mut emus notak kasike koyaytaraye e=ki p ne na.**

私が佩いている刀の刃の上に横たえて（斬って）やるからな。

タアンペ シクヌレ」

**taanpe siknure”**

こいつを生き返らせろ」

セコロ オカイ ペ イエ コロ

**sekor okay pe ye kor**

ということを使いながら

ネア カムイ トウレシ コツ テン…… テムニコロ イコエヤブキリ キ アクス  
**nea kamuy turesi kor\_ ten... temnikor i=koeyapkir ki akusu**

その神なる妹の腕の中に私を放り投げると

ネア カムイ トウレシポ ウサ イタク ウサ イム ウルオカエテレケレ (?) [6]  
**nea kamuy turespo usa itak usa imu uruokaeterkere(?)**

その神の妹はいろいろな話、いろいろなイムをし、跳ねまわりながら (?)

「ウサイネ カ タプ アユプトノケ イキ ナ  
**“usayne ka tap a=yup-tonoke iki na**

「いったいぜんたい我がお兄さま、なんだっていうんです。

フンタ エネ オカ イネ……

**hnta ene oka h\_ine...**

何を

フンタ エネ アカン ルウエ オカイ? (?) ネン アシクヌレ イ ネ ヒネ  
**hnta ene a=kar\_ ruwe okay? (?) nen a=siknure h\_i ne hine**

何を私がするのですか? 誰を私が生き返らせるということで

ウサイ ネ カ タプ アユプトノケ イキ ナ」  
**usay ne ka tap a=yup-tonoke iki na.”**

いったいなにを我がお兄さまはしているんだか」

セコロ オカイ ペ イエ コロ

**sekor okay pe ye kor**

ということを (妹が) 言うが

オラ ネアプ スイ チソイエカッタ ヒネ

**ora neap suy cisoyekatta hine**

それから例の者 (=兄のほうの神) は、また家から飛び出して

アラパ フム コケウロトツケ トウリミムセ

**arpa hum kokewrototke turimimse**

行く音が鳴り轟き、鳴り響く。

オラノ オカケヘ タ ネア カムイ トゥレシポ リ チニヌイペ イエアヌ  
**orano okakehe ta nea kamuy turespo ri cininuype i=eanu**

それから、その後で例の神の妹は高枕に私を置いて

オロワノ アオッシケオプ アオッシケ オララパ  
**orowano a=ossikeop a=ossike orarpa**

それから私のはらわたを押さえつけて

オラノ トゥ…… トゥ ヌプル フッセ レ ヌプル フッセ イエシタイキ  
**orano tu... tu nupur husse re nupur husse i=esitayki**

それから二つの巫力の強い息、三つの巫力の強い息を私に吹きかけて

パヌセイポ アッテ ワ  
**pan useypo atte wa**

薄いおかゆを（火に）かけて

アピリヒ カラカラ アパロオッテ コロ  
**a=pirihi karkar a=parootte kor**

私の傷をきれいにして（おかゆを）私に食べさせると

オロワノ カネ アワンキ アニ イペ…… イパル コロ  
**orowano kane awanki ani ipe... i=paru kor**

それから金の扇でもって私を扇ぐと

アエサンペケセ アエサンペパケ コシトゥリリ コロ  
**a=esampekesese a=esampepake kosituriri kor**

私の心臓の下端も、私の心臓の上端ものびのびして

イ…… イピシカニケ ワ テレケ カネ イキ コロ  
**i... i=piskanike wa terke kane iki kor**

（妹は）私のまわりを跳びまわって（立ち働き）

オロワノ パヌセイポ アッテ アパロオッテ イネ アピリ カラカラ アイネ  
**orowano pan useypo atte a=parootte h\_ine a=piri karkar ayne**

それから、薄いおかゆを（火に）かけ、私に食べさせて、私の傷をきれいにする

アフシコピリ チマ クタツパ

**a=husko-piri cima kutatpa**

私の古い傷はかさぶたが落ちて傷が癒え

アアシリピリ チ…… チマ カン パ…… パクノ イカラ アイネ

**a=asir-piri ci... cima kan pa... pakno i=kar ayne**

私の新しい傷はかさぶたの上まできれいになったあげく

タネ アナクネ ヘテメロシキアン マ アアン カ キ

**tane anakne hetemeroski=an w\_a a=an ka ki**

今は私はむっくり起きあがって座りもして

オロワノ ピリカ スケ エヤイケस्पカエワク カネ ワ

**orowano pirka suke eyaykesupkaewak kane wa**

それから（神の妹は）素晴らしい料理をつくるためにあちこち忙しくかけずり回って

イイペレ ネ ヤ パヌセイポ アパロオツテ ネ ヤ キ アイネ

**i=ipere ne ya pan useypo a=parootte ne ya ki ayne**

私に食べさせたり、薄いおかゆを私の口の中に入れてたりしているうちに

タネ アナクネ シクヌ トウサ アウレンカレ<sup>[7]</sup> コロ

**tane anakne siknu tusa a=urenkare kor**

今は生き返り、傷も癒えて全快すると

オロタ スイ ネア イエキラ ア プ

**orota suy nea i=ekira a p**

そこで、また例の私をさらった者<sup>[8]</sup>が

イネフイ コタン マ エク フム コンナ ケ…… ケウロトツケ

**inehuy kotan w\_a ek hum konna ke... kewrototke**

どこの村からか来る音が鳴り轟き

トゥリミムセ ワ アフン マ ソネ ネ ア プ

**turimimse wa ahun w\_a sone ne a p**

鳴り響いていて、入って（来たのは）まさしくそのひとであったが

「エシクヌレ ヤ？」

“e=siknure ya?”

「お前は生き返らせたのか？」

セコロ オカイ ペ イェ コロ

sekor okay pe ye kor

ということを使うと

スイ チソイエカッタ ワ イサム ランケ コロ オカアナイネ

suy cisoyekatta wa isam ranke kor oka=an ayne

また何度も家を飛び出してしまう、私たちが暮らしているうちに

タネ アナクネ シクヌ トウサ ウレンカレ コロ

tane anakne siknu tusa urenkare kor

今は生き返り、傷も癒え、すっかり治ると

ヒケ ケ…… エネ イタカニ

hike ke... ene itak=an h\_i

そこで私はこう言ったのだ。

「カムイ トウレシボ、

“kamuy turespo

「神の妹よ、

フンタ シノ エコロ ユピ エヌプル ペ ネ ルウエ アン？

hnta sino e=kor yupi enupur pe ne ruwe an?

あなたの兄の霊力が本当に強いのは何によるのですか？

ポンノ イヌカレ ワ イコレ

ponno i=nukare wa i=kore

(その霊力の源を) 少し私に見せてください。

アヌカッ タクプ ネ ナ。ポンノ イヌカレ」

a=nukar\_ takup ne na. ponno i=nukare”

見るだけです。少し私に見せてください」

セコロ オカイ ペ アイェ コロ オラノ ハクマ ハクマ

**sekor okay pe a=ye kor orano hakma hakma**

ということを私が言うと、それから（妹は）耳に口を寄せて低い声で（？）

「ソモ オカイ…… ソモ アン クニ プ エイエ ハウエ ネ ナ。

**“somo okay... somo an kuni p e=ye hawe ne na.**

「そんなことは言わないでください。<sup>[9]</sup>

フンタ メノコ アナクネ

**hnta menoko anakne**

何も女というものは

オッカヨ コロ ペ ウク カ ソモ キ プ ネ ルウエ ネ アワ

**okkayo kor pe uk ka somo ki p ne ruwe ne awa**

男性が持っているものを、（勝手に）取り出すことはしないものだから

エネ ハウエアニ アン ソモ アン クニ プ エイエ ハウエ ネ ナ。

**ene hawean h\_i an somo an kuni p e=ye hawe ne na.**

あなたが言ったことは言うべきことではないのですよ。

ヤウンクン ニシパ イテキ ネノ ハウエアニ マ イコレ」

**yaunkur\_nispa iteki neno hawean w\_a i=kore”**

ヤウンクルの旦那さま、決してそのように言わないでください」

セコロ ハウエアニ ヤッカ

**sekor hawean yakka**

と言ったけれども

トゥマツケサム アコトウイエ オロワノ イキアン シリ エネ アニ

**tumakkesam a=kotuye orowano iki=an siri ene an h\_i**

何度だめだと言われても言うことをきかずにそうして（自分の意志を通して）いたとき

タン シノツチャ アエラウクチ カムイノイエ カネ…… カネ

**tan sinotca a=eraunkuci kamuynoye kane... kane**

私はこの歌を喉の奥を美しく振るわせながら



キン タプカラ<sup>[10]</sup>

**kin tapkar**

美しい踏舞をした。

アエヤイタプクルカオシキル コロ

**a=eyaytapkurkaosikuru kor**

私が自分の肩を張って身を転じると

オロワノ ネア カムイ トウレシポ ミナ カネ ワ

**orowano nea kamuy turespo mina kane wa**

そうすると、例の神の妹は笑って

イテクサマ エウン エウン

**i=teksama eun eun**

私のそばへそばへ（来る）

オラノ ネ タン シノッチャ アエラウンクチカムイノイエ コロ

**orano ne tan sinotca a=eraunkucikamuynoye kor**

そこで、私があの歌を喉の奥から美しく響かせながら

「ホクレ クナク ポンノ エコロ ユピ° エヌ…… エヌプル ペ

**“hokure kunak ponno e=kor yupi enu... enupur pe**

「さあ、早く、ちょっとだけ、あなたの兄さんの強い巫力のもとを

ポンノ イヌカレ。アヌカッ タクプ ネ クシ ネ ナ」

**ponno i=nukare. a=nukar\_ takup ne kus ne na”**

少し私に見せてください。私は見るだけにしますから」

イタカナイネ コンル スウオプ アン ペ

**itak=an ayne konru suwop an pe**

（と）私が言うと、氷の箱があるので、

ポンノ プタ エマ……（？） マカ テカクス アコラコラク<sup>[11]</sup>

**ponno puta ema...(?) maka tek akusu a=kor akorak**

少し蓋をさっと開けて、私が持ったかと思うと(?)、

スイ 「オヨヨ」 トウラ ヘトポ ホロカ イカ エホシピ ヤッカ

**suy “oyoyo” tura hetopo horka ika ehosipi yakka**

またすぐに「ああ嫌だ」と言う声とともに、(妹は)また他のものの上に戻そうとするが(?)

トウ…… トウマツケサマ アコトウイエ アイネ

**tu... tumakkesama a=kotuye ayne**

何度だめだと言われても、私が言うことをきかずにいると

ネア スウオプ プタハ メス

**nea suwop putaha mesu**

(神の妹は)例の箱の蓋をはずして、

オロ ワ レタラ カタク クンネ カタク サンケ ヒネ

**oro wa retar katak kunne katak sanke hine**

そこから白い糸玉と黒い糸玉を取り出して

「『タ…… レ…… ネプ カ アエキマテク ワ キラアン コロ

**“ta... re... nep ka a=ekimatek wa kira=an kor**

「『何かに驚いて逃げるときには

レタラ カタク シエトクン アオスラ

**retar katak sietok un a=osura**

白い糸玉を自分の前へ投げ

クンネ カタク シオカ ウン アオスラ コロ

**kunne katak sioka un a=osura kor**

黒い糸玉を自分の後ろへ投げると

ネプ カ イケサンパ ヤッカ イオカケ タ クンネ ウララ ホラウオチウエ

**nep ka i=kesanpa yakka i=okake ta kunne urar horaociwe**

何か追いかけてきても後ろに黒い霧が降りてきて

イエトコ タ ペケレ ウララ ホラウオチウエ ワ キラアン ペ ネ』

**i=etoko ta peker urar horaociwe wa kira=an pe ne'**

私の前に澄んだ霧が下りてきて逃げられるのだ』

セコツ タシ アユプトノケ ハウエアナウエ アヌ」

sekor\_ tasi a=yup-tonoke hawean h\_awe a=nu”

と、私のお兄さまが言ったのを私は聞きました」

アナケ…… ハウエアニケ

anake... hawean h\_ike

と（神の妹が）言ったところ

ヤイレンカネ アテクサイカレ ヒネ オロワノ アキ オロワノ

yayrenkane a=teksaykare hine orowano a=ki orowano

喜んで私はさっと手に取り、それから、そうすると、それから

「イトウレン カムイ イトウレン ピト

“i=turen kamuy i=turen pito

「私の憑き神、私の憑き神よ、

アコロ コタン イヨルラ ワ イコロパレ ヤン」

a=kor kotan i=orura wa i=korporare yan”

私の村へ私を運んでください」

イタカナクス オラノ アイヌ クシナム イタク ヌ ワ フマサ カ

itak=an akusu orano aynu kusnam itak nu wa humas y\_a ka

（と）話すと、人間でもそんなに言葉を聞くだらうか（と思うほど言うことが通じ）

オフムサク レラ オニシサク レラ レ……

ohumsak rera onissak rera re…

音なしの風、雲なしの風の

マウエトコ アイエコシネスイェ カネ イキアナイネ

maw etoko a=i=ekosnesuye kane iki=an ayne

風の前に軽く揺すぶらされていたあげく

アトウイ ノシキ パク エカン コロ ネアブ イケサンパ

atuy noski pak ek=an kor neap i=kesanpa

海の真ん中まで来ると、例の者<sup>[12]</sup>が私を追いかけて

(萱野：うん)

ね？

エク フム コンナ ケウロトツケ トウリミムセ ヒネ イヨシコニ ルウエ  
 ek hum konna kewrototke turimimse hine i=osikoni ruwe  
 来る音が鳴り轟き、鳴り響いて私に追いついたことは

スイ ネノ アニネ コロ イタカウエ エネ アニ  
 suy neno an h\_inē kor itak h\_awe ene an h\_i  
 またこのようであって、(そこで彼が) 言ったことばはこうだった。

「アシヌマ アナクネ ピカタ カムイ<sup>[13]</sup> アネ ルウエ ネ。  
 “asinuma anakne Pikata kamuy a=ne ruwe ne.  
 「私はピカタ神であるのだ。

(萱野：ふうん)

ピカタ カムイ アネ ワ アナン ワ  
 Pikata kamuy a=ne wa an=an wa  
 私はピカタ神であって

エネ アン エネ イキ エアシリキ プ アネ ヒネ ワ  
 ene an ene iki easirki p a=ne hine wa  
 こうこうこのようにしなければならないので、

ル…… モシリコ…… モシリ ソ クルカ  
 ru... mosirko... mosir so kurka  
 国土の上に

アエスルルケ ワ イキアン ルウエ ネ ヤッカ  
 a=esururuke wa iki=an ruwe ne yakka  
 広がっているのだが(?)

ネン ポカ エシクヌ ヤクン  
 nen poka e=siknu yakun  
 なんとかお前が生き返ったら

アコッ トウレシ アエコレ ワ ヤクン  
**a=kor\_ turesi a=e=kore wa yakun**  
 私の妹をお前に（妻として）与えて、そうしたら

アプ…… アケッピロロケ エトウサ イタサ パクノ  
**ap... a=keppirorke e=tusa itasa pakno**  
 私のおかげでお前の傷が癒え、

エケッピロロケ アエトウサ クス  
**e=keppirorke a=e=tusa kusu**  
 おまえのおかげで私の傷が癒される（ように助け合える）から

クナク アラム ア コロカ ナ ソモ アイェ ノ アナナワ  
**kunak a=ramu a korka na somo a=ye no an=an awa**  
 と私は思ったものの、まだ言わないでいたが

ソンノ ヘタプ アイヌ ヘタプ エネ シリ アン？」  
**sonno hetap aynu hetap e=ne siri an?"**  
 本当にお前は人間なのか？」

イタク コロ アユプケタムクル イコテレケレ ノイネ カネ  
**itak kor a=yupke-tamkur i=koterkere noyne kane**  
 （とピカタ神が）言うと、私は強い太刀影を投げかけるようにしたと

イラムアン ウシケ タ エイコモイレ イケ シコロ ヤイヌアン クス  
**iramu=an uske ta e=ikomoyre h\_ike sekor yaynu=an kusu**  
 思ったところで、後れを取ってはと私は思ったので

アピリカクルフイマンパ アクス  
**a=pirkakurhuymampa akusu**  
 私が（ピカタ神を）よくよく注意して見ると

ハヨクペ ヌマツ ホ…… ホマリタラ  
**hayokpe numat ho... homaritara**  
 鎧の紐がぼんやり（輝き）

ハ…… ハヨクペ コッ…… コッパロ タ ウルキ ルウェ アヌカリ クス  
**ha... hayokpe kot... kotparo ta uruki ruwe a=nukar h\_i kusu**  
 鎧の襟元で留まっているのを私は見つけたので

ア…… アコロ…… アラムコパシテプ アノンノイタク コロ  
**a... a=kor... a=ramkopastep a=nonnoytak kor**  
 私の刀に祈って

ネア ハヨクペ ヌマツ ウルキ ウシケ ア…… アシリコオツケ アクス  
**nea hayokpe numat uruki uske a... a=sirkootke akusu**  
 その鎧の紐の結び目を激しく突くと

コンル ネ クス ウマケ ワ ホラオチウエ  
**konru ne kusu umake wa horaociwe**  
 氷なので壊れて崩れ落ちた。

オカケ タ イマカケ タ  
**okake ta imakake ta**  
 その後で、その後で

ポナイヌ ポン クル エネ アレカ イ オアリサム ペ  
**pon aynu pon kur ene a=reka h\_i oarisam pe**  
 若い人間で、このような非の打ちどころがまったくないものが

エアラ カラパク…… エアラカパラペ ヤイコノイエ  
**ear karpak... earkaparpe yaykonoye**  
 ただ一枚の薄衣を巻きつけて

テク チキリポ エチャララセ  
**tek cikirpo ecararse**  
 手を足にして（鎧の中から）這い出てきて

オトウシウエ…… コレイ…… オトウ シウエンパシロタツパ  
**otusiwe... korey... otu siwenpasrotatpa**  
 何度もひどくののしって

「ソノノ ヘタプ ウママ カムイ ウママ ピト イコモイモイエ プ  
**“sonno hetap umama kamuy umama pito i=komoymoye p**  
 「本当に凡庸ではない神、非常に勇猛な神が私をどうしようとしても（？）

アコロ ハヨクペ ネ ア ワ クス ヘタプ エイキ ナ  
**a=kor hayokpe ne a wa kusu hetap e=iki na**  
 私の鎧だったから（壊されないはずなのに）、お前は何をしたのか（？）

イネ クシナムネ  
**ine kusnamne**  
 いったいなんのために

カムイ オロ パクノ チェウラムテクク アエカラカラ ヒケ  
**kamuy or pakno cewramtekuk a=ekarkar hike**  
 神のところまで槍玉にあげられる（ほど立派な）人に

イケムヌ ケウトウム アヤイコレ ワ  
**ikemnu kewtum a=yaykore wa**  
 憐みの気持ちを私は抱いて

ネウン ポカ アエシクヌレ ルウエ ネ アワ エネ エイキ イ アン？」  
**neun poka a=e=siknure ruwe ne awa ene e=iki h\_i an?”**  
 なんとかお前を生き返らせたのだが、そういうことをするのか？」

セコロ オカイ ペ イェ コロ  
**sekor okay pe ye kor**  
 ということを（ピカタ神が）言いながら

オロワノ ロ…… イ…… イウク ノイネ イキ ウシケ タ アコテレケ ヒネ  
**orowano ro... i... i=uk noyne iki uske ta a=koterke hine**  
 それから私をつかまえようとしたところで私はとびかかって

アシレカッタ ヒネ イツケウエ アカイエ  
**a=sirekatta hine ikkewe a=kaye**  
 地面に引き倒して（ピカタ神の）腰骨を折った

(萱野：うん)

ポ ヘネ オトウ シウエンパシラトツ…… パタ<sup>[14]</sup> エネ イキ シリ ネ ヤクン  
po hene otu siwenpasratot... pata ene iki siri ne yakun

(ピカタ神は) なおいっそう何度も悪態をついて、そうしたら

「ピッ…… アシヌマ アナクネ ピカタ カムイ アネ ワ  
“Pit... asinuma anakne Pikata kamuy a=ne wa

「私はピカタ神であって

イライケ ヤッカ イロンヌ ヤッカ  
i=rayke yakka i=ronnu yakka

私を殺しても、何度私を殺しても

ヤイカッチピ° アエアシカイ ルウエ ネ コロカ  
yaykatcipi a=easkay ruwe ne korka

生き返るけれど

アイツケウエ エカイエ シリ ネ ヤクン  
a=ikkewe e=kaye siri ne yakun

私の腰骨を折ったら

タ…… ネ…… アシヌマ アナク ピカタ カムイ アネ クス  
ta... ne... asinuma anak Pikata kamuy a=ne kusu

私はピカタ (という風の) 神なので

アユプケマウエ タプ テ タ (?) アトウイ ノシキ タ  
a=yupke-mawe tap te ta(?) atuy noski ta

私の強い風で、今ここで、海の真ん中で

アイツケウエ イカ…… エカイエ シリ ネ ヤクン  
a=ikkewe ika... e=kaye siri ne yakun

私の腰骨をお前が折ったら

アトウイ ノシキ パクノ アユプケマウエヘ エク ナンコロ  
atuy noski pakno a=yupke-mawehe ek nankor

海の真ん中まで私の強い風が来るだろう



オロワウン カル…… カンマウエヘ カンラルフ

**orowaun kar... kanmawehe kanraruhu**

それから、風の薄いところが

エコロ モシリ ウ…… モシルン ヤン ナンコロ クス

**e=kor mosir u... mosir un yan nankor kusu**

お前の国へ上陸するだろうから

タップ イカラ シリ アン ヤッカ ナニ ラヤン ソモ キ プ ネ ナ」

**tap i=kar siri an yakka nani ray=an somo ki p ne na.”**

そうされて（腰を折られて）も、私はすぐには死なないぞ」

セコロ オカイ ペ イェ コロ

**sekor okay pe ye kor**

ということ（ピカタ神が）言いながら

オトウ シウエンパシロタツパ アウエ アヌ テク コロ

**otu siwenpasrotatpa h\_awe a=nu tek kor**

何度ものひどい悪態を私はちょっと聞くと

オロワノ スイ ヤナニネ アコロ シヌタップカ ウン ヤナン

**orowano suy yan=an h\_ina a=kor Sinutapka un yan=an**

それからまた私は陸に向かって、我々のシヌタップカへ上陸した

セコロ アリ パクノ クヌ よ

**sekor ari pakno ku=nu YO**

と、ここまで私は聞いたのよ

（萱野：ああ、そうかい）

だから

（萱野：うん）

そのポイヤウンペ ピカタ カムイ イツケウエ カイエ ワ

その Poyyaunpe Pikata kamuy ikkewe kaye wa

そのポイヤウンペがピカタ神の腰骨を折って

(萱野：うん)

「ほんとにレラ ソンノ マウエヘ エコロ モシルン ヤン ヤクン  
 “HONTONI rera sonno mawehe e=kor mosir un yan yakun  
 本当に風、本当に風がお前の国へ上陸したら

エ…… エコタヌ ウウオマプ<sup>[15]</sup> ソモ ネ ヤッカ  
 e... e=kotanu uomap somo ne yakka  
 お前の村が助かることなくても

タア アトウイ ノシキ タ イツケウエ エカイエ シン ネ アクン  
 taa atuy noski ta ikkewe e=kaye sir\_ ne y\_akun  
 この海の真ん中で腰骨をお前が折ったら

ソンノ アマウエヘ アトウイ ノシキ パクノ エク  
 sonno a=mawehe atuy noski pakno ek  
 本当に私の風が海の真ん中まで吹いてくる。

オラ カンマウエヘ カンラルフ エコタヌフ ヤン ウシ  
 ora kanmawehe kanraruhu e=kotanuhu yan usi  
 それから風の薄いところがお前の村に上陸するところで、

タップ イカン ナ」セコロ ハウエアン  
 tap i=kar\_ na” sekor hawean  
 私をこのようにした（腰骨を折った）のだよ」と言った。

セコロ アン ユカラ、それもいたわしい。  
 sekor an yukar、それもいたわしい。  
 というユカラ、それも（最後まで聞いていないので）惜しい。

オシレパ パクノ でも クヌ せばいいたってよ。  
 osirepa pakno DEMO ku=nu せばいいたってよ。  
 到着するまでも聞いておけば良かったのにさ。

(萱野：うん)

ふふ。

【注】

- [1] 本文中には *kuttar mosir* 「オオイタドリの国」という語句は出てこないが、萱野茂氏によるオリジナルのタイトルを尊重して、そのまま記した。本文中に見られる語からは *アトウイソ カ タ クッタラ モム シリ atuy so ka kuttar mom sir* 「海の上を流れるイタドリ」の意味かと考えられる。
- [2] *rutciw=an<rur* 「潮、海水」 *ciw* 「刺す、しみる」。意味上の主語は *rur* であり、*rur* 「潮」が *=an* 「私を」 *ciw* 「刺す」と解釈する。
- [3] 『久保寺辞典稿』に *i-ram-shit ta chikarire* 「我が心の表に廻り来る 思浮ぶ。」とある。
- [4] 『バチェラー辞典』に *eramtekuk* 「襲フ, 追求スル. To attack. To pursue.」(P142) とある。
- [5] 『久保寺辞典稿』に *raukotapu* 「坐っている者の下の方から抱き取る. すくひ取る様に抱へる」とある。
- [6] *u* 「互い」 *ru* 「跡」 *oka* 「～の後」 *e-* 「(場所) に」 *terke* 「跳ねる」 *-re* 「～させる」か。
- [7] ウレンカレ *urenkare* は「皆そろえる(一つも欠けないように一そろえのものを皆集める)」(『沙流方言辞典』P781)。ここではひとつの傷もなくなる状態のことと解釈した。
- [8] 「私をさらったもの」とは、兄のほうの神のこと。
- [9] 直訳は「あるべきではないことをお前が言うのだよ」か。
- [10] 『久保寺辞典稿』には *tomikin tapkar aki kor kanekin tapkar* の項に「<*kin?* 美?」とあることを参考に訳した。
- [11] ここは、妹が見せようかやめようかと逡巡している場面のはずなので、箱の中のものを手にしたのは妹のほうだと思われるが、*a=kor* 「私が持つ」と言っているように聞こえる。
- [12] 「例の者」は、兄のほうの神のこと。
- [13] *ピカタ pikata* は風の名称。そのため、*ピカタ* 神は風の神。
- [14] 「*パシラトツ…… バタ*」は *パシロタ pasrota* の言い間違い。
- [15] 『ユーカラ集IX』に *eekotanu uomap ne na* 「お前の村が助かるようだ」(P62) とある。

## 16-7 ルパイエユカラについて解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：いまのは、これ **rupayeyukar** [散文語りの英雄叙事詩] ですね？

鍋澤：んだ。

萱野：うんと昔は、あの一、こういうのは **menokoyukar** [メノコユカラ、女の英雄叙事詩] という言い方で、**rep** [拍子打ち] するのは男だけだったもんな。

鍋澤：んだ、そうだ。

萱野：この頃も女の人でも **rep** [拍子打ち] するということは、あの、男の人で十分に **yukar** [英雄叙事詩] をする人がいないから、

鍋澤：そーんだ。

萱野：あの、こういうふうなことになってきたわけで、実際は

鍋澤：今から、

萱野：今こういうふうな、おばあさんが言ったようなのが昔の **menokoyukar**、女の……、が語る **yukar** [英雄叙事詩] で、

鍋澤：うん、んんん、んだ、**rupaye** [散文語り]。

萱野：それから **rep** [拍子打ち] するのは男が語る **yukar** [英雄叙事詩] であつたわけですね。

鍋澤：うん、うん、うん

萱野：今のもこれ **Ponyaunpe** [ポイヤウンペ：英雄叙事詩の主人公] がちょっと戦をしたことなんですけれども、こういう **yukar** [英雄叙事詩] というのは、こう和訳するのは中々長いですから、

鍋澤：んだ。

萱野：まだこれは後にして、また次へ進みます。

## 16-8 ルパイェユカラ

「ウエンクル フチ イレス」

貧乏人のお婆さんに育てられた

語り：鍋澤ねぶき

ウエンクルチ イレシパ ワ ランマ カネ カッコロ カネ オカアニケ  
 wenkur h\_uci i=respa wa ramma kane katkor kane oka=an h\_ike  
 貧乏人のお婆さんが私を育てて、いつもいつも私たちは暮らしていたが

ウエンクルチ アクシノッ ポン ク アクシノッ ポン アイ  
 wenkur h\_uci aksinot pon ku aksinot pon ay  
 貧乏人のお婆さんは弓遊び用の小さな弓、弓遊び用の小さな矢を

カラ ワ イコレ コロ  
 kar wa i=kore kor  
 作って私にくれると

ヤ…… エロンネ ワ ウトゥン ネ ワ  
 ya... eronne wa utur\_ne wa  
 上座から、下座から

ヤイウナコチアン カネ ヤイウナコシルアン カネ コロ  
 yay'unakotaci=an kane yay'unakosiru=an kane kor  
 私は自分に灰をくっつけて、自分に灰をこすりつけて

エロンネ シキルアン コロ  
 eronne sikiru=an kor  
 上座のほうを向いては

アパ…… プラ…… プヤラ サムシペ<sup>[1]</sup> アトクピシキレ<sup>[2]</sup> アイケサンパ  
 apa... pura... puyar samuspe a=tokpiskire a=ikesanpa  
 窓のそばの柱に（矢を）射とばして追いかけて

アヤヨミナウシ カネ

a=yayominausi kane

一人で笑って

エウトウンネ シキルアン コロ アパ サムシペ アトクピシキレ

eutunne sikiru=an kor apa samuspe a=tokpiskire

下座のほうを向いては戸のそばの柱に射とばして

アイケサンパ アヤヨミナウシ カネ コロ

a=ikesanpa a=yayominausi kane kor

追いかけて一人で笑うと

オロワノ ウエンクルチ イハンケアシテ イトウイマアシテ

orowano wenkur h\_uci i=hankeaste i=tuymaaste

それから貧乏人のお婆さんを私の近くに立たせ、私の遠くに立たせると

「ケライ ネ プ タ ウン エペヌプルペ<sup>[3]</sup> エネ プ ネ クス

“keray ne p ta un epenupurpe e=ne p ne kusu

「さすがにお前は後継者であるものだから

アクノ シリ オカ ヤ？」

akno sir oka ya?”

弓が上手だね？」

セコロ オカイ ペ イエ コロ

sekor okay pe ye kor

と（お婆さんは）言う

イレシパ ウエンクルチ エキムネ コロ セタ スイ ポカ<sup>[4]</sup> セシケ セシケ

i=respa wenkur h\_uci ekimne kor seta suy poka seske seske

私を育てた貧乏人のお婆さんは山に行くと、犬の穴ばかりも塞いで塞いで

「イキア クナク<sup>[5]</sup> エソイネ ナ。

“ikia kunak esoyne na.

「決して外に出るなよ。

ソイエンパアン コロ アコロ ポン ムン チセ キムケサマ  
soyenpa=an kor a=kor pon mun cise kimkesama

外に出ると私たちの小さな草の家の山側に

イッカ トリ イッカ チカプ エアルタシパ ワ イシトマアン ペ ネ ナ。  
ikka tori ikka cikap earutaspa wa isitoma=an pe ne na.

泥棒の猛禽、泥棒の鳥が群がっていて怖いのだよ。

イキア クナク エソイネ ナ」  
ikia kunak esoyne na.”

決して外に出るなよ」

セコロ オカイ ペ イェ コロ エキムネ コロ  
sekor okay pe ye kor ekimne kor

ということをお婆さんが言うと、山に行って、

オラ オヌマナン コロ  
ora onuman an kor

そして夕方になると

トイトイ ウシ カム トイトイ ウシ チェプ セ ワ イワク コロ  
toytoy us kam toytoy us cep se wa iwak kor

(お婆さんが) 土のついた肉、土のついた魚を背負って帰ってくると

オロワノ テムスツナ ワ フライェ ア フライェ ア ワ  
orowano temsutna wa huraye a huraye a wa

それから袖を肩までまくりあげて、洗いに洗って

ピリカ ウシケ スウェ ワ イエレ コロ オシ イオマパ イオマパ コロ イネ  
pirka uske suwe wa i=ere kor os i=omap a i=omap a kor h\_in

よいところを煮炊きして私に食べさせた後、私を可愛がりに可愛がりながら

スイ ランマ カネ カツコロ カネ オカアン アイネ  
suy ramma kane katkor kane oka=an ayne

またもや、いつも変わらず暮らしているうちに



スイ シネアンタ ネ ポンノ ポロアン カネ コロ スイ エキムネ コロ  
**suy sineanta ne ponno poro=an kane kor suy ekimne kor**

またある日になって、少し私が大きくなると、また（お婆さんが）山に行くと

「イキア クナク エソイネ プ ネ ナ」

“**ikia kunak esoyne p ne na**”

「決して外に出るなよ」

セコロ オカイ ペ イェ コロ エキムネ ワ イサム

**sekor okay pe ye kor ekimne wa isam**

ということと言うと山に行ってしまった。

オカケ タ インカラナクス

**okake ta inkar=an akusu**

その後で私が見ていると

シネ セタ スイ セシケ オイラ ルウエ ネ アニネ (?) クス

**sine seta suy seske oyra ruwe ne an h\_ine(?) kusu**

ひとつの犬の穴を塞ぎ忘れていたので

ネア アクシノッ ポン ク アクシノッ ポナイ

**nea aksinot pon ku aksinot pon ay**

例の弓遊びの小弓と弓遊びの小矢を

ホシキ ネア セタ スイ カリ ソヤオマレ ヒネ

**hoski nea seta suy kari soy a=omare hine**

先に例の犬の穴から外に出して

オロワ ウン オシ レイエレイエアニネ ソイネアン ル (?)

**orowa un os reyereye=an h\_ine soyne=an ru(?)**

それからその後から這って這って私が外に出たことは (?)

タネポ タプネ アコロ ポン ムン チセ ソイケサマ アヤヤムキレ ル

**tanepo tapne a=kor pon mun cise soykesama a=yayamkire ru**

今初めてこうして私たちの小さい草の家の外側を私は初めて見たことには (?)

イネロクペクス ウェンクルチ アリキキ ワ シラナ カ アエラミシカリ  
**inerokpekusu wenkur h\_uci arikiki wa siran \_ya ka a=eramiskari**  
 なんとまあ貧乏人のお婆さんが一生懸命にしていた様子なのかわからないほどで、

チクニ ヘネ ポロ イキリ アン ルウエ ネ。  
**cikuni hene poro ikir an ruwe ne.**  
 薪も大きな山になって並んでいた。

オロワ ウン エキムネ ワ  
**orowa un ekimne wa**  
 それから（お婆さんが）山に行つて

ウェンクルチ エキムネ トイル アラパ ル コ マクナタラ  
**wenkur h\_uci ekimne toyru arpa ru ko maknatara**  
 貧乏人のお婆さんが山に入る道が伸びゆく様子は広々としている。

エコホピ° エピシネ ワ チタ キロル アン (?) ル コンナ マクナタラ  
**ekohopi episne wa cita kiroru an(?) ru konna maknatara**  
 それと分岐して浜の方から耕された道がある様子は広々としている。

テ…… ネア アクシノツ ポン ク アクシノツ ポナイ アコロ カネ ワ  
**te... nea aksinot pon ku aksinot pon ay a=kor kane wa**  
 例の弓遊びの小弓、弓遊びの小矢を私は持つて

ネア エピシネ ワ サン キロル カリ ラナン ルウエ  
**nea episne wa san kiroru kari ran=an ruwe**  
 例の浜の方へ下りる道を通つて私が下りると

トンカ ルウエ クンナタラ イヨクペ ルウエ マクナタラ  
**tonka ruwe kunnatara iyokpe ruwe maknatara**  
 鋤で耕した跡は黒々と、鎌で刈つた跡は広々としている。

キロル カリ ラナン ルウエ ネ アクス  
**kiroru kari ran=an ruwe ne akusu**  
 その道を通つて私が下りると

タネポ タプネ アトゥイ セコロ アイェ プ アヌカン ルウエ  
**tanepo tapne atuy sekor a=ye p a=nukar\_ ruwe**  
 今初めてこうして海と言われるものを私は見たのだ。

ピリカ ノト チシレアヌ  
**pirka noto cisireanu**  
 綺麗な風で、

ノト コッ トリ ノ…… ノト コッ チカプ サカンレク ハウエ  
**noto kor\_ tori no... noto kor\_ cikap sakanrek hawe**  
 風の鳥、風の鳥が鳴き交わす声は

チリポ ハウ ネ ウエトゥヌイセ アンラマス アウエスイェ コロ  
**cirpo haw ne uetunuyse anramasu auesuye kor**  
 小鳥たちの声として美しく響き、面白く気に入って

エコイカン マ エコイポクン マ ル…… ルル サム ペカ  
**ekoykan w\_a ekoypokun w\_a ru... rur sam peka**  
 東から、西から波打ち際に（寄せる）

ルプネ ルンニ ノカン ルン…… ルンニ アトクピシキレ アイケサンパ  
**rupne runni nokan run... runni a=tokpiskire a=ikesanpa**  
 大きな寄り木、小さい寄り木に私は（矢を）射飛ばしては追いかけて

アエヤヨミナウシ カネ コロ  
**a=eyayominausi kane kor**  
 ひとりで大笑いしながら

エコイポクン マ エ…… エコイカン マ  
**ekoypokun w\_a e... ekoykan w\_a**  
 西へ、東へ

テレケアン カネ パサン カネ コロ アナナイネ  
**terke=an kane pas=an kane kor an=an ayne**  
 跳んだり走ったりしているうちに

アコンラム コンナ ユプコサンパ ヒネ

**a=konram konna yupkosanpa hine**

私の心は急に緊張して

ネア…… タナトウイ ルツ トウム アパウエチウ アパウエチウ ヒネ

**nea... tan atuy rur\_ tum a=paweciw a=paweciw hine**

海の潮の中に頭から突っ込み、頭から突っ込んで

オロワノ パイエ ノ チェプ ルプ チェプ ルプ アツパ

**orowano paye no cep rup cep rup atpa**

それから、行く魚の群、魚の群の先頭を

アエホユプ ワ アラパアン シリ エネ オカ ヒ

**a=ehoyupu wa arpa=an siri ene oka hi**

私が走って行く様子はこのようだ。

ルプネ ワタラ ノカウ ワタラ アテケプシパ

**rupne watara nokan\_ watara a=tekepuspa**

大きな石、小さな石を私は手で掘り上げ

シオカ ウン ヤプキン ニ ネ アエシスイエ コロ

**sioka un yapkir\_ ni ne a=esisuye kor**

自分の後ろへ投げ木のように私が振り投げると

パイェ ノ チェプ ルプ アキク ノ ヒケ ライ ワ カンペ クルカ オシプシパ

**paye no cep rup a=kik no hike ray wa kanpe kurka osipuspa**

行く魚の群で叩かれたものは死んで水面の上に浮き上がり

アキキケ ウエンペ テシテシケ ワ パイエ

**a=kik h\_ike wenpe testeske wa paye**

叩かれても、死に損ねたものは、はたはた跳ねている。

ネワアンペ アヤヨミナウシ カネ コロ アラパアナイネ

**newaanpe a=yayominausi kane kor arpa=an ayne**

それを私はひとりで笑いながら行くうちに

タネ アナク レプンクル アトゥイ ヤウンクル アトゥイ ウエウシ

tane anak repunkur atuy yaunkur atuy ueus h\_i

今は海の彼方に住む人の海と、この陸に住む人の海とが隣りあっているところだと

アラメパカリ ウシケ タ アラパアン クス エカン ペ

a=ramepakari uske ta arpa=an kusu ek=an pe

想像していたところに私は行った。そのつもりで来たのだが

アエラ…… アエラム…… アエコンラム コンナ エサッカオシマ

aera... a=eramu... a=ekonram konna esakkaosma

急に気が変わった。

ネオロ…… スイ オロ タ クッタラ モム シリ

neoro... suy oro ta kuttar mom siri

またそこでオオイタドリが流れる様子の

アシコパヤラ コロ アナン ア (?)

a=sikopayar kor an=an a(?)

ふりをして私はいた。

ラポッケ タ カムイ チワシ エク ルウエ エネ オカ ヒ

rapokke ta kamuy ciwas ek ruwe ene oka hi

そのうちに神なる急流が来る様子はこのようである。

ホシキ エク ペ アシペ タンネ<sup>[6]</sup> カムイ ラメトク

hoski ek pe aspe tanne kamuy rametok

先に来るものは背びれの長い神なる勇者が

ラッチ ヘトウク ラッチ ヘロリ エヤイタプクルカオシキル

ratci hetuku ratci herori eyaytapkurkaosikiru

ゆっくり顔を出し、ゆっくり潜り、肩を張って身を転じる。

オシ エク ペ アシペ…… アシペ レウケ カムイ ラメトク エク ルウエ ネ。

os ek pe aspe... aspe rewke kamuy rametok ek ruwe ne.

その後に来るものは背びれが曲がった神なる勇者が来たのだ。

オシ エク ペ アシペ プヨ カムイ ラメトク エク ルウエ ネ。

**os ek pe aspe puyo kamuy rametok ek ruwe ne.**

その後に来たものは背びれに穴があいた神なる勇者が来たのだ。

オシ エク ペ ポネ チコロ クル<sup>[7]</sup>

**os ek pe pone cikor kur**

その後に来るものはサメが

ヘトウク シリ コ マムコサンパ ヘ…… ヘロリ シリ コ マムコサンパ

**hetuku sir ko mamkosanpa he... herori sir ko mamkosanpa**

顔を出す様子はボンと浮き上がり、潜る様子はボンと沈み（しながら）

アラキ ハウエ…… ルウエ エネ オカ イ

**arki hawe... ruwe ene oka h\_i**

来る様子はこのようだ

ネア アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストゥ チウカルミ

**nea aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi**

例の背びれが長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トゥ イタク サシ ネ レ イタク サシ ネ アン フミ エネ オカ イ

**tu itak sas ne re itak sas ne an humi ene oka h\_i**

二つの言葉がざあざあする、三つの言葉がざあざあするような音がこのように聞こえる。

「カムイ オピッタ オリパク ヤン。

**“kamuy opitta oripak yan.**

「神々すべてよ、落ちついてください。

アイヌ オポイサム アン ルウエ ネ ナ。

**aynu opoysam an ruwe ne na.**

人間の子がいるのですよ。

カムイ オピッタ オリパク ヤン」

**kamuy opitta oripak yan”**

神々すべてよ、落ちついてください」

セコロ ネ ペコロ アシペ タンネ カムイ ラメトク

**sekor ne pekor aspe tanne kamuy rametok**

というかのようで、背びれの長い神なる勇者の

アシペ ストゥ チウカルミ アヌ ルウエ ネ アクス

**aspe sutu ciwkar h\_umi a=nu ruwe ne akusu**

背びれの根元に波があたる音が聞こえると

ネ アシペ レウケ アシペ プヨ カムイ ラメトク

**ne aspe rewke aspe puyo kamuy rametok**

例の背びれが曲がった者と、背びれに穴の空いた神なる勇者は

オピッタ ラッチ ヘトウク ラッチ ヘロリ エヤイタプクルカオシキル

**opitta ratci hetuku ratci herori eyaytapkurkaosikiru**

皆、ゆっくり顔を出し、ゆっくり潜り、肩を張って身を転じた

ネ ラポク タ ポネ チコロ クル イヨシノ エク ペ

**ne rapok ta pone cikor kur iosno ek pe**

そのときにサメ（である）、その後から来るものが

へ……… ヘロリ シリ コ マムコサンパ ヘトウク シリ コ マムコサンパ

**he... herori sir ko mamkosanpa hetuku sir ko mamkosanpa**

潜る様子はポンと浮き上がり、顔を出す様子はポンと浮き上がりして

イア……… アシペ ストゥ チウカルミ エネ ネ ペコロ アヌ フミ タシ (?)

**ia... aspe sutu ciwkar h\_umi ene ne pekor a=nu humi tas(?)**

背びれの根元に波があたる音はこのようであるかのようで、私が聞いた音は

「ヘマンタ ネ クス アイヌ ネ ワ オカイ ペ アエオリパカウエ オカ ヤ？」

**“hemanta ne kusu aynu ne wa okay pe a=eoripak h\_awe oka ya?”**

「どうして人間であるものに我々が遠慮するというのか？」

セコン ネ ペコロ アヌ コロ アラキ ルウエ ネ ヒネ

**sekor\_ ne pekor a=nu kor arki ruwe ne hine**

というかのように私は聞いていると、（勇者たちが）来るので

ネア アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストゥ チウカルミ  
**nea aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi**

例の背びれが長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トゥ イタク サシ ネ アヌ フミ エネ オカ イ  
**tu itak sas ne a=nu humi ene oka h\_i**

二つの言葉がざあざあするような音が私にはこのように聞こえた。

「インカラ クス カムイ……アイヌ オポイサム  
**“inkar kusu kamuy... aynu opoysam**

「さてさて、人間の子よ、

タネポ タプネ アエパシクマ ワ エヌ カトゥ エネ オカ イ  
**tanepo tapne a=e=paskuma wa e=nu katu ene oka h\_i**

今初めてこうして私はいわれ話をするからお前は聞くのだよ。

テエタ カネ タアン シヌタプカ タ  
**teeta kane taan Sinutapka ta**

昔、このシヌタプカに

エオナ アラケ カムイ ネ アラケ アイヌ ネ  
**e=ona arke kamuy ne arke aynu ne**

お前の父親（である）半分は神であり、半分は人間である

カムイ ラメトク アン ルウエ ネ アワ  
**kamuy rametok an ruwe ne awa**

神なる勇者がいたのだが、

ウイマム クス エコツ トット  
**uymam kusu e=kor\_ totto**

交易するためにお前の母さんは、

タネポ ヤラペサモマプ エネ ヒネ エカイ カネ ワ  
**tanepo yarpesamoma p e=ne hine e=kay kane wa**

その時まさにお前はおしめにくるまれた赤ちゃんだったから、お前をおぶって



ユ…… ウイマム クス レプン パルウエ ネ ヒネ アクス  
**yu... uymam kusu repun pa ruwe ne hine akusu**  
 (お前の両親は) 交易するために沖に出たところ

ヤン…… ヤンケ レプンクル レプケ クスシケ タ  
**yan... yanke repunkur repke kus uske ta**  
 陸に近い方のレプンクルの沖を通るところで

イナウ アニ サケ アニ アヤナクルスイパ ヤッカ  
**inaw ani sake ani a=yanakursuypa yakka**  
 イナウでもって、酒でもって招かれたが<sup>[8]</sup>

メノコ アイヌ ヤン コパニネ  
**menoko aynu yan kopan h\_ine**  
 女の人は陸にあがるのを嫌がって

ヤプ ソモ キルウエ ネ ヒネ パイェ ヒネ  
**yap somo ki ruwe ne hine paye hine**  
 陸にあがらずに行きすぎて

トウイマ レプンクル レプケ クスシケ タ  
**tuyma repunkur repke kus uske ta**  
 遠くのレプンクルの沖を通るところで

スイ イナウ アニ サケ アニ アヤナクルスイパ ウシケ タ  
**suy inaw ani sake ani a=yanakursuypa uske ta**  
 またイナウでもって、酒でもって招かれたところで

オッカヨ アイヌ カムイ ネ アン クル  
**okkayo aynu kamuy ne an kur**  
 男の人(である)、神なる人は

シラムニウケサ ヒネ ヤプ ルウエ ネ フム…… クス  
**siramniwkes a hine yap ruwe ne hum... kusu**  
 反対することもできかねたので陸に上がったために

オロワノ スルク サケ アクエコイキ

**orowano surku sake a=kuekoyki**

それから毒の酒を無理矢理に呑まされて

ネ サケ イタクテ スルク イタクテ プ

**ne sake itakte surku itakte p**

その酒によってしゃべらされ、毒によってしゃべらされたものが

カムイ ネ アン クル キ プ ネ クス

**kamuy ne an kur ki p ne kusu**

神である人 (=お前の父) だから

トウイマ レプンクル レプンクル コタン

**tuyma repunkur repunkur kotan**

遠くのレプンクルの村を

コタニツケウエ ウタツ トウラノ ホキタツキ

**kotan ikkewe utar\_ turano hokitakki**

村をまるごと村人もろともに買うと言い、

イタサ パクノ チプ カシ カムイ アコホキタツキ

**itasa pakno cip kas kamuy a=kohokitakki**

返礼に船を買うと言われた。

ネワアンペ ウパオレ ネ アン アイネ

**newaanpe upaore ne an ayne**

それを口論しているうちに

オトウミ オシマ ヒネ ウェン トウミ ラン コホプニ ウシケ タ

**otumi osma hine wen tumi ran kohopuni uske ta**

戦いに突入して、激しい戦が起こったところで

ウタラ サク クニ プ アパ サク クニ プ

**utar sak kuni p apa sak kuni p**

仲間がいないもの、親戚がいないものが

カムイ ネ アン クル ネ プ ネ クス

**kamuy ne an kur ne p ne kusu**

神なる人（=お前の父）であったので

トゥミ ホントマ アオマレ ルウエ ネ

**tumi hontom a=omare ruwe ne**

戦いの途中で（お前の父は）殺されて<sup>[9]</sup>しまった。

ウシケ タ エコツ トット ヤイウエンヌカラ クス

**uske ta e=kor\_ totto yaywennukar kusu**

そこでお前の母さんはどうしようもなく困ったので

カムイ ネ アン クル ミ コソソテ コソシパ ヒネ

**kamuy ne an kur mi kosonte kosospa hine**

神なる人（=お前の父）が着ていた小袖を剥ぎ取って

エ…… イワタラプ エネ イネ エコカリ イネ

**e... iwarap e=ne h\_ine e=kokari h\_ine**

お前が赤ん坊であったから（剥ぎ取った小袖で）お前を包んで

ヤンケ モシリ エコエヤプキリ クルカシケ イタク オマレ エネ オカ ヒ

**yanke mosir e=koeyapkir kurkasike itak omare ene oka hi**

ヤウンクルの国<sup>[10]</sup>に向かってお前を投げながら言葉を入れて、こう言った。

「カムイ ネ アン クル ノミ ヒケ

**“kamuy ne an kur nomi hike**

「神なる人が祈って

インネ ハウエ アヌ プ カムイ ネ ロク ナ

**inne hawe a=nu p kamuy ne rok na**

言葉を聞かされたのは、大勢の神であったのですから、

インキ ピト インキ カムイ イキヤッカ タアン ポンペ ペカ ワ イコレ ヤン。

**inki pito inki kamuy ikiyakka taan ponpe peka wa i=kore yan.**

どの尊、どの神でも、この赤ん坊を受け止めてくださいませ。

ケライネ ヤクネ イナウ サンテク ネ シ…… シトゥリ ヤクネ  
**kerayne yakne inaw santek ne si... situri yakne**

そのおかげでイナウ（を引き継ぐ男系）の子孫の系統が伸びて続いていったら、

ネノ カムイ オピッタ アノミ プ ネ ナ」

**nenō kamuy opitta a=nomi p ne na”**

これからもすべての神様がまつられることでしょうから」

セコロ オカイ ペ メノコ アイヌ イェ コロ エエヤブキン ルウェ ネ アクス  
**sekor okay pe menoko aynu ye kor e=eyapkir\_ ruwe ne akusu**

ということをや女の人が言ってお前を遠くに投げると

カムイ オピッタ シッカムク

**kamuy opitta sikkamuk**

神々すべては目を閉じて

「フンタ エネ オカ ヤラペ コテイネ プ

**“hnta ene oka yarpe koteyne p**

「どこにこんな赤ん坊で濡れたり

フンナ イカウノソマ イカウノクイマ コロ アレス ハウエ」

**hunna i=ka un osoma i=ka un okuyma kor a=resu hawe”**

誰が自分の上に大便を垂らされ、自分の上に小便を垂らされたりしつつ育てたいものか」

セコロ カムイ オピッタ ハウエオカ コロ シッカムク ルウェ ネ

**sekor kamuy opitta haweoka kor sikkamuk ruwe ne**

と、神々すべてが言いながら目をつぶった。

ウシケ タ ウェンクルチ テムニコロ エオシマ ヒネ

**uske ta wenkur h\_uci temnikor e=osma hine**

（そうした）ところに、貧乏人の婆さんの腕の中にお前が入って

オロワノ エレス ルウェ

**orowano e=resu ruwe**

それからお前を育てたの

エラム…… エ…… エレス ポカ エヤイコラムペテツネ ルウエ ネ ヤッカ  
**eram... e... e=resu poka eyaykorampetetne ruwe ne yakka**  
 お前を育てるにも子育てに苦労したのであったから

タネ パクノ ポカ エアン ヤクン  
**tane pakno poka e=an yakun**  
 今までお前がいても

シンリトルシペ エヌ ヤクン ヤイシンリツケムヌ エキ アキ ルスイ クス  
**sinrit oruspe e=nu yakun yaysinritkemnu e=ki h\_i a=ki rusuy kusu**  
 起源の話をお前が聞いたら、お前には自分の先祖を哀れに思っしてほしいので

タップ タップ エカタカラ ワ<sup>[11]</sup> エエク ルウエ ネ ナ」  
**tap tap e=kat a=kar wa e=ek ruwe ne na**”  
 これこのとおり巫術を使ってお前が来るようにしたのだよ」

セコロ ネ ペコロ  
**sekor ne pekor**  
 というかのように

アシペ タンネ カムイ ラメトク アシペ ストゥ チウカルミ  
**aspe tanne kamuy rametok aspe sutu ciwkar h\_umi**  
 背びれの長い神なる勇者の背びれの根元に波があたる音が

トゥ イタク サシ ネ アヌ ルウエ  
**tu itak sas ne a=nu ruwe**  
 二つの言葉がざあざあとなっているのを聞いて

ネ ウシケ タ ヤイヌアン ルウエ エネ アニ  
**ne uske ta yaynu=an ruwe ene an h\_i**  
 そこで私が思ったのはこうだ。

「オロヤチキ ウヌ ネ マヌ プ オナ ネ マヌ プ  
**“oroyaciki unu ne manu p ona ne manu p**  
 「そうか、なるほど。母親というものと父親というものを

エコン ロコカ ハウエオカ ヤ？」

**e=kor\_ rokoka haweoka ya?"**

お前は持っていたという話なのか」

セコロ ヤイヌアン クス

**sekor yaynu=an kusu**

と思ったので

オロワノ アトゥイ ソ カ タ ホケレケレ ホタウエタウエ アキ コロ

**orowano atuy so ka ta hokerekere hotawetawe a=ki kor**

それから海の上で足をばたばたさせ、踏み踏みすると

タン パラパラク アエサナニンパ ネ ヒ コラチ<sup>[12]</sup>

**tan parapararak a=esananinpa ne hi koraci**

大声で泣きわめき、身もだえして声を長く引いて泣くと、それとともに、

ラポッケ タ ネロク カムイ ラメトク ウタラナク パイエ ワ イサム

**rapokke ta nerok kamuy rametok utar anak paye wa isam**

そうしているうちに例の神なる勇者たちは行ってしまった。

オカケヘ タ ポクナ アトゥイ チカンナレ

**okakehe ta pokna atuy cikannare**

その後で下方の海は上になり

カンナ アトゥイ チポクナレ キ プ ネ クス

**kanna atuy cipoknare ki p ne kusu**

上方の海は下になったものだから

ネア ポネ チコロ クル

**nea poneci kor kur**

例のサメが

チニンコポイポイエ プ…… チニンコクルポイエポイエ<sup>[13]</sup> シリ

**cininkopoypoye p... cininkokurpoyepoye siri**

波にかき回されている (?) 様子を

アヌカラ コロ

**a=nukar kor**

私は見ると

オロワノ スイ アトウイ ルツ トウム アパウエオツケ ヤナン ルウエ ネ

**orowano suy atuy rur\_ tum a=paweutke yan=an ruwe ne**

それからまた海の潮の中に私は頭から飛び込み陸に上がるのだ

セコロ アニ パクノ

**sekor an h\_i pakno**

と、ここまで。

フナコロホ

**hunakorho**

これだけかい（と思われるだろうね）。

ふふふ。ほんとにフナコロホ

ふふふ。ほんとに **hunakoroho**

ふふふ。本当に、これだけかい（と思われるだろうね）。

（萱野：うん）

いつ……

#### 【注】

- [1] samuspe : 直訳は「そばについているもの」。
- [2] tokpiskire : 『久保寺辞典稿』にある tokpiste 「射とばす」と同義の語か。
- [3] エペヌプルペ epenupurpe は『アイヌの叙事詩』に「epenupurpe / nepne kusu 後継者 / であるゆえに」(P140) とあるのを参考に訳した。
- [4] 犬の穴を塞ぐというのは「子供を家から外へ出られないようにする時の常套句」(『千歳方言辞典』: P229)。
- [5] ikia kunak : 『久保寺辞典稿』に ikia kunak を「決して…するな」とある。
- [6] 『知里動物篇』では aspetannep 「ネズミザメ」とある。
- [7] 『久保寺辞典稿』には pone cikor kur で「鮫」とある。
- [8] 『ユーカラ集IX』に「inau ani / sake ani / ayanasuipa 御幣をもって / 酒をもつ

- て / 招かれた」(P343) とあるのを参考に訳した。
- [9] 『音声資料 11』 1701 行・1734 行を参考に訳した。
- [10] 音はヤンケ モシリ yanke mosir 「陸にあげる大地」と聞こえるが ヤウンクルモシリ yaunkur mosir の意味か。
- [11] 「エカッアカラワ 法術をつかつて」(釧路アイヌ文化懇話会(編)、1998『アイヌ・モシリ——幻のアイヌ語誌復刊』: P474) とあるのを参考にした。
- [12] ne hi koraci 「それとともに」の後に、pokna atuy cikannare 「下方の海は上になり」とつながるはずだったと思われる。
- [13] 「ninko kara karase 波にころがされるようになりました」(北海道教育庁社会教育部(編)、1986『アイヌ民俗文化財口承文芸シリーズ 久保寺逸彦ノート 1』北海道教育委員会 : P57) とあるのを参考に訳した。



## 16-9 ルパイエユカラ「ウエンクル フチ イレス」物語中登場

### 人物の解説

語り手：鍋澤ねふき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：来た kamuy は aspetanne kamuy rametok [背びれの長い鯨神 神の勇者]、aspetanne kamuy rametok [背びれの長い鯨神 神の勇者] と ponecikorkur [サメ] と、

鍋澤：ponecikorkur が悪いのよ。aspetanne kamuy rametok hoski ek wa [背びれの長い鯨神 神の勇者が先に来て] その、

萱野：いいわけだ？

鍋澤：ゆったわけ。

今度、os ek pe askere a... asperewke kamuy rametok [あとから来た者が背びれの曲がっている鯨神 神の勇者]

萱野：ああ、そう。

鍋澤：os ek pe aspepuyo kamuy rametok [そのあとから来た者が背びれに穴のある鯨神神の勇者]。3人はいいい、良い kamuy [神]。その poneci korkur [サメ] っていうものは、その“hemanta ne kusu aynu ne wa okaype a=eoripak hawe” sekor okay pe i=ye a p [「なんだって人間である者に遠慮なぞするのだ」と言ったけれど] konto [今度] cininko kur poypoye siri a=nukar kor yan=an sekor [波にかき回される様子を見ながら、私は岸に上がった] と]。

萱野：aspetanne kamuy rametok、aske... asperewke kamuy rametok とそれから、

鍋澤：aspepuyo

萱野：as...あ、aspepuyo？

鍋澤：うん、kamuy rametok。repunkamuy ne aan [神の勇者。沖の神だったのだ]

うん、ほんとに pirka yukar ne nankor korka [良い詩曲だろうけど]  
(笑い)

萱野：aspetanne kamuy rametok、asperewke kamuy rametok、aspepuyo kamuy rametok。

鍋澤：ん、んだ、んだ。

萱野：んー、ponecikorkur、[サメ]

鍋澤：anakne [は]、その”hemanta ne kusu aynu ne wa okay pe a=eoripak itak a p newanpe [「何のために人間である者に遠慮するのだ」と言った者は、その] その、hokerekere hotawetawe a=ki p ne kusu [私が足をばたつかせ地団駄ふんだので] pokna atuy cikannare, kanna atuy cipoknare kusu [下方の海が上になり、上方の海が下になったので] nea poneckorkur cininkokurpoypoye siri a=nukar kor yan=an “sekor ne h\_i pakno un. [そのサメが波にかきまわされる様子を見ながら、岸に上がった] という所までよ。

萱野：これも rupayeyukar [散文のユカラ] だな。

鍋澤：えー、rupaye [散文]。そりゃ、okkayo ye hawe [男が言うの]は sinotca koki p ne a korka ku=ye hawe un. [節をつけて言うものだけど、私が語ったのよ]

萱野：あー、なるほどね。wenkur huci iresu [貧乏のおばあちゃんの子育て] ちゅうやつだな。

鍋澤：うーん、wenkurhuci [貧乏のおばあちゃん]。(笑い)

## 16-10 ウエペケレ

「アアチャハ イレス」

私の叔父に育てられた

語り：鍋澤ねぷき

アアチャ アン アアチャ イレシパ ワ オカアニケ

a=aca an a=aca i=respa wa oka=an h\_ike

私の叔父が居て私を育てて暮らしていましたが、

シノッチャ キ コロ スケ シノッチャ キ コロ ワッカタ イイペレ フミ ネ

sinotca ki kor suke sinotca ki kor wakkata i=ipere humi ne

歌を歌いながら料理したり、水を汲んだりして、私に食事をさせていたのだと思いながら

クナク アラム コロ オカアナイネ タネ ポンノ ポロアニ ワノ

kunak a=ramu kor oka=an ayne tane ponno poro=an h\_i wano

暮らしていたのですが、今、ちょっと大きくなってから

イヌアン クス チシ コロ スケ チシ コロ ワッカタ ヒネ アアン コロカ

inu=an kusu cis kor suke cis kor wakkata hine aan korka

聞くと、(叔父は)泣きながらご飯を作って、泣きながら水汲みをしていたのだったのですが、

「マク エイキ シリ アン？」

“mak e=iki siri an?”

私は「どうしたのか？」

セコロ ネ イタカン カ ソモ キ ノ

sekor ne itak=an ka somo ki no

と言うこともせずに、料理して私に食べさせて、

スケ ワ イエレ オラ イネアプ イエヤム マ シリキ ヤ カ アエラミシカリ。

suke wa i=ere ora ineap i=eyam w\_a sirki ya ka a=eramiskari.

そして、びっくりするほど私を可愛がってくれました。

ネプ カラ ヤッカ イトゥラ ワッカタ ヤッカ イトゥラ ニナ ヤッカ  
 nep kar yakka i=tura wakkata yakka i=tura nina yakka

何をするにも、一緒に水を汲んだり、一緒に薪採りをしたり、

イトゥラ ワ アン コロ アプンノ イレシパ ワ オカアン ペ ネ ヒケ  
 i=tura wa an kor apunno i=respa wa oka=an pe ne hike

一緒に居て、大切に私を育てて暮らしていたものですが、

アイネ エネ チシ コラチ キ チシ コロ スケ チシ コロ ワッカタ ヒネ アン  
 ayne ene cis koraci ki cis kor suke cis kor wakkata hine an

あげくあのように泣くようにして、泣きながら料理して、泣きながら水を汲んでいました。

オラノ キム ペカ イトゥラ ワ

orano kim peka i=tura wa

それから、山に私を連れて行って、

「アコロ ヤラペ セコロ オカイ ペ オッカヨ モンライケ ネ ナ」

“a=kor yarpe sekor okay pe okkayo monrayke ne na”

「坊や、これこれこういうことが男の仕事だよ」

セコロ アン ペ イイエ コロ クワリ カ キ ワ イヌカレ

sekor an pe i=ye kor kuari ka ki wa i=nukare

ということを私に言いながら、仕掛け弓を掛けて見せてくれ

ネプ ネ ヤッカ カラ コロ イエパカシヌ イヌカレ アエイコイサンパ ワ

nep ne yakka kar kor i=epakasnu i=nukare a=eykoysampa wa

何でも作っては私に教えて見せて、私はそれを真似して

クワリアン コロ オロ ウン イセポ カ オシマ チロンヌプ カ オシマ コロ

kuari=an kor oro un isepo ka osma cironnup ka osma kor

仕掛け弓を掛けると、そこにウサギもかかり、狐もかかりました。すると、

オラノ イエオマプカラ イコルイルイパ コロ オカアン ルウェ ネ アイネ

orano i=eomapkar i=koruyruypa kor oka=an ruwe ne ayne

そのことで私をかわいがって、なでながら暮らしていました。

タンタネ ポロアナイネ タネ ポロ オッカヨ アネ プ ネ クス

**tantane poro=an ayne tane poro okkayo a=ne p ne kusu**

そのうち、だんだん大きくなって、今は大人の男になったので

オラノ ヤイカタ イラマンテアン マ イネアプ アエモニピリカ ワ

**orano yaykata iramante=an w\_a ineap a=emonipirka wa**

それで、自分で猟をして、それはもう私はどれほど猟運がよいか

シリキ ヤ カ アエラミシカリ プ ネ クス オラノ アアチャハ アナクネ

**sirki ya ka a=eramiskari p ne kusu orano a=acaha anakne**

分からないほど（猟運がある）ので、それで叔父は

イエトコ オイキ ワ アプンノ オカアニケ

**i=etoko oyki wa apunno oka=an h\_ike**

私の帰りを待って何事もなく暮らしていました

トゥ オッカイポ アコタヌン ウタラ シノ ウトクイエコラン マ

**tu okkaypo a=kotanu un sino utokuyekor=an w\_a**

村にいる人たちの中で、ふたりの男と本当に互いに親しく付き合うようになり、

ネパカラッカ イラマンテアナッカ

**nep a=kar y\_akka iramante=an y\_akka**

何をするのでも猟であっても、

ネパカラ ヤッカ レナネ ウトゥラアン ウエネウサラン コロ キ プ

**nep a=kar yakka ren a=ne utura=an uenewsar=an kor ki p**

何を作っても、三人で一緒に語り合っていて楽しんでいました。

トゥ オッカイポ オカイ ペ ネ ヘム キ プ ネ アイネ イヌアン クス

**tu okkaypo okay pe ne hem ki p ne ayne inu=an kusu**

二人の男がいまして、長い間暮らしているうちに、聞くところによると

トオプ アコロ…… アコロ ペテムコ タ ウエイ シケサラ ペ オカ ワ

**toop a=kor... a=kor pet emko ta wen\_ sikesar pe oka wa**

遠くの私たちの沢の奥に、ひどい乱暴者たちがいて、

ソレクス コリウオロツ タ スマウコロ ペ カ コウイナ ワ  
**sorekusu kor iwor or\_ta sumawkor pe ka kouyna wa**  
 それこそ、狩場で熊を殺したのものからも奪って、

オラ ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エエロシキ ワ  
**ora hekaci notkiri hekaci sapa eeroski wa**  
 そして、少年の顎や少年の頭にしたてて<sup>[1]</sup>

ウッシウエコロ コロ オカイ ペ ネ セコロ イヌアン。  
**ussiwekor kor okay pe ne sekor inu=an.**  
 下人になっているものたちなのだという話を聞きました。

イヌ アナク アキ コロ オカアン コロ エネ  
**inu anak a=ki kor oka=an kor ene**  
 聞きながら暮らしていると、

アチャ エネ ハワシ…… ハウエアニ  
**aca ene hawas h\_i ... hawean h\_i**  
 叔父がこのように言いました。

「アコロ…… アカラクフ タプ ハワシ ウシケ イキアクナク コパクン  
**“a=kor... a=karkuhu tap hawas uske ikiakunak kopak un**  
 「甥っ子よ。こんな話のあるところは、決してその方に

エオマナン ナ」  
**e=omanan na “**  
 行くなよ」

セコロ イイエ ランケ コロ オカアン ペ ネ コロカ  
**sekor i=ye ranke kor oka=an pe ne korka**  
 と、私に言っていたものでした。けれど、

ネイ タ カ エウン パイエアン コロ アナクネ  
**ney ta ka eun paye=an kor anakne**  
 いつかそこへ私が行ったら

トゥカリケ クチャ ウン カネ アン コタン ネ セコロ カ  
 tukarike kuca un kane an kotan ne sekor ka

その手前に狩小屋がある村であると

イヌアン ペ ネ ヒケ ネイ タ カ  
 inu=an pe ne hike ney ta ka

聞いていたものでした。すると、いつか

「レウシエキムネアン」

“rewsi-ekimne=an”

「泊りがけで山に行きます。」

セコロ ハウエアナン コロ アラパアン マ  
 sekor hawean=an kor arpa=an w\_a

と言いながら、私は行って、

ネ エネ オカイ ペ ネ ヒ アヌカラ ルスイ セコロ ヤイヌアン コロ  
 ne ene okay pe ne hi a=nukar rusuy sekor yaynu=an kor

どういふことになっているのかを見たいと、私は思つて

アナン ペ ネ ア イ クス シネ アン タ ネロク アコロ オツカイポ ウタラ  
 an=an pe ne a h\_i kusu sine an ta nerok a=kor okkaypo utar

居たので、ある時、例の友人の若者たちと

アシレン ヒネ パイエアン。ネ トゥカリケ クチャ ウン セコロ  
 a=siren hine paye=an. ne tukarike kuca un sekor

一緒に、私はでかけることにした。その手前に狩小屋があると、

イヌアン ペ ネ ヒケ ネ スケアン マ アエ クニ ポイス カ ヌイナ ノ アセ  
 inu=an pe ne hike ne suke=an w\_a a=e kuni poysu ka nuyna no a=se

私は聞いていたもので料理して食べるように小鍋も隠して背負い、

アエプ カ ヌイナ ノ アセ ヒネ オラノ アチャ エウン  
 aep ka nuyna no a=se hine orano aca eun

食べ物もこっそりと背負つて、それから、叔父の所に

「レウシエキムネアン ナ。イテキ イエポタラ」

”rewsi-ekimne=an na. iteki i=epotara”

「泊りがけで山に行きますので、心配しないでください」

セコロ イタカン コロ オラ

sekor itak=an kor ora

と言うと、それから

ネア オッカイポ ウタツ トウラノ パイエアン ルウェ ネ。

nea okkaypo utar\_ turano paye=an ruwe ne.

例の若者たちと一緒に

パイェアナ アナイネ ソンノ カ フナク タ パイエアン コロ

paye=an a =an a h\_inine sonno ka hunak ta paye=an kor

でかけました。行ったあげく、やはり本当にどこやらに、やってくると、

「タネ チュプ ラ クン (?) テ ワノ パイエアナクン

“tane cup ra kun(?) te wano paye=an y\_akun

「もう日が低くなるので (?), これから行くと、

シリコクンネ ノ ネ コタン オツ タ シレパアン ペ ネ ナンコロ」

sirkokunne no ne kotan or\_ ta sirepa=an pe ne nankor”

すっかり暗くなってからその村に到着することでしょう。」

セコロ アコロ オッカイポ ウタラ ハウオカ コロカ

sekor a=kor okkaypo utar hawoka korka

と、若者たちが言うのですが

「エイタサ アエラミシカリ ウシケ ウン シリコクンネ ノ

“eytasa a=eramiskari uske un sirkokunne no

「私は全く知らないところに、すっかり暗くなってから

シレパ カ アエトランネ クス ナ チュプ アシ コロカ カシコッ アカラ

sirepa ka a=etoranne kusu na cup as korka kaskot a=kar

着くのも嫌なので、まだ日は上っているけど、仮小屋を作って、



オロ タ レウシアン クニ カシコッ アカラ ラポッケ タ  
**oro ta rewski=an kuni kaskot a=kar rapokke ta**  
 そこで泊まれるように私が仮小屋を作っている間に

アコロ オッカイポ ウタラ タプ ニナ パ ヤク  
**a=kor okkaypo utar tap nina pa yak**  
 あなたたちはそこで、薪を採りに行ってくれば、

アシヌマ カシコッ アカラ クス ネ」  
**asinuma kaskot a=kar kusu ne”**  
 私は、獵小屋を作りましょう」

セコロ イタカン コロ オラ カシコッカラン。  
**sekor itak=an kor ora kaskotkar=an.**  
 と、私は言いながら仮小屋を作りました。

アコロ オッカイポ ウタラ アナクネ ニナ パ クス  
**a=kor okkaypo utar anakne nina pa kusu**  
 若者たちは薪を採りに山に行って

ニタイ チョロポク オパシオパシ パ ラポッケ タ  
**nitay corpok opas'opas pa rapokke ta**  
 林の下をどンドン走って行っている間に、

カシコッ アカラ コロ アナナクス  
**kaskot a=kar kor an=an akusu**  
 私は仮小屋を作っていたところ、

オキムネ パシクル シネプ サン イネ ニ カ タ レウ。  
**okimne paskur sinep san h\_ine ni ka ta rew.**  
 山からカラスが一羽降りてきて、木に止まりました。

オピシネ ワ スイ パシクル シネプ エキネ ニ カ タ レウ ヒネ  
**opisne wa suy paskur sinep ek h\_ine ni ka ta rew hine**  
 浜の方からまたカラスが一羽来て、木の上に止まって、

オラ ネア オピシネ エキケ エネ ハワニ  
 ora nea opisne ek h\_ike ene hawan h\_i  
 浜の方から来た方がこのように言いました。

「オキムネ サン マ ネプ カ アエラナク ペ イサム ヤ？」  
 “okimne san w\_a nep ka a=eranak pe isam ya?”  
 「山から下りてきて何も心配ごとはないですか」

セコロ ハウエアナクス  
 sekor hawean akusu  
 と、言うと、

「ネプ カ アエラナク ペ カ イサム ルウエ ネ」  
 “nep ka a=eranak pe ka isam ruwe ne”  
 「何も心配事はないです」

セコン ネ オキムネ サン パシクル ハウエアシ アクス  
 sekor\_ ne okimne san paskur hawean akusu  
 と、山から下りてきたカラスが言うと、

ネア オキムネ サン イケ  
 nea okimne san h\_ike  
 山から下りてきた方が、

「エアニ ウン オピシネ エク ワ ネプ カ アエラナク ペ イサム ヤ？」  
 “eani un opisne ek wa nep ka a=eranak pe isam ya?”  
 「あなたのほうは、浜から来て何も心配事はないですか」

セコロ ハワナクス  
 sekor hawan akusu  
 と、言うと、

「ネプ カ アエラナク ペ カ イサム コロカ  
 “nep ka a=eranak pe ka isam korka  
 「何も心配事もないけれど、

アエラナク ペ アッカリ タシ アエヤイサンペポカシケ  
**a=eranak pe akkari tasi a=eyaysampepokas h\_ike**

心配事以上に、私が心を痛めているのは、

タアン オッカイポ シンリッ オルシペ ヌ カ ソモ キ ノ オマナン ワ  
**taan okkaypo sinrit oruspe nu ka somo ki no omanan wa**

この男は先祖の事に関する事を、聞きもしないで歩き回っていることこそ、

タシ シノ アエヤイサンペポカシケ ネ ネク」  
**tasi sino a=eyaysanpepokas h\_ike ne nek”**

私は本当に心配していることなのです。」

セコロ ハウエアン コロ オラ スイ ウコホピ ホプンパ ヒネ イサム ヒケ  
**sekor hawean kor ora suy ukohopi hopunpa hine isam hike**

このように言うと、また別れて飛び去ってしまいましたが、

「マク ネ ヒネ ハワシ?

“mak ne hine hawas?

「どうしてそんなことを言うのだろう。」

マク イキ ワ アン ペ アネ アアニネ エネ ハワシ アン？」  
**mak iki wa an pe a=ne aan h\_ine ene hawas h\_i an?”**

私はどういう素性のものであんなことを言うのだろう」

セコロ ヤイヌアン ウエン ヤイコウエペケレ アキ。  
**sekor yaynu=an wen yaykouepeker a=ki.**

と、思って悪く思っているいろいろ考えて、

オラ カシコタナク アカリネ オラ オロ タ アコロ オッカイポ ウタラ  
**ora kaskot anak a=kar h\_ine ora oro ta a=kor okkaypo utar**

それから仮小屋は作って、そこに若者たちが

イワク パ ネ ア コロカ  
**iwak pa ne a korka**

帰ってきたのだけれど、

「タップネ イヌアン」

“tapne inu=an”

「このように聞きました。」

セコロ ネ イタカン カ ソモ キ ノ オラウン スケアニネ アエ イネ  
sekor ne itak=an ka somo ki no oraun suke=an h\_ine a=e h\_ine

とは私は言わないで、そして料理をして、食べて、

オラ レウシ オカアン オラウン イタカナウエ エネ アニ

ora rewsu oka=an oraun itak=an h\_awe ene an h\_i

ひと晩泊ってから、このように話した。

「ネウン ネ ウミ ネ ア ウクラン ネ ウェンタラパヌミ ウェン クス

“neun ne h\_umi ne y\_a ukuran ne wentarap=an h\_umi wen kusu

「どういふことなのか、ゆうべの夢見が悪いので

ホシツパアン ロ」

hosippa=an ro”

帰りましょう」

セコロ イタカン コロ オラ ホシツパアニネ ホシツパアニネ  
sekor itak=an kor ora hosippa=an h\_ine hosippa=an h\_ine

と言いながら、どんどん帰りました。叔父さんのところに

アアチャ オロ タ サパニネ オラウン アアチャ アコウエペケンヌ

a=aca oro ta sap=an h\_ine oraun a=aca a=kouepekennu

下りて、それから叔父に事情を尋ねました。

「マカナク ネ ワ エネ…… マク ネ ワ オカイ ペ アネ ルウェ アン？」

“makanak ne wa ene... mak ne wa okay pe a=ne ruwe an?”

「どのような素性のもので、私はあるのですか？」

セコロ ハワナン アクス

sekor hawan=an akusu

と、言うと、

オラノ チシ コロ アン アイネ イタカウエ エネ アニ  
**orano cis kor an ayne itak h\_awe ene an h\_i**

それから、泣いていたが、やがて言う事には

「ウヌ ヘネ オナ ヘネ サク ペ エネ アルウエ カ ソモ ネ  
**“unu hene ona hene sak pe e=ne a ruwe ka somo ne**

「お前は父や母のない者ではないのだ。

カトゥ エネ アニ。

**katu ene an h\_i.**

そのいきさつはこういうことなのだ。

アシヌマ カ ネ エネ イキ ワ アネ カ チャ (?) アネ イ カ  
**asinuma ka ne ene iki wa a=ne ka ca(?) a=ne h\_i ka**

私もどういう素性のものか

アエランペウテク ノ

**a=erampewtek no**

わからないが、

ウヌ カ サク オナ カ サク ヘカチ アネ ヒネ タン コタン タ  
**unu ka sak ona ka sak hekaci a=ne hine tan kotan ta**

母もなく父もない少年であり、この村で

ネン カ ニナ カ ネ……

**nen ka nina ka ne…**

誰か薪採りとか、

ネン カ ネプ カ カラ コロ アカスイ ペコロ イキアン  
**nen ka nep ka kar kor a=kasuy pekor iki=an**

誰かが何かするときには手伝ったり、

ワッカタアン コロ ペコロ イキアン

**wakkata=an kor pekor iki=an**

水をくむようなこともして、

イエランポキウエン ウタラ イイペレ ネ ヤ

**i=erampokiwen utar i=ipere ne ya**

私を憐れんだ人たちは私に食べさせるとか、

イレウシレ ネ ヤ キ コロ アナニケ エオナハ エウヌフ パク

**i=rewsire ne ya ki kor an=an h\_ike e=onaha e=unuhu pak**

泊めるとかしていたのだが、お前の亡き父母は本当に

ケウトウム ピリカ ウタラ オアリサム ペ ネ オロ ペカ シノ イキアン ワ

**kewtum pirka utar oar isam pe ne oro peka sino iki=an wa**

良い心持の人たちで、私はその家によく行って、

ワッカタアン ネ ヤ ニシケアン ネ ヤ キ コロ

**wakkata=an ne ya nisike=an ne ya ki kor**

水汲みをしたり薪を背負ったりしてそして、

オラノ イエオマブカラ パ コロ オカアン ペ ネ アイネ

**orano i=eomapkar pa kor oka=an pe ne ayne**

それで可愛がられていたものだった。

イヌアン クス エネ タ アコロ ペテムコ ウイル ペネ

**inu=an kusu ene ta a=kor pet emko uyru p ene**

そのうちに私は聞いたところ、あのように、私達の沢の奥の方に住んでいる者が、

ウェニレンカコロパ ウエン シケサラパ プ ネ ワ

**wenirenkakorpa wen sikesarpa p ne wa**

あのように悪辣な者たち、ひどく強欲な者たちで、

コロ イウオロツ タ スマウコロ パ プ カ コウイナ ワ

**kor iwor or\_ ta sumawkor pa p ka kouyna wa**

その狩場で熊を捕る人たちからもものを奪って、

ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エエロシキ ワ ウッシウエコロ

**ekaci notkir hekaci sapa eeroski wa ussiwekor**

少年のあご、少年の頭にしたりして、下僕にし、

オロワウン サケ カラパ ワ オラ イヤシケウク ワ

orowaun sake karpa wa ora iyaskeuk wa

それからさらに酒を造っては、人々を招待して、

ソモ イクタシパ プ カ コアシンペウク チキ コアシンペウク

somo ikutaspa p ka koasinpeuk ciki koasinpeuk

酒を飲まない人からも、償いの品を取る者は償いを取り、

ロンヌ チキ ロンヌ キッキク チキ キッキク コロ オカイ ペ オカイ ペ ネ

ronnu ciki ronnu kikkik ciki kikkik kor okay pe okay pe ne

殺す者は殺し、殴る者は殴っている

アカイエ アクス ラポッケ タ エウヌフ ポロ ホンコロ カネ ヒネ

y\_ak a=ye akusu rapokke ta e=unuhu poro honkor kane hine

という話なのだが、その間にお前の母親が妊娠していて

オカアン ルウェ ネ ア プ スイ

oka=an ruwe ne a p suy

いたのだったが、また、

『エオナハ エウヌフ アシケ アウク』

‘e=onaha e=unuhu aske a=uk’

『お前の両親を招待しよう』

セコロ ハワシネ クス エオナハ エネ ハワニ

sekor hawas h\_i ne kusu e=onaha ene hawan h\_i

と話なので、お前の父がこのように言った。

『タ アコロ カツケマツ ホニヒ ポロ ワ タネ ヌワプ クニ ネノ アン マ

‘ta a=kor katkemat honihi poro wa tane nuwap kuni neno an w\_a

『このように私の妻のおなかが大きくなって今、お産をすることになっていて、

イ…… エアツチェ ウン パイエ カ アエアイカプ

i... eatce un paye ka a=eaykap

よそに行くこともできず、

イクタサ カ アエアイカプ ルウェ ネ』

**ikutasa ka a=eaykap ruwe ne.'**

酒宴に招かれて行くこともできないのです』

セコロ ヤイエカタイタク アクス

**sekor yayekataitak akusu**

と、断ったところ、

『アウェ ネ チキ カンナ アン サケカラ オッ タ

**'h\_awe ne ciki kannan sakekar or\_ ta**

『それなら、また酒づくりをしたときに、

ソモ エチアラキ ヤカナクネ』

**somo eci=arki yak anakne'**

お前たちが来なかったら (承知しないぞ)』

セコロ アン ペ イエ パ ヒネ オラ

**sekor an pe ye pa hine ora**

と、言って、それから

『ヤクン ネ カンナ イタク ウシケ タ アナク パイエアン クシ ネ』

**'yakun ne kannan i=tak uske ta anak paye=an kus ne'**

『それなら、また招待されたら行きましょう』

セコラン ペ エオナハ エエセ ヒネ シラン ルウェ ネ ア ポラ

**sekor an pe e=onaha eese hine siran ruwe ne a p ora**

と言ってお前の父が承諾した様子でいたが、すると

エネ エウヌフ エエヌワパクス

**ene e=unuhu e=enuwap akusu**

このようにお前の母がお前を産むと、

エネ オッカヨ ヘカチ エネ ワ エアン ルウェ ネ ヒネ オカアナ プ、

**ene okkayo hekaci e=ne wa e=an ruwe ne hine oka=an a p,**

このように男の子であるお前が生まれ、暮らしていると、



オロ タ ソンノ カ スイ イアシケウク パ クス サプ パ ルウエ ネ ヒケ、  
**oro ta sonno ka suy i=askeuk pa kusu sap pa ruwe ne hike,**  
 そこに本当にまた私たちに招待しに（川上から）下りてきたのだが、

エネ イェ イ カ イサム ペ ネ クス  
**ene ye h\_i ka isam pe ne kusu**  
 どうにも言いのがれできないので、

イクタサ クニ エエセ ルウエ ネ ヒネ オラウン タイ……  
**ikutasa kuni eese ruwe ne hine oraun tay...**  
 酒宴に招かれていくように承諾の返事をして、

『ネン ネ ヤッカ まえ (?) ネノ イタキ タ  
 ‘**nen ne yakka MAE(?) neno i=tak h\_i ta**  
 『誰であれ、前に (?) 同じように招待された時に、

ソモ パイエアナ プ スイ ソモ パイエアナ プ ポ ヘネ ハウエ ネ』  
**somo paye=an a p suy somo paye=an a p po hene hawe ne’**  
 私達は行かなかったのにまた行かなかったら、なおいっそう（まずいことになる）話だ』

セコロ ハウオカ コロ パイエ クナク イェ パ ルウエ ネ ヒネ オラ アクス  
**sekor hawoka kor paye kunak ye pa ruwe ne hine ora akusu**  
 と言いながら、行くと言ったのでした。そしたら、

『アコロ ヘカチ ヘム イトゥラ イトゥラ』  
 ‘**a=kor hekaci hem i=tura i=tura’**  
 『息子も一緒に来い。一緒に来い』

セコロ ハウオカ ヒネ  
**sekor hawoka hine**  
 と言って、

アトゥラ ヒネ エウン (?) レン アネ パイエアニネ ネア ネ トウカリケ  
**a=tura hine eun(?) ren a=ne paye=an h\_ine nea ne tukarike**  
 そこへ (?) 三人で連れだって行ったのです。その (村の) 手前に

クチャ アン ペ ネ クス レウシアン リトゥッ タ キ コロ パイエアニネ  
 kuca an pe ne kusu rewsu=an ritur\_ ta ki kor paye=an h\_ine  
 狩小屋があるので途中で（その狩小屋に）泊まって、

ネ コタン オッ タ…… ネ コタン ネ アカイェ ウシケ タ  
 ne kotan or\_ ta ...ne kotan ne y\_ak a=ye uske ta  
 その村だといわれるところに

パイエアン アクス  
 paye=an akusu  
 行ったところ

インネ コタン ネ イネ オラ コタン ノシキ タ レ チセ レ ルプネ チセ  
 inne kotan ne h\_ine ora kotan noski ta re cise re rupne cise  
 大きな村で、村の真ん中に三軒の家、三軒の大きな家が

ウソイ タ オハイ ペ レ…… レ イリワク ネ プ エネ シケサラ パ ヒ ネ  
 usoy ta ohay pe re...re irwak ne p ene sikesar pa hi ne  
 並んで立っており、三人の兄弟がいて強欲なものだ

セコロ ハワシ ネ プ ソンノ ポカ チセ ソイ タ  
 sekor hawas h\_i ne p sonno poka cise soy ta  
 という話だったが、本当に家の外で

ネ ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エエロシキ プ ニ ペレパ ヒケ ニ ペレパ  
 ne hekaci notkir hekaci sapa eeroski p ni perpa hike ni perpa  
 例の少年の顎と頭にされた者たちが、木を割る者は木を割り、

ニシケ ヒケ ニシケ ワッカタ ヒケ ワッカタ コロ シラン ウシケ タ  
 nisike hike nisike wakkata hike wakkata kor siran uske ta  
 薪を背負う者は薪を背負い、水を汲む者は水を汲んでいるところに

パイエアン アクス ナニ エオナハ エウヌフ アアフプテ ヒネ イクアン。  
 paye=an akusu nani e=onaha e=unuhu a=ahupte hine iku=an.  
 行ったところ、まもなくお前の両親が家に招き入れられ、酒宴になった。

イク パ ルウエ ネ ア プ エオナハ シントコ オシマク アオランラリ イネ  
 iku pa ruwe ne a p, e=onaha sintoko osmak a=oranrari h\_ine  
 酒宴になったのだが、行器の後ろ<sup>四</sup>に座らされて、

イクアン ルウエ ネ アクス オラノ タネ イク ノシキ チョマンテ コロ  
 iku=an ruwe ne akusu orano taneiku noski comante kor  
 私達は酒を飲んだ。するとそれから、今や酒宴もたけなわに達した頃、

オラノ エオナハ カシ タ ハウタサ ハウエ エウヌフ ヌテク ノ  
 orano e=onaha kasi ta hawtasa hawe e=unuhu nutek no  
 お前の父に向かって交わされる言葉を、お前の母は小耳にはさんで、

『エアシリ アシパ プ ネ ヤカイエ ロク ペ、ネプ ピリカピ アン クス  
 ‘easir aspa p ne yak a=ye rok pe, nep pirkapi an kusu  
 『本当に聞こえないふりをしていたが、何か良いことがあるような

ハワシ ハウエ カ ソモ ネ ナ。  
 hawas hawe ka somo ne na.  
 話ではない。

エタク アコロ ヘカチ アコロ ポ アコロ シオン カイ ワ  
 h\_etak a=kor hekaci a=kor po a=kor sion kay wa  
 さあ、私の息子、赤ん坊をおんぶして、

ホクレ ホシキ キラ ワ サン  
 hokure hoski kira wa san  
 さあ早く逃げて山をおりなさい。

ハ…… イテキ レウシ エサン イテキ リトゥッ タ エオシレオク ノ  
 ha... iteki rewsu e=san iteki ritur\_ ta e=osireok no  
 泊まらずに山を下りて、途中で留まらないで、

エネ アラキアニ エエラマン ペ ネ ナ エサン ペ ネ ナ。  
 ene arki=an h\_i e=eraman pe ne na e=san pe ne na.  
 どうやってここに来たか、お前はわかっているのだから、山をおりるのだよ。

ネン ポカ シクヌアナクン エオシ サパン ペ ネ ナ』

nen poka siknu=an y\_akun e=os sap=an pe ne na'

何とかして私たちが生き延びたら、お前の後を追って下りるからな』

セコロ エウヌフ ハウエアン コロ イパッカイレ イネ サナン イネ サナニネ

sekor e=unuhu hawean kor i=pakkayre h\_ine san=an h\_ine san=an h\_ine

とお前の母は言いながら、私に背負わせて、私は山を下って下って、

タネ シリペケレ コロ アウニ タ シレパアン ルウェ ネ ア コロカ

tane sirpeker kor a=uni ta sirepa=an ruwe ne a korka

そして、もはや辺りも明るくなったときに、家に着きましたが、

ネプ イオシ サプ ル カ イサム ネ オロワノ アエパナクネ スム (?)

nep i=os sap ru ka isam ne orowano aep anakne sum(?)

誰も私の後から下りてくる様子はありませんでした。それから、食べ物は、

エオナハ エウヌフ アリキキ パ プ ネ クス

e=onaha e=unuhu arikiki pa p ne kusu

お前の両親は働きものだったから、

アエプ アナクネ サッカム ネ ヤ

aep anakne satkam ne ya

食べ物は干し肉とか、干し魚とか

サッチェプ ネ ヤ ポロンノ オカイ ペ ネ クス サッチェプ アスパワ

satcep ne ya poronno okay pe ne kusu satcep a=supa wa

たくさんあるものなので、干し魚を煮てお前の口に入れて、

エエパラ アオ クイ…… イクイクイアン マ アエレ コロ アレ……

e=epar a=o kuy... ikuykuy=an w\_a a=ere kor are...

私がよく噛んで、食べさせて、

アエレス ルウェ ネ アイネ タプ パクノ ポカ エアン ルウェ ネ コロカ

a=e=resu ruwe ne ayne tap pakno poka e=an ruwe ne korka

お前を育ててきて、これまで成長したのだが、

ナ エポロ コロカ エネ ネ カトゥ アイェ クナク アラム ア ワ エネ  
**na e=poro korka ene ne katu a=ye kunak a=ramu a wa ene**

もう、お前は大きくなったが、このようなわけを私が言おうと思っていたところ、

エアラパ オラウン チカプ イェ プ エヌ ハウエ カ ソモ ネ ナンコロ。  
**e=arpa oraun cikap ye p e=nu hawe ka somo ne nankor.**

お前がでかけて、それから、鳥が言うことをお前が聞いたということではあるまい。

アイシリカムイ エピリマ ハウエ ネ ナンコロ ルウエ ネ」  
**aysirkamuy epirma hawe ne nankor ruwe ne”**

(父母の) 幽霊がそういつて教えてくれたのだろう」

セコロ アアチャ ハウエアン オラノ チサン パ コロ  
**sekor a=aca hawean orano cis=an pa kor**

と、叔父さんが言って、そして、私たちは泣きながら、

「オヤチキ ウヌ ネ マヌ プ

“oyaciki unu ne manu p

「今分った所では私にも母という者、

オナ ネ マヌ プ アコロ ペ ネ アアン ハウエ エネ アニ アン」  
**ona ne manu p a=kor pe ne aan hawe ene an h\_i an.”**

父という者があったのだなあ」

セコロ ヤイヌアン オラノ チサン パ コロ オカアン オラ こんと  
**sekor yaynu=an orano cis=an pa kor oka=an ora KONTO**

と思って、それから泣きながら、いて、そして、今度は

オハヨッコトウルパアン ネア オッカイポ ウタラ カ アニスク ヒネ  
**ohayokkoturpa=an nea okkaypo utar ka a=nisuk h\_ine**

鎧に手を伸ばした。若者たちにもお願いして、

オハヨッコトウルパアニネ パイエアン。

**ohayokkoturpa=an h\_ine paye=an.**

鎧に手を伸ばして私は出発した。

アアチャハ カ オプ エテテ エムシ シトムシ。

**a=acaha ka op etete emus sitomusi.**

叔父さんも槍を突き立て、刀を下げた。

アシヌマ カ ネノ アナン ネ アコロ オツカイポ ウタラ カ

**asinuma ka neno an=an ne a=kor okkaypo utar ka**

私もそのようにして居たのです。若者たちにも

「ホクレ エネ イキアニ ネノ エチイキ プ ネ ナ」

**“hokure ene iki=an hi neno eci=iki p ne na”**

「さあ、あなたたちも私のするようにしてください」

セコロ ハワナン コロ

**sekor hawan=an kor**

と、言って

アシエキマテッカ パ コロ アトゥラ イネ パイエアン ネ ヒネ

**a=siekimatekka pa kor a=tura h\_inne paye=an ne hine**

せきたてて一緒に行って、

リトゥル レウシアン カネ ヒネ エネ ネ ヤク アイェ コタン オツ タ

**ritur rewsian kane hine ene ne yak a=ye kotan or\_ ta**

途中で泊まって例の噂の村に、

ネ アアチャ アナクネ ネ コタン エラムアン ペ ネクス

**ne a=aca anakne ne kotan eramuan pe nekusu**

叔父さんはその村を知っているものなので、

ネ ヤク イェ ウシケ タ パイエアン ルウェ ネ アクス ソンノ ポカ

**ne yak ye uske ta paye=an ruwe ne akusu sonno poka**

そう言われているところに行ったところ、本当に

ネン ヘカチ ノッキリ ヘカチ サパ エウシ ペ チセ ソイ タ オロ ウタシパ

**nen hekaci notkir hekaci sapa eus pe cise soy ta oro utaspa**

その少年の顎とあたまになっている者が、家の外に行きかっ、

ニ ペレパ プ ニ ペレパ ニ アフプテ プ ニ アフプテ コロ オカ コロカ  
 ni perpa p ni perpa ni ahupte p ni ahupte kor oka korka  
 薪割をする者は薪を割って、薪を家に入れる者は薪を入れしていたが、

「ネン エエクテ ワ ウン エエク ハワシ」

“nen e=ekte wa un e=ek hawas”

「誰がお前を来させようとして、来たというのか<sup>[3]</sup>」

セコロ ヤイヌアン クス オプニッ アニ ネ ノシキケ タ アン チセ オッ タ  
 sekor yaynu=an kusu opnit ani ne noskike ta an cise or\_ ta  
 と思ったので槍の柄で、その（村の）中央にある家で、

オプニタニ アパ アマクテクテク アウオシマアン アクス ヘマンタ チャチャ  
 opnit ani apa a=maktektek awosma=an akusu hemanta caca  
 槍の柄で入り口をパッと開け、入っていたところ、何やらおやじが、

タネ ポロ スクプ ペ チャチャ オシソウン ア ワ オロワノ  
 tane poro sukup pe caca osisoun a wa orowano  
 今や初老にもなっているおやじが右座に座って、それから

ヤイ…… ヤイキキキキ ヘタプ  
 yay... yaykikikiki hetap  
 自分の身体を搔いたり

レッキサラ キキキキ ヘタプ キ コロ アン ペ  
 rekkisara kikikiki hetap ki kor an pe  
 もみあげを搔いたりしていたので、

オプニッ アニ ミピ アソコオツケ、ホプニ エアイカプ クニ ネ アナン マ  
 opnit ani mipi a=sokootke, hopuni eaykap kuni ne an=an w\_a  
 槍の柄で着物を床に押さえつけて起きることもできないようにして、

オロワノ アシイエキマテッカ  
 orowano a=siyekimatekka  
 それから、私は脅しをかけた。

「テエタ カネ アオナハ アウヌフ エロンヌ ヒ エオイラ ヘ キ ヤ  
 “teeta kane a=onaha a=unuhu e=ronnu hi e=oyra he ki ya  
 「昔むかし両親をお前が殺したことを忘れたか。

ああ アイシリカムイ イイヌレ ワ タプ タプ  
 AA aysirkamuy i=inure wa tap tap  
 (両親の) 幽霊が私に聞かせて、これ、この通り

エカン ルウエ アン ナ ネプ アイヌフ イェ プ アヌ ワ  
 ek=an ruwe an na nep aynuhu ye p a=nu wa  
 私は来たのだから、何か人間の言ったことを私は聞いて

エカン ルウエ ソモ ネ ナ」  
 ek=an ruwe somo ne na”  
 きたのではないのだ」

セコロ イタカン コロ オラノ サパ ウシ ペ  
 sekor itak=an kor orano sapa us pe  
 と言って、それから、髪の毛を、

アテッコノイエ オラノ テクシケウカウヌウヌ ハウ…… アハウエヘ  
 a=tekkonoye orano teksikewkaunuunu haw... a=hawehe  
 手でねじりあげると手で体をかばった。私の声を

ハウカオパシ ペ アパオッキ ムケムケ アフプ シリ エネ アニ  
 hawkaopas pe apaotki mukemuke ahup siri ene an h\_i  
 聞いて駆けつけて来たものが入り口の簾を押し合いへし合いして入る様子は、

コケウトウムコン ロコカ アン ペ アルキラレ  
 kokewtumkor\_ rokoka an pe arukirare  
 一味の者たちは一目散に逃げてしまった。

イエランポキウエン ロコカ アン ペ パラパラク コロ イムライパパ  
 i=erampokiwen rokoka an pe parapararak kor i=muraypapa  
 私を憐れんでいた者は、泣きわめきながら、私を抱きさすった。



オロワノ ネ ハウカオパシ ペ ネ イヤクネ ロコカ アン ペ カ  
**orowano ne hawkaopas pe ne iakne rokoka an pe ka**  
 そしてその声で大急ぎで来たもの、その弟の方だとわかった者も、

チャウオクタ プ カ オピッタ  
**cawokuta p ka opitta**  
 家の中に飛び込んできた者もみんな、

サパ ウシ ペ アテッコヌイエ アエシリキッキク  
**sapa us pe a=tekkonuye a=esirkikkik**  
 髪の毛を手に巻きつけて、たたきつけた。

「ネプ プリヒ ネプ カッチャマ ネ ワクス フンタ ウエン プリ コロ……  
**“nep purihi nep katcama ne wakusu hnta wen puri kor...**  
 「どんな行い、どんな様子だというので、何の悪いふるまいを

コロ ヘ キ プ アオナ アウヌ ネ イネ ネ アシケ エチウク オラ  
**kor he ki p a=ona a=unu ne h\_ine ne aske eci=uk ora**  
 するものが私の両親であるというので、呼び寄せて

エチロンヌ ヒ ネ ヤ? アオマピリカ プ ライ ネ ヤクン  
**eci=ronnu hi ne ya? a=omapirka p ray ne yakun**  
 殺したのか? 死んだとすれば、

アエチロンヌ クス ネ ナ」  
**a=eci=ronnu kusu ne na”**  
 私がお前たちを殺すからな」

セコロ イタカン コロ オロワノ イテクシケウカウヌ  
**sekor itak=an kor orowano iteksikewkaunu**  
 と、言うのと、体をかばって、

「オハイネ タシ ウエナナウエ ネ ナ。  
**“ohayne tasi wen=an h\_awe ne na.**  
 「なるほど、私が悪うございました。

イキアクナク イシロン…… イシロン…… ロンヌ ナ」

**ikiakunak i=siron... i=siron... ronnu na”**

どうか殺さないでください」

セコロ ハウエオカ ヤク オラウン ケイキリチ アトウイパ。

**sekor haweoka yak oraun keykirici a=tuypa.**

と、言った。そこで私はアキレス腱を切って、

「ニサプ アエチロンヌ ヤッカ ワ タシ

**“nisap a=eci=ronnu yakka wa tasi**

「すぐに殺されたほうがまだ

セコロ エチヤイエラムシツネ クニ ネ アエチカラ シリ ネ ナ」

**sekor eci=yayeramusitne kuni ne a=eci=kar siri ne na”**

とお前たちが苦しむように、お前たちにしてやるからな」

セコロ イタカン コロ ケイキリチ アトウイパ テムリチ アトウイパ

**sekor itak=an kor keykirici a=tuypa temrici a=tuypa**

と、言いながら、アキレス腱を切って、腕の筋を切って、

オロワノ ウコヘレレセ コロ ウコシヌシヌ

**orowano ukohererse kor ukosinusinu**

それから、お互いに咳き込んで、這いまわった。

オラノ ネ コケウトウムコン ロコカ アン ペ アナク アルキラレ パ

**orano ne kokewtumkor\_ rokoka an pe anak arukirare pa**

そして、例の一味であった者たちは一目散に逃げて、

ケシ アアンパ ワ アキッキク チキ アキッキク

**kes a=anpa wa a=kikkik ciki a=kikkik**

私は追いかけて殴りつける者は殴り、

ケイキリチ アトウイパ チキ アトウイパ

**keykirici a=tuypa ciki a=tuypa**

アキレス腱を切る者は切って、

「ネノ アン ペ スイ チアスルアシ

“**nenō an pe suy ciasur’as**

「同じようなことで再び噂がたって、

ハウエ アヌ ヤク アナクネ エカン マ スクプ クル アネ ヤツカ

**hawē a=nu yak anakne ek=an w\_a sukup kur a=ne yakka**

その話を聞いたならば、(ここにふたたび) 来て、私はもう大人になったが

アイシリカムイ イカスイ ワ タプタプ イキアン ナ エカン マ

**aysirkamuy i=kasuy wa taptap iki=an na ek=an w\_a**

幽霊に手伝ってもらってこれこのとおりにしたのだよ。

アエチロンヌ クス ネ ナ」

**a=eci=ronnu kusu ne na”**

また来てお前たちを殺すからな」

セコロ アン ペ アイェ コロ テムリチヒ アトウイパ

**sekor an pe a=ye kor temricihi a=tuypa**

と、言いながら手の筋を切って、

ケイキリチ アトウイパ オラウン ネプ カ ネ オカイ ペ アパウエテンケ

**keykirici a=tuypa oraun nep ka ne okay pe a=pawetenke**

アキレス腱を切った。それから、何でもそこに居る者たち(下僕にされていた人たち)に命じて

「ネプ カ エチコロ ペ オカ チキ エソユン アコロ ワ エチウニ ウン

“**nep ka eci=kor pe oka ciki esoyun a=kor wa eci=uni un**

「何かお前たちが持っているものがあつたら、外へ持って(出て)お前たちの家に

パイェ ヤン パイェ ヤン」

**paye yan paye yan”**

行きなさい、行きなさい。」

セコロ イタカン コロ

**sekor itak=an kor**

と、私が言うと、

「タアン ペ アコロ ペ ネ タアン ペ アエラミシカリ」

“taan pe a=kor pe ne taan pe a=eramiskari”

「これは私が持っていたもので、これには覚えがない」

セコロ ハウエオカ コロ ソヨクタ パ オカケ タ

sekor haweoka kor soyokuta pa okake ta

と、言いながら家の中から出した後、

インカラシ クス シアスラシテ パ プ ネ クス コトムノ ウニヒ アナク

inkar=an kusu siasuraste pa p ne kusu kotomno unihi anak

私を見ると、うわさが立つくらいなので、それにふさわしく家は

イヨルエク (?) カ コロカ ネプ カ アウク カ ソモ キ ノ オラウン

iyoruek(?) ka korka nep ka a=uk ka somo ki no oraun

XXXXけれど、私は何も取らないで、それから、

ウコヘレレセ ハウエ アヌ コロ オラ サパン オラノ アウニ タ サパン マ

ukohererse hawe a=nu kor ora sap=an orano a=uni ta sap=an w\_a

お互いに咳き込む声を聴きながら山から下って家に来て、

オラノ スイ チサン パ コロ

orano suy cis=an pa kor

それから、再び泣きながら、

「オヤチキ ウヌ ネ マヌ プ

“oyaciki unu ne manu p

「なるほど、私には母というもの

オナ ネ マヌ プ アコロ ペ ネ アアン マ エネ アロンヌ ヒ オカ」

ona ne manu p a=kor pe ne aan w\_a ene a=ronnu hi oka.”

父というものがいて（そのおかげで）、このように殺した（仇をうった）のだなあ」

セコロ ヤイヌアン コッ チシアナ アナ コロ オカアン オラ イ……

sekor yaynu=an kor\_ cis=an a =an a kor oka=an ora i...

と、思って泣きに泣いていた、後で

イシオカウン イヌアン クス ウコレイエレイエ ウコヘレレセ コロ  
 isiokaun inu=an kusu ukoreyereye ukohererse kor

聞くところによると、這いずり回って、咳き込んでいたものたちは

エネ イキ パ イ カ イサム コロ オカ セコロ アン ペ アヌ コロ オカアン  
 ene iki pa h\_i ka isam kor oka sekor an pe a=nu kor oka=an.

どうしようもないままにいるということを聞いていた。

タン アアチャハ セコロ イタカナツカ ナ ペウレ クル ネ クス  
 tan a=acaha sekor itak=an y\_akka na pewre kur ne kusu

おじさんと言っても、まだ若者なのだから、

ピリカ ポンメノコ エトウニネ イコレ オラ ネ アアチャ カ  
 pirka ponmenoko etun h\_ine i=kore ora ne a=aca ka

私に美しい若い女を嫁にもらってくれた（ので）それならその叔父さんも

「ネプ カ シエブンキネレ プ コロ イケ マク」

“nep kasiepunkinere p kor h\_ike mak”

「何か自分に守らせるもの（妻）を持つてはどうですか？」

セコロ イタカナツカ  
 sekor itak=an y\_akka

と言っても、

「フンタ アカラクフ サマ オウペカレ アカラク オロ タ アナニケ  
 “hnta a=karkuhu sama owpekare a=karku oro ta an=an hike

「何を、甥のために骨を折って、甥のところで暮らしてきたのに、

フンタ ネ マッ アコロ ハウエ？」

hnta ne mat a=kor hawe?”

何を妻など持つという話か」

セコロ ハウエアン コロ オラ マッ サクノ  
 sekor hawean kor ora mat sakno

と言ってそして、妻もなく、

カシ アオイキ ナ イイエ パ プ ネ クス イラマンテアン コロ オラノ  
**kasi a=oyki na i=ye pa p ne kusu iramante=an kor orano**

世話をするぞというものなので、私が狩をすると

イエトコイキ ネ ヤ キ コロ オラノ アオカ アナク ネプ アエ ルスイ カ  
**i=etokoyki ne ya ki kor orano aoka anak nep a=e rusuy ka**

私のために食事の支度などをしてくれて、そうして、私たちは、何も食べたいとも、

ネプ アコン ルスイ カ ソモ キ ノ  
**nep a=kor\_ rusuy ka somo ki no**

何も欲しいとも思わないで、

ネア アコロ ポンメノコ ポシレシクテ カ キ ワ アプンノ オカ ルウェ ネ  
**nea a=kor ponmenoko posiresikte ka ki wa apunno oka ruwe ne**

例の若い女は子供をたくさん産んで、なに不自由なく暮らしていました。

オラ ネ オカイ ペ アナクネ ウコヘレレセ ロカイネ  
**ora ne okay pe anakne ukohererse rok ayne**

そして、例の者たちは、お互いに咳き込んでいたあげく、

ライ ヒケ ライ レイエレイエ コロ オカイ ペ オカ ヤカイエ イ  
**ray hike ray reyereye kor okay pe oka yak a=ye h\_i**

死ぬものは死に、這いずっていたものは生き残ったということを、

アヌ コロ オカアン ルウェ ネ クス エネ オカ ウエン プリ コロパ プ  
**a=nu kor oka=an ruwe ne kusu ene oka wen puri korpa p**

私は聞いていたので、このような悪いふるまいをするものを

アパカシヌ ルウェ ネ コロカ アシヌマ アナクネ アプンノ タネ  
**a=pakasnu ruwe ne korka asinuma anakne apunno tane**

私が戒めたのですが、私は無事に今は

ポロ スクプ カ アン ネプ アエラナク カ ソモ キ ノ キ ルウェ ネ ナ  
**poro sukup ka =an nep a=eranak ka somo ki no ki ruwe ne na**

大きく成長して、何も困っていることもないのですよ」

セコロ シネ オツカイポ<sup>6</sup> ハウエアン セコロ アン

sekor sine okkaypo hawean sekor an

と一人の若者が言いましたとき。

【注】

- [1] 少年のような頭や顎にするというのは、髪の毛や髭をそり落としてしまうということ。
- [2] 行器（シントコ）の後ろとは最上席にあたる。
- [3] 直訳は「誰がお前に来させたので来たというのか」。ここでは反語の意味で、他の誰も来ない自分が来ようと思ったのではないかと自分を奮い立たせている。

## 16-11 ウエペケレ「アアチャハ イレス」解説

語り手：鍋澤ねぷき  
聞き手・解説：萱野茂

萱野：これは、うーん、a=acaha i=resu [おじに私は育てられた]

鍋澤：ん、ん、ん

萱野：私のおじさんが私を育て、子供の時は唄いながら育てておったのを……、  
だと思って聞いておったのが大きくなって聞いたら、それは泣きながら  
私を育てておったのであったと。

鍋澤：ん、うん、そうだと。

萱野：そして自分自身の生い立ちを、ここで、aysirkamuy ちゅーのはどういう  
ことなの？

鍋澤：「仏さん」。

萱野：あーなるほどね。

鍋澤：うん、うん、仏さん。

萱野：aysirkamuy i=nure [幽霊が聞かせてくれる] というのはカラスがもの言  
ったのを聞こえた……、聞いたように思ったけれども、実際はカラスじ  
ゃなくて、

鍋澤：うんだ、仏さん

萱野：仏さんがカラスになって喋ったんでしょうと。そういうことなわけす  
ね。そのカラスらしいカラスが喋って教えてあげもったけれども、自分  
の生い立ちを教えられ、そしてその育ててくれたおじさんから教えられ



て、ま、かたき討ちをした。という筋書きの uepeker [散文説話] ですね。

鍋澤：うん、うん、うん。

萱野：それから、さっき rupne watara っていう言葉言った、これどういうこと。

鍋澤：rupne watara nokan\_watara [大きな石、小さな石] っていうのは「石」。

萱野：あー、なるほど。

鍋澤：石、石。

萱野：うん、うん、うん。watara、石。temsutna wa suke wa i=ipere [腕の付け根から（手を洗って）料理をして私に食べさせた] .

鍋澤：ちゃんと手洗って

萱野：あーなるほどね。

はい、どうもありがとうございます。

---

アイヌ語の保存・継承に必要なアーカイブ化に関する調査研究事業  
第2年次（北海道沙流郡平取町）

調査研究報告書

2 / 3

発行日 2015年3月25日

発行者 国立大学法人千葉大学

〒263-0022 千葉県千葉市 稲毛区弥生町 1-33

電話 043-251-1111

---